

# 小日向地区遺跡群

—県営農村振興総合整備事業（田園居住空間整備）小日向地区  
に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一

《第1分冊 本文・図版編1》

2010

群馬県安中市教育委員会



遠丸遺跡・遠地谷戸遺跡遠景（東より） 手前に天皇塚古墳



壹丁田II遺跡遠景（西より）

## 図絵 2



田中遺跡 A区・B区全景（上が南）



田中西遺跡（K1 18年度調査）全景（上が西）



田中西遺跡（K5 19年度調査）遠景（東より）



田中西遺跡（K5 19年度調査）C区全景（上が北）

口絵 4



上新浜遺跡全景（上が南西）



灘 1 号古墳出土人物埴輪

## 序

安中市松井田町小日向地区は、碓冰川の支流である九十九川左岸に位置しています。九十九川左岸の下位段丘上は、小規模な谷地が幾筋か存在するものの、比較的緩やかな地形が広がっており、主に水田耕作に利用されています。一方、長者久保・上野丘陵の末端ともいえる上位段丘上も緩やかな丘陵地帯となっており、畠地が広く展開しています。周辺には古墳等の遺跡が多く確認されており、九十九川・妙義山を望むこの地が、太古より人々の生活の場となっていたことを示しています。

今回の発掘調査は、下位段丘上の土地改良事業に先立ち平成16年度より実施されました。4年間にわたる発掘調査の結果、縄文時代から平安時代までの住居址326軒、古墳10基等が確認されました。中でも、弥生時代後期の住居址は約180軒確認されており、当時の中心的集落がこの地に営まれていたことが分かりました。また、琴平山古墳からは県内3例めとなる石見型盾が出土しました。本報告書は、このような貴重な調査成果をまとめたものです。本書が、学術分野に寄与し、郷土資料として幅広く活用していただければ幸いに存じます。

最後になりましたが、発掘調査・整理作業に参加された方々、ご教示・ご協力をいただきました方々及び機関に、心より感謝申し上げ序といたします。

平成22年3月

安中市教育委員会

教育長 中澤 四郎

## 例　　言

- 1 本書は西部県民局西部農業事務所が実施した「県営農村振興総合整備事業（田園居住空間整備）小日向地区」に伴う小日向遠地谷戸遺跡、小日向遠丸遺跡、小日向瀧遺跡、小日向巣丁田遺跡、小日向老丁田Ⅱ遺跡、小日向田中遺跡、小日向田中西遺跡、小日向白山遺跡、小日向上新浜遺跡の埋蔵文化財発掘調査報告書である。本文中の遺跡名は、小日向を略している場合もある（例、小日向遠地谷戸遺跡→遠地谷戸遺跡）。
- 2 遺跡は安中市松井田町小日向遠地谷戸・遠丸・瀧・巣丁田・田中・田中西・白山・上新浜地内に所在する。
- 3 調査は群馬県の委託を受けて、安中市教育委員会（平成18年3月の合併以前は松井田町教育委員会）が実施した。調査の一部を、平成16年度は埋蔵文化財発掘調査協同組合・御毛野考古学研究所に、17年度は山武考古学研究所・御毛野考古学研究所にそれぞれ委託した。平成18年度～21年度は安中市教育委員会直営で実施し、壁伸明・千田茂雄・深町真が担当した。
- 4 費用は原図者である群馬県が負担した。また、平成18年度～21年度は、一部を文化財保存国庫補助金・県費補助金により実施している。
- 5 調査期間　　○発掘調査 平成16年度調査 平成16年6月14日～平成17年1月24日  
平成17年度調査 平成17年6月1日～平成17年12月9日  
平成18年度調査 平成18年6月7日～平成19年3月21日  
平成19年度調査 平成19年4月24日～平成20年3月19日  
○整理作業 上記の発掘調査期間及び下記の期間に断続的に実施した。  
平成20年4月21日～平成21年3月19日  
平成21年4月23日～平成22年3月19日
- 6 調査区の国家座標取り付け及び測量基準杭の設置は、上毛測量に委託して行った。
- 7 遺構の写真撮影は壁・千田・深町が行った。
- 8 遺物接合復元・遺物実測・トレース・観察表作成・遺物写真撮影の一部を、前橋文化財研究所・御毛野考古学研究所に委託して行った。
- 9 出土遺物・資料類は安中市教育委員会が保管している。
- 10 発掘調査に従事していただいたのは、次の方々である。（敬称略）  
石井俊介 今井保美 岩井英雄 上原上 上原由美 宇佐美章一 宇佐美八江子 大沢早知子  
大月圭子 鬼形敦子 小野毅 片貝誠二 坂西武 佐藤光美 菅生陽子 須藤利夫 須藤はるの  
高橋武 田川真知 武井澄 武田文吉 多胡わぐり 土屋朝子 戸高久暉 戸塚里子 中里徳子  
長井明 長井三好 櫻島一廣 野口義則 野積一美 萩原今朝治 萩原治枝 橋爪千昭 長谷純則  
廣上良枝 藤巻勝江 堀口千里 町田一男 町田尚子 黒富雄 山本吉輝 湯本久江 湯本雪江  
吉澤栄子 吉田初江
- 11 本書の編集は壁・千田が行った。執筆は石器に関する部分を井上慎也（安中市教育委員会）が、瀧遺跡・巣丁田Ⅱ遺跡小結を常深尚（毛野考古学研究所）が、それ以外を壁が担当した。
- 12 遺構図の作成及び遺物実測・トレース等報告書作成は、壁・千田・井上・鬼形敦子・廣上良枝・上

原由美・佐藤光美・中里徳子・藤井みゆきが行った。

- 13 発掘調査及び整理作業にあたっては、次の方々・機関よりご教示・ご協力をいただいた。(敬称略)  
浅間陽 石板茂 石川日出志 石丸敦史 伊藤順一 上原富次 大木紳一郎 神戸聖語 小高哲茂  
小林二三雄 坂口一 坂爪純久 佐野亨介 柴田洋孝 清水農 関根慎二 早田勉 谷藤保彦  
大工原豊 高島英之 土井道昭 長井正欣 林克彦 平野進一 三浦京子 宮田忠洋 山口逸弘  
毛野考古学研究所

14 調査組織

平成16年度

教育委員会事務局

教育長 小林 一郎

社会教育課長 伊藤 秀樹

文化財係長 三浦 尚明

指導主事 壁 伸明(調査担当)

平成18年度

教育委員会事務局

教育長 高橋 重治(5月退任)

中澤 四郎

教育部長 佐藤 伸太郎

学習の森所長 大野 孝一

文化財係長 藤巻 正勝

主査 壁 伸明(調査担当)

主査 蜂須賀 まゆみ

主査 千田 茂雄(調査担当)

主任 深町 真(調査担当)

主任 井上 慎也

平成20年度

教育委員会事務局

教育長 中澤 四郎

教育部長 富沢 春寿(5月退職)

本多 英夫

学習の森所長 小島 成公

文化財係長 藤巻 正勝

主査 壁 伸明(調査担当)

主査 蜂須賀 まゆみ

主査 千田 茂雄(調査担当)

主査 深町 真

主査 新井 雅彦

主任 井上 慎也

平成17年度

教育委員会事務局

教育長 小林 一郎

社会教育課長 伊藤 秀樹

文化財係長 三浦 尚明

指導主事 壁 伸明(調査担当)

平成19年度

教育委員会事務局

教育長 中澤 四郎

教育部長 佐藤 伸太郎

学習の森所長 小島 成公

文化財係長 藤巻 正勝

主査 壁 伸明(調査担当)

主査 蜂須賀 まゆみ

主査 千田 茂雄(調査担当)

主任 深町 真

主任 新井 雅彦

主任 井上 慎也

平成21年度

教育委員会事務局

教育長 中澤 四郎

教育部長 本多 英夫

学習の森所長 小島 成公

文化財係長 藤巻 正勝

主査 壁 伸明(調査担当)

主査 蜂須賀 まゆみ

主査 千田 茂雄(調査担当)

主査 深町 真

主事補 小此木 克之

主任 井上 慎也

## 凡　　例

- 1 遺構実測図の縮尺は基本的に以下のとおりである。  
住居址1／80 溝1／100 土坑1／40 ピット1／40 古墳1／100  
これら以外については、図中に縮尺を記した。
- 2 各遺構図方位記号は国家座標の北を表している。
- 3 遺構断面図、等高線に付した数字は標高を表す。
- 4 遺物図版中の縮尺は1／4を基本としている。これら以外については、図中に縮尺を記した。
- 5 図中のスクリーントーンは、以下のものと示している。  

焼土・炭化物		赤色塗装		黒色処理	
--------	--	------	--	------	--
- 6 遺構図中の遺物に付した番号は、出土遺物図の遺物番号に対応している。また、遺構図中の●は出土遺物を表している。
- 7 18年度・19年度調査分における土層注記の記号・略称は次のとおりである。  
色調<：より明るい方向を示す（例 1<2：1より2の方が明るい）  
しまり・粘性 ◎：あり ○：ややあり △：あまりなし ×：なし  
混入物 ◎：大量 ○：多量 △：少量 \*：若干 ×：なし  
WP：白色粒子 YP (As-YP)：板鼻黄色軽石層 BP (As-BP)：板鼻褐色軽石層  
RP：ローム粒子 RB：ロームブロック B (As-B)：浅間B軽石
- 8 遺構図中における柱穴のスクリーントーンは以下の深さを示している。  

	0～19cm		20～39cm		40～59cm		60cm以上
--	--------	--	---------	--	---------	--	--------
- 9 繩文石器及び石材名については、安中市の分類による（大工原1998『中野谷松原遺跡』ほか）。
- 10 18年度・19年度調査分における出土遺物重量分布図の記号・重量は次のとおりである。  
土師器 ○壺 △环 □高环 ◇甑 ▽台付壺 ☆その他  
須恵器 ●壺 ▲环 ■羽釜 ◆碗 +皿 ×蓋 ★その他  
重量 ○ 1～10 g ○ ~100 g ○ ~1000 g

## 目 次

口 絵

序

例 言

凡 例

目 次

I	調査に至る経過 .....	1	(1) 概 要 .....	275
II	調査の方法と経過 .....	1	(2) 弥生時代 .....	275
1	発掘調査 .....	1	(3) 古墳時代 .....	275
2	整理作業 .....	2	(4) 古代以降 .....	275
III	遺跡の地理的・歴史的環境 .....	7	小 結 .....	326
1	地理的環境 .....	7	5 小日向壱丁田Ⅱ遺跡 .....	331
2	歴史的環境 .....	7	(1) 概 要 .....	331
IV	層 序 .....	10	(2) 繩文時代 .....	331
1	基本層序 .....	10	(3) 弥生時代～古墳時代初頭 .....	331
V	遺跡の概要 .....	10	(4) 古墳時代 .....	331
1	概 要 .....	10	小 結 .....	418
VI	遺構と遺物 .....	19	6 小日向田中遺跡 .....	425
1	小日向遠地谷戸遺跡 .....	19	(1) 概 要 .....	425
(1)	概 要 .....	19	(2) 弥生時代 .....	425
(2)	弥生時代～古墳時代前期 .....	19	(3) 古墳時代 .....	425
(3)	古墳時代 .....	19	小 結 .....	510
小 結 .....	102	7 小日向田中西遺跡・白山遺跡 .....	515	
2	小日向遠丸遺跡 .....	107	(1) 概 要 .....	515
(1)	概 要 .....	107	(2) 繩文時代 .....	515
(2)	繩文時代 .....	107	(3) 弥生時代 .....	515
(3)	弥生時代 .....	107	(4) 古墳時代 .....	515
(4)	古墳時代 .....	107	(5) 奈良・平安時代 .....	516
小 結 .....	175	小 結 .....	739	
3	小日向瀧遺跡 .....	183	8 小日向上新浜遺跡 .....	749
(1)	概 要 .....	183	(1) 概 要 .....	749
(2)	弥生時代～古墳時代前期 .....	183	(2) 古墳時代 .....	749
(3)	古墳時代 .....	183	小 結 .....	761
(4)	古 代 .....	183	VII 成果と問題点 .....	765
小 結 .....	270	抄 錄		
4	小日向壱丁田遺跡 .....	275		

## 挿図目次

第 1 図 小日向地区遺跡群グリッド設定図	.....	3	第 29 図 5号・9号・12号住居址出土土器実測図	.....	50
第 2 図 周辺の遺跡位置図	.....	8	第 30 図 13号・14号住居址出土土器実測図	.....	51
第 3 図 基本土層模式図	.....	10	第 31 図 14号住居址出土土器実測図	.....	52
第 4 図 小日向地区遺跡群遺跡位置図・調査年度	.....	11	第 32 図 16号・18号住居址出土土器実測図	.....	53
遠地谷戸遺跡					
第 5 図 小日向遠地谷戸遺跡全体図・グリッド設定図	.....	17	第 33 図 18号・19号住居址出土土器実測図	.....	54
第 6 図 1号・2号住居址実測図	.....	20	第 34 図 24号住居址出土土器実測図	.....	55
第 7 図 3号住居址実測図	.....	21	第 35 図 25号・26号・28号・30号住居址出土土器実測図	.....	56
第 8 図 1号溝実測図	.....	22	第 36 図 32号住居址出土土器実測図(1)	.....	57
第 9 図 1～4号土坑実測図	.....	23	第 37 国 32号住居址出土土器実測図(2)	.....	58
第 10 国 遺物集中地点実測図	.....	23	第 38 国 33～35号住居址出土土器実測図	.....	59
第 11 国 1～3号住居址、1号溝、包含層、遺構外出土土器実測図	.....	25	第 39 国 36号住居址出土土器実測図	.....	60
第 12 国 1～3号住居址実測図	.....	27	第 40 国 38号住居址出土土器実測図	.....	61
第 13 国 4号・5号・9号・11号住居址実測図	.....	28	第 41 国 41号住居址出土土器実測図	.....	62
第 14 国 7号住居址実測図	.....	29	第 42 国 43号住居址出土土器実測図	.....	63
第 15 国 12号・13号・56号住居址実測図	.....	30	第 43 国 49号・58号住居址出土土器実測図	.....	64
第 16 国 14～16号・57号住居址実測図	.....	31	第 44 国 52号・59号・61号住居址出土土器実測図	.....	65
第 17 国 17～19号・23号住居址実測図	.....	32	第 45 国 33号・37号土坑出土土器実測図	.....	66
第 18 国 24号・46号住居址実測図	.....	33	第 46 国 37号土坑出土土器実測図	.....	67
第 19 国 25号・26号・37号住居址実測図	.....	34	第 47 国 37号土坑・遺構外出土土器実測図	.....	
第 20 国 27号・28号・55号・30号・31号・33号住居址実測図	.....	35	.....	.....	68
第 21 国 32号・34号・35号住居址実測図	.....	36	第 48 国 37号・44号・48号・50号住居址出土土器実測図	.....	69
第 22 国 36号・38号・39号・41号住居址実測図	.....	37	第 49 国 53号・62号住居址出土土器実測図	.....	
第 23 国 42～44号・47号住居址実測図	.....	38	.....	.....	70
第 24 国 48号・51号・52号住居址実測図	.....	39	第 50 国 遠地谷戸遺跡出土石器実測図	.....	80
第 25 国 49号・58号住居址実測図	.....	40	第 51 国 6号・10号・20号・21号住居址実測図	.....	
第 26 国 59号・61号・62号住居址実測図	.....	41	.....	.....	81
第 27 国 8号・50号・53号住居址実測図	.....	42	第 52 国 22号・40号・45号住居址実測図	.....	82
第 28 国 2～4号住居址出土土器実測図	.....	49	第 53 国 29号・60号・63号住居址実測図	.....	83
			第 54 国 1～3号掘立柱建物址実測図	.....	84
			第 55 国 1～9号・11号・12号・14～19号土坑実測図	.....	85
			第 56 国 20～22号・24～31号・33号・37号・41	.....	

号土坑実測図	86
第 57 図 1号・9号・10号・12号・30号・36号・41号溝実測図	87
第 58 図 6号住居址出土土器実測図	96
第 59 図 20~22号住居址出土土器実測図	97
第 60 図 29号・40号・45号・60号住居址出土土器実測図	98
第 61 図 63号住居址、11号土坑、12号溝出土土器実測図	99
第 62 図 小日向遠地谷戸遺跡における住居址の変遷	103
<b>遠丸遺跡</b>	
第 63 図 小日向遠丸遺跡・天皇塚古墳全体図・グリッド設定図	108
第 64 図 1~3号・6号住居址実測図	109
第 65 図 4号・5号・7号・8号住居址実測図	110
第 66 図 9~11号・15号住居址実測図	111
第 67 図 12~14号住居址実測図	112
第 68 図 16号・17号・21号・23号住居址実測図	113
第 69 図 18~20号・36号・22号・55号住居址実測図	114
第 70 国 24~27号住居址実測図	115
第 71 国 28~30号住居址実測図	116
第 72 国 31~35号住居址実測図	117
第 73 国 37号・51号・38号・39号住居址実測図	118
第 74 国 40~42号・53号・54号住居址実測図	119
第 75 国 43号・52号・44~47号住居址実測図	120
第 76 国 48号・57号・58号・49号・50号住居址実測図	121
第 77 国 1~10号・12号・13号・18号・19号・27号土坑実測図	122
第 78 国 1号・2号・4号・5号・7号住居址出土土器実測図	134
第 79 国 7~11号住居址出土土器実測図	135
第 80 国 12~15号住居址出土土器実測図	136
第 81 国 16号・17号住居址出土土器実測図	137
第 82 国 17~19号・21号住居址出土土器実測図	138
第 83 国 21~27号住居址出土土器実測図	139
第 84 国 26~29号住居址出土土器実測図	140
第 85 国 30号・31号住居址出土土器実測図	141
第 86 国 31号・32号住居址出土土器実測図	142
第 87 国 33号・35~37号住居址出土土器実測図	143
第 88 国 37~40号住居址出土土器実測図	144
第 89 国 41~44号住居址出土土器実測図	145
第 90 国 44号・45号住居址出土土器実測図	146
第 91 国 45~47号住居址出土土器実測図	147
第 92 国 47号・48号住居址出土土器実測図	148
第 93 国 49号・50号・52~54号・57号住居址出土土器実測図	149
第 94 国 57号住居址、一括出土土器、30号住居址出土石器実測図	150
第 95 国 繩文時代・弥生時代遺構出土土器実測図	166
第 96 国 遠丸遺跡出土石器実測図	168
第 97 国 天皇塚古墳実測図	169
第 98 国 天皇塚古墳遺物分布図、1号墓実測図	170
第 99 国 天皇塚古墳出土埴輪実測図(1)	171
第100国 天皇塚古墳出土埴輪実測図(2)	172
第101国 天皇塚古墳出土埴輪・土器実測図	173
第102国 張り出し部を有する竪穴住居址位置図	175
第103国 市内で検出された張り出し住居	176
第104国 遠丸遺跡検出非張り出し住居面積別グラフ	
第105国 市内検出張り出し住居面積別グラフ	177

<b>瀧遺跡</b>	
第106図 小日向瀧遺跡全体図・グリッド設定図	181
第107図 1号・2号・5号・6号住居址実測図	184
第108図 3号・4号住居址実測図	185
第109図 7号住居址実測図	186
第110図 8～10号住居址実測図	187
第111図 11号・12号住居址実測図	188
第112図 13～16号住居址実測図	189
第113図 17～19号・25号住居址実測図	190
第114図 20号・21号住居址実測図	191
第115図 22～24号住居址実測図	192
第116図 26～28号・31号住居址実測図	193
第117図 29号・30号住居址実測図	194
第118図 32号・33号住居址実測図	195
第119図 34号住居址実測図	196
第120図 1号掘立柱建物址実測図	197
第121図 1～3号溝実測図	198
第122図 4号・15号・8号・10号・11号・17号溝実測図	199
第123図 5～9号・12～14号・16号溝実測図	200
第124図 1～4号土坑実測図	201
第125図 1号古墳実測図	202
第126図 1号古墳遺物分布図	203
第127図 2号古墳実測図	204
第128図 遺物集中地点出土土器実測図	211
第129図 2号・3号住居址出土土器実測図	212
第130図 4号・5号住居址出土土器実測図	213
第131図 5号住居址出土土器実測図(1)	214
第132図 5号住居址出土土器実測図(2)	215
第133図 5号住居址出土土器実測図(3)	216
第134図 5～8号住居址出土土器実測図	217
第135図 8号・12号住居址出土土器実測図	218
第136図 9号住居址出土柱材実測図	219
第137図 11号・13号住居址出土土器実測図	220
第138図 13号・15号住居址出土土器実測図	221
第139図 16～20号・22号・25号住居址出土土器実測図	222
第140図 21号住居址出土土器実測図(1)	223
第141図 21号住居址出土土器実測図(2)	224
第142図 21号・23号住居址出土土器実測図	225
第143図 24号住居址出土土器実測図	226
第144図 24号・26～30号住居址出土土器実測図	227
第145図 31～33号住居址出土土器実測図	228
第146図 34号住居址出土土器実測図	229
第147図 34号住居址・溝・古墳・一括出土土器実測図	230
第148図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(1)	243
第149図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(2)	244
第150図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(3)	245
第151図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(4)	246
第152図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(5)	247
第153図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(6)	248
第154図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(7)	249
第155図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(8)	250
第156図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(9)	251
第157図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(10)	252
第158図 瀧1号古墳出土円筒埴輪実測図(11)	253
第159図 瀧1号古墳出土土器実測図	253
第160図 瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(1)	254
第161図 瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(2)	255
第162図 瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(3)	256
第163図 瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(4)	257
第164図 瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(5)	258
第165図 瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(6)	259
第166図 瀧1号古墳出土形象埴輪実測図(7)	260
第167図 瀧2号古墳出土円筒埴輪実測図	266
第168図 遺構外出土繩文土器実測図	267
第169図 瀧遺跡出土弥生石器実測図	269
第170図 弥生時代後期の竪穴住居形態	271
第171図 弥生後期の土器敷戸	271
第172図 5号住居址出土の櫛描円弧文を施す壺	272

第173図	24号住居址出土の天王山式系土器	272	第204図	29号・31号住居址出土土器実測図	
第174図	弥生時代後期の異形壺	272			311
<b>壱丁田遺跡</b>					
第175図	小日向壱丁田遺跡全体図・グリッド設定図	276	第205図	34～36号住居址出土土器実測図	312
第176図	1号住居址実測図	277	第206図	37号・38号・40号住居址出土土器実測図	313
第177図	2号・4号住居址実測図	278	第207図	41号・42号住居址出土土器実測図	314
第178図	3号住居址実測図	279	第208図	老丁田遺跡出土石器実測図	324
第179図	5～8号住居址実測図	280	第209図	老丁田遺跡樽式期住居址面積別グラフ	
第180図	9号・10号住居址実測図	281			326
第181図	11～14号住居址実測図	282	<b>壱丁田II遺跡</b>		
第182図	15～18号住居址実測図	283	第210図	小日向老丁田II遺跡全体図・グリッド設定図	329
第183図	19号・20号住居址実測図	284	第211図	1号列石実測図	332
第184図	21号・24号住居址実測図	285	第212図	遺構出土土器実測図	332
第185図	25号・26号住居址実測図	286	第213図	1号列石出土土器実測図	333
第186図	27号・28号住居址実測図	287	第214図	1号・4号住居址実測図	335
第187図	29号・30号住居址実測図	288	第215図	2号・3号・5号住居址実測図	336
第188図	31号・34号・35号住居址実測図	289	第216図	6号・7号・8号住居址実測図	337
第189図	32号・38号住居址実測図	290	第217図	9号・10号・11号住居址実測図	338
第190図	36号・39号・40号住居址実測図	291	第218図	12号・13号住居址実測図	339
第191図	37号・41号・42号住居址実測図	292	第219図	14号・15号住居址実測図	340
第192図	1号古墳実測図	293	第220図	16号・17号・18号・19号住居址実測図	
第193図	1～3号掘立柱建物址実測図	294			341
第194図	1～6号土坑・1号埋設土器実測図		第221図	20号・21号・22号住居址実測図	342
		295	第222図	23号・24号住居址実測図	343
第195図	1～5号溝実測図	296	第223図	1号・2号集石実測図	343
第196図	1～3号住居址出土土器実測図	303	第224図	1号・2号・3号・4号・5号土坑実測図	344
第197図	5～9号住居址出土土器実測図	304	第225図	1号・2号・6号溝実測図	345
第198図	9号・10号・13号・14号住居址出土土器実測図	305	第226図	3～5号溝実測図	346
第199図	14号・16号・17号住居址出土土器実測図	306	第227図	1号古墳葺石崩落状況実測図	347
第200図	16号・17号・19号・20号住居址出土土器実測図	307	第228図	1号古墳実測図(1)	348
第201図	21号・24～27号住居址出土土器実測図		第229図	1号古墳実測図(2)	349
		308	第230図	1号古墳石室実測図	351
第202図	28号住居址出土土器実測図(1)	309	第231図	2号古墳実測図	352
第203図	28号住居址出土土器実測図(2)	310	第232図	3号古墳実測図	353
			第233図	4号古墳実測図	354
			第234図	琴平山古墳実測図(1)	355

第235図	琴平山古墳実測図(2) .....	357
第236図	1号溝、1・2号土坑、1号配石実測図 .....	358
第237図	1・2・3号住居址出土土器実測図 .....	365
第238図	4・5・6・7・10・12・14号住居址出土土器実測図 .....	366
第239図	9・13号住居址出土土器実測図 .....	367
第240図	15号住居址出土土器実測図 .....	368
第241図	15・16・17・21号住居址出土土器実測図 .....	369
第242図	18・20号住居址出土土器実測図 .....	370
第243図	20・23号住居址、2号集石、2号土坑、3号溝、調査区一括出土土器実測図 .....	371
第244図	1号古墳出土土器・埴輪実測図 .....	377
第245図	2号古墳出土土器実測図 .....	377
第246図	3号古墳出土土器・埴輪実測図 .....	378
第247図	4号古墳出土土器実測図 .....	378
第248図	3号溝出土埴輪実測図 .....	378
第249図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(1) .....	380
第250図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(2) .....	381
第251図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(3) .....	382
第252図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(4) .....	383
第253図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(5) .....	384
第254図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(6) .....	385
第255図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(7) .....	386
第256図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(8) .....	387
第257図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(9) .....	388
第258図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(10) .....	389
第259図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(11) .....	390
第260図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(12) .....	391
第261図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(13) .....	392
第262図	琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(14) .....	393
第263図	琴平山古墳出土形象埴輪実測図(1) .....	394
第264図	琴平山古墳出土形象埴輪実測図(2) .....	395
第265図	琴平山古墳出土形象埴輪実測図(3) .....	396
第266図	琴平山古墳出土形象埴輪実測図(4) .....	397
第267図	琴平山古墳出土形象埴輪実測図(5) .....	398
第268図	琴平山古墳出土形象埴輪実測図(6) .....	399
第269図	琴平山古墳出土形象埴輪実測図(7) .....	400
第270図	琴平山古墳出土形象埴輪実測図(8) .....	401
第271図	琴平山古墳出土土器実測図 .....	402
第272図	Y1号・Y2号住居址実測図 .....	410
第273図	Y2号住居址実測図 .....	411
第274図	1号埋設土器、1～3号溝実測図 .....	412
第275図	老丁田II遺跡(18年度調査分)出土遺物重量分布図 .....	414
第276図	Y1号・Y2号住居址出土土器実測図 .....	415
第277図	Y2号住居址、1号埋設土器実測図 .....	416
第278図	弧状列石 .....	418
第279図	琴平山古墳形象埴輪出土位置図 .....	419
	<b>田中遺跡</b>	
第280図	小日向田中遺跡全体図・グリッド設定図 .....	423
第281図	Y1号・Y8号住居址実測図 .....	426
第282図	Y2号・Y3号・Y20号住居址実測図 .....	427
第283図	Y4号・Y19号住居址実測図 .....	428
第284図	Y5号・Y7号住居址実測図 .....	429
第285図	Y6号・Y9号住居址実測図 .....	430
第286図	Y10号・Y11号住居址実測図 .....	431
第287図	Y12号・Y13号・Y14号・Y17号住居址実測図 .....	432
第288図	Y15号・Y16号住居址実測図 .....	433
第289図	Y18号・Y21号～23号住居址実測図 .....	434
第290図	Y24号～26号住居址実測図 .....	435
第291図	Y27号・Y41号・Y28号住居址実測図 .....	436
第292図	Y29号・Y30号住居址実測図 .....	437
第293図	Y31号・Y40号・Y32号住居址実測図 .....	438
第294図	Y33号・Y34号住居址実測図 .....	439

第295図	Y35号・Y38号・Y39号住居址実測図 .....	440	第321図	Y33号～35号住居址出土土器実測図 .....	485
第296図	Y36号・Y37号住居址実測図	441	第322図	Y36号・Y37号・Y39号～41号・Y43 号住居址、1号柵列址出土土器実測図 .....	486
第297図	Y42号・Y43号、1号集石実測図	442	第323図	埋設土器、グリッド、遺構外出出土土器実 測図	487
第298図	1号・2号掘立柱建物址、1～3号埋設 土器、1・3号土坑実測図	443	第324図	田中遺跡出土土器実測図(1)	498
第299図	4・7・8・6号土坑、79～82号・90 ～92号ピット実測図	444	第325図	田中遺跡出土土器実測図(2)	499
第300図	1号・2号柵列址実測図	445	第326図	権現塚古墳実測図(1)	501
第301図	1～3号・7～9号溝実測図	446	第327図	権現塚古墳実測図(2)	502
第302図	4～6号・10号溝実測図	447	第328図	権現塚古墳実測図(3)	503
第303図	11号・14号・13号・15号溝実測図 .....	448	第329図	権現塚古墳実測図(4)	504
第304図	田中遺跡出土遺物重量分布図(1)	468	第330図	権現塚古墳実測図(5)	505
第305図	田中遺跡出土遺物重量分布図(2)	469	第331図	権現塚古墳出土鉄製品実測図	506
第306図	田中遺跡出土遺物重量分布図(3)	470	第332図	権現塚古墳出土金銅製品実測図	507
第307図	田中遺跡出土遺物重量分布図(4)	471	第333図	権現塚古墳出土玉類実測図	508
第308図	田中遺跡出土遺物重量分布図(5)	472	第334図	円形溝・柵列位置図	510
第309図	田中遺跡出土遺物重量分布図(6)	473	第335図	4～6溝、1号・2号柵列平面図、1号 柵列出土土器実測図	511
第310図	田中遺跡出土遺物重量分布図(7)	474			
第311図	田中遺跡出土遺物重量分布図(8)	475			
第312図	Y1号～3号住居址出土土器実測図 .....	476			
第313図	Y3号～5号住居址出土土器実測図 .....	477			
第314図	Y6号・Y7号住居址出土土器実測図 .....	478			
第315図	Y7号住居址出土土器実測図	479			
第316図	Y7号～9号住居址出土土器実測図 .....	480			
第317図	Y9号～12号住居址出土土器実測図 .....	481			
第318図	Y14号～17号住居址出土土器実測図 .....	482			
第319図	Y19号・Y20号・Y23号～26号住居址 出土土器実測図	483			
第320図	Y27号～31号・Y33号住居址出土土器 実測図	484			
			田中西・白山遺跡		
			第336図	小日向田中西遺跡全体図・グリッド設 定図(1)	517
			第337図	小日向白山遺跡全体図・グリッド設定 図	517
			第338図	J3号住居址、1号埋設土器実測図 .....	519
			第339図	J3号住居址、1号埋設土器、14号・33 号土坑、5号・7号・8号・97号・163 号ピット出土土器実測図	520
			第340図	遺構外出出土土器実測図(1)	521
			第341図	遺構外出出土土器実測図(2)	522
			第342図	J3号住居址石器組成	528
			第343図	その他遺構、グリッド石器組成	529
			第344図	J3号住居址出土石器実測図	530
			第345図	グリッド出土石器実測図	531
			第346図	H1号・H2号住居址実測図	533
			第347図	H3～H6号住居址実測図	534

第348図	H 7～H 10号住居址実測図	535	第375図	C 区 2号集石実測図(1)	591
第349図	H 11～H 14号住居址実測図	536	第376図	C 区 2号集石実測図(2)	592
第350図	H 15号・H 16号住居址実測図	537	第377図	C 区 3号集石実測図(1)	593
第351図	H 17号・H 18号住居址実測図	538	第378図	C 区 3号集石実測図(2)	594
第352図	H 19A号・H 19B号住居址実測図	539	第379図	B 区 5号集石実測図(1)	595
			第380図	B 区 5号集石実測図(2)	596
第353図	H 20～H 22号住居址実測図	540	第381図	F 区 6号集石実測図(1)	597
第354図	H 23号・H 24号住居址実測図	541	第382図	F 区 6号集石実測図(2)	598
第355図	1～3号掘立柱建物址実測図	542	第383図	F 区 6号集石実測図(3)	599
第356図	1～5号・7号・8号・11号・14号・ 15号土坑実測図	543	第384図	F 区 6号集石実測図(4)	600
第357図	17～23号・30～34号土坑実測図	544	第385図	C 区 7号集石実測図	601
第358図	35～50号土坑実測図	545	第386図	C 区 8号・11～13号集石実測図	602
第359図	1～8号溝実測図	546	第387図	C 区 1号・9号集石、1号・2号埋設土 器実測図	603
第360図	9号・10号・12号溝、1号竪穴状遺構、 1号集石実測図	547	第388図	C 区 3～8号土坑実測図	604
第361図	田中西遺跡出土遺物重量分布図(1)…	570	第389図	A区遺構外、B区5号集石出土土器實測 圖	607
第362図	田中西遺跡出土遺物重量分布図(2)…	571	第390図	B区5号集石、C区1号集石出土土器實 測圖	608
第363図	田中西遺跡出土遺物重量分布図(3)…	572	第391図	C区2号集石出土土器實測圖	609
第364図	田中西遺跡出土遺物重量分布図(4)…	573	第392図	C区2号・3号・7号集石出土土器實 測圖	610
第365図	白山遺跡出土遺物重量分布図	574	第393図	C区7号・8号集石出土土器實測圖	611
第366図	H 2号・H 4号・H 5号・H 7号・H 12号住居址出土土器實測図	575	第394図	C区10～12号集石、3～5号土坑出土土 器實測圖	612
第367図	H 14号・H 15号住居址出土土器實測圖	576	第395図	C区5～8号土坑出土土器實測圖	613
第368図	H 17号・H 18号・H 19A号住居址出土 土器實測圖	577	第396図	C区105号・114号・115号ビット、C区 1号埋設土器、C区遺構外出出土土器實 測圖	614
第369図	H 19B号住居址出土土器實測圖	578	第397図	C区遺構外出出土土器實測図(1)	615
第370図	H 3号・H 6号・H 8号・H 10号住居 址出土土器實測圖	579	第398図	C区遺構外出出土土器實測図(2)	616
第371図	H 13号・H 16号住居址、グリッド・遺構 外出出土土器實測圖	580	第399図	C区遺構外出出土土器實測図(3)	617
第372図	H 21～H 24号住居址出土土器實測圖	581	第400図	C区遺構外出出土土器實測図(4)	618
第373図	H 20号住居址、遺構外出出土土器實測圖	582	第401図	C区遺構外、D区遺構外、E区遺構外出 土土器實測圖	619
第374図	小日向田中西遺跡全体図・グリッド設 定図(2)	589	第402図	F区6号集石、F区遺構外出出土土器實	

測図	620	第435図	C区H10～H12号住居址実測図	674	
第403図	C区2号集石石器組成	641	第436図	C区H13～H17号住居址実測図	675
第404図	C区3号集石石器組成	642	第437図	C区H18号・H19号・H21号住居址実 測図	676
第405図	B区5号集石石器組成	643	第438図	C区H20号・H22号住居址実測図	677
第406図	F区6号集石石器組成	644	第439図	C区H23号・H33号・H24号・H28号・ H25号・H26号住居址実測図	678
第407図	C区7号集石石器組成	645	第440図	C区H27号・H29号・D区H30号住居址 実測図	679
第408図	C区その他の繩文遺構石器組成	646	第441図	E区H31号・H32号・C区H39号住居 址、C区1・2号土坑実測図	680
第409図	C区グリッド石器組成	647	第442図	C区1号・2号溝実測図	681
第410図	C区2号集石出土石器実測図(1)	648	第443図	E区3号溝、C区10号集石実測図	682
第411図	C区2号集石出土石器実測図(2)	649	第444図	田中西遺跡出土遺物重量分布図(1)	696
第412図	C区2号・3号集石出土石器実測図	650	第445図	田中西遺跡出土遺物重量分布図(2)	697
第413図	C区3号集石出土石器実測図	651	第446図	田中西遺跡出土遺物重量分布図(3)	698
第414図	B区5号集石出土石器実測図	652	第447図	田中西遺跡出土遺物重量分布図(4)	699
第415図	F区6号集石出土石器実測図(1)	653	第448図	田中西遺跡出土遺物重量分布図(5)	700
第416図	F区6号集石出土石器実測図(2)	654	第449図	田中西遺跡出土遺物重量分布図(6)	701
第417図	F区6号集石出土石器実測図(3)	655	第450図	H1～H3号住居址出土土器実測図	702
第418図	F区6号集石出土石器実測図(4)	656	第451図	H3～H6号住居址出土土器実測図	
第419図	F区6号集石出土石器実測図(5)	657	第452図	H6号・H7号住居址出土土器実測図	703
第420図	C区7号集石、グリッド出土石器実測図	658	第453図	H7～H9号住居址出土土器実測図	
第421図	C区グリッド出土石器実測図(1)	659	第454図	H9号・H10号住居址出土土器実測図	704
第422図	C区グリッド出土石器実測図(2)	660	第455図	H11号・H12号住居址出土土器実測図	
第423図	C区・E区グリッド出土石器実測図(3)	661	第456図	H12号住居址出土土器実測図	705
第424図	C区2号・3号集石疊グラフ	664	第457図	H12～H15号住居址出土土器実測図	706
第425図	B区5号・F区6号集石疊グラフ	665	第458図	H15～H18号住居址出土土器実測図	707
第426図	C区7号集石疊グラフ	666	第459図	H18～H20号住居址出土土器実測図	
第427図	C区1号・9号・12号・13号集石疊グ ラフ	667			710
第428図	C区8号集石疊グラフ	668			
第429図	C区1号礫床墓実測図	669			
第430図	グリッド出土土器実測図	670			
第431図	遺構出土土器実測図	670			
第432図	A区H1号・C区H2号・H3号住居址 実測図	671			709
第433図	C区H4～H6号住居址実測図	672			
第434図	C区H7～H9号住居址実測図	673			

第460図	H20号住居址出土土器実測図	712		744	
第461図	H20～H22号住居址出土土器実測図	713	上新浜遺跡		
第462図	H22号・H23号住居址出土土器実測図	714	第474図	A区、B区基本土層	749
第463図	H24～H26号住居址出土土器実測図	715	第475図	小日向上新浜遺跡全体図・グリッド設 定図	750
第464図	H27～H29号・H33号・H39号住居址 出土土器実測図	716	第476図	A区H34号・H37号、B区H38号住居址 実測図	751
第465図	H30号住居址出土土器実測図	717	第477図	A区H35号・H36号住居址、B区1号土 坑実測図	752
第466図	H31号・H32号住居址出土土器実測図	718	第478図	上新浜遺跡出土遺物重量分布図	755
第467図	H32号住居址、10号集石、1号・2号溝、 C区一括出土土器実測図	719	第479図	A区H34号・H35号・H36号住居址出 土土器実測図	756
第468図	1号溝、3号土坑、A区一括、C区・E 区グリッド、K5一括、遺構外出土土器 実測図	720	第480図	A区H37号・B区H38号住居址出土土 器実測図	757
第469図	田中西遺跡、グリッド出土時期別土器重 量組成	739	第481図	九十九川流域において出土したS字状 口縁台付壺と共伴土器	762
第470図	田中西遺跡(K1 18年度調査分)縄文土 器分布図	740	(成果と問題点)		
第471図	田中西遺跡(K5 19年度調査分)縄文土 器分布図	741	第482図	炉位置による樽式期竪穴住居址分類	768
第472図	田中西遺跡(K5 19年度調査分)H27号 住居址、出土土器実測図	744	第483図	類型別住居址主軸方向	769
第473図	加賀塚遺跡1 H48号住居址実測図		第484図	小日向地区遺跡群樽式期住居址面積別 グラフ	770

## 表 目 次

第1表	縄文時代石器器種分類表	5		層注記	43
第2表	縄文時代石器石材分類表	6	第7表	7号・12～14号・16号・56号・57号住 居址土層注記	44
第3表	周辺の遺跡一覧	9	第8表	17号・18号・23～26号・28号・30号・ 31号住居址土層注記	45
遠地谷戸遺跡			第9表	32号・33号・35号・38号・41号・42号 住居址土層注記	46
第4表	1～3号住居址、1～4号土坑、1号溝 土層注記	24	第10表	43号・47号・49号・51号・52号・58号 住居址土層注記	47
第5表	1～3号住居址、1号溝、包含層、遺構 外出土土器観察表	26			
第6表	1～5号・7号・9号・11号住居址土				

第 11 表	59号・61号住居址土層注記	48	.....	123	
第 12 表	2～5号・9号・12号住居址出土土器 観察表	71	第 32 表	11～13号・15号住居址土層注記	124
第 13 表	13号・14号・16号・18号住居址出土土 器観察表	72	第 33 表	13号・16号・17号・21号住居址土層注 記	125
第 14 表	18号・19号・24～26号・28号住居址出 出土器観察表	73	第 34 表	23号・18～20号住居址、4号・3号満土 層注記	126
第 15 表	30号・32号・33号住居址出土土器観察 表	74	第 35 表	22号・25～29号住居址土層注記	127
第 16 表	34～36号住居址出土土器観察表	75	第 36 表	29～32号住居址土層注記	128
第 17 表	38号・41号・43号住居址出土土器観察 表	76	第 37 表	32～34号・37号・38号・40号・41号・ 53号住居址土層注記	129
第 18 表	43号・49号・52号・58号・59号住居址 出土土器観察表	77	第 38 表	53号・54号・46～48号・57号住居址土 層注記	130
第 19 表	59号・61号住居址、33号・37号土坑、遺 構外、37号・44号住居址出土土器観察表	78	第 39 表	57号・50号住居址、12号・18号・19号・ 27号土坑土層注記	131
第 20 表	48号・50号・53号・62号住居址出土土 器観察表	79	第 40 表	遠丸遺跡遺構観察表(1)	132
第 21 表	6号・8号・10号・20～22号住居址土 層注記	88	第 41 表	遠丸遺跡遺構観察表(2)	133
第 22 表	22号・29号・37号・39号・40号・44号・ 45号住居址土層注記	89	第 42 表	1号・2号・4号・5号・7号住居址 出土土器観察表	151
第 23 表	45号・48号・50号・53号・60号・62号 住居址土層注記	90	第 43 表	8～11号住居址出土土器観察表	152
第 24 表	63号住居址、5号・24～27号・30号土坑、 10号・12号・28号満土層注記	91	第 44 表	12～14号住居址出土土器観察表	153
第 25 表	30号満土層注記	92	第 45 表	15～17号住居址出土土器観察表	154
第 26 表	遠地谷戸遺跡遺構観察表(1)	93	第 46 表	17～19号・21号住居址出土土器観察表	155
第 27 表	遠地谷戸遺跡遺構観察表(2)	94	第 47 表	21～27号住居址出土土器観察表	156
第 28 表	遠地谷戸遺跡遺構観察表(3)	95	第 48 表	26～28号住居址出土土器観察表	157
第 29 表	6号・20～22号住居址出土土器観察表	100	第 49 表	28～32号住居址出土土器観察表	158
第 30 表	29号・40号・45号・60号・63号住居址、 11号土坑、12号満出土土器観察表	101	第 50 表	32号・33号・35～37号住居址出土土器 観察表	159
遠丸遺跡			第 51 表	37～39号住居址出土土器観察表	160
第 31 表	1号・2号・5～10号住居址土層注記		第 52 表	39～44号住居址出土土器観察表	161
			第 53 表	44～46号住居址出土土器観察表	162
			第 54 表	47号・48号住居址出土土器観察表	163
			第 55 表	48～50号住居址出土土器観察表	164
			第 56 表	52～54号・57号住居址、一括出土土器、 30号住居址出土石器観察表	165
			第 57 表	遺構外出土繩文土器、弥生土器観察表	167
			第 58 表	天皇塚古墳出土埴輪観察表(1)	173

第 59 表 天皇塚古墳出土埴輪観察表(2) .....	174	第 87 表 灘 1 号古墳出土形象埴輪観察表(3) .....	266
第 60 表 天皇塚古墳出土埴輪・土器観察表 .....	174	第 88 表 灘 2 号古墳出土円筒埴輪観察表 .....	266
第 61 表 市内で検出された張り出し住居観察表 .....	176	第 89 表 遺構外出土縄文土器観察表 .....	267
<b>灘遺跡</b>		第 90 表 灘遺跡出土弥生石器組成表 .....	268
第 62 表 1~4号・7号・8号住居址土層注記 .....	205	第 91 表 灘遺跡出土弥生石器観察表 .....	270
第 63 表 12~14号・17号・20~23号・26号住居址土層注記 .....	206	<b>壱丁田遺跡</b>	
第 64 表 28号・31~34号住居址、1号・2号溝土層注記 .....	207	第 92 表 1~3号・5~8号住居址土層注記 .....	297
第 65 表 3号・5号・6号・9号・13号溝・1号古墳土層注記 .....	208	第 93 表 9号・19~21号・24号・25号・27号住居址土層注記 .....	298
第 66 表 灘遺跡遺構観察表(1) .....	209	第 94 表 30号・31号・35号・37~39号・42号住居址、1号古墳土層注記 .....	299
第 67 表 灘遺跡遺構観察表(2) .....	210	第 95 表 1号溝・3号・4号土坑土層注記 .....	300
第 68 表 遺物集中地点、2号・3号住居址出土土器観察表 .....	231	第 96 表 壱丁田遺跡遺構観察表(1) .....	301
第 69 表 3~5号住居址出土土器観察表 .....	232	第 97 表 壱丁田遺跡遺構観察表(2) .....	302
第 70 表 5号住居址出土土器観察表(1) .....	233	第 98 表 1~3号・5号住居址出土土器観察表 .....	315
第 71 表 5号住居址出土土器観察表(2) .....	234	第 99 表 6~10号・13号住居址出土土器観察表 .....	316
第 72 表 5~9号・11号住居址出土土器観察表 .....	235	第 100 表 14号・16号・17号住居址出土土器観察表 .....	317
第 73 表 12号・13号・15号住居址出土土器観察表 .....	236	第 101 表 19~21号・24号・25号住居址出土土器観察表 .....	318
第 74 表 15~21号住居址出土土器観察表 .....	237	第 102 表 25~28号住居址出土土器観察表 .....	319
第 75 表 21号住居址出土土器観察表 .....	238	第 103 表 29号・31号・34~37号住居址出土土器観察表 .....	320
第 76 表 21~24号住居址出土土器観察表 .....	239	第 104 表 37号・38号・40~42号住居址出土土器観察表 .....	321
第 77 表 25~32号住居址出土土器観察表 .....	240	第 105 表 42号住居址出土土器観察表 .....	322
第 78 表 33号・34号住居址出土土器観察表 .....	241	第 106 表 壱丁田遺跡出土石器組成表 .....	323
第 79 表 34号住居址・溝・古墳・遺構外出土土器観察表 .....	242	第 107 表 壱丁田遺跡弥生石器観察表 .....	325
第 80 表 灘 1 号古墳出土円筒埴輪観察表(1) .....	260	<b>壱丁田 II 遺跡</b>	
第 81 表 灘 1 号古墳出土円筒埴輪観察表(2) .....	261	第 108 表 遺構外・1号列石出土縄文土器観察表 .....	334
第 82 表 灘 1 号古墳出土円筒埴輪観察表(3) .....	262	第 109 表 1~7号住居址土層注記 .....	359
第 83 表 灘 1 号古墳出土円筒埴輪観察表(4) .....	263	第 110 表 8~15号住居址土層注記 .....	360
第 84 表 灘 1 号古墳出土土器観察表 .....	264	第 111 表 16~21号住居址、1~4号溝土層注記 .....	361
第 85 表 灘 1 号古墳出土形象埴輪観察表(1) .....	264		
第 86 表 灘 1 号古墳出土形象埴輪観察表(2) .....	265		

第112表	5号溝・1号古墳土層注記	362	田中遺跡		
第113表	3号・4号古墳、琴平山古墳、1号土坑 土層注記	363	第139表	Y1号・Y8号・Y2号住居址土層注 記	449
第114表	壺丁田II遺跡(16年度・17年度調査分) 遺構觀察表	364	第140表	Y3号・Y20号・Y4号・Y19号住居 址土層注記	450
第115表	1・2・3・4・5・6号住居址出土 土器觀察表	372	第141表	Y4号・Y5号・Y7号住居址土層注 記	451
第116表	7・9・10・12号住居址出土土器觀察 表	373	第142表	Y7号・Y6号・Y9号・Y10号住居 址土層注記	452
第117表	12・13・14・15号住居址出土土器觀察 表	374	第143表	Y10号～13号住居址土層注記	453
第118表	15・16・17・18・20号住居址出土土器 觀察表	375	第144表	Y13号・Y14号・Y17号・Y15号・Y 16号住居址土層注記	454
第119表	21・23号住居址、2号集石、2号土坑、 3号溝、調査区一括出土土器觀察表	376	第145表	Y16号・Y18号・Y21号・Y22号住居 址土層注記	455
第120表	1号古墳出土土器・埴輪觀察表	379	第146表	Y21号～23号・Y27号・Y24号住居址 土層注記	456
第121表	2号古墳出土土器觀察表	379	第147表	Y25号～27号・Y24号・Y41号・Y28 号住居址土層注記	457
第122表	3号古墳出土土器・埴輪觀察表	379	第148表	Y24号・Y27号・Y41号・Y28号～31 号・Y40号住居址土層注記	458
第123表	4号古墳出土土器觀察表	379	第149表	Y31号～34号住居址土層注記	459
第124表	3号溝出土埴輪觀察表	379	第150表	Y34号・Y35号・Y38号住居址土層注 記	460
第125表	琴平山古墳出土円筒埴輪觀察表(1)	402	第151表	Y39号・Y36号・Y37号住居址土層注 記	461
第126表	琴平山古墳出土円筒埴輪觀察表(2)	403	第152表	Y42号・Y43号住居址、1号集石、1号 掘立、1号・3号土坑土層注記	462
第127表	琴平山古墳出土円筒埴輪觀察表(3)	404	第153表	3号・4号・6号・7号土坑、2号柵 列、1号・3号溝土層注記	463
第128表	琴平山古墳出土円筒埴輪觀察表(4)	405	第154表	4号・5号・7号・8号・11号・14号 溝土層注記	464
第129表	琴平山古墳出土円筒埴輪觀察表(5)	406	第155表	田中遺跡遺構觀察表(1)	465
第130表	琴平山古墳出土円筒埴輪觀察表(6)	407	第156表	田中遺跡遺構觀察表(2)	466
第131表	琴平山古墳出土形象埴輪觀察表(1)	407	第157表	田中遺跡遺構觀察表(3)	467
第132表	琴平山古墳出土形象埴輪觀察表(2)	408	第158表	Y1号～4号住居址出土土器觀察表	488
第133表	琴平山古墳出土形象埴輪觀察表(3)	409	第159表	Y4号～7号住居址出土土器觀察表	489
第134表	琴平山古墳出土土器觀察表	409			
第135表	Y1号・Y2号住居址土層注記	411			
第136表	2号古墳、1号埋設土器、3号溝土層注 記	413			
第137表	壺丁田II遺跡(18年度調査分)遺構觀察 表	413			
第138表	Y1号・Y2号住居址、1号埋設土器觀 察表	417			

第160表	Y 7号住居址出土土器観察表	490	第188表	H23号・H24号住居址、1号土坑土層注記	561
第161表	Y 8号～12号住居址出土土器観察表	491	第189表	2～5号・8号土坑土層注記	562
第162表	Y 14号～17号・Y 19号・Y 20号・Y 23号住居址出土土器観察表	492	第190表	11号・14号・15号・17～21号土坑土層注記	563
第163表	Y 23号～29号住居址出土土器観察表	493	第191表	22号・23号・30～37号土坑土層注記	564
第164表	Y 30号・Y 31号・Y 33号・Y 34号住居址出土土器観察表	494	第192表	38号・40号・42号・43号・46～48号・50号土坑、1号溝土層注記	565
第165表	Y 35号～37号・Y 39号～41号住居址出土土器観察表	495	第193表	2～10号・12号溝、1号竪穴土層注記	566
第166表	Y 43号住居址、1号柵列址、埋設土器、グリッド、遺構外出土土器観察表	496	第194表	小日向田中西・白山遺跡遺構観察表(1)	567
第167表	田中遺跡出土石器組成表	497	第195表	小日向田中西・白山遺跡遺構観察表(2)	568
第168表	田中遺跡出土石器計測表	500	第196表	小日向田中西・白山遺跡遺構観察表(3)	569
第169表	権現塚古墳土層注記	502	第197表	H 2号・H 4号・H 5号・H 7号・H 12号・H14号住居址出土土器観察表	583
第170表	権現塚古墳出土鉄製品、金銅製品、玉類観察表	509	第198表	H 15号・H 17号・H18号住居址出土土器観察表	584
<b>田中西・白山遺跡</b>			第199表	H 19号・H 3号・H 6号住居址出土土器観察表	585
第171表	J 3号住居址、1号埋設土器、14号・33号土坑、5号・7号・8号・97号・163号ピット、遺構外出土土器観察表	523	第200表	H 6号・H 8号・H10号・H13号・H16号住居址出土土器観察表	586
第172表	遺構外出土土器観察表(1)	524	第201表	H16号住居址、グリッド、遺構外、H21号・H22号住居址出土土器観察表	587
第173表	遺構外出土土器観察表(2)	525	第202表	H23号・H24号・H20号住居址、遺構外出土土器観察表	588
第174表	編文時代石器観察表	532	第203表	2号・3号・5～7号・10号・12号集石、2号埋設土器、4号土坑土層注記	605
第175表	H 1号住居址土層注記	548	第204表	5～8号土坑土層注記	606
第176表	H 2～H 4号住居址土層注記	549	第205表	遺構外、5号集石出土土器観察表	621
第177表	H 4～H 6号住居址土層注記	550	第206表	5号・1号集石出土土器観察表	622
第178表	H 7～H 9号住居址土層注記	551	第207表	1号・2号集石出土土器観察表	623
第179表	H 9～H11号住居址土層注記	552	第208表	2号・3号・7号集石出土土器観察表	
第180表	H12～H14号住居址土層注記	553			
第181表	H14号・H15号住居址土層注記	554			
第182表	H16号・H17号住居址土層注記	555			
第183表	H18号・H19号住居址土層注記	556			
第184表	H19号住居址土層注記	557			
第185表	H19～H21号住居址土層注記	558			
第186表	H21号・H22号住居址土層注記	559			
第187表	H22号・H23号住居址土層注記	560			

.....	624	.....	722
第209表 7号・8号集石出土土器観察表	625	第239表 H6号・H7号住居址出土土器観察表	
第210表 8号・10～12号集石、3～5号土坑出土 土器観察表	626	.....	723
第211表 6～8号土坑、105号・114号・115号 ピット、1号埋設土器、遺構外出土土器 観察表	627	第240表 H7～H10号住居址出土土器観察表	
.....		.....	724
第212表 遺構外出土土器観察表(1)	628	第241表 H10～H12号住居址出土土器観察表	
第213表 遺構外出土土器観察表(2)	629	.....	725
第214表 遺構外出土土器観察表(3)	630	.....	727
第215表 遺構外出土土器観察表(4)	631	第242表 H12号住居址出土土器観察表	726
第216表 遺構外出土土器観察表(5)	632	第243表 H12～H15号住居址出土土器観察表	
第217表 遺構外出土土器観察表(6)	633	.....	728
第218表 遺構外、6号集石出土土器観察表	634	第245表 H18～20号住居址出土土器観察表	729
第219表 繩文時代石器観察表(1)	662	第246表 H20号・H21号住居址出土土器観察表	
.....		.....	730
第220表 繩文時代石器観察表(2)	663	第247表 H21・H22号住居址出土土器観察表	
第221表 C区1号礫床墓(4号集石・4号溝)土 層注記	670	.....	731
.....		第248表 H22～H25号住居址出土土器観察表	
第222表 グリッド出土土器観察表	670	.....	732
第223表 遺構外出土土器観察表	670	第249表 H25～H27号住居址出土土器観察表	
第224表 H1～H4号住居址土層注記	683	.....	733
.....		第250表 H27～H30号・H33号・H39号住居址 出土土器観察表	
第225表 H4～H8号住居址土層注記	684	.....	734
第226表 H8～H11号住居址土層注記	685	第251表 H30～H32号住居址出土土器観察表	
.....		.....	735
第227表 H11～H14号住居址土層注記	686	.....	
.....		第252表 H32号住居址出土土器観察表	736
第228表 H15～H18号住居址土層注記	687	.....	
.....		第253表 H32号住居址、10号集石、1号・2号溝、 3号土坑出土土器観察表	737
第229表 H19～H21号住居址土層注記	688	.....	
.....		第254表 グリッド、遺構外、一括出土土器・玉類 観察表	738
第230表 H20号・H22～H24号・H28号・H33 号住居址土層注記	689	.....	
.....		<b>上新浜遺跡</b>	
第231表 H24～H29号住居址土層注記	690	第255表 A区・B区基本土層、A区H34号、H35 号住居址土層注記	735
.....		.....	
第232表 H29～H32号住居址土層注記	691	第256表 A区H36号・H37号、B区H38号住居 址、B区1号土坑土層注記	754
.....		.....	
第233表 H32号・H39号住居址、1～3号土坑、 1号溝土層注記	692	第257表 A区H34号・H35号・H36号住居址出 土土器観察表	758
.....		.....	
第234表 2号・3号溝土層注記	693	第258表 A区H37号・B区H38号住居址出土土	
.....		.....	
第235表 小日向田中西遺跡遺構観察表(1)	694	.....	
.....		.....	
第236表 小日向田中西遺跡遺構観察表(2)	695	.....	
.....		.....	
第237表 H1～H3号住居址出土土器観察表	721	.....	
.....		.....	
第238表 H3～H5号住居址出土土器観察表		.....	

器觀察表	759
第259表 上新浜遺跡遺構觀察表	760
(成果と問題点)	
第260表 樽式期竪穴住居址(炉位置を把握できる もの)一覧(1)	766
第261表 樽式期竪穴住居址(炉位置を把握できる もの)一覧(2)	767

## I 調査に至る経過

安中市松井田町小日向地区は、碓氷川の支流である九十九川左岸に位置している。北方の長者久保・上野丘陵と九十九川との間に立地する同地区には、九十九川支流の幾筋かの小河川が東流または南流し、微妙な高低差のある地形が展開している。そのため、田畠は地形の制約を受け、不整形で小規模なものも多い。また、田畠の間の農道も、軽自動車のみ走行可能な幅員のものが大部分である。現代の大型機械化農業に対応できる基盤整備事業は、時代の当然の流れとも言えよう。

平成15年度、西部農業事務所より、県営農村振興総合整備事業（田園居住空間整備）小日向地区に係る埋蔵文化財の取り扱いに関しての照会が松井田町教育委員会にあった。工事を計画している区域は九十九川左岸の段丘上であり、周知の古墳も數基確認されている場所であった。また、平成5年度には、県道の改修工事に伴い2軒の弥生時代後期住居址が検出され（小日向遠地谷戸遺跡）、周辺には当該期の集落の存在が想定されていた。同地区的広域の遺物詳細分布調査は実施されていなかったため、担当者が工事区域の現地踏査を実施した。結果、当該区域の広範な部分において弥生～古墳時代を中心とする遺物の散布が確認された。そこで、県（西部農業事務所）と町教育委員会で調査について協議した結果、遺物散布が認められた微高地を中心に試掘調査を実施することが決定された。また、試掘調査は開発工事を実施する前年の冬期に行うこととした。そして、試掘調査により遺構が確認された場合、切り土・盛り土等工事の内容変更による遺跡保護は不可能という結論にいたり、道水路・切り土等によって破壊される可能性が高い部分については発掘調査を実施し記録保存を図ることとした。平成16年4月28日、西部農業総合事務所と町教育委員会と締結した契約に基づき、16年度調査を開始した。発掘調査は16年度～19年度にわたり実施し、20年度・21年度は整理作業を行った。

## II 調査の方法と経過

### 1 発掘調査

旧松井田町は埋蔵文化財担当職員が1名であったため、大規模発掘調査は民間調査機関へ再委託をして対応していた。本遺跡群の調査においても、16年度・17年度は旧松井田町の従来の方法で民間発掘調査機関へ委託し実施した。平成18年3月、旧松井田町と旧安中市が合併し新安中市が誕生した。以後、発掘調査は旧安中市の方法に則り教育委員会直営調査を原則としているため、18年度・19年度の発掘調査についても同様の方法で実施した。

小日向地区において、過去本発掘調査が実施されたのは、平成5年度の小日向遠地谷戸遺跡発掘調査の1件のみである。この時の調査では、弥生時代後期の竪穴住居址2軒が検出されており、周辺には当該期の集落が展開していると当初から想定された。さらに担当者による遺物分布調査・現地踏査より、九十九川左岸段丘上には、周知の古墳の他にも多数の古墳が存在している可能性が高いことが分かった。これら遺跡地である可能性が高い区域を中心に、工事が実施される前年度の作物収穫後に試掘調査を行い、本調査の範囲を確定した。開発区域の大部分は、耕作されている畑地・水田であったが、本調査を要する部分については地権者に1年間の休耕をお願いし、調査を工事実施年度の前半に行った。

前述のように発掘調査は平成16年度より実施した。遺構測量は光波測量を基本としている。また、遺構の記録写真は、35mmカラーリバーサルフィルム・白黒フィルム・デジタルカメラ等で撮影を行った。作業風景等も適宜撮影した。合併後の18・19年度調査においては、基本的に旧安中市の調査方法に則り実施している。住居址の遺物については、平面的には1～16区に分割し、各区を覆土の厚さにより上位より1層・2層・3層……と分層し取り上げている。グリッドについては国家座標に取り付け、開発区域全域に一辺50mの大グリッドと、それを100に分割した一辺5mの小グリッドを設定した。大グリッドはX=36200.000、Y=-90750.000を北西隅に持つグリッドをA1グリッドとし、東方向へはアルファベットでA・B・C……Z・AA・AB……とし、南方向へは数字で1・2・3……とし、組み合わせて表記した。小グリッドについては、各大グリッドの北西隅から00・01・02……とし、各小グリッドをさらにa～dの4区に分割した（第1図参照）。

## 2 整理作業

整理作業は、平成16～21年度の間断的に行った。作業は発掘調査で得られた図面・写真・出土遺物を整理し、各遺構・遺物の状態が客観的に把握できるように資料化することを主目的として実施した。報告書における遺構・遺物の記載方法は、ほぼ通例に準じている。

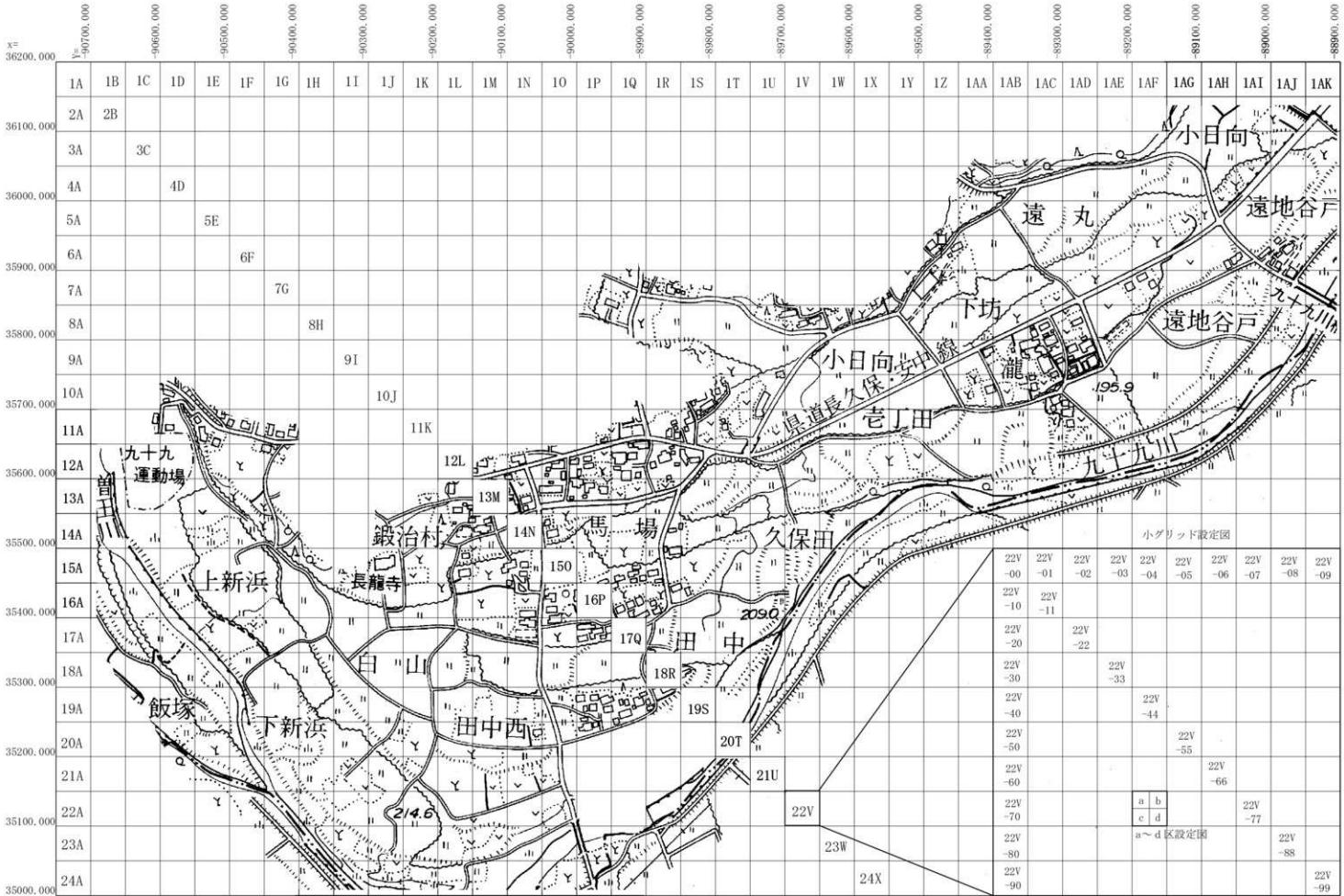
出土遺物は全て水洗いを行い、小破片を除いて注記した。ただし、古墳出土鉄製品・玉類等、石器等の遺物は遺跡名・出土地点等を明記したパッケージに収納した。注記には下記のような略記号を使用した。

遺跡名→小日向遠丸遺跡：OTM、小日向遠地谷戸遺跡：OT、小日向瀧遺跡：OTK、小日向壱丁田遺跡：OI、小日向壱丁田II遺跡：OI II（16年度・17年度調査分）・K-2（18年度調査分）、小日向田中遺跡：K-3、小日向田中西遺跡：K-1（18年度調査分）・K-5（19年度調査分）、小日向白山遺跡：K-4、小日向上新浜遺跡：K-6、住居跡→H 土坑→D ピット→P 溝→M 包含層→包 接合・復元は可能な限り行った。接合にはセメダインCを、復元には必要に応じてエボキシ系樹脂修復剤（バイサム）を用いたが、基本的には補強を目的としているため、必要最小限の復元にとどめている。また、整理作業の効率化を図るため、遺物の水洗・注記・接合・復元・実測・図版作成の一部を伊毛野考古学研究所・前橋文化財研究所・株式会社研に委託して行った。写真図版作成は朝日印刷㈱に委託した。遺物は客観的に時期や特徴を示すものを優先し掲載している。

### 縄文時代の石器の整理方法

縄文時代の石器は、小日向壱丁田遺跡、田中西遺跡（K 1及びK 5）において、中期後半から後期後にかけての遺構及び遺物包含層、古墳時代の住居址覆土から出土した。他の遺跡については、他時期の遺構覆土からの混入によるものが主体で、遺構に伴うものは極めて少ない状態であった。石器の報告は、縄文時代の石器が多数出土し、石器群が把握できる田中西遺跡のみとし、他の遺跡から出土した石器については、概要のみの報告とした。

各遺構出土の石器についても、他時期の混在の可能性もあるため、無理に遺構の時期に帰属させず、遺構出土の石器と遺構外出土の石器に区別し、石器組成の傾向と器種の特徴を示し、他石器群との比較検討が可能となるようにした。石器の分類及び分析方法は、安中市で採用している基準に従った。石器



第1図 小日向地区遺跡群グリッド設定図

の報告は、石器系列組成、器種組成、石材組成を遺構毎に集計・グラフ化し、遺跡全体の傾向を把握することに努めた。石器実測の選別基準は、遺構出土で完形品を優先し、遺構の特徴が把握できるようにし、遺構外については形態的特徴のあるものとした。なお、田中西遺跡では、石器が敷石住居址及び配石・集石に使用されるものも認められた。

(井上 慎也)

石器系列	器種系列(類)	種別	器 種	技術的特徴
打製系列	押圧剥離系列(A類)	石器	石盤 石錐 石匙A類 スクレイバーA類(ScA) リタッヂド・フレイクA類(RFA) 楔形石器 石槍	調整に押圧剥離を多用。
			剥片類 剥片A類 石核A類 原石A類	
		石器	打製石斧 石匙B類 スクレイバーB類(ScB) リタッヂド・フレイクB類(RFB)	調整に直接打撃を多用。
			剥片類 剥片B類 石核B類 原石B類	
	直接打撃系列(B類)			
使用痕系列	形状選択系列(C1類)		凹石 磨石 石盤 球石 部分研磨石器	研磨痕・敲打痕により石器と認識できるもの。
	形状非選択系列(C2類)		敲石 白石 砾石	
複合技術系列	非機能系列(D類)		石斧 棒状器 槍状石器 多孔石 丸石	直接打撃・敲打・研磨を複合的に用いる。
	機能系列(E類)	石器	磨製石斧	
		剥片類	剥片E類 石核E類 原石E類	
	装身具系列(F類)	石器	重飾 块状耳饰 管玉 勾玉 石製円盤 各體石製品 ストーン・リタッチャー	
		剥片類	剥片F類 原石F類	

第1表 繩文時代石器器種分類表

石材系列	石 材	石材の特徴
I類 涼離最適系列	黒曜石 チャート 硬質頁岩 黒色安山岩 めのう・玉隨 鉄石英(赤玉・黄玉) 硬質岩 流紋岩(硬質)	硬質で粘度が少ない。 剥片剥離に最も適する。 剥離面は極めて平滑で、エッジは鋭利。
II類 涼離適合系列	頁岩類(泥岩・シルト岩) 硬質砂岩 輝綠凝灰岩 ホルンフェルス	多少軟質でやや粘度がある。 剥離に適する。 剥離面はやや平滑で、エッジはやや鋭利。
III a類 涼離不適系列	安山岩類 石英閃綠岩	やや軟質で粘度がある。 剥離に不適である。 割れ面は粗面で、エッジは鋭利でない。 耐火性に富む。
III b類 涼離不能系列	砂岩(牛伏砂岩) 凝灰岩	軟質で粘度がない。 剥離に極めて不適である。 割れ面は粗面で、エッジは鈍い。
IV類 節理系列	結晶片岩類	硬質な部分と軟質な部分があり、粘度はややある。 節理で剥離に方向性があり、やや不適である。 剥離面の鋭利さは方向に左右され一定ではない。
V類 繊密質系列	緑色岩類 蛇紋岩 蛇灰岩	繊密質で比較的の硬質で、粘度もある。 剥離にあまり適さない。 剥離面は粗面で、エッジはやや鋭利。
VI類 その他	翡翠 滑石 輕石 礁岩 軟質泥岩 溶岩 石英斑岩 珪化木 石英 緑色凝灰岩(グリーンタフ) 黒雲母流紋岩(下呂石) 斜長石	比較的希少な多種多様な石材。

第2表 繩文時代石器石材分類表

#### 弥生時代の石器の整理方法

小日向丸遺跡、小日向遠地谷戸遺跡、小日向志丁田遺跡、小日向瀧遺跡、小日向田中遺跡では、出土遺物の中に弥生時代の可能性がある石器も混在していることが判明した。ただし、田中遺跡以外は、住居址出土でも覆土一括及び調査時における精度の問題もあり、出土した石器が全て弥生時代に帰属するとは言い難い。したがって、各遺跡で各住居址を中心に弥生時代の石器として認識できたもののみを集計し、遺跡全体の石器組成を示し、石器群の傾向を把握することにした。

弥生時代の石器としたものは、住居址出土を優先して選び出し、繩文石器との型式学的矛盾は無いかを検討してから、弥生時代の石器の可能性が高いものだけとした。少しでも繩文時代の可能性が残るものは、除外している。なお、石器の分類は、安中市で採用している繩文時代の石器分類基準を用い、必要に応じて弥生時代の石器に適用させながら分類をおこなった。

(井上 健也)

### III 遺跡の地理的・歴史的環境

#### 1 地理的環境

安中市松井田町は北西部から南西部にかけて1000mを超える山々に囲まれている。この一帯からは多数の小河川が流出しており、これらは合流を重ねつつ平野部にいたり、碓冰川・九十九川となり、さらに東流する。小日向地区は、九十九川とその支流増田川の合流点東側に位置している。

小日向地区周辺の九十九川左岸は、低位段丘上は水田に、中位段丘上は住宅地・水田・畑地に、そして、長者久保・上野丘陵の末端部分とも言える上位段丘上は畑地に主に利用されている。今回の土地改良事業は、下位段丘～中位段丘の範囲で実施され、主に中位段丘上で集落・古墳等が確認されている。一方、開発地の南には九十九川が流れ、さらにその南には松井田丘陵が並走している。遺跡の所在地は、安中市松井田町小日向字遠地谷戸1161-7他である。遺跡地の西には妙義山・浅間山・長野県境の山々を一望できる。

#### 2 歴史的環境

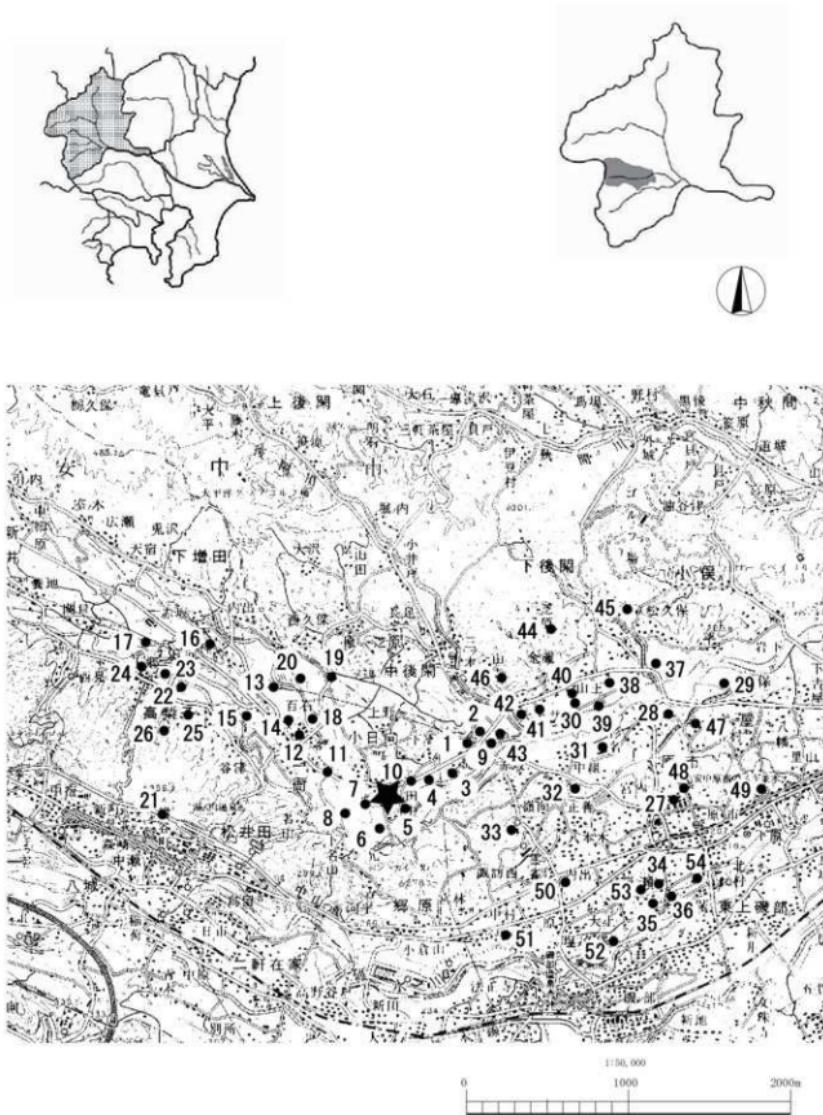
本遺跡群の周辺では、縄文時代～奈良・平安時代を中心に多くの遺跡が確認されている。それらについて概観する（括弧内数字は第3表及び第2図に対応する）。

本遺跡群（★）の西、細野丘陵の末端部分には国衙遺跡群が所在する。国衙遺跡群を構成する遺跡としては、下増田上田中遺跡（13）・下増田下田中遺跡（14）・国衙森浦朝日遺跡（15）・下増田松原遺跡（12）等があげられる。また、古代律令体制期の官道である東山道は本地域を通過していたとする考えもある。さらに、本遺跡群でも国衙遺跡群でも、多数の古墳の存在が確認されている。

本遺跡群の北西に位置する増田川左岸においては、下増田百石遺跡（18）・下増田下原遺跡（19）・下増田十二平遺跡（20）等が調査されている。南西方向の碓冰川との分水嶺を成す松井田丘陵上には、奈良・平安時代の良好な資料が出土している愛宕山遺跡（21）が存在する。

目を東から南に転じると、九十九川流域においては弥生～古墳時代の大集落である古屋地区遺跡群（29）、同遺跡と一連の集落と考えられる杉名薬師遺跡（28）、奈良・平安時代集落の嶺・下原遺跡（31）、同時期の大型掘立柱建物址が検出された銀治ヶ嶺遺跡（33）等が確認されている。

また、今回の調査においては多数の6世紀代古墳が確認された。本地区に東接する後閑地区の後閑3号古墳（30）と、西接する下増田地区の下増田上田中1号古墳は、ともに6世紀初頭築造のT字型石室を有する古墳である。



第2図 周辺の遺跡位置図

- 1 「国際遺跡群」1992 松井田町教育委員会
  - 2 「下増田松原遺跡」2006 松井田町教育委員会
  - 3 「下増田天守閣遺跡」1993 井手町町教育委員会
  - 4 「小日向赤道谷口遺跡」1994 松井田町教育委員会
  - 5 「下増田原跡」2001 井手町町下増田原遺跡調査会
  - 6 「安里山遺跡」2000 群馬県教育委員会・財團法人馬鹿廬整理文化財調査事業団
  - 7 「西梨子地区遺跡群」2008 安中市教育委員会
  - 8 「西梨子三次遺跡群」1998 松井田町埋蔵文化財調査会
  - 9 「清水1~VII遺跡」2000 安中市教育委員会
  - 10 「杉名塚遺跡群」2006 安中市埋蔵文化財調査団
  - 11 「古屋地区遺跡群」2006 安中市教育委員会
  - 12 「八十九川右岸遺跡群」2004 安中市教育委員会
  - 13 「櫛木畠右岸発掘調査報告書」2006 安中市教育委員会
  - 14 「駒平II遺跡発掘調査報告書」2005 安中市教育委員会
  - 15 「東上里遺跡群発掘調査報告書」2003 安中市教育委員会

第3表 周辺の遺跡一覧

## IV 層序

### 1 基本層序

- 本遺跡地の土層は大きく以下の7層に分類できる。
- 第I層 褐灰色土 As-A混。水田耕作土。粘質。
  - 第II層 褐色土 As-B混。
  - 第III層 明褐色土 As-B一次堆積。
  - 第IV層 黒褐色土 粘質。
  - 第V層 黒色土 白色バミスが混入する場合あり。
  - 第VI層 暗褐色土 しまりあり。
  - 第VII層 黄褐色土 地山のローム。



第3図 基本土層模式図

本遺跡群の主体をなす弥生時代後期住居址はVI層上面付近で確認している。

また、遠地谷戸遺跡（16年度調査分）、天皇塚古墳、灌遺跡、壺丁田II遺跡（16年度・17年度調査分）の報告の中で用いている基本層序は以下のとおりである。

- 第I層 表土
- 第II層 旧耕作土 As-A 多く含む。酸化。
- 第III層 黒褐色土 As-B 非常に多く含む。中世の耕作土に比定。
- 第IV層 As-B
- 第V層 黒色土 粘性強い。
- 第VI層 灰黄褐色土
- 第VII層 黒色土 As-C 多く含む。
- 第VIII層 黒色土
- 第IX層 黒褐色土
- 第X層 ローム

## V 遺跡群の概要

### 1 概要

本遺跡群の発掘調査は、平成16年度から19年度までの4年間で実施した。縄文時代中期から平安時代まで、4年間で検出された住居址数は326軒に及ぶ。時代毎の住居址軒数内訳は、縄文時代中期～後期7軒、弥生時代中期～後期180軒、古墳時代129軒、奈良・平安時代10軒である。調査結果からは、各時代毎に居住域が移動している様子が看取できる。即ち、縄文時代中期～後期は田中西遺跡、主体をなす弥生時代後期は、遺跡群の東部から中央部（遠地谷戸遺跡・灌遺跡・壺丁田遺跡・壺丁田II遺跡・田中遺跡）に遺構が集中する。古墳時代住居址は4世紀代のものは遺跡群西端の上新浜遺跡に、5～6世紀代



第4図 小日向地区遺跡群遺跡位置図・調査年度

のものは東部の遠丸遺跡に、6～7世紀代のものは西部の田中西遺跡・白山遺跡に集中する。さらに、奈良・平安時代の住居址も田中西遺跡周辺に集中している。

特徴的な遺構を時代毎に概観する。

縄文時代では、壺丁田遺跡において中期末葉の配石遺構が検出されている。また、田中西遺跡では中期末葉の敷石住居址・後期中葉の敷石住居址・石郭墓が確認された。

弥生時代では、田中西遺跡において礪床墓が検出された。出土遺物が赤色塗彩された土器片2点のみであり時期の断定は難しいが、周辺からの出土遺物・他遺跡の類例等から、後期の所産である可能性が考えられる。田中遺跡においては、10基の円形溝が検出された（弧状に検出されたものも含む）。この遺構は径10m前後の円形溝底部に、一定間隔にピットが並ぶものであり、遺構確認面によっては、円形柱穴列状を呈する。同遺構の性格については類例もなく不明であるが、弥生時代後期の集落が遺跡群広範に展開する中、田中遺跡においてのみ確認されている点は看過できない。この遺構の築造時期について、出土遺物が少なく断定が難しいが、弥生時代後期～古墳時代前期の可能性が高いと考えられる。

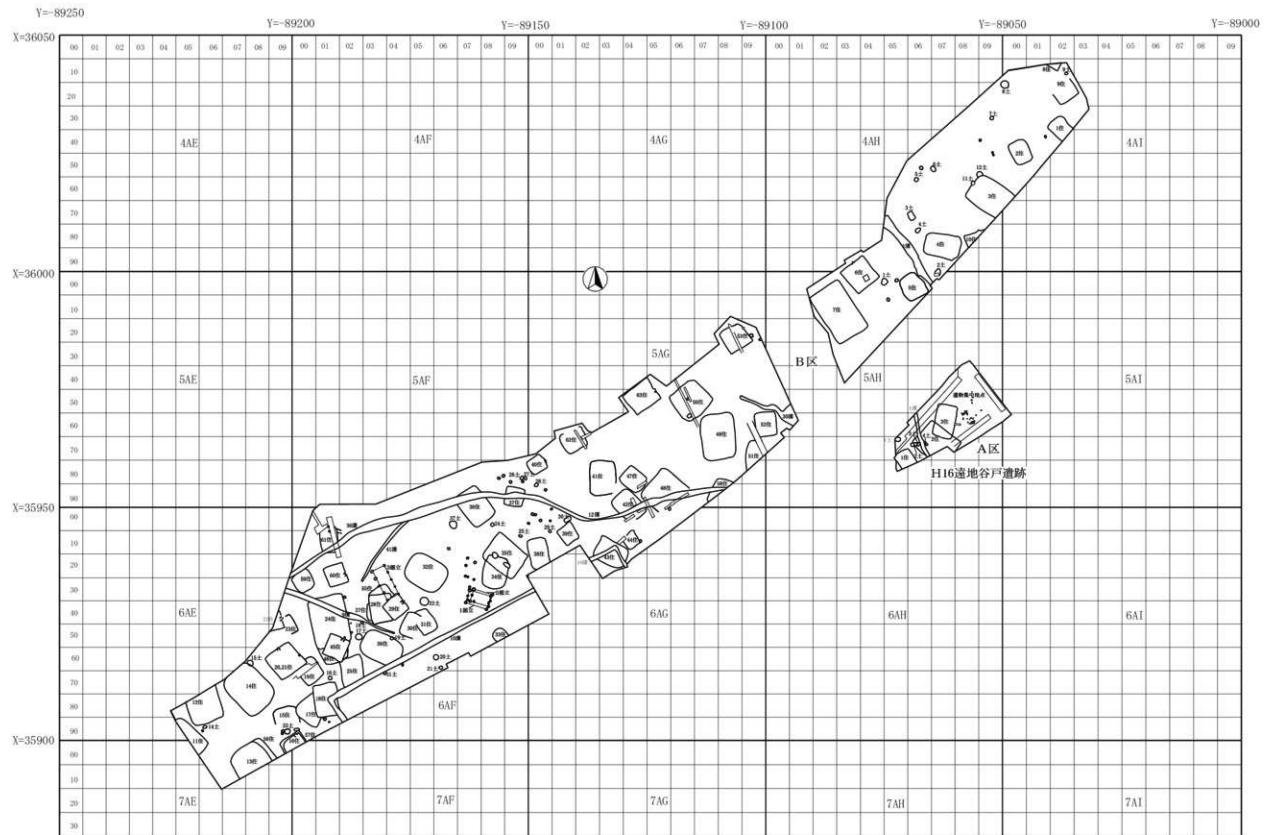
古墳時代では、遠丸遺跡において市内では3例目となる張り出し部を有する住居址が3軒検出された。また、今回の調査においては10基の古墳が調査されたが、6世紀前半の築造と推定されるものも多い。この中で、琴平山古墳は全長50m強の前方後円墳であり、九十九川流域においては最古・最大級であることが確認された。さらに、同古墳・瀧遺跡1号古墳からは、人物・馬・盾等の形象埴輪が多数出土した。特に、琴平山古墳から出土した石見型盾は、県内3例めと考えられる貴重な発見である。

奈良・平安時代では、田中西遺跡において8点の墨書き土器が出土した。そのうちの5点は16号住居址からの出土であり、「忠」の文字の墨書きが複数点確認されている。

各遺跡の詳細については、次章で遺跡毎に記す。

## VI 遺構と遺物

### I 小日向遠地谷戸遺跡



第5図 小日向遠地谷戸遺跡全体図・グリッド設定図

0 1:800 40m

## VI 遺構と遺物

### 1 小日向遠地谷戸遺跡

#### (1) 概 要

平成5年度、県道長者久保・安中線改修工事に伴い2軒の弥生時代後期住居址が調査されており、当初より本遺跡周辺には当該期集落が展開すると想定されていた。本遺跡の北側には、小規模な沢が九十九川に並行するように南西から北東へ流下している。遺跡地はこの沢と九十九川に挟まれた微高地上に位置している。本遺跡の主体をなすのは弥生時代後期～古墳時代初頭の竪穴住居址群である。本遺跡の調査は、平成16年度・17年度の2カ年にわたり実施された。平成16年度に調査をした県道以南をA区、17年度調査の県道以北をB区と呼称する。調査の結果、A区では弥生時代中期～古墳時代前期住居址3軒、B区では弥生時代中期後半住居址1軒、弥生時代後期～古墳時代前期住居址49軒、古墳時代後期住居址9軒等が確認された。

なお、平成16年度に周囲の調査を実施した天皇塚古墳（九十九1号墳）は、本遺跡が所在する微高地北東端に位置する。その所在地の小字名は遠地谷戸であり、本遺跡に含まれるものであるが、位置関係より「小日向遠丸遺跡」において報告する。

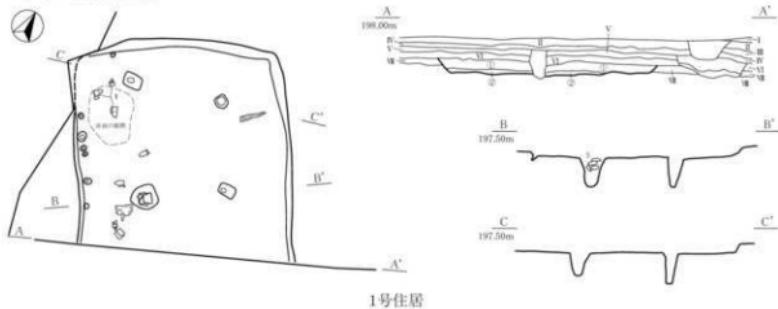
#### (2) 弥生時代～古墳時代前期

両区合わせて53軒の竪穴住居址が検出された。弥生時代竪穴住居址の大部分は、後期樽式期の所産であり、A区1号住居址とB区9号住居址の2軒が中期後半栗林式期所産と考えられる。樽式期竪穴住居址群は、本遺跡より西方の田中遺跡までの広範囲に展開し、大集落を形成している。

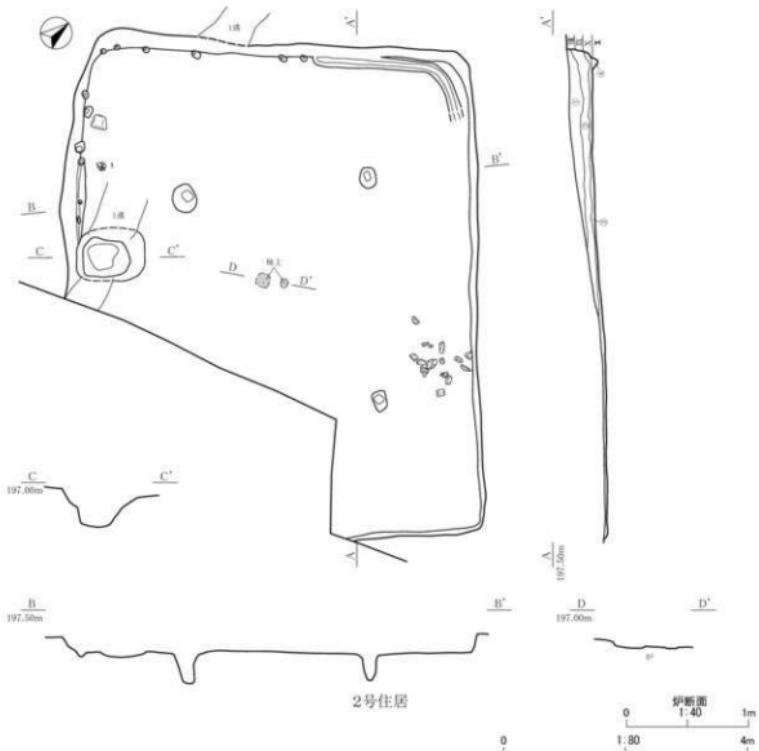
#### (3) 古墳時代

B区において9軒の後期所産竪穴住居址が検出された。小さな谷地を挟んで北に位置する遠丸遺跡では、後期の竪穴住居址が55軒検出されており、他時期の遺構は確認されていない。しかし、本遺跡では弥生時代後期の竪穴住居址が主体をなし、古墳時代後期の竪穴住居址は散在する程度である。この時期の集落の中心は遠丸遺跡であり、同遺跡と谷を挟んだ台地に立地する本遺跡は、中心集落の縁辺部に疎らに營まれた集落という位置づけになろう。

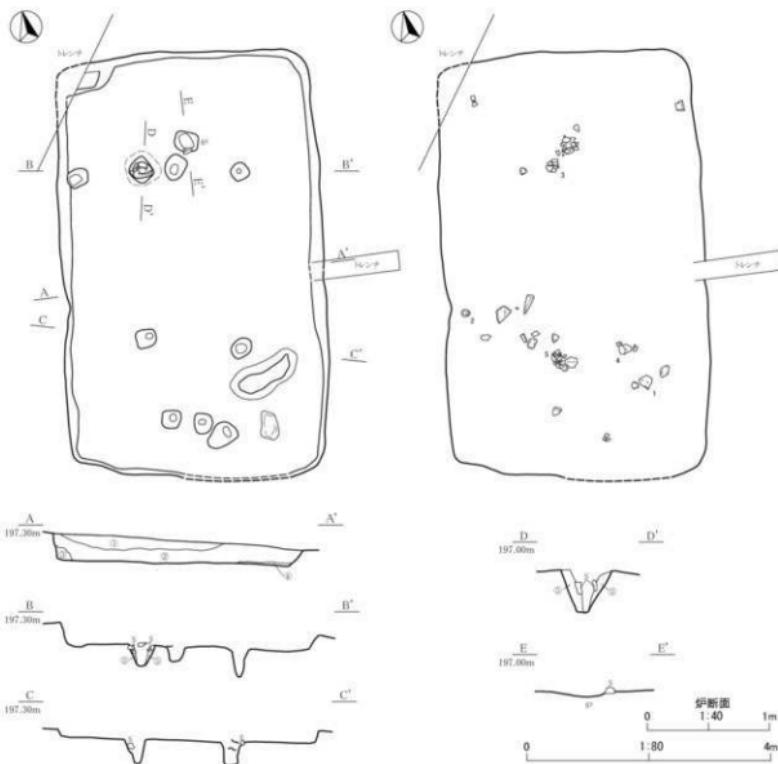
A区(16年度調査分)



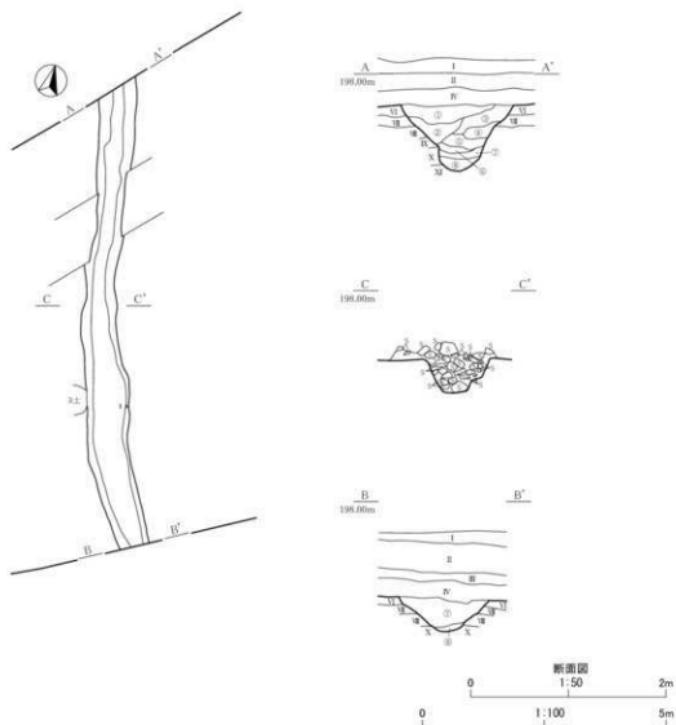
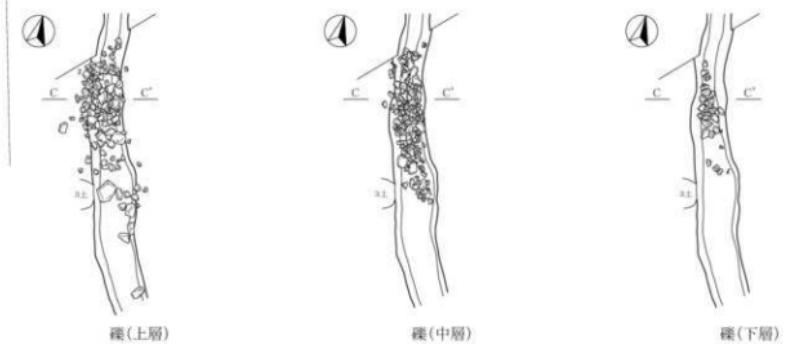
1号住居



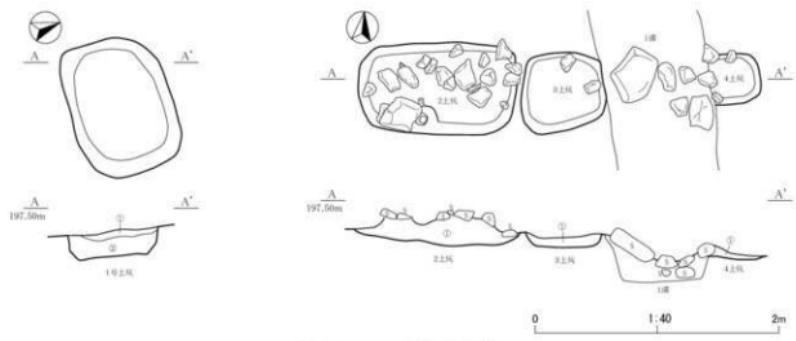
第6図 1号・2号住居址実測図



第7図 3号住址実測図



第8図 1号溝実測図



第9図 1～4号土坑実測図



第10図 遺物集中地点実測図

## 1号住

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒褐色土	炭化粒・焼土粒少量含む	
2	黒色土	炭化粒・焼土粒多量に含む	

## 2号住

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒色土	As-C 鉛石・小石多量に含む	
2	黒褐色土	As-C 鉛石多量に含む	
3	黒色土	焼土粒多量、As-C 鉛石・炭化粒少量含む	
4	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	壁周溝

## 3号住

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒色土	土器片多量、ローム粒・炭化粒少量含む	
2	黒褐色土	炭化粒・焼土粒・ローム粒少量含む	
3	黒色土	ローム粒少量含む	粘土質
4	黒褐色土	ローム粒多量、焼土粒少量含む	
5	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	柱穴掘り方

## 1号土坑

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒色土	As-C 鉛石少量含む	
2	暗褐色土	As-C 鉛石・炭化粒少量含む	

## 2号土坑

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒褐色土	粗砂・小石多量、As-C 鉛石少量含む	

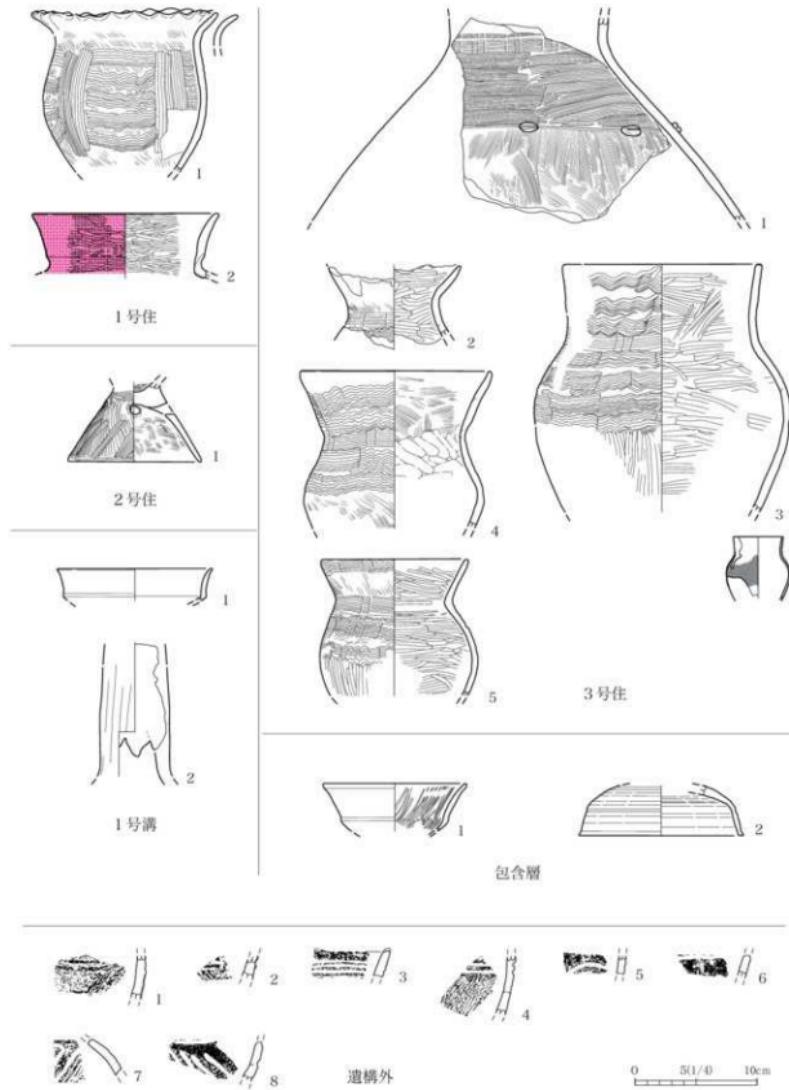
## 3号土坑・4号土坑

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	灰褐色土	As-C 鉛石・粗砂・小石少量含む	

## 1号溝

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒褐色土	As-C 鉛石・小石多量に含む	
2	黒褐色土	As-C 鉛石多量に含む	
3	黒褐色土	As-C 鉛石・焼土粒・土器片多量に含む	
4	黒褐色土	As-C 鉛石・焼土粒多量に含む	
5	黒褐色土	As-C 鉛石・焼土粒多量、小石少量含む	
6	黒褐色土	As-C 鉛石・焼土粒・砂利少量含む	
7	黒色土	砂利多量に含む	
8	砂利と小礫		

第4表 1～3号住居址、1～4号土坑、1号溝土層注記



第11図 1～3号住居址、1号満、包含層、遺構外出土土器実測図

## 1号住

番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3船土4残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 14.9 底径 - 高さ -	①普通2色調3片引・チャート・バミスの瓶～細砂4口縁部～胴部2/3	外側 袋足口縁部削り、胴部斜削毛目→2段1組の脚底垂下文4カ所(右→左)→5段の波状文(上→下)、脚底は6箇/2mmで共通。 内側 袋足口縁部削り、胴部斜削毛目→まばらな横筋磨き。	北西部 床面
2	土器器 甕	口径 (15.0) 底径 - 高さ -	①普通2色調3チャート・バミスの瓶～細砂4口縁部瓶片	外側 口縁部横削毛目→垂形・横筋磨き。 内側 口縁部横削毛目→横筋磨き。	覆土

## 2号住

番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3船土4残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	土器器 甕	口径 - 底径 10.7 高さ -	①普通2色調3チャート・バミスの瓶～細砂4口縁部	脚底4方に崩成前穿孔。 外側 脚底横削毛目→脚底露磨き。 内側 脚底斜削毛目。	西部床面

## 3号住

番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3船土4残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2色調3石英・チャート・バミスの瓶～細砂4口縁部～胴部瓶片	外側 胸部斜削毛目→脚底3連止歛状文→肩部5～8段の脚底直線文(上→下、一部波状文)→脚底下端屈曲沈線文→腰円形貼付文→貼付文上に屈曲沈線。脚底は10箇/14mmで共通。 内側 脚底斜削毛目。	東南端 床面
2	弥生土器 甕	口径 (10.6) 底径 - 高さ -	①普通2色調3石英・チャート・バミスの瓶～細砂4口縁部～胴部瓶片	肩部欠損部の整形(倒立土器台に転用)。 外側 口縁部横削毛目→脚部等脚底垂下文(外側13mm)→脚底波状文。 内側 口縁部横削毛目→横筋磨き。	西北端 床面
3	弥生土器 甕	口径 (16.1) 底径 - 高さ -	①普通2色調3石英・チャート・バミスの瓶～細砂4口縁部～胴部1/2	肩部斜削状による崩れ。外側 脚底3連止歛状文→口縫部3段2/3状複合付。 内側 口縫部→脚底斜削毛目→横筋磨き。	中南側 床面
4	弥生土器 甕	口径 15.4 底径 - 高さ -	①普通2色調3石英・チャート・バミスの瓶～細砂4口縁部～胴部中位	外側 口縫部横削で一部脚部斜削毛目→脚底11分割の2連止歛状文→口縫部2段(下→上)・肩部2段(上→下)の波状文。脚底は8箇/15mmで共通。 内側 口縫部→脚底斜削毛目。脚底指揮で。	柱抜き取り 後
5	弥生土器 台付甕	口径 11.8 底径 - 高さ -	①普通2色調3石英・チャート・バミスの瓶～細砂4口縁部～胴部中位3/4	外側 口縫部→脚底斜削毛目→脚底6分割の2連止歛状文→口縫部1段・肩部2段の波状文。脚底は9箇/15mmで共通。全体に被熱。 内側 口縫部→脚底斜削毛目。	南部床面

## 1号溝

番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3船土4残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	土器器 甕	口径 (12.6) 底径 - 高さ -	①普通2色調3石英・チャート・赤鉄の瓶～細砂4口縁部～体部の瓶片	外側 磨削。 内面 磨削。	覆土
2	土器器 高甕	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2色調3石英・チャートの瓶～細砂4口縁部	外側 脚部縱磨り。 内面 脚部磨擦。	覆土上層

## 包含層

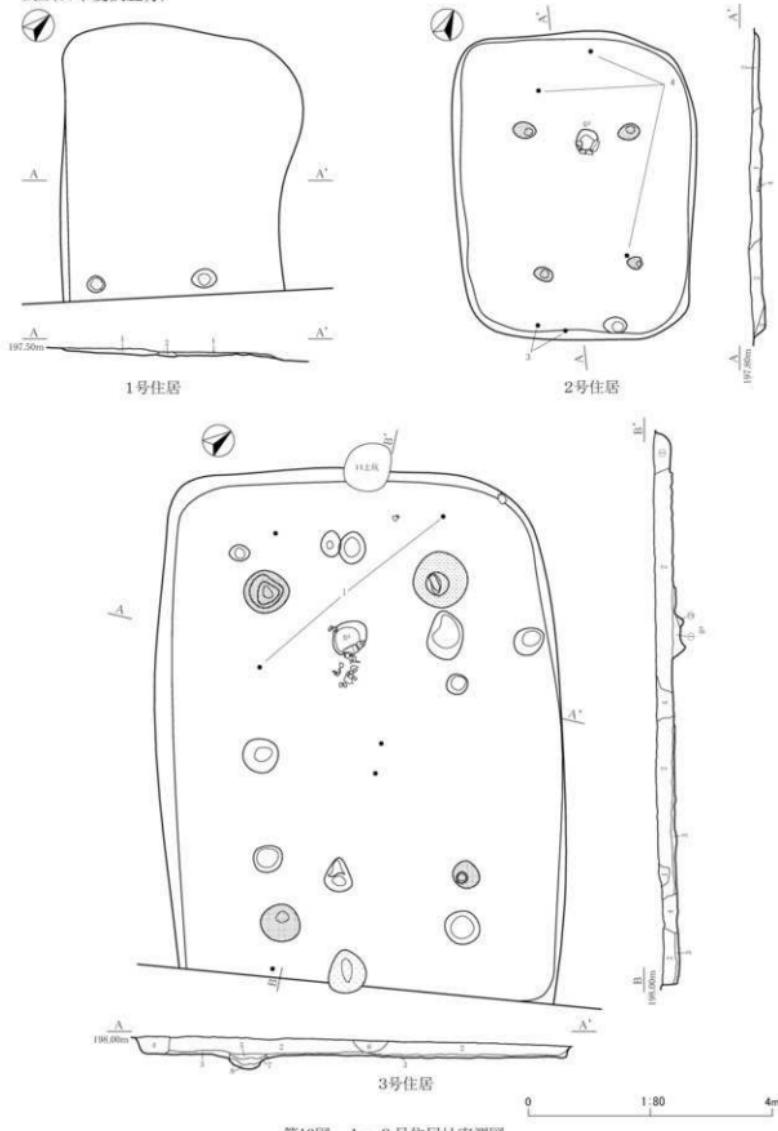
番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3船土4残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	土器器 甕	口径 (11.6) 底径 - 高さ -	①焼成化・無黒斑2色赤褐色3石英・砂粒の瓶～細砂4口縁部～体部の瓶片	外側 口縫部横削で、体部凹削り。 内面 口縫部～体部縱磨き。	包含層
2	須恵器 杯	口径 (13.5) 底径 - 高さ -	①選元2色赤3/バミスの瓶～細砂4体部～口縫部の瓶片	外側 天井部圓柱削り、薄く斜削。 内面	包含層

## 遺構外出土縄文土器

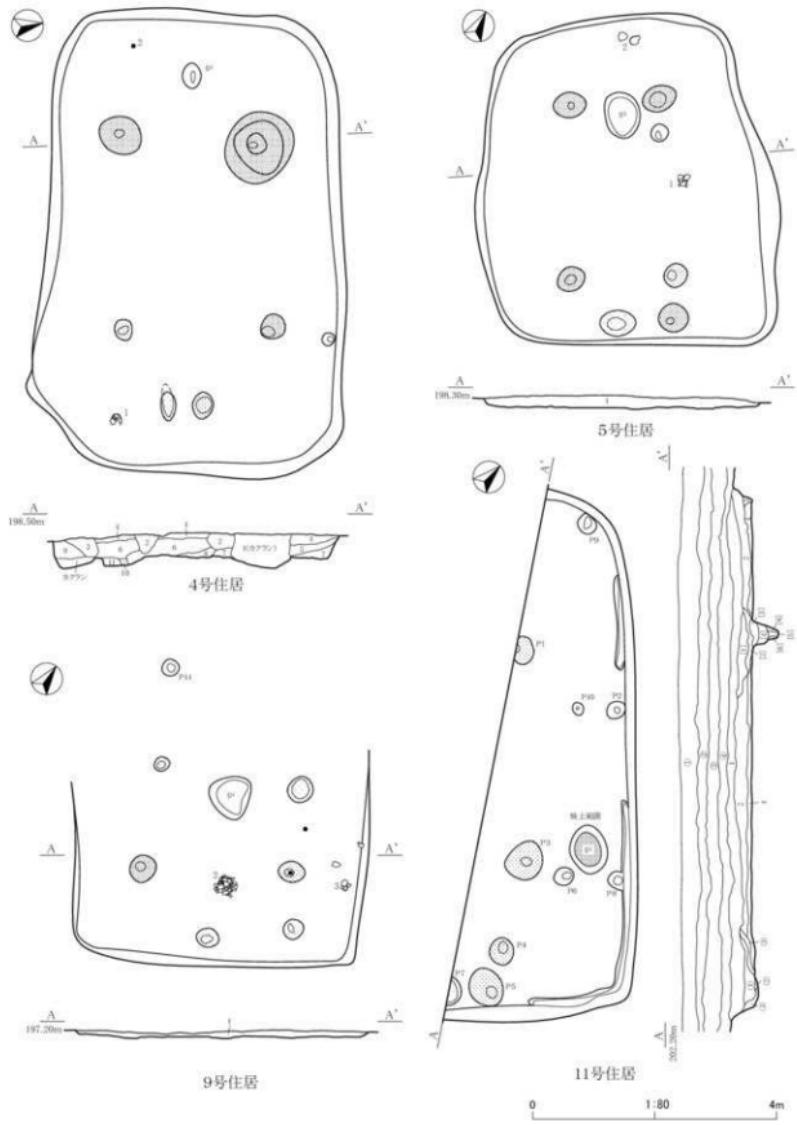
番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3船土4残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2色調3石英・砂粒・4胴部	RL織文施文化後、孤窓に浮縫を絞る。縦線上にRL織文を施す。内面は横位のナデ。	5AH-67-09
2	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①不良2色赤3チャート・白色砂	RL織文施文化後、浮縫を横位に貼付。内面は横位のナデ。	5AH-58-09
3	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①良好2色黃色3石英・チャート・砂粒4口縫部	口縫部に小突起。3条の横位沈継。一番上の沈継は口縫部の突起に合わせ、上方に屈曲する。内面は横位のナデ。	5AH-67-24
4	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2色調3角閃石・砂粒・4胴部	LR織文施文化後、3条の横位沈継。内面は横位のナデ。	2号住居跡 覆土
5	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2色調3角閃石・砂粒・4胴部	弧状の沈継。内面は横位のナデ。	5AH-67-06
6	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①不良2色赤3角閃石・砂粒・4胴部	横位沈継。内面は横位のナデ。	5AH-67-06
7	圓文土器 壺	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2色調3石英・角閃石・砂粒・4胴部	この字、斜位の太い沈継。斜位の太い沈継の区画内は細い斜位の沈継で充填。内面は横位のナデ。	5AH-67-06
8	圓文土器 壺	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2色調3石英・角閃石・砂粒・4胴部	斜位の沈継。内面は横位のナデ。	1号住居跡 覆土

第5表 1～3号住居址、1号溝、包含層、遺構外出土土器観察表

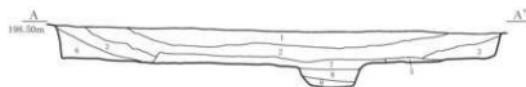
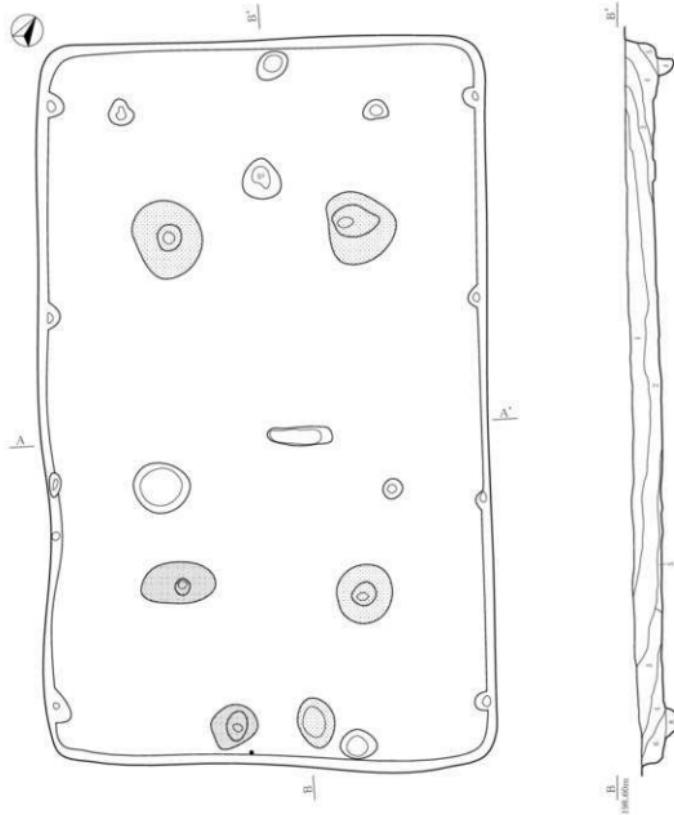
B区(17年度調査分)



第12図 1～3号住居址実測図



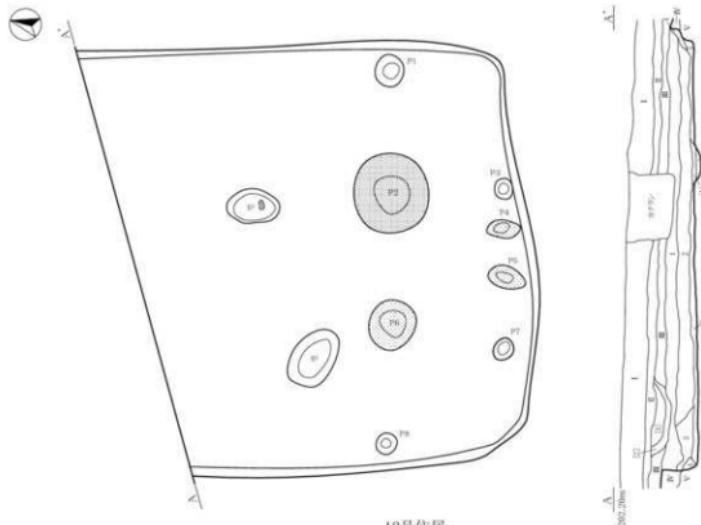
第13图 4号・5号・9号・11号住居址実測図



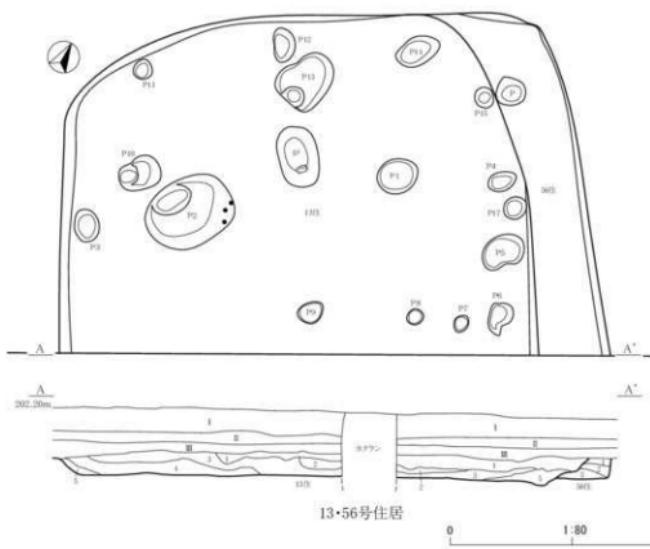
7号住居

第14图 7号住居址实测图

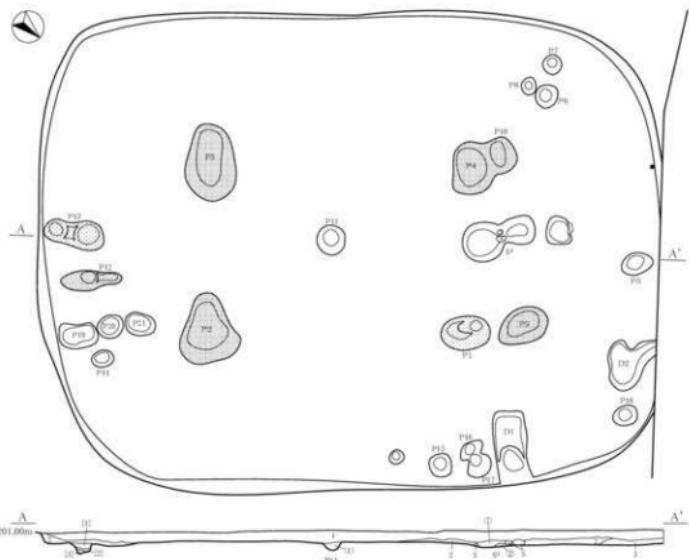
0 1:80 4m



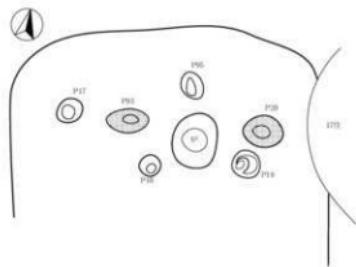
12号住居



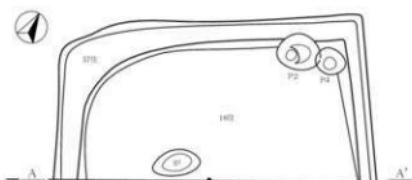
第15図 12号・13号・56号住居址実測図



14号住居



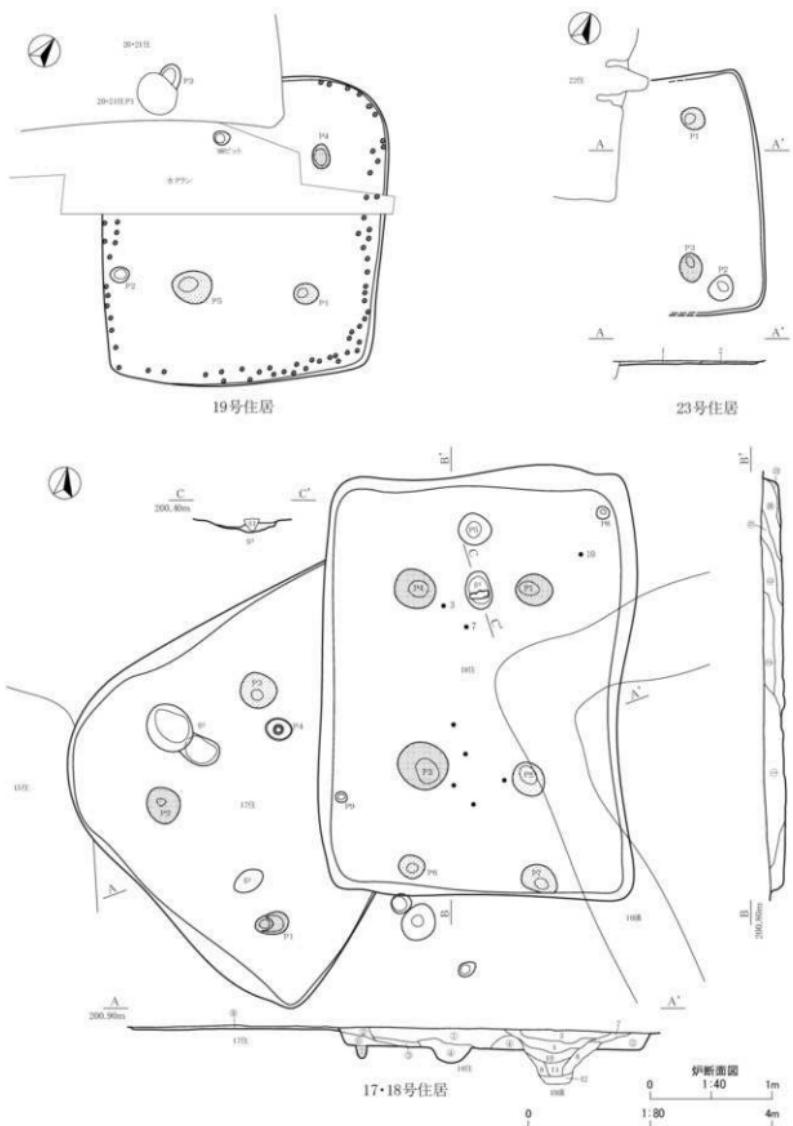
15号住居



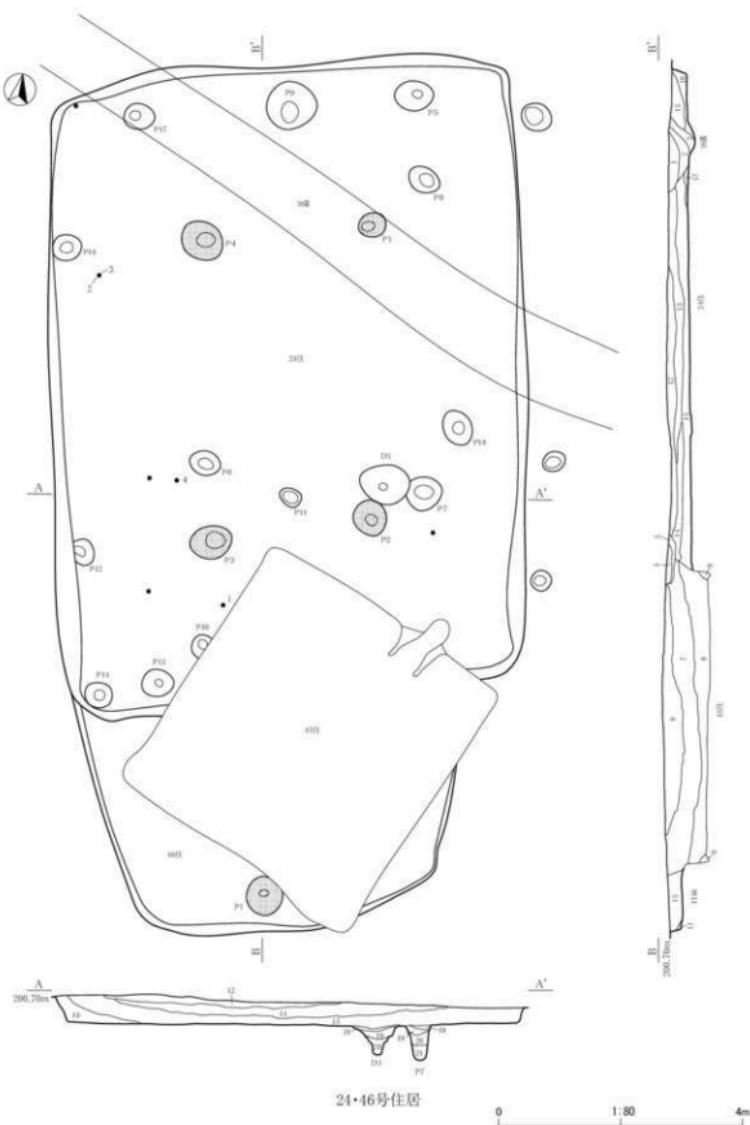
16・57号住居

0 1:80 4m

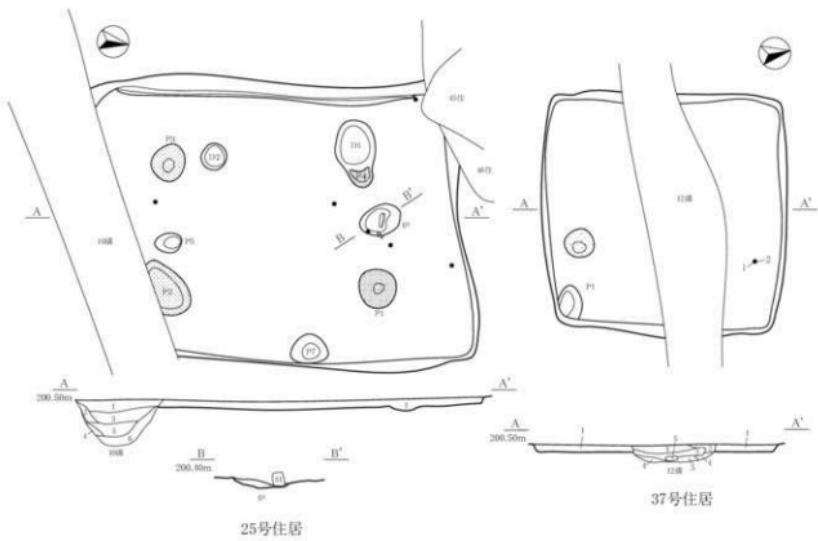
第16図 14～16号・57号住居址実測図



第17図 17～19号・23号住居址実測図

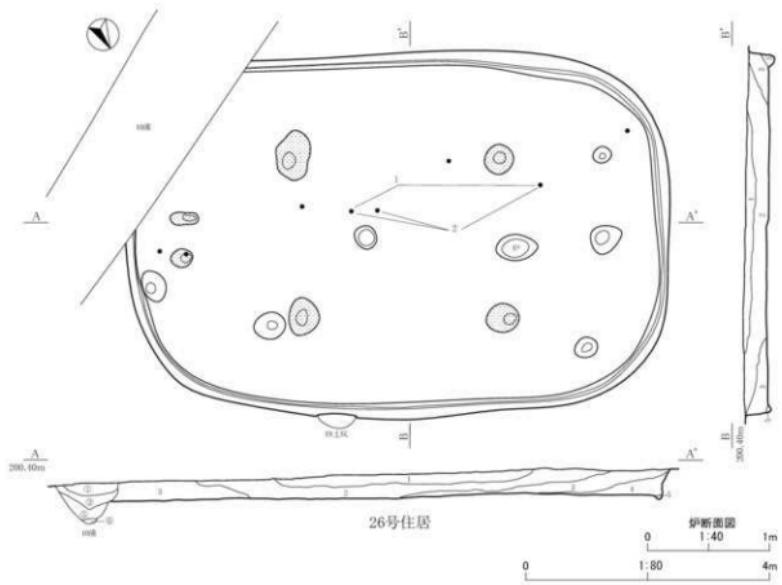


第18図 24号・46号住居址実測図

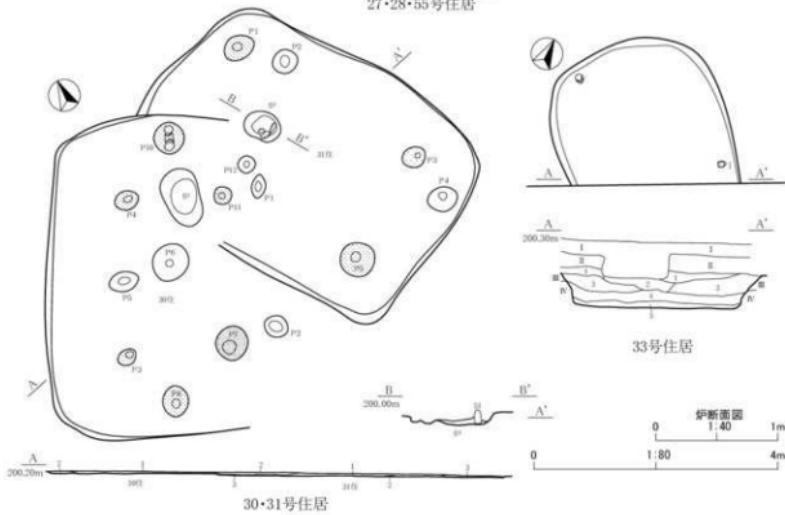
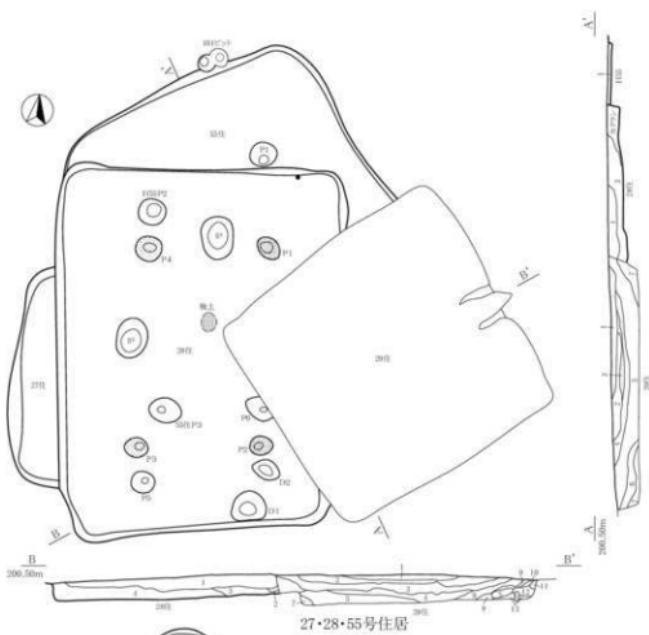


25号住居

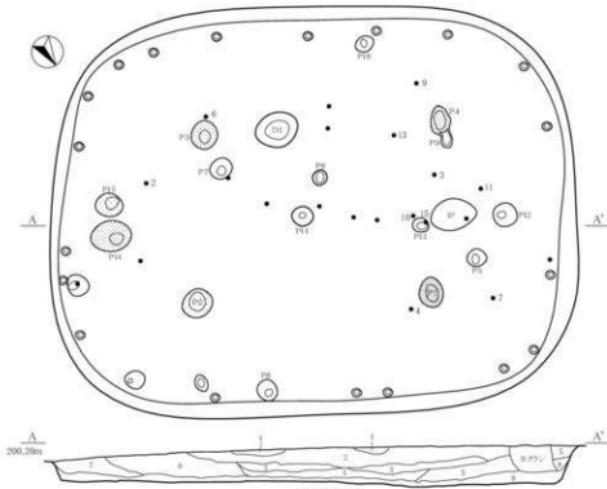
37号住居



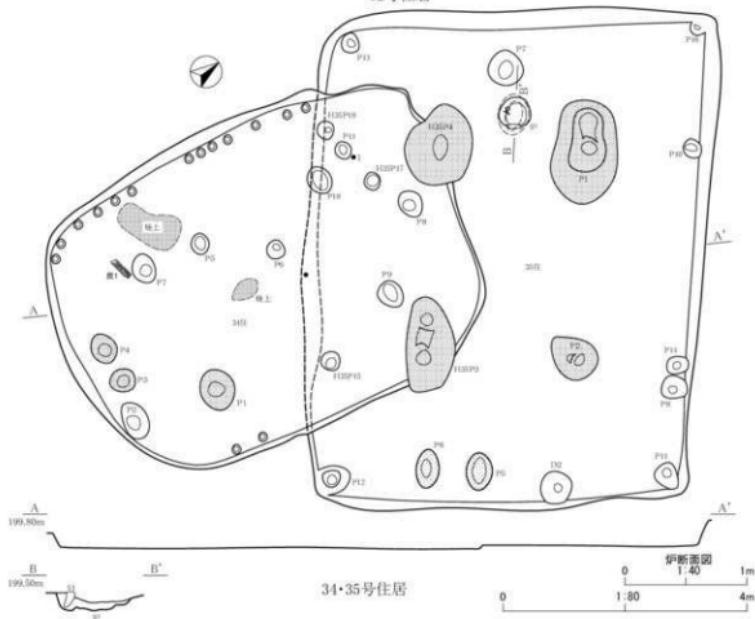
第19図 25号・26号・37号住居址実測図



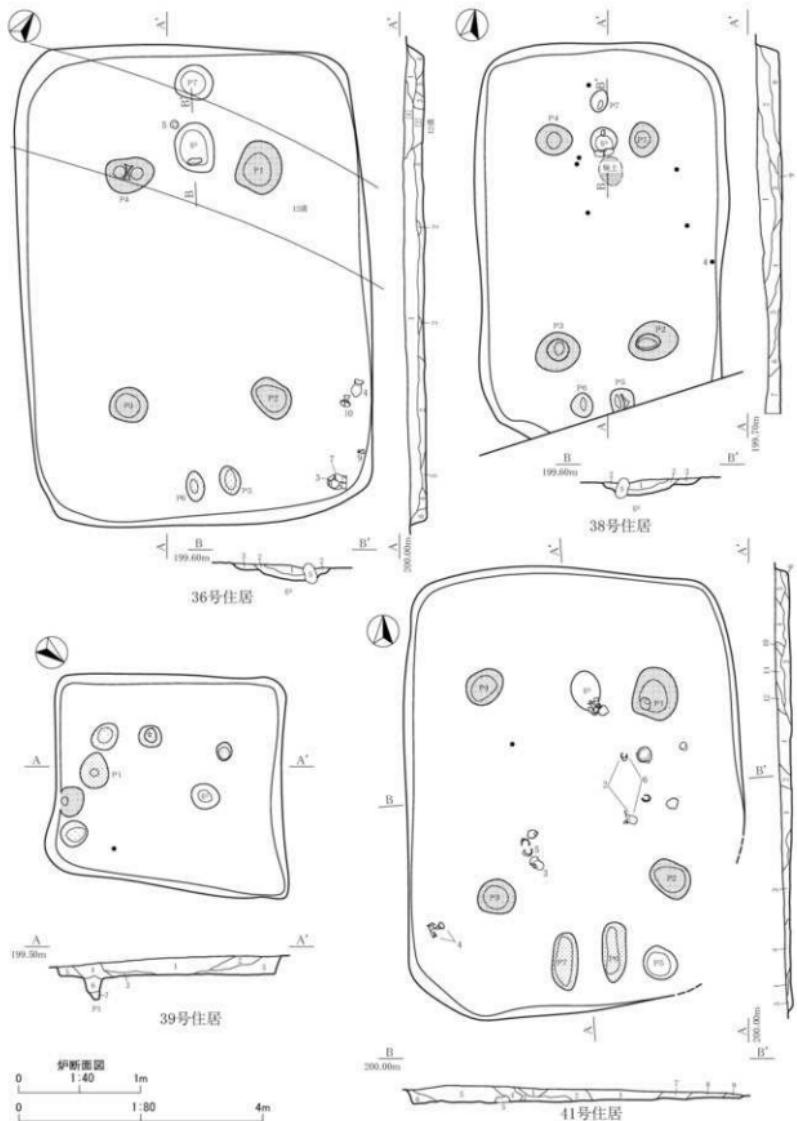
第20図 27号・28号・55号・30号・31号・33号住居址実測図



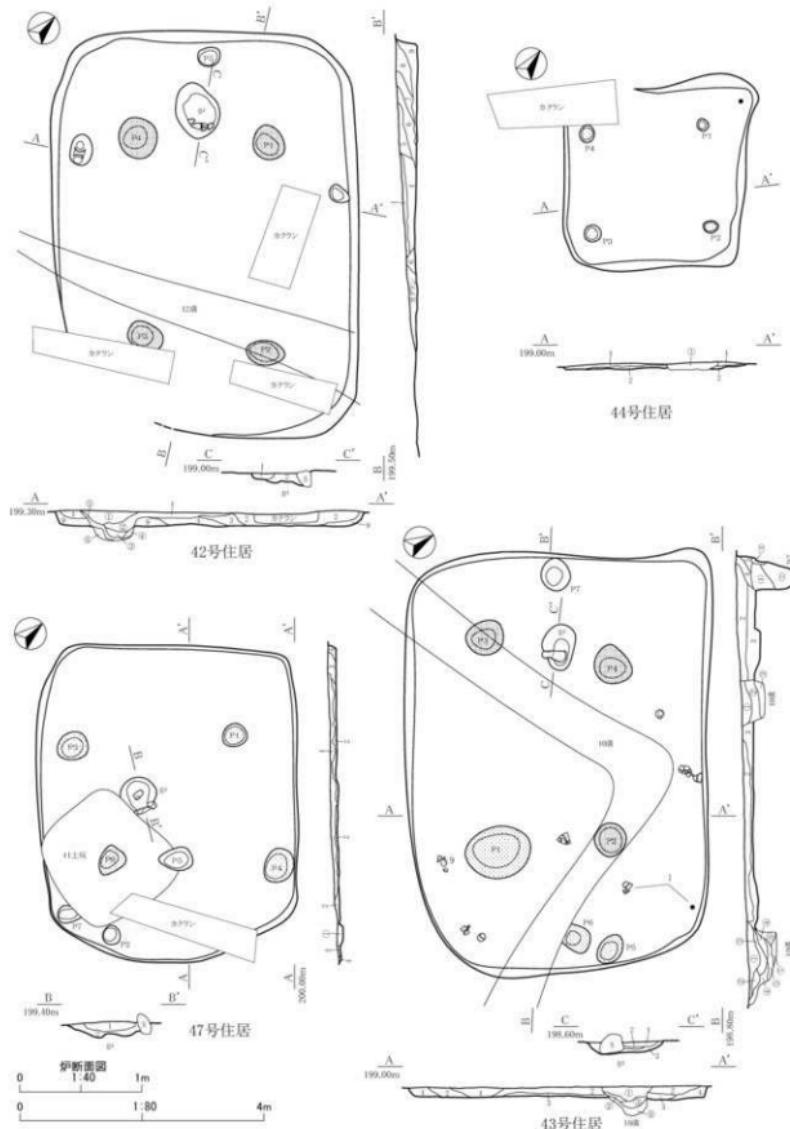
32号住居



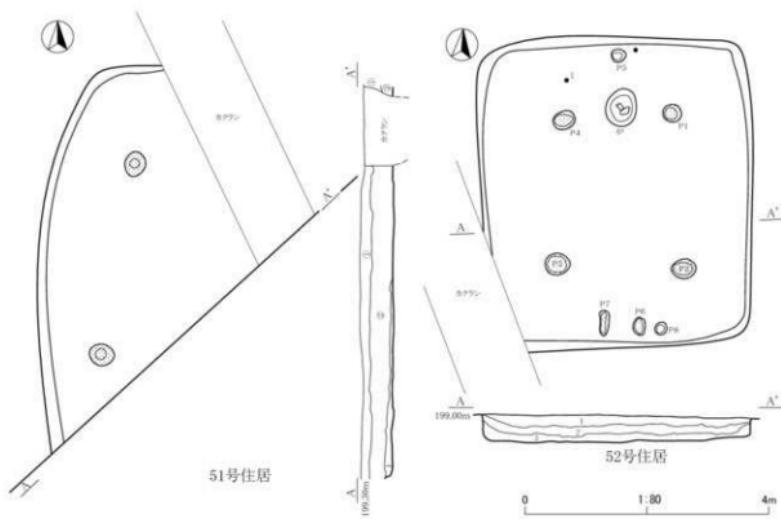
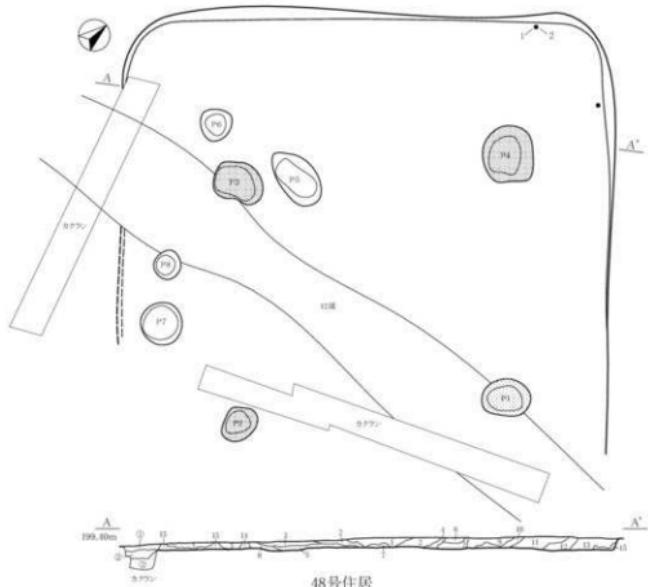
第21図 32号・34号・35号住居址実測図



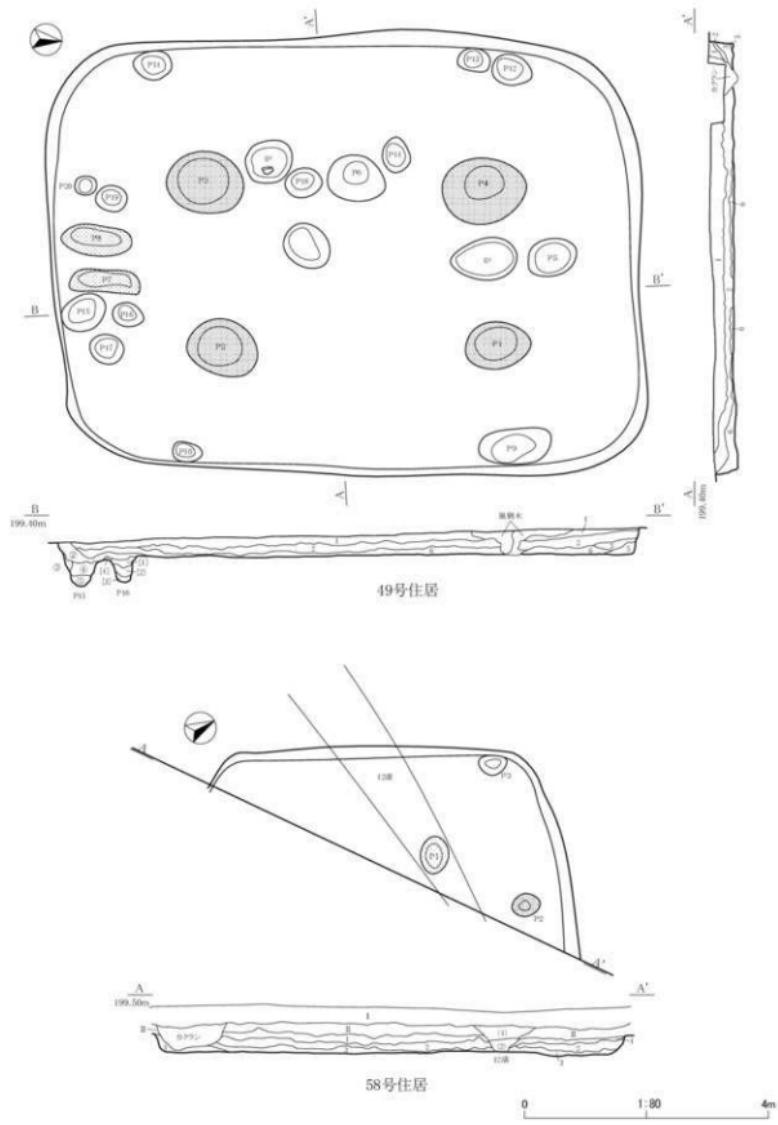
第22图 36号·38号·39号·41号住居実測図



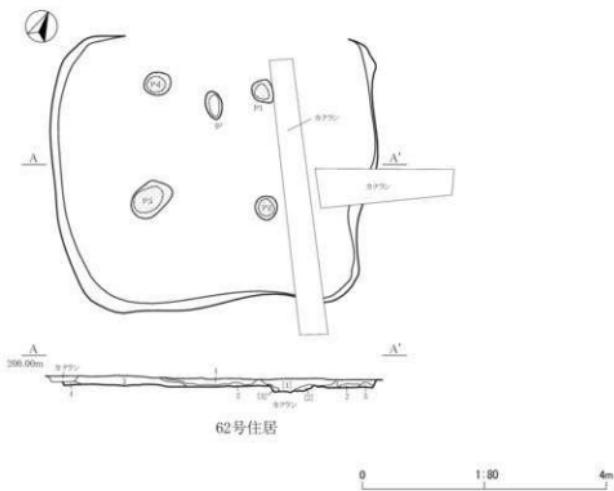
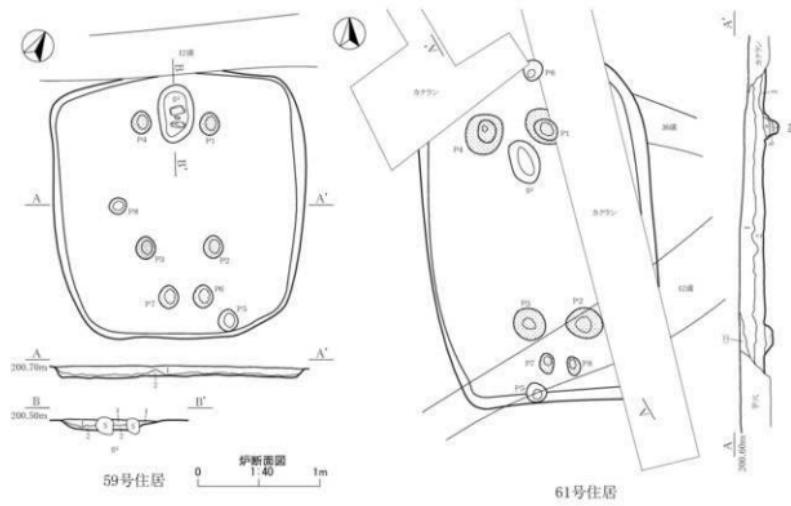
第23図 42~44号・47号住居址実測図



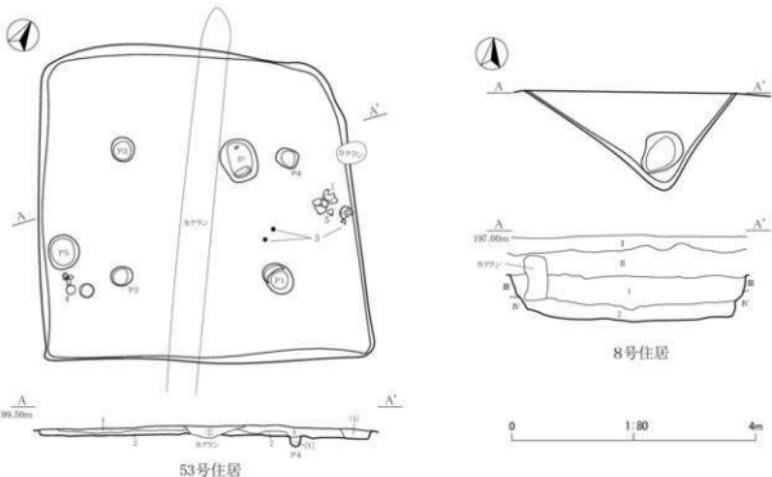
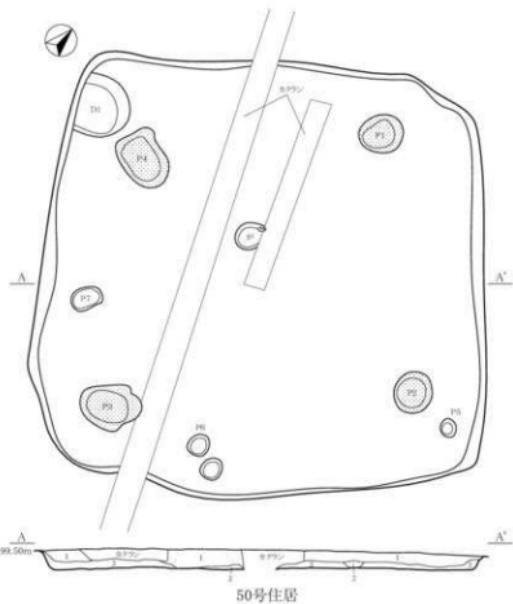
第24図 48号・51号・52号住居址実測図



第25図 49号・58号住居址実測図



第26図 59号・61号・62号住居址実測図



第27図 8号・50号・53号住居址実測図

1号住居	層番 層名	しまり・粘性・混入物等
1 黒褐色土	白色鮮石灰を含む。しまりあり。	
2 にふい黄褐色土	しまりあり。	
2号住居	層番 層名	しまり・粘性・混入物等
1 黑褐色土	白色鮮石灰を微細に含む。しまりあり。	
2 委褐色土	白色鮮石灰を微細に含む。しまりあり。	
3 委褐色土	白色鮮石灰を微細。褐色土をブロック状に含む。しまりあり。	
4 にふい黄褐色土	しまりあり。	
3号住居 A	層番 層名	しまり・粘性・混入物等
1 黑褐色土	しまりあり。	
2 黑褐色土	白色鮮石灰を少額含む。しまりあり。	
3 委褐色土	しまりあり。	
4 委褐色土	鮮石灰を多量に含む。しまりあり。	
5 土色土	しまりあり。	
6 黑色土	白色鮮石灰を微細に含む。しまりあり。	
7 委褐色土	褐色土をブロック状に含む。しまりあり。	
8 黑褐色土	しまりあり。	
4号住居	層番 層名	しまり・粘性・混入物等
1 黑褐色土	AS入を多量に含む。しまりあり。(カクラン)	
2 委褐色土	しまりあり。	
3 委褐色土	白色鮮石灰を微細。褐色土をブロック状に含む。しまりあり。	
4 委褐色土	白色鮮石灰を微細に含む。しまりあり。	
5 にふい黄褐色土	しまりあり。	
6 黑褐色土	白色鮮石灰を微細に含む。しまりあり。	
7 にふい黄褐色土	褐色土をブロック状に含む。しまりあり。	
8 黑褐色土	しまりあり。	
9号住居	層番 層名	しまり・粘性・混入物等
1 黑褐色土	褐色土をブロック状に含む。しまりあり。	
10号住居	層番 層名	しまり・粘性・混入物等
1 黑褐色土	褐色土をブロック状に含む。しまりあり。	
11号住居	層番 層名	しまり・粘性・混入物等
1 黑褐色土	白色鮮石灰(φ1～5mm)多量。炭化物を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。	
2 委褐色土	白色鮮石灰(φ1～5mm)多量。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。	
3 黑褐色土	白色鮮石灰(φ1～3mm)少量。ローム粒子を少額。白色鮮石灰、炭化物、他土を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。	
4 黑褐色土	白色鮮石灰(φ1～3mm)少量。ローム粒子。混合物。他土を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。	
5 黑褐色土	白色鮮石灰(φ1～3mm)微量。ローム粒子少額。白色鮮石灰、炭化物少額。他土を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。	
6 委褐色土	ローム粒子を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。	
6 委褐色土	ローム粒子を微細。ロームブロック。炭化物を少額含む。しまりあり。粘性弱い。	
11号住居 P-1	層番 層名	しまり・粘性・混入物等
1 黑褐色土	白色鮮石灰(φ1～3mm)微量。ローム粒子少額。ロームブロック。白色鮮石灰、炭化物微量に含む。しまりあり。粘性弱い。	
2 委褐色土	白色鮮石灰(φ1～3mm)微量。ローム粒子微量。炭化物、他土を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。	
3 委褐色土	白色鮮石灰(φ1～3mm)微量。ローム粒子微量。炭化物微量に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。	
4 黑褐色土	白色鮮石灰(φ1～3mm)微量。ローム粒子微量。白色鮮石灰微量。炭化物少額。他土を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。	
5 黑褐色土	ローム粒子微量に含む。4層より明るい。しまりあり。粘性弱い。	
6 委褐色土	ローム粒子中量。ロームブロック多量に含む。しまりあり。粘性弱い。	
11号住居 P-7	層番 層名	しまり・粘性・混入物等
(1) 黑褐色土	白色鮮石灰(φ1～3mm)微量。ローム粒子微量。炭化物、他土を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。	
(2) 黑褐色土	白色鮮石灰(φ1～3mm)微量。ローム粒子微量。炭化物、他土を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。	
(3) 委褐色土	ローム粒子微量。ロームブロック微量。炭化物少額含む。しまりあり。粘性弱い。	
7号住居	層番 層名	しまり・粘性・混入物等
1 委褐色土	白色鮮石灰(φ1～3mm)少量。褐色土をブロック状に含む。しまりあり。	
2 黑褐色土	白色鮮石灰(φ1～2mm)多量に含む。しまりあり。	
3 黑褐色土	白色鮮石灰(φ1～2mm)多量に含む。しまりあり。	
4 黑褐色土	粘性少しあり。しまりあり。	
5 委褐色土	白色鮮石灰(φ1～2mm)少額含む。しまりあり。	
6 黑褐色土	粘性あり。しまりあり。	

第6表 1～5号・7号・9号・11号住居土層注記

## 7号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
7	泥鰌土	粘性あり。しまりあり。
8	黒褐色土	粘土をプロック状に含む。しまりあり。
9	暗褐色土	粘土を微量含む。しまりあり。

## 12号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
I	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
II	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を多量、ローム粒子を微量に含む。Ⅰ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
III	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を多量、ローム粒子を微量に含む。Ⅰ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
IV	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を微量、ローム粒子、ロームブロック、炭化物、礫土を微量に含む。Ⅱ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
V	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を微量、ローム粒子、ロームブロック、炭化物、礫土を微量に含む。Ⅲ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
1	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を多量、ローム粒子微量、礫土を微量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を微量、ローム粒子少額、炭化物、礫土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を微量、ローム粒子、炭化物、礫土を微量含む。Ⅰ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を微量、ローム粒子を微量。礫土を微量に含む。Ⅱ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ローム粒子を多量、ロームブロックを少量、炭化物を微量に含む。Ⅲ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
(1)	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を中量、ローム粒子を微量に含む。Ⅰ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
(2)	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を少額含む。(1)層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

## 12号住居 P

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
(1)	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)微量、ローム粒子少額、炭化物、礫土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
(2)	暗褐色土	ローム粒子微量、ロームブロックを中量含む。しまりあり。粘性弱い。

## 13・56号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
I	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
II	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
III	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を少額含む。Ⅱ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

## 13号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を中量、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。Ⅰ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	Ⅱ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 56号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	Ⅲ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ローム粒子(φ 1~3mm)及びロームブロックを微量に含む。Ⅰ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	Ⅱ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 14号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)少額、ローム粒子、炭化物、礫土を微量に含む。Ⅰ層Ⅱ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)微量、ローム粒子及びロームブロックを少額、炭化物を微量に含む。Ⅰ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)微量、ローム粒子微量、ロームブロックを少額含む。Ⅰ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 14号住居 部

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
(1)	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)、ローム粒子、炭化物、礫土を微量に含む。Ⅰ層Ⅱ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
(2)	灰色土	ローム粒子。炭化物、礫土を微量に含む。やや風化を呈じる。しまりあり。粘性弱い。

## 14号住居 P-II

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
(1)	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)、ローム粒子、炭化物、礫土を微量に含む。Ⅰ層Ⅱ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 14号住居 P-13

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
(1)	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)、ローム粒子、炭化物、礫土を微量に含む。Ⅰ層Ⅱ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 16・57号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 16号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)、ローム粒子、炭化物、礫土を微量に含む。Ⅰ層Ⅱ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)、ローム粒子、炭化物、礫土を微量に含む。Ⅰ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。Ⅰ層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
5	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。4層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 57号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。Ⅱ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。16号Ⅳ層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

第7表 7号・12~14号・16号・56号・57号住居址土層注記

## 17号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
⑧	泥炭色土	白色鮮石(φ1～3mm)を1%含む。しまりあり。

## 18号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
①	泥炭色土	白色鮮石(φ1～3mm)を1%含む。しまりあり。
②	泥炭色土	白色鮮石(φ1～3mm)を1%、褐色鮮石を2～3%含む。しまりあり。
③	泥炭色土	白色鮮石(φ1～3mm)を1%、褐色鮮石を2～3%含む。しまりあり。
④	褐色褐色土	白色鮮石(φ1～3mm)を1%含む。しまりあり。
⑤	泥炭色土	白色鮮石(φ1～3mm)を1%含む。ローム塊を1%含む。しまりあり。
⑥	泥炭色土	白色鮮石(φ1～3mm)を1%、褐色鮮石を1%含む。しまりあり。
⑦	泥炭色土	白色鮮石(φ1～3mm)を1%、褐色鮮石を2～3%含む。しまりあり。
⑧	泥炭色土	白色鮮石(φ1～3mm)を1%、褐色鮮石(φ2～5mm)を3%含む。しまりあり。
⑨	泥炭色土	白色鮮石(φ1～3mm)を1%、褐色鮮石(φ2～5mm)を1%含む。しまりあり。
⑩	泥炭色土	しまりあり。

## 18号住居 地

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	泥炭色土	山砂、地七ブロックを含む。

## 19号住居 土層注記なし

## 23号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	泥炭色土	
2	褐色褐色土	

## 9 滉土層注記なし

## 24号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
12	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)を微量に含む。しまりあり。
13	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、褐色鮮石(φ1～2mm)を微量に含む。しまりあり。
14	黒褐色土	褐色鮮石(φ1～2mm)を微量に含む。しまりあり。
15	黒褐色土	しまりあり。
16	黒褐色土	黄色鮮石(φ1～2mm)を微量に含む。しまりあり。
17	黒褐色土	しまりあり。
18	黃褐色土	しまりあり。
19	暗褐色土	しまりあり。
20	褐色土	しまりあり。
21	泥炭色土	しまりあり。

## 46号住居土層注記なし

## 25号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(φ1～3mm)を微量に含む。しまりあり。

## 25号住居 地

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	泥炭色土	山砂、地七ブロックを含む。

## 26号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)を微量に含む。しまりあり。
2	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、褐色鮮石(φ1～2mm)を微量に含む。しまりあり。
3	黒褐色土	しまりあり。
4	黒褐色土	褐色鮮石(φ1～2mm)を微量に含む。しまりあり。
5	黒褐色土	褐色土をブロック状に含む。しまりあり。

## 28号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	褐色土	ローム粒子を5～10%、黄褐色鮮石((φ5～10mm)大)を3～5%含む。
2	暗赤色土	褐色土、ローム粒子を10～15%含む。
3	褐色褐色土	ローム粒子、黄褐色鮮石を2～3%、褐色土、炭化粒子を1%含む。しまりあり。
4	暗褐色土	ローム粒子を5～10%含む。

## 37, 55, 55号住居土層注記なし

## 30号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	褐色褐色土	白色鮮石(φ1～10mm)を2～3%、褐色鮮石(φ2～3mm)を1%含む。しまりあり。
2	褐色土	ローム粒子を5～10%、炭化粒子を2～3%含む。

## 31号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、地七ブロックを含む。
2	暗褐色土	山砂、地七ブロックを含む。

第8表 17号・18号・23～26号・28号・30号・31号住居址土層注記

## 33号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
I	湯町合士	白色軽石(Φ1~5mm)20~30%、含む。しまりあり。粘性弱い。
II	黒磯合士	白色軽石(Φ1~5mm)10~20%、含む。しまりあり。粘性弱い。
1	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子を微量に含む。3解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
2	昭和合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子を微量に含む。4解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
4	黒磯合士	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
5	昭和合士	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 32号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	昭和合士	白色軽石(Φ5~6mm)、黄色軽石(Φ2~3mm)を2~3%含む。
2	黒磯合士	白色軽石(Φ3~10mm)を2~3%、黄色軽石(Φ2~3mm)を4%含む。しまりややあり。
3	昭和合士色土	白色軽石(Φ3~5mm)を2~3%含む。しまりあり。
4	昭和合士	泥化粒子、ローム粒子を2~3%含む。
5	昭和合士	泥化粒子、炭化粒子を2~3%、軽石を微量に含む。しまりあり。
6	昭和合士色土	軽土粒子、泥化粒子を1%、ローム粒子を2~3%含む。
7	昭和合士	泥化粒子を2~3%、軽土粒子を1%含む。
8	前高合士	ローム粒子を20~30%含む。
9	明和合士	ローム粒子を5~10%、佛土粒子及び泥化粒子を2~3%含む。

## 35号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	昭和合士	山砂、地トプロックを含む。

## 34、36号住居土層記なし

## 38号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒磯合士	Φ3~10mm大の白色軽石、黄色軽石を2~3%、泥化粒子1%含む。しまりあり。
2	明和合士	ローム粒子5~10%、軽土粒子、泥化粒子を1%含む。
3	昭和合士色土	ローム粒子、泥化粒子2~3%含む。
4	昭和合士	ローム粒子5~10%、白色軽石1%含む。
5	昭和合士	ローム粒子2~3%、白色軽石1%含む。
6	鶴色土	Φ20~30mm大のローム粒子5~10%含む。
7	昭和合士	ローム粒子、泥化粒子を1%含む。
8	昭和合士色土	ローム粒子2~3%、泥化粒子を1%含む。軽石を微量含む。
9	施用合士色土	施土粒子、泥化粒子1%含む。

## 38号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	昭和合士	山砂、地トプロックを含む。
2	鶴色土	地土粒子を含む。
3	黒磯合士	粘土プロックを含む。

## 39号住居土層記なし

## 41号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)を多量に含む。ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
3	昭和合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
4	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	昭和合士	白色軽石(Φ1~3mm)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
7	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、泥化粒子を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
8	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
9	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
10	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
11	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
12	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)を微量に含む。まりあり。粘性やや強い。

## 42号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)を少額含む。ローム粒子、ロームブロック、泥化物、佛土を微量に含む。1解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	昭和合士	白色軽石(Φ1~3mm)を少額に含む。ローム粒子を微量に含む。まろあります。粘性弱い。
4	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、泥化粒子を微量に含む。ローム粒子。ロームブロックを少額含む。1解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
5	昭和合士	ローム粒子を微量に含む。3解より明るい。しまりあります。粘性弱い。
6	黒磯合士	地土を微量に含む。ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、泥化物を少額含む。4解より弱い。しまりあり。粘性弱い。
7	昭和合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子を微量に含む。しまりあります。粘性弱い。
8	黒磯合士	ローム粒子を微量に含む。6解より明るい。しまりあります。粘性弱い。
9	昭和合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子、泥化粒子、佛土を微量に含む。ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性弱い。
①	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)を微量に含む。ローム粒子を少額に含む。しまりあります。粘性弱い。
②	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子を微量に含む。3解より弱い。しまりあります。粘性弱い。
③	黒磯合士	しまりあります。粘性弱い。
④	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。正解より明るい。しまりあります。粘性弱い。
⑤	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子を微量に含む。正解より明るい。しまりあります。粘性弱い。
⑥	黒磯合士	白色軽石(Φ1~3mm)、ローム粒子、黄色軽石を微量に含む。正解より弱い。しまりあります。粘性弱い。

## 42号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	昭和合士	山砂、地トプロックを含む。
2	鶴色土	地土粒子を含む。

第9表 32号・33号・35号・38号・41号・42号住居土層注記

## 43号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒梅女士	ローム粒子、ロームブロック、炭化物、礫土を少額含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
3	緑梅女士	ローム粒子を少額含む。ロームブロックを中心含む。炭化物、礫土を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
4	緑梅女士	ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。炭化物、礫土を微細に含む。3層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
5	黒梅女士	ローム粒子を微細に含む。ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性弱い。

## 43号住居 P 7

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
(1)	黒梅女士	ローム粒子、炭化物を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
(2)	黒梅女士	炭化物を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
(3)	緑梅女士	ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 43号住居 部

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	緑梅女士	山砂、礫土ブロックを含む。
2	梅女士	無し粒子を含む。
3	泡梅女士	礫土ブロックを含む。

## 48号住居土壌注記なし

## 47号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、炭化物、礫土を少額に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	緑梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、黄色鮮石、炭化物、礫土を微細に含む。ローム粒子、ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黄梅女士	ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。
4	緑梅女士	炭化物を少額含む。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
(1)	緑梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)を少額含む。3層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 47号住居 部

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	緑梅女士	山砂、礫土ブロックを含む。
2	梅女士	無し粒子を含む。

## 48号住居土壌注記なし

## 51号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	泡梅女士	ローム粒子を微細に含む。白色鮮石(Φ1～3mm)を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
②	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)を少額含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
1	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、ローム粒子、礫土、炭化物を微細に含む。ロームブロックを少額含む。1層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 52号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒梅女士	炭化物、黄色鮮石、ローム粒子、礫土を微細に含む。白色鮮石(Φ1～3mm)を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
2	緑梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石、炭化物、礫土を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、黄色鮮石を微細に含む。ロームブロック、炭化物を少額含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	緑梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)を微細に含む。ローム粒子を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
5	緑梅女士	ローム粒子を微細に含む。4層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
6	緑梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、礫土、炭化物、ローム粒子を微細に含む。炭化物、ロームブロックを少額含む。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
7	緑梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
8	緑梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

## 49号住居 P 15

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、ローム粒子、白色鮮石、炭化物、礫土を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
②	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、炭化物、ローム粒子を微細に含む。炭化物を少額含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
③	緑梅女士	炭化物、ローム粒子を微細に含む。白色鮮石(Φ1～3mm)を少額含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
④	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、ローム粒子を微細に含む。炭化物を少額含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
⑤	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、ローム粒子を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
⑥	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、ローム粒子を少額含む。3層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

## 49号住居 P 16

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、礫土、炭化物を微細に含む。ローム粒子、ロームブロックを少額含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
2	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、礫土、ローム粒子を微細に含む。ロームブロック、炭化物を少額含む。(1層より弱い)、しまりあり。粘性弱い。
3	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、礫土を微細に含む。炭化物、ローム粒子を少額含む。(1層より弱い)、しまりあり。粘性弱い。
2	緑梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、礫土、炭化物、ローム粒子を微細に含む。ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、炭化物を少額含む。炭化物を少額含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒梅女士	ローム粒子を少額含む。(3層より明るい)、しまりあり。粘性弱い。

## 56号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
I	黒梅女士	ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。白色鮮石(Φ1～3mm)を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
II	黒梅女士	ローム粒子を微細に含む。白色鮮石(Φ1～3mm)を少額含む。2層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
1	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、礫土、ロームブロックを微細に含む。ローム粒子を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
2	緑梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、礫土、炭化物、ローム粒子を微細に含む。ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒梅女士	白色鮮石(Φ1～3mm)、炭化物を少額含む。炭化物を少額含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒梅女士	炭化物を微細に含む。3層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

第10表 43号・47号・49号・51号・52号・58号住居土壌層注記

## 59号住居

層番	層名	性状
1	黒褐色土	白色軽石(Φ1～3mm)を微細に含む。ローム粒子を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子。ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 59号住居 4

層番	層名	性状
1	暗褐色土	山砂、砂とブロックを含む。
2	褐色土	無土粒子を含む。

## 61号住居

層番	層名	性状
1	黒褐色土	白色軽石(Φ1～3mm)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色軽石(Φ1～3mm)を少額含む。山砂より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色軽石(Φ1～3mm)、ローム粒子。ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
(2)	暗褐色土	白色軽石(Φ1～3mm)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 61号住居 P-2

層番	層名	性状
—	暗褐色土	ローム粒子。ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

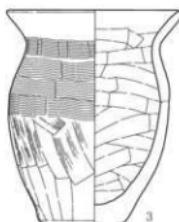
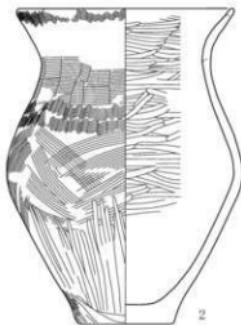
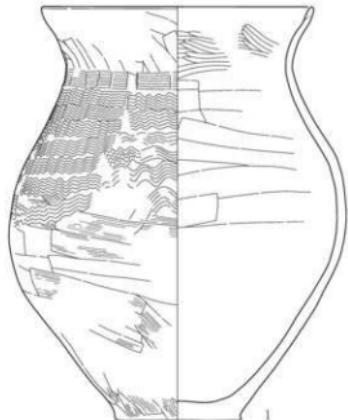
## 61号住居 P-4

層番	層名	性状
a	黒褐色土	白色軽石(Φ1～3mm)、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
b	黒褐色土	山砂より明るい。しまりあり。粘性弱い。
c	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。山砂より明るい。しまりあり。粘性弱い。

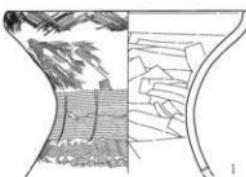
62、8、50、53号住居土層注記なし

第11表 59号・61号住居土層注記

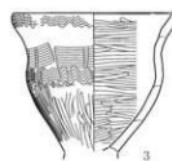
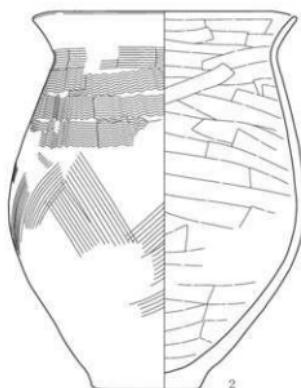
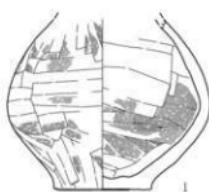
2号住



3号住



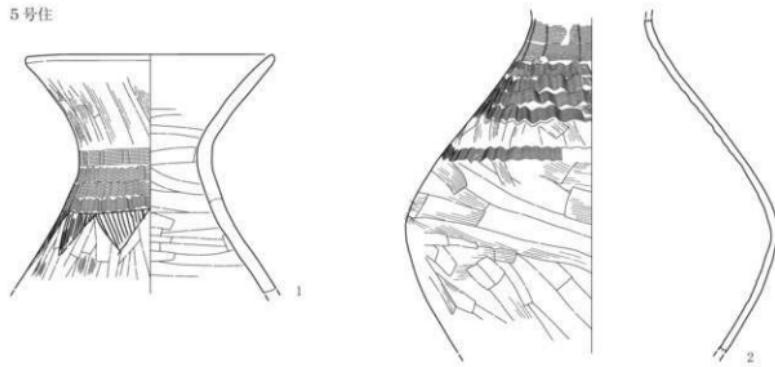
4号住



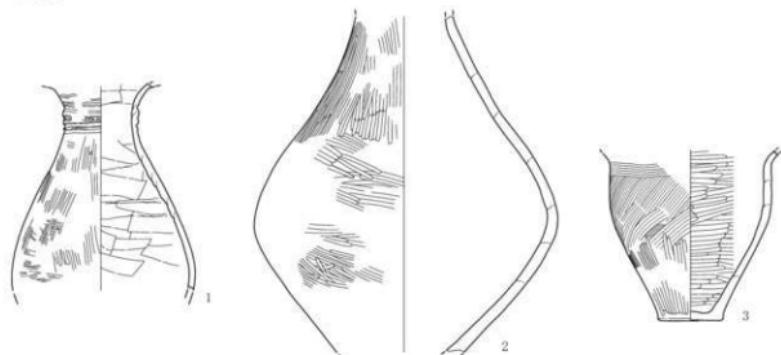
0 1:4 20cm

第28図 2～4号住居址出土土器実測図

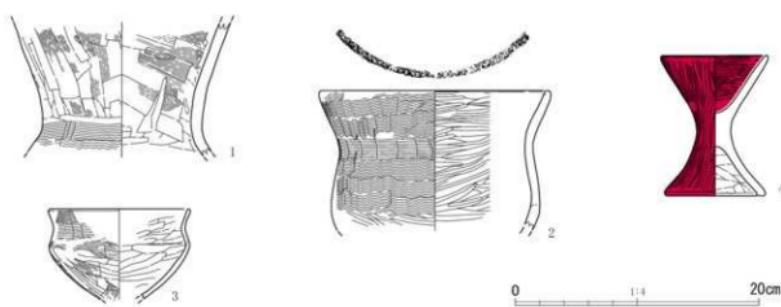
5号住



9号住



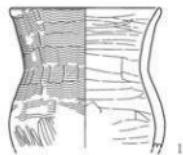
12号住



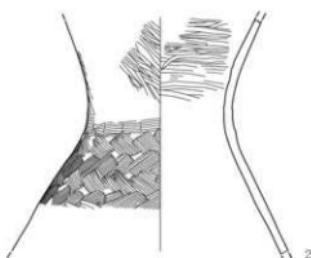
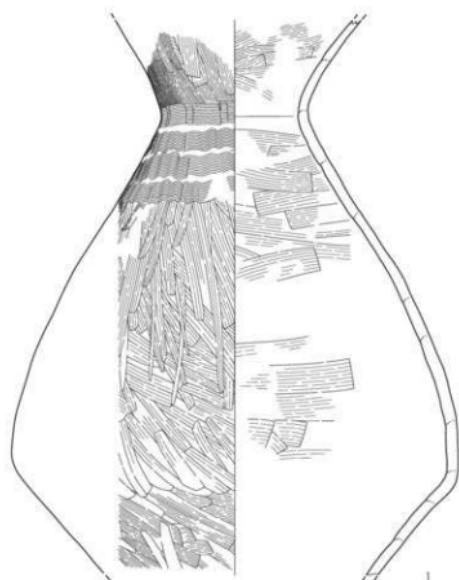
0 1:4 20cm

第29図 5号・9号・12号住居址出土土器実測図

13号住



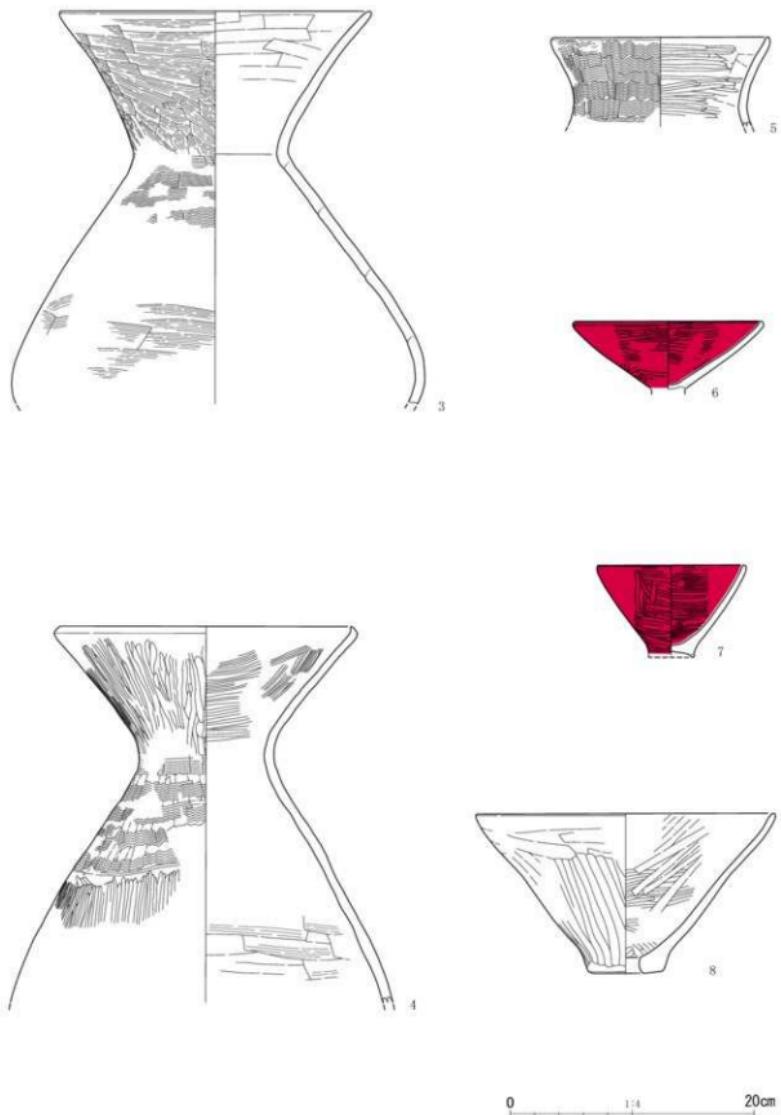
14号住



0 1:4 20cm

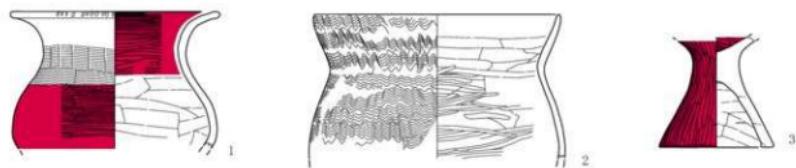
第30図 13号・14号住居址出土土器実測図

14号住

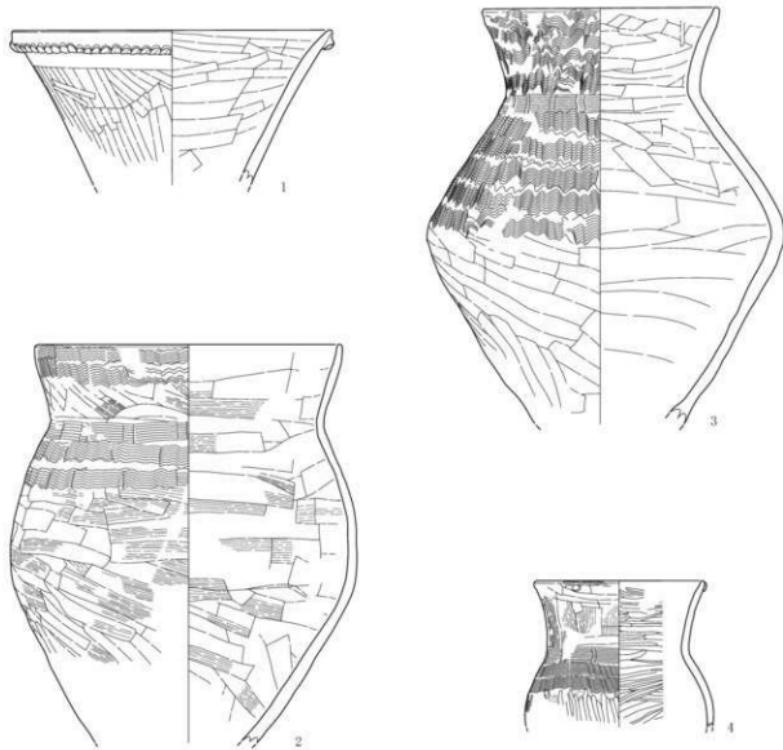


第31図 14号住居址出土土器実測図

16号住



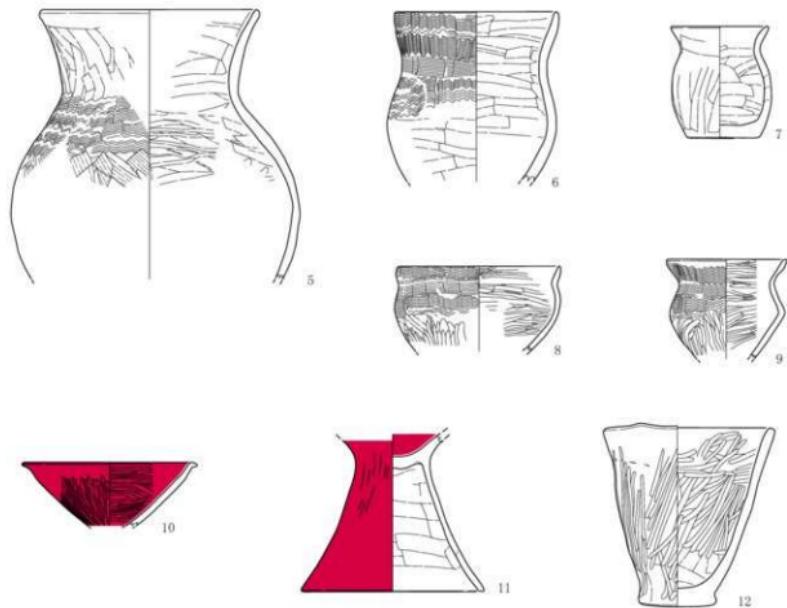
18号住



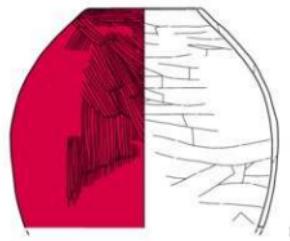
0 1:4 20cm

第32図 16号・18号住居址出土土器実測図

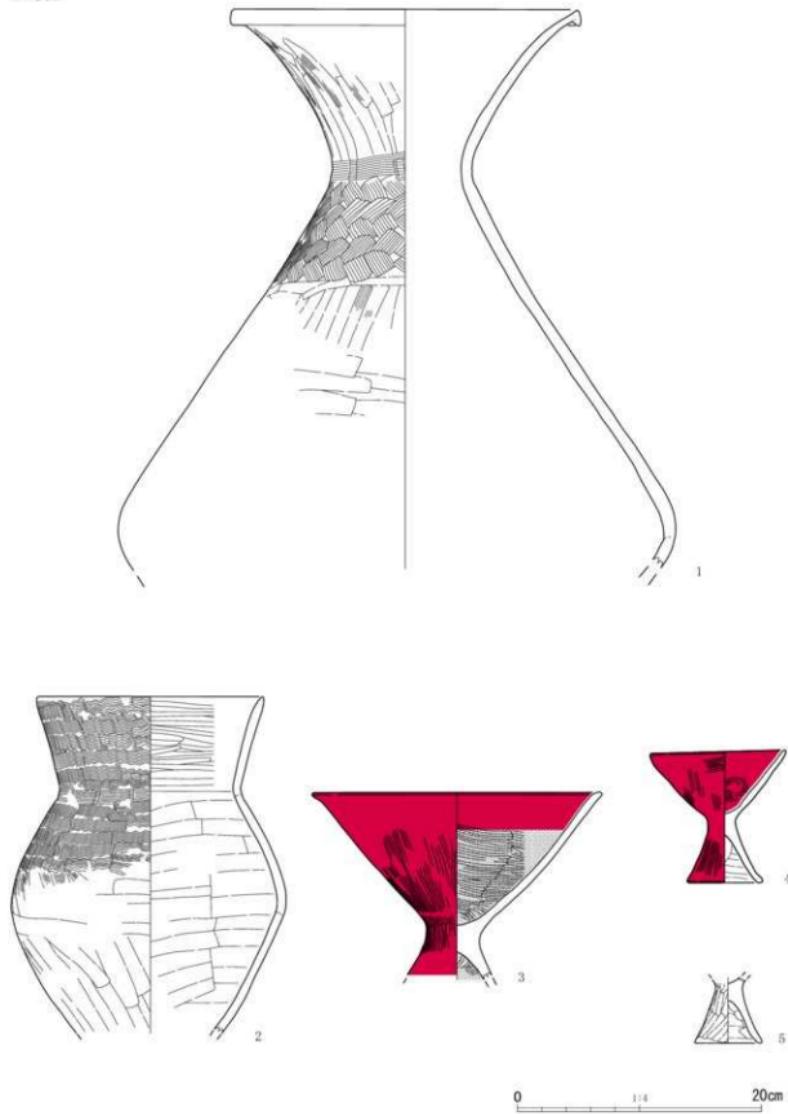
18号住



19号住

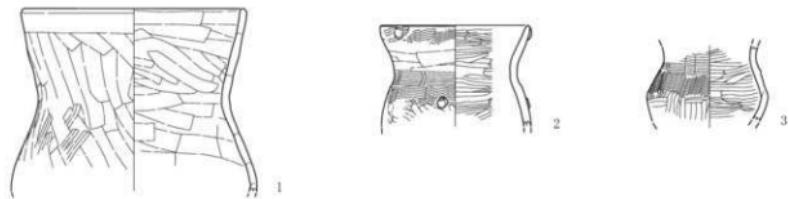


第33図 18号・19号住居址出土土器実測図

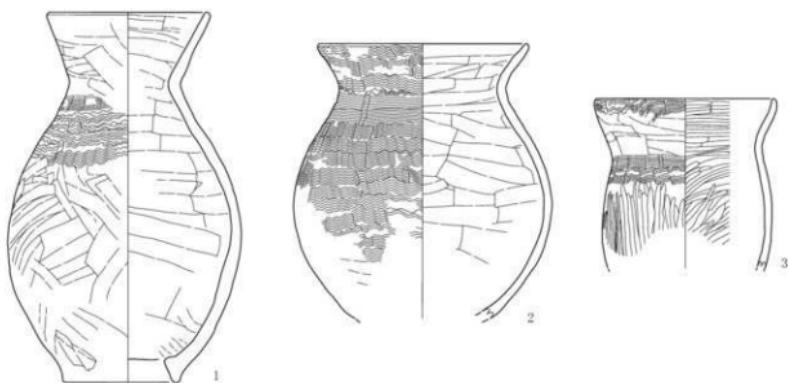


第34図 24号住居址出土土器実測図

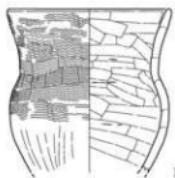
25号住



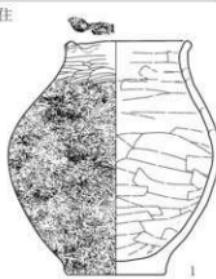
26号住



28号住



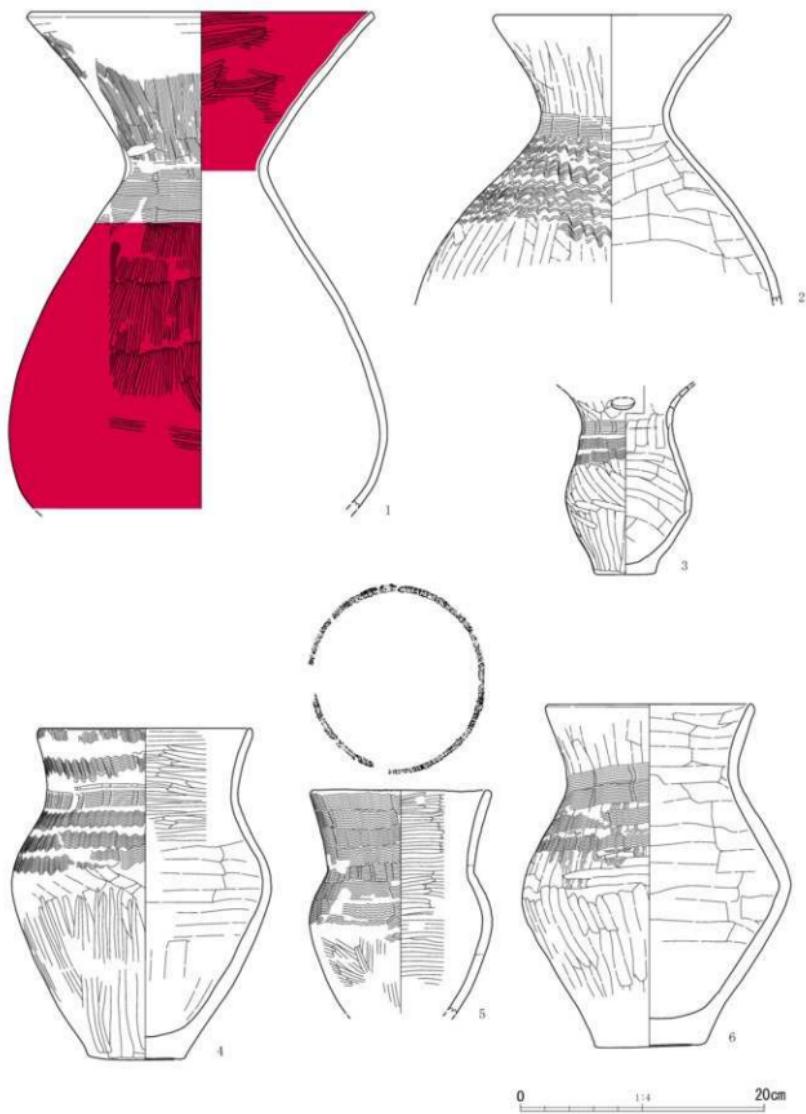
30号住



0 1:4 20cm

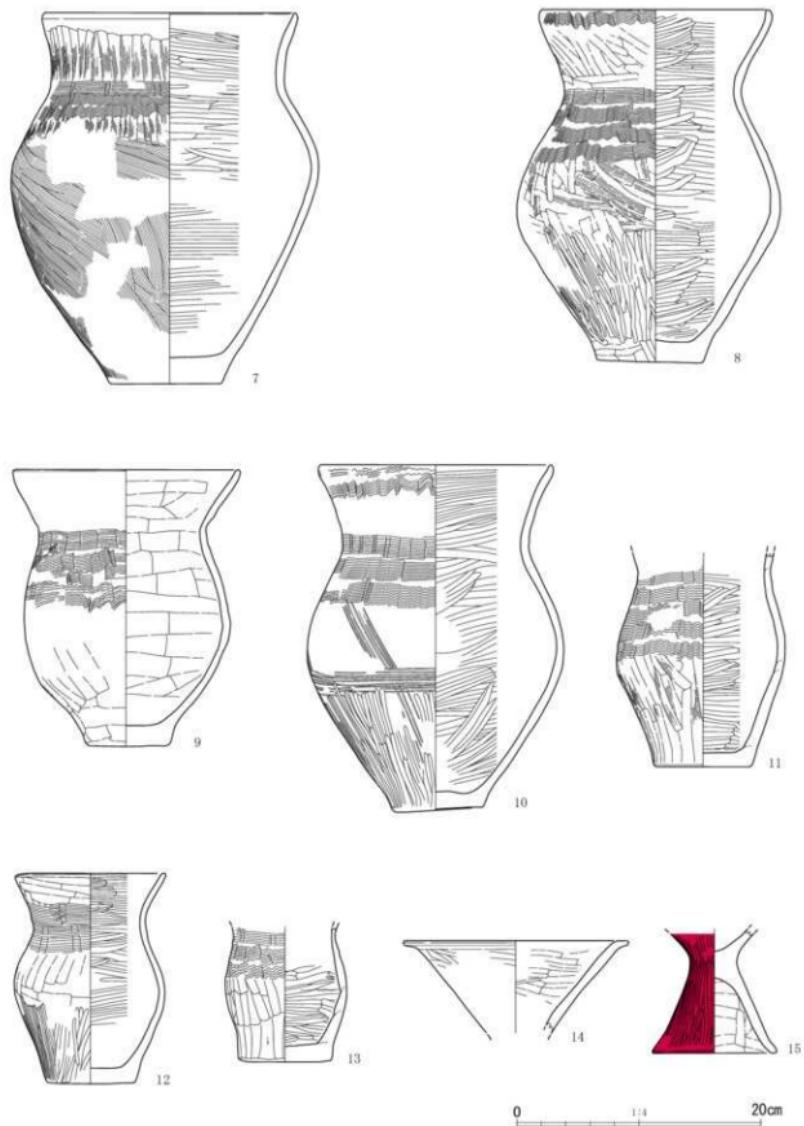
第35図 25号・26号・28号・30号住居址出土土器実測図

32号住



第36図 32号住居址出土土器実測図(1)

32号住

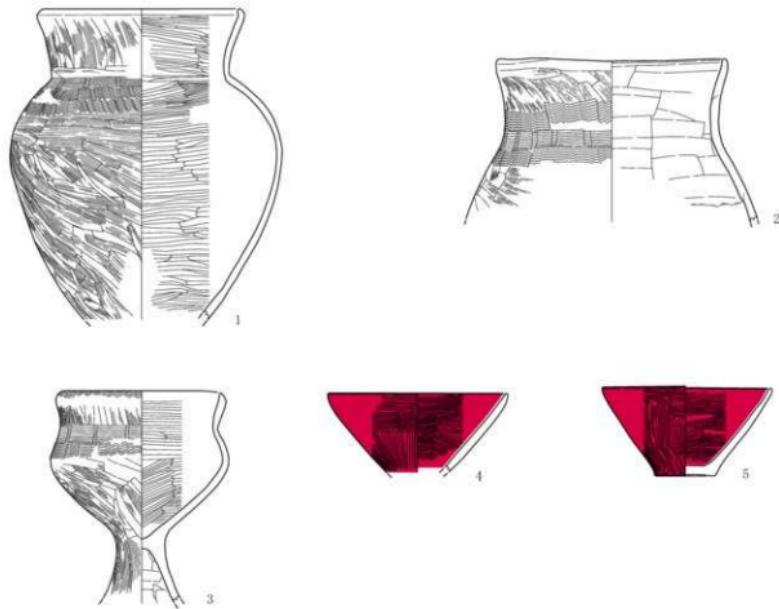


第37图 32号住居址出土土器实测图(2)

33号住



34号住



35号住



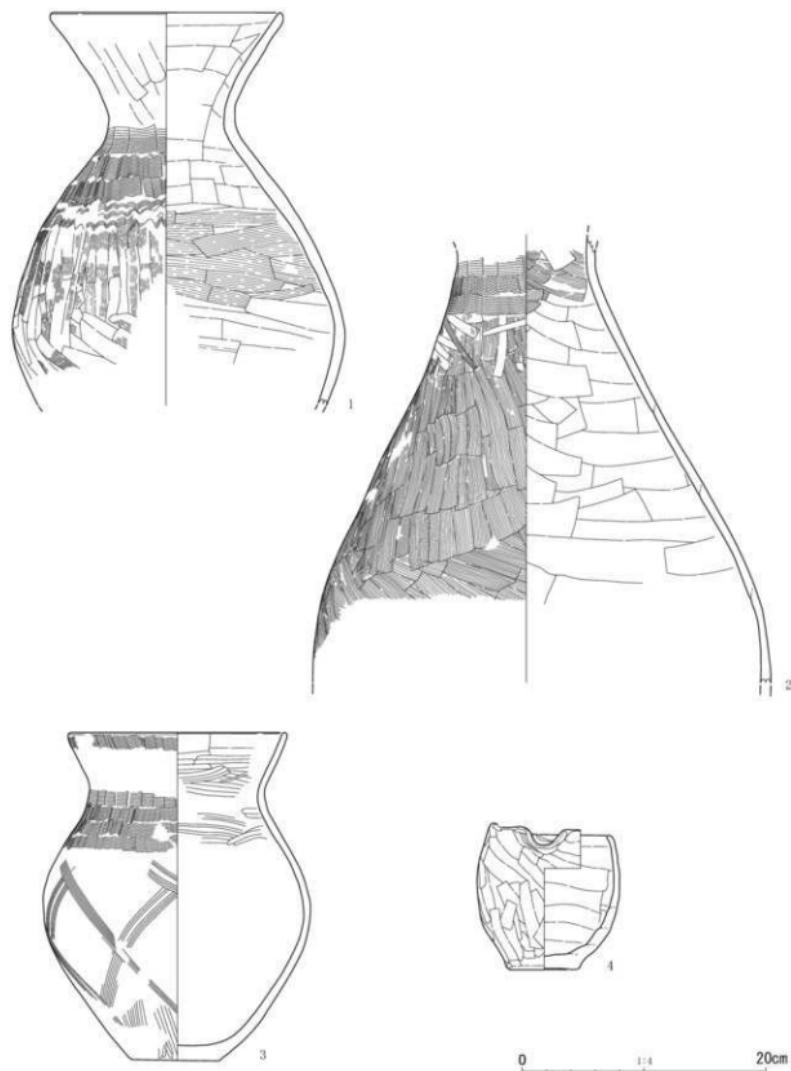
0 1:4 20cm

第38図 33～35号住居址出土土器実測図



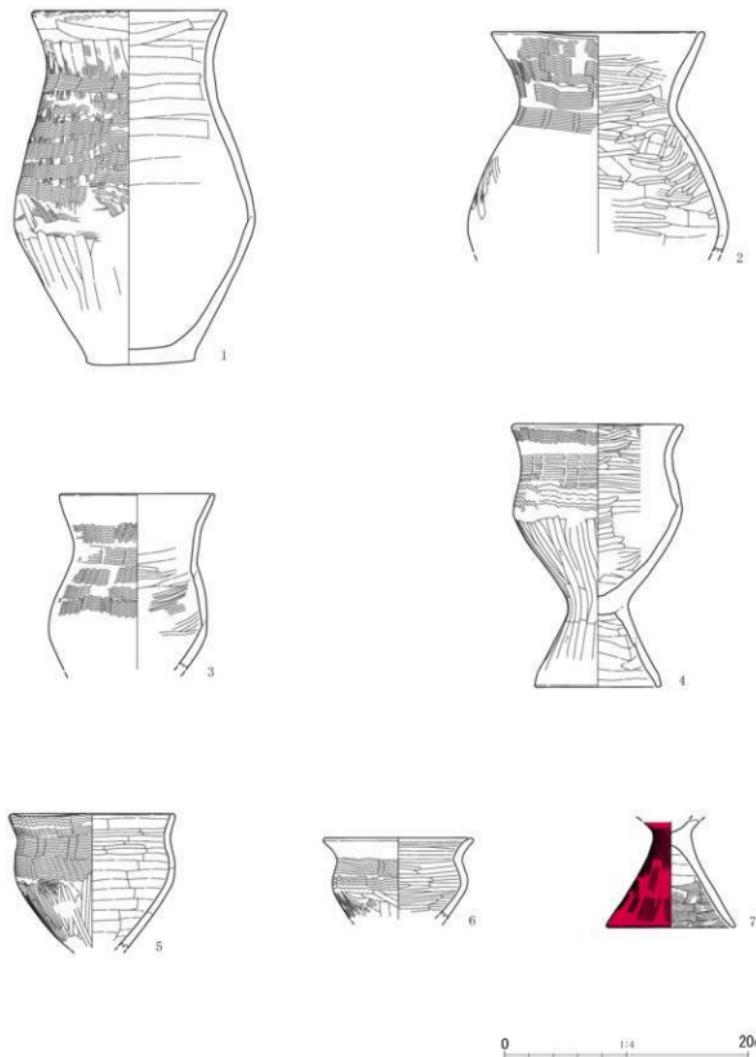
第39図 36号住居址出土土器実測図

38号住



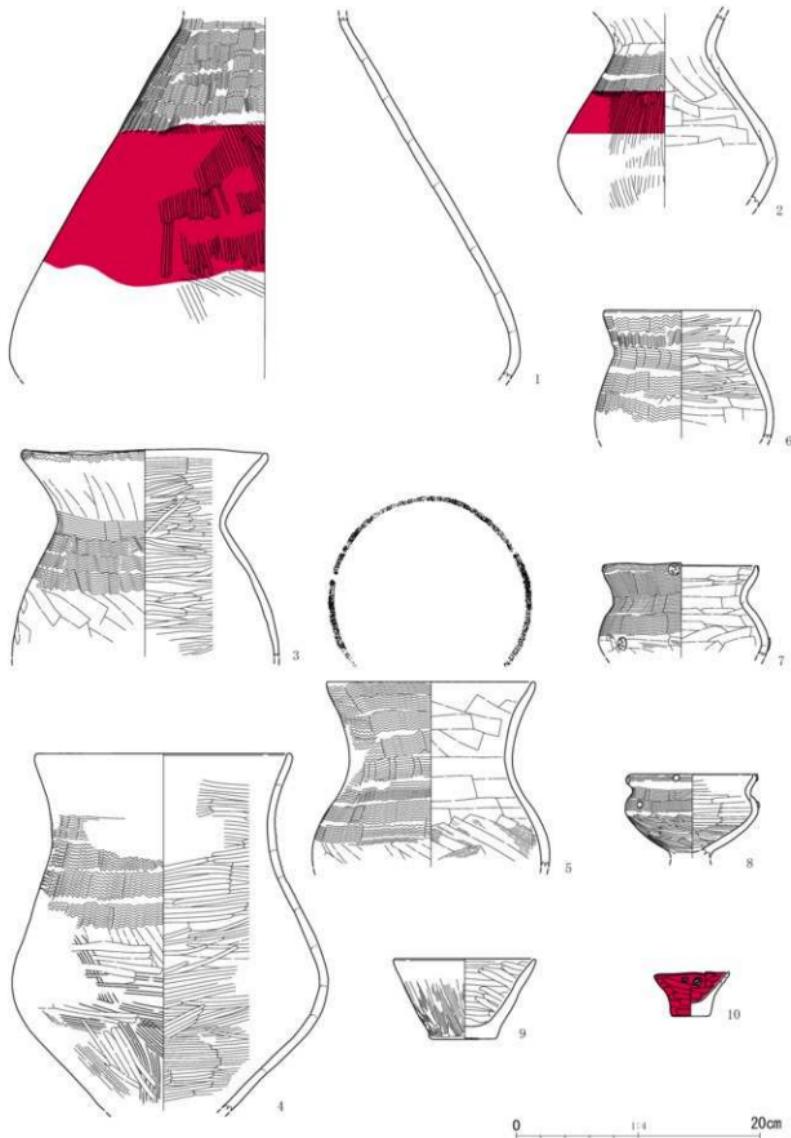
第40图 38号住居址出土土器实测图

41号住



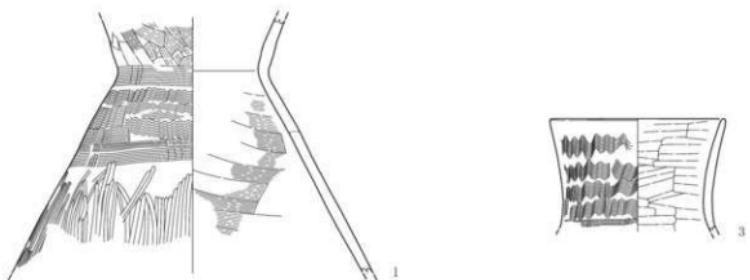
第41図 41号住居址出土土器実測図

43号住

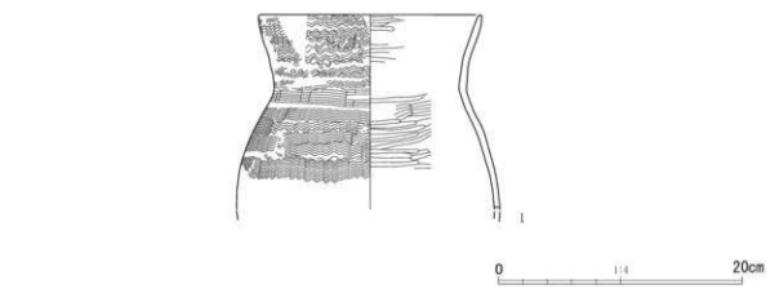


第42図 43号住居址出土土器実測図

49号住

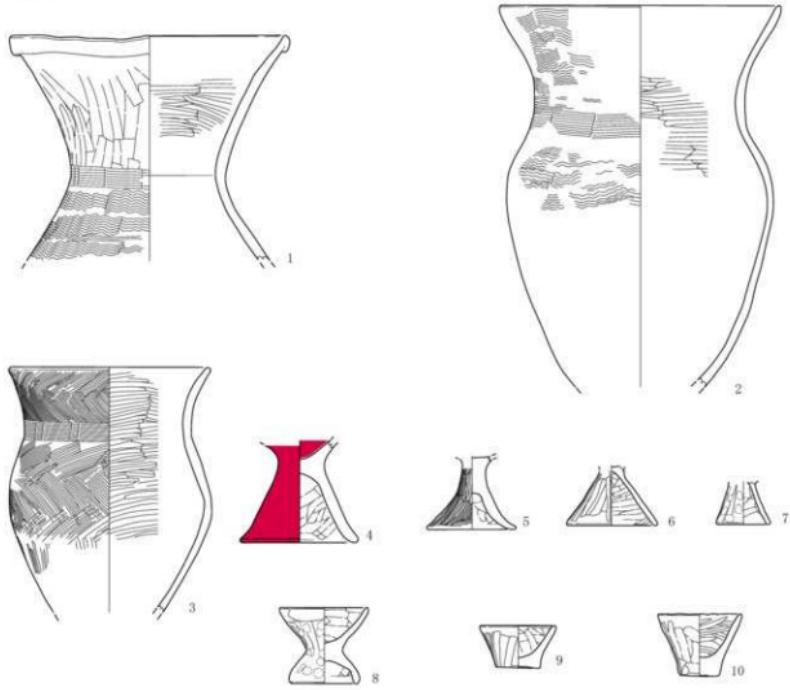


58号住

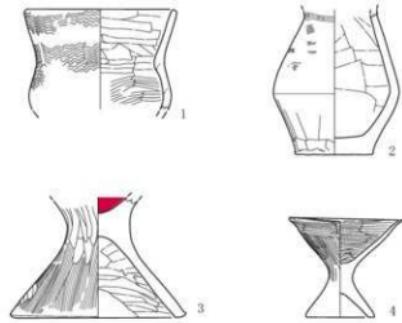


第43図 49号・58号住居址出土土器実測図

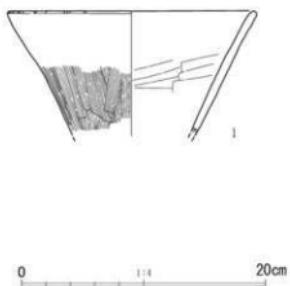
52号住



59号住

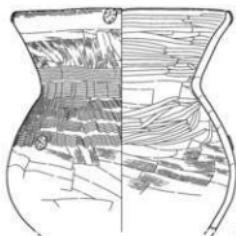


61号住

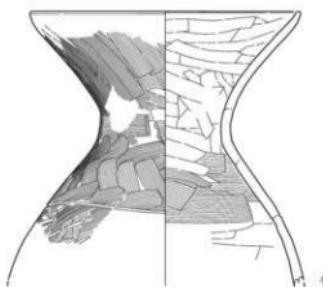
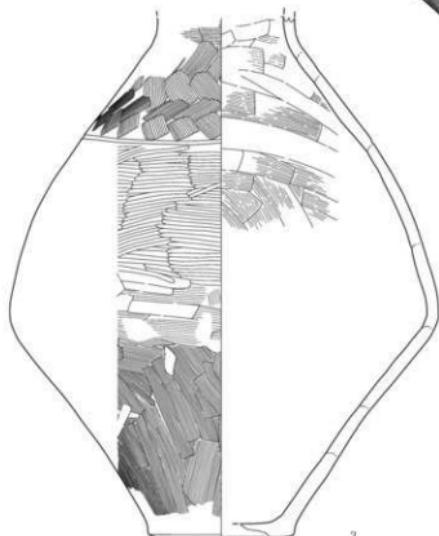
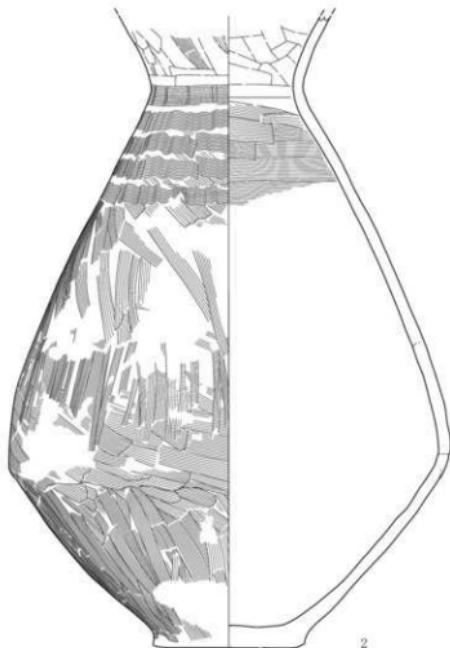


第44図 52号・59号・61号住居址出土土器実測図

33号土坑



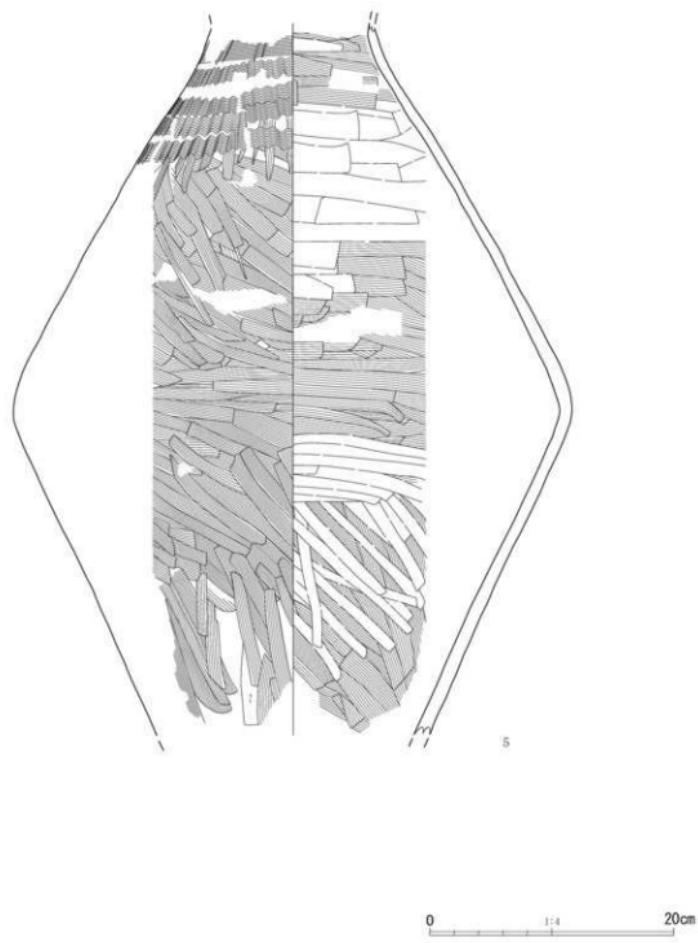
37号土坑



0 1:4 20cm

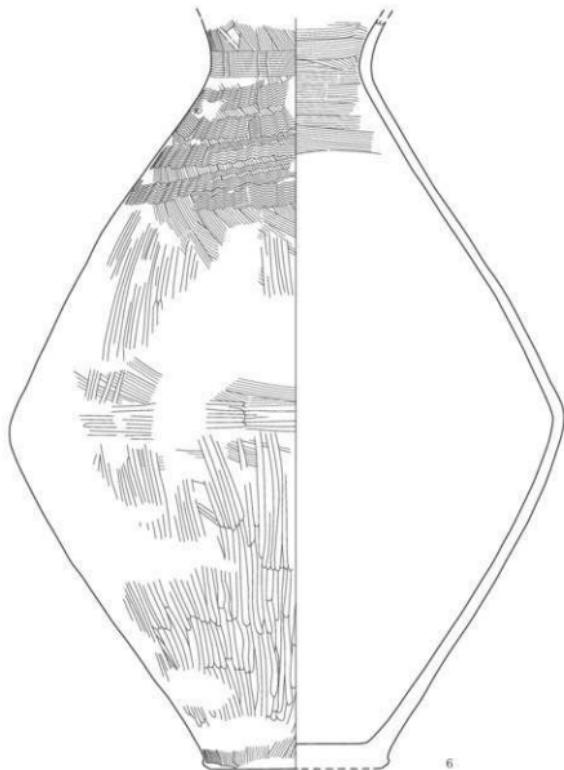
第45図 33号・37号土坑出土土器実測図

37号土坑

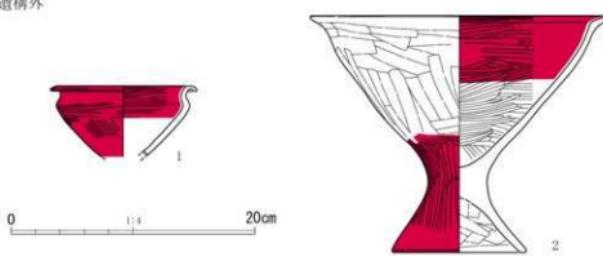


第46図 37号土坑出土土器実測図

37号土坑

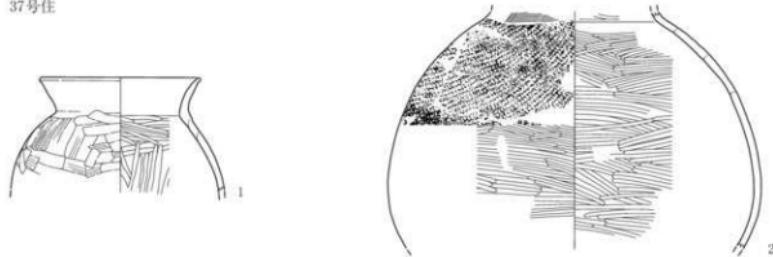


遺構外



第47図 37号土坑・遺構外出土土器実測図

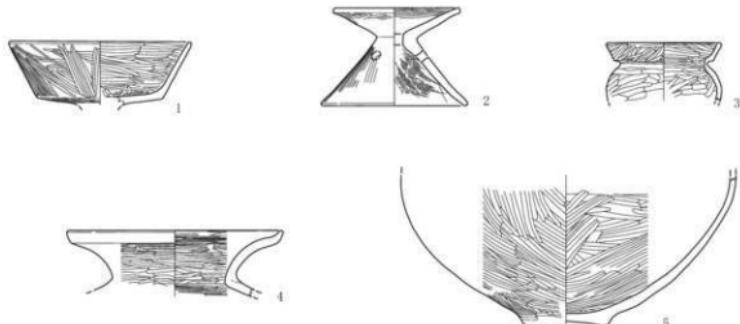
37号住



44号住



48号住

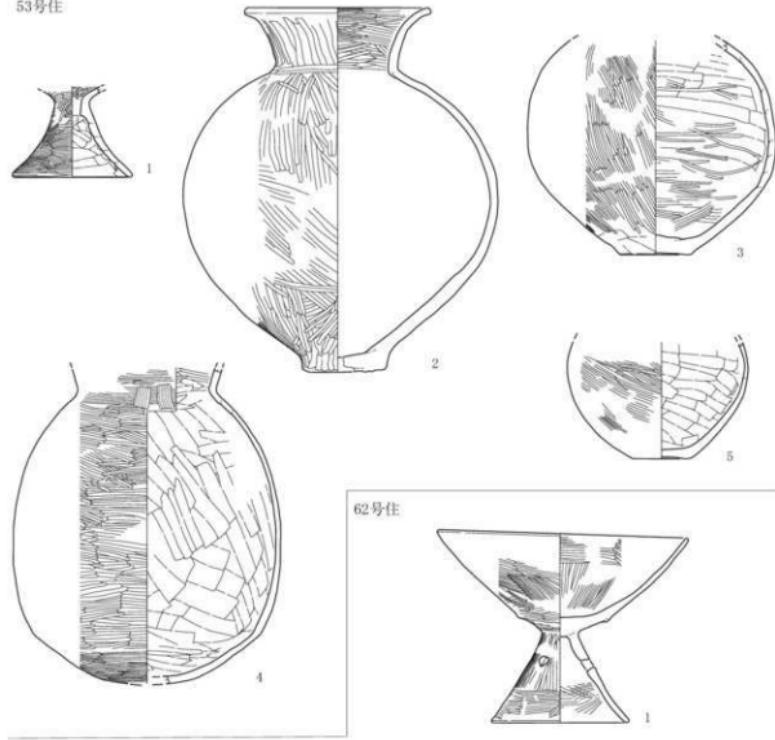


50号住

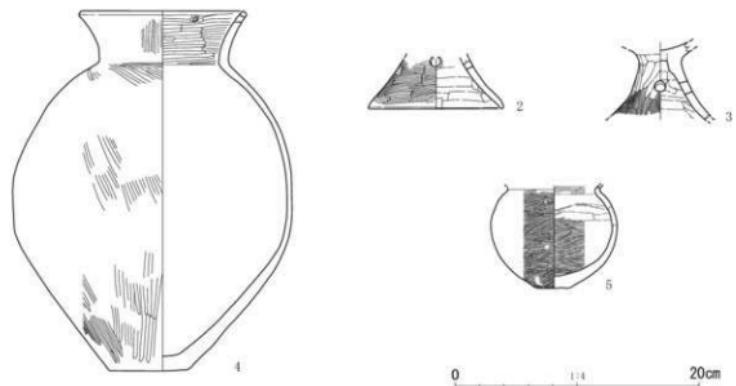


第48図 37号・44号・48号・50号住居址出土土器実測図

53号住



62号住



第49図 53号・62号住居址出土土器実測図

遠地谷戸遺跡土器観察表

2号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	弥生土器 甕	一括	口径 22.0 底径 10.0 器高 34.0	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④2/3	外面 口縁部昆彫で、頸部巻状文、胴部上位波状文、下位昆彫で、底部昆彫削り。 内面 口縁部昆彫き、胴部～底部昆彫削り。	
2	弥生土器 甕	No.2	一括	口径 17.5 底径 7.8 器高 25.9	①普通 ②橙色 ③白色粒・角閃石 ④9/10	外面 口縁部波状文、口縁部側で、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位羽状文、下位昆彫削り、底部昆彫削り。 内面 口縁部～底部昆彫削り。
3	弥生土器 小形甕	一括	口径 14.2 底径 6.8 器高 17.6	①普通 ②橙～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④3/4	外面 口縁部横彫で、頸部巻状文、胴部上位波状文、下位～底部昆彫削り。 内面 口縁部横彫で、胴部～底部昆彫削り。	
4	弥生土器 高杯		口径 底径 器高	一 一 一	①普通 ②赤褐～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④ 体部上位～脚部上位残存	外面 体部昆彫削き、捺部に凸筋、露面で、脚部昆彫削き、全面赤彩。 内面 体部昆彫削き、赤彩。下位～底部昆彫削で、脚部昆彫削で、黒色処理。

3号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 19.5 底径 8.0 器高 —	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部 ～脚部上位残存	外面 口縁部上位羽状文、口縁部昆彫で、頸部T字文、胴部上位波状文。 内面 口縁部上位横彫で、口縁部～脚部上位昆彫削り。

4号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	No.1 一括	口径 8.0 底径 8.0 器高 —	①普通 ②灰褐色～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④ ～脚部上位～底部3/4	外面 脚部～底部昆彫削り。 内面 脚部～底部昆彫削り。
2	弥生土器 甕	No.2 一括	口径 21.3 底径 8.9 器高 31.0	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④9/10	外面 口縁部横彫で、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位羽状文、下位～底部表面荒れ調整不明瞭。 内面 口縁部～底部昆彫削り。
3	弥生土器 台付甕	一括	口径 13.0 底径 8.0 器高 —	①普通 ②橙～純い褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～脚部 下位7/8	外面 口縁部上位波状文、口縁部昆彫削で、頸部巻状文、胴部上位波状文、下位昆彫削り。 内面 口縁部～脚部下位昆彫削り。

5号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	弥生土器 甕	一括	口径 20.0 底径 8.0 器高 —	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④ ～脚部上位4/5	外面 口縁部昆彫で、頸部巻状文、胴部上位波状文、脚削文。 内面 口縁部～脚部上位横彫削り。	
2	弥生土器 甕	一括	口径 底径 器高	— — —	①普通 ②橙～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④脚部 ～脚部下位7/8	外面 頸部巻状文、胴部上位波状文、下位昆彫削り。 内面 器面荒れ調整不明瞭。

9号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	弥生土器 甕	一括	口径 底径 器高	— — —	①普通 ②赤褐～純い褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部下位 ～脚部下位2/3	外面 口縁部昆彫削き、頸部弦線、刺突文、胴部昆彫削り。 内面 口縁部～脚部上位横彫削り。
2	弥生土器 甕	一括	口径 底径 器高	— — —	①普通 ②純い橙色 ③褐色粒・角閃石 ④脚部 ～脚部下位昆彫削り	外面 頸部～脚部下位昆彫削り。 内面 脚部～脚部下位昆彫削り、器面荒れ単位不明瞭。
3	弥生土器 小形甕	一括	口径 底径 器高	— 4.8 —	①普通 ②橙～純い褐色 ③白色粒・角閃石・褐色粒 ④脚部～底 部2/3	外面 頸部横線文、胴部上位網目。下位昆彫削り。底部昆彫削り。 内面 頸部～底部昆彫削り。

12号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	弥生土器 甕	一括	口径 底径 器高	— — —	①普通 ②浅黃褐色～橙色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部上位 ～脚部上位残存	外面 口縁部昆彫削で、頸部巻状文、胴部上位波状文。 内面 口縁部～脚部上位横彫削り。
2	弥生土器 甕	一括	口径 18.6 底径 — 器高 —	— — —	①普通 ②橙色 ③白色粒・角 閃石 ④口縁部～脚部中位1/3	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位昆彫削り。 内面 口縁部～脚部中位昆彫削り。
3	弥生土器 台付甕	一括	口径(11.4) 底径 8.0 器高 3	— — —	①普通 ②灰褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～脚部下位1/2	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、下位昆彫削り。 内面 口縁部～脚部下位昆彫削り。
4	弥生土器 高杯	一括	口径 8.6 底径 8.0 器高 11.5	— — —	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒・黒色粒 ④3/4	外面 口縁部～脚部昆彫削き、赤彩。 内面 口縁部～底部昆彫削き、赤彩、脚部昆彫削り。

第12表 2～5号・9号・12号住居址出土土器観察表

## 13号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 12.1 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黃褐色～純い黃褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部中位2/3	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位磨削。 内面 口縁部～胴部中位磨削で。

## 14号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	弥生土器 甕	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～純い黄褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部中位2/5	外面 口縁部波状文で、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部中位磨削で。 内面 口縁部～胴部中位磨削で。	
2	弥生土器 甕	P 3	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～純い赤褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部中位～胴部上位2/3	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位羽状文、底磨き。 内面 口縁部磨削で、胴部上位調整不明磨。
3	弥生土器 甕	一括	口径 25.3 底径 一 器高 一	①普通 ②橙～明赤褐色 ③白色粒・黑色粒・角閃石 ④口縁部中位～胴部中位3/5	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部中位磨削で。 内面 口縁部波状文で、胴部剥落が顯著で調整不明。	
4	弥生土器 甕	一括	口径 23.8 底径 一 器高 一	①普通 ②明黄褐色～橙色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部中位2/3	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位磨削。 内面 口縁部磨削で、胴部波状文。	
5	弥生土器 甕	一括	口径 17.6 底径 一 器高 一	①普通 ②浅黃～橙色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～頸部残存	外面 口縁部波状文、頸部巻状文。 内面 口縁部波状文、頸部磨削。	
6	弥生土器 高杯	一括	口径 15.2 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～純い赤褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～底部1/4	外面 口縁部～体部底磨き、赤彩。 内面 口縁部から底部底磨き、赤彩。	
7	弥生土器 鉢	一括	口径 12.0 底径 一 器高 一	①普通 ②赤褐色、純い黄褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～底部3/5	外面 口縁部～体部底磨き、赤彩、底部擦で、周辺部は磨耗。 内面 口縁部から底部底磨き、赤彩。	
8	弥生土器 甕	D 1	一括	口径 24.4 底径 6.0 器高 13.1	①普通 ②浅黄色 ③白色粒・黑色粒 ④1/3	外面 口縁部波状文、頸部底磨き、底部擦で。 内面 口縁部から底部底磨き後一部底磨削で、底部に径2.2cmの円孔。

## 16号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 16.6 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位1/2	外面 口縫部頸部、口縁部横擦で、頸部巻状文、胴部上位波状文、上～中位底磨き、赤彩。 内面 口縁部底磨き、赤彩、胴部底磨削。
2	弥生土器 甕	一括	口径 20.0	①普通 ②純い黄褐色～灰黃褐色 ③白色粒・黑色粒・石英 ④口縫部～胴部上位1/4	外面 口縁部～胴部上位波状文。 内面 口縁部底磨削で、胴部上位底磨。
3	弥生土器 高杯	一括	口径 18.8 底径 一 器高 一	①普通 ②赤褐色、橙色 ③黑色粒・褐色粒 ④底部～胴部下位7/8	外面 体部～脚部底磨き、赤彩。 内面 体部～底部底磨き、赤彩、脚部底磨。

## 18号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 26.0 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部1/3	外面 複合口縁、端部波状の押圧、口縁部底磨削で。 内面 口縁部底磨。
2	弥生土器 甕	一括	口径 24.6 底径 一 器高 一	①普通 ②橙～純い黄褐色 ③白色粒・褐色粒・雲母 ④口縁部～胴部下位4/5	外面 口縁部上位波状文、下位底磨削、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位～下位底磨削で。 内面 口縫部～胴部下位底磨。
3	弥生土器 甕	一括	口径 18.8 底径 一 器高 一	①普通 ②浅黃褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部下位7/8	外面 口縫部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、下位底磨削で。 内面 口縫部～胴部下位底磨。
4	弥生土器 甕	一括	口径 13.6 底径 一 器高 一	①普通 ②灰褐色～純い黒褐色 ③白色粒・雲母 ④口縫部～胴部中位1/2	外面 口縫部波状文、口縫部端部円形浮文、口縫部底磨削で、頸部巻状文、胴部上位波状文、円形浮文、中位底磨削。 内面 口縫部～胴部中位底磨。
5	弥生土器 甕	一括	口径 17.5 底径 一 器高 一	①普通 ②橙～純い黒褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縫部～胴部下位1/3	外面 口縫部底磨削で、胴部上位波状文、中位底磨削で、下位底磨。
6	弥生土器 甕	P 3	口径 13.1 底径 一 器高 一	①普通 ②灰褐色～純い黄褐色 ③白色粒・褐色粒・雲母 ④口縫部～胴部下位7/8	外面 口縫部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、下位底磨削で。 内面 口縫部～胴部下位底磨。
7	弥生土器 小形甕	No.7	口径 7.8 底径 5.9 器高 9.2	①普通 ②橙～純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④3/4	外面 口縫部底磨で、胴部底磨削で、底部底磨削。 内面 口縫部横擦で、胴部～底部底磨削。

第13表 13号・14号・16号・18号住居址出土土器観察表

## 18号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
8	弥生土器 台付甕	一括	口径 13.1 底径 9.6 器高 二	①普通 ②縁～純い褐色 ③白色粒、褐色粒 ④口縁部～胴部下位3/4	外面部 縁部波状文、頸部巻伏文、胴部上位波状文、下位巻拂で後巻磨き。 内面部 縁部～胴部下位巻磨き。
9	弥生土器 小形台付甕	一括	口径 9.6 底径 一 器高 一	①普通 ②縁～純い赤褐色 ③白色粒、褐色粒 ④口縁部～胴部下位6/7	外面部 口縁部～胴部上位波状文、下位巻磨き。 内面部 口縁部～胴部下位巻磨き。
10	弥生土器 高杯		口径 14.4 底径 一 器高 一	①普通 ②縁色、赤色 ③白色粒、褐色粒 ④口縁部～体部残存	外面部 口縁部～体部巻磨き、赤彩。 内面部 口縁部～体部巻磨き、赤彩。
11	弥生土器 高杯	P 4	口径 一 底径 (14.8) 器高 一	①普通 ②純い黃褐色、明赤褐色 ③白色粒、角閃石 ④体部下位～脚部1/3	外面部 体部～脚部巻磨き、赤彩。 内面部 体部～底部脚部面纏れ調整不明瞭、赤彩、脚部巻拂で。
12	弥生土器 鉢	一括	口径 (13.5) 底径 6.2 器高 15.1	①普通 ②純い黄褐色～黒褐色 ③白色粒、黒色粒、角閃石 ④4/5	外面部 口縁部～胴部巻拂で後巻磨き、底部擦で。 内面部 口縁部～底部脚部面纏れ後巻磨き。

## 19号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 無頭甕	P 5	口径 (8.8) 底径 一 器高 1/4	①普通 ②純い黄褐色、赤褐色 ③白色粒 ④口縁部～胴部中位	外面部 口縁部～胴部下位巻磨き、赤彩。 内面部 口縁部～胴部下位巻拂で。

## 24号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	No 1	口径 (28.2) 底径 一 器高 2/3	①普通 ②純い黄褐色 ③黒色粒、褐色粒 ④口縁部～胴部中位	外面部 反復合口縁、口縁部巻拂で、頸部巻伏文、胴部上位櫛拂き、肩部下位櫛拂で。 内面部 面纏れ調整不明瞭。
2	弥生土器 甕	一括	口径 18.4 底径 一 器高 1/2/3	①普通 ②縁～暗褐色 ③白色粒、黒色粒 ④口縁部～胴部下位	外面部 口縁部波状文、頸部巻伏文、胴部上位波状文。下位巻拂で。 内面部 口縁部巻磨き、胴部巻拂で。
3	弥生土器 高杯	一括	口径 23.4 底径 一 器高 5/6	①普通 ②純い黄褐色、黒色 ③白色粒、角閃石 ④口縁部～脚部上位5/6	外面部 口縁部～脚部巻磨き、赤彩。 内面部 口縁部～底部巻磨き、口縁部赤彩、体部～底部黒色処理、脚部巻磨き、黒色処理。
4	弥生土器 高杯		口径 10.9 底径 5.8 器高 9.0	①普通 ②縁～純い赤褐色 ③白色粒、黒色粒、褐色粒 ④ほぼ完形	外面部 口縁部～脚部巻磨き、赤彩。 内面部 口縁部～底部巻磨き、赤彩、脚部巻拂で。
5	弥生土器 高杯		口径 一 底径 5.4 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒、黒色粒、角閃石 ④底部～脚部残存	外面部 脚部巻拂で。 内面部 底部巻拂で、脚部巻拂で。

## 25号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 17.8 底径 9.0 器高 1/2	①普通 ②純い褐色 ③白色粒、黒色粒 ④口縁部～胴部上位1/2	外面部 口縁部上位横拂で、口縁部中位～胴部上位巻拂で。 内面部 口縁部～胴部下位巻拂で。
2	弥生土器 小形甕	一括	口径 12.0 底径 一 器高 一	①普通 ②暗褐色 ③白色粒 ④口縁部～胴部中位5/6	外面部 口縁部上位波状文、円形浮文、下位巻拂で、頸部巻伏文、胴部上位波状文、円形浮文、中位巻拂で。 内面部 口縁部～胴部下位巻磨き。
3	弥生土器 小形甕	一括	口径 一 底径 一 器高 3/4	①普通 ②灰褐色～黒褐色 ③白色粒、黒色粒 ④頸部～胴部中位	外面部 頸部巻伏文、胴部上位波状文、中位巻磨き。 内面部 頸部～胴部下位巻磨き。

## 26号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 12.8 底径 9.0 器高 30.3	①普通 ②縁～純い橙色 ③白色粒、褐色粒 ④4/2	外面部 口縁部巻拂で、頸部巻伏文、胴部上位波状文、中位～下位巻拂で、胴部下端は内側に肥厚し、底部は焼成前穿孔、穿孔部分は難い。 内面部 口縁部～胴部下位巻拂で。
2	弥生土器 甕		口径 16.9 底径 一 器高 一	①普通 ②赤褐色～純い黄褐色 ③白色粒、褐色粒、雲母 ④口縁部～胴部下位2/3	外面部 口縁部波状文、頸部巻伏文、胴部上位～中位波状文、下位巻拂で。 内面部 口縁部～胴部下位巻拂で。
3	弥生土器 甕	一括	口径 14.4 底径 一 器高 一	①普通 ②褐灰～純い赤褐色 ③白色粒、褐色粒 ④口縁部～胴部中位3/4	外面部 口縁部波状文、口縁部巻拂で、頸部巻伏文、胴部上位波状文、中位巻磨き。 内面部 口縁部～胴部中位巻磨き。

## 28号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	D 2	口径 (13.1) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部下位2/3	外面部 口縁部波状文、頸部巻伏文、胴部上位波状文、下位巻拂で。 内面部 口縁部～胴部下位巻拂で。

第14表 18号・19号・24号～26号・28号住居址出土土器観察表

## 30号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	成・整形技法の特徴			
				①焼成	②色調	③胎土	④残存
1	弥生土器 壺	一括	口径(8.3) 底径 8.0 器高 19.2	①普通 ②橙 ③白色粒・裸 ④3/5	外面 内面	口縁部花弁状に摘まれ端部に繩文、頸部施磨き、胴部繩文LR。 口縁部～底部施磨で。	
2	弥生土器 壺	一括	口径 16.6 底径 — 器高 —	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・黑色粒・褐色粒 ④口縁部 ～胴部上位1/4	外面 内面	口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文。 口縁部～胴部上位施磨き。	

## 32号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	成・整形技法の特徴			
				①焼成	②色調	③胎土	④残存
1	弥生土器 壺	一括	口径 27.9 底径 27.0 器高 4.8	①普通 ②橙～明赤褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部 ～中位5/6	外面 内面	口縁部施磨で、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位施磨 き、赤彩。	
2	弥生土器 壺	一括	口径 18.8 底径 18.0 器高 6.7	①普通 ②橙～純い黃褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部 ～部中位6/7	外面 内面	口縁部施磨で、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位施磨 で。	
3	弥生土器 小形壺	一括	口径 27.9 底径 27.0 器高 4.8	①普通 ②純い黃褐色 ③白色粒・黑色粒・褐色粒・石英 ④口縁部～中位 ～底部残存	外面 内面	口縁部施磨で、4箇所に焼成前の穿孔。頸部巻状文、胴 部上位波状文、中位～底部施磨で。 口縁部～底部施磨で。	
4	弥生土器 壺	一括	口径 17.2 底径 17.0 器高 27.2	①普通 ②純い赤褐色 ③白色粒・褐色粒 ④7/8	外面 内面	口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位施磨 で、下位施磨き、底部調整不明瞭。 口縁部施磨で、胴部～底部施磨で。	
5	弥生土器 壺	一括	口径 14.5 底径 14.0 器高 —	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒 ④口縁部～胴部下位3/4	外面 内面	口縁部削り、口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波 状文、下位施磨き。	
6	弥生土器 壺	一括	口径 16.5 底径 8.9 器高 28.1	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐色 ④ほぼ完形	外面 内面	口縁部施磨で、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位～下 位施磨で、底部調整不明瞭。	
7	弥生土器 壺	一括	口径 (20.6) 底径 9.0 器高 30.4	①普通 ②純い黃褐色 ③白色粒・角閃石 ④3/4	外面 内面	口縁部横削で、口縁部施磨で、頸部巻状文、胴部上位 波状文、尼撫で、中位～下位刷毛目、底部削り。	
8	弥生土器 壺	一括	口径 18.5 底径 8.5 器高 28.9	①普通 ②橙～純い褐色 ③白色粒・褐色粒 ④1/2	外面 内面	口縁部波状文、口縁部施磨で、頸部巻状文、胴部上位 波状文、中位削りで、下位施磨き、底部施磨で。 口縁部～底部施磨き。	
9	弥生土器 壺	一括	口径 18.2 底径 6.5 器高 22.8	①普通 ②純い黃褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 内面	口縁部横削で、口縁部施磨で、頸部巻状文、胴部上位 波状文、下位～底部施磨で。	
10	弥生土器 壺	一括	口径 15.0 底径 7.2 器高 25.5	①普通 ②灰黄褐色～黒褐色 ③白色粒・黑色粒 ④7/8	外面 内面	口縁部上位波状文、下位施磨で、頸部巻状文、胴部上位 波状文、中位削り、下位施磨き、底部施磨で。 口縁部～底部施磨き。	
11	弥生土器 壺	一括	口径 7.6 底径 7.6 器高 —	①普通 ②純い黃褐色 ③白色粒 ④口縁部下位～底 部残存	外面 内面	口縁部削り、頸部巻状文、胴部上位波状文、下位施磨で， 底部削り。 口縁部～底部施磨き。	
12	弥生土器 小形壺	一括	口径 12.2 底径 (7.2) 器高 17.3	①普通 ②褐～黒褐色 ③白色粒・黑色粒・石英 ④7/8	外面 内面	口縁部施磨で、頸部巻状文、胴部上位施磨で。下位～底 部施磨。	
13	弥生土器 小形壺	一括	口径 7.5 底径 7.5 器高 —	①普通 ②灰褐色 ③白色粒・黑色粒 ④頸部～底部残存	外面 内面	頸部巻伏文、胴部上位波状文、中位施磨で、下位～底 部削り。	
14	弥生土器 高杯	一括	口径 18.3 底径 10.0 器高 —	①普通 ②純い橙色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～底部下 位4/4	外面 内面	口縁部横削で、体部器皿荒れ調整不明瞭。 口縁部横削で、体部施磨で。	
15	弥生土器 高杯	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②橙色・赤色 ③白色粒・褐色粒 ④体部下位～脚部 7/8	外面 内面	体部下位～脚部施磨き、赤彩。 体部～底部調整不明瞭、底部原擦で、所々に赤色顔料付 着。	

## 33号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	成・整形技法の特徴			
				①焼成	②色調	③胎土	④残存
1	弥生土器 小形壺	No.1 一括	口径 8.5 底径 4.1 器高 11.8	①普通 ②橙～灰褐色 ③白色粒・褐色粒・石英 ④3/7/8	外面 内面	口縁部横削で、頸部原擦で、下位～底部削り。	
2	弥生土器 台付壺	一括	口径 14.3 底径 10.0 器高 —	①普通 ②橙～灰褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部下 位7/8	外面 内面	口縁部上位波状文、円形浮文、下位施磨で、胴部上位波 状文、円形浮文、下位施磨で。 口縁部～胴部下位施磨き。	

第15表 30号・32号・33号住居址出土土器観察表

## 34号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技術の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 16.0 底径 14.6 器高 7.6	①普通 ②純い黄橙色 ③白色粒、黒色粒 ④口縁部～胴部下位1/6	外面 口縁部荒削で、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位～下位荒削で。 内面 口縁部～胴部下位荒削き。
2	弥生土器 甕	一括 35住一括	口径 18.5 底径 17.0 器高 7.0	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐色粒、石英 ④口縁部～胴部上位1/3	外面 口縁部荒削で、下位波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、尾端削で。 内面 口縁部～胴部上位荒削で。
3	弥生土器 台付甕	一括	口径 13.0 底径 12.5 器高 7.0	①普通 ②赤褐色～純い黄橙色 ③白色粒、黒色粒 ④口縁部～台部上位7/8	外面 口縁部波状文、口縁部荒削で、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位～台部荒削で。 内面 口縁部～底部荒削き、台部荒削で。
4	弥生土器 高杯	一括	口径 14.6 底径 13.8 器高 7.4	①普通 ②素地・灰白色、赤色 ③白色粒、黒色粒 ④口縁部～体部下位1/3	外面 口縁部～体部荒削き、赤彩。 内面 口縁部～体部荒削き、赤彩。
5	弥生土器 鉢	一括	口径 13.8 底径 13.4 器高 7.4	①普通 ②純い黄橙色、赤色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部1/5欠損	外面 口縁部～体部荒削き、赤彩、底部荒削で。 内面 口縁部～底部荒削き、赤彩。

## 35号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技術の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 22.4 底径 21.0 器高 19.0	①普通 ②純い黄橙色 ③白色粒、黒色粒・角閃石 ④口縁部～頸部6/7	外面 複合口縁、波状文、口縁部荒削で、頸部巻状文。 内面 口縁部～頸部荒削で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 13.3 底径 12.8 器高 7.0	①普通 ②純い橙色 ③白色粒、褐色粒 ④口縁部～胴部上位2/3	外面 複合口縁、口縁部荒削で、頸部巻状文、胴部上位波状文。 内面 口縁部～胴部上位荒削で。

## 36号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技術の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 20.6 底径 17.5 器高 36.8	①普通 ②純い褐色～褐色 ③白色粒、黒色粒・褐色粒 ④6/7	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位～底部荒削で。 内面 口縁部荒削き、胴部上位～底部荒削で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 18.7 底径 16.0 器高 34.6	①普通 ②純い黄橙色 ③白色粒、黒色粒 ④7/8	外面 複合口縁、波状文、端部波状の押圧、口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位～下位荒削で、底部荒削り。 内面 口縁部荒削で、胴部～底部荒削で。
3	弥生土器 甕	一括	口径 18.3 底径 8.9 器高 29.7	①普通 ②純い黄橙色～褐色 ③白色粒、黒色粒 ④ほぼ変形	外面 口肩部波状文、口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位～下位荒削で、下位～底部荒削き。 内面 口縁部～胴部上位荒削で、下位～底部荒削き。
4	弥生土器 甕	一括	口径 14.8 底径 8.8 器高 26.1	①普通 ②灰黃褐色 ③白色粒、黒色粒・角閃石 ④9/10	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位～底部荒削で。 内面 口縁部横削で、口縁部～底部荒削で。
5	弥生土器 甕	P 7	口径 13.6 底径 7.6 器高 21.1	①普通 ②橙～純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④9/10	外面 複合口縁、波状文、端部波状の押圧、口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位～下位荒削き、底部荒削り。 内面 口縁部荒削き、胴部～底部荒削で。
6	弥生土器 小形甕	一括	口径 11.6 底径 6.8 器高 16.2	①普通 ②橙～灰黃褐色 ③白色粒、黒色粒 ④3/4	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、下位荒削で、底部荒削り。 内面 口縁部横削で、胴部～底部荒削で。
7	弥生土器 小形甕	一括	口径 11.6 底径 6.2 器高 15.2	①普通 ②純い黄橙色 ③白色粒・角閃石 ④7/8	外面 複合口縁、波状文、口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位荒削で、下位～底部横削り。 内面 口縁部～底部荒削で。
8	弥生土器 台付甕	一括	口径 11.1 底径 5.2 器高 13.9	①普通 ②灰黃褐色、黑褐色 ③白色粒・角閃石 ④7/8	外面 口縁部荒削で、胴部荒削、胴部～台部荒削で。 内面 口縁部荒削で、胴部～底部荒削で、台盤は無削で。
9	弥生土器 ミニチュア 台付甕		口径 6.6 底径 5.3 器高 9.0	①普通 ②純い黄橙色 ③白色粒、黒色粒・褐色粒 ④台部1/4欠損	外面 口縁部横削で、胴部～台部荒削で。 内面 口縁部横削で、胴部～底部荒削で、台盤は無削で。
10	弥生土器 高杯	一括	口径 13.4 底径 9.2 器高 14.3	①普通 ②純い黄橙色、赤色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④9/10	外面 口縁部～脚部荒削き、赤彩。 内面 口縁部～底部荒削き、赤彩、脚部荒削り後削り。

第16表 34～36号住居址出土土器観察表

## 38号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	P 2 一括	口径 18.7 底径 7.2 器高 27.0	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・褐色・雲母 ④口縁部・胴部下位4/5	外面 口縁部荒撫で、頸部壓状文、胴部上位波状文、中位～下位荒撫で。 内面 口縁部～胴部荒撫で。
2	弥生土器 壺	P 3 一括	口径 18.7 底径 7.2 器高 27.0	①普通 ②橙～純い黄褐色 ③白色粒・黑色粒 ④頸部～胴部中位3/4	外面 頸部壓状文、胴部上位波状文、中位～下位荒撫で。 内面 頸部～胴部下位荒撫で。
3	弥生土器 甕	一括	口径 17.6 底径 7.2 器高 27.0	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・石英 ④9/10	外面 口縁部波状文、口縁部横撫で、頸部壓状文、胴部上位波状文、中位羽状文、下位荒撫で、底部荒削り。 内面 口縁部上位荒撫で、下位～胴部下位荒削で、中位～底部器面荒れ調整不明顯。
4	弥生土器 片口	No.4	口径 9.5 底径 5.7 器高 12.0	①普通 ②純い黄褐色～暗灰黄色 ③白色粒・黑色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部～底部荒撫で。 内面 口縁部～底部荒撫で。

## 41号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	弥生土器 甕	一括	口径 15.4 底径 8.8 器高 29.1	①普通 ②純い黄褐色～灰褐色 ③白色粒・黑色粒・角閃石 ④2/3	外面 口縁部波状文、口縁部荒撫で、頸部壓状文、胴部上位波状文、下位～底部荒撫で。 内面 口縁部～底部荒撫で。	
2	弥生土器 甕	一括	口径 17.1 底径 8.8 器高 26.0	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・角閃石・石英 ④口縁部・胴部中位1/3	外面 口縁部波状文、頸部壓状文、胴部荒撫で。 内面 口縁部～胴部下位荒削で。	
3	弥生土器 小形甕	一括	口径 12.4 底径 6.2 器高 20.0	①普通 ②純い黄褐色～灰褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部下位2/3	外面 口縁部荒撫で、口縁部下位波状文、頸部壓状文、胴部上位波状文、下位荒撫で。 内面 口縁部荒撫で、胴部荒削で。	
4	弥生土器 台付甕	一括	口径 13.5 底径 10.2 器高 21.6	①普通 ②橙～純い褐色 ③白色粒・黑色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部波状文、頸部壓状文、胴部上位波状文、下位～台部荒削り。 内面 口縁部波状文、胴部下位荒削で、台部荒撫で。	
5	弥生土器 台付甕	一括	口径 12.0 底径 6.2 器高 19.4	①普通 ②純い赤褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部下位4/5	外面 口縁部波状文、頸部壓状文、胴部上位波状文、下位荒撫で後荒削で。	内面 口縁部荒削で、胴部荒撫で。
6	弥生土器 小形台付甕	一括	口径 12.0 底径 6.2 器高 19.4	①普通 ②明黄褐色～灰褐色 ③白色粒・黑色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位3/4	外面 口縁部横撫で、頸部壓状文、胴部上位波状文、下位荒撫で後荒削で。	内面 口縁部～胴部下位荒削で。
7	弥生土器 高坏	一括	口径 10.2 底径 5.2 器高 13.0	①普通 ②橙～赤褐色 ③白色粒・黑色粒・石英 ④頸部残存	外面 頸部荒削で、赤色。	内面 頸部荒撫で。

## 43号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	弥生土器 壺	一括	口径 10.6 底径 5.2 器高 12.0	①普通 ②橙色、明赤褐色 ③白色粒・黑色粒・褐色粒 ④頸部～胴部中位1/2	外面 頸部壓状文、胴部上位波状文・縱帶壓状文、中位～下位荒削で。 内面 器面荒れ調整不明顯。	
2	弥生土器 甕	P 4	口径 10.6 底径 5.2 器高 12.0	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・黑色粒・石英 ④口縁部下位～胴部下位2/3	外面 口縁部下位荒撫で、胴部上位波状文、中位～下位荒削で、中位赤色。 内面 口縁部～胴部荒撫で。	
3	弥生土器 甕	P 3	口径 10.6 底径 5.2 器高 12.0	①普通 ②灰黄褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部中位4/5	外面 口縁部波状文、口縁部荒撫で、頸部壓状文、胴部上位波状文、中位荒削で。 内面 口縁部～胴部荒削で。	
4	弥生土器 甕	P 4	口径 20.7 底径 7.2 器高 20.0	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・石英・繊維 ④口縁部～胴部下位1/2	外面 口縁部横撫で、頸部壓状文、胴部上位波状文、中位鶴嘴後荒撫で。 内面 口縁部上位横撫で、下位～胴部荒削で後荒削で。	
5	弥生土器 甕	P 4	口径 17.0 底径 6.2 器高 16.0	①普通 ②褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部中位1/2	外面 口縁部刻目、口縁部波状文、頸部壓状文、胴部上位波状文、中位荒削で。	内面 口縁部～胴部荒撫で。
6	弥生土器 小形甕	P 3	口径 12.4 底径 5.2 器高 12.0	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部中位残存	外面 口縁部波状文、頸部壓状文、胴部上位波状文、中位荒撫で。 内面 口縁部～胴部荒撫で後荒削で。	
7	弥生土器 台付甕	一括	口径 12.4 底径 5.2 器高 12.0	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位9/10	外面 口縁部円形浮文、口縁部波状文、頸部壓状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位荒撫で。 内面 口縁部～胴部下位荒撫で。	
8	弥生土器 小形台付甕	一括	口径 10.1 底径 5.0 器高 6.7	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位残存	外面 口縁部波状文、円形浮文、頸部壓状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位荒削で。 内面 口縁部～胴部下位荒削で。	
9	弥生土器 鉢		口径 11.4 底径 5.0 器高 6.7	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒・黑色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部荒撫で、底部荒削り。 内面 口縁部～底部荒削り。	

第17表 38号・41号・43号住居址出土土器観察表

## 43号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
10	弥生土器 ミニチュア 鉢	P.5	口径 6.0 底径 3.0 器高 3.6	①普通 ②赤色 ③白色粒・黒色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部～体部擦撫で、赤彩、底部擦撫で。 内面 口縁部～底部擦撫で、赤彩。口縁部に焼成前の穿孔2孔1組。

## 49号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②焼～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・白色粒 ④口縁部下位 ～胴部中位4/5	外面 口縁部下位磨拭で、頸部擦状文、胴部上位波状文・彫状文、中位磨削き。 内面 口縁部～胴部擦撫で。
2	弥生土器 壺	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②焼～純い橙色 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部 下位～胴部中位1/3	外面 口縁部下位網毛目、頸部擦状文、胴部上位波状文・彫削文、中位磨削き。 内面 口縁部～胴部擦撫で。
3	弥生土器 壺	P.2	口径 14.2 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部 ～頸部1/2	外面 口縁部波状文、頸部彫状文。 内面 口縁部～頸部擦撫で。
4	弥生土器 壺	P.3	口径 (17.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部上 位1/4	外面 複合口縁横撫で、底部刻目、口縁部波状文、頸部彫状文、胴部上位波状文。 内面 口縁部横撫で、口縁部～胴部上位磨削で後端磨き。

## 52号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	No.1 一括	口径 22.3 底径 一 器高 一	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐 色粒・角閃石 ④口縁部～胴部 上位9/10	外面 複合口縁横撫で、口縁部磨撫で、頸部彫状文、胴部上位 波状文。 内面 口縁部磨削き。胴部器皿面荒れ調整不明瞭。
2	弥生土器 壺	一括	口径 (22.8) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下 位1/3	外面 口縁部波状文、頸部彫状文、胴部上位波状文。下位磨擦 き。 内面 口縁部～胴部下位磨削き。
3	弥生土器 壺	一括	口径 (16.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い赤褐色 ③白色 粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下 位1/2	外面 口縁部羽状文、頸部彫状文、胴部上位羽状文。下位磨削 き。 内面 口縁部～胴部下位磨削き。
4	弥生土器 高杯	一括	口径 9.3 底径 9.3 器高 一	①普通 ②純い黄褐色、純い赤 褐色 ③角閃石・礫 ④底部 ～脚部残存	外面 器面荒れ調整不明瞭、赤彩。 内面 底部調整不規則、赤彩。脚部磨撫で。
5	弥生土器 高杯	一括	口径 7.1 底径 7.1 器高 一	①普通 ②赤褐色 ③褐色粒・ 石英 ④底部～胴部残存	外面 脚部磨削き。
6	弥生土器 高杯	一括	口径 7.1 底径 7.1 器高 一	①普通 ②純い褐～純い明褐色 ③白色粒・褐色粒 ④脚部残存	外面 脚部昆割り。 内面 脚部磨撫で。
7	弥生土器 ミニチュア 高杯	一括	口径 4.3 底径 4.3 器高 一	①普通 ②純い赤褐色～明赤褐色 ③白色粒・黑色粒・石英 ④脚 部残存	外面 脚部磨撫で、指損痕。 内面 脚部磨撫で。
8	弥生土器 ミニチュア 高杯	一括	口径 7.0 底径 6.2 器高 6.2	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・褐色粒 ④2/3	外面 口縁部～脚部磨撫で、指損痕。 内面 口縁部～底部磨撫で、脚部磨撫で。
9	弥生土器 ミニチュア 鉢	一括	口径 6.0 底径 3.6 器高 3.5	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部～底部磨撫で。 内面 口縁部～底部磨撫で。
10	弥生土器 ミニチュア 鉢	一括	口径 6.7 底径 3.1 器高 5.1	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部～底部磨撫で。 内面 口縁部～底部磨削き。

## 58号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	P.2 一括	口径 (18.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～灰黃褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部 ～胴部中位2/3	外面 口縁部波状文、頸部彫状文、胴部上位波状文、中位磨擦 で磨撫で。 内面 口縁部～胴部中位磨削き。

## 59号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 小形壺	一括	口径 (12.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～灰黃褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部 ～胴部中位2/5	外面 口縁部～胴部上位波状文、中位磨削き。 内面 口縁部磨撫で、胴部磨削き。
2	弥生土器 小形壺	一括	口径 6.3 底径 6.3 器高 一	①普通 ②純い橙～純い赤褐色 ③白色粒・角閃石・礫 ④脚部 ～底部残存	外面 頸部彫状文、胴部上位波状文、下位～底部磨撫で。 内面 脚部磨削で。
3	弥生土器 高杯	一括	口径 14.4 底径 14.4 器高 一	①普通 ②純い褐色 ③白色 粒・黒色粒 ④底部～脚部4/5 ～底部残存	外面 体部～脚部上位磨削き、下位刷毛目。 内面 底部磨削で、赤彩、脚部磨撫で。脚部一部欠損。欠け口は 焼成前の調整痕があり補修部分の剥離の可能性。成いは 転用か。

第18表 43号・49号・52号・58号・59号住居址出土土器観察表

## 59号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
4	弥生土器 高杯	一括	口径 9.2 底径 5.5 器高 8.2	①普通 ②赤褐色 ③白色粒・ 黒色粒 ④9/10	外面 口縁部～脚部踏磨き。 内面 口縁部～底部踏磨き、脚部荒削で。口縁部一部に赤色の 痕跡。

## 61号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 20.0 底径 14.0 器高 一	①普通 ②純い橙～橙色 ③白 色粒・黒色粒 ④口縁部4/5	外面 口唇部削り、口縁部上位横彌で、下位踏磨で。 内面 口縁部上位横彌で、下位踏磨で。

## 33号土坑

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	No.1	口径 17.2 底径 12.0 器高 一	①普通 ②純い橙～純い褐色 ③白色粒・石英 ④口縁部～胸 部中位残存	外面 口縁部剥皮状文、円形浮文、口縁部上位横彌で、下位踏 磨で、頭部横彌線・巻狀文、脇部上位剥皮状文、円形浮文、 中位踏磨で。 内面 口縁部横彌で、口縁部荒削ぎ、脇部横彌で後脚磨き。

## 37号土坑

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径(25.0) 底径 器高	①普通 ②褐色 ③白色粒・黑 色粒 ④口縁部1/3	外面 口縁部剥皮状文、口縁部荒削で。 内面 口縁部荒磨き、赤彩。
2	弥生土器 壺	一括	口径(22.0) 底径 器高	①普通 ②褐色 ③白色粒・黑 色粒・角閃石 ④口縁部～脇 部 中位1/2	外面 口縁部端部無で、口縁部刷毛目、中位巻狀文、脇部上位 剥皮状文、沈線1条、中位刷毛目後脚磨き。 内面 口縁部荒削で、脇部上位刷毛目、中位踏磨で。
3	弥生土器 壺	一括	口径 底径(12.4) 器高	①普通 ②褐色 ③白色粒・黑 色粒 ④口縁部下位～底部7/8	外面 口縁部刷毛目後踏磨で、頭部剥皮状文、脇部上位剥皮状文、 中位踏磨で後刷毛目、下位刷毛目、底部踏磨で。 内面 口縁部踏磨で、脇部上位刷毛目、中位～底部踏磨で。
4	弥生土器 壺	一括	口径 底径 器高	①普通 ②橙～浅黃褐色 ③白 色粒・黑色粒 ④口縁部下位 ～底部5/5	外面 口縁部刷毛目、頭部巻狀文、脇部上位刷毛目後剥皮状文、 中位～下位刷毛目後踏磨き、脇部全面剥離。 内面 口縁部～脇部上位刷毛目、中位～底踏磨で。
5	弥生土器 壺	一括	口径 底径(11.0) 器高	①普通 ②橙～明赤褐色 ③白 色粒・黑色粒 ④頭部～底部3/5	外面 頭部巻狀文、脇部上位刷毛目後剥皮状文、脇部中位踏 磨で、赤彩、脇部下位刷毛目後踏磨で。 内面 頭部～脇部踏磨で。
6	弥生土器 壺	一括	口径 底径 器高	①普通 ②純い黄褐色 ③白 色粒・黑色粒 ④頭部～脇部下位 1/3	外面 頭部T字文、脇部上位刷毛目後剥皮状文、脇部中位～下位 刷毛目後踏磨で。 内面 頭部～底部踏磨で。

## 遺構外出土

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 高杯	20号在一 括	口径 11.2 底径 器高	①普通 ②明赤褐色、赤褐色 ③石英 ④口縁部～体部下位 1/2/5	外面 口唇部削り、口縁部横彌で、体部踏磨き、外面赤彩。 内面 口縁部～体部下位踏磨き、口縁部赤彩。
2	弥生土器 高杯	39号在一 括	口径(24.4) 底径 器高 19.4	①普通 ②橙～純い赤褐色 ③白 色粒・黑色粒 ④7/8	外面 口縁部～体部踏磨で、脚部踏磨き、赤彩。 内面 口縁部～底部踏磨き、口縁部赤彩、脚部踏磨で。

## 37号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	No.1 一括	口径 12.8 底径 器高	①普通 ②純い橙～純い褐色 ③白色粒・黑色粒・角閃石・石 英 ④口縁部～脇部中位3/4	外面 口縁部横彌で、脇部踏磨で。 内面 口縁部横彌で、脇部踏磨き。
2	土師器 壺	一括	口径 底径 器高	①普通 ②橙～純い褐色 ③白 色粒・黑色粒・褐色粒 ④頭部 ～脇部下位1/5	外面 頭部巻狀文、脇部上位繩文LR、下位踏磨で。 内面 頭部～脇部踏磨き。

## 44号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 高杯	一括	口径(19.1) 底径 器高	①普通 ②純い褐色 ③白色 粒・黑色粒 ④部1/3	外面 口縁部～体部踏磨き。 内面 口縁部～体部踏磨き。

第19表 59号・61号住居址、33号・37号土坑、遺構外、37号・44号住居址出土土器観察表

## 48号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	No 1	口径 一 底径 7.0 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～黒褐色 ③白色粒・黒色粒 ④胴部下位 底部3/4	外面 脚部磨削き、底部腹面で。 内面 脚部～底部磨削き。
2	土師器 壺		口径 17.5 底径 一 器高 一	①普通 ②明赤褐色～純い橙色 ③白色粒・褐色粒・角閃石 ④ 口縁部～脚部4/5	外面 口縁部横撫で、口縁部～脚部磨削き。 内面 口縁部～脚部磨削き。
3	土師器 小形壺	一括	口径 9.2 底径 一 器高 一	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐色 ④口縁部～脚部中位1/4	外面 口縁部～脚部中位磨削き。 内面 口縁部～脚部中位磨削き。
4	土師器 高杯	一括	口径 (14.8) 底径 一 器高 一	①普通 ②明赤褐色～純い黃褐色 ③白色粒・黒色粒 ④杯部1/3	外面 口縁部～底部磨削き。 内面 口縁部～底部磨削き。
5	土師器 盤台	一括	口径 10.0 底径 11.8 器高 8.0	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐色 ④1/2	外面 口縁部～脚部磨削き。 内面 口縁部～底部磨削き、脚部磨削で。

## 50号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	一括	口径 一 底径 5.6 器高 1/4	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④脚部上位～底部	外面 脚部～底部磨削で。 内面 脚部～底部磨削き。
2	土師器 S字口縁盤	一括	口径 8.7 底径 3.6 器高 7.2	①普通 ②橙色 ③白色粒・黑色 ④口縁部一部欠損	外面 口縁部横撫で、脚部刷毛目、底部腹面で。 内面 口縁部横撫で、脚部上位指痕、脚部～底部磨削で。

## 53号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	一括	口径 14.8 底径 6.8 器高 29.9	①普通 ②純い橙色～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④1/10	外面 口縁部～脚部磨削き、底部腹面で。 内面 口縁部磨削き、脚部～底部磨削で。
2	土師器 壺		口径 一 底径 5.8 器高 一	①普通 ②灰黄褐色、純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④脚部上位～底部1/2	外面 脚部磨削き、底部腹面で。 内面 脚部～底部磨削で後磨削き。
3	土師器 壺	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・角閃石 ④口縁部下位～底 部1/4	外面 口縁部磨削き、脚部丁字文、脚部～底部磨削き。 内面 口縁部磨削き、脚部～底部磨削で。
4	土師器 壺		口径 一 底径 4.6 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・黑色粒・石英 ④脚部中位 ～底部残存	外面 脚部磨削き、底部腹面で。 内面 脚部～底部磨削で。
5	土師器 盤台		口径 一 底径 9.6 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～灰黄褐色 ③白色粒・褐色粒 ④底部～脚 部残存	外面 体部下位～脚部磨削き。 内面 底部磨削き、脚部磨削で。

## 62号住居址

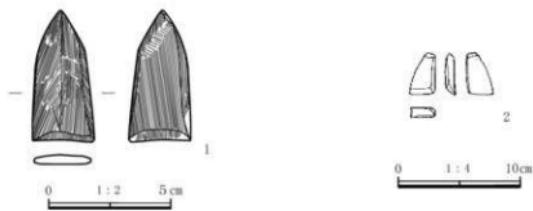
番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	一括	口径 13.2 底径 6.3 器高 29.5	①普通 ②橙～純い橙色 ③白 色粒・黒色粒・角閃石 ④2/3	外面 口縁部～底部磨削き。 内面 口縁部磨削き、脚部～底部磨削で。口縁部焼成前穿孔 1 箇所
2	土師器 高杯	一括	口径 (20.3) 底径 11.0 器高 15.8	①普通 ②橙～純い赤褐色 ③白 色粒・黑色粒 ④5/6	外面 口縁部～脚部磨削き。 内面 口縁部～底部磨削き、脚部刷毛目。脚部円孔 3 箇所
3	土師器 小形壺	一括	口径 一 底径 2.7 器高 一	①普通 ②橙色 ③褐色粒・躍 ④頭部～底部4/5	外面 脚部～底部細かい頭磨き。 内面 脚部磨削き、脚部上位磨削で、中位～底部磨削き。
4	土師器 高杯	一括	口径 一 底径 10.8 器高 一	①普通 ②橙～褐色 ③白色 粒・黑色粒・褐色粒 ④脚部2/3	外面 脚部磨削き。 内面 脚部磨削で。脚部円孔 4 箇所。
5	土師器 高杯	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙～橙色 ③白 色粒・褐色粒 ④底部～脚部中位 残存	外面 脚部磨削で、中位刷毛目。 内面 底部調整不整緻、脚部磨削で。脚部円孔 1 箇所。

第20表 48号・50号・53号・62号住居址出土土器観察表

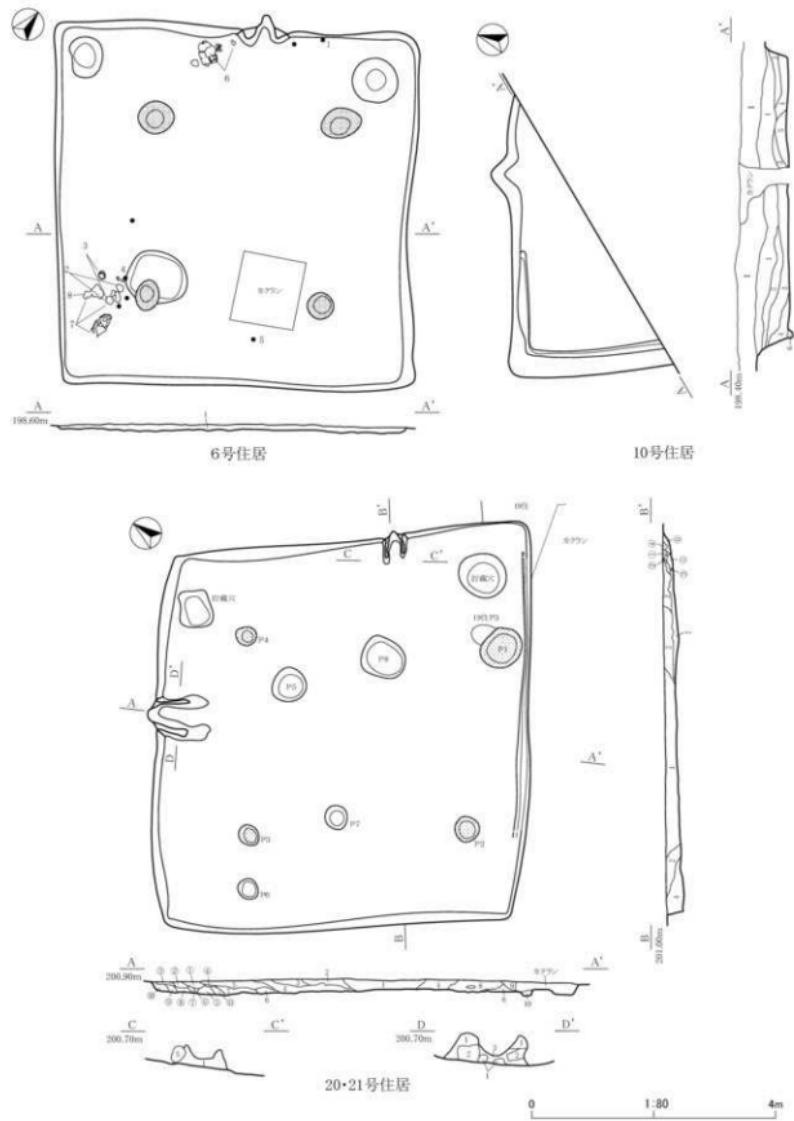
## 遠地谷戸遺跡出土の石器（第50図）

本遺跡は、弥生時代を主体とする集落であるが、2軒の住居址から磨製石鎌の未成品と扁平片刃石斧の刃部破片が出土したのみである。同時期の遺構が確認されている他の遺跡と比較して、遺構数及び土器等の出土量に比べ、石器の出土量が非常に少ない。この点は、調査精度等に問題がある可能性もあるが、石器自体が少ないので、後期後半の特徴を反映している可能性がある。なお、平成5年度の調査では、住居址から刃部が摩耗した安山岩製の石器（「石斧」と報告）と安山岩製の石鎌の欠損品が出土している。1は、珪質準片岩製の磨製石鎌未成品である。研磨による鋸及び基部は形成されているが、両側縁（刃部）の研磨は施されていない。長さ53.81mm、幅25.89mm、厚さ4.57mm、重量9.5gである。2は、蛇紋岩製の小型扁平片刃石斧の欠損品である。上端部は凸状である。長さ36.91mm、幅21.45mm、厚さ7.79mm、重量9.5gである。

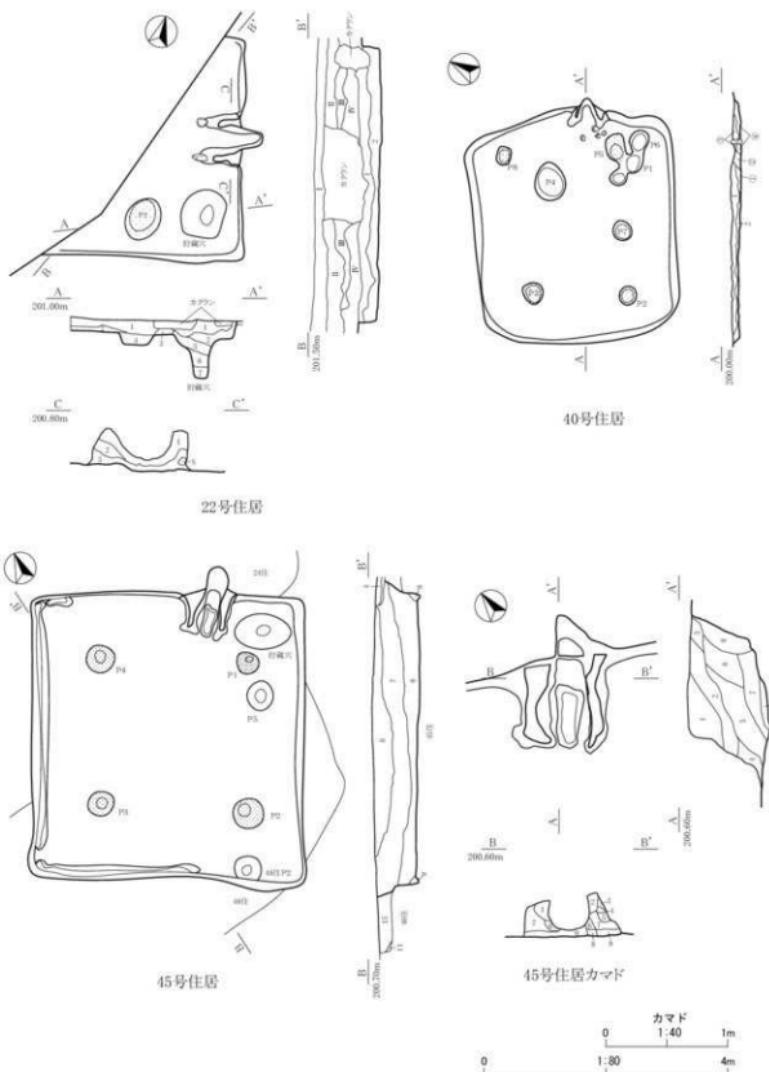
（井上 慎也）

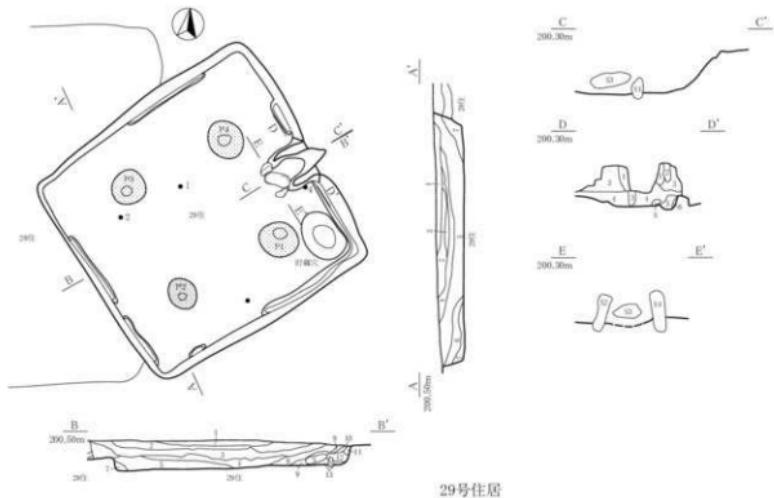


第50図 遠地谷戸遺跡出土石器実測図

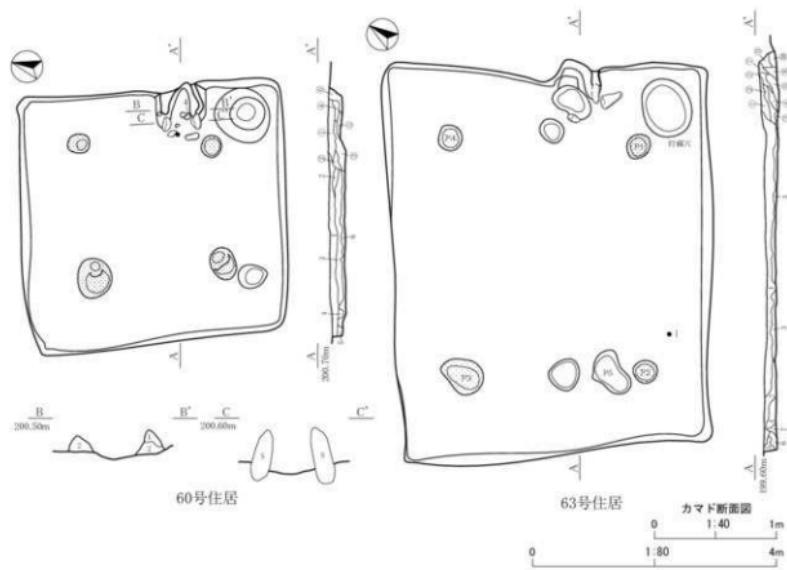


第51図 6号・10号・20号・21号住居址実測図

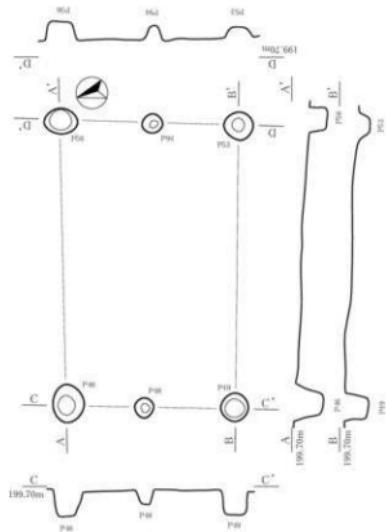




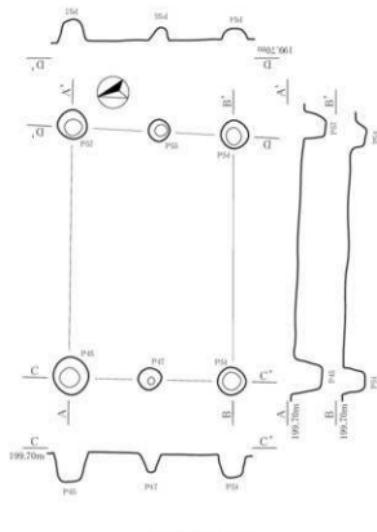
29号住居



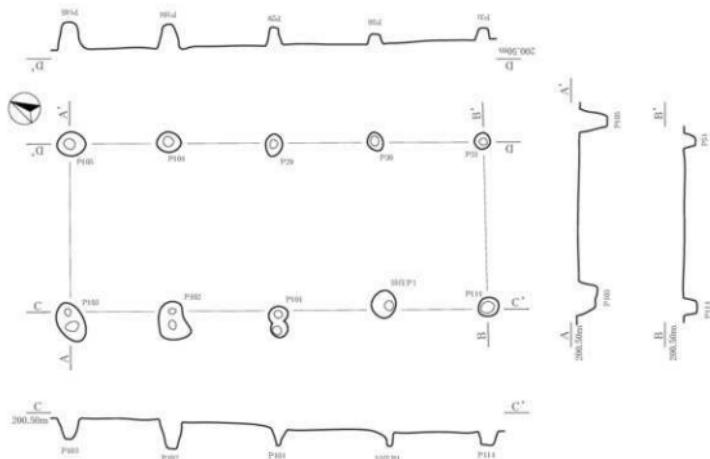
第53図 29号・60号・63号住居址実測図



1号掘立柱建物



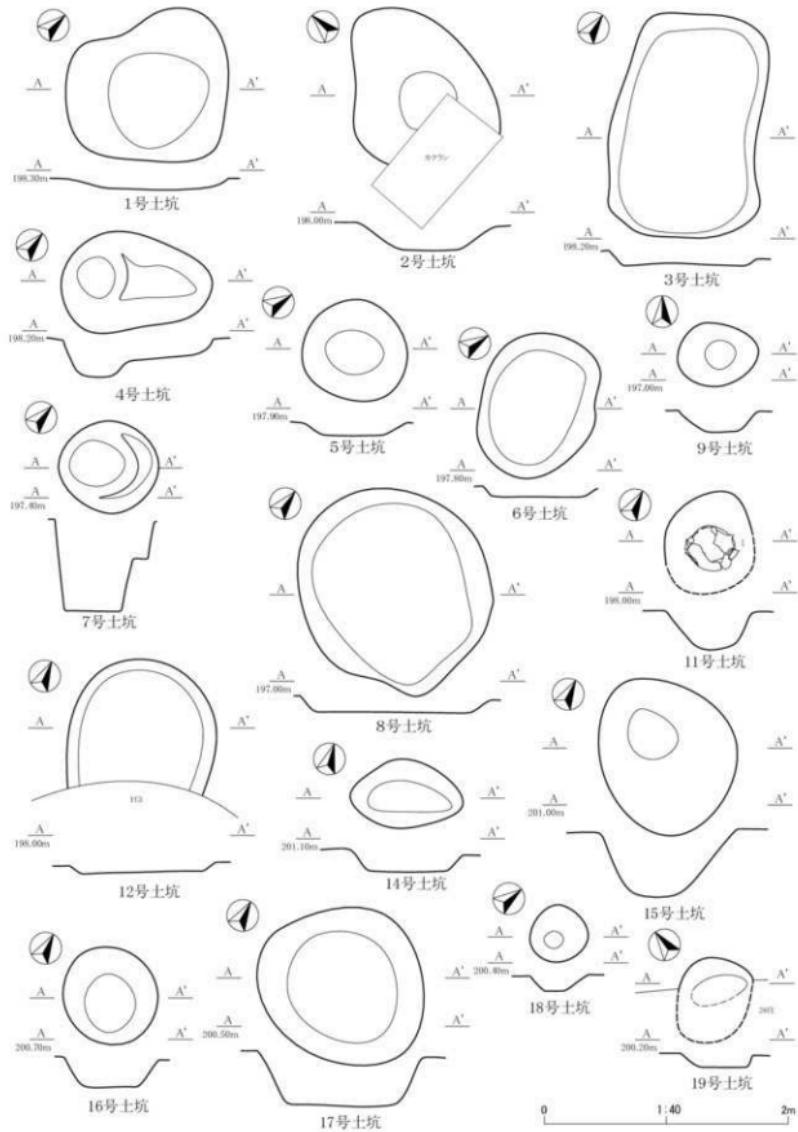
2号掘立柱建物



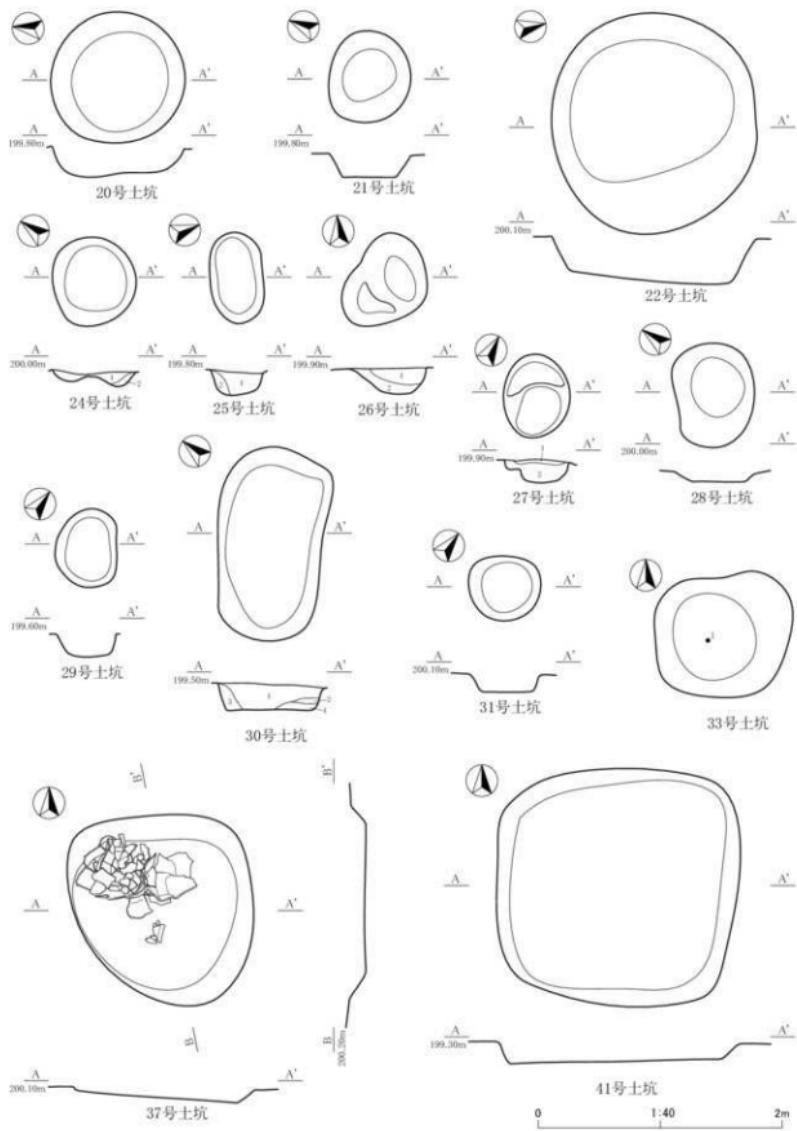
3号掘立柱建物

0                  1:80                  4m

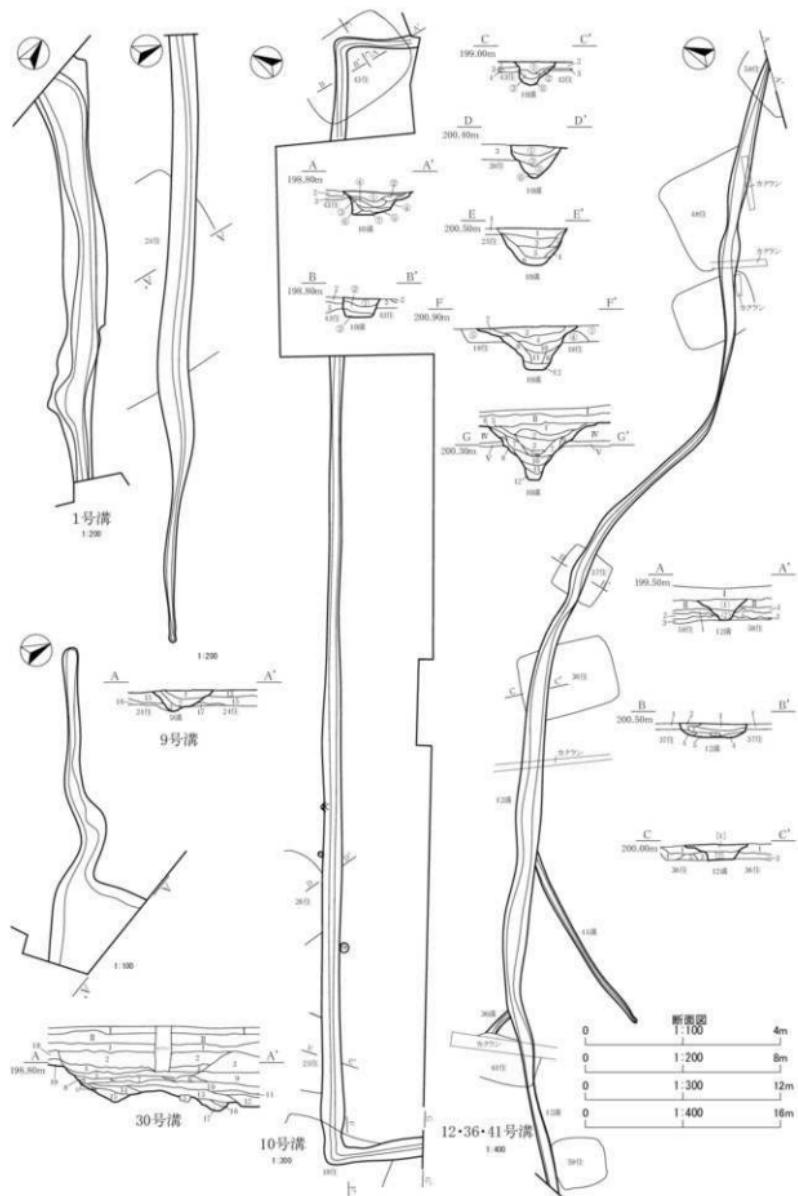
第54図 1～3号掘立柱建物址実測図



第55図 1~9号・11号・12号・14~19号土坑実測図



第56图 20~22号·24~31号·33号·37号·41号土坑实测图



第57图 1号·9号·10号·12号·30号·36号·41号溝断面図

## 6号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色土をブロック状に含む。しまりあり。

## 8号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	AS-Aを多量に含む。しまりあり。
II	暗褐色土	AS-Aを少量含む。しまりあり。
1	黑色土	白色鮮石灰を含む。しまりあり。
2	黒褐色土	しまりあり。

## 10号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	AS-Aを少量含む。しまりあり。
II	暗褐色土	AS-Aを多量に含む。しまりあり。(カクラン)
1	黒褐色土	AS-Aを少量含む。しまりあり。
2	黒褐色土	AS-Aを微量に含む。しまりあり。
3	黑色土	しまりあり。
4	暗褐色土	しまりあり。
5	褐色土	褐色土を微量に含む。しまりあり。
6	暗褐色土	ローム塊に少量含む。しまりあり。

## 20号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)、ローム粒子及びロームブロックを少量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石灰を微細に含む。上層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
3	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石灰を微細に含む。足層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
4	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石灰を微細に含む。3層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)、しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	ローム粒子、黄色鮮石灰に含む。シルムフロッグを少量含む。
7	黃褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)を微量に含むローム粒子、ロームブロックを少量含む。黄色鮮石灰を微量に含む。しまり有り。粘性やや強い。
8	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)、黄色鮮石灰を微量含む。しまり有り。やや強い。
9	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)、褐色鮮石灰を微量含む。しまりあり。やや強い。

## 20号住居 カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
(1)	明褐色土	しまりあり。粘性やや強い。
(2)	褐褐色土	白色鮮石灰を微量に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
(3)	暗褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)を微量に含む。しまりあり。やや強い。
(4)	黒褐色土	白色鮮石灰、黄色鮮石灰、粒子を微量に含む。しまり有り。粘性やや強い。
(5)	明赤褐色土	褐色土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
(6)	明赤褐色土	褐色土を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。

## 20号住居 カマド油

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	山砂、他土を含む。

## 21号住居 カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
①	灰褐色土	炭化物を微量に含む。便土を少量含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	にごり泥褐色土	炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
③	明赤褐色土	便土を多量に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
④	暗褐色土	便土を微量に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑤	にごり泥褐色土	炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや弱い。明褐色土ブロックを含む。
⑥	暗褐色土	しまりあり。粘性やや弱い。
⑦	明褐色土	不規則な塊状の便土を含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑧	明褐色土	不規則な塊状の便土、炭化物、便土を粗粒に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑨	暗褐色土	炭化物、便土を少量に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑩	明褐色土	炭化物を微量に含む。便土を少量含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑪	暗褐色土	ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや弱い。

## 21号住居 カマド油

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	褐色土	山砂
2	黒褐色土	小石、山砂を含む。
3	黒褐色土	地上粒子を含む。

## 22号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
I	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)を微量に含む。上層あり。粘性弱い。
II	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)を少量含む。上層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
III	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)を少量含む。(上)より暗い。しまりあり。粘性弱い。
IV	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
1	黒褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)、ローム粒子を微量に含む。1～3cm隙をまばらに含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

## 22号住居 カマド油

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黄褐色土	白色鮮石灰(Φ1～3mm)、炭化物を微量に含む。ロームブロックを少量含む。便土を中量含む。カマド内壁、薄しく赤変色している。しまりあり。粘性弱い。
2	黑褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黑褐色土	ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。

第21表 6号・8号・10号・20～22号住居址土層注記

## 22号住居（A-A'）

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	高液性粘土 1%、ローム粒。炭化粒子を2~3%含む。
2	褐色褐色土	ローム粒子を10~15%含む。
3	灰褐色粘土土	砂土質 2~3%含む。カドミウムの流失。
4	黄褐色土	砂土粒。炭化粒子を2~3%。ローム塊20~30%を含む。

## 22号住居（A-A'）

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
5	暗褐色土	ローム粒 2~3%含む。
6	褐色土	ローム粒子を5~10%含む。
7	暗褐色土	ローム塊。炭化粒子を5~10%含む。

## 29号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色鮮石(Φ5~6mm)、黄色鮮石(Φ2~3mm大)を2~3%含む。
2	黒褐色土	しまりあり。
3	暗褐色土	白色鮮石(Φ2~4mm大)を2~3%含む。
4	黒色土	しまりあり。粘性やあります。
5	褐色褐色土	ローム塊を2~3%含む。
6	黒褐色土	ローム粒を2~3%含む。
7	褐色土	ローム塊を2~3%含む。
8	褐色土	砂土塊を1%含む。
9	明褐色土	砂土塊。炭化粒子を2~3%含む。
10	黄褐色土	砂土塊。炭化粒子を5~10%含む。
11	暗褐色土	砂土塊。砂土を5~10%含む。
12	暗褐色土	砂土塊を20~30%含む。
13	赤褐色土	砂土塊。Hc。炭化粒子を5~10%含む。

## 29号住居 カマ下

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	砂土塊。炭化物を1%含む。
2	暗褐色土	炭化粒子を1%含む。
3	にこぶ赤褐色土	炭化物。ローム塊を1%含む。
4	暗褐色土	砂土塊を1%含む。
5	黒褐色土	ローム塊を1%含む。しまりあり。
6	暗赤褐色土	炭化塊を1%含む。

## 37号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(Φ1mm)を5~10%。ローム塊を1%含む。しまりあり。

## 39号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(Φ3~10mm)。黄色鮮石を2~3%。炭化物を1%含む。
2	褐色褐色土	ローム粒を2~3%含む。
3	暗褐色土	ローム粒。炭化物。砂土粒を2~3%含む。
4	褐色褐色土	白色鮮石。炭化物を1%含む。
5	褐色土	ローム粒を5~10%。炭化物を2~3%含む。
6	明褐色土	ローム粒を5~10%。炭化物を2~3%含む。
7	黄褐色土	ローム粒を20~30%。炭化物を2~3%含む。

## 40号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(Φ1~3mm)。ローム粒子。砂土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子。炭化物。砂土を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性弱い。
①	暗褐色土	ローム粒子。砂土を微量に含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。(天津港か?)
②	暗褐色土	ローム粒子。炭化物を少し含む。砂土を微量に含む。1より弱い。やや灰だまり。しまりあり。粘性弱い。
③	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
④	暗赤褐色土	炭化物を少量に含む。砂土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 44号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(Φ1~3mm)。ローム粒子。ロームブロック。炭化物。砂土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性弱い。
①	暗褐色土	白色鮮石(Φ1~3mm)。ローム粒子を微量に含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 45号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
6	黒褐色土	白色鮮石(Φ1~3mm)を少額含む。しまりあり。
7	黒褐色土	白色鮮石(Φ1~3mm)を微量に含む。しまりあり。粘性あり。
8	黒褐色土	砂土を含む。しまりあり。
9	黒褐色土	砂土をブロック状に含む。しまりあり。

## 45号住居 カマ下

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	褐色褐色土	白色鮮石。深い褐色鮮石。砂土粒を2~3%含む。
2	褐色土	砂土粒を2~3%含む。
3	褐色土	Φ2~10mmの大砂土塊。炭化粒子を2~3%含む。
4	暗褐色土	砂土粒。炭化粒子を2~3%含む。

第22表 22号・29号・37号・39号・40号・44号・45号住居址土層注記

## 45号住居 カマド

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
5	灰褐色土	φ 5~10mm 大の礫土塊を 2~3% 合む。粘性あり。しまりあり。
6	暗褐色土	φ 10~20mm 大の礫土塊 5~10% 合む。
7	暗褐色土	φ 5~20mm 大の礫土塊を 5~10% 合む。粘性あり。しまりあり。
8	明褐色土	ミササギの糞便土塊を 5~10% 合む。
9	褐色褐色土	糞土粒。糞を 5~10%。炭化物。ローム粒子を 2~3% 合む。

## 48号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。炭化物を微量に含む。ローム粒子。ロームブロック。青色鮮石灰。礫土を微量に含む。しまりあり。粘性あり。
2	黒褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子。ロームブロック。炭化物。礫土を微量に含む。1 層より弱い。しまりあり。粘性あり。
3	黒褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子。ロームブロック。炭化物。礫土を微量に含む。2 層より弱い。しまりあり。粘性あり。
4	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子。炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性あり。

## 49号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。黄色鮮石灰。炭化物を微量に含む。ローム粒子。ロームブロック。青色鮮石灰。礫土を少額合む。しまりあり。粘性あり。4 層より弱い。
6	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。黄色鮮石灰。ローム粒子。炭化物を微量に含む。2 層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
7	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子。炭化物。礫土を微量に含む。ローム粒子。炭化物を少額合む。6 層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
8	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。礫土を微量に含む。ローム粒子。炭化物を少額合む。5 層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
9	黑褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。糠土。ローム粒子。炭化物。ロームブロック。青色鮮石灰。炭化物を微量に含む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
10	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。炭化物。青色鮮石灰。炭化物を微量に含む。ローム粒子。ロームブロック。青色鮮石灰。1 层より弱い。しまりあり。粘性やや弱い。
11	黑褐色土	糠土を微量に含む。白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。炭化物。青色鮮石灰。ローム粒子。ロームブロックを少額合む。9 層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
12	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm) を微量に含む。青色鮮石灰。ローム粒子。ロームブロックを少額合む。10 層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
13	黑褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。炭化物。青色鮮石灰。ロームブロックを少額合む。糠土。ローム粒子を少額合む。11 層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
14	黄褐色土	糠土を微量に含む。ロームブロック。ローム粒子を少額合む。しまりあり。粘性弱い。
15	黄褐色土	糠土を微量に含む。ロームブロック。ローム粒子を少額合む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
①	黑褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm) を微量に含む。ローム粒子を少額合む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
②	暗褐色土	ロームブロックを少額合む。白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子を少額合む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
③	黑褐色土	ローム粒子。ロームブロックを微量に含む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 50号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ロームブロック。黄色鮮石灰。炭化物を微量に含む。白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子を少額合む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子。ロームブロック。炭化物を微量に含む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。糠土。炭化物を微量に含む。ローム粒子。ロームブロックを少額合む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 53号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少額合む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
①	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。(廃屋)
④	黑褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。(廃屋)

## 59号住居 ピット

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
(1)	黒褐色土	ローム粒子。ロームブロックを微量に含む。2 層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 60号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ロームブロック。炭化物。糠土を微量に含む。ローム粒子を少額合む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	糠土を微量に含む。ローム粒子。炭化物を少額合む。ロームブロックを少額合む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。糠土。炭化物を少額合む。ローム粒子。ロームブロックを少額合む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	黑褐色土	炭化物を微量に含む。白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。糠土を少額合む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少額合む。2 層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
6	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。炭化物。糠土。ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少額合む。5 層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 60号住居 カマド

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。糠土。炭化物。ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。糠土。炭化物を微量に含む。ローム粒子を少額合む。(1)より弱い。しまりあり。粘性弱い。
③	黑褐色土	ローム粒子。糠土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
④	にふる井褐色土	炭化物。ローム粒子を微量に含む。白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。糠土を少額合む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
⑤	暗褐色土	ローム粒子。炭化物を微量に含む。糠土を少額合む。空より弱い。しまりあり。粘性弱い。
⑥	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。(6)より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 60号住居 カマド下

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黃褐色土	山砂。糠土を若干含む。
2	褐色土	山砂。粘土プロックを含む。

## 62号住居

履番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子。炭化物。糠土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子を少額合む。ロームブロックを少額合む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ローム粒子。炭化物を微量に含む。白色鮮石灰 (φ 1~3mm)を含む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ローム粒子を微量に含む。糠土を微量に含む。2 層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
5	黃褐色土	ローム粒子を微量に含む。白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。炭化物。糠土を微量に含む。ロームブロックを少額合む。1 层より弱い。しまりあり。粘性弱い。
①	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。白色鮮石灰 (φ 1~3mm)。ロームブロックを少額合む。しまりあり。粘性弱い。(廃屋)
②	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。白色鮮石灰 (φ 1~3mm)を少額合む。ロームブロックを少額合む。(1)より弱い。しまりあり。粘性弱い。(廃屋)
(3)	黃褐色土	しまりあり。粘性弱い。(廃屋)

第23表 45号・48号・50号・53号・60号・62号住居土層記

## 63号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	泥褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), ローム粒子, ロームブロック, 塵化物を微量に含む。礫土を少量含む。西側のカマド付近に礫土分布や有る。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), ロームブロック, 煙土を微量に含む。ローム粒子, 塵化物を少額含む。I解より弱い。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 塵化物, 煙土を微量に含む。ローム粒子, ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	ローム粒子, 塘土物を微量に含む。白色鮮紅(φ 1~3mm)を少額含む。3解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
5	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), ローム粒子を微量に含む。1解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
6	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), ローム粒子を少額含む。4解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
7	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 灰色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。ロームブロックを少額含む。5解より弱い。しまりあり。粘性弱い。
(1)	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 灰色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。1解より弱い。しまりあり。粘性弱い。
(2)	黒褐色土	ローム粒子, 塘土物, 塵土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
(3)	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 灰色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。1解より弱い。しまりあり。粘性弱い。
(4)	赤褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 灰色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。1解より弱い。しまりあり。粘性弱い。
(5)	にじる赤褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 灰色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。1解より弱い。しまりあり。粘性弱い。
(6)	赤褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 灰色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。2解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
(7)	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 灰色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。3解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
(8)	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 灰色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。4解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
(9)	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 灰色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。5解より明るい。しまりあり。粘性弱い。
(10)	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 灰色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。6解より明るい。しまりあり。粘性弱い。

## 5号坑

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒色土	砂色土ブロックに含む。
2	明褐色土	しまりあり。粘性あり。

## 24号坑

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), ローム粒子を1%含む。しまりあり。
2	黄褐色土	暗褐色土を含む。

## 25号坑

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), ローム粒子を1%含む。しまりあり。
2	黄褐色土	暗褐色土を含む。

## 26号坑

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を1%含む。しまりあり。
2	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を1%, ローム塊を含む。しまりあり。

## 27号坑

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を1%含む。しまりあり。
2	明褐色土	白色鮮紅(φ 2~5mm)を1%含む。

## 28号坑

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を1%含む。しまりあり。
2	明褐色土	しまりあり。
3	明黄色土	暗褐色土ブロック状に含む。しまりあり。
4	明黄色土	しまりあり。

1~4, 6~9, 11, 12, 14~19, 30~22, 28, 29, 33, 37, 41号土坑土層注記不明

10号溝・28号溝(28号溝は複数)

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	暗褐色土	②より明るい。しまりあり。粘性弱い。
③	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を少額含む。ローム粒子, ロームブロックを微量に含む。②より弱い。しまりあり。粘性弱い。
④	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を微量に含む。ローム粒子, ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性弱い。
⑤	黒褐色土	ローム粒子を微量に含む。④より明るい。しまりあり。粘性弱い。
⑥	暗褐色土	ローム粒子, ロームブロックを微量含む。白色鮮紅を微量に含む。③より明るい。しまりあり。粘性弱い。
⑦	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), ローム粒子を微量に含む。⑤より明るい。しまりあり。粘性弱い。

## 12層

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
(1)	黄褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm), 塗化物を微量に含む。ローム粒子を少額含む。ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性弱い。
(2)	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。粗砂主体1~3mm大的礫が混じる。3解より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 10号溝 岩塗

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
I	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~5mm)を20~30%含む。しまり弱い。
II	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~5mm)を10~20%含む。しまりあり。
IV	極暗褐色土	しまりあり。
V	暗褐色土	しまりあり。
VI	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を10~15%含む。しまり弱い。
7	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を10~15%含む。ロームセメントを2%含む。しまりあり。
8	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を10~15%含む。ロームセメントを2%含む。しまりあり。
9	暗褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を10~15%含む。ロームセメントを2%含む。しまりあり。
10	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を3%含む。しまりあり。
11	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~3mm)を5%含む。ロームセメントを2%含む。しまりあり。
12	黒褐色土	白色鮮紅(φ 1~2mm)を1%含む。しまりあり。

第24表 63号住居址、5号・24~27号・30号土坑、10号・12号・28号溝土層注記

## 30号溝 実測

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
I	暗褐色土	AS-Aを含む。
II	暗褐色土	白色軽石(φ 1~10mm大)を50%含む。しまりあり。
3	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm大)を10~20%含む。しまりあり。粘性あり。
2	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm大)を50~60%含む。上層より明るい。しまりあり。粘性あり。
3	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm大)を30~40%含む。芯層より暗い。しまりあり。粘性あり。
4	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm大)を20~30%含む。裏の軽石を少混合。2層より暗い。しまりあり。粘性あり。
5	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm大)を5~10%含む。裏の軽石を少混合。しまりあり。粘性あり。
6	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm大)を1~3%含む。しまりあり。粘性あり。
7	暗褐色土	(白色軽石(φ 1~2mm大)を3~5%含む。10層より暗い)。しまりあり。粘性あり。
8	暗褐色土	砂質土(崩砂)
9	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm大)を1~2%含む。裏の軽石を少混合。しまりあり。粘性あり。
10	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm大)を1~2%含む。ローラー圧出。裏の軽石を少混合。しまりあり。粘性あり。
11	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm大)を1~2%含む。10層より暗い。しまりあり。粘性あり。
12	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm大)を1%含む。11層より明るい。しまりあり。粘性あり。
13	暗褐色土	
14	暗褐色土	
15	暗褐色土	
16	暗褐色土	
17	暗褐色土	
18	暗褐色土	
19	暗褐色土	

1, 9, 36, 41号溝土層注記不明

第25表 30号溝土層注記

第26表 遠地谷戸遺跡遺構観察表(1)

（一）地盤（C）四輪軸									
地盤	開	閉	開	閉	開	閉	開	閉	開
半径曲率	半径曲率	半径曲率	半径曲率	半径曲率	半径曲率	半径曲率	半径曲率	半径曲率	半径曲率
1.1m	4.85	3.60	N-87°W	-	-	-	-	-	△
1.2m	4.66	3.76	N-87°W	7	4	4	4	4	△
1.3m	4.50	3.90	N-87°W	30	8	29	29	29	○○△
1.4m	4.40	4.00	N-87°W	41	29	29	29	29	○○△
1.5m	4.30	4.12	N-87°W	24	19	19	19	19	○○△
1.6m	4.20	4.22	N-87°W	40	14	14	14	14	○○△
1.7m	4.10	4.32	N-87°W	47	13	13	13	13	○○△
1.8m	4.00	4.42	N-87°W	27	2	2	2	2	△△△
1.9m	3.90	4.52	N-87°W	22	28	28	28	28	△△△
2.0m	3.80	4.62	N-87°W	64	2	2	2	2	△△△
2.1m	3.70	4.72	N-87°W	81	2	2	2	2	△△△
2.2m	3.60	4.82	N-87°W	85	2	2	2	2	△△△
2.3m	3.50	4.92	N-87°W	80	2	2	2	2	△△△
2.4m	3.40	5.02	N-87°W	75	2	2	2	2	△△△
2.5m	3.30	5.12	N-87°W	70	2	2	2	2	△△△
2.6m	3.20	5.22	N-87°W	65	2	2	2	2	△△△
2.7m	3.10	5.32	N-87°W	60	2	2	2	2	△△△
2.8m	3.00	5.42	N-87°W	55	2	2	2	2	△△△
2.9m	2.90	5.52	N-87°W	50	2	2	2	2	△△△
3.0m	2.80	5.62	N-87°W	45	2	2	2	2	△△△
3.1m	2.70	5.72	N-87°W	40	2	2	2	2	△△△
3.2m	2.60	5.82	N-87°W	35	2	2	2	2	△△△
3.3m	2.50	5.92	N-87°W	30	2	2	2	2	△△△
3.4m	2.40	6.02	N-87°W	25	2	2	2	2	△△△
3.5m	2.30	6.12	N-87°W	20	2	2	2	2	△△△
3.6m	2.20	6.22	N-87°W	15	2	2	2	2	△△△
3.7m	2.10	6.32	N-87°W	10	2	2	2	2	△△△
3.8m	2.00	6.42	N-87°W	5	2	2	2	2	△△△
3.9m	1.90	6.52	N-87°W	0	2	2	2	2	△△△
4.0m	1.80	6.62	N-87°W	-5	2	2	2	2	△△△
4.1m	1.70	6.72	N-87°W	-10	2	2	2	2	△△△
4.2m	1.60	6.82	N-87°W	-15	2	2	2	2	△△△
4.3m	1.50	6.92	N-87°W	-20	2	2	2	2	△△△
4.4m	1.40	7.02	N-87°W	-25	2	2	2	2	△△△
4.5m	1.30	7.12	N-87°W	-30	2	2	2	2	△△△
4.6m	1.20	7.22	N-87°W	-35	2	2	2	2	△△△
4.7m	1.10	7.32	N-87°W	-40	2	2	2	2	△△△
4.8m	1.00	7.42	N-87°W	-45	2	2	2	2	△△△
4.9m	0.90	7.52	N-87°W	-50	2	2	2	2	△△△
5.0m	0.80	7.62	N-87°W	-55	2	2	2	2	△△△
5.1m	0.70	7.72	N-87°W	-60	2	2	2	2	△△△
5.2m	0.60	7.82	N-87°W	-65	2	2	2	2	△△△
5.3m	0.50	7.92	N-87°W	-70	2	2	2	2	△△△
5.4m	0.40	8.02	N-87°W	-75	2	2	2	2	△△△
5.5m	0.30	8.12	N-87°W	-80	2	2	2	2	△△△
5.6m	0.20	8.22	N-87°W	-85	2	2	2	2	△△△
5.7m	0.10	8.32	N-87°W	-90	2	2	2	2	△△△
5.8m	0.00	8.42	N-87°W	-95	2	2	2	2	△△△
5.9m	-0.10	8.52	N-87°W	-100	2	2	2	2	△△△
6.0m	-0.20	8.62	N-87°W	-105	2	2	2	2	△△△
6.1m	-0.30	8.72	N-87°W	-110	2	2	2	2	△△△
6.2m	-0.40	8.82	N-87°W	-115	2	2	2	2	△△△
6.3m	-0.50	8.92	N-87°W	-120	2	2	2	2	△△△
6.4m	-0.60	9.02	N-87°W	-125	2	2	2	2	△△△
6.5m	-0.70	9.12	N-87°W	-130	2	2	2	2	△△△
6.6m	-0.80	9.22	N-87°W	-135	2	2	2	2	△△△
6.7m	-0.90	9.32	N-87°W	-140	2	2	2	2	△△△
6.8m	-1.00	9.42	N-87°W	-145	2	2	2	2	△△△
6.9m	-1.10	9.52	N-87°W	-150	2	2	2	2	△△△
7.0m	-1.20	9.62	N-87°W	-155	2	2	2	2	△△△
7.1m	-1.30	9.72	N-87°W	-160	2	2	2	2	△△△
7.2m	-1.40	9.82	N-87°W	-165	2	2	2	2	△△△
7.3m	-1.50	9.92	N-87°W	-170	2	2	2	2	△△△
7.4m	-1.60	10.02	N-87°W	-175	2	2	2	2	△△△
7.5m	-1.70	10.12	N-87°W	-180	2	2	2	2	△△△
7.6m	-1.80	10.22	N-87°W	-185	2	2	2	2	△△△
7.7m	-1.90	10.32	N-87°W	-190	2	2	2	2	△△△
7.8m	-2.00	10.42	N-87°W	-195	2	2	2	2	△△△
7.9m	-2.10	10.52	N-87°W	-200	2	2	2	2	△△△
8.0m	-2.20	10.62	N-87°W	-205	2	2	2	2	△△△
8.1m	-2.30	10.72	N-87°W	-210	2	2	2	2	△△△
8.2m	-2.40	10.82	N-87°W	-215	2	2	2	2	△△△
8.3m	-2.50	10.92	N-87°W	-220	2	2	2	2	△△△
8.4m	-2.60	11.02	N-87°W	-225	2	2	2	2	△△△
8.5m	-2.70	11.12	N-87°W	-230	2	2	2	2	△△△
8.6m	-2.80	11.22	N-87°W	-235	2	2	2	2	△△△
8.7m	-2.90	11.32	N-87°W	-240	2	2	2	2	△△△
8.8m	-3.00	11.42	N-87°W	-245	2	2	2	2	△△△
8.9m	-3.10	11.52	N-87°W	-250	2	2	2	2	△△△
9.0m	-3.20	11.62	N-87°W	-255	2	2	2	2	△△△
9.1m	-3.30	11.72	N-87°W	-260	2	2	2	2	△△△
9.2m	-3.40	11.82	N-87°W	-265	2	2	2	2	△△△
9.3m	-3.50	11.92	N-87°W	-270	2	2	2	2	△△△
9.4m	-3.60	12.02	N-87°W	-275	2	2	2	2	△△△
9.5m	-3.70	12.12	N-87°W	-280	2	2	2	2	△△△
9.6m	-3.80	12.22	N-87°W	-285	2	2	2	2	△△△
9.7m	-3.90	12.32	N-87°W	-290	2	2	2	2	△△△
9.8m	-4.00	12.42	N-87°W	-295	2	2	2	2	△△△
9.9m	-4.10	12.52	N-87°W	-300	2	2	2	2	△△△
10.0m	-4.20	12.62	N-87°W	-305	2	2	2	2	△△△
10.1m	-4.30	12.72	N-87°W	-310	2	2	2	2	△△△
10.2m	-4.40	12.82	N-87°W	-315	2	2	2	2	△△△
10.3m	-4.50	12.92	N-87°W	-320	2	2	2	2	△△△
10.4m	-4.60	13.02	N-87°W	-325	2	2	2	2	△△△
10.5m	-4.70	13.12	N-87°W	-330	2	2	2	2	△△△
10.6m	-4.80	13.22	N-87°W	-335	2	2	2	2	△△△
10.7m	-4.90	13.32	N-87°W	-340	2	2	2	2	△△△
10.8m	-5.00	13.42	N-87°W	-345	2	2	2	2	△△△
10.9m	-5.10	13.52	N-87°W	-350	2	2	2	2	△△△
11.0m	-5.20	13.62	N-87°W	-355	2	2	2	2	△△△
11.1m	-5.30	13.72	N-87°W	-360	2	2	2	2	△△△
11.2m	-5.40	13.82	N-87°W	-365	2	2	2	2	△△△
11.3m	-5.50	13.92	N-87°W	-370	2	2	2	2	△△△
11.4m	-5.60	14.02	N-87°W	-375	2	2	2	2	△△△
11.5m	-5.70	14.12	N-87°W	-380	2	2	2	2	△△△
11.6m	-5.80	14.22	N-87°W	-385	2	2	2	2	△△△
11.7m	-5.90	14.32	N-87°W	-390	2	2	2	2	△△△
11.8m	-6.00	14.42	N-87°W	-395	2	2	2	2	△△△
11.9m	-6.10	14.52	N-87°W	-400	2	2	2	2	△△△
12.0m	-6.20	14.62	N-87°W	-405	2	2	2	2	△△△
12.1m	-6.30	14.72	N-87°W	-410	2	2	2	2	△△△
12.2m	-6.40	14.82	N-87°W	-415	2	2	2	2	△△△
12.3m	-6.50	14.92	N-87°W	-420	2	2	2	2	△△△
12.4m	-6.60	15.02	N-87°W	-425	2	2	2	2	△△△
12.5m	-6.70	15.12	N-87°W	-430	2	2	2	2	△△△
12.6m	-6.80	15.22	N-87°W	-435	2	2	2	2	△△△
12.7m	-6.90	15.32	N-87°W	-440	2	2	2	2	△△△
12.8m	-7.00	15.42	N-87°W	-445	2	2	2	2	△△△
12.9m	-7.10	15.52	N-87°W	-450	2	2	2	2	△△△
13.0m	-7.20	15.62	N-87°W	-455	2	2	2	2	△△△
13.1m	-7.30	15.72	N-87°W	-460	2	2	2	2	△△△
13.2m	-7.40	15.82	N-87°W	-465	2	2	2	2	△△△
13.3m	-7.50	15.92	N-87°W	-470	2	2	2	2	△△△
13.4m	-7.60	16.02	N-87°W	-475	2	2	2	2	△△△
13.5m	-7.70	16.12	N-87°W	-480	2	2	2	2	△△△
13.6m	-7.80	16.22	N-87°W	-485	2	2	2	2	△△△
13.7m	-7.90	16.32	N-87°W	-490	2	2	2	2	△△△
13.8m	-8.00	16.42	N-87°W	-495	2	2	2	2	△△△
13.9m	-8.10	16.52	N-87°W	-500	2	2	2	2	△△△
14.0m	-8.20	16.62	N-87°W	-505	2	2	2	2	△△△
14.1m	-8.30	16.72	N-87°W	-510	2	2	2	2	△△△
14.2m	-8.40	16.82	N-87°W	-515	2	2	2	2	△△△
14.3m	-8.50	16.92	N-87°W	-520	2	2	2	2	△△△
14.4m	-8.60	17.02	N-87°W	-525	2	2	2	2	△△△
14.5m	-8.70	17.12	N-87°W	-530	2	2	2	2	△△△
14.6m	-8.80	17.22	N-87°W	-535	2	2	2	2	△△△
14.7m	-8.90	17.32	N-87°W	-540	2	2	2	2	△△△
14.8m	-9.00	17.42	N-87°W	-545	2	2	2	2	△△△
14.9m	-9.10	17.52	N-87°W	-550	2	2	2	2	△△△
15.0m	-9.20	17.62	N-87°W	-555	2	2	2	2	△△△
15.1m	-9.30	17.72	N-87°W	-560	2	2	2	2	△△△
15.2m	-9.40	17.82	N-87°W	-565	2	2	2	2	△△△
15.3m	-9.50	17.92	N-87°W	-570	2	2	2	2	△△△
15.4m	-9.60	18.							

第27表 遠地谷戸遺跡遺構觀察表(2)

被験者登録										被験者	
性別		年齢		学年		学年		性別		性別	年齢
男	女	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	男	女	男	年齢
1	0	1	1	1	1	1	1	1	0	1	1
0	1	0	0	0	0	0	0	0	1	0	0

小型正方形	3.60	3.76	15	5	5.09E-4	A
中型正方形	4.66	4.46	16	6	2.57E-4	B
大型正方形	4.24	4.24	22	6	3.49E-4	C
中型正方形	4.32	4.16	26	8	3.49E-4	D
大型正方形	6.56	5.12	26	0	3.65E-4	E
中型正方形	—	—	—	—	—	F
大型正方形	—	—	—	—	—	G
中型正方形	—	—	—	—	—	H
大型正方形	—	—	—	—	—	I

- 94 -

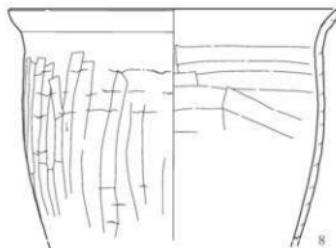
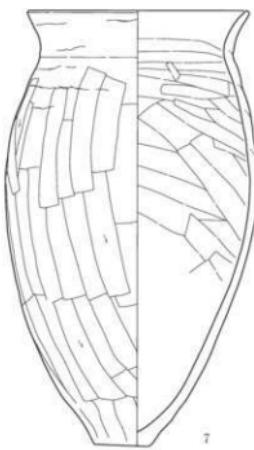
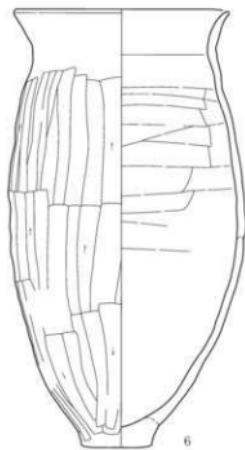
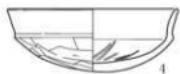
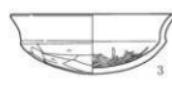
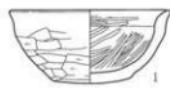
( ) 定窓 ( ) 棚仔窗									
窗名	平面圖	施	開	關	玻璃	主軸向	轉軸孔 (轉向孔)	轉軸孔 (轉向孔)	轉軸孔 (轉向孔)
中型正方形	4.40	4.00	3.40	3.00	N-S/W-E	4	2	1	北偏東 30°/西偏南 30°
中型斜方格	(5.60) 5.00	5.00	4.30	3.90	N-S/W-E	2	2	2	北偏東 30°/西偏南 30°
小圓	4.40	4.00	3.40	3.00	N-S/W-E	—	—	—	—
小圓	3.68	3.20	2.80	2.40	N-S/W-E	—	—	—	—
小圓正方形	2.36	2.00	1.76	1.40	N-S/W-E	—	—	—	—
小圓正方形	2.36	2.00	1.76	1.40	N-S/W-E	—	—	—	—
小圓正方形	(7.20) 6.00	6.00	5.20	4.40	N-S/W-E	—	—	—	—
小圓正方形	7.20	6.00	5.20	4.40	N-S/W-E	—	—	—	—
小圓正方形	5.30	4.80	3.90	3.40	N-S/W-E	—	—	—	—
小圓正方形	(7.40) 6.00	6.00	5.20	4.40	N-S/W-E	—	—	—	—
小圓正方形	6.00	5.00	4.40	3.60	N-S/W-E	—	—	—	—
小圓正方形	(6.00) 5.00	5.00	4.40	3.60	N-S/W-E	—	—	—	—
人型正方形	6.48	6.16	5.68	5.36	N-S/W-E	4	4	4	北偏東 30°/西偏南 30°
人型正方形	6.48	6.16	5.68	5.36	N-S/W-E	—	—	—	—
大圓	3.68	(2.88)	2.90	2.60	N-S/W-E	—	—	—	—

七层系	地层		地层		地层		地层		地层		地层	
	层位cm	厚度cm	层位cm	厚度cm	层位cm	厚度cm	层位cm	厚度cm	层位cm	厚度cm	层位cm	厚度cm
8号	150		64	52	72	25	9	14	4AH-26#电			
9号	80		80	(96)	72	25	9	14	4AH-12#			
10号	130		130	56	76	17	8	6	4AH-6#电			
11号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
12号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
13号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
14号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
15号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
16号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
17号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
18号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
19号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
20号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
21号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
22号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
23号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
24号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
25号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
26号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
27号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
28号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
29号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
30号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
31号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
32号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
33号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
34号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
35号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
36号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
37号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
38号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
39号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
40号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
41号	130		130	56	76	25	8	17	4AH-5#电			
层数	上 缘	下 缘	层位cm	层厚cm	层位cm	层厚cm	层位cm	层厚cm	层位cm	层厚cm	层位cm	层厚cm
1号	60	300	20	120	120	24	70	70	70	70	70	70
2号	70	150	10	30	30	27	43	43	△	△	△	△
3号	100	150	20	50	50	20	60	60	△	△	△	△
4号	120	210	10	100	100	6	20	20	○	○	○	○
5号	200	240	10	170	170	3	51	51	51	51	51	51
6号	160	80	15	20	20	8	14	14	14	14	14	14
7号	160	70	10	60	60	3	14	14	14	14	14	14

图例  
R=10~100cm  
△ 20~50cm  
○ 50~100cm  
◎ 100~150cm

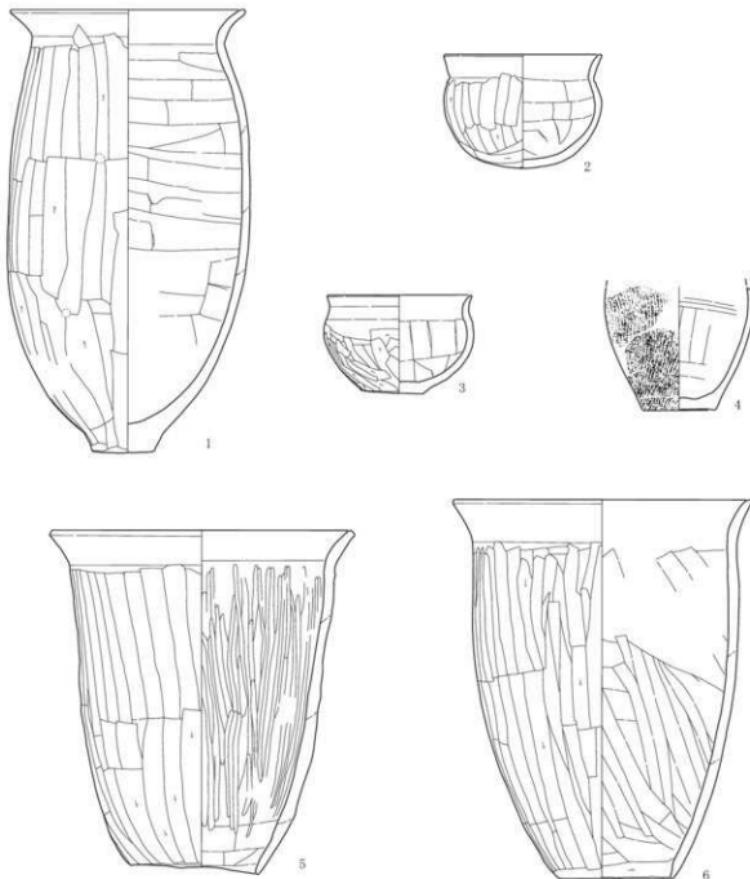
第28表 逃地谷口道路裂缝统计表(3)

6号住



第58図 6号住居址出土土器実測図

20・21号住

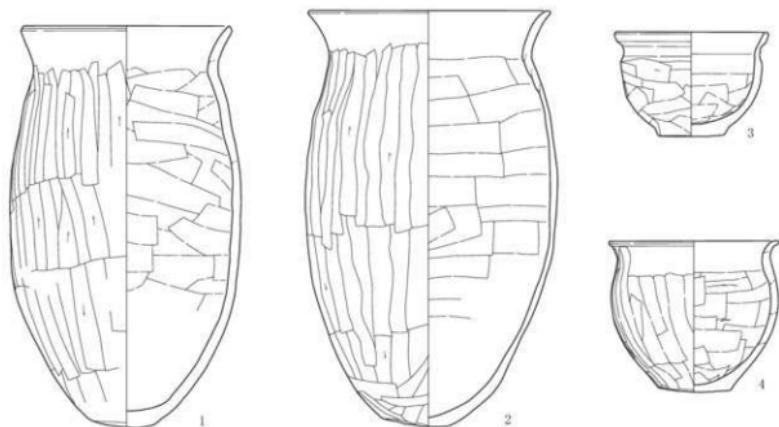


22号住

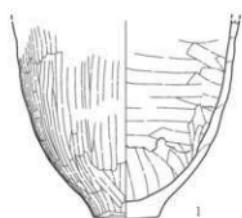


第59図 20～22号住居址出土土器実測図

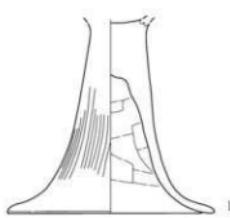
29号住



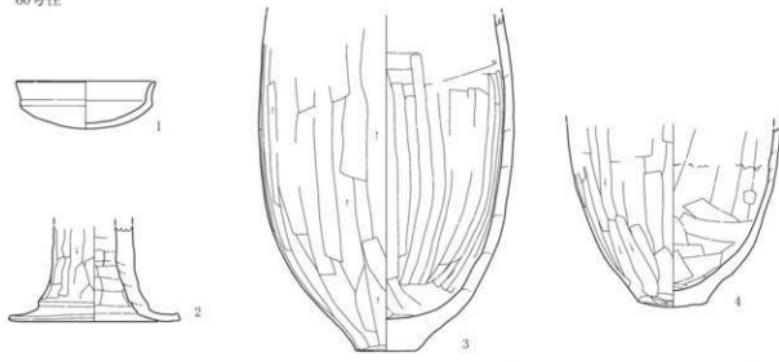
40号住



45号住



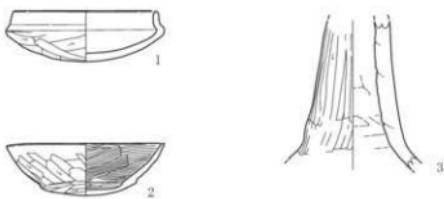
60号住



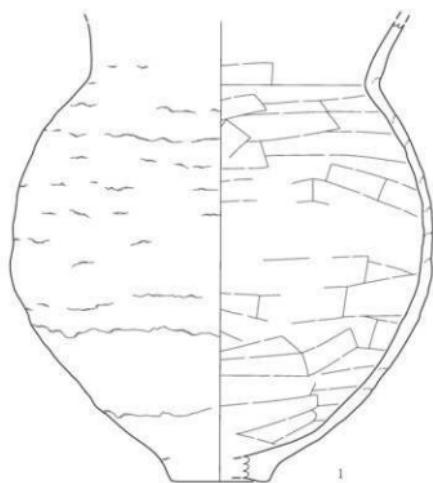
0 1:4 20cm

第60圖 29号・40号・45号・60号住居址出土土器実測図

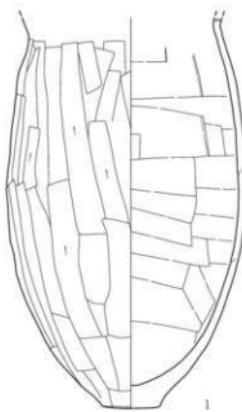
63号住



11号土坑



12号溝



0 1:4 20cm

第61図 63号住居址、11号土坑、12号溝出土土器実測図

## 造地谷戸遺跡土器観察表

## 6号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坪		口径 15.0 底径 6.4 器高 6.0	①普通 ②純い橙色 ③白色粒 ④2/3	外面 口縁部横削で、体部～底部尾削り。 内面 口縁部～底部尾削き。
2	土師器 坪		口径 12.8 底径 一 器高 6.7	①普通 ②赤褐～純い褐色 ③白色粒・黑色粒 ④2/3	外面 口縁部横削で、体部上位撫で、下位～底部尾削り。 内面 口縁部横削で、体部～底部尾削。
3	土師器 坪		口径 13.2 底径 4.9 器高 4.9	①普通 ②橙色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部1/4欠損	外面 口縁部横削で、体部～底部尾削り。 内面 口縁部横削で、体部～底部尾削。
4	土師器 坪		口径 13.8 底径 5.2 器高 5.2	①普通 ②明褐色～純い黄褐色 ③白色粒・黑色粒・雪母 ④1/2	外面 口縁部横削で、体部～底部尾削り。 内面 口縁部横削で、体部～底部尾削。
5	土師器 高坪	一括	口径 18.5 底径 5.7 器高 5.2	①普通 ②橙色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～脚部中位9/10	外面 口縁部横削で、体部～脚部尾削で。 内面 口縁部横削で、脚部撫で、脚部尾削。
6	土師器 甕		口径 17.4 底径 5.7 器高 36.0	①普通 ②灰黄褐色 ③白色粒・黑色粒・纏 ④7/8	外面 口縁部横削で、脚部尾削り、底部撫で。 内面 口縁部横削で、脚部～底部尾削。
7	土師器 甕	一括	口径 18.0 底径 4.4 器高 35.6	①普通 ②純い赤褐色 ③白色粒・黑色粒・角閃石 ④7/8	外面 口縁部横削で、脚部上位撫で、中位～底部尾削り。 内面 口縁部横削で、脚部～底部尾削。
8	土師器 甕	一括	口径 (26.8) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黑色粒・角閃石 ④口縁部 ～脚部中位1/3	外面 口縁部横削で、脚部尾削り。 内面 口縁部横削で、脚部尾削。

## 20・21号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 19.0 底径 5.1 器高 36.3	①普通 ②橙色 ③白色粒・石英・纏 ④7/8	外面 口縁部横削で、脚部～底部尾削り。 内面 口縁部横削で、脚部～底部尾削。
2	土師器 小形甕	一括	口径 12.8 底径 9.3 器高 9.3	①普通 ②純い橙色 ③白色粒・纏・石英 ④2/3	外面 口縁部横削で、体部～底部尾削り。 内面 口縁部横削で、体部～底部尾削。
3	土師器 小形甕	一括	口径 11.8 底径 5.1 器高 8.1	①普通 ②橙色 ③白色粒・纏 ④3/4	外面 口縁部横削で、体部上位撫で、中位～底部尾削り。 内面 口縁部横削で、体部～底部尾削。
4	土師器 小形甕	一括	口径 5.8 底径 5.8 器高 8.1 上位～底部2/5	①普通 ②純い褐～灰褐色 ③白色粒・黑色粒・石英・角閃石 ④脚部上位～底部2/5	外面 脚部纏文LR、斜縦位施文、底部尾削で後尾削き。 内面 脚部～底部尾削。
5	土師器 甕	一括	口径 24.4 底径 10.4 器高 28.2	①普通 ②橙色 ③黑色粒・石英・纏 ④4/5	外面 口縁部横削で、脚部尾削り。 内面 口縁部横削で、脚部～底部尾削き、下位尾削で、下端部尾削り。底部筒抜け。
6	土師器 甕	一括	口径 24.2 底径 9.4 器高 31.0	①普通 ②純い橙～橙色 ③黑色粒・褐色粒・纏 ④9/10	外面 口縁部横削で、脚部尾削り。 内面 口縁部横削で、脚部～底部尾削り、下位尾削り。底部筒抜け。

## 22号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 坪	電 一括	口径 12.9 底径 一 器高 4.7	①普通 ②明赤褐～赤褐色 ③白色粒・黑色粒 ④3/4	外面 口縁部横削で、体部～底部尾削り。 内面 口縁部横削で、体部～底部尾削。
2	土師器 坪	電 一括	口径 12.9 底径 6.2 器高 6.2 ④9/10	①普通 ②純い黄褐色、明赤褐色 ③白色粒・褐色粒・角閃石 ④9/10	外面 口縁部横削で、体部尾削で、底部尾削り。 内面 口縁部横削で、体部～底部尾削。

第29表 6号・20~22号住居址出土土器観察表

## 29号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 16.9 底径 5.1 器高 33.0	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・角閃石・礫 ④3/4	外面 口縁部横撫で、胴部～底部削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部混撫で。
2	土師器 甕	一括	口径 19.5 底径 5.5 器高 34.2	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黑色粒・褐色粒・石英 ④9/10	外面 口縁部横撫で、胴部～底部削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部混撫で。
3	土師器 小形甕	甕	口径 12.6 底径 5.4 器高 8.6	①普通 ②純い黄褐色・黒褐色 ③白色粒・褐色粒・礫 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部上位削り、下位混撫で。底部削り。 内面 口縁部横撫で、体部～底部混撫で。
4	土師器 小形甕	甕	口径 13.8 底径 6.0 器高 12.4	①普通 ②褐色 ③白色粒・褐色 ④白色粒・角閃石・石英 ⑤完形	外面 口縁部横撫で、胴部～底部削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部混撫で。

## 40号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 一 底径 5.2 器高 一 部2/5	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・片岩・礫 ④胴部中位～底	外面 胴部混撫で、底部削り。 内面 胴部～底部混撫で。

## 45号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 高杯	一括	口径 一 底径 16.8 器高 一	①普通 ②明黄褐色 ③白色 粒・黑色粒 ④脚部9/10	外面 脚部削磨き。 内面 脚部混撫で。

## 60号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 一 底径 5.0 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～黄褐色 ③白色粒・礫 ④胴部上位～底部 ～底部残存	外面 胴部上位～底部削り。 内面 胴部上位～底部混撫で。
2	土師器 甕	貯藏穴 一括	口径 一 底径 5.6 器高 一 3/5	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・角閃石 ④胴部中位～底部	外面 胴部中位～底部削り。 内面 胴部～底部混撫で。
3	土師器 甕	一括	口径 11.3 底径 5.6 器高 3.9	①普通 ②純い檜～檜色 ③角 閃石・礫 ④3/4	外面 口縁部横撫で、体部～底部調整不明顯。 内面 口縁部横撫で、体部～底部調整不明顯。
4	土師器 高杯	甕 一括	口径 一 底径 14.0 器高 一 部4/5	①普通 ②褐色 ③白色粒・黑 色粒・褐色粒 ④脚部中位～基 部	外面 脚部削り、基部横撫で。 内面 脚部混撫で、基部横撫で。

## 63号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	No.1 一括	口径 18.3 底径 5.5 器高 36.2 9/10	①普通 ②明黄褐色～黒褐色 ③白色粒・黑色粒・角閃石 ④ 白色粒・黑色粒・角閃石 ④/5	外面 口縁部横撫で、胴部削り、底部混撫で。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部混撫で。
2	土師器 甕	貯藏穴 一括	口径 11.6 底径 4.1 器高 4.1	①普通 ②純い赤褐色～檜色 ③ 白色粒・礫・雲母 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部～底部削り。 内面 口縁部～体部横撫で、底部削り。
3	土師器 甕	貯藏穴 一括	口径 12.8 底径 4.3 器高 4.3	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・黑色粒・角閃石 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部～底部削り。 内面 口縁部～底部削磨き。
4	土師器 高杯	一括	口径 一 底径 一 器高 一 部7/8	①普通 ②明赤褐色～赤褐色 ③ 白色粒・礫・雲母 ④脚部残存、 内面 脚部欠損	外面 脚部削り、下位横撫で。 内面 脚部混撫で、下位横撫で。

## 11号土坑

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	No.1 一括	口径 一 底径 ( 8.0 ) 器高 一 部7/8	①普通 ②純い黄褐色～黒褐色 ③白色粒・片岩・礫 ④脚部～底 部9/10	外面 脚部横撫で、胴部削り、底部混撫で。 内面 脚部横撫で、胴部～底部混撫で。

## 12号溝

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 一 底径 4.8 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～黒褐色 ③白色粒・片岩・礫 ④脚部～底 部9/10	外面 脚部横撫で、胴部削り、底部混撫で。 内面 脚部横撫で、胴部～底部混撫で。

第30表 29号・40号・45号・60号・63号住居址、11号土坑、12号溝出土土器観察表

## 小日向遠地谷戸遺跡 小結

今回の調査により64軒の住居址が検出された。これらの住居址は、弥生時代中期・同後期、古墳時代初頭～前期・同後期の4時期所産のものである。以下、検出された住居址数・集落の特徴等を時期毎に記し、集落の変遷について検討したい。なお、出土遺物が無く、全体の形状等も不明のため時期を判断できなかつた住居址があり、それらは除外している。

### (1) 弥生時代中期

当該期の住居址は、A区1号住居址とB区9号住居址の2軒のみである。これらの住居址は、出土遺物より中期後半栗林式期所産と考えられる。九十九川流域における過去の発掘調査では、小日向地区の上流に隣接する国衙地区で2軒の栗林式期住居址が確認されている（国衙遺跡群II15号住居、国衙下辻遺跡Y1号住居）。また、下流右岸に位置する杉名薬師遺跡においては、遺構は確認されていないが当該期の土器が一定量出土している。これらの状況より、弥生時代中期後半には九十九川流域に小規模集落が点在していたものと推測される。

### (2) 弥生時代後期

本遺跡の主体をなすのが後期樽式期の住居址であり、両区合わせて43軒の住居址が検出されている。樽式期の住居址は、前述の国衙遺跡群IIにおいて2軒、杉名薬師遺跡において7軒検出されている。両遺跡とも調査範囲が限られたために検出された住居址数は少ないが、周辺には当該期集落が展開しているものと推測される。また、杉名薬師遺跡のさらに下流に位置する高橋遺跡においては、土地改良事業に伴う発掘調査で樽式期住居址が60軒検出されている。本遺跡群においても合計178軒の当該期住居址が検出されている。弥生時代後期になり、九十九川流域には大規模集落が広範囲に、そして継続して営まれていた様子が看取できる。

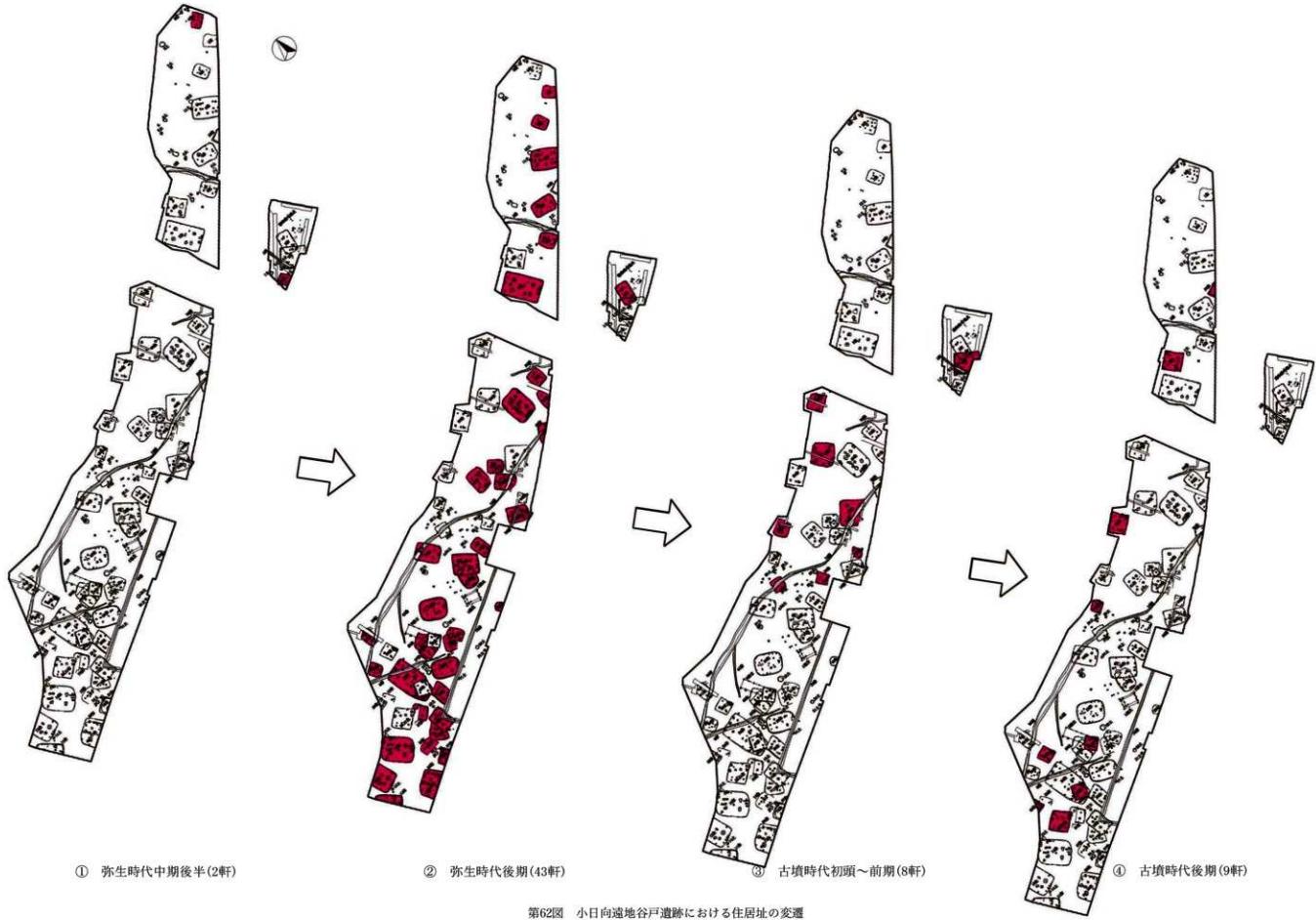
### (3) 古墳時代初頭～前期

当該期の住居址はA区において1軒、B区中央付近において7軒、合計8軒検出された。住居址の重複・近接ではなく、各住居址は一定の距離を保ち所在している。いずれの住居址も正方形基調であり、主軸もほぼ揃っていることから、短期間営まれた継続性の乏しい集落であると推測される。

### (4) 古墳時代後期

当該期の住居址は9軒検出された。この時期においても住居址の重複・近接は認められず、B区全体に疎らに所在している。ただ、遠丸遺跡に近い台地北西側に住居址が偏っている傾向は看取できる。小日向地区遺跡群の中では、本遺跡の他に瀧遺跡・壱丁田遺跡・壱丁田II遺跡・田中遺跡が弥生時代後期を主体とする遺跡である。この中で古墳時代後期の住居址が確認されたのは本遺跡だけである。他の4遺跡は、古墳時代後期には古墳が築造され、墓域としての性格が色濃い。本遺跡においてのみ、古墳が確認されず（台地先端部の離れた地点に天皇塚古墳は所在するが）、引き続き居住域として利用され続ける理由は、当時の中心的集落であった遠丸遺跡に隣接しているという地理的要因に起因しているものと考えられる。

（壁 伸明）



第62図 小日向遠地谷戸遺跡における住居址の変遷

## **2 小日向遠丸遺跡**

## 2 小日向遠丸遺跡

### (1) 概 要

本遺跡は小日向地区遺跡群の東端に位置し、平成17年度に調査を実施した。遺跡地は長者久保・上野丘陵の末端部に立地し、南側には小さな沢が南西から北東へ流下している。この沢が本遺跡と遠地谷戸遺跡との境界をなし、対岸には遠地谷戸遺跡の弥生時代・古墳時代集落が展開している。遠地谷戸遺跡の主体をなすのは弥生時代後期樽式期住居群である。しかし本遺跡においては当該期の遺物は確認されているが、遺構の検出には至っていない。本遺跡の主体をなすのは5世紀後半～6世紀代の竪穴住居址群である。50軒を超える竪穴住居址の大部分はこの時期の所産である。その他に、遺構は確認されていないが縄文時代前期・晚期の所産と考えられる土器・石器も出土している。

また、平成16年度に周囲の調査を実施した天皇塚古墳（九十九1号墳）は、本遺跡の南東に位置する。同古墳は「小日向遠地谷戸遺跡」に含まれるものであるが、所在位置の関係より本遺跡において報告する。

### (2) 縄文時代

前述のように、前期の繩維土器と晚期の所産と考えられる土器片が出土している。九十九川流域では、上流に位置する「高梨子三次郎遺跡」、「高梨子森下遺跡」でも晚期の土器が出土している。両遺跡とも住居址等の遺構は確認されていないが、流域に晚期の小集落が点在していた可能性が考えられる。

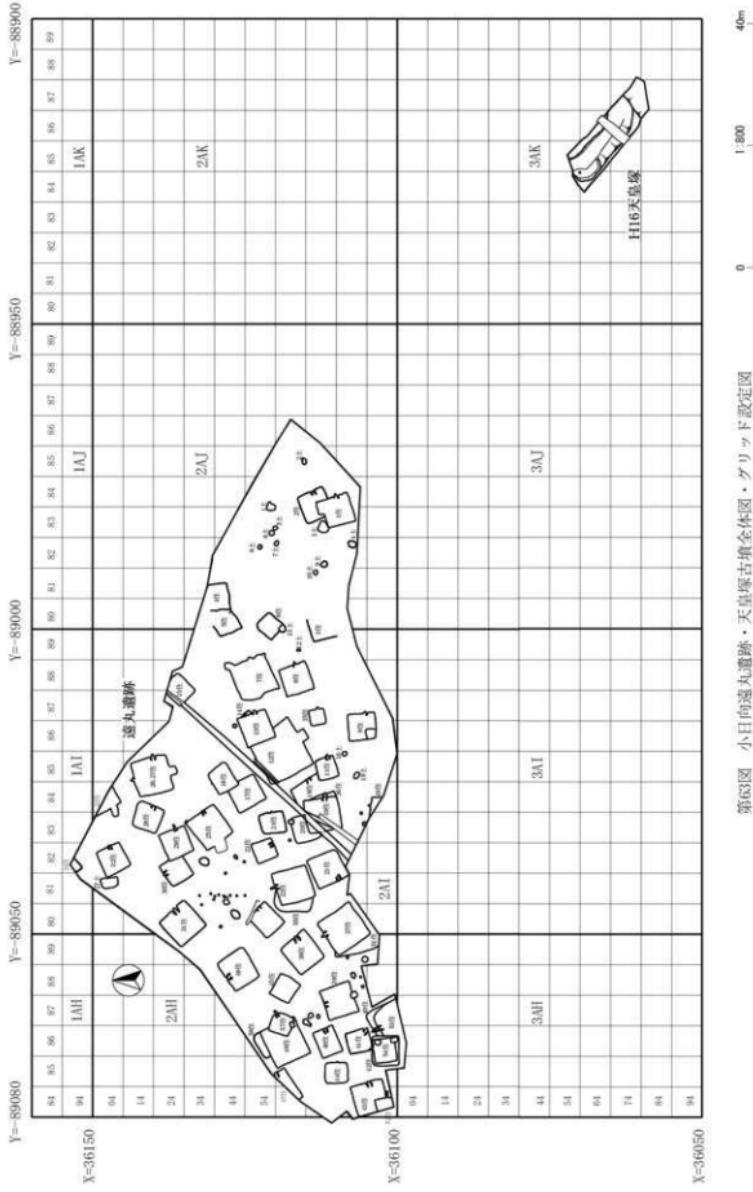
### (3) 弥生時代

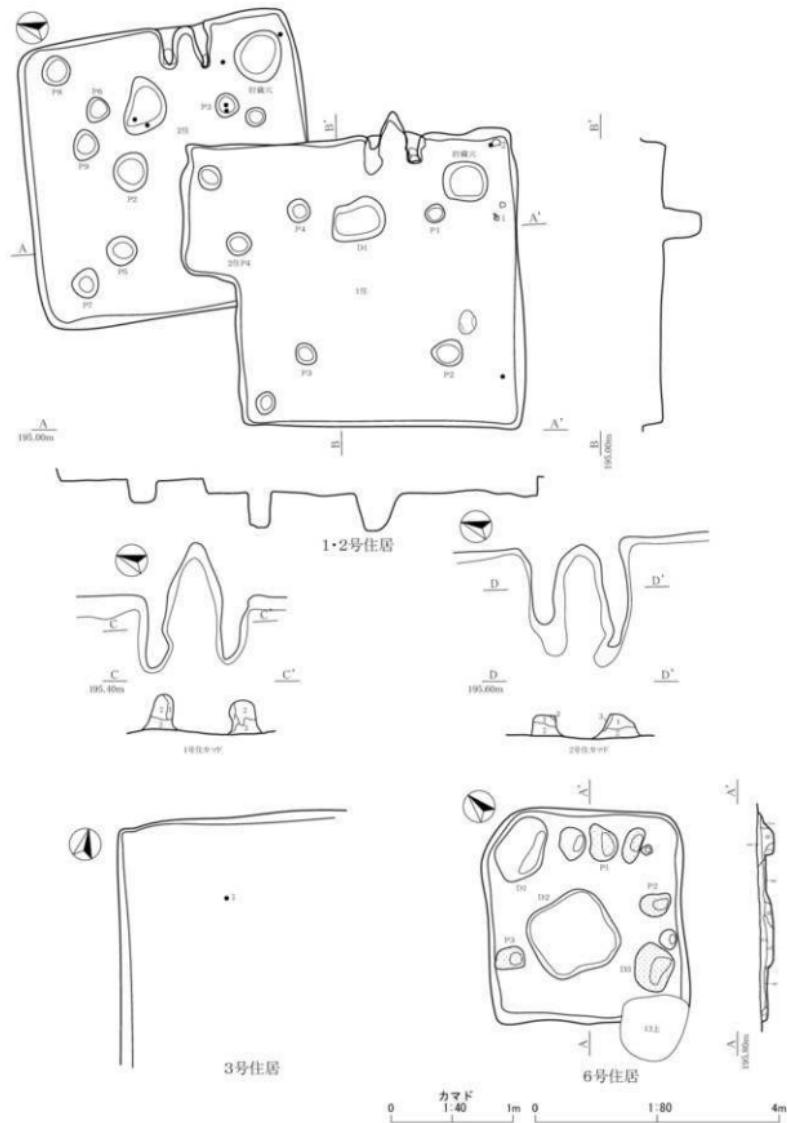
今回の調査区域内においては、弥生時代の遺構は確認されていない。しかし、当該期の遺物は一定量認められた。出土遺物の大部分は後期所産のものであるが、中期所産のものが若干混入する。

### (4) 古墳時代

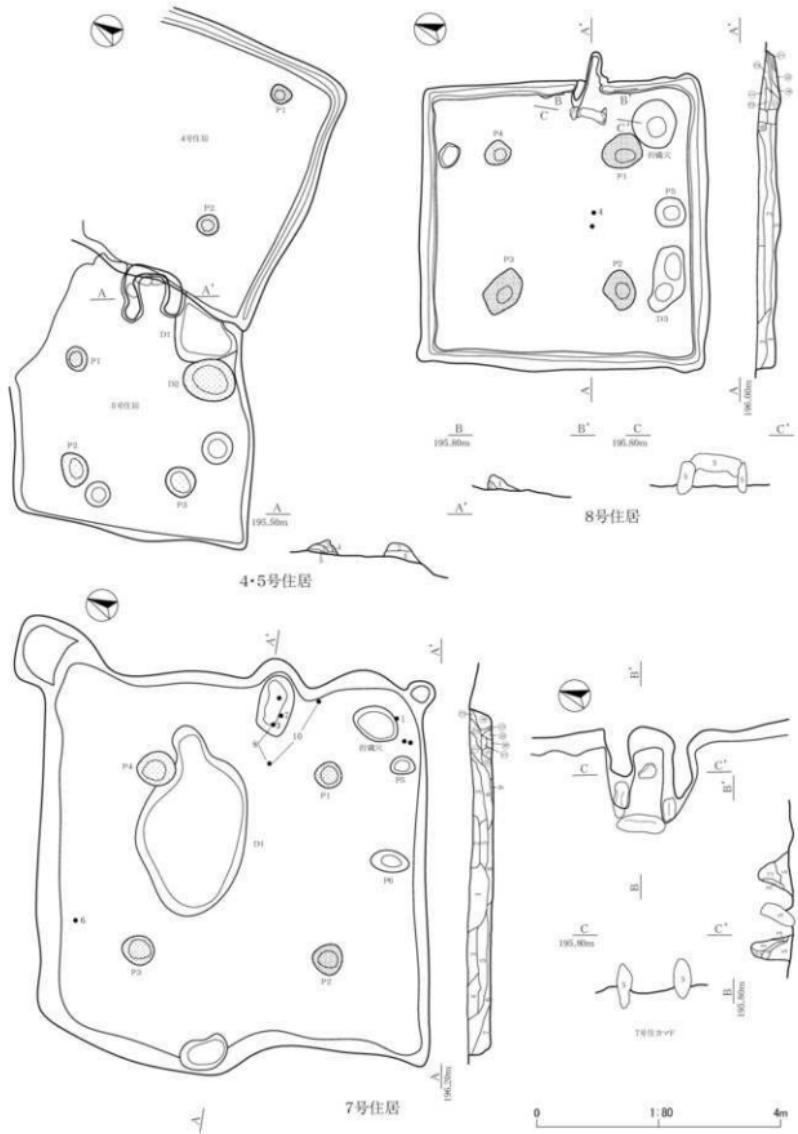
当該期の住居址は55軒検出された。その大部分は5世紀後半から6世紀代の所産と考えられ、一定期間に集中して営まれた集落と言える。この中で12号住居址、26・27号住居址・39号住居址は、南壁に張り出し部を有するもので、市内では3遺跡めの検出例である。

また、16年度に調査を実施した天皇塚古墳は、主体部は保存措置がとれたため周囲の部分的調査に留まった。周囲からは、円筒埴輪の他に形象埴輪も出土している。6世紀前半の築造と推測される。

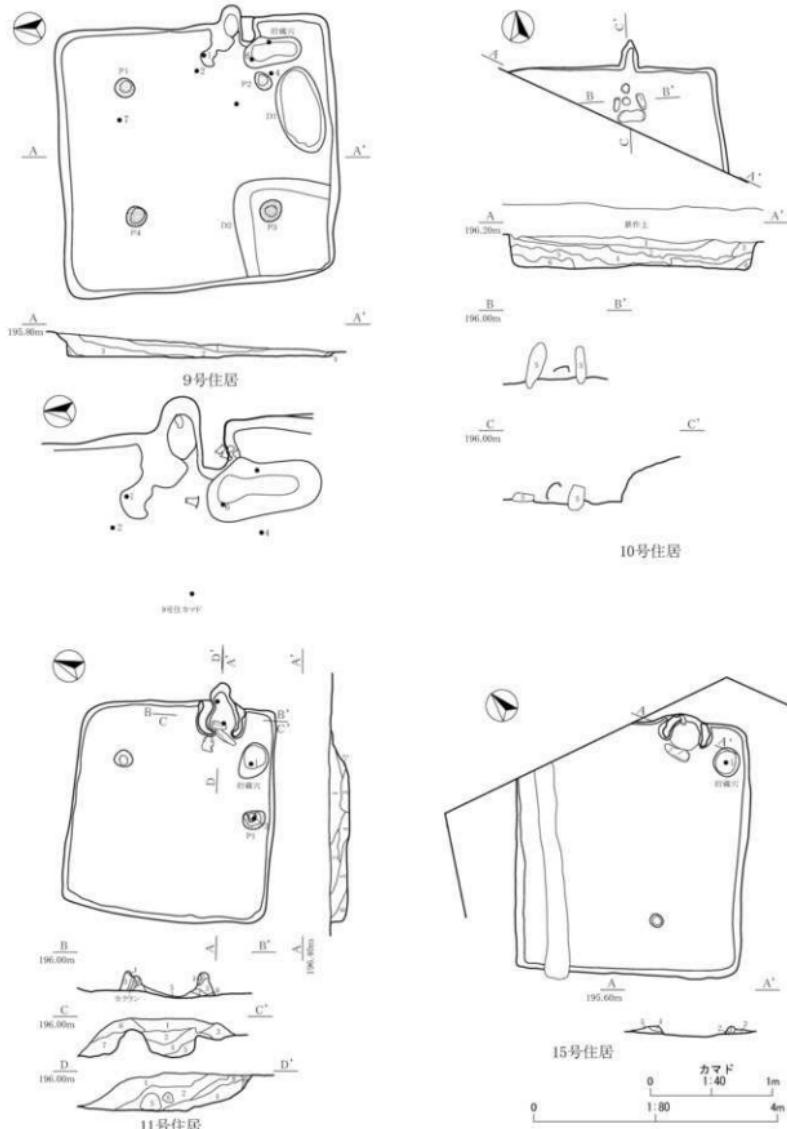




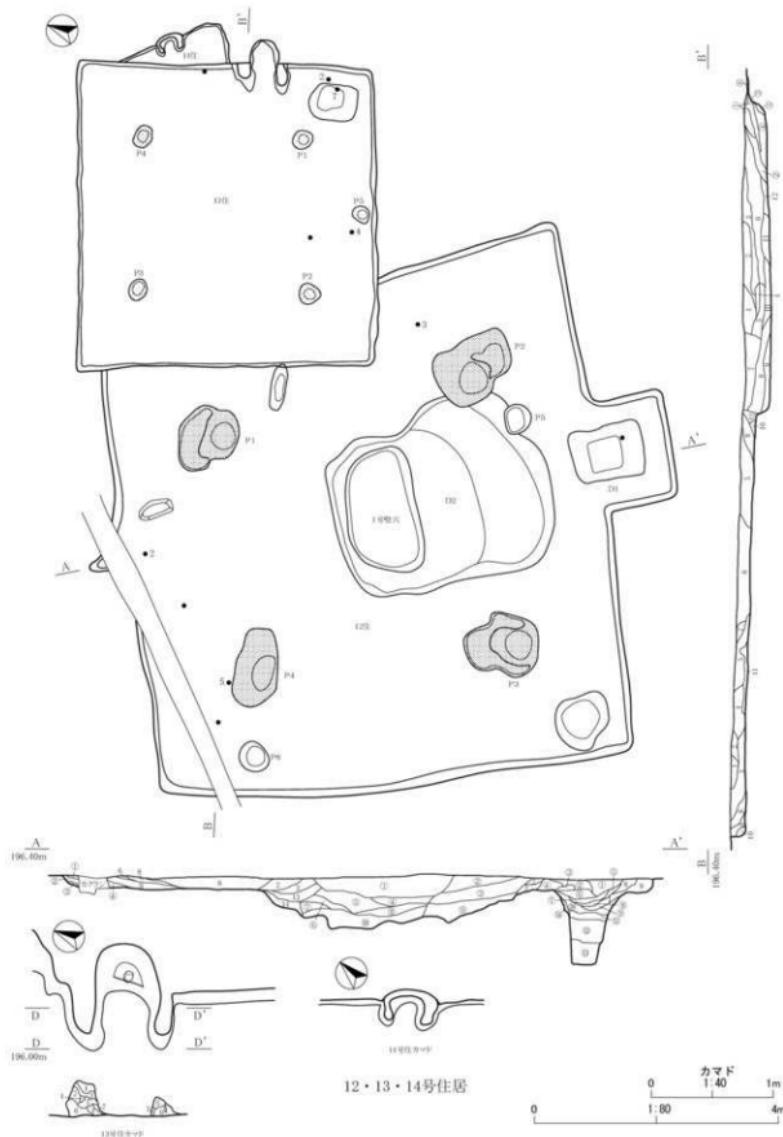
第64図 1～3号・6号住居址実測図



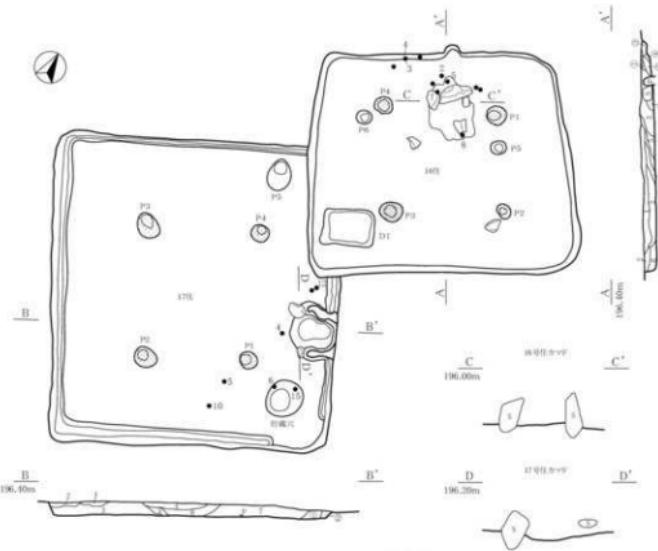
第65图 4号·5号·7号·8号住居址実測図



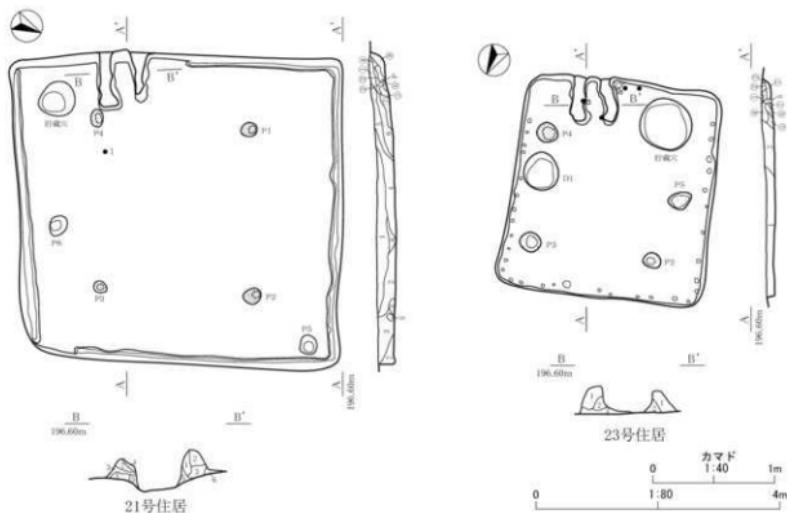
第66図 9～11号・15号住居址実測図



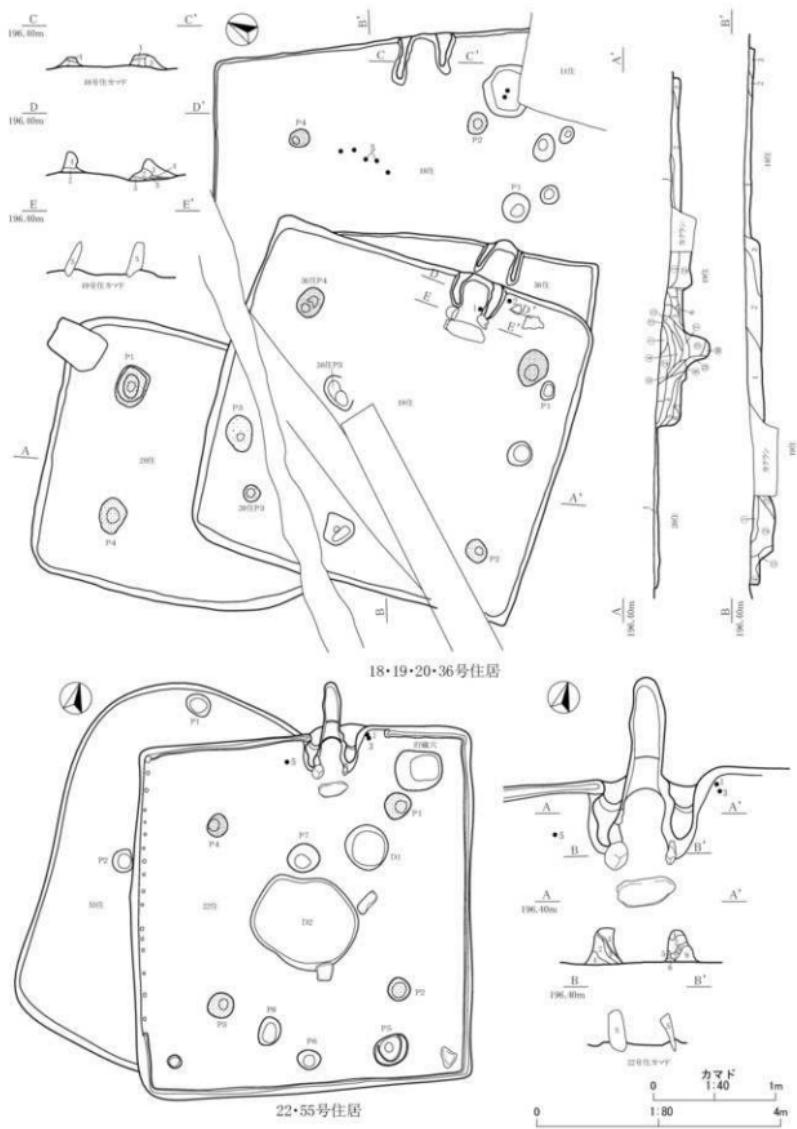
第67図 12~14号住居址実測図



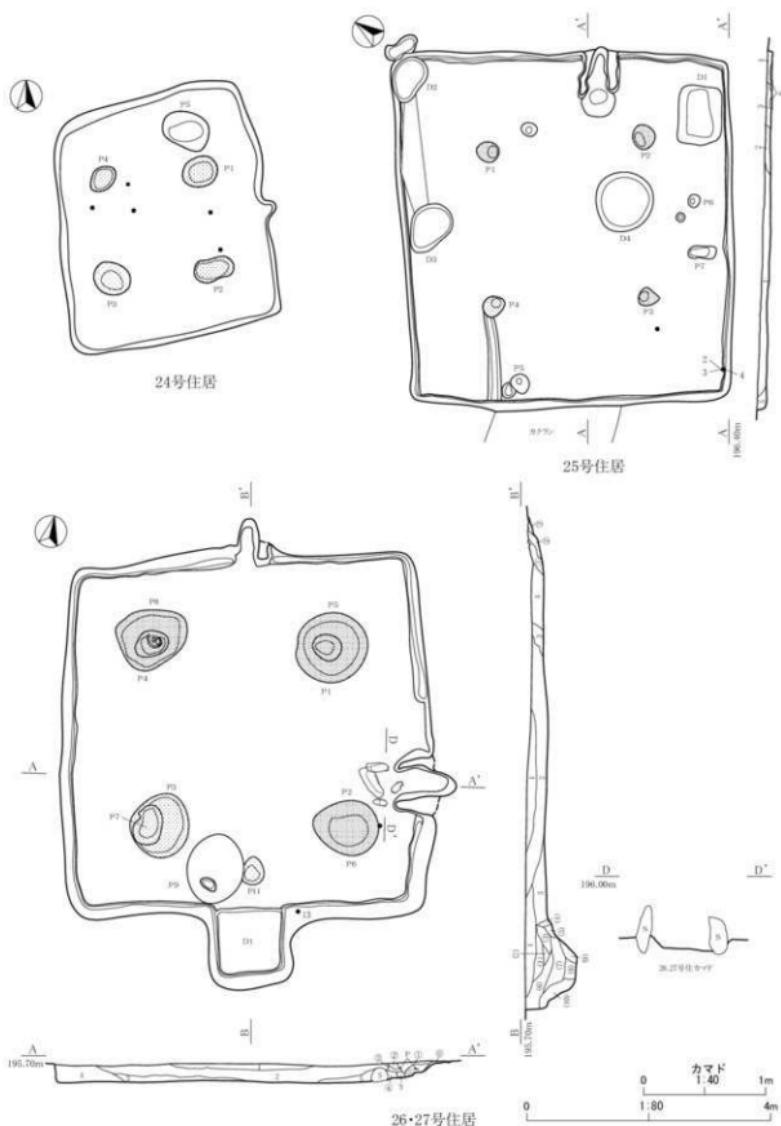
16・17号住居



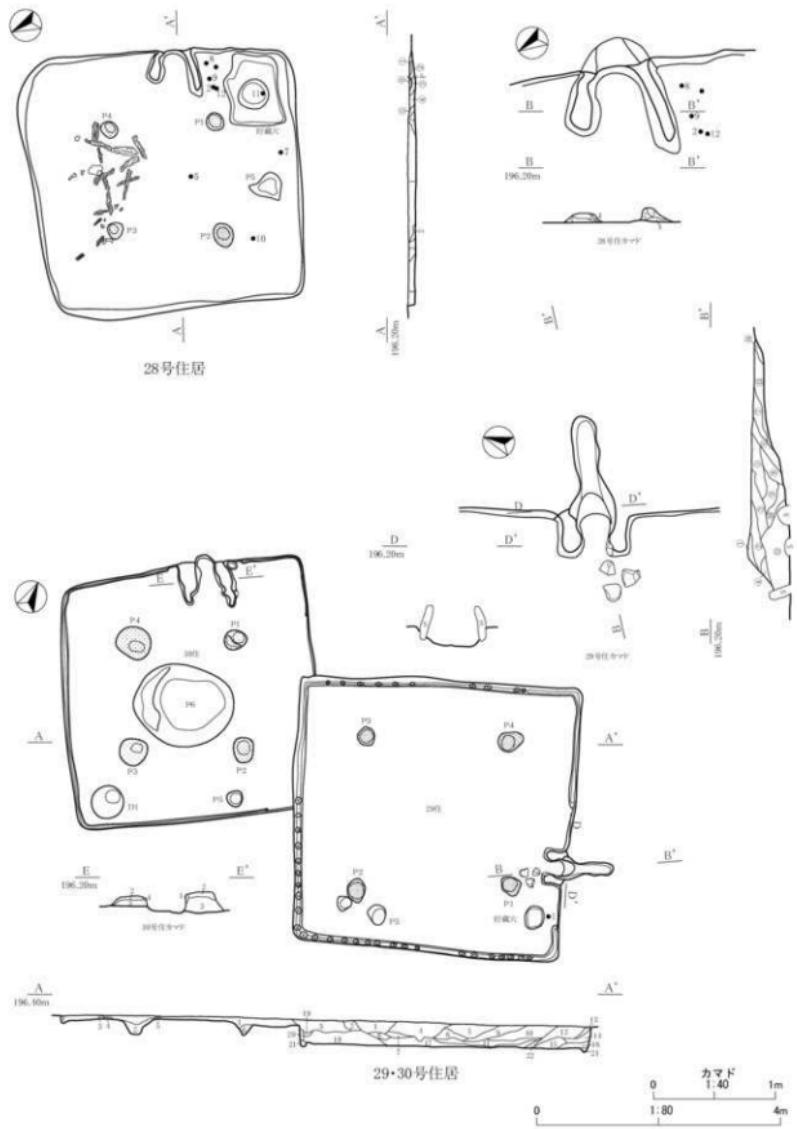
第68図 16号・17号・21号・23号住居址実測図



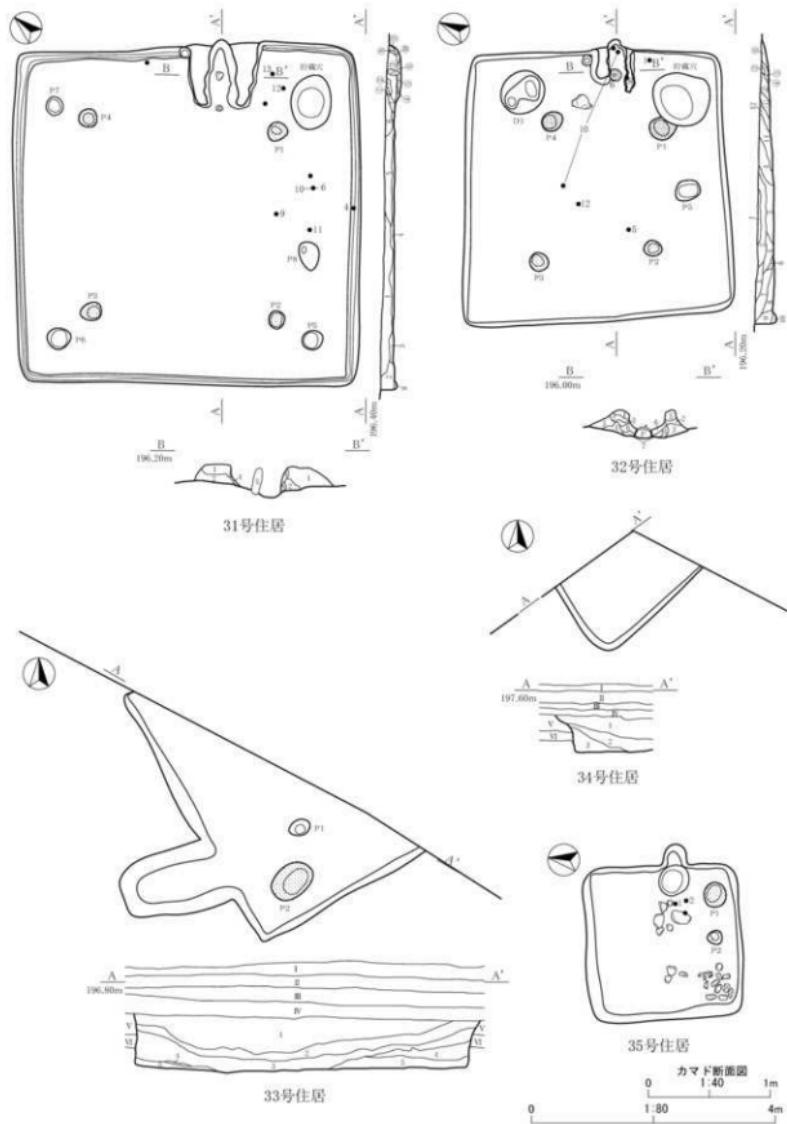
第69図 18~20号・36号・22号・55号住居址実測図



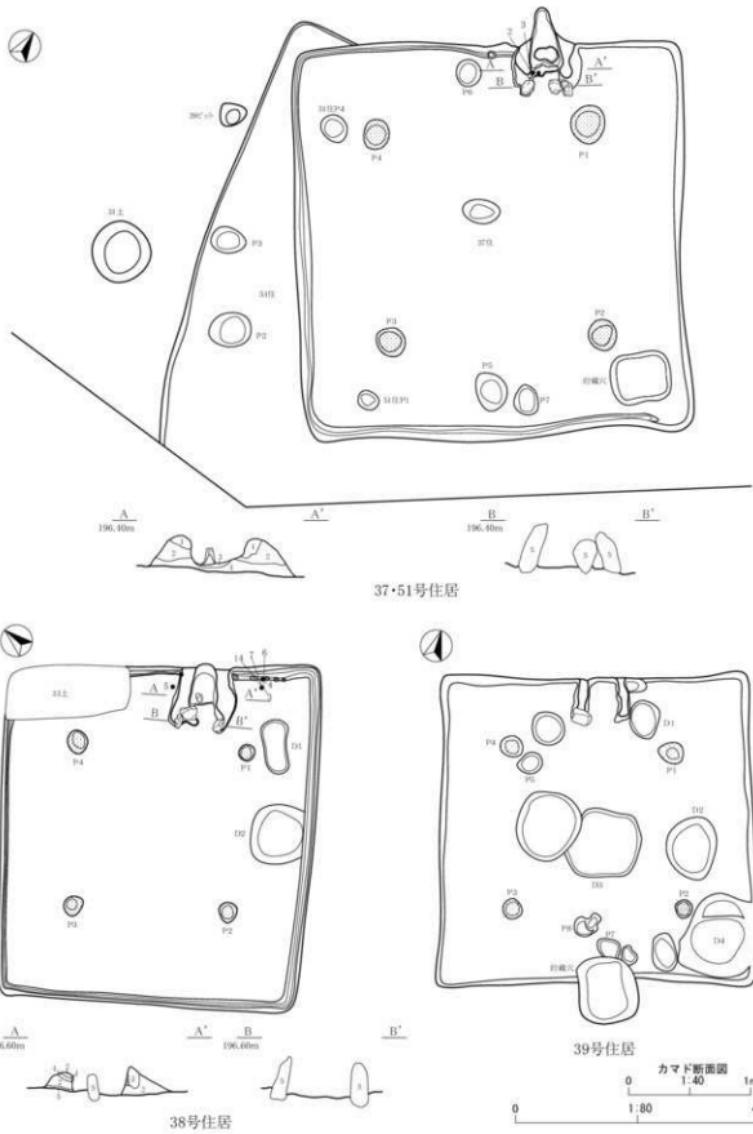
第70図 24～27号住居址実測図



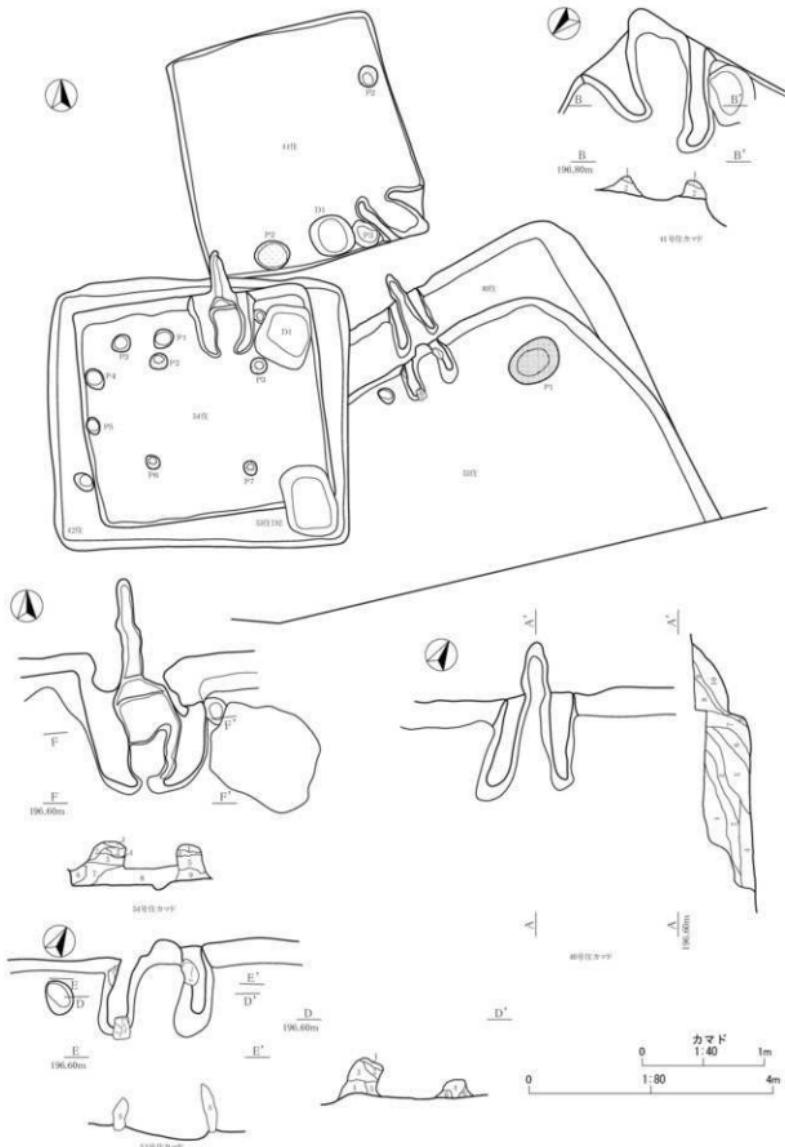
第71図 28~30号住居址実測図



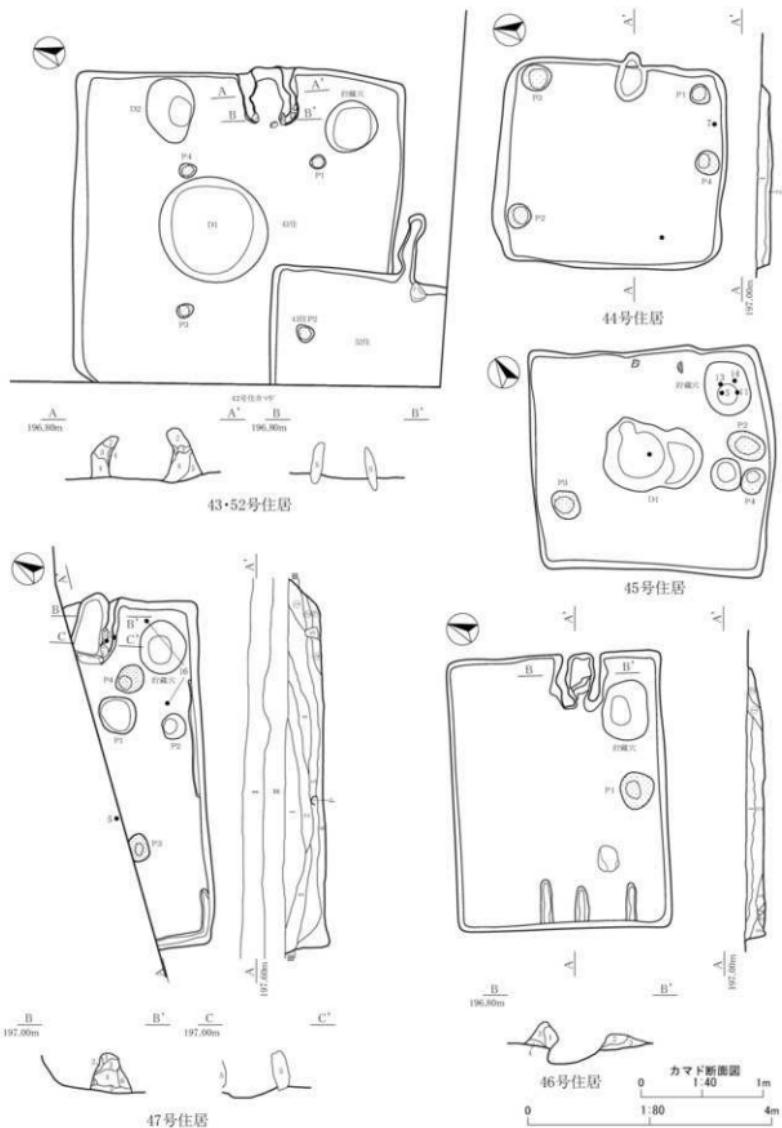
第72図 31～35号住居址実測図



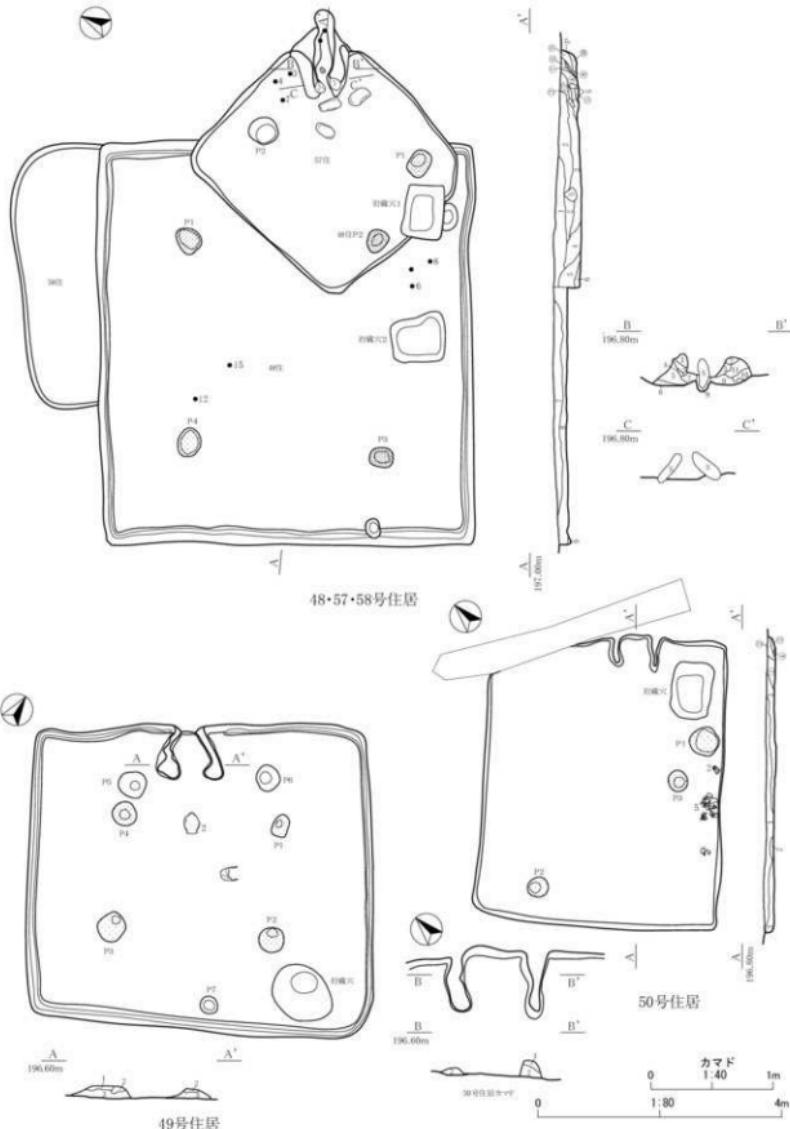
第73図 37号・51号・38号・39号住居址実測図



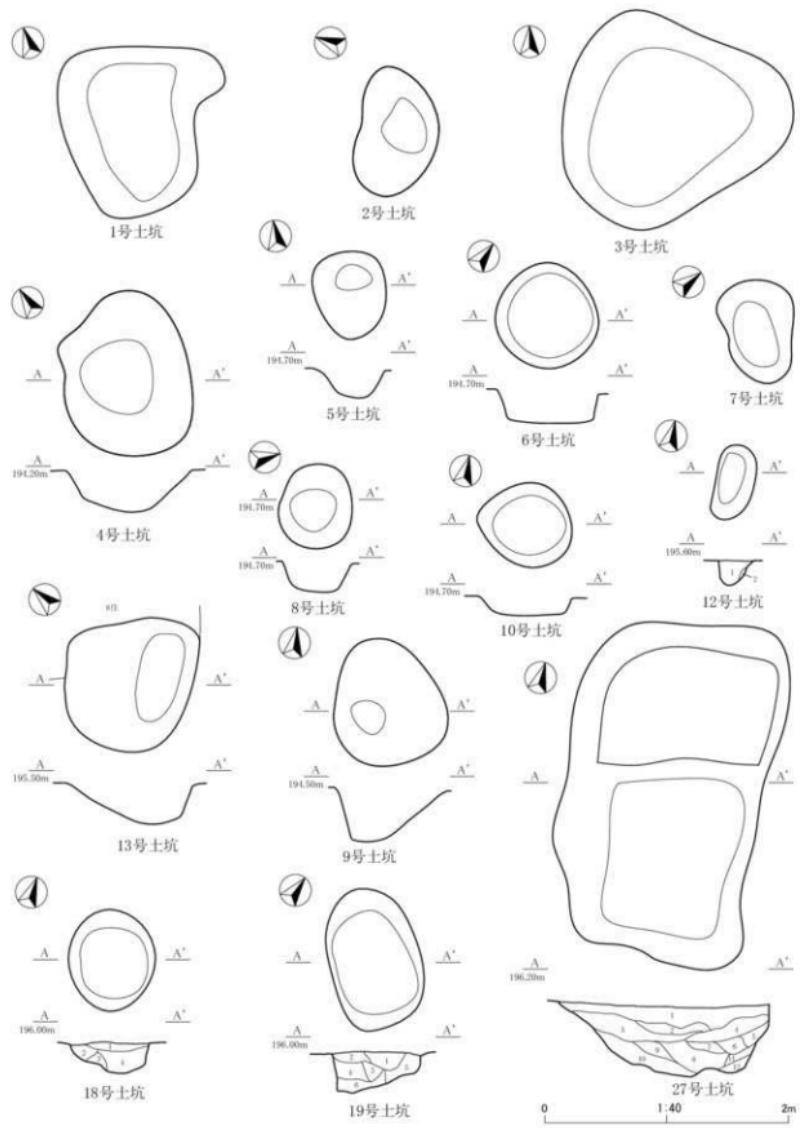
第74図 40~42号・53号・54号住居址実測図



第75図 43号・52号・44~47号住居址実測図



第76図 48号・57号・58号・49号・50号住居址実測図



第77图 1~10号·12号·13号·18号·19号·27号土坑实测图

## 1号住居 カマ F B

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	地土を多量に含む。他呢。
2	灰褐色土	白色軽石及び黄褐色石を少量含む。
3	褐色土	白色軽石を微量。黄褐色石を少量含む。

## 2号住居 カマ D B

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色軽石ブロックを小量。褐色ブロックを少量含む。
2	暗褐色土	白色ブロック(瓦)を中量。白色ブロックを少量含む。
3	赤褐色土	地土ブロックを中量含む。

3号住居 土柱注記なし

## 6特住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	しまりあり。粘性高い。
2	暗褐色土	ロームブロックを少量含む。6層より弱い。しまりあり。粘性高い。
3	黒褐色土	ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性高い。
4	暗褐色土	ロームブロックを多量に含む。2層より弱い。しまりあり。粘性高い。
5	明褐色土	ロームブロックを多量に含む。しまりあり。粘性高い。
6	暗褐色土	ロームブロックを少量含む。4層より弱い。しまりあり。粘性高い。
7	にじみ赤褐色土	しまりあり。粘性低い。

## 5号住居 カマ A

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	地土ブロックを中量含む。
2	灰褐色土	白色粒子を少量含む。
3	暗褐色土	地土ブロックを中量含む。
4	暗褐色土	白色粒子(φ1～3mm)を20～30%含む。1層より弱い。しまりあり。粘性高い。
5	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを少量含む。1層より弱い。しまりあり。粘性高い。
6	褐色土	泥炭物、地土を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性高い。
7	黒褐色土	ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性高い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ1～3mm)を1～2%含む。しまりあり。粘性高い。
9	暗褐色土	4層より弱い。しまりあり。粘性高い。

## 7号住居 カマ D

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ1～3mm)を10～15%含む。しまりあり。粘性なし。
2	暗褐色土	1層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ロームブロックを微量含む。白色軽石を中量含む。しまりあり。粘性高い。
4	暗褐色土	軽石(φ1～3mm)を20～30%含む。1層より弱い。しまりあり。粘性なし。
5	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを少量含む。1層より弱い。しまりあり。粘性高い。
6	褐色土	泥炭物、地土を微量に含む。ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性高い。
7	黒褐色土	ロームブロックを少量含む。しまりあり。粘性高い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ1～3mm)を1～2%含む。しまりあり。粘性高い。
9	暗褐色土	4層より弱い。しまりあり。粘性高い。

## 7号住居 カマ D

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
①	褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり。粘性なし。
②	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
③	褐色土	地土を微量に含む。1層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
④	にじみ赤褐色土	地土を多量に含む。しまりあり。粘性なし。
⑤	にじみ赤褐色土	地土を少量化する。(4層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
⑥	にじみ赤褐色土	地土を少量化する。(5層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
⑦	暗褐色土	地土を少量化する。しまりあり。粘性弱い。
⑧	暗褐色土	地土を微量に含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
⑨	にじみ赤褐色土	泥炭物、地土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 7号住居 カマ D B

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	地土ブロックを多量。地土ブロックを少量化する。
2	灰褐色土	白色ブロック及び白色粒子を微量に含む。

## 9号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	褐色土	地土粒子、地土ブロックを微量に含む。
2	黒褐色土	地土粒子、地化粒子を1%程度。
3	地化褐色土	φ20～50mm大の地土ブロック、泥、ロームブロックを2～3%含む。
4	地化褐色土	ローム粒子、地化粒子を2～3%含む。
5	褐色土	φ25～50mm大の地土ブロック、ローム粒子を5～10%含む。
6	地化褐色土	ローム粒子を少量化する。

## 10号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。黄色軽石を少量化する。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。黄色軽石を少量化する。1層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。上層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
5	褐色土	φ25～50mm大の地土ブロック、ローム粒子を5～10%含む。
6	地化褐色土	ローム粒子を少量化する。

第31表 1号・2号・5～10号住居土層注記

## 11号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	施釉面色土	φ3~6mmの白色鮮石灰(Cか), ローム粒子1%含む。
2	釉面色土	ローム粒子2~3%含む。
3	釉面色土	灰1%、細かいロームブロック2~3%含む。大きな礫を含む。
4	明釉面色土	φ5~20mmの大ロームブロック20~30%含む。
5	釉色土	φ5~20mmの大ロームブロック、ローム粒子を5~10%含む。
6	施釉面色土	ローム粒子を少額含む。
7	釉色土	セメントブロック、灰、灰釉面色土を2~3%含む。(カモド鉛塗土を含む)

## 11号住居カット

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	明釉面色土	セメントブロック、灰を1%含む。
2	釉色土	セメントブロック、釉面色土ブロックを2~3%含む。
3	釉色土	釉面色土+ロック、ローム粒子を2~3%含む。
4	釉面色土	φ5~20mmの大ロームブロック20~30%含む。しまりあり。粘性あり。
5	明釉面色土	φ5~20mmの大ロームブロック5~10%、灰、灰化粒子を2~3%含む。しまりなし。
6	施釉面色土	セメントブロック1%含む。しまりあり。
7	釉面色土	ローム粒子を2~3%含む。しまりあり。
8	にぶく黄釉面色土	ローム粒子1%含む。しまりなし。
9	釉面色土	ローム粒子を1%含む。しまりなし。

## 11号住居カット

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	明赤釉面色土	焼泥
2	灰釉面色土	白色鮮石灰ブロック少額。セメントブロック微量に含む。
3	灰釉面色土	白色鮮石灰ブロック少額。セメントブロック微量に含む。
4	灰釉面色土	白色鮮石灰微量に含む。
5	施釉面色土	セメントブロック多額。白色鮮石灰ブロック微量に含む。
6	灰釉面色土	白色鮮石灰微量に含む。

## 15号住居カット

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	灰釉面色土	白色鮮石灰ブロック少額含む。
2	黑釉面色土	セメントブロック少額含む。
3	施釉面色土	セメントブロック少額。白色鮮石灰微量。炭化物少額含む。
4	灰釉面色土	セメントブロック少額。白色鮮石灰微量に含む。
5	施釉面色土	セメントブロック少額。白色鮮石灰ブロック少額に含む。
6	黑釉面色土	ローム粒子。ロームブロック。白色鮮石灰、炭化物を微量に含む。5層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
7	黑釉面色土	ローム粒子。白色鮮石灰を微量に含む。6層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
8	黑釉面色土	白色鮮石灰(φ1~2mm)。ロームブロック。白色鮮石灰を微量に含む。7層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
9	黑釉面色土	白色鮮石灰(φ1~2mm)。セメントブロック微量に含む。8層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
10	施釉面色土	ローム粒子。セメントブロック。白色鮮石灰微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
11	黑釉面色土	ローム粒子。セメントブロック。白色鮮石灰微量に含む。炭化物を少額含む。しまりあり。粘性やや強い。
12	施釉面色土	白色鮮石灰(φ1mm)。ロームブロック。炭化物微量に含む。10層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
13	施釉面色土	白色鮮石灰(φ1mm)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
14	黑釉面色土	白色鮮石灰(φ1mm)。ローム粒子。白色鮮石灰を微量に含む。ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性やや強い。

## 12号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黑釉面土	白色鮮石灰(φ1~2mm)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黑釉面土	白色鮮石灰(φ1~2mm)。黄色鮮石灰を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
3	黑釉面土	白色鮮石灰(φ1~2mm)。黄色鮮石灰微量に含む。7層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
4	施釉面土	白色鮮石灰(φ1~2mm)。セメントブロック微量に含む。炭化物を少額含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	黑釉面土	ローム粒子。セメントブロック。白色鮮石灰微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	施釉面土	白色鮮石灰(φ1mm)を微量に含む。2層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
7	黑釉面土	白色鮮石灰(φ1mm)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
8	施釉面土	ローム粒子。セメントブロックを少額含む。しまりあり。粘性やや強い。
9	黑釉面土	ローム粒子。セメントブロック微量に含む。7層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
10	黑釉面土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少額含む。9層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
11	黑釉面土	ローム粒子。ロームブロックを少額含む。10層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
12	黑釉面土	11層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
13	黑釉面土	12層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
14	黑釉面土	13層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。

## 12号住居 カマフ

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	釉色土	炭化物を微量に含む。セメントを少額含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	赤釉色土	炭化物を微量に含む。セメントを多額に含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	施釉面色土	炭化物。セメントを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。

## 12号住居 土手杭

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	施釉面土	白色鮮石灰(φ1mm)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	施釉面土	白色鮮石灰(φ1mm)を少額含む。1層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
3	施釉面土	白色鮮石灰(φ1mm)。ローム粒子。セメントを微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
4	施釉面土	白色鮮石灰(φ1mm)を微量に含む。2層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
5	施釉面土	ローム粒子。セメントブロック。白色鮮石灰微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	施釉面土	白色鮮石灰(φ1mm)を微量に含む。3層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
7	黑釉面土	白色鮮石灰(φ1mm)を微量に含む。しまりあり。粘性やや強い。
8	施釉面土	ローム粒子。セメントブロックを少額含む。しまりあり。粘性やや強い。
9	黑釉面土	ローム粒子。セメントブロック微量に含む。7層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
10	黑釉面土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少額含む。9層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
11	黑釉面土	ローム粒子。ロームブロックを少額含む。10層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
12	黑釉面土	11層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
13	黑釉面土	12層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。
14	黑釉面土	13層より弱い。しまりあり。粘性やや強い。

## 13号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	施釉面土	白色鮮石灰を微量に含む。しまりあり。粘性強い。
2	釉色土	白色鮮石灰(φ1mm)。ローム粒子。白色鮮石灰、炭化物を微量に含む。ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性やや強い。

第32表 11~13号・15号住居址土層記注

## 13号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
3	黒褐色土	しまりあり。粘性強い。
4	褐色土	ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅土を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	暗褐色土	ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅土を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 2 \text{mm}$ )を微細に含む。ローム粘土。ロームブロック。黃色鮮紅を少額含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
7	暗褐色土	ローム粘土。黄色鮮紅を微細に含む。ロームブロック。白色鮮紅( $\phi 1 \text{mm}$ )を少額含む。しまりあり。粘性やや強い。
8	暗褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \text{mm}$ )。ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
9	暗褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \text{mm}$ )。ローム粘土。黄色鮮紅を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
10	暗褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \text{mm}$ )。ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を少額含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
11	褐色土	ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
12	暗褐色土	ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。

## 13号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	褐色土	ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅。泥炭物。砂土を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	暗褐色土	ローム粘土。泥炭物。砂土を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	暗褐色土	泥炭物。砂土を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
④	暗褐色土	白色鮮紅。泥炭物。砂土を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
⑤	暗褐色土	泥炭物。砂土を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
⑥	暗褐色土	2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

## 14号住居土壌注記なし

## 16号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 2 \text{mm}$ )。黄色鮮紅を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	黒褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 2 \text{mm}$ )。ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
3	褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 2 \text{mm}$ )。ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。泥炭物を少額含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
4	暗褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 2 \text{mm}$ )。砂土を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒褐色土	4層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
6	黒褐色土	ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

## 16号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	暗赤褐色土	砂土を少額含む。しまりあり。粘性あり。
②	暗赤褐色土	砂土幾多含む。しまりあり。粘性あり。
③	暗赤褐色土	砂土微量。泥炭物を微細に含む。しまりあり。粘性あり。
④	暗赤褐色土	砂土微量。泥炭物を微細に含む。しまりあり。粘性あり。
⑤	暗赤褐色土	砂土微量。泥炭物を微細に含む。しまりあり。粘性あり。
⑥	暗赤褐色土	砂土微量。泥炭物を微細に含む。しまりあり。粘性あり。

## 17号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 3 \text{mm}$ )。黄色鮮紅を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
2	暗褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 3 \text{mm}$ )。ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
3	褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 3 \text{mm}$ )。ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。泥炭物を少額含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
4	暗褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 3 \text{mm}$ )。ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。ローム粘土を少額含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 3 \text{mm}$ )。ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。ローム粘土を少額含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
6	暗褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 3 \text{mm}$ )。ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
7	暗褐色土	白色鮮紅( $\phi 1 \sim 3 \text{mm}$ )。ローム粘土。ロームブロック。黄色鮮紅を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

## 17号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	黒褐色土	ローム粘土。ロームブロック。泥炭物。砂土を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	明赤褐色土	砂土を少額含む。しまりあり。粘性なし。

## 21号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	黒褐色土	黄色鮮紅を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
②	黒褐色土	ローム粘土。ロームブロック。泥炭物。砂土を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
③	暗赤褐色土	砂土微量。泥炭物を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
④	暗赤褐色土	泥炭物を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
⑤	暗赤褐色土	砂土微量。泥炭物を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
⑥	暗褐色土	ローム粘土。砂土を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑦	黒褐色土	泥炭物。砂土を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
⑧	暗赤褐色土	泥炭物を微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。

## 21号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	明赤褐色土	砂空
2	暗褐色土	白色鮮紅粒子微量。地粒子子少額含む。
3	赤褐色土	白色鮮紅ブロック多量。黄色鮮紅ブロック少額含む。
4	暗褐色土	白色鮮紅ブロック中量。地粒子子少額含む。
5	灰褐色土	白色鮮紅少量。地粒子子少額含む。
6	黑褐色土	黄色鮮紅ブロック少額含む。

第33表 13号・16号・17号・21号住居址土層注記

## 23号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	泡桐合土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
2	黒陶合土	ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。1層より明るい。しまりあり、粘性やや低い。

## 24号住居 カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
①	黄褐色土	白色軽石(φ 1 mm)を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
②	暗赤褐色土	焼土ブロックを多量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
③	暗赤褐色土	焼土を中量合む。しまりあり、粘性やや低い。
④	にじ赤褐色土	焼土を少量合む。しまりあり、粘性やや低い。
⑤	褐色土	白色軽石(φ 1 mm)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
⑥	黄褐色土	白色軽石(φ 1 mm)、ローム粒子、ロームブロック、焼土を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
⑦	褐色土	炭化物、焼土を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。

## 25号住居 カマドB

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	焼土ブロック、白色軽石ブロック、多量に含む。
2	褐色土	焼土ブロック少量、白色軽石粒子微量に含む。
3	黒褐色土	白色軽石粒子少量含む。

## 18・19号住居、4号溝

## 18号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 3 mm)を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
2	暗褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 3 mm)を微量に含む。1層より明るい。しまりあり、粘性やや低い。
3	暗褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 3 mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。2層より暗い。しまりあり、粘性やや低い。

## 18号住居カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	焼土ブロック少量、黄色ブロック微量、白色ブロック微量に含む。
2	暗赤褐色土	白色ブロック少量、黄色ブロック微量に含む。
3	黒褐色土	白色ブロック少量。

## 4号溝

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
①	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。野石(φ 1 ~ 5 mm)を少量含む。しまりあり、粘性なし。
②	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。野石(φ 1 ~ 5 mm)を少量含む。1層より明るい。しまりあり、粘性なし。
③	暗褐色土	野石(φ 1 ~ 5 mm)を微量に含む。2層より暗い。しまりあり、粘性なし。
④	暗褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 3 mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。2層より暗い。しまりあり、粘性なし。
⑤	黃褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。

## 19・20号住居

## 19号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 3 mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
2	黒褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 3 mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。1層より明るい。しまりあり、粘性やや低い。
3	黒褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 3 mm)を微量に含む。1層より明るい。しまりあり、粘性やや低い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
5	暗褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
6	黒褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を微量に含む。1層より明るい。しまりあり、粘性やや低い。
7	黒褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色軽石、炭化物を微量に含む。1層より明るい。しまりあり、粘性やや低い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。

## 19号住居カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色ブロック少量、黄色ブロック少量、焼土ブロック微量に含む。
2	暗褐色土	白色ブロック微量、黄色ブロック少量、焼土ブロック微量含む。
3	暗褐色土	焼土粒子、焼土ブロック少量合む。
4	暗褐色土	白色粒子、焼土粒子微量に含む。
5	黒褐色土	白色粒子微量微量。

## 20号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)と黒褐色土をブロック状に微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。

## 3号溝

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	黄色軽石を微量に含む。白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を多量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
2	黒褐色土	黄色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を少量に含む。白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を少量含む。1層より明るい。しまりあり、粘性やや低い。
3	黒褐色土	黄色軽石を微量に含む。白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を少量に含む。1層より明るい。しまりあり、粘性やや低い。
4	黒褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を微量に含む。白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を微量に含む。2層より暗い。しまりあり、粘性やや低い。
5	暗褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
6	暗褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)、黄色軽石を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
7	黒褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
8	暗褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を微量に含む。1層より明るい。しまりあり、粘性やや低い。
9	黒褐色土	白色軽石(φ 1 ~ 2 mm)を微量に含む。しまりあり、粘性やや低い。
10	暗褐色土	しまりあり、粘性やや低い。
11	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを少量含む。1層より明るい。しまりあり、粘性やや低い。

第34表 23号・18~20号住居、4号・3号溝土層注記

## 22住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	暗赤褐色土	砂土ブロック多量、黄色鮮石少額含む。
2	暗褐色土	白色鮮石粒子少額含む。
3	暗褐色土	砂土ブロック少額含む。
4	黒褐色土	白色鮮石粒子微量、黄褐色鮮石少量含む。
5	暗褐色土	砂土粒子微量、黃褐色鮮石少額含む。しまりあり。
6	赤褐色土	砂土ブロックを少額とする。
7	灰褐色土	砂土粒子少額含む。
8	灰褐色土	白色鮮石粒子少額含む。
9	暗褐色土	白色鮮石粒子少額、黃褐色鮮石少額含む。

55・24号住居土層注記なし

## 25号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
2	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、ローム粒子、白色鮮石、炭化物、砂土を微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性やや低い。
3	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石、炭化物、砂土を微量に含む。2層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
4	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、ローム粒子及びロームブロック、黄色鮮石、炭化物、砂土を微量に含む。3層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
5	黒褐色土	黄色鮮石を微量に含む。1層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
6	暗褐色土	白色鮮石粒子、黄色鮮石ブロックを少額含む。

## 26・27号住居 A

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、黄色鮮石を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
2	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、黄色鮮石、ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
3	黒褐色土	白色鮮石、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。2層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
4	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、ローム粒子及びロームブロック、黄色鮮石を微量に含む。しまりややあり。粘性やや低い。
5	暗褐色土	白色鮮石、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。しまりややあり。粘性やや低い。

## 26号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、炭化物、砂土を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
2	暗褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、混合物、砂土を微量に含む。1層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
3	暗褐色土	砂土を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
4	暗褐色土	炭化物を微量、砂土ブロックを少額含む。3層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
5	暗褐色土	砂土を多額に含む。1層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
6	暗褐色土	炭化物、砂土を微量に含む。1層より高い。しまりあり。粘性やや低い。

## 26・27号住居内土坑

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
(1)	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
(2)	黒褐色土	1層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
(3)	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、混合物、砂土を微量に含む。1層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
(4)	褐色土	炭化物を微量、砂土ブロックを少額含む。3層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
(5)	黒褐色土	しまりあり。粘性やや低い。
(6)	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
(7)	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、ロームブロック及びローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
(8)	黒褐色土	しまりあり。粘性やや低い。
(9)	黒褐色土	ロームブロック及びローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
(10)	黒褐色土	ロームブロック及びローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。

## 27号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	にじく赤褐色土	ロームブロック、炭化物、砂土を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
②	暗赤褐色土	砂土を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
③	赤褐色土	砂土を少額含む。しまりあり。粘性やや低い。

## 28号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石を微量に含む。炭化物を少額含む。しまりあり。粘性やや低い。
2	黄褐色土	ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性やや低い。
3	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロック、白色鮮石、炭化物を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
4	暗褐色土	白色鮮石(φ1～3mm)、黄色鮮石を微量に含む。3層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
5	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、砂土を微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
6	暗褐色土	しまりあり。粘性やや低い。

## 28号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	白色鮮石粒子を微量に含む。
2	灰褐色土	白色鮮石粒子及びブロックを微量、砂土ブロックを少額含む。
3	灰褐色土	白色鮮石ブロックを少額含む。
4	黒褐色土	白色鮮石ブロックを中量、黄色鮮石ブロックを微量に含む。

## 29・30号住居

## 29号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。
2	暗褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。1層より高い。しまりあり。粘性やや低い。
3	黒褐色土	白色鮮石(φ1～2mm)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性やや低い。

## 29号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
4	湯畠女士	白色鮮石(φ1~2mm)、ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
5	黒磯女士	白色鮮石(φ1~2mm)、ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。4層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
6	短畠女士	白色鮮石(φ1~2mm)、ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
7	短畠女士	白色鮮石(φ1~2mm)を微細に含む。4層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
8	短畠女士	白色鮮石(φ1~2mm)、黄色鮮石、泥化物を微細に含む。上層より明るい。しまりあり。粘性やや強い。
9	黒磯女士	白色鮮石(φ1~2mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
10	黒磯女士	白色鮮石(φ1~2mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
11	黒磯女士	しまりあり。粘性やや強い。
12	黒磯女士	白色鮮石(φ1~2mm)を微細に含む。ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
13	黒磯女士	12層より明るい。しまりあり。粘性やや中程度。
14	短畠女士	白色鮮石(φ1~2mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石、泥化物を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
15	短畠女士	白色鮮石(φ1~2mm)、ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石を微細に含む。上層より暗い。しまりあり。粘性やや強い。
16	短畠女士	ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石を微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
17	黒磯女士	ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。しまりあり。粘性やや中程度。
18	黒磯女士	白色鮮石(φ1~2mm)、ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。しまりあり。粘性やや強い。
19	黒磯女士	砂土を少額含む。しまりあり。粘性やや強い。
20	短畠女士	しまりあり。粘性やや強い。
21	角女士	砂土を微細に含む。黄色鮮石を少額含む。しまりあり。粘性弱い。

## 29号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	短畠女士	しまりあり。粘性やや弱い。
②	鶴女士	白色鮮石(φ1~2mm)を微細に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
③	黒磯女士	白色鮮石(φ1~2mm)を微細に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
④	短畠女士	しまりあり。粘性やや弱い。
⑤	黒磯女士	泥化物、砂土を微細に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑥	短畠赤色土	泥化物を微細に含む。砂土を中量含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑦	短畠赤色土	泥化物を微細に含む。砂土を少額含む。上層より暗い。しまりあり。粘性やや弱い。
⑧	短畠赤色土	泥化物、砂土を微細に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑨	黒磯女士	白色鮮石(φ1~2mm)を微細に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑩	鶴女士	しまりあり。粘性やや弱い。
⑪	短畠女士	白色鮮石(φ1~2mm)、黄色鮮石、泥化物を微細に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑫	短畠赤色土	泥化物を微細に含む。砂土ブロックを少額含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑬	黒磯女士	砂土を微細に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
⑭	黒磯女士	砂土を微細に含む。4層より明るい。しまりあり。粘性やや弱い。

## 30号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	明治褐色土	膠原の残骸と見われる。
2	灰褐色土	白色鮮石粒子を少額含む。
3	黒褐色土	白色鮮石粒子及びブロックを少額、黄色鮮石ブロックを中量、砂土ブロックを微量に含む。

## 31号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	黒磯女士	ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石、泥化物を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒磯女士	ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石も微細に含む。1層より明るい。粘性から強い。
3	黒磯女士	ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石を少額含む。泥化物を多量含む。下層より明るき。しまりあり。粘性弱い。
4	黒磯女士	ローム粒子を微細に含む。ロームブロック、黄色鮮石を少額含む。泥化物を多量含む。4層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
5	赤褐色土	ローム粒子を少額含む。ロームブロック、黄色鮮石、泥化物を少額含む。砂土を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
6	短畠赤色土	ローム粒子、ロームブロック、泥化物を少額含む。黄色鮮石を少額含む。4層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
7	鶴女士	ローム粒子、ロームブロック、泥化物を少額含む。黄色鮮石、砂土を中量含む。4層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
8	梅女士	ローム粒子。泥化物、砂土を微細に含む。ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性弱い。

## 31号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
①	にじく梅女士	ローム粒子、ロームブロック、黄色鮮石、泥化物を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	赤褐色土	砂土を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
③	梅短畠赤色土	ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。黄色鮮石も少額含む。砂土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
④	赤褐色土	しまりなし。
⑤	黒磯女士	砂土を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
⑥	にじく梅女士	しまりあり。粘性弱い。
⑦	短畠赤色土	泥化物を中量含む。砂土を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
⑧	鶴女士	砂土を微細に含む。黄色鮮石を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
⑨	にじく梅女士	泥化物、砂土を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。
⑩	鶴女士	ローム粒子。泥化物、砂土を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 31号住居 カマド

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色鮮石ブロック、黃褐色土ブロックを少額含む。
2	灰褐色土	白色鮮石(φ1~2mm)をロックを少額含む。4層より明るい。
3	灰褐色土	白色粒子を含む。
4	明治褐色土	白色鮮石をロックを少額含む。4層より明るい。

## 32号住居

屋番	屋名	しまり・粘性・混入物等
1	短畠女士	白色鮮石を微細に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
2	黒磯女士	ローム粒子、ロームブロック、白色鮮石を微細に含む。上層より明るい。しまりあり。粘性やや弱い。
3	黒磯女士	白色鮮石を微細に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
4	短畠女士	ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。しまりあり。粘性やや弱い。
5	短畠女士	4層より弱い。しまりあり。粘性やや弱い。
6	短畠女士	ローム粒子、ロームブロックを微細に含む。4層より明るい。しまりあり。粘性やや弱い。

第36表 29~32号住居土層注記

## 32号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
7	暗褐色土	ローム粒子。ロームブロックを微細に含む。3層より明るい。しまりあり。粘性やや低い。
8	暗褐色土	ローム粒子。ロームブロックを微細に含む。7層より暗い。しまりあり。粘性やや低い。
9	暗褐色土	ローム粒子。ロームブロックを微細に含む。しまりあり。粘性やや低い。
10	黄褐色土	ローム粒子を微細に含む。ロームブロックを少額含む。しまりあり。粘性やや低い。
11	暗褐色土	黃色鮮紅土を微細に含む。しまりあり。粘性やや低い。
12	暗褐色土	ローム粒子。黃色鮮紅土を微細に含む。ロームブロックを少額含む。11層より明るい。しまりあり。粘性やや低い。

## 32号住居 カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
①	暗赤褐色土	粘化物、地土を微細に含む。しまりあり。粘性やや低い。
②	暗赤褐色土	11層より明るい。しまりあり。粘性やや低い。
③	黒褐色土	粘化物、地土を微細に含む。しまりあり。粘性やや低い。
④	黒褐色土	粘化物、地土を少額含む。11層より暗い。しまりあり。粘性やや低い。
⑤	黒褐色土	粘化物を微細に含む。地土ブロックを少額含む。しまりあり。粘性やや低い。
⑥	黒褐色土	粘化物、地土を微細に含む。11層より暗い。しまりあり。粘性やや低い。

## 32号住居 カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色鮮紅ブロック、地土ブロックを少量含む。
2	暗赤褐色土	地土ブロックを少額含む。
3	暗褐色土	白色鮮紅ブロックを少額、灰褐色土ブロックを中量含む。
4	灰褐色土	白色鮮紅土、白色上土ブロックを微細に含む。
5	赤褐色土	地土ブロックを多量に含む。
6	暗赤褐色土	地土ブロックを少量に含む。
7	暗褐色土	地土粒子を微細に含む。

## 33号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ロームブロック、黄色鮮紅土を微量に含む。ローム粒子を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。ローム粒子を少額含む。黄色鮮紅土を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。ローム粒子を少額含む。黄色鮮紅土を少額含む。2層より暗い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	ローム粒子。ロームブロック、黄色鮮紅土を少額含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ロームブロック、黄色鮮紅土を微量に含む。ローム粒子を少額含む。3層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

## 34号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ローム粒子。ロームブロック、黄色鮮紅土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子。ロームブロック、黄色鮮紅土を少額含む。黄色鮮紅土を多量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。ローム粒子を少額含む。黄色鮮紅土を少額含む。2層より暗い。しまりあり。粘性弱い。

## 35号住居 土壌注記なし

## 37号住居 カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色鮮紅ブロックを微細。地土ブロックを多量に含む。
2	灰褐色土	白色鮮紅ブロック、黃色鮮紅土ブロックを少額含む。
3	暗赤褐色土	灰褐色土。地土粒子を多量に含む。
4	黑色土	黃色鮮紅土ブロック。地土ブロックを少額含む。

## 51号住居 土壌注記なし

## 38号住居 カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	地堅
2	灰褐色土	黃褐色土ブロック、黃褐色土ブロックを少額含む。
3	暗褐色土	地土。地土粒子を多量に含む。
4	灰褐色土	地土ブロックを多量に含む。

## 39号住居 土壌注記なし

## 40号住居 カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	ローム粒子。炭化物、地土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	にじ赤褐色土	ローム粒子を微量に含む。地土を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ローム粒子。ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	ローム粒子。炭化物、地土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
5	にじ赤褐色土	ローム粒子。ロームブロック、炭化物、地土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
6	暗褐色土	地土を微量に含む。炭化物を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
7	黒褐色土	ローム粒子。炭化物を微量に含む。灰土になり。しまりあり。粘性弱い。
8	黒褐色土	灰土じ。しまりあり。粘性弱い。
9	暗褐色土	ローム粒子を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
10	暗褐色土	ローム粒子。ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 41号住居 カマド

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	白色鮮紅粒子を少額含む。
2	暗褐色土	白色鮮紅粒子を少額。白色鮮紅土粒子を中量含む。

## 42号住居 土壌注記なし

## 53号住居 カマド F B

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	地土粒子を中量。地土小ブロックを少額。白色鮮紅粒子を微量に含む。
2	暗赤褐色土	地土。地土ブロックを多量混入する。
3	黒褐色土	白色鮮紅土を少額。黄色鮮紅土を少額。白色鮮紅粒子を少額含む。
4	暗褐色土	黄色鮮紅土を中量含む。

第37表 32~34号・37号・38号・40号・41号・53号住居址土層注記

## 53号住居 カマ F C

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	階構合土	砂土ブロックを少量含む。
2	赤褐色土	砂土主体、白色鮮石を微量に含む。
3	灰褐色土	白色鮮石粒子を多量、白色鮮石を中量、黄色鮮石を少量含む。
4	黒褐色土	白色鮮石を少量、黄色鮮石を微量に含む。
5	暗褐色土	砂土ブロックを多量に含む。
6	灰褐色土	白色鮮石を少量含む。

## 54号住居 カマ F

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	階構合土	ローム粒子を微量に含む。炭化物、砂土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。炭化物、砂土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。炭化物、砂土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
5	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。炭化物、砂土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
6	灰褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。炭化物、砂土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
7	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。炭化物、砂土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
8	暗褐色土	ローム粒子、ロームブロックを多量に含む。炭化物を少量含む。砂土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
9	暗褐色土	ローム粒子、砂土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

43, 44, 44, 45号住居土層注記なし

## 40号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(φ1～3mm)、ローム粒子、炭化物、砂土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	階構合土	白色鮮石(φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物、砂土を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	白色鮮石(φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロック、炭化物、砂土を微量に含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	黒褐色土	白色鮮石(φ1～3mm)を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
5	階構合土	ローム粒子、ロームブロックを少量含む。3層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 46号住居 カマ F

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
①	階構合土	ロームブロック、炭化物を微量に含む。ローム粒子、砂土を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
②	階構合土	ローム粒子、ロームブロック炭化物を微量に含む。砂土を少量含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

## 40号住居 カマ D

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	明赤褐色土	砂土ブロックを多量に含む。
2	灰褐色土	砂土粒子を少量含む。
3	階構合土	ロームブロックを微量に含む。灰褐色土投入。
4	灰褐色土	砂土粒子を少量含む。

## 47号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色鮮石(φ1～3mm)、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
B	階構合土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
III	黒褐色土	しまりあり。粘性弱い。
1	黒褐色土	ローム粒子、炭化物、砂土を微量に含む。白色鮮石(φ1～3mm)を少量含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。砂土を少量含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
3	黒褐色土	ローム粒子、炭化物を微量に含む。白色鮮石(φ1～3mm)を多量含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
4	黄褐色土	白色鮮石(φ1～3mm)、炭化物、砂土を微量に含む。黄褐色土をブロックで20%含む。しまりあり。粘性弱い。
5	階構合土	白色鮮石(φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
6	階構合土	ローム粒子を微量に含む。ロームブロックを微量に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。

## 47号住居 カマ D

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
①	階構合土	白色鮮石(φ1～3mm)、ローム粒子、ロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
②	階構合土	炭化物、砂土を微量に含む。白色鮮石(φ1～3mm)を多量含む。1層より明るい。しまりあり。粘性弱い。
③	明赤褐色土	炭化物を微量に含む。砂土を少額含む。2層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
④	階構合土	ローム粒子、ロームブロック、炭化物、砂土を微量に含む。0層より弱い。しまりあり。粘性弱い。

## 47号住居 カマ D

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	赤褐色土	砂土粒子を多量に含む。
2	階構合土	砂土粒子及びロームブロックを少量含む。
3	灰褐色土	白色鮮石をブロック、白色鮮石ブロックを少量。砂土ブロックを微量に含む。
4	褐色土	白色鮮石粒子を多量、白色鮮石粒子及び白色鮮石ブロックを微量に含む。
5	黒褐色土	白色鮮石を多量、白色鮮石及びロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
6	褐色土	白色鮮石を多量、白色鮮石及びロームブロックを微量に含む。しまりあり。粘性弱い。
7	黒褐色土	白色鮮石、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。1層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
8	黑褐色土	白色鮮石、ローム粒子及びロームブロックを微量に含む。1層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
9	黑褐色土	ローム粒子、ロームブロック、白色鮮石を微量に含む。しまりあり。粘性弱い。

第38表 53号・54号・46～48号・57号住居址土層注記

## 57号住居 カマ F (コーナー)

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
②	南面土	ロームブロック、黄色軽石を微細に含む。ローム粒子を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
③	にぶい褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微細に含む。ローム粒子を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
④	にぬい褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微細に含む。ローム粒子を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
⑤	明るい褐色土	ロームブロック、黄色軽石を微細に含む。ローム粒子を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
⑥	灰褐色土	白色ブロックを少額。白色ブロックを微細に含む。
⑦	灰褐色土	白色塊状粒子を含む。
⑧	赤褐色土	帶土ブロックを微細に含む。
⑨	暗褐色土	白色ブロックを微細に含む。
10	褐色土	灰を多量に混入する。

## 57号住居 カマ F

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	にぶい褐色土	帶土粒子を多量。帶土ブロックを少額含む。
2	灰褐色土	帶土粒子を微細に含む。
3	赤褐色土	帶土を主とす。
4	黒色土	白色粒子を極微に含む。
5	灰褐色土	白色粒子、白色ブロックを微細に含む。
6	灰褐色土	含有物はほとんどみられない。
7	褐色土	帶土ブロックを含む。
8	灰色土	帶土ブロックを微細に含む。
9	暗褐色土	白色ブロックを微細に含む。
10	灰褐色土	帶土ブロックを少額含む。
11	灰褐色土	帶土ブロックを多量に含む。

49. 58号住居土層注記なし

## 50号住居

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	白色土	白色粘土(φ 1~3mm)。田代物を微細に含む。ローム粒子、ロームブロック、帶土を少額含む。しまりあり。粘性弱い。
2	黒褐色土	ローム粒子、ロームブロックを少額含む。1層より弱い。しまりあり。粘性弱い。
3	暗褐色土	ローム粒子、炭化物、帶土を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。

## 50号住居カマ F

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	ローム粒子、炭化物、帶土を微細に含む。しまりあり。粘性弱い。
2	赤褐色土	炭化物を少額含む。帶土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
3	にぶい赤褐色土	炭化物を少額含む。帶土を中量含む。しまりあり。粘性弱い。
4	暗褐色土	しまりあり。粘性弱い。

## 50号住居 カマ F

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	灰褐色土	帶土粒子を多量。帶土ブロックを少額含む。
2	暗褐色土	白色軽石(φ 1mm)を微細に含む。灰褐色土を少額混入。

## 12号坑

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	暗褐色土	黄色軽石を1%含む。しまりあり。粘性あり。
2	明黄褐色土	白色軽石(φ 1mm)を1%含む。しまりあり。粘性あり。

## 12号坑

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黑色土	しまりあり。粘性あり。
2	黒褐色土	軽石を1%含む。しまりあり。粘性あり。
3	明黄褐色土	しまりあり。粘性あり。
4	暗褐色土	白色軽石(φ 1~2mm)。ロームブロックを微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性あり。
5	黒褐色土	白色軽石(φ 1~2mm)を1%含む。1層より弱い。しまりあり。粘性あり。
6	黒褐色土	1層より弱い。白色軽石(φ 1~2mm)を微細に含む。しまりあり。粘性あり。
7	黒褐色土	白色軽石(φ 1~2mm)を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性あり。
8	黒褐色土	1層より弱い。1層より。粘性弱い。
9	黒褐色土	ロームブロックを微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性あり。
10	黒褐色土	1層より弱い。「もうあ」。粘性弱い。
11	黒褐色土	ロームブロックを微細に含む。しまりあり。粘性あり。
12	黒褐色土	1層より明るい。しまりあり。粘性あり。

## 27号坑

層番	層名	しまり・粘性・混入物等
1	黒褐色土	白色軽石(φ 1~3mm)を微細に含む。しまりあり。粘性あり。
2	黒褐色土	白色軽石(φ 1~3mm)を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性あり。
3	黒褐色土	しまりあり。粘性あり。
4	黒褐色土	白色軽石(φ 1~2mm)。ロームブロックを微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性あり。
5	黒褐色土	白色軽石(φ 1~2mm)を20%含む。1層より弱い。しまりあり。粘性あり。
6	黒褐色土	1層より弱い。白色軽石(φ 1~2mm)を20%含む。しまりあり。粘性あり。
7	黒褐色土	白色軽石(φ 1~2mm)を微細に含む。1層より明るい。しまりあり。粘性あり。
8	黒褐色土	1層より弱い。1層より。粘性弱い。
9	黒褐色土	ロームブロックを微細に含む。2層より明るい。しまりあり。粘性あり。
10	黒褐色土	1層より弱い。「もうあ」。粘性弱い。
11	黒褐色土	ロームブロックを微細に含む。しまりあり。粘性あり。
12	黒褐色土	1層より明るい。しまりあり。粘性あり。

1~10, 13号坑不明

第39表 57号・50号住居址、12号・18号・19号・27号土坑土層注記

第40表 遠丸遭跡遺構觀察表(1)

種類	分類	細胞形態	細胞量	原核細胞		真核細胞		原核細胞		真核細胞		時間
				原核	真核	原核	真核	原核	真核	原核	真核	
平均細胞	平均細胞	球形	3.92	3.69	15	6	5.9±E	—	—	68	40	△
小型正方形	正方形	4.40	4.49	54	36	N <sub>3</sub> ±E	—	—	—	△	△	24H+48H
中型正方形	正方形	(4.48)	(4.56)	22	11	N <sub>27</sub> ±W	—	—	—	△	△	24H+48H
大型正方形	正方形	3.60	11	5	0.9±W	N <sub>4</sub> ±W	A	H <sub>1</sub>	H <sub>2</sub>	—	△	24H+48H
中型正方形	正方形	0.5±D	5.20	5	3	N <sub>75</sub> ±E	B	H <sub>3</sub>	H <sub>4</sub>	—	△	24H+48H
小型長方形	長方形	1.90	1.95	26	11	N <sub>70</sub> ±E	A	H <sub>5</sub>	H <sub>6</sub>	—	●	24H+48H
中型長方形	長方形	3.68	3.44	29	12	N <sub>88</sub> ±W	3(E)	氯溴甲烷	—	△	△	24H+72H
大型長方形	長方形	4.00	3.76	41	30	N <sub>29</sub> ±E	—	—	88	72	△	24H+48H
中型圓形	圓形	4.48	3.52	26	19	N <sub>20</sub> ±W	—	氯溴甲烷	100	76	△	24H+72H
大型圓形	圓形	5.68	(2.00)	41	30	N <sub>67</sub> ±E	4(E)	氯溴甲烷	88	70	△	24H+48H
小管狀形	管狀	6.56	6.08	26	9	N <sub>67</sub> ±E	4	氯溴甲烷	62	62	○	24H+48H
中管狀形	管狀	3.60	3.28	37	25	N <sub>17</sub> ±E	—	—	—	△	△	24H+48H
大管狀形	管狀	4.49	(1.36)	37	23	N <sub>17</sub> ±E	—	—	—	●	△	24H+48H
小管狀形	管狀	5.60	5.81	20	12	N <sub>29</sub> ±W	—	—	108	94	△	24H+48H
中管狀形	管狀	4.72	5.81	20	12	N <sub>97</sub> ±W	—	氯溴甲烷	92	64	△	24H+48H

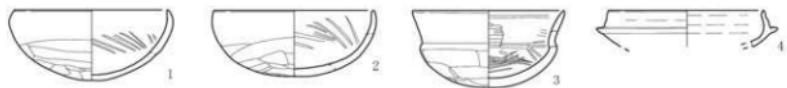
A :  $\square - L +$  離色士  $\triangle 1000 \sim 5000$   
 B :  $\square - L +$  離色士  $\triangle 5000 \sim 10000$   
 C :  $\square - L +$  離色士  $\triangle 10000$  以上

○  
×

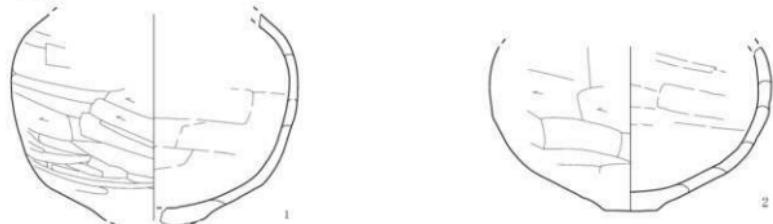
下  
上  
大  
中  
小

- 133 -

1号住



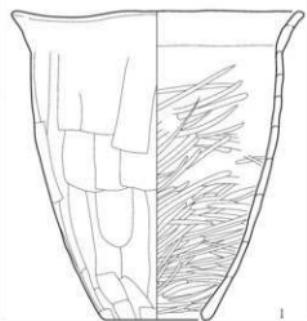
2号住



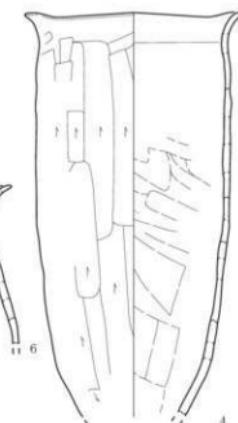
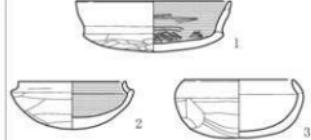
4号住



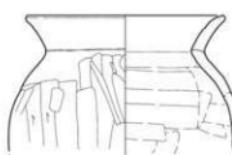
5号住



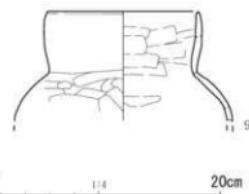
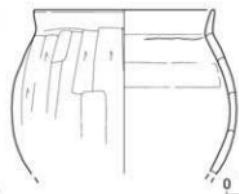
7号住



5



7

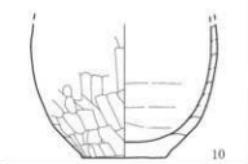


8



第78图 1号·2号·4号·5号·7号住居址出土土器实测图

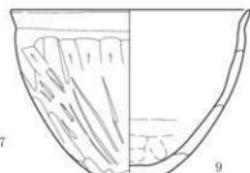
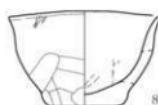
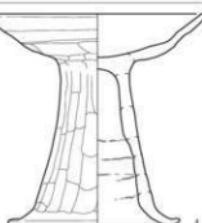
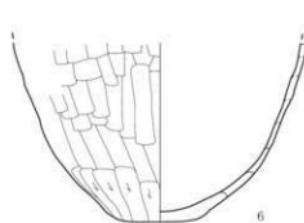
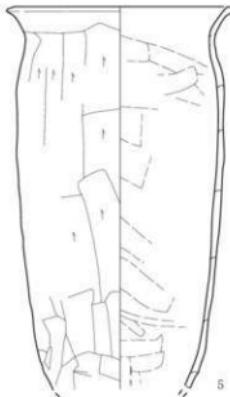
7号住



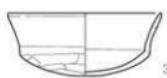
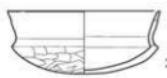
8号住



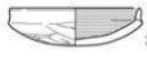
9号住



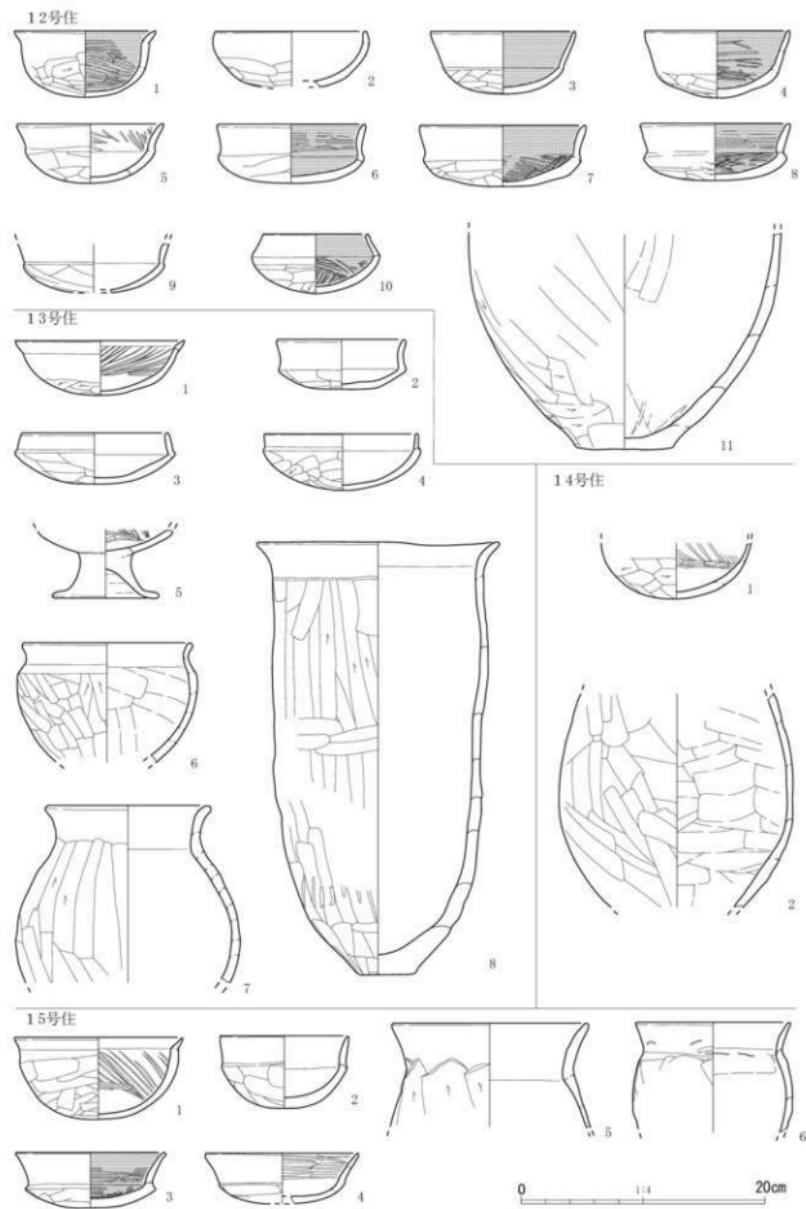
10号住



11号住

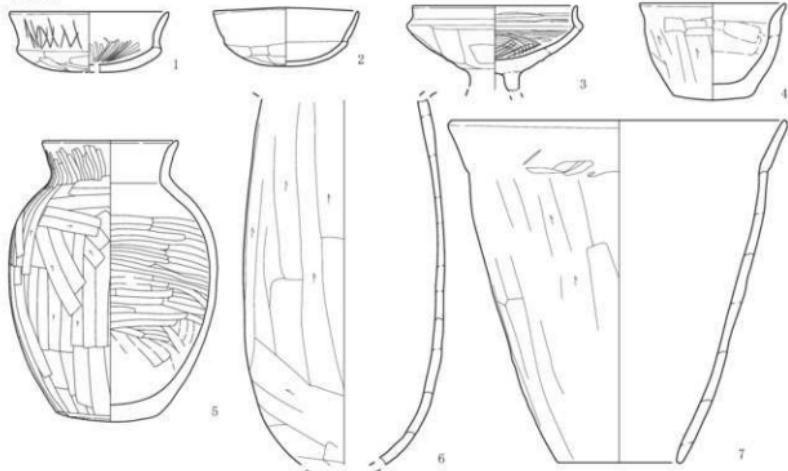


第79図 7～11号住居址出土土器実測図

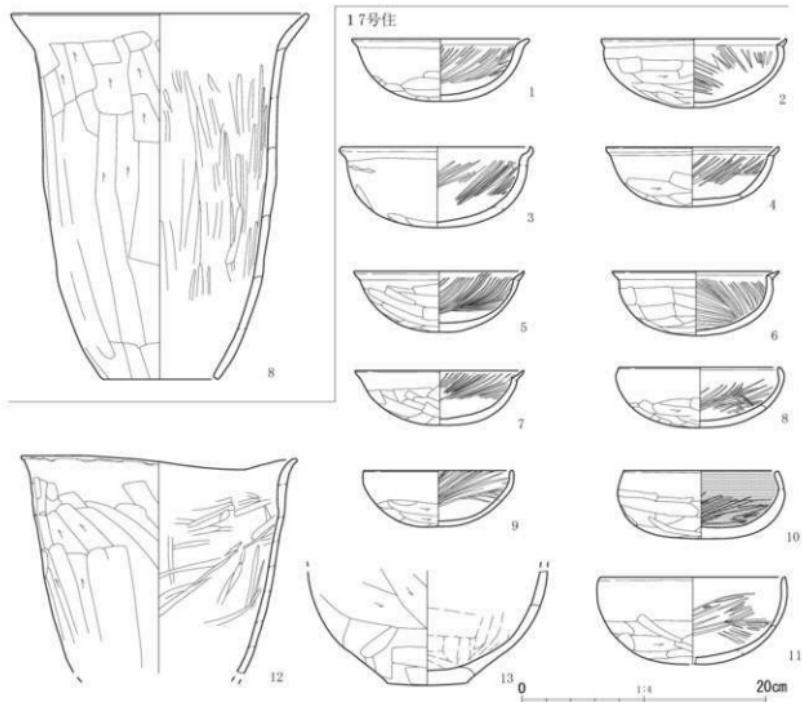


第80図 12~15号住居址出土土器実測図

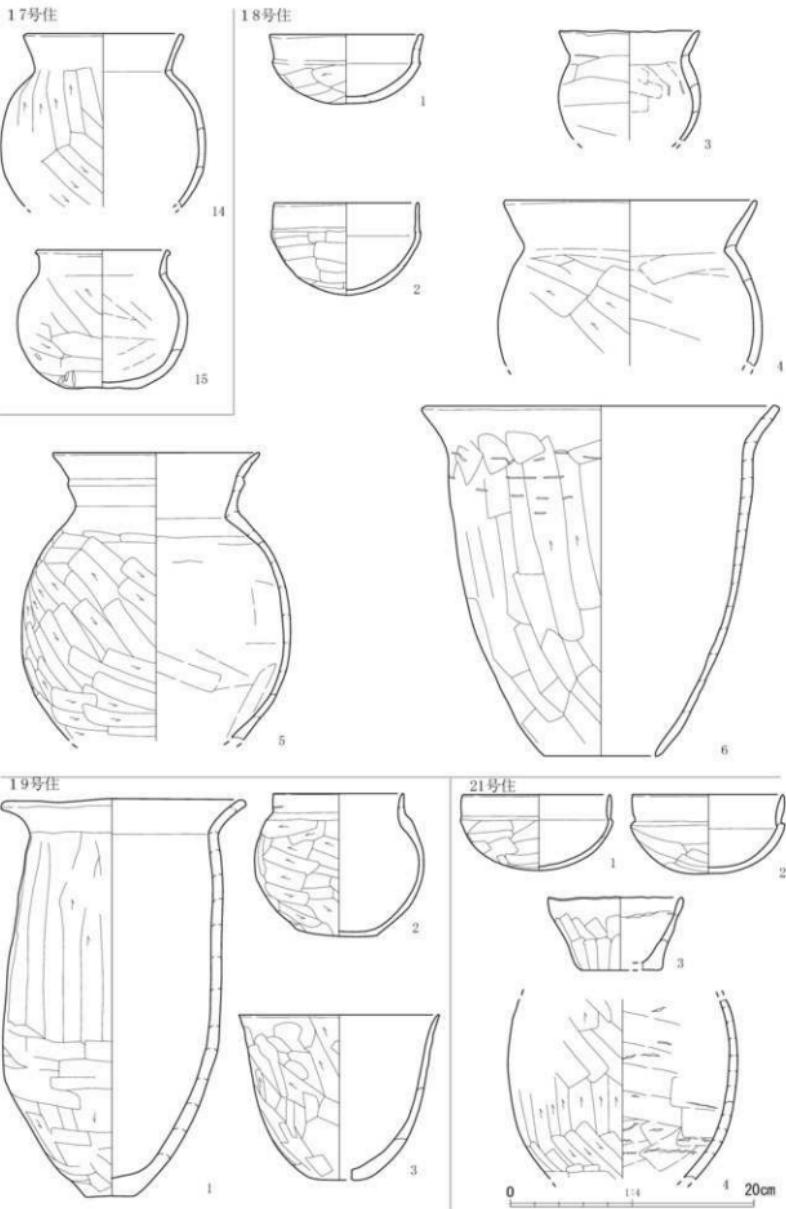
16号住



17号住

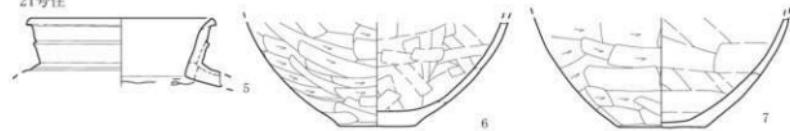


第81図 16号・17号住居址出土土器実測図

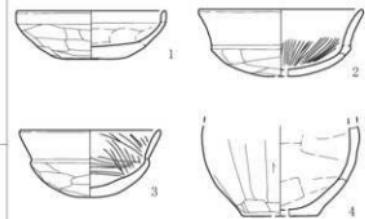


第82図 17～19号・21号住居址出土土器実測図

21号住



22号住



23号住



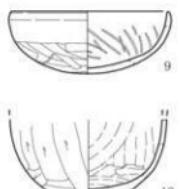
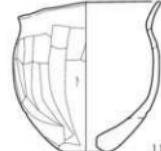
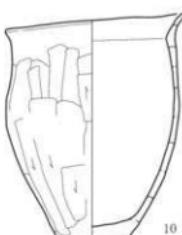
25号住



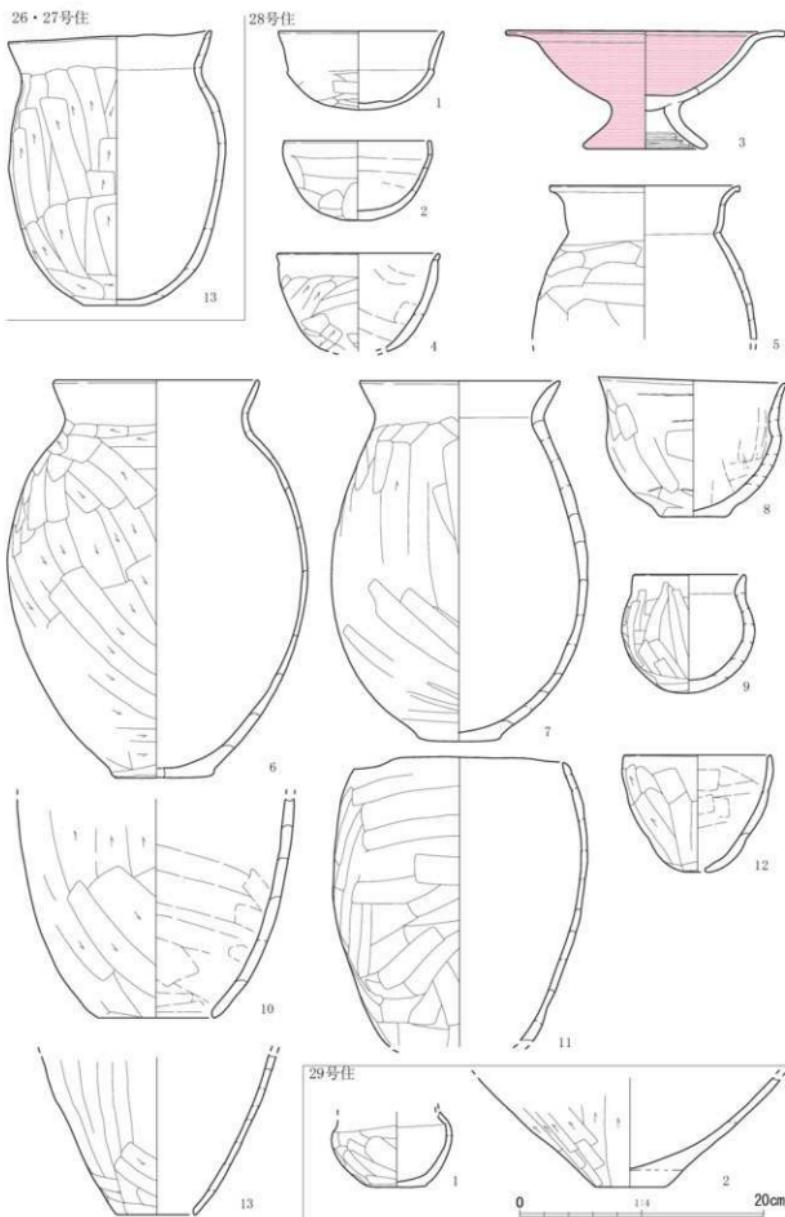
24号住



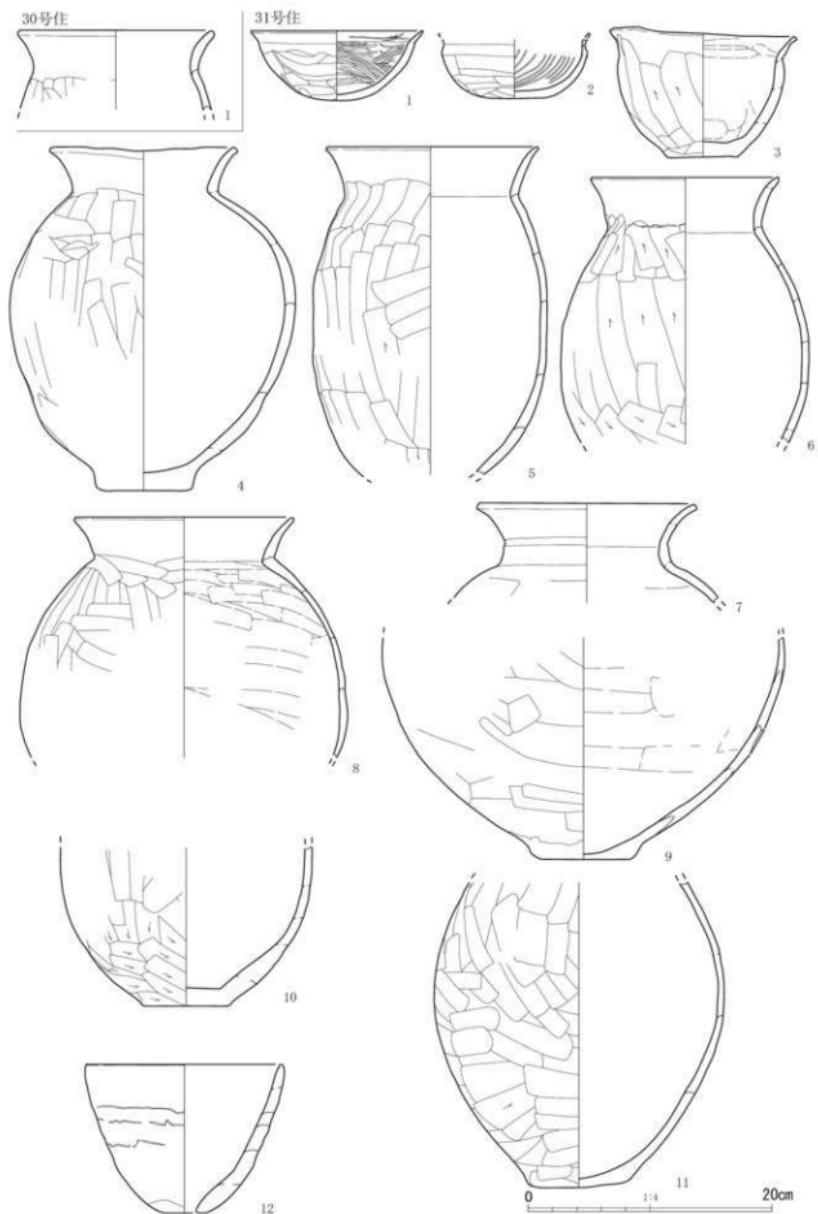
26・27号住



第83図 21～27号住居址出土土器実測図

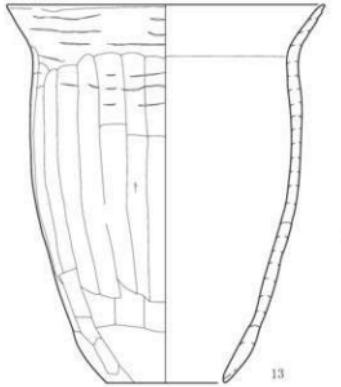


第84図 26～29号住居址出土土器実測図

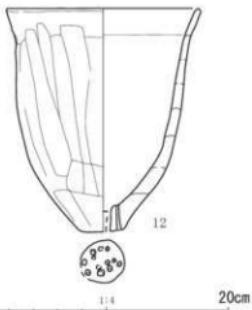
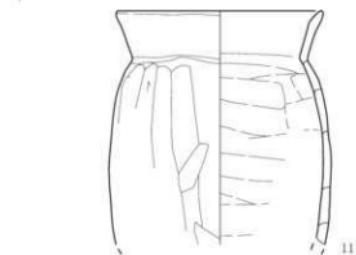
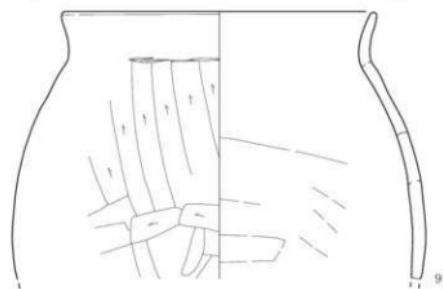
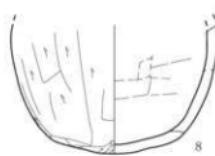
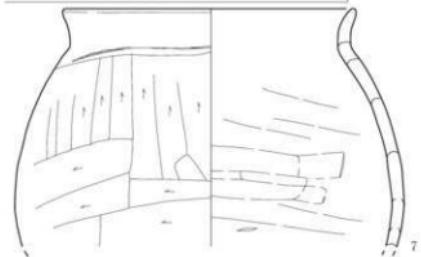
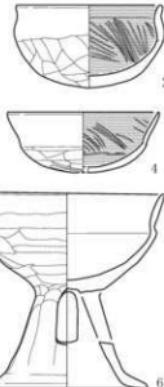
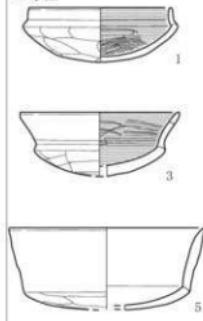


第85図 30号・31号住居址出土土器実測図

31号住

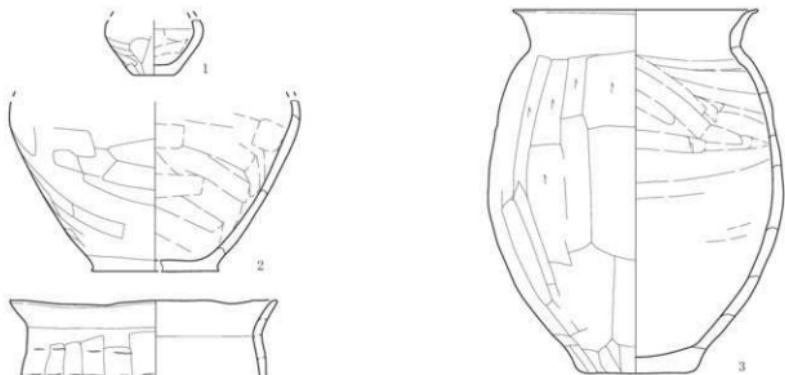


32号住

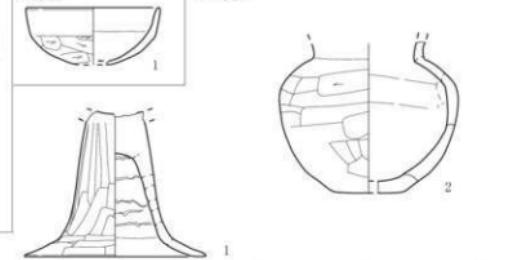


第86図 31号・32号住居址出土土器実測図

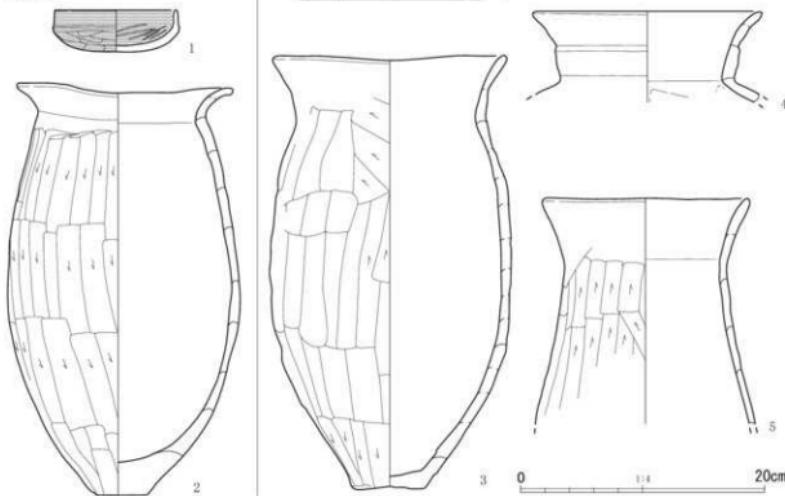
33号住



36号住 37号住

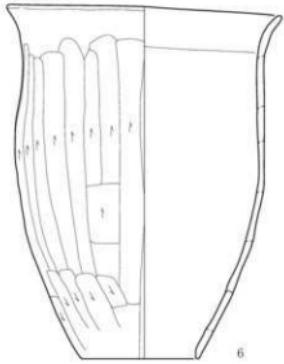


35号住

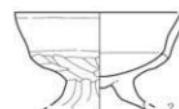
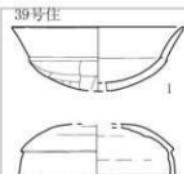
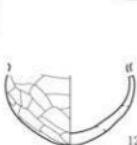
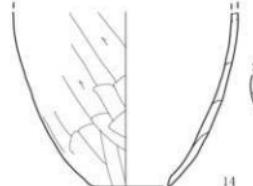
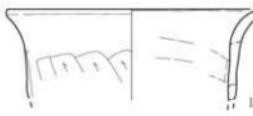
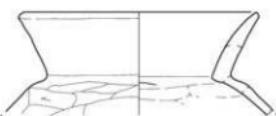
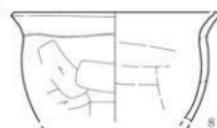
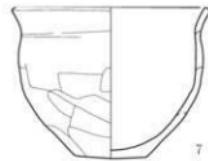
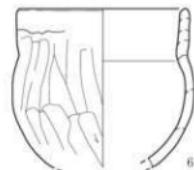
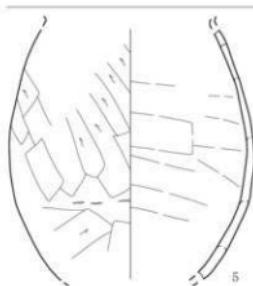
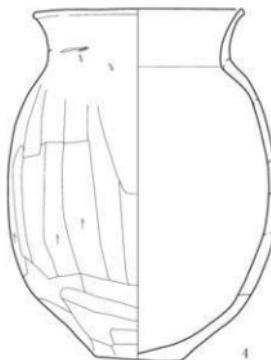
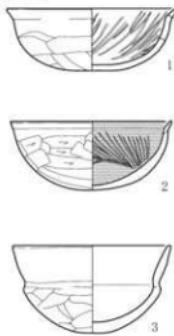


第87图 33号・35~37号住居址出土土器実測図

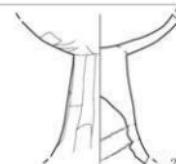
37号住



38号住

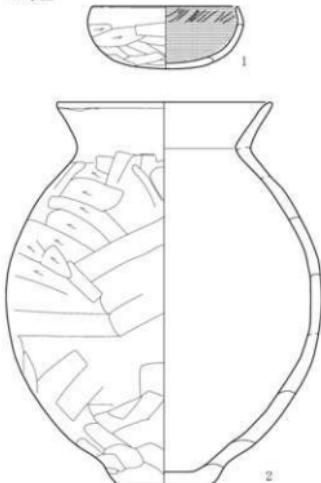


40号住

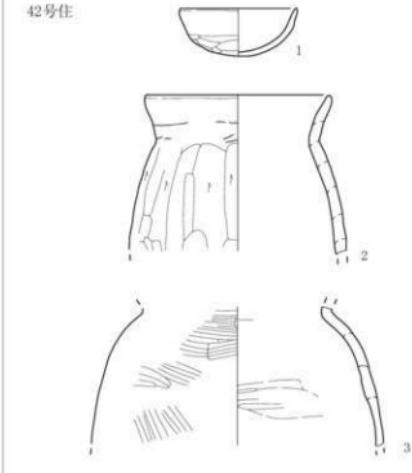


第88図 37~40号住居址出土土器実測図

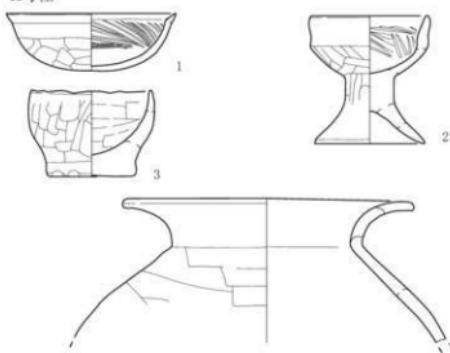
41号住



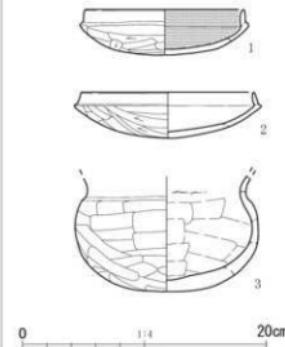
42号住



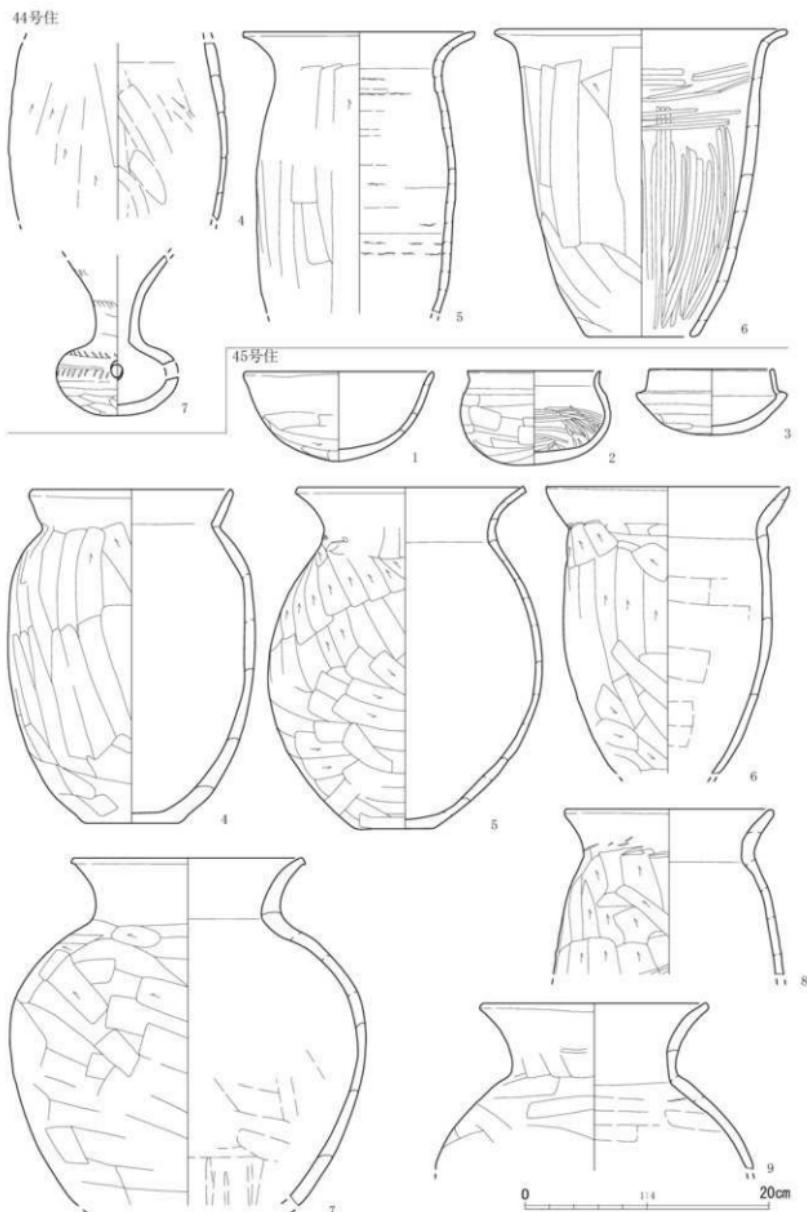
43号住



44号住

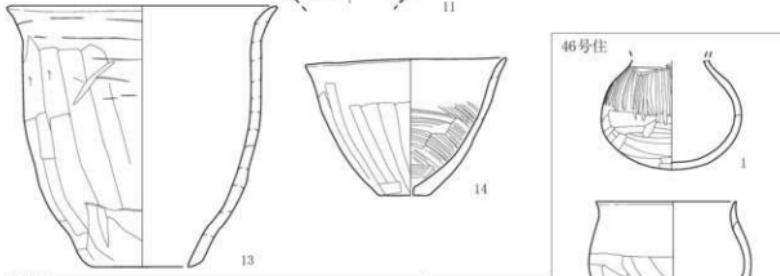
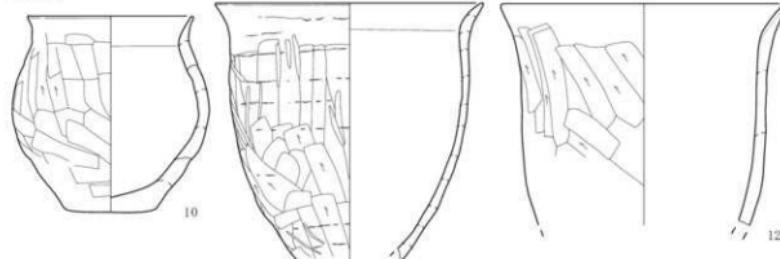


第89図 41~44号住居址出土土器実測図

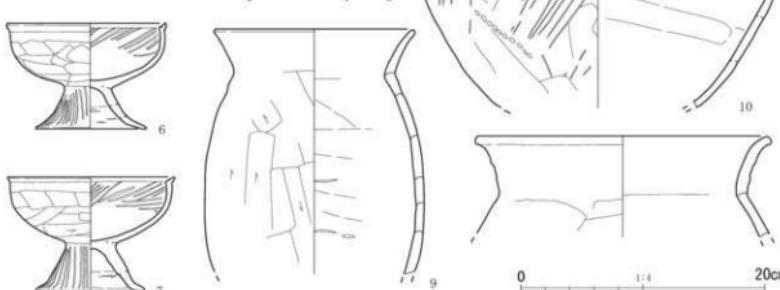
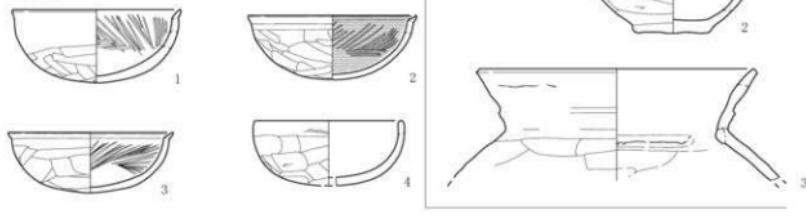


第90圖 44号・45号住居址出土土器実測図

45号住

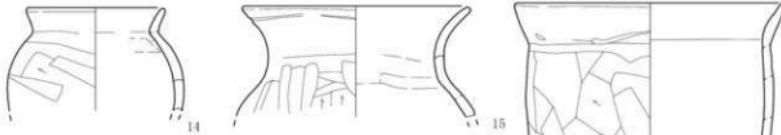


47号住

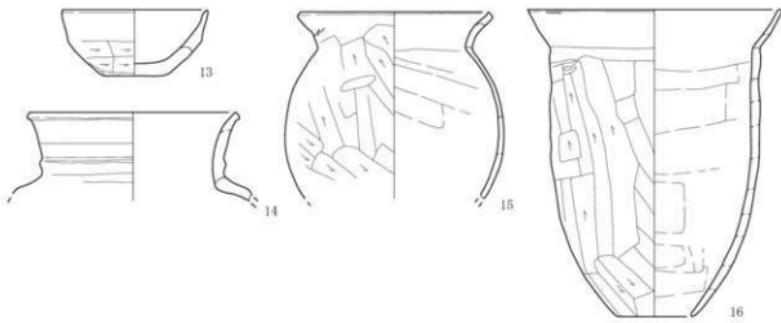
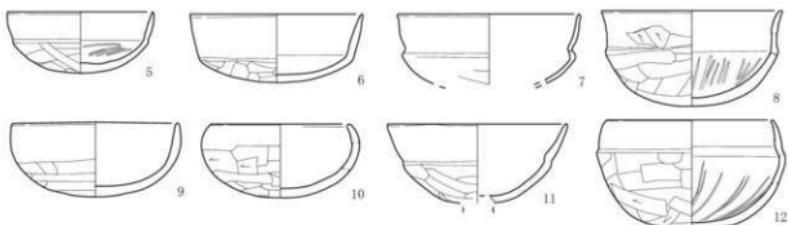
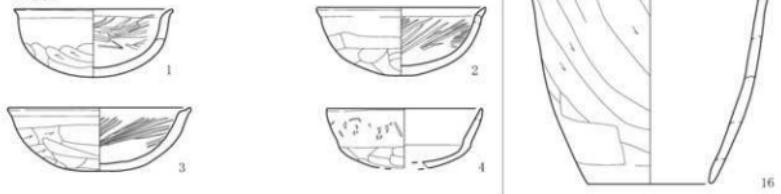


第91図 45~47号住居址出土土器実測図

47号住



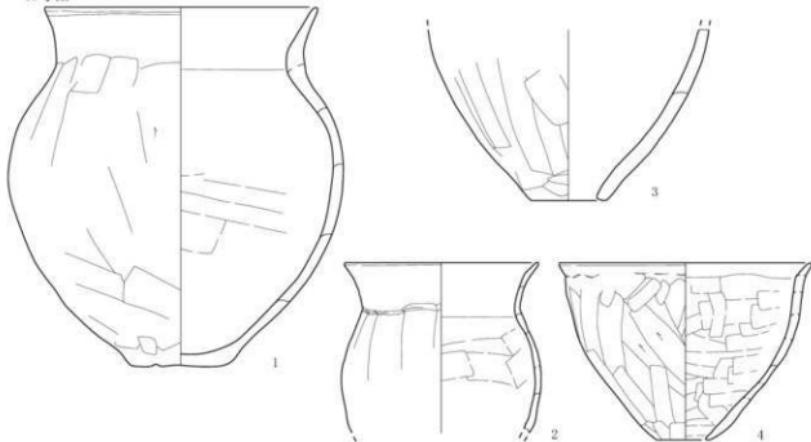
48号住



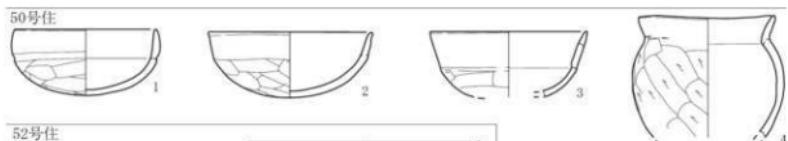
0 1:4 20cm

第92図 47号・48号住居址出土土器実測図

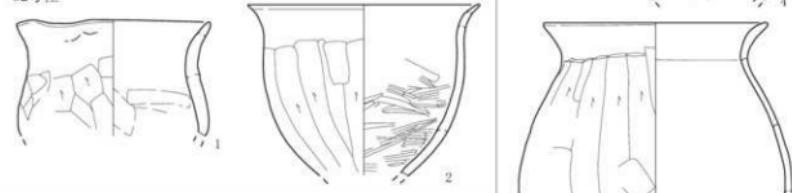
49号住



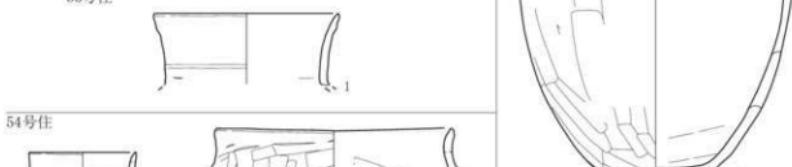
50号住



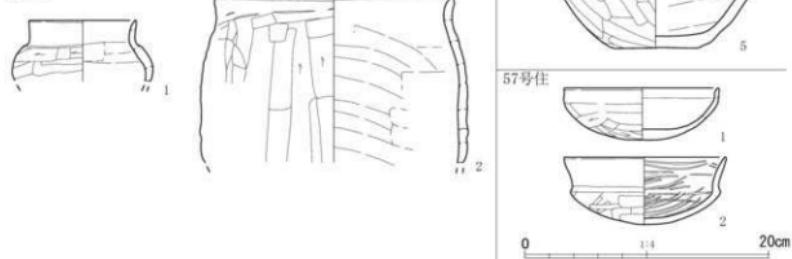
52号住



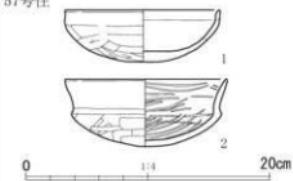
53号住



54号住

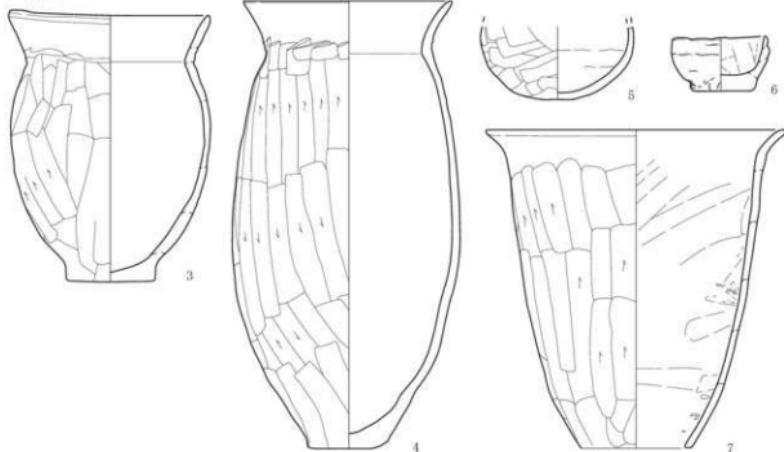


57号住

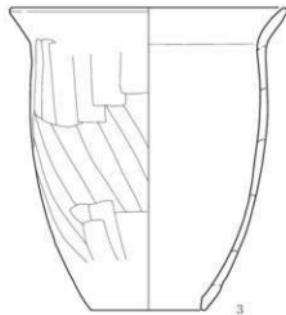


第93図 49号・50号・52~54号・57号住居址出土土器実測図

## 57号住

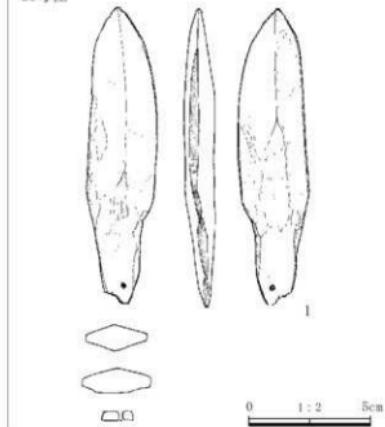


## 一括



0 1:4 20cm

## 30号住



第94図 57号住居址、一括出土土器、30号住居址出土石器実測図

遠丸遺跡土器観察表

1号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺		口径 12.5 底径 5.9 器高 5.9	①普通 ②純い橙色 ③黒色 粒・雲母 ④2/3	外面 口縁部横彌で、体部以下窓削り。 内面 窓で後放射状磨き。
2	土師器 壺		口径 13.1 底径 6.4 器高 5.4	①普通 ②暗橙色 ③白色粒・ 黒色粒・雲母 ④3/4	外面 口縁部横彌で、体部以下窓削り。 内面 彌で後横位基準磨き。
3	土師器 壺	一括	口径 12.4 底径 6.4 器高 6.4	①普通 ②橙色 ③白色粒・黑 色粒・雲母 ④4/5	外面 口縁部横彌で、体部以下窓削り。 内面 磨で後横位基準磨き。
4	須恵器 壺	一括	口径 12.8 底径 6.4 器高 6.4	①良好 / 遷元 ②灰色 ③白色 粒・黒色粒 ④口縁部～体部上 部破片	外面 粘土成形。 内面 粘土成形。

2号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	電一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色～褐色 ③ 白色粒・雲母 ④胴部上位～下 位1/5	外面 横位～斜位窓削り又は窓撫で。 内面 窓撫で。
2	土師器 甕	電一括	口径 一 底径 (4.3) 器高 ( ～底部 )/8	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③白色粒・雲母 ④胴部中位 ～底部	外面 窓削り。 内面 窓撫で。

4号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 一 底径 4.3 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・雲母 ④胴部下位～底部 ～4/5	外面 窓削り。 内面 窓撫で。

5号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	電一括 一括	口径 24.0 底径 8.5 器高 25.3	①普通 ②橙色 ③白色粒・雲 母 ④4/5	外面 口縁部横彌で、胴部窓削り。 内面 口縁部横彌で、胴部撫で後、横位～斜位磨き。

7号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺		口径 (12.6) 底径 4.2 器高 4.2	①普通 ②純い橙色 ③角凹 石・雲母 ④口縁部～体部1/2	外面 口縁部横彌で、体部窓削り。 内面 磨で後磨き、黒色処理。
2	土師器 壺	電	口径 (8.7)	①普通 ②黄褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④1/2	外面 口縁部横彌で、体部窓削り。 内面 口縁部～体部上位横彌で、体部中位以下窓削り、黒色処理。
3	土師器 壺	一括	口径 9.0 底径 3.9 器高 4.8	①普通 ②黄褐色 ③褐色粒・ 雜 ④1/2	外面 口縁部横彌で、体部窓削り。 内面 口縁部横彌で、体部窓削り。
4	土師器 豆漿甕	一括	口径 (17.6) 底径 一 器高 一	①普通 (17.6) ②純い黃褐色 ③褐色 粒・黑色粒・雜 ④口縁部～胴部 下位1/2	外面 口縁部横彌で、胴部窓削り。 内面 口縁部横彌で、胴部窓削り。
5	土師器 甕	P 1 貯藏穴 一括	口径 (22.3) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黃褐色 ③褐色 粒 ④口縁部～胴部下位1/5	外面 口縁部横彌で、胴部窓削り。 内面 口縁部横彌で、胴部窓削り後磨き。
6	土師器 甕	一括	口径 18.8	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・黑色粒・雲母若干 ④口縁 部～胴部上位1/5	外面 口縁部横彌で、胴部窓削り。 内面 口縁部横彌で、胴部窓削り。
7	土師器 甕	電一括 一括	口径 16.2 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③白色粒 ④口縁部～胴部中位1/3	外面 口縁部～胴部上位横彌で、胴部上位の一部横彌で後延削 り、胴部中位窓削り。 内面 口縁部横彌で、胴部窓削り。
8	土師器 甕		口径 (14.6)	①普通 ②橙色～暗褐色 ③白 色粒・褐色粒・雲母 ④口縁部 ～胴部中位1/3	外面 口縁部横彌で、胴部窓削り。 内面 口縁部横彌で、胴部窓削り。
9	土師器 甕		口径 12.4 底径 7.0 器高 7.0	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④口縁部～胴部上 部1/5	外面 口縁部窓削り後横彌で、胴部窓削り。 内面 口縁部横彌で、以下窓削り。
10	土師器 甕	電一括 一括	口径 一 底径 7.0 器高 7.0	①普通 ②純い橙色 ③褐色粒 ④胴部中位～底部1/5	外面 窓削り。 内面 窓撫で。

第42表 1号・2号・4号・5号・7号住居址出土土器観察表

## 8号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径(14.6) 底径 二 器高 二	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 褐色粒・雲母 ④1/3	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 焼け後磨き、黒色処理。
2	土師器 高环	一括	口径(12.8) 底径(9.0) 器高 10.6	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・黒色粒・雲母若干 ④3/5	外面 体部上半横撫で、下半部鋸削り、脚部鋸削り。 内面 体部撫で後放射状磨き、脚部撫で。
3	土師器 甕	一括	口径(12.9) 底径 一 器高 一	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・ 雲母 ④口縁部～胴部上位破片	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削で。
4	土師器 甕	一括	口径(13.3) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒・雲母 ④口縁部～胴 部上位1/8	外面 口縁部横撫で後、瓶位磨き、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削で。
5	土師器 甕	貯藏穴 一括	口径 一 底径 5.8 器高 一	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③白色粒・雲母若干・雜 ④胴 部下位～底部1/10	外面 鋸削り。 内面 撫撫で。

## 9号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	Nu 1 一括	口径 12.3 底径 4.6 器高 4.6	①普通 ②純い橙色～暗褐色③ 白色粒・雲母 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部～体部上半横撫で、体部下半部鋸削で。
2	土師器 环	Nu 2 一括	口径(14.8) 底径 一 器高 4.5	①普通 ②純い橙色～暗褐色③ 白色粒 ④2/5	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。
3	土師器 环	一括	口径 11.0 底径 一 器高 4.5	①普通 ②橙色～褐色 ③白色 粒・褐色粒 ④2/5	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で後放射状磨き。
4	土師器 高环	一括	口径 17.4 底径 13.2 器高 17.4	①普通 ②橙色～明褐色 ③白 色粒・褐色粒・雲母 ④9/10	外面 体部上半横撫で、体部下部～脚部中位鋸削り、脚部下位 横撫で。 内面 体部上半横撫で、体部下半部鋸削で、脚部上位～中位鋸削 で、脚部下位撫で。
5	土師器 甕	一括	口径(17.6) 底径 一 器高 一	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 褐色粒・雲母 ④口縁部～脚部下 位1/3	外面 口縁部横撫で、脚部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、脚部鋸削で。
6	土師器 甕	一括	口径 7.0 底径 一 器高 一	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 雲母 ④胴部下位～底部1/6	外面 鋸削り。 内面 撫撫で。
7	土師器 甕	一括	口径(14.8) 底径 5.4 器高 一	①普通 ②黃褐色 ③褐色粒・ 白色粒・雲母 ④口縁部～胴部上位1/8	外面 口縁部横撫で、脚部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、脚部鋸削で。
8	土師器 鉢	貯藏穴 一括	口径(12.2) 底径 5.4 器高 7.8	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 雲母 ④口縁部～底部2/3	外面 口縁部横撫で、脚部～底部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、脚部以下鋸削で。
9	土師器 鉢	貯藏穴 一括	口径 19.4 底径 5.6 器高 13.6	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 褐色粒・雲母 ④4/5	外面 口縁部横撫で、脚部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、脚部鋸削で。

## 10号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径 12.7 底径 5.7 器高 5.7	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③白色粒・雲母 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部～体部上半横撫で、体部下半部鋸削で。
2	土師器 环	一括	口径 12.9 底径 一 器高 5.2	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③褐色粒・雲母 ④7/8	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で又は磨き。
3	土師器 环	一括	口径(12.5) 底径 一 器高 5.2	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐 色粒・黒色粒 ④1/3	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。

## 11号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环		口径 13.1 底径 一 器高 4.6	①普通 ②暗褐色～黒色 ③白 色粒・雲母 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部～体部上半横撫で、体部下半部鋸削で、黒色処理。
2	土師器 环	一括	口径(16.6) 底径 3.1 器高 3.1	①普通 ②暗褐色～黒色 ③白 色粒・褐色粒・雲母 ④2/3	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で、黒色処理。
3	土師器 环		口径 13.0 底径 一 器高 4.8	①普通 ②純い橙色～褐色 ③白 色粒・雲母 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部～体部上半横撫で、体部下半部鋸削で。

第43表 8～11号住居址出土土器観察表

## 12号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径(11.5) 底径 - 器高 5.5	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③褐色粒・雲母 ④1/3	外面 口縁部～体部上位横撫で。 内面 口縁部横撫で、体部磨き、黒色処理。
2	土師器 环		口径(12.3) 底径 - 器高 -	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③雲母多量 ④口縁部～体部中位 位1/3	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 口縁部～体部中位横撫で、体部下位横撫で。
3	土師器 环		口径 11.8 底径 - 器高 5.2 4.9/10	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・雲母若干 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 口縁部横撫で、体部磨削で又は磨き、黒色処理。
4	土師器 环	一括	口径(11.9) 底径 - 器高 5.6	①普通 ②純い橙色～褐色 ③白色粒・雲母若干 ④2/5	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 磨き、黒色処理。
5	土師器 环		口径 11.9 底径 - 器高 4.9	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 口縁部横撫で後磨き、体部磨削で。
6	土師器 环	1号窓穴	口径(12.0) 底径 - 器高 4.9	①普通 ②橙色・口唇部黒色③ 褐色粒 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 無で後横位基部磨き、黒色処理。
7	土師器 环	P.5	口径 13.4 底径 - 器高 5.1	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・雲母若干 ④9/10	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 口縁部横撫で、体部磨削で後磨き、黒色処理。
8	土師器 环	一括	口径 12.0 底径 - 器高 4.7	①普通 ②橙色～暗褐色 ③白 色粒若干・褐色粒 ④3/4	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 磨で後磨き、黒色処理。
9	土師器 环	一括	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②橙色 ③白色粒若 干・褐色粒 ④口縁部中位～体 部1/5	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 磨で又は磨き。
10	土師器 环	一括	口径 8.6 底径 - 器高 4.9 9/10	①普通 ②純い橙色～黒褐色③ 白色粒・褐色粒・礫・雲母 ④	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 口縁部横撫で、体部磨き、黒色処理。
11	土師器 甕	1号窓穴	口径 8.0 底径 - 器高 - 1部/8	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐 色粒・礫・雲母 ④胴部中位～底 部1/8	外面 脇部中位～底部磨削り。 内面 脇部中位～底部磨削で。

## 13号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径 13.9 底径 - 器高 4.5	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 褐色粒・礫・雲母 ④9/10	外面 口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位磨削り。 内面 口縁部横撫で、体部磨削で後放射状磨き。
2	土師器 环		口径 10.5 底径 - 器高 4.1	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 褐色粒・雲母・角閃石 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 口縁部横撫で、体部磨削で。
3	土師器 环	一括	口径 12.0 底径 - 器高 -	①普通 ②純い橙色～褐色 ③白 色粒若干・褐色粒・雲母 ④ほ ぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 口縁部～体部上半横撫で、体部下半磨削で。
4	土師器 环		口径 12.5 底径 - 器高 4.7	①普通 ②純い橙色～褐色 ③白 色粒・雲母多量 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部磨削り。 内面 口縁部横撫で、体部磨削で。
5	土師器 高环	一括	口径 (8.5) 底径 - 器高 -	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 褐色粒・雲母 ④体部中位～脚部	外面 体部磨削り又は磨削で、脚部磨削で。 内面 体部磨削で後磨き、脚部磨削で。
6	土師器 小型甕	一括	口径 (14.0) 底径 - 器高 -	①普通 ②純い橙色 ③白色粒・ 褐色粒・雲母 ④口縁部～胴 部下位1/4	外面 口縁部横撫で、脚部磨削り。 内面 口縁部横撫で、脚部磨削で。
7	土師器 甕		口径 12.7 底径 - 器高 -	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・黒褐色・雲 母若干 ④口縁部～胴部下位2/ 3	外面 口縁部横撫で、脚部磨削り。 内面 口縁部横撫で、脚部磨削で。
8	土師器 甕	一括	口径 20.0 底径 4.5 器高 35.5	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③褐色粒・石英・礫 ④3/5	外面 口縁部横撫で、脚部磨削り又は磨削で。 内面 口縁部横撫で、脚部磨削で。

## 14号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 礫・雲母 ④体部上位～下位1/4	外面 磨削り。 内面 磨で後磨き。
2	土師器 甕	一括	口径 - 底径 - 器高 -	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③褐色粒 ④胴部中位～下位1/ 8	外面 磨削り。 内面 磨削で。

第44表 12～14号住居址出土土器観察表

## 15号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径 13.8 底径 6.7 器高 6.7	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③白色粒・角閃石 ④3/5	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
2	土師器 环	一括	口径 10.4 底径 6.0 器高 6.0	①普通 ②純い橙色 ③褐色 ④白色粒・雲母若干 ⑤3/5	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位尾削り。
3	土師器 環	電	口径 12.1 底径 4.6 器高 4.6	①普通 ②純い橙色 ③白色粒若干・褐色粒 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 撫で後磨き、内面黒色処理。
4	土師器 环	一括	口径 (12.6) 底径 2 器高 2	①普通 ②暗褐色 ③石英・角 閃石・雲母若干 ④口縁部～体 部下位1/3	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 撫で後磨き。
5	土師器 甕		口径 16.0 底径 12.5 器高 12.5	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・雲母・石英 ④口縁部～胴部上位1/3	外面 口縁部横撫で、胴部尾削り。 内面 口縁部横撫で、胴部尾削り。
6	土師器 甕	一括	口径 12.5 底径 12.5 器高 12.5	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒・石英 ④口縁部～胴 部中位1/4	外面 口縁部横撫で、胴部尾削り。 内面 口縁部横撫で、胴部尾削り。

## 16号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径 (13.0) 底径 2 器高 2	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③褐色粒・裸 ④1/4	外面 口縁部横撫で後磨き、体部尾削り。 内面 撫で後放射状磨き。
2	土師器 环		口径 11.9 底径 4.9 器高 4.9	①普通 ②暗褐色～暗褐色 ③ 白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 口縁部横撫で、体部尾削り。
3	土師器 高环		口径 (12.4) 底径 6.4 器高 8.0	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③白色粒若干・褐色粒・石英 ④口縁部～胴部上位1/4	外面 口縁部横撫で、体部尾削り、脚部尾削り。 内面 体部撫で後磨き、脚部尾削り。
4	土師器 甕		口径 (11.8) 底径 6.4 器高 8.0	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・ 雲母若干 ④1/3	外面 口縁部横撫で、胴部～底部尾削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部尾削り。
5	土師器 甕		口径 10.8 底径 8.3 器高 23.1	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・角閃石・裸 ④完形	外面 口縁部尾磨き、胴部尾削り、底部尾削り。 内面 口縁部横撫で、胴部尾磨き、下位～底部尾削り。
6	土師器 長刷甕	一括	口径 10 底径 5.2 器高 2/3	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒・裸 ④胴部上位～下 位2/3	外面 磨削り。 内面 尾削り。
7	土師器 甕	一括	口径 27.8 底径 10.1 器高 28.0	①普通 ②純い橙色 ③褐色粒 ④2/5	外面 口縁部横撫で、胴部尾削り。 内面 口縁部横撫で、胴部尾削り。
8	土師器 甕	一括	口径 24.2 底径 9.2 器高 30.0	①良好 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④9/10	外面 口縁部横撫で、胴部尾削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で後縦位磨き。

## 17号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径 14.4 底径 5.2 器高 5.2	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐色 粒・角閃石 ④4/9	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後放射状磨き。
2	土師器 环	一括	口径 (15.1) 底径 5.7 器高 5.7	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・角閃石・雲母 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
3	土師器 环	一括	口径 15.5 底径 6.7 器高 6.7	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・雲母若干 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
4	土師器 环		口径 14.1 底径 5.0 器高 5.0	①普通 ②純い暗褐色 ③白色 粒・褐色土 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
5	土師器 环		口径 14.0 底径 5.0 器高 5.0	①良好 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色土・角閃石 ④ほぼ完 形	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 撫で後磨き。
6	土師器 环		口径 13.8 底径 5.3 器高 5.3	①良好 ②純い暗褐色 ③白色 粒・裸 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
7	土師器 环		口径 13.9 底径 4.5 器高 4.5	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 角閃石 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部尾削り。 内面 撫で後磨き。

第45表 15～17号住居址出土土器観察表

## 17号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
8	土師器 环	貯蔵穴	口径 13.2 底径 4.5 器高 5.0	①良 ②暗褐色 ③白色粒 ④ 9/10	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で後磨き。
9	土師器 环		口径 12.1 底径 一 器高 4.7	①良 ②暗褐色 ③白色粒 ④ 9/10	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で後磨き。
10	土師器 环		口径 12.6 底径 一 器高 5.6	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③白色粒・角閃石・雲母若干 ④47/8	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で後磨き、黒色処理。
11	土師器 环	一括	口径 (15.1) 底径 ( 7.2)	①普通 ②純い橙色 ③白色粒・雲母若干 ④口縁部・体部下位	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
12	土師器 瓢		口径 22.2 底径 一 器高 部/5	①普通 ②褐色～暗褐色 ③褐色 色粒・礫・石英 ④口縁部～胴 部/5	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で後磨き。
13	土師器 瓢	一括	口径 6.6 底径 一 器高 一	①普通 ②純い暗褐色 ③褐色 粒・石英 ④胴部下位～底部/8	外面 鋸削り。 内面 撫撫で。
14	土師器 瓢	一括	口径 12.5 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③褐色粒・角閃石 ④口縁部 ～胴部下位1/3	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。
15	土師器 小型甕		口径 (10.4) 底径 5.5 器高 11.3	①やや不良 ②純い橙色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒 ④3/5	外面 口縁部横撫で、胴部～底部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部撫撫で。

## 18号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径 12.3 底径 5.8 器高 5.8	①普通 ②純い橙色 ③褐色 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部～体部上位横撫で、体部中位以下撫で。
2	土師器 环	一括	口径 (11.7) 底径 7.6 器高 一	①やや不良 ②純い橙色 ③褐色 色粒・黒色粒 ④1/3	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。
3	土師器 小型甕	貯蔵穴 一括	口径 (11.5) 底径 一 器高 3	①普通 ②純い橙色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部下位1/2	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削で。
4	土師器 瓢	貯蔵穴	口径 (20.4) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③褐色粒・礫 ④口縁部～胴部 ～中位1/6	外面 口縁部横撫で、口縁～胴の伝曲部撫撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削で。
5	土師器 瓢		口径 17.0 底径 6.7 器高 11.8	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③白色若干・褐色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下位2/3	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削で。
6	土師器 瓢	貯蔵穴	口径 28.6 底径 19.2 器高 28.7	①普通 ②純い黃褐色 ③褐色 色粒・礫 ④4/5	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り、胴部上位輪積み底顯著。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削で、胴部輪積み底顯著。

## 19号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 良刷毛	Na1 一括	口径 19.1 底径 3.5 器高 32.5	①普通 ②純い暗褐色 ③白色粒・黒色粒 ④ 3/2/3	外面 口縁部横撫で、胴部～底部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削で。
2	土師器 小型甕	Na2	口径 10.8 底径 6.7 器高 11.8	①普通 ②褐色 ③白色粒・褐色 粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、胴部～底部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部鋸削で。
3	土師器 瓢	電	口径 16.3 底径 一 器高 13.6	①普通 ②純い橙色～褐色 ③ 白色粒・褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、一部横撫で後磨削り。 内面 口縁部～胴部上位横撫で、胴部中位以下鋸削で。

## 21号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径 (12.0) 底径 一 器高 6.2 1/2	①普通 ②純い褐色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・黒色粒 ④	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部鋸削で。
2	土師器 环	一括	口径 (12.5) 底径 一 器高 6.5	①普通 ②純い明褐色 ③褐色 粒・礫 ④2/5	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部鋸削で。
3	土師器 鉢	一括	口径 (11.2) 底径 ( 6.6) 器高 6.0	①普通 ②褐色～暗褐色 ③白 色粒・褐色粒 ④1/3	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削で。

第46表 17～19号・21号住居址出土土器観察表

## 21号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
4	土師器 甕	一括	口径 一 底径 一 器高 (4.7)	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒・ 黒色粒 ④胴部上位～下位1/8	外面 范削り。 内面 范撫で、接合痕顯著。
5	土師器 甕	一括	口径 (14.8) 底径 一 器高 片	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・黒 ④口縁部～胴部上位破 片	外面 口縁部～胴部上位横撫で。 内面 口縁部横撫で、胴部范撫で。
6	土師器 甕	一括	口径 一 底径 6.0 器高 (8.5)	①普通 ②純い橙色～褐色 白色粒・石英・雲母若干 ④胴 部下位～底部破片	外面 胎部范削り。 内面 胎部范撫で。
7	土師器 甕	一括	口径 一 底径 7.0 器高 一	①普通 ②純褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④胴部下位～底部1/10	外面 范削り。 内面 范撫で。
8	土師器 甕	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・石英・黒 ④胴部下位1/10	外面 范削り。 内面 范撫で。

## 22号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕		口径 (12.1) 底径 4.0 器高 4.0	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒 4/1/2	外面 口縁部横撫で、体部范削り。 内面 口縁部横撫で、体部范撫で。
2	土師器 甕	一括	口径 (13.3) 底径 一 器高 一 1/3	①良好 ②純い橙色 ③褐色 粒・雲母 ④口縁部～体部下位	外面 口縁部横撫で、体部范削り。 内面 撫で後磨き。
3	土師器 甕	No.3	口径 (11.4) 底径 4.1 器高 5.5	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・ 黒 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部范削り。 内面 撫で後磨き。
4	土師器 甕	一括	口径 一 底径 6.1 器高 一 4	①普通 ②純い橙色～暗褐色 ③褐色粒 ④胴部中位～底部1/	外面 胎部～底部范削り。 内面 胎部～底部范撫で。
5	土師器 甕		口径 (19.7) 底径 一 器高 一 位破片	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・ 石英・片岩 ④口縁部～胴部上	外面 口縁部横撫で、胴部范削り。 内面 口縁部横撫で、胴部范撫で。

## 23号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 12.5 底径 一 器高 6.1	①普通 ②純い橙色 ③褐色粒 3/4/5	外面 口縁部横撫で、体部范削り。 内面 口縁部横撫で、体部范撫で。
2	土師器 甕	電 一括	口径 (12.8) 底径 一 器高 6.6	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④1/4	外面 口縁部横撫で、体部范削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。

## 24号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 11.9 底径 一 器高 ( 4.9 )	①普通 ②橙色 ③褐色粒 ④ 口縁部～体部下位1/5	外面 口縁部横撫で、体部范削り。 内面 撫で後磨き？(不明瞭)、黒色処理。

## 25号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 (13.0) 底径 4.6	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐 色粒 ④2/3	外面 口縁部横撫で、体部范削り。 内面 撫で後磨き(不明瞭)。
2	土師器 甕		口径 (13.3) 底径 一 器高 一	①普通 ②褐色 ③褐色粒 ④ 口縁部～胴部下位1/4	外面 口縁部横撫で、胴部范削り。 内面 口縁部横撫で、胴部范撫で。
3	土師器 甕		口径 (15.4) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・黒 ④口縁部胴部上位破片	外面 口縁部横撫で、胴部范削り。 内面 口縁部横撫で、胴部范撫で。
4	土師器 甕		口径 16.2 底径 一 器高 一	①普通 ②褐色 ③褐色粒・黒 ④口縁部～胴部上位1/5	外面 口縁部横撫で、胴部范削り。 内面 口縁部横撫で、胴部范撫で。

## 26・27号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	D 1	口径 12.3 底径 一 器高 4.7	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④3/5	外面 口縁部横撫で、体部范削り。 内面 撫で後磨き。
2	土師器 甕	一括	口径 13.0 底径 一 器高 5.7	①普通 ②明橙色～褐色 ③褐 色粒 ④2/3	外面 口縁部横撫で、体部范削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で、黒色処理。

第47表 21～27号住居址出土土器観察表

## 26・27号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
3	土師器 环	一括	口径(12.9) 底径 一 器高 5.0	①普通 ②橙色 ③白色粒 ④ 1/2	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。	
4	土師器 环	一括	口径(12.9) 底径 一 器高 5.0	①普通 ②橙色 ③白色粒 ④ 1/2	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。	
5	土師器 环	一括	口径(14.0) 底径 一 器高 4.5	①普通 ②明橙色～褐色 ③褐色 粒 ④1/3	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部～体部上位側で後削き、体部中位～下位横撫で。	
6	土師器 环	一括	口径(11.5) 底径 一 器高 4.4	①良好 ②黄橙色 ③褐色粒 4/2/5	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で後削き、黒色処理。	
7	土師器 环	一括	口径(13.8) 底径 一 器高 4.9	①普通 ②橙色 ③白色粒・雲 母若干 ④2/4	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で後削き。	
8	土師器 环	一括	口径 11.7 底径 一 器高 5.6	①普通 ②明橙色 ③白色粒・褐 色粒・斑 ④4/5	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位横撫で。	
9	土師器 环	一括	口径 12.8 底径 一 器高 5.2	①普通 ②純い暗褐色 ③白色 粒・褐色粒 ④2/3	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で後削き。	
10	土師器 小型甕	D 1	口径 14.5 底径 一 器高 18.5	①普通 ②純い橙色～暗褐色 3/褐色粒・石英 ④4/5	外面 口縁部横撫で、胴部～底部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部撫で。	
11	土師器 小型甕	一括	口径 11.5 底径 3.4 器高 12.4	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④4/5	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で。	
12	土師器 小型甕	一括	口径 一 底径 5.8 器高 一	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・ 石英・繩 ④胴部中位～底部1/5	外面 鋸削り。 内面 撫で。	
13	土師器 甕	一括	口径 16.8 底径 5.0 器高 22.5	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ チャート ④完形	外面 口縁部横撫で、胴部～底部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部撫で。	

## 28号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	土師器 环	電一括	口径(13.0) 底径 一 器高 6.5	①普通 ②純い暗褐色 3/褐色粒・繩 ④1/3	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。	
2	土師器 环	一括	口径(11.8) 底径 一 器高 6.4	①普通 ②黒褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。	
3	弥生土器 高环	一括	口径(21.0) 底径 9.4 器高 9.7	①普通 ②赤褐色 ③褐色粒 ④1/3	弥生時代遺物の流れ込み 口沿部に双列の小突起あり(6單位か)、口縁部横撫で、 体部鋸削り後削り? (不明瞭)、胴部削り後削り? (不明瞭) 部～脚部赤色健彩。 内面 口縁部横撫で、体部撫で、体部赤色健彩、脚部削り。	
4	土師器 小型鉢	貯藏穴	口径(13.0) 底径 一 器高 1/4	①普通 ②純い暗褐色 ③白色 粒・褐色粒 ④口縁部～体部下 部/4	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で。	
5	土師器 甕	一括	口径 15.4 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・角閃石・雲母若干 ④口縁 部～脚部中位1/3	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で。	
6	土師器 甕	電一括	口径 16.6 底径(8.1) 器高 32.5	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・ 石英 ④3/5	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で。	
7	土師器 甕	No.7 貯藏穴	口径 16.2 底径 一 器高 29.5	①普通 ②純い暗褐色 ③褐色 粒・雲母若干 ④3/4	外面 口縁部横撫で、胴部～底部鋸削り、胴部下位の一部は鋸 削り後削き。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部撫で。	
8	土師器 小型甕	一括	口径 15.4 底径(8.1) 器高 11.5	①普通 ②純い橙色～褐色 ③ 褐色粒 ④2/3	外面 口縁部横撫で、一部横撫で後鋸削り、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部撫で。	
9	土師器 小型甕	一括	口径 9.8 底径 一 器高 9.8	①普通 ②純い橙色～暗褐色 3/白色粒・角閃石 ④完形	外面 口縁部横撫で、一部横撫で後鋸削り、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で。	
10	土師器 甕	一括	口径 一 底径(9.4) 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③褐色 粒・繩 ④胴部中位～下位	外面 鋸削り。 内面 撫で。	
11	土師器 甕又は 甕?	一括	口径 一 底径 一 器高(23.7)	①普通 ②純い橙色～暗褐色 3/褐色粒・繩 ④9/10	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部撫で。	

第48表 26～28号住居址出土土器観察表

## 28号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
12	土師器 小型瓶	一括	口径(12.0) 底径 1.4 器高 9.6	①普通 ②純い明褐色～褐色 ③白色粒～褐色粒 ④1/2	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。
13	土師器 甌	一括	口径 底径 6.5 器高 -	①普通 ②暗褐色 ③白色粒～褐色粒・繩 ④1/3	外面 鋸削り。 内面 撫撫で。

## 29号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 小型甌	No.1	口径 底径 4.5 器高 -	①普通 ②純い黄褐色 ③褐色 ④褐色粒・黒色粒 ④4/5	外面 口縁部横撫で、胴部～底部鋸削り。 内面 口縁部～胴部上位横撫で、胴部下位～底部横撫で。
2	土師器 甌	一括	口径 底径(5.8) 器高 -	①普通 ②黄褐色 ③褐色粒・繩 ④胴部下位～底部破片	外面 鋸削り。 内面 撫撫で。

## 30号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甌	一括	口径 15.5 底径 - 器高 -	①普通 ②純い暗褐色 ③白色 粒・褐色粒 ④口縁部～体部上 位破片	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。

## 31号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甌	一括	口径 14.0 底径 5.8 器高 -	①良好 ②純い暗褐色 ③白色 粒・雲母 ④9/10	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で後磨き。
2	土師器 甌	一括	口径(12.6) 底径 - 器高 5.5	①良好 ②暗褐色 ③白色粒・黒 色粒 ④7/8	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
3	土師器 小型甌	一括	口径 15.0 底径 5.7 器高 10.8	①普通 ②純い褐色 ③白色 粒・黒色粒・雲母・繩 ④ほぼ 完形	外面 口縁部横撫で、胴部～底部鋸削り。 内面 撫撫で。
4	土師器 甌	一括	口径(14.7) 底径 6.9 器高 28.2	①良好 ②純い褐色 ③褐色 粒・繩 ④1/2	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。
5	土師器 甌	一括	口径(17.4) 底径 - 器高 1/3	①普通 ②暗褐色～暗褐色 ③ 褐色粒・繩 ④口縁部～底部下 位3/5	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。
6	土師器 甌	一括	口径 15.4 底径 6.9 器高 1/2	①普通 ②純い褐色 ③白色 粒・褐色粒 ④口縁部～底部下 位1/2	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。
7	土師器 甌	貯藏穴 一括	口径 17.5 底径 - 器高 -	①普通 ②純い黃褐色 ③白色 粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部 ～胴部上位1/8	外面 口縁部横撫で、一部鋸削で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。
8	土師器 甌	一括	口径(17.6) 底径 - 器高 -	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④口縁部～胴 部中位1/5	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。
9	土師器 甌	一括	口径 底径 7.0 器高 -	①普通 ②純い黃褐色 ③白色 粒・褐色粒・繩 ④胴部 中位～底部1/8	外面 鋸削り。 内面 撫撫で。
10	土師器 甌	一括	口径 底径 6.6 器高 -	①普通 ②純い褐色 ③白色 粒・黑色粒・繩 ④胴部中位～底 部	外面 鋸削り。 内面 撫撫で。
11	土師器 甌	貯藏穴 一括	口径 8.5 底径 - 器高 -	①普通 ②純い暗褐色～褐色 ③白色粒・褐色粒・石英・雲母 ④胴部上位～底部1/2	外面 鋸削り。 内面 撫撫で。
12	土師器 小型甌	一括	口径 15.9 底径 12.2 器高 -	①普通 ②純い褐色 ③褐色 粒・繩 ④ほぼ完形	外面 口縁部～胴部上位横撫で、胴部中位～下位鋸削り、輪横 撫で。み痕有。
13	土師器 甌	一括	口径 26.0 底径 9.8 器高 31.0	①普通 ②純い黃褐色 ③白色 粒・褐色粒・石英 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、胴部鋸削り、口縁部輪積み痕有。 内面 口縁部横撫で、胴部鋸削り。

## 32号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甌	一括	口径(11.6) 底径 - 器高 4.5	①普通 ②純い褐色 ③白色 粒・褐色粒・繩 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部府さ、黒色処理。

## 32号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
2	土師器 环	一括	口径 11.7 底径 一 器高 6.8	①普通 ②純い暗褐色 ③黑色粒・4/9/10 ④口縁部～体部下位1/3	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き、黒色処理。
3	土師器 环	一括	口径 (11.5) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い暗褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～体部下位1/3	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で後磨き、黒色処理。
4	土師器 环	一括	口径 (12.4) 底径 一 器高 1.5	①普通 ②純い暗褐色 ③白色粒・雲母 ④口縁部～体部下位1/5	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 撫で後磨き、黒色処理。
5	土師器 环	一括	口径 (15.8) 底径 一 器高 一	①良好 ②純い暗褐色 ③黑色粒・褐色粒 ④口縁部～体部1/3	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、一部横撫で後横撫で、体部撫で。
6	土師器 高环	一括	口径 15.2 底径 15.3 器高 15.1	①普通 ②純い暗褐色 ③白色粒・褐色粒・繩 ④ほぼ完形 ⑤脚部1/5	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り、脚部上位～中位鋸削り、下位横撫で。 内面 口縁部横撫で、体部撫で、体部内面黒色処理、脚部撫で、下位横撫で、脚部に三ヶ所削かし。
7	土師器 壺	一括	口径 23.6 底径 一 器高 (19.5) 部～剥落部1/5	①普通 ②純い暗褐色～黄褐色 ③褐色粒・黑色粒・繩 ④口縁部	外面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り。
8	土師器 壺	貯藏穴	口径 一 底径 10.2 器高 一 部1/5	①普通 ②純い暗褐色～暗褐色 ③褐色粒・繩 ④胴部中位～底	外面 茎削り。 内面 茎撫で。
9	土師器 壺	一括	口径 (25.0) 底径 一 器高 一 片	①普通 ②純い暗褐色 ③褐色粒・繩 ④口縁部～胴部下位破片	外面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り。
10	土師器 壺	一括	口径 16.8 底径 一 器高 一 ～剥落部1/3	①普通 ②純い暗褐色～暗褐色 ③褐色粒・黑色粒 ④口縁部	外面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り。
11	土師器 壺	一括	口径 (16.8) 底径 一 器高 一 位1/5	①普通 ②灰色～褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部中位	外面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り。
12	土師器 小型壺	一括	口径 15.7 底径 3.7 器高 18.3	①普通 ②純い暗褐色 ③褐色 ④口縁部 ⑤4/5	外面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り。

## 33号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	土師器 小型壺	一括	口径 一 底径 3.5 器高 一 1/2	①普通 ②純い暗褐色 ③白色粒・褐色粒 ④胴部中位～底部	外面 茎削り。 内面 茎撫で。	
2	土師器 壺	一括	口径 一 底径 10.4 器高 一	①良好 ②褐色 ③白色粒・褐色粒 ④胴部中位～底部	外面 茎削り又は茎撫で。 内面 茎撫で。	
3	土師器 壺	一括	口径 (20.0) 底径 8.3 器高 29.9	①普通 ②純い暗褐色 ③白色粒・石英・繩 4/2/5	外面 口縁部横撫で、剥落部～底部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部～底部鋸削り。	
4	土師器 壺	一括	口径 22.0 底径 8.6 器高 26.5	①普通 ②純い暗褐色 ③白色粒・褐色粒・繩 4/2/3	外面 口縁部横撫で、剥落部鋸削り、下位のみ昆撫でか? 脚部上位～中位接合部昆撫。	内面 口縁部横撫で、剥落部昆撫。

## 35号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	土師器 壺	一括	口径 9.9 底径 一 器高 3.5	①良好 ②黒褐色 ③白色粒・雲母 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、黒色処理。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き、黒色処理。	
2	土師器 壺	一括	口径 17.8 底径 4.2 器高 33.5	①普通 ②純い暗褐色～褐色 ③白色粒・褐色粒・繩 4/9/10 ④口縁部～体部下位破片	外面 口縁部横撫で、剥落部～底部昆撫。	内面 口縁部横撫で、剥落部昆撫。

## 36号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 壺	一括	口径 (10.8) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い暗褐色 ③褐色粒・繩 ④口縁部～体部下位	外面 口縁部横撫で、体部鋸削り。 内面 口縁部横撫で、体部昆撫で。(不明瞭)

## 37号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 高环	一括	口径 一 底径 (15.0) 器高 一	①普通 ②褐色 ③褐色粒・雲母 ④脚部1/2	外面 上位～中位鋸削り、下位横撫で。 内面 上位～中位昆撫で、接合部昆撫、下位横撫で。

第50表 32号・33号・35号・37号住居址出土土器観察表

## 37号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
2	土師器 甕	一括	口径 一 底径 ( 4.0 ) 器高 一	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・ 雜 ④口縁部下位～底部2/1	外面 口縁部横撫で、胴部～底部削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部混撫で。
3	土師器 長刷甕		口径 18.7 底径 5.8 器高 35.5	①やや不良 ②純い橙色～褐色 ③白色粒・片岩・白色磚(チャーレト?) ④9/10	外面 口縁部横撫で、胴部混削り。 内面 口縁部横撫で、胴部混撫で。
4	土師器 甕	窓戸穴	口径 (18.4) 底径 一 器高 一	①良好 ②黄褐色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部上位破片	外面 口縁部横撫で、胴部混削り。 内面 口縁部横撫で、胴部混撫で。
5	土師器 甕	一括	口径 17.0 底径 一 器高 一	①やや不良 ②純い褐色 ③白色粒・白色磚 ④口縁部～胴部 ⑤中位1/5?	外面 口縁部横撫で、胴部混削り。 内面 口縁部横撫で、胴部混撫で。
6	土師器 甕	一括	口径 22.5 底径 9.5 器高 28.8	①普通 ②黄褐色 ③白色粒・ 磚 ④2/5	外面 口縁部横撫で、胴部混削り。 内面 口縁部横撫で、胴部混撫で。

## 38号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 14.0 底径 一 器高 5.2	①普通 ②褐色 ③褐色粒・赤 褐色磚 ④3/4	外面 口縁部横撫で、底部混削り。 内面 混撫で又は無で後擦き。
2	土師器 甕	一括	口径 13.3 底径 一 器高 5.7	①良好 ②純い褐色 ③褐色 粒・雪母 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部混削り。 内面 口縁部横撫で、体部混撫で後上に磨き。
3	土師器 甕	一括	口径 (12.3) 底径 一 器高 6.9	①普通 ②純い褐色～暗褐色 ③白色粒・褐色粒・雜 ④3/5	外面 口縁部横撫で、体部混削り。 内面 口縁部横撫で、体部混撫で。
4	土師器 甕		口径 16.9 底径 6.5 器高 29.0	①普通 ②純い褐色～褐色 ③白色粒・褐色粒・チャート ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、胴部～底部削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部混撫で。
5	土師器 甕	一括	口径 一 底径 一 器高 (19.8)	①普通 ②黄褐色 ③褐色粒・ 磚 ④胴部1/4	外面 削り。 内面 混撫で。
6	土師器 甕	一括	口径 13.4 底径 一 器高 一	①普通 ②純い褐色～暗褐色 ③褐色粒・雪母若干 ④口縁部 ～胴部下位2/3	外面 口縁部横撫で、一部横撫で後削り、胴部混削り、口縁部 輪輪み既顯着。
7	土師器 甕	一括	口径 (15.5) 底径 一 器高 12.4	①普通 ②純い暗褐色 ③褐色 粒・雪母若干 ④4/5	外面 口縁部横撫で、胴部～底部削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部混撫で。
8	土師器 甕		口径 (16.4) 底径 一 器高 一	①良好 ②純い黃褐色 ③褐色 粒・雪母若干 ④口縁部～胴部	外面 口縁部横撫で、胴部混削り。 内面 口縁部横撫で、胴部混撫で。
9	土師器 甕	一括	口径 19.2 底径 一 器高 一	①普通 ②黄褐色 ③白色粒・ 褐色粒・雜 ④口縁部～胴部上 位1/8	外面 口縁部横撫で、胴部混削り。 内面 口縁部横撫で、胴部混撫で。
10	土師器 甕	一括	口径 14.4 底径 一 器高 一	①普通 ②純い暗褐色～暗褐色 ③白色粒・黒色粒・雜 ④胴部 下位～底部破片	外面 削り。 内面 混撫で。
11	土師器 甕	一括	口径 7.7 底径 一 器高 一	①普通 ②純い褐色 ③褐色粒 ④胴部中位～底部1/4?	外面 削り又は混削で。 内面 混撫で。
12	土師器 甕	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②黄褐色 ③褐色粒 ④胴部～底部2/5	外面 削り。 内面 混撫で。
13	土師器 甕	一括	口径 (20.4) 底径 一 器高 一	①良好 ②黄褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④口縁部～胴部上位破 片	外面 口縁部横撫で、胴部混削り。 内面 口縁部横撫で、胴部混撫で。
14	土師器 甕	一括	口径 一 底径 6.3 器高 一	①普通 ②黄褐色～褐色 ③白 色粒・褐色粒 ④胴部中位～下 位1/10	外面 削り。 内面 混撫で。

## 39号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	D 5	口径 (14.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②褐色 ③白色粒・褐 色粒 ④口縁部～胴部下位破片	外面 口縁部横撫で、体部混削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。
2	土師器 高甕	D 1	口径 13.9 底径 一 器高 一	①良好 ②暗褐色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部中位	外面 口縁部横撫で、体部混削り、胴部混削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で、胴部混撫で。

第51表 37～39号住居址出土土器観察表

## 39号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
3	土師器 蓋	D 2 一括	口径(12.8) 横溝径 器高	①良好 ②暗元 ③灰色 ④褐色 粒 ⑤甲部へ口縁部破片	外面 織輪成形、甲部回転削り。 内面 織輪成形。

## 40号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径(12.0) 底径 器高	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒 ④1/4	外面 口縁部横削で、全体部削り。 内面 磨き、黒色処理。
2	土師器 高环	一括	口径 底径 器高	①普通 ②褐色 ③褐色粒・雲 母 ④全体部中位～脚部下位1/2	外面 路削り。 内面 体部削り後、放射状磨き？(不明瞭)、脚部横削り、脚部 内面輪積み痕跡有。
3	土師器 ミニチュ ア鉢	一括	口径(7.4) 底径 器高	①普通 ②黄褐色 ③褐色粒 ④1/2	外面 口縁部横削で、脚部深削り又は削り。 内面 口縁部横削で、脚部深削り。

## 41号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	貯藏穴	口径(12.0) 底径 器高	①良好 ②暗褐色 ③褐色粒・ 雲母 ④1/2	外面 口縁部横削で、全体部削り。 内面 削り後口縁部へ全体上位に磨き、黒色処理。
2	土師器 甕	貯藏穴	口径(12.4) 底径 器高	①普通 ②純い暗褐色 ③白色 粒・褐色粒・礫 ④4/5	外面 口縁部横削で、脚部深削り。 内面 口縁部横削で、一部横削り後深削り、脚部深削り。
3	土師器 甕	一括	口径(12.4) 底径 器高	①良好 ②暗褐色 ③白色粒・ 黒色粒・石英 ④口縁部～脚部 中位2/5	外面 口縁部横削で、脚部深削り。 内面 口縁部横削で、脚部深削り。
4	土師器 甕	一括	口径(12.4) 底径 器高	①やや不良 ②純い黄褐色 ③ 褐色粒・礫 ④1/3	外面 口縁部横削で、脚部深削り、一部削り後削り。 内面 口縁部横削で、脚部深削り。

## 42号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径 9.6 底径 器高	①普通 ②褐色 ③褐色粒 ④ ほぼ完形	外面 口縁部横削で、一部深削り、全体部削り。 内面 口縁部横削で、全体部削り。
2	土師器 甕	一括	口径 14.8 底径 器高	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部 ～脚部中位2/5	外面 口縁部横削で、脚部深削り。 内面 口縁部横削で、脚部深削り。
3	土師器 甕	一括	口径 14.8 底径 器高	①良好 ②純い暗褐色 ③褐色 粒 ④脚部上位～中位破片	外面 磨き。 内面 深削り～一部磨き。

## 43号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	電 一括	口径(14.0) 底径 器高	①良好 ②純い橙色 ③褐色 粒・雲母若干 ④3/5	外面 口縁部横削で、全体部削り。 内面 口縁部横削で、全体部削り後上半に磨き。
2	土師器 高环	一括	口径 9.5 底径 器高	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・褐色粒 ④9/10	外面 口縁部横削で、全体部削り、脚部上位～中位削り。脚 部下位横削り。 内面 口縁部横削で又は削り後磨き、脚部上半横削り。下半横削 り。
3	土師器 小型鉢	一括	口径 10.0 底径 器高	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・礫 ④3/4	外面 口縁部横削で、脚部深削り。 内面 口縁部横削で、脚部深削り。
4	土師器 甕	一括	口径(22.8) 底径 器高	①普通 ②黄褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④口縁部～脚部上位1/ 10	外面 口縁部横削で、脚部深削り。 内面 口縁部横削で、脚部深削り。

## 44号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	一括	口径(13.0) 底径 器高	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・ 褐色粒・雲母 ④3/2	外面 口縁部横削で、全体部削り。 内面 口縁部横削で、全体部削り、黒色処理。
2	土師器 环	一括	口径(13.9) 底径 器高	①普通 ②純い褐色 ③褐色粒 ④3/10	外面 口縁部横削で、全体部削り。 内面 口縁部横削で、全体部削り。
3	土師器 环	電 一括	口径 一 底径 器高	①普通 ②純い暗褐色 ③褐色 粒・雲母 ④口縁部下位以下2/5	外面 口縁部横削で、全体部削り。 内面 口縁部横削で、全体部削り。

第52表 39～44号住居址出土土器観察表

44号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
4	土師器 甕	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②純い暗褐色 ③褐色 粒・チャート ④側部破片	外面 蘭削り。 内面 蘭撫で。
5	土師器 甕	一括	口径(19.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・ 雜 ④口縁部～胴部中位1/8	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で、胴部輪模み痕顯著。
6	土師器 甕	P 1 一括	口径(23.3) 底径 8.5 器高 25.2	①普通 ②純い橙色～黃褐色 白色粒・褐色粒・石英 ④3/4	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で後磨き。
7	須恵器 はそう		口径 一 底径 2.0 器高 一	①良好 ②還元 ③灰色 ④白色 粒 ④/5	内外とも一部に自然釉有り

45号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕		口径(15.4) 底径 7.4 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・黒色粒・雲母若干 ④2/5	外面 口縁部横撫で、体部泥削り。 内面 口縁部横撫で、体部泥撫で。
2	土師器 甕	貯藏穴	口径 10.8 底径 7.7 器高 5.7	①良好 ②橙色 ③白色粒・雲 母 ④完形	外面 口縁部横撫で、体部泥削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。
3	須恵器 甕		口径 10.2 底径 5.4 器高 5.4	①不良 ②弱還元 ③褐色色 ③ 白色粒 ④9/10	外面 口縁部横撫で、体部泥削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。
4	土師器 甕	D 1	口径(16.2) 底径 7.6 器高 27.4	①普通 ②黃褐色 ③白色粒・ 褐色粒・雜 ④2/3	外面 口縁部横撫で、胴部～底部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部泥撫で。
5	土師器 甕	D 1	口径(18.5) 底径 6.4 器高 28.0	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・雜 ④3/4	外面 口縁部横撫で、胴部～底部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部～底部泥撫で。
6	土師器 甕	D 1	口径(19.8) 底径 7.6 器高 一	①良好 ②純い橙色～暗褐色 ③褐色粒・黑色粒 ④口縁部 ～胴部下位1/5	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。
7	土師器 甕	D 1	口径 18.7 底径 7.6 器高 一	①普通 ②黃褐色 ③褐色粒・ 雜 ④口縁部～胴部下位3/5	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。
8	土師器 甕	D 1	口径 16.8 底径 5.6 器高 16.1	①良好 ②純い暗褐色 ③白色 粒・褐色粒 ④口縁部～胴部中 位1/5	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。
9	土師器 甕	D 1	口径(18.1) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・雜 ④口縁部～胴部上位1/8	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。
10	土師器 小型甕	D 1	口径 13.4 底径 5.6 器高 16.1	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒・雜 ④9/10	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。
11	土師器 甕	貯藏穴	口径(22.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・角閃石・雜 ④口縁部～胴 部下位1/2	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り、輪模み痕顯著。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。
12	土師器 甕	D 1	口径(23.1) 底径 5.6 器高 10.5	①普通 ②純い黃褐色 ③褐色 粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部 ～胴部1/4	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。
13	土師器 甕	貯藏穴	口径 21.8 底径 7.8 器高 21.4	①普通 ②純い橙色～褐色 ③ 褐色粒・雜 ④7/8	外面 口縁部横撫で又は泥撫で、胴部泥削り、口縁部～胴部上 位輪模み痕顯著。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。
14	土師器 小型甕		口径 16.5 底径 4.0 器高 11.3	①普通 ②黃褐色 ③褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。

46号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①良好 ②暗褐色 ③白色粒・ 雲母 ④胴部上位～底部	外面 胴部上半泥削り後磨き。下手窓削り。 内面 泥撫で。
2	土師器 小型甕	貯藏穴	口径 11.4 底径 5.6 器高 10.5	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・雲母・雜 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。
3	土師器 甕	一括	口径(22.4) 底径 一 器高 一	①普通 ②黃褐色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部上位破片	外面 口縁部横撫で、口縁部下位有する、胴部泥削り。 内面 口縁部横撫で、胴部泥撫で。

第53表 44～46号住居址出土土器観察表

## 47号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	土師器 环	竈	口径(13.7) 底径一 器高 6.0	①良好 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色・雲母 ④2/3	外面 口縁部横撫で、体部上位撫で、中位～下位底部削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後上半に磨き。	
2	土師器 环	一括	口径(12.9) 底径一 器高 5.3	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・雲母 ④2/5	外面 口縁部横撫で、体部底部削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後上半に磨き、黒色処理。	
3	土師器 环		口径 13.5 底径一 器高 5.0	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・雲母 ④1/2	外面 口縁部横撫で、体部底部削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後上半に磨き。	
4	土師器 环	一括	口径 11.8 底径一 器高 6.3	①普通 ②純い黄褐色 ③褐色 粒 ④口縁部～体部下位4/5	外面 口縁部横撫で、体部底部削り。 内面 口縁部横撫で、体部底部削り。	
5	土師器 环	N-5 一括	口径 13.0 底径一 器高 6.3	②橙色 ③白色粒・石 英 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部底部削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。	
6	土師器 高环	竈	口径 13.0 底径(9.2) 器高 8.7	①良好 ②暗褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④7/8	外面 口縁部横撫で、体部底部削り、脚部撫で後磨き。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き、脚部上位撫で、中位磨 撫で、下位横撫で。	
7	土師器 高环	一括	口径(13.8) 底径 9.0 器高 9.4	①良好 ②橙色 ③褐色粒 ④ 2/5	外面 口縁部横撫で、体部底部削り、脚部撫で又は横撫で後磨き。 内面 口縁部横撫で、体部底部削り、脚部上位～中位底部削り、 脚部下位横撫で。	
8	土師器 鉢	一括	口径 16.1 底径一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③褐色 粒・雲母 ④口縁部～剥落2/5	外面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。	
9	土師器 甕	P-1	口径(16.2) 底径一 器高 8.7	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒・礫 ④口縁部～剥落 部中位1/10	外面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。	
10	土師器 甕	一括	口径 一 底径一 器高 一	①普通 ②橙色 ③褐色粒・礫 ④剥落1/5	外面 磨削り後一部に櫛歯状工具(?)による条痕。 内面 磨撫で。	
11	土師器 甕	一括	口径 23.6 底径一 器高 10	①普通 ②黄褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④口縁部～剥落上位1/ 10	外面 口縁部上位横撫で、中位～下位底部削で後横撫で、剥落部 削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。	
12	土師器 甕	貯藏穴	口径 15.0 底径一 器高 1/8	①良好 ②純い黄褐色 ③褐色 粒・雲母 ④口縁部～剥落中位 1/8	外面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。	
13	土師器 甕	貯藏穴	口径(18.6) 底径一 器高 1/8	①普通 ②純い橙色～褐色 ③ 褐色粒・雲母 ④口縁部～剥落 部上位1/8	外面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。 内面 口縁部横撫で、一部底部削り、剥落部底部削り。	
14	土師器 甕	一括	口径 11.0 底径一 器高 一	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒 ④1/3	外面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。 内面 口縁部横撫で、一部底部削り、剥落部底部削り。	
15	土師器 甕	一括	口径(18.3) 底径一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③褐色 粒 ④口縁部～剥落上位1/8	外面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。	
16	土師器 甕	一括	口径 21.8 底径 10.0 器高 28.0	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒・石英・礫 ④9/10	外面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。 内面 口縁部横撫で、剥落部底部削り。	

## 48号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴	
1	土師器 环	一括	口径(12.8) 底径一 器高 5.7	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・赤褐色礫 ④2/5	外面 口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位底部削り。 内面 口縁部横撫で、一部横撫で後磨き、体部撫で後上半に磨 き。	
2	土師器 环	一括	口径 13.8 底径一 器高 3/5	①普通 ②橙色 ③褐色粒 ④	外面 口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位底部削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。	
3	土師器 环	一括	口径 14.8 底径一 器高 5.2	①普通 ②橙色 ③褐色粒・角 閃石・雲母 ④ほぼ完形	外面 口縁部～体部上位横撫で、体部中位～下位底部削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き。	
4	土師器 环	一括	口径(12.7) 底径一 器高 1/4	①普通 ②純い暗褐色 ③褐色 粒・雲母 ④口縁部～体部中位	外面 口縁部横撫で、体部底部削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で。	
5	土師器 环		口径 11.9 底径一 器高 5.0	①良好 ②橙色 ③褐色粒 ④ ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、体部底部削り。 内面 口縁部横撫で、体部撫で後磨き(磨き不明瞭)。	

第54表 47号・48号住居址出土土器観察表

## 48号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
6	土師器 环		口径 14.1 底径 — 器高 5.7	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、体部混擦で。
7	土師器 环	一括	口径 14.9 底径 — 器高 —	①普通 ②橙色 ③褐色粒 ④ 口縁部～体部上位	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、体部混擦で。
8	土師器 环		口径 14.6 底径 — 器高 7.9	①普通 ②橙色 ③褐色粒 ④ 2/3	外面 口縁部横擦で、一部横後擦で後筋削り、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、体部混擦で。
9	土師器 环	一括	口径 13.4 底径 — 器高 6.1	①普通 ②純い橙色 ③褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、体部混擦で。
10	土師器 环	一括	口径 11.3 底径 — 器高 6.1	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④4/10	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、体部混擦で。
11	土師器 高环?	一括	口径 14.6 底径 — 器高 —	①良好 ②黄橙色 ③褐色粒 ④体部1/2	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、体部混擦で。
12	土師器 碗?		口径 13.6 底径 — 器高 8.9	①良好 ②黄橙色 ③褐色粒・ 黒色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、体部混擦で。
13	土師器 鉢	一括	口径 (11.8) 底径 4.6 器高 5.5	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒 ④2/5	外面 口縁部横擦で、胴部～底部鋸削り。 内面 口縁部～胴部上位横擦で、胴部中位～底部原擦で。
14	土師器 甕	一括	口径 16.8 底径 — 器高 —	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部上位破片	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り、口縁部下位に段差を有する。 内面 口縁部横擦で、胴部混擦で。
15	土師器 甕	一括	口径 (15.3) 底径 — 器高 —	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・ 雪母 ④口縁部～胴部下位1/5	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部混擦で。
16	土師器 甕	一括	口径 (21.0) 底径 (6.1) 器高 25.1	①普通 ②純い暗橙色 ③褐色 粒・石英 ④1/4	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部混擦で。

## 49号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	貯藏穴	口径 22.2 底径 6.9 器高 29.5	①普通 ②黄橙色 ③白色粒・ 褐色粒 ④7/8	外面 口縁部横擦で、胴部混削り。 内面 口縁部横擦で、胴部混削り。
2	土師器 甕		口径 (16.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②純い暗褐色 ③褐色 粒・角閃石 ④口縁部～胴部中 位1/4	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部混削り。
3	土師器 瓶	貯藏穴	口径 — 底径 6.0 器高 —	①普通 ②純い黄橙色 ③白色 粒・褐色粒・石英・雪母 ④胴 部中位～下位1/5	外面 混削り。 内面 混削で。
4	土師器 甕	一括	口径 (20.8) 底径 4.5 器高 14.5	①普通 ②純い黄橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④2/5	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部混削り。

## 50号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 环	貯藏穴	口径 (11.6) 底径 — 器高 5.5	①良好 ②橙色 ③褐色粒 ④ 3/5	外面 口縁部横擦で、体部混削り。 内面 口縁部横擦で、体部混削り。
2	土師器 环	貯藏穴	口径 13.4 底径 — 器高 5.4	①普通 ②純い黄橙色 ③白色 粒・褐色粒・石英 ④2/3	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、体部混削り。
3	土師器 环	貯藏穴	口径 (12.8) 底径 — 器高 —	①良好 ②橙色 ③褐色粒 ④ 口縁部～体部中位2/5	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、体部混削り。
4	土師器 小型甕	貯藏穴	口径 10.9 底径 — 器高 —	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部下位1/3	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部混削り。
5	土師器 甕		口径 (18.4) 底径 6.8 器高 30.0	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒 ④1/2	外面 口縁部横擦で、胴部混削り。 内面 口縁部横擦で、胴部混削り。

第55表 48～50号住居址出土土器観察表

## 52号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	一括	口径(15.8) 底径 — 器高 —	①普通 ②純い暗橙色 ③褐色 粒・褐色斑・縫 ④口縁部～胴部中位1/5	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。口縁部歪み有り。 内面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。
2	土師器 甕	一括	口径(18.8) 底径 — 器高 —	①普通 ②純い橙色 ③褐色 粒・雲母若干 ④口縁部～胴部下位1/4	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部磨き。

## 53号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	P 1	口径(15.1) 底径 — 器高 —	①普通 ②褐色 ③褐色粒 ④口縁部破片	外面 横擦で。 内面 横擦で。

## 54号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	貯蔵穴	口径 8.7 底径 — 器高 ( 5.0 ) 位1/8	①普通 ②暗赤褐色 ③白色 粒・褐色斑 ④口縁部～胴部中	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。
2	土師器 甕	貯蔵穴	口径(19.2) 底径 — 器高 —	①良好 ②黄褐色 ③褐色粒 ④口縁部～胴部中位1/10	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。

## 57号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 甕	P 1 一括	口径 12.7 底径 — 器高 4.3	①普通 ②黄褐色 ③褐色粒 ④3/4/5	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。
2	土師器 甕	P 1	口径 13.3 底径 — 器高 5.5	①良好 ②褐色 ③白色粒・褐 色粒・雲母若干 ④ほぼ完形	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で後、一部に磨き、体部擦で後磨き。
3	土師器 甕		口径 16.3 底径 4.2 器高 22.0	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒・雲母 ④ほぼ完形	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。
4	土師器 長胴甕		口径 17.0 底径 5.0 器高 36.5	①普通 ②黄褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。
5	土師器 小型甕?	一括	口径 — 底径 — 器高 ( 6.0 )	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒・ 雲母 ④胴部中位～底部	外面 鋸削り。 内面 錐擦で。
6	土師器 ミニチャム 鉢	一括	口径 7.8 底径 4.8 器高 4.5	①普通 ②黄褐色 ③褐色粒 ④4/5	外面 錐で、接合痕顯著、全体に歪み有り。 内面 錐擦で。
7	土師器 甕		口径 24.4 底径 9.0 器高 26.0	①普通 ②黄褐色 ③褐色粒・ 褐色粒・石英 ④9/10	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。

## 一括

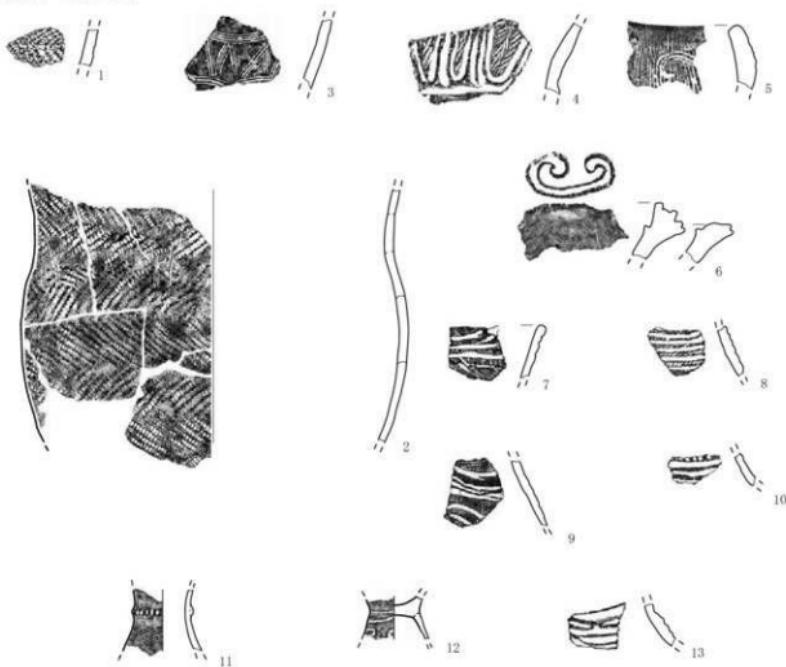
番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	土師器 高杯	一括	口径 13.2 底径 — 器高 —	①普通 ②橙色 ③褐色粒 ④ 体部のみ1/2	外面 口縁部横擦で、体部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、体部擦で、黒色處理。
2	土師器 甕	一括	口径 — 底径 ( 5.8 ) 器高 —	①普通 ②黄褐色 ③褐色粒 ④胴部下位～底部破片	外面 鋸削り。 内面 錐擦で。
3	土師器 甕	一括	口径 22.4 底径 9.2 器高 24.9	①普通 ②黄褐色 ③白色粒・ 褐色粒・石英 ④3/4	外面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。 内面 口縁部横擦で、胴部鋸削り。

## 30号住居址

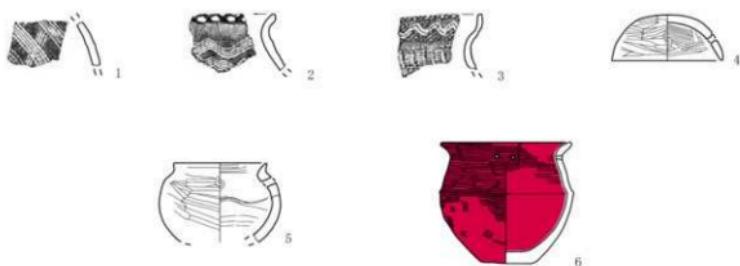
押因登録番号	遺構名	器種	形態	石 材	欠損	被熱	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考
1	30住	削型石製品		鈍歛岩			123.7	29.5	12.6	48.3	

第56表 52～54号・57号住居址、一括出土土器、30号住居址出土石器観察表

遺構外 繩文時代



遺構外 弥生時代



第95図 繩文時代・弥生時代遺構外出土土器実測図

0 1/4 20cm

### 遠丸遺跡土器觀察表

遺構外出土 龍文土器

番号	器種	出土位置	法量(cm)	成・整形技法の特徴				時期
				①焼成	②色調	③助土	④残存	
1	縄文土器 深鉢	31号住 一階	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄い橙色 ③褐色 粒、雲母、植物繊維 ④剝部破片	羽状織文施文。	—	前期中葉
2	縄文土器 深鉢	55号住 一階	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄い橙色 ③褐色 粒、植物繊維 ④剝部1/8	羽状織文施文。	—	前期中葉
3	縄文土器 深鉢	22号住 一階	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄褐色 ③褐色粒 ④剝部破片	4本又は3本を1単位とする平行沈線による区画。	—	前期後葉 諸島C式期
4	縄文土器 壺	6号住 D I	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄橙色 ③褐色粒 黑色粒 ④剝部破片	降帯及び回線による横信・縱信、U字状の区画、U字状区画内に斜位又は綾状の沈線。	—	中期
5	縄文土器 深鉢	46号住 一階	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄褐色 ③褐色粒 ④口緣部破片	縱位条線文施文後、曲縦(逆U字状?)条線による区画。	—	中期
6	縄文土器 壺	31号住 一階	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄い黃褐色 ③褐色 粒、黑色粒、雲母 ④口緣部破片	波状口縁の渡頭部。口脣部に沈線と捺帶による連続状巻舌状の区画、口縁部内側に横位降帯。	—	後期
7	縄文土器 深鉢	7号住 一階	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄褐色 ③白色粒 ④口緣部破片	斜位条線文施文後、横位基準凹線。	—	晚期
8	縄文土器 壺	12号住 一階	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄い黃褐色 ③褐色 粒、剝部破片	縄文(無節L)施文後、横位凹線による区画。	—	晚期
9	縄文土器 壺	12号住 1号堅穴 P 4	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄い橙色 ③褐色粒 ④剝部破片	地文縄文、浅い弧状凹線による区画と磨り消し。	—	晚期
10	縄文土器 壺	22号住 P 4	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄橙色 ③雲母、珪英 ④剝部破片	浅い横位凹線による区画と磨り消し。	—	晚期
11	縄文土器 異形台付 土器	17号住 一階	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄い黃褐色 ③白色 粒、褐色粒 ④剝部破片	折曲点に丸み付横位降帯、降帯下位にLR 縄文施文。	—	晚期
12	縄文土器 台付壺	29号住 一階	口径 底径 器高	—	①普通 ②薄い黃褐色 ③褐色 粒、雲母 ④剝部破片	地文縄文(LR?)、折曲点付近に2条の並行沈線を施し、沈線間磨り消し、台部沈線による区画と磨り消し。	—	晚期
13	縄文土器 壺	7号住 電	口径 底径 器高	—	①普通 ②黒褐色 ③褐色粒 雲母 ④剝部破片	浮継状文を施す。	—	晚期

遺構外出土 弥生土器

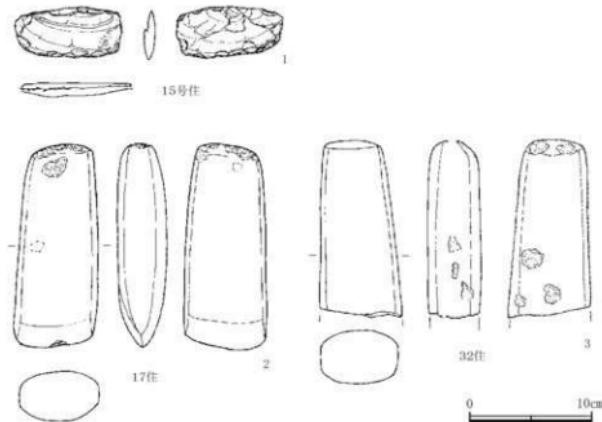
番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成②褐色③灰土④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 45号住 戸窓穴 底張 壁高	口径 底径 高さ	—	①普通 ②黒褐色 ③褐色粒 雲母 ④口縁部破片	外面 格子目状の柳描文。 内面 磨き。
2	弥生土器 壺 電	口径 底径 壁高	—	①普通 ②黒褐色 ③褐色粒 雲母 ④口縁部破片	外面 口唇部に刻み、胴部上位に波状文。 内面 肩部では磨き。
3	弥生土器 壺	8号住 一括	口径 底径 壁高	—	①普通 ②黄橙色 ③褐色粒 ④口縁部破片
4	弥生土器 壺	15号住 一括	9.0 — 3.7	①普通 ②暗褐色 ③褐色粒 ④ほぼ完形	外面 口唇部に刻み、口縁部繩文(RL)施文後波状文、頭部壓痕文。 内面 口縁部昆撫文? 頭部磨き? (不明跡)
5	弥生土器 広口壺	15号住 一括	口径(7.5) 底径 壁高	— — 4.1/3	ニッセ穿孔(焼成前)有り外側・内面とも磨き有り。外面部上位と内面部下位に壓痕。
6	弥生土器 小形壺	24号住	口径 10.5 底径 4.5 壁高 9.9	①普通 ②黄褐色、赤褐色 ③角閃石 ④ほぼ完形	外面 口縁部へ底部磨削記、赤彩、胴部中位に凸帯。 内面 口縁部へ底部磨削記、赤彩。口縁部に焼成前の穿孔2孔 1組、2対。

第57表 遺構外出土縄文土器・弥生土器觀察表

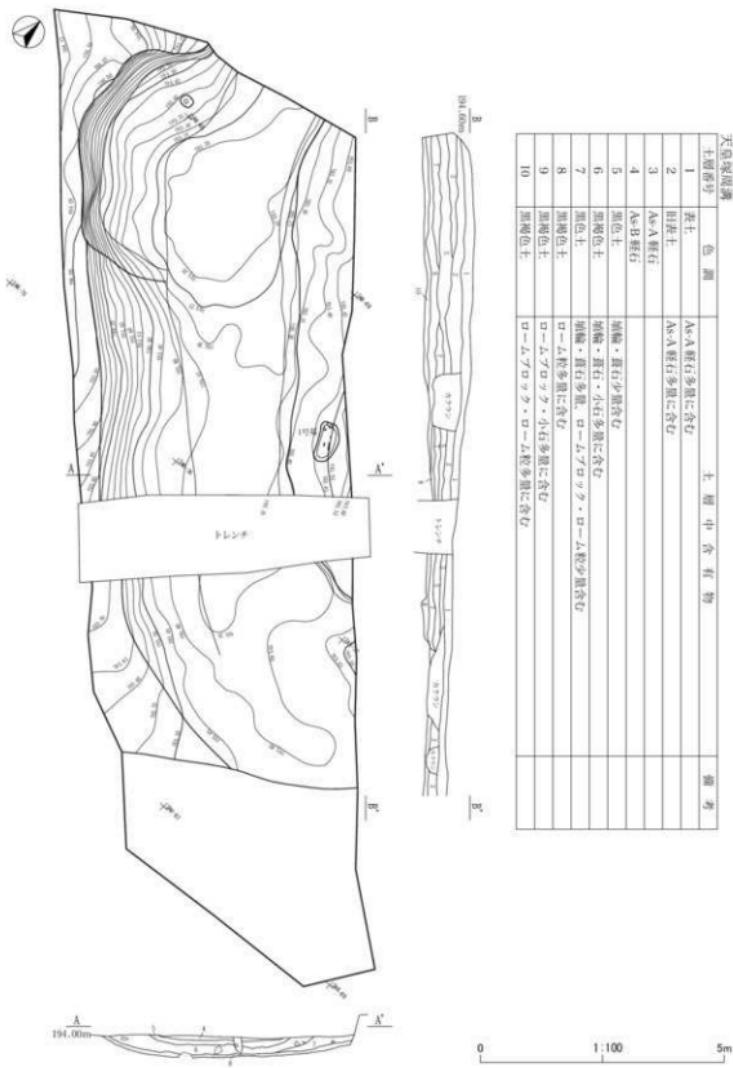
## 小日向遠丸遺跡出土の石器（第96図）

弥生時代の遺構は検出されなかったが、古墳時代住居址覆土から弥生時代の所産と考えられる石器（スクレイパーと大型蛤刃石斧）が出土した。1は、黒色安山岩製の横刃形スクレイパーである。刃部の一部に摩耗痕（磨り痕）が観察される。半月状の形状から、打製石庖丁の可能性がある。長さ35.58mm、幅88.24mm、厚さ10.26mm、重量42.3gである。2と3は大陸系磨製石器で輝緑岩製の大型蛤刃石斧である。出土した2点の石斧は、形態と石材の点から中期後半の「複田型」石斧（馬場2003）であり、遺構の時期とは明らかに時期が異なる。出土状況から住居に伴うかは不明であるが、2点の磨製石斧は、古墳時代においても何らかの用途で再利用され、廃棄された可能性が考えられるため、位置づけには注意が必要である。2は、長さ186.06mm、幅64.69mm、厚さ39.74mm、重量807.6gである。3は長さ142.3mm、幅69.77mm、厚さ42.19mm、重量842.5gである。

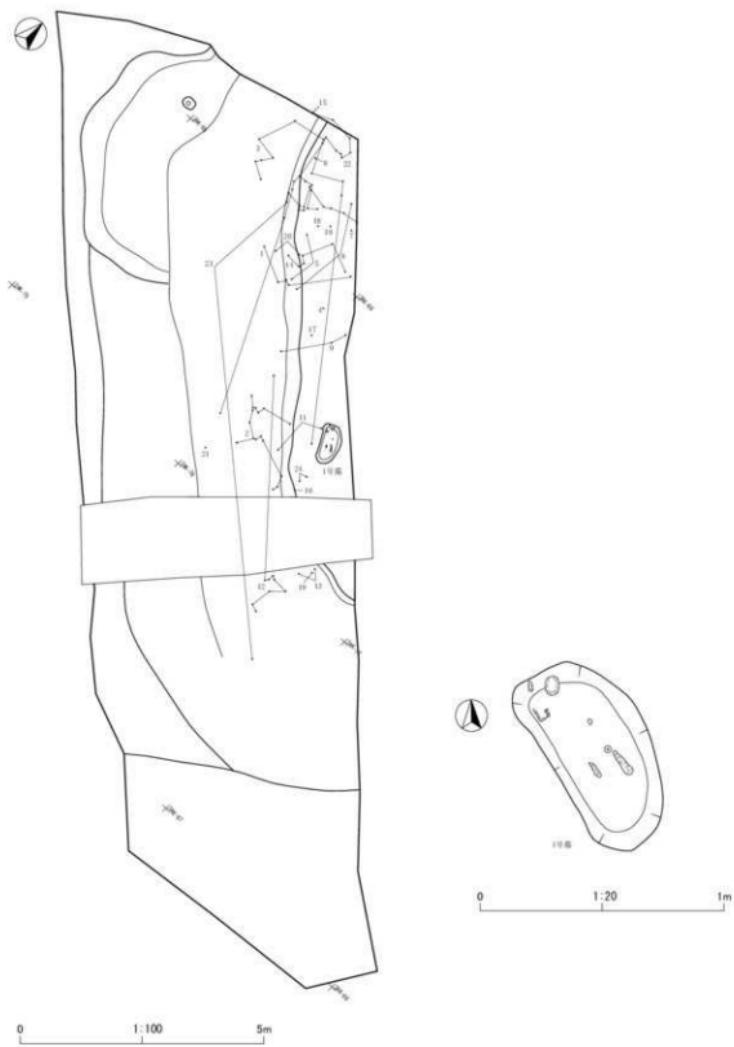
（井上 慎也）



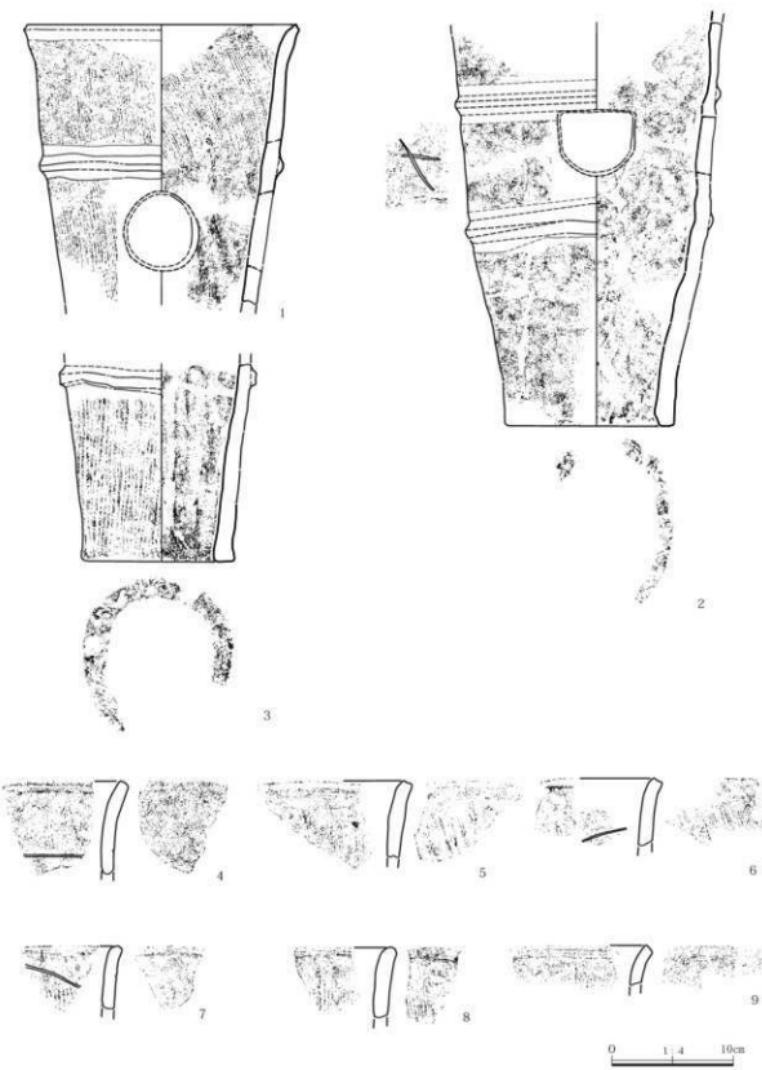
第96図 遠丸遺跡出土石器実測図



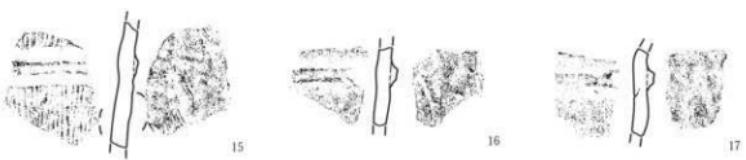
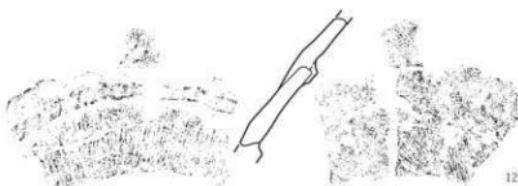
第97図 天皇塚古墳実測図



第98图 天皇塚古墳遺物分布図、1号墓実測図



第99図 天皇塚古墳出土埴輪実測図(1)



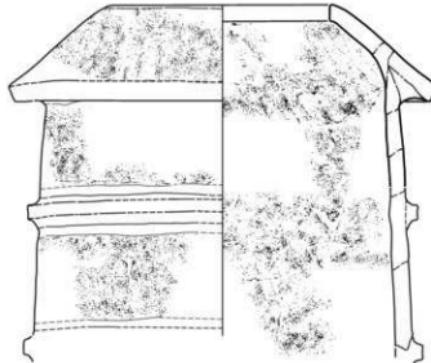
0 1 4 10cm

第100図 天皇塚古墳出土埴輪実測図(2)

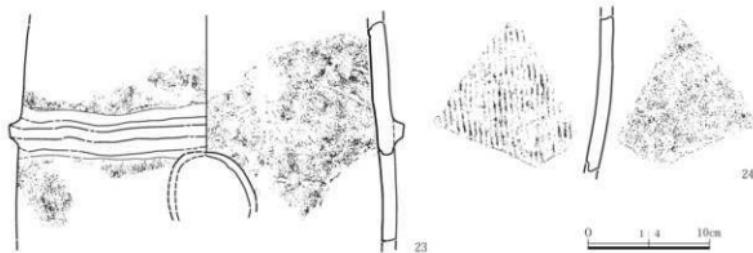


20

21



22



23

24

第101図 天皇塚古墳出土埴輪・土器実測図

番号	種類	計測値(cm)	実帶 断面形状	透孔		網目 /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
				形状	網・横				
1	円筒埴輪	口径 (22.6) 3段 11.4	台形	(円)	—	10~11	外側 タテハケ、口縁部ヨコナナデ。 内側 第3段ナメハケ。第2段 タナ指ナデ。実帶裏側に雷 彫刻。口縁部ヨコナナデ。	粗粒チャート・凝 灰岩 にぶい黄褐色	3段構成と想定。
2	円筒埴輪	1段 17.1 2段 10.3	台形 ～ 三角形	(半円)	—	4~5	外側 タテハケ。 内側 タナ・ナメ指ナナデ。実帶裏 側に指彫刻。	片岩・チャート 橙色	外側第2段に線 刻。底部に弛みウ あり。

第58表 天皇塚古墳出土埴輪観察表(1)

番号	種類	計測値(cm)	帯 断面形状	透孔		網目 /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
				形状	幅・横				
3	円筒埴輪	底径 12.5 1段 15.4	M字状 ～ 台形	—	—	6～8	外側 タチハケ。 内側 タナ・ナメ開ナデ。	片岩・雲母・白色 針状粒 明褐色	
4	円筒埴輪			—	—	12～16	外側 タチハケ。口縁部ヨコナデ。 内側 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝灰岩 にぶい黄褐色	外面に難観。
5	円筒埴輪			—	—	12	外側 タチハケ。 内側 ナナメハケ後に一部ナデ。 口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 赤褐色	選元気味の焼成。
6	円筒埴輪			—	—	10～11	外側 タチハケ。 内側 ナナメハケ後に一部ナデ。 口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい褐色	外面に難観。選元 気味の焼成。
7	円筒埴輪			—	—	6～8	外側 タチハケ。 内側 ナナメハケ後ナデ。口縁部 ヨコナデ。	片岩・雲母・白色 針状粒 明赤褐色	外面に難観。
8	円筒埴輪			—	—	5～9	外側 タチハケ。口縁部ヨコナデ。 内側 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・チャー ト 明赤褐色	
9	円筒埴輪			—	—	14	外側 タチハケ。口縁部ヨコナデ。 内側 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・凝 灰岩 橙色	
10	円筒埴輪			—	—	10	外側 タチハケ。口縁部ヨコナデ。 内側 ナナメハケ後に一部ナデ。 口縁部ヨコナデ。	片岩・凝灰岩 チャート 橙色	
11	円筒埴輪			—	—	7	外側 タチハケ。口縁部ヨコナデ。 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
12	朝顔形 円筒埴輪		台形 ～ M字状	(P)	—	5～6	外側 タチハケ。 内側 ナナメハケ後、部分的にナ デ。	片岩・チャート 明赤褐色	
13	円筒埴輪		台形 ～ M字状	(P)	—	8～11	外側 タチハケ。 内側 タナ・ナナメハケ後。タチ指 ナデ。	チャート・凝灰岩 明赤褐色	
14	円筒埴輪		台形	—	—	9～11	外側 タチハケ。 内側 タチハケ後に一部ナデ。	片岩・白色針状粒 にぶい黃褐色	
15	円筒埴輪		低台形 ～ 低M字状	—	—	5～6	外側 タチハケ。 内側 ナナメハケ後。タチ指ナデ。	片岩・チャート 橙色	
16	円筒埴輪		台形	—	—	12	外側 タチハケ。 内側 タナ・ナナメハケ後、タチ指 ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
17	円筒埴輪		台形	—	—	12	外側 タチハケ。 内側 ナナメハケ。タチ指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
18	円筒埴輪		M字状	—	—	7	外側 タチハケ。 内側 ハセ後ナデ。	片岩・白色針状粒 にぶい褐色	外面に難観。
19	円筒埴輪			—	—	12～14	外側 タチハケ。 内側 ナナメハケ。	チャート・凝灰岩 橙色	外面に難観。
20	円筒埴輪			—	—	10～12	外側 タチハケ。 内側 タチハケ後に一部ナデ。	砂礫・チャート・ 凝灰岩 灰青褐色	外面に難観。選元 気味の焼成。
21	円筒埴輪			—	—	13	外側 タチハケ。 内側 ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	底面に棒状突起。

第59表 天皇塚古墳出土埴輪観察表(2)

番号	種類	計測値(cm)	形態・成形・調整等の特徴			胎土・色調	備考
22	蓋形埴輪	柄径 (35.0)	立ち削りを差し込む笠型。差し込み口の径は推定17.8cm。円筒部は美帶数から3段以上と想定される。外側は浅いタチハケ。内面指ナデ。			粗粒チャート・凝灰岩 赤褐色	組合せ式の蓋形埴輪。
23	蓋形埴輪		笠型の円筒部分。両面台形の帯と円形の透孔。外側は浅いタチハケ。内面ナデ。			粗粒チャート・凝灰岩 赤褐色	22と同一個体と思われる。
24	須恵器 甕		脛部。外側は平行タチキ。内面ナデ。			チャート・凝灰岩 灰色	

第60表 天皇塚古墳出土埴輪・土器観察表

## 小日向遠丸遺跡 小結

本遺跡においては、古墳時代後期を中心とする竪穴住居址55軒が検出された。住居址の築造時期は概ね5世紀末から6世紀の範囲に収まり、6世紀前半が住居址数のピークであると考えられる。今回の本遺跡群発掘調査においては、合計10基の古墳の調査を実施したが、このうちの5基の築造時期が5世紀末～6世紀であり、遠丸遺跡において営まれていた集落の時期と一致する。換言すれば、本遺跡は小日向地区古墳群を築造した人々の集落であると考えられる。検出された55軒の住居址のうち、3軒は南壁に張り出し部を有するものであり、市内では3遺跡の検出例となった。以下、張り出し部を有する住居址（以後「張り出し住居」と略す）について、若干の検討・考察を加え小結に代えたい。

県内の張り出し住居については、『高源寺東I遺跡』における小高哲茂・坂口一の両氏による集成・考察がある。両氏は①張り出し部を竪穴住居の壁中央付近に設置し、②張り出し部内に貯蔵穴様のピットを設けた、主として古墳時代中・後期に属する住居を「定型化した張り出し住居」と定義している。この定義に従うと、「12号住居址」・「26・27号住居址（カマドを2基有するため複数の遺構番号を付しているが、実際は1軒の住居址である）」・「39号住居址」が張り出し住居と認められる。なお、1号住居址も北壁に張り出し部を有しているが、先出の定義①・②とも満たしておらず、他の3軒とは性格が異なる可能性が高いためここでは除外した。また、57号住居址については張り出し住居である可能性も考えたが、住居址主軸が他の3軒と異なること、南壁付近に位置する張り出し部（土坑？）が48号住居址に付随するものと思われることから除外した。

両氏の集成によれば、群馬県内では32軒の張り出し住居が確認されている。検出されているのは、富岡市・安中市・群馬町（現高崎市）・渋川市・赤城村（現渋川市）・前橋市・粕川村（現前橋市）・赤堀町（現伊勢崎市）・佐波郡東村（現伊勢崎市）・藪塚本町（現太田市）・尾島町（現太田市）・館林市であり、関東平野及びその縁辺部と言えよう。このうち本市内においてこれまで検出されている張り出し住居は、諏訪ノ木遺跡で2軒、高橋遺跡で1軒の計3軒である。本遺跡で検出された3軒の位置は第102図のとおりである。

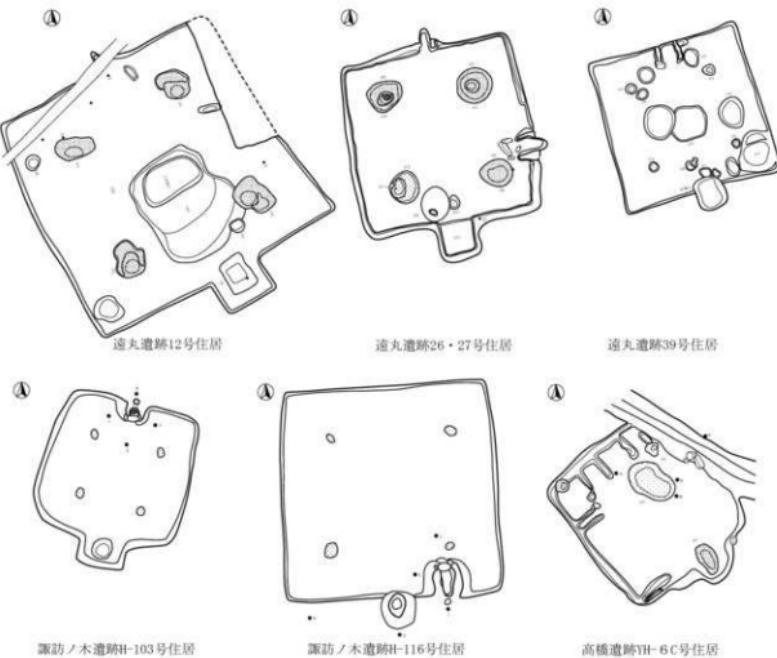


第102図 張り出し部を有する竪穴住居址位置図

本遺跡で検出された各張り出し住居の主軸はほぼ揃っており、各住居址は一定の距離を保ち位置している。出土遺物より、3軒はいずれも6世紀前半の所産と考えられる。12号住居址は、今回検出された住居址の中で最大の規模を有している。また、26・27号住居址及び39号住居址も、比較的大型の部類に属する住居址であることが分かる。張り出し住居3軒の竪穴部面積平均値は42.48m<sup>2</sup>であり、それ以外の住居址21.37m<sup>2</sup>の約2倍を測る。以下、本遺跡の3軒も含めた市内で検出された張り出し住居の観察表・遺構図等を掲載する。

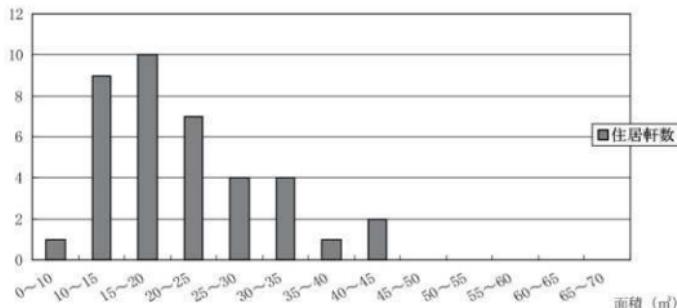
遺跡名	住居名	住居規模(m)		位置	貯蔵穴		設置壁(壁・位置)		時期
		長軸	短軸		形狀	カマド	張り出し		
諏訪ノ木	H-103住	4.8	4.8	0.2	張り出し内	円形	北壁中央	南壁中央	5C後半
	H-116住	7.0	6.8	0.3	張り出し内	楕円形	南壁東寄	南壁中央	6C前半
高橋	YH-6C住	5.4	4.8	0.5	張り出し内	楕円形	東壁中央	南壁中央	6C前半
遠丸	12住	8.4	7.9	0.4	張り出し内	長方形	北壁中央	南壁中央	6C前半
	26・27住	6.0	5.9	0.3	張り出し内	正方形	北壁中央→東壁南寄	南壁中央	6C前半
	39住	5.1	5.0	0.2	張り出し内	長方形	北壁中央	南壁中央	6C前半

第61表 市内で検出された張り出し住居観察表



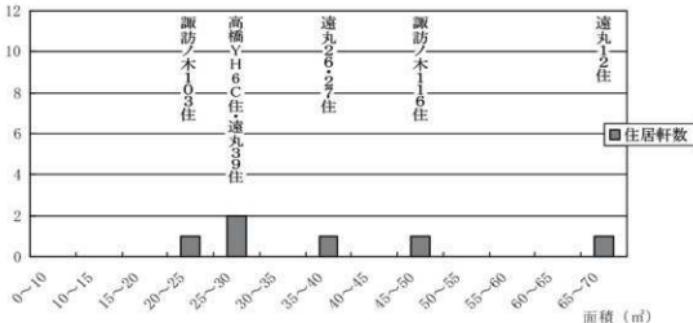
第103図 市内で検出された張り出し住居

軒



第104図 遠丸遺跡検出非張り出し住居面積別グラフ

軒



第105図 市内検出張り出し住居面積別グラフ

小高・坂口両氏は、県内における張り出し住居検出例から看取できる傾向として次の4点を挙げている。

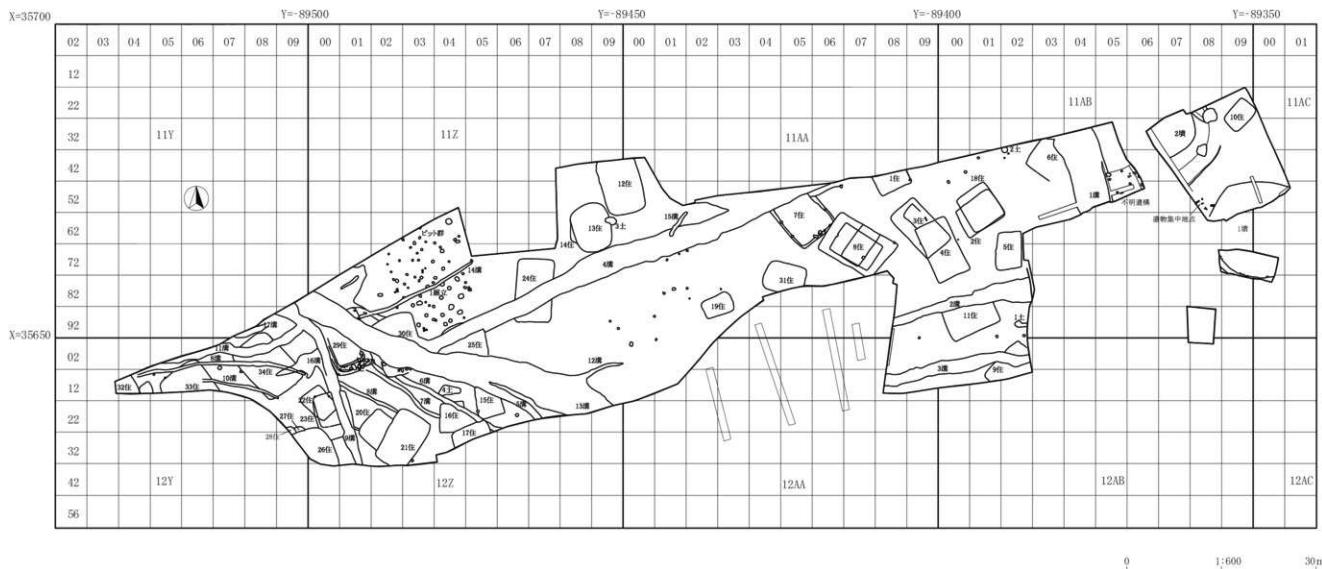
- ①張り出し部は、南壁中央付近付及びそれに近い部分に設けられる。
- ②竈の設置壁はそれぞれ異なる。
- ③通常の竪穴住居より概して大型の住居に設置される。
- ④出土遺物より、5世紀終末～6世紀代の比較的限られた時期に存在する。

前掲した表・図・グラフより、これらの4点は本遺跡の検出例においても認められ、両氏の指摘を追認する結果となっていることが分かる。

また、両氏は張り出し部が設置される理由として、『機能的な構造というよりも、むしろある種の「權威の象徴」として、一部の階層のみに許された住居形態であった可能性が高い』としている。この点に異論はないが、一部の集落においてのみ検出される理由等、これからさらに検討を要する課題であると考えている。また、過去の当該期集落の発掘調査において、張り出し部を住居とは別の土坑等の遺構と誤認している場合がある可能性も考えられる。当該期集落遺跡の再検討もこれからの課題と認識している。

(壁 伸明)

### **3 小日向瀧遺跡**



第106図 小日向遺跡全体図・グリッド設定図

### 3 小日向瀧遺跡

#### (1) 概 要

本遺跡は、平成16年度に調査が実施された弥生時代後期を主体とする遺跡である。東に位置する遠地谷戸遺跡とは同一台地上に立地している。現在本遺跡と遠地谷戸遺跡との間は住宅地となっているため、今回の土地改良事業に伴う開発区域からは外れている。しかし、地理的・地形的観点、又は遺物分布調査結果から判断すると、この区域にも弥生時代後期の集落が営まれていた可能性は高い。つまり、本遺跡と遠地谷戸遺跡は、南に位置する九十九川と、北に位置する九十九川支流である小さな沢に挟まれた東西に細長い台地上に営まれた一連の集落と言うことができる。

一方、本遺跡の西には壱丁田遺跡が所在する。小字名を遺跡名としているため、本遺跡とは別の遺跡名になっているが、実際は本遺跡に隣接する一連の集落である。壱丁田遺跡の西側には、九十九川支流の小さな沢が北西から南東へ流下している。遠地谷戸遺跡から西へ細長く延びる台地は、この沢によって一旦途切れる。つまり、遠地谷戸遺跡・本遺跡・壱丁田遺跡までが、弥生時代後期を主体とする一連の集落と捉えることができるのである。

本遺跡においては、弥生時代後期所産の遺構が主体をなしているが、その他にも2基の古墳、古墳時代～古代所産と考えられる溝等が検出されている。

#### (2) 弥生時代～古墳時代前期

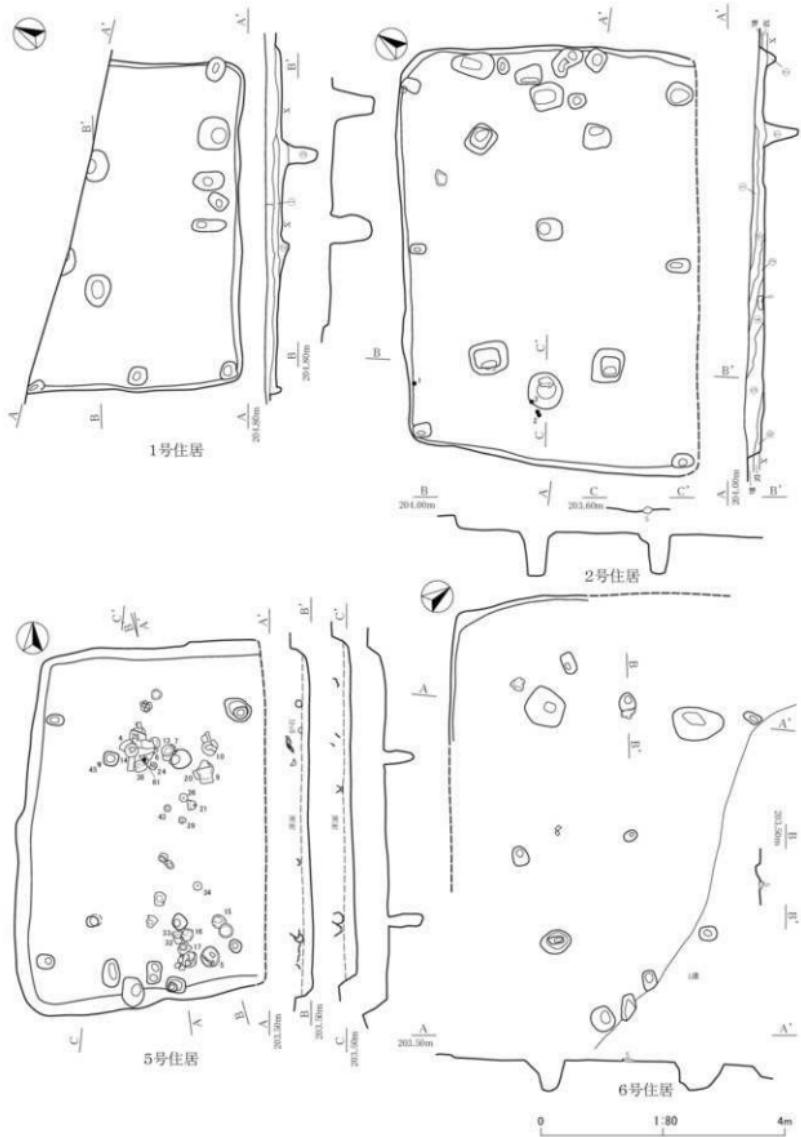
当該期所産の遺構は竪穴住居址34軒等が検出されている。検出された住居址の大部分は、弥生時代後期の所産と考えられるが、32号住居址のみ古墳時代の所産と思われる。住居址は北西～南東の方向に主軸を持つものが多い。29号住居址で4回の拡張が確認されるなど、住居址の建て替えや重複が目立ち、一定期間継続し営まれた集落であると考えられる。また、調査区南端に位置する9号住居址からは、断面長方形の柱材が出土した。

#### (3) 古墳時代

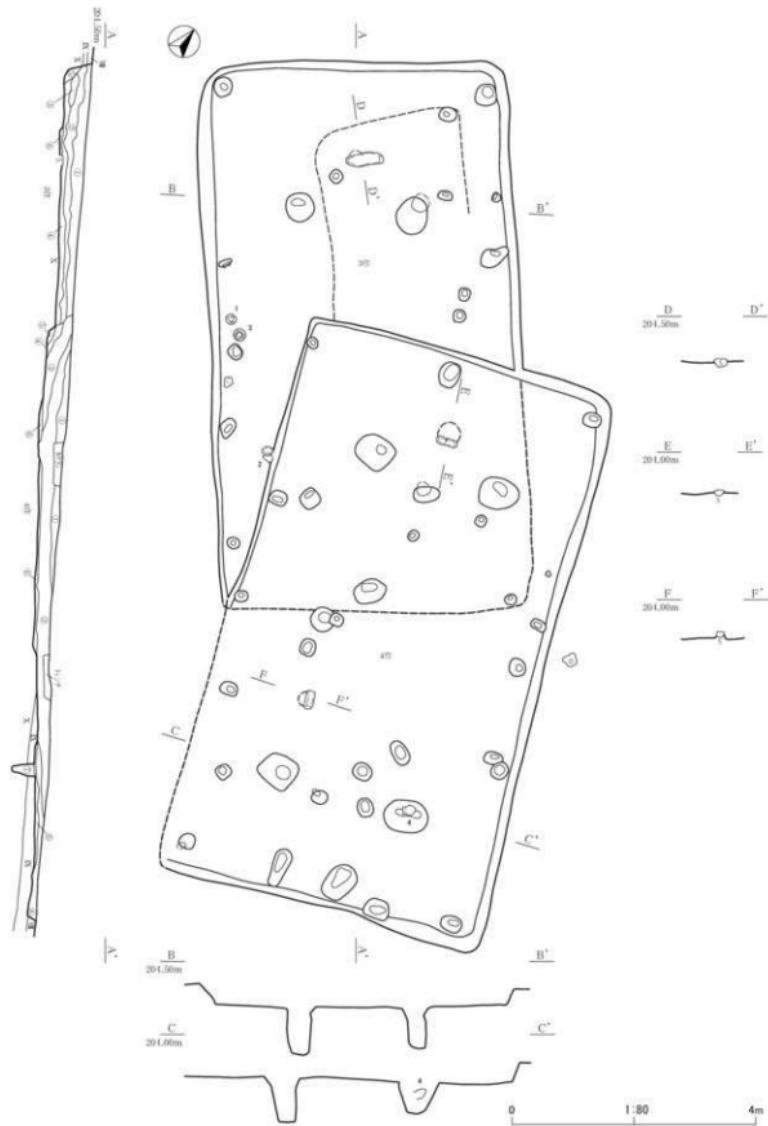
2基の古墳が検出された。1号古墳は遺存状況は良好であったが、主体部上位に墓地が存在し、その部分が開発区域外であったため、主体部の構造等詳細は不明である。形象埴輪・円筒埴輪等の出土遺物より5世紀末の築造と推定され、九十九川流域においては最古級の1基と考えられる。2号古墳は調査区の関係上一部分の調査にとどまり、また遺存状況が不良であり、主体部の構造等の詳細については不明である。

#### (4) 古代以降

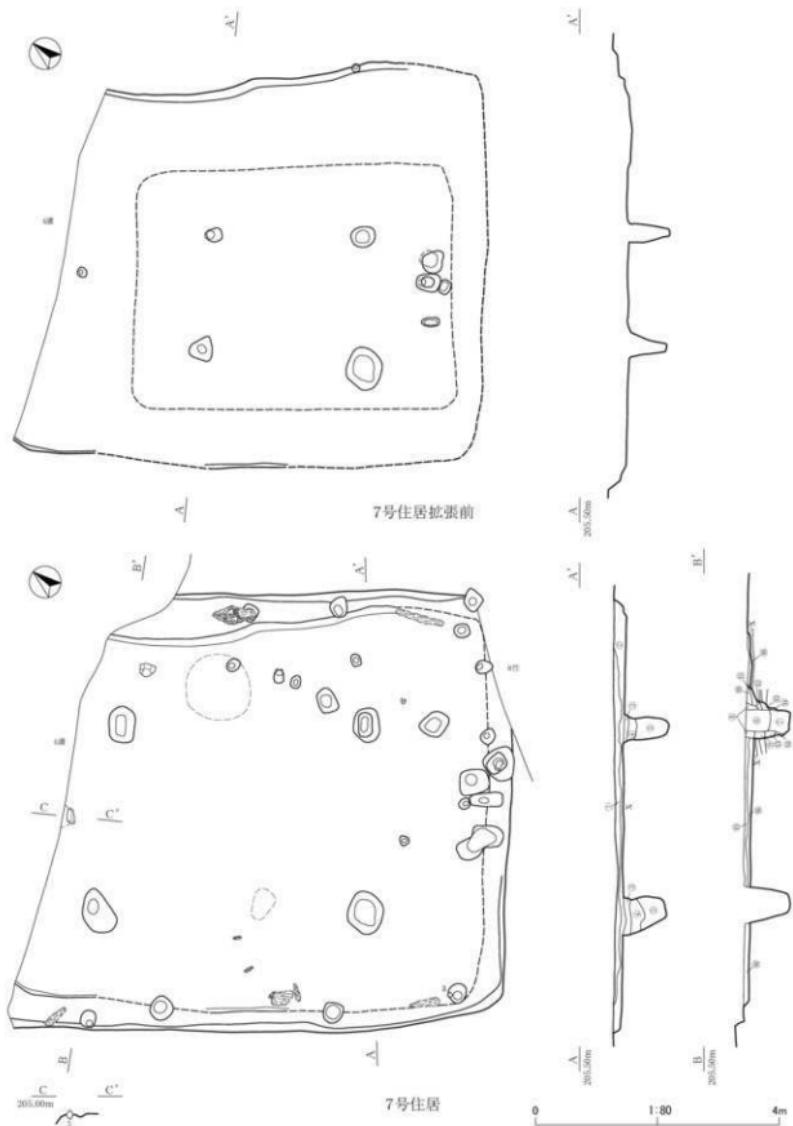
当該期所産と推定される溝が検出されている。2号溝・3号溝は、その規模・形状から直線状道路遺構である可能性を考えたが、東側延長線上に1号古墳が所在すること、西側試掘トレンチによる調査結果より、道路ではないという結論に達した。その他にも当該期所産と考えられる溝が検出されているが、その性格については不明なものが多い。



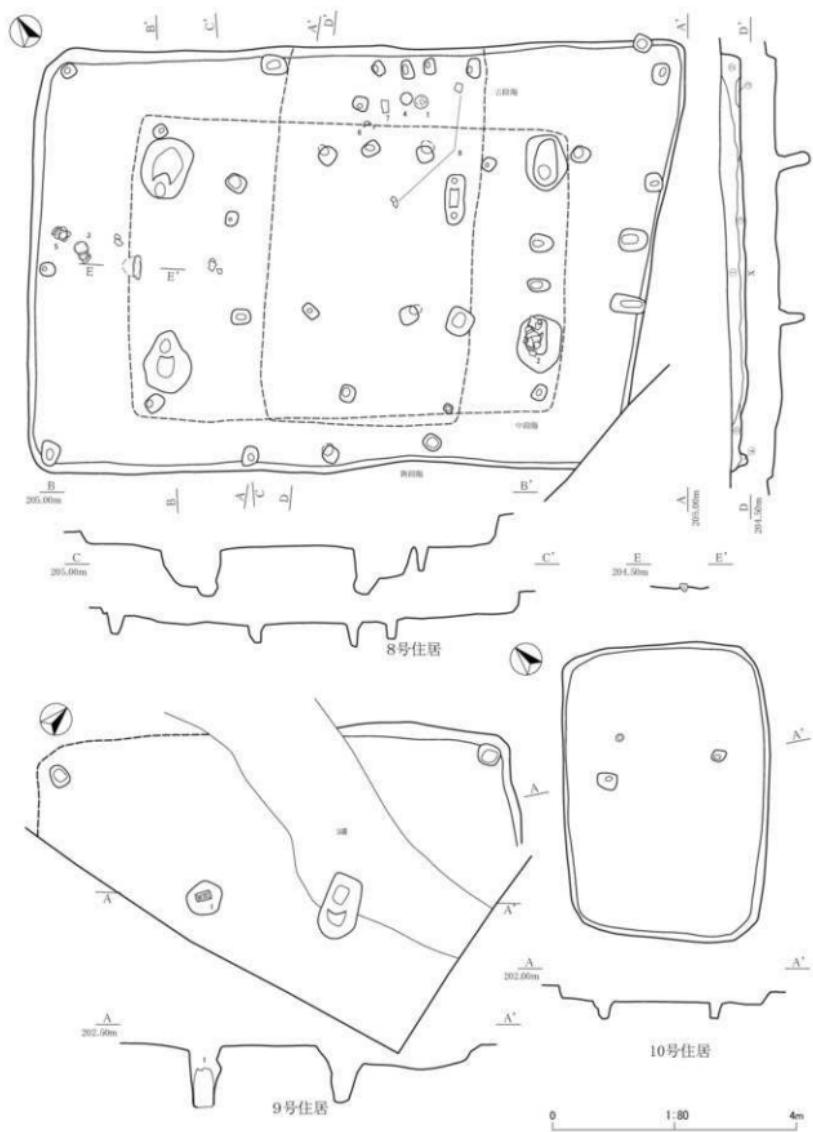
第107図 1号・2号・5号・6号住居址実測図



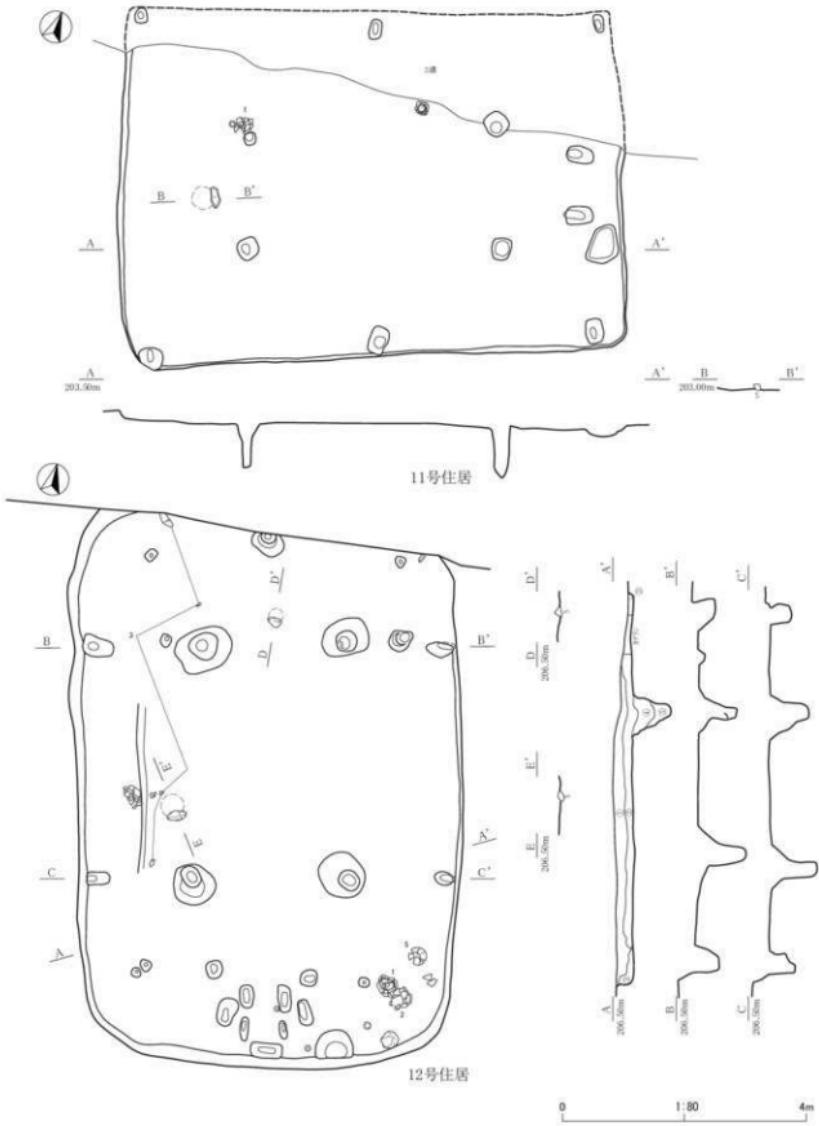
第108図 3号・4号住居址実測図



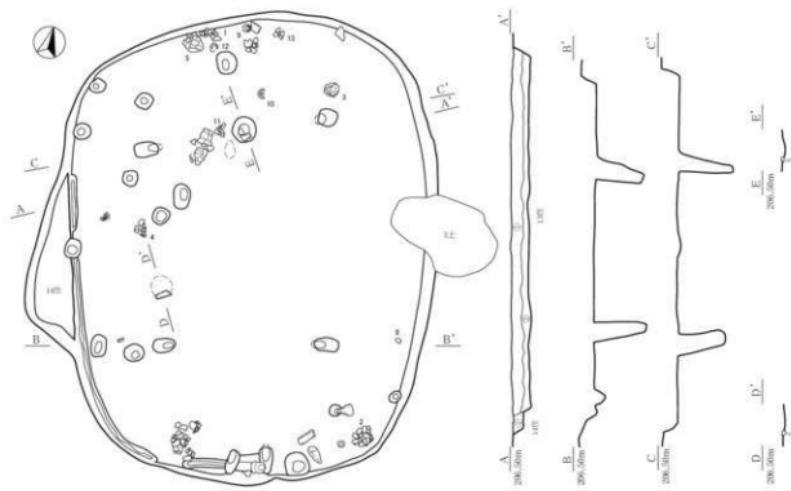
第109図 7号住居址実測図



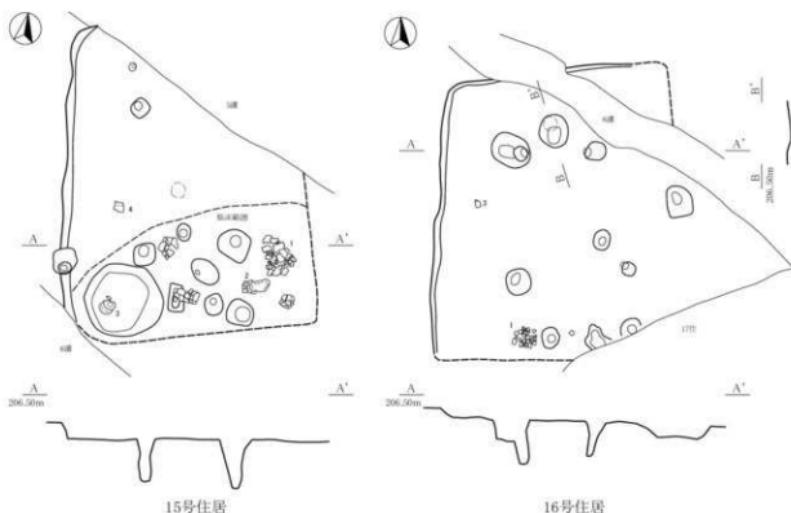
第110図 8～10号住居址実測図



第111图 11·12号住居址实测图

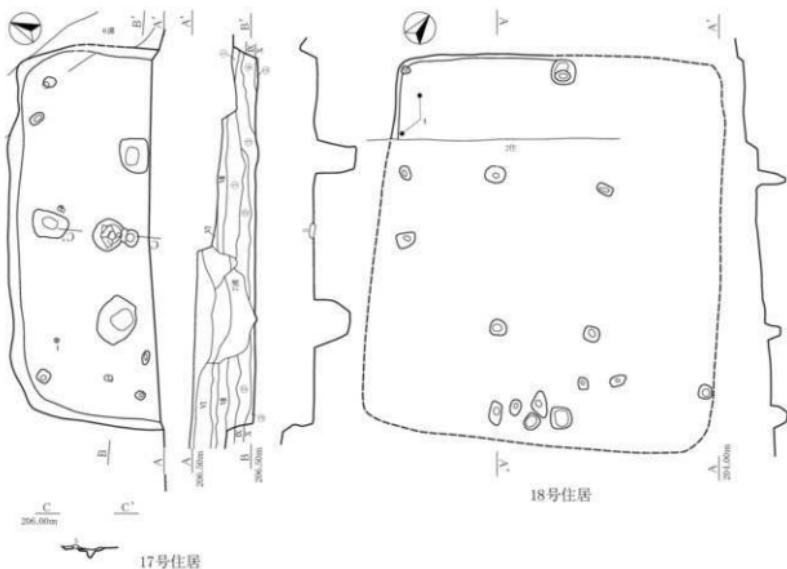


13·14号住居



第112図 13~16号住居址実測図

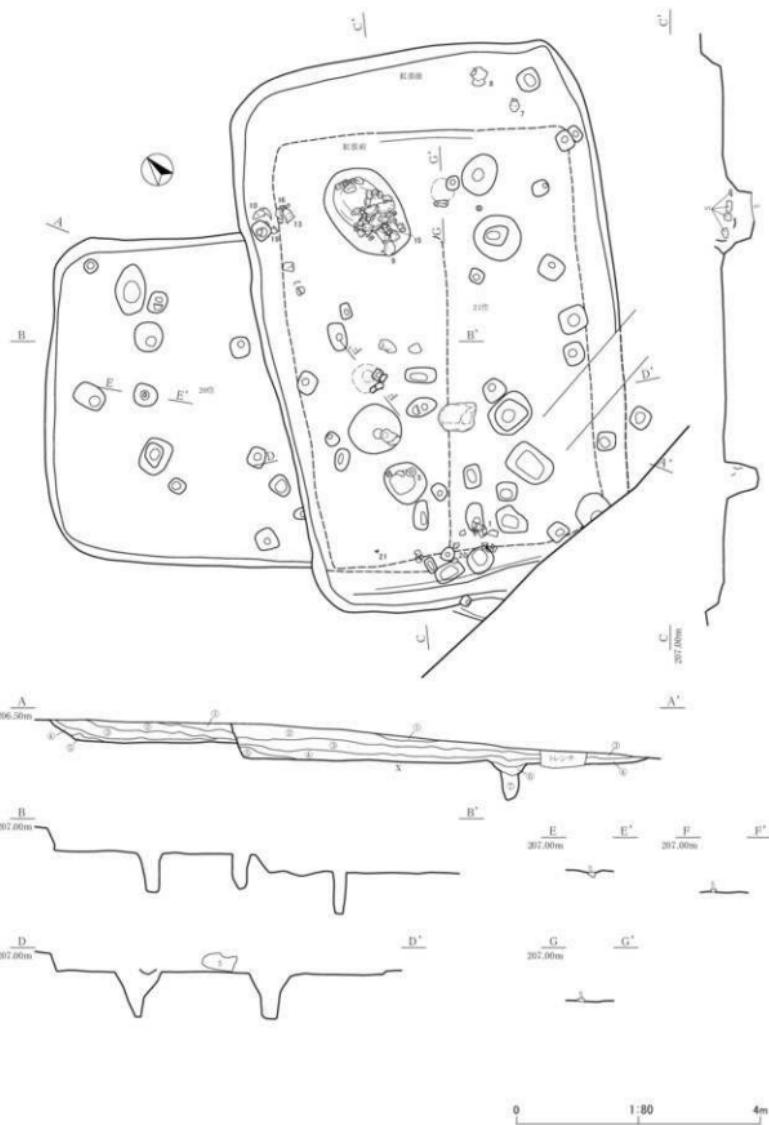
0 1:80 4m



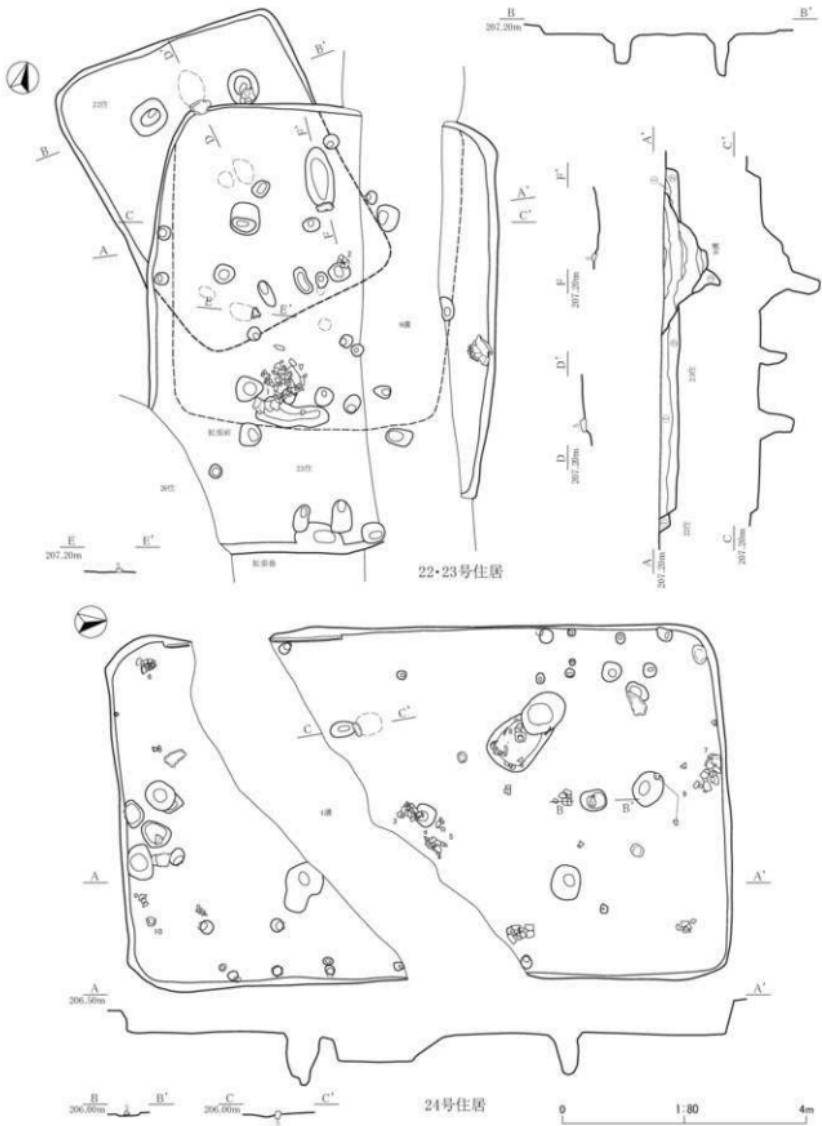
18号住居

0 1:80 4m

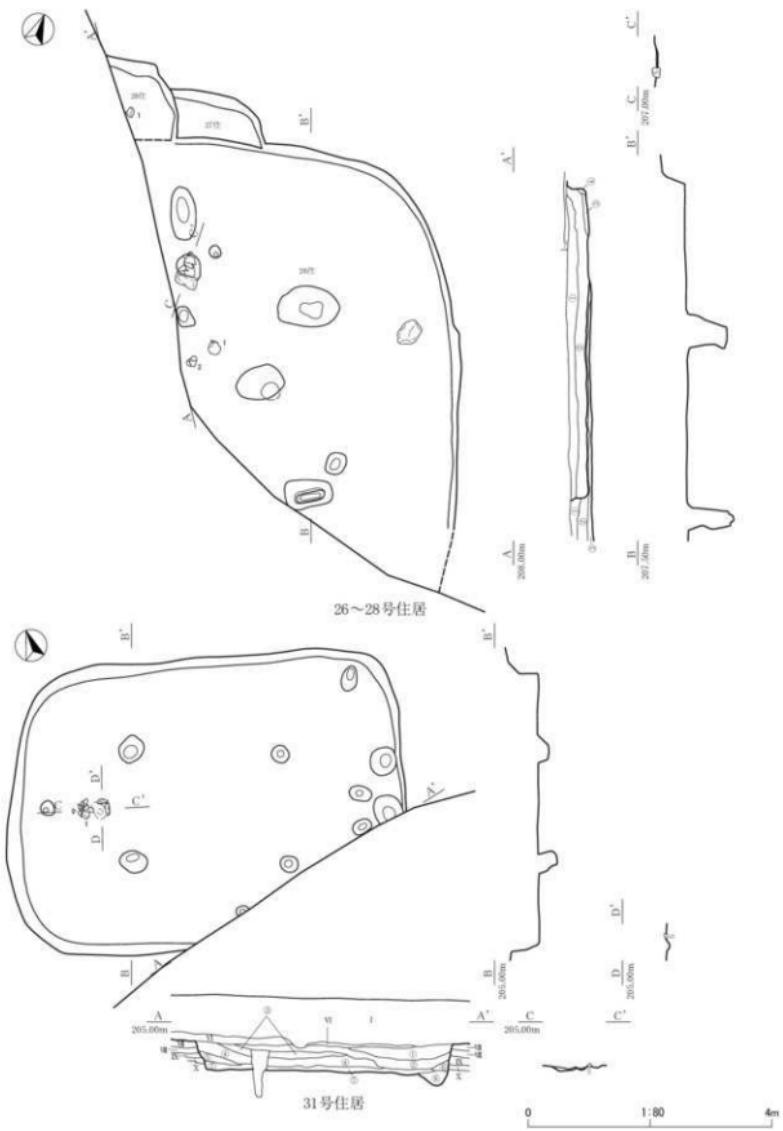
第113図 17~19号・25号住居址実測図



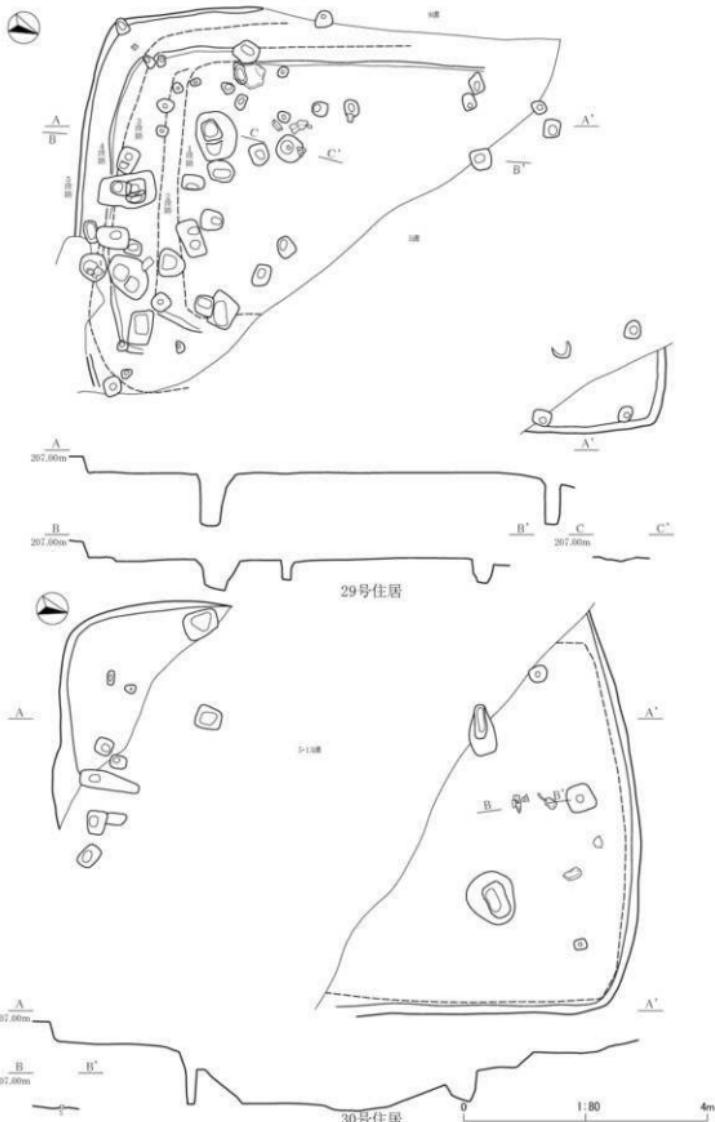
第114図 20号・21号住居址実測図



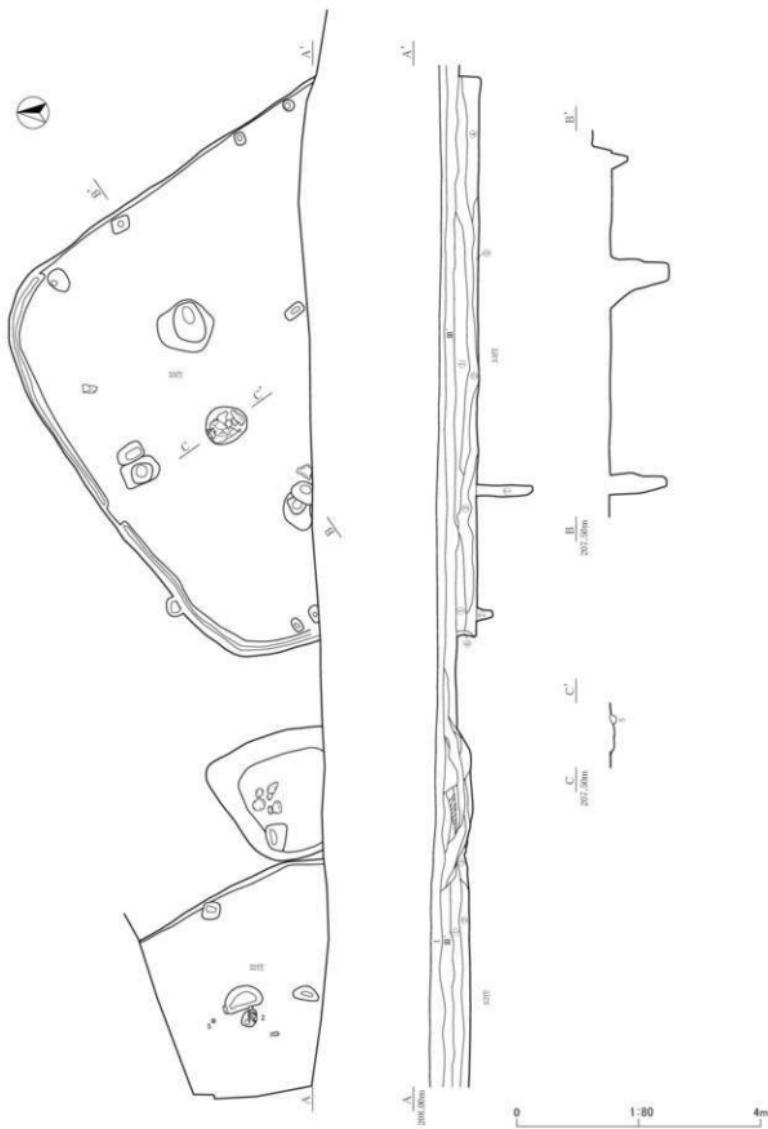
第115図 22~24号住居実測図



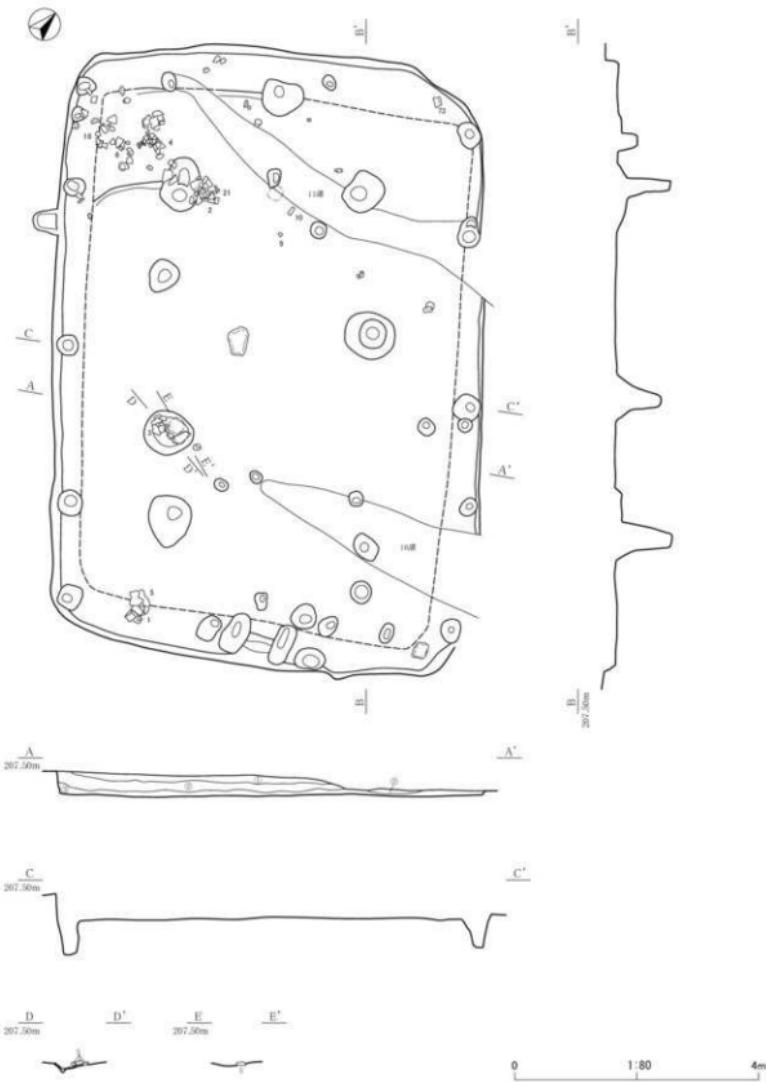
第116図 26~28号・31号住居址実測図



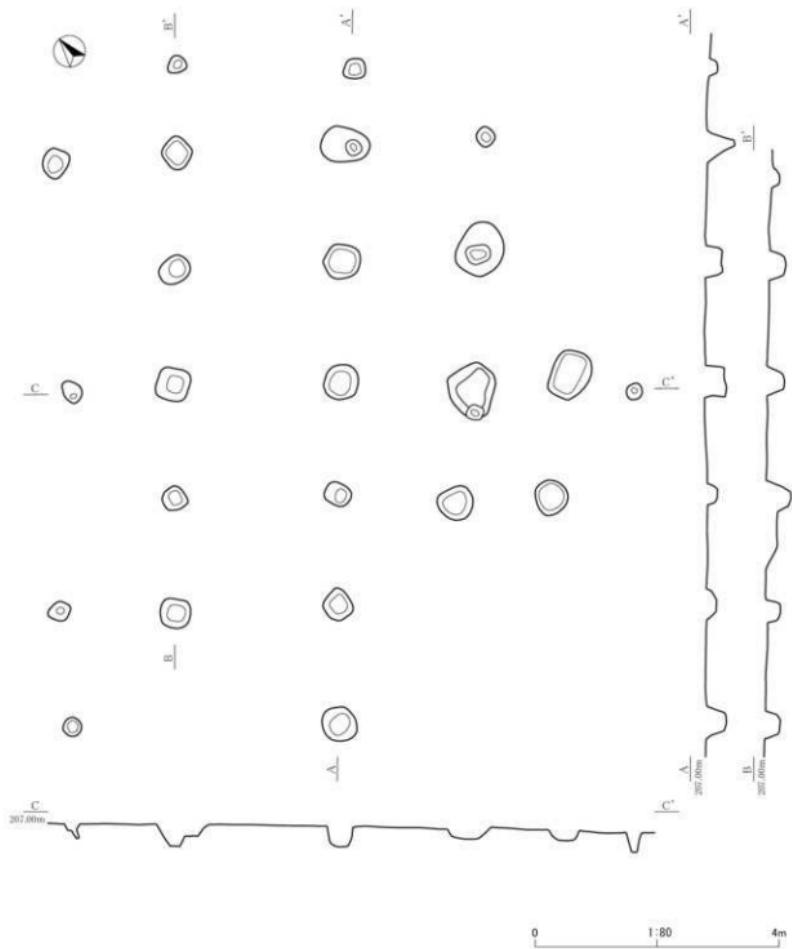
第117図 29号・30号住居址実測図



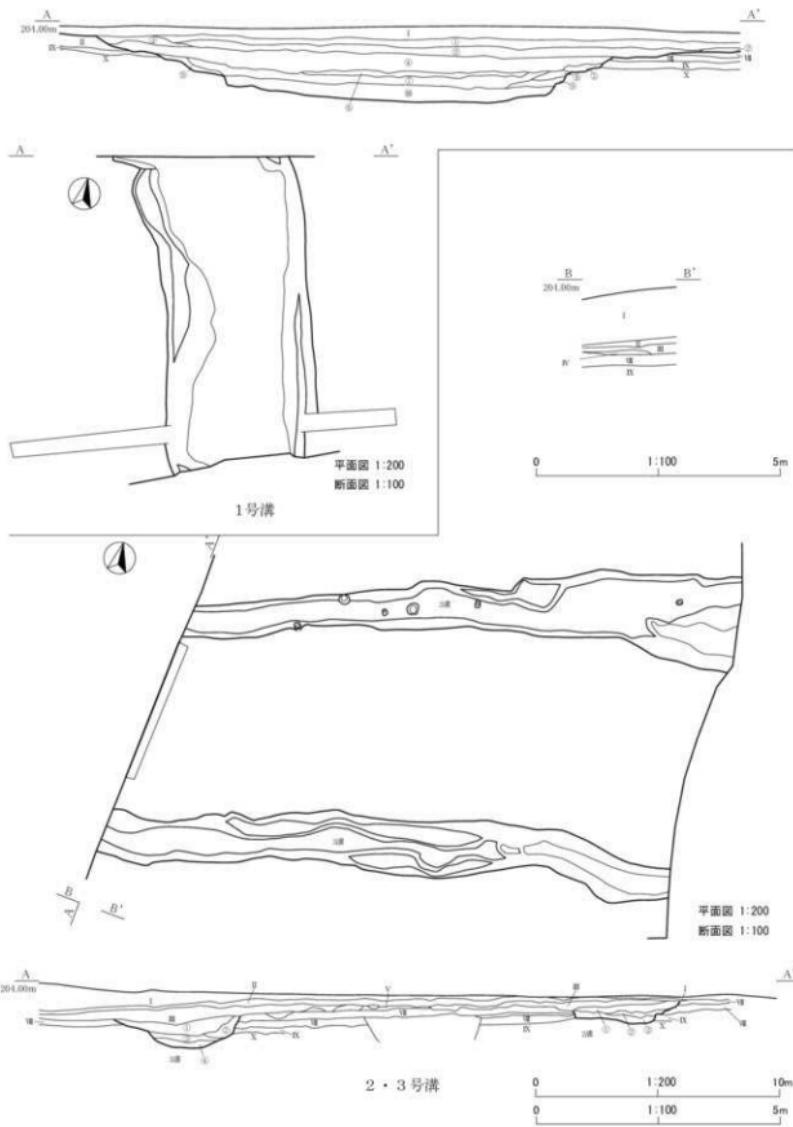
第118図 32号・33号住居址実測図



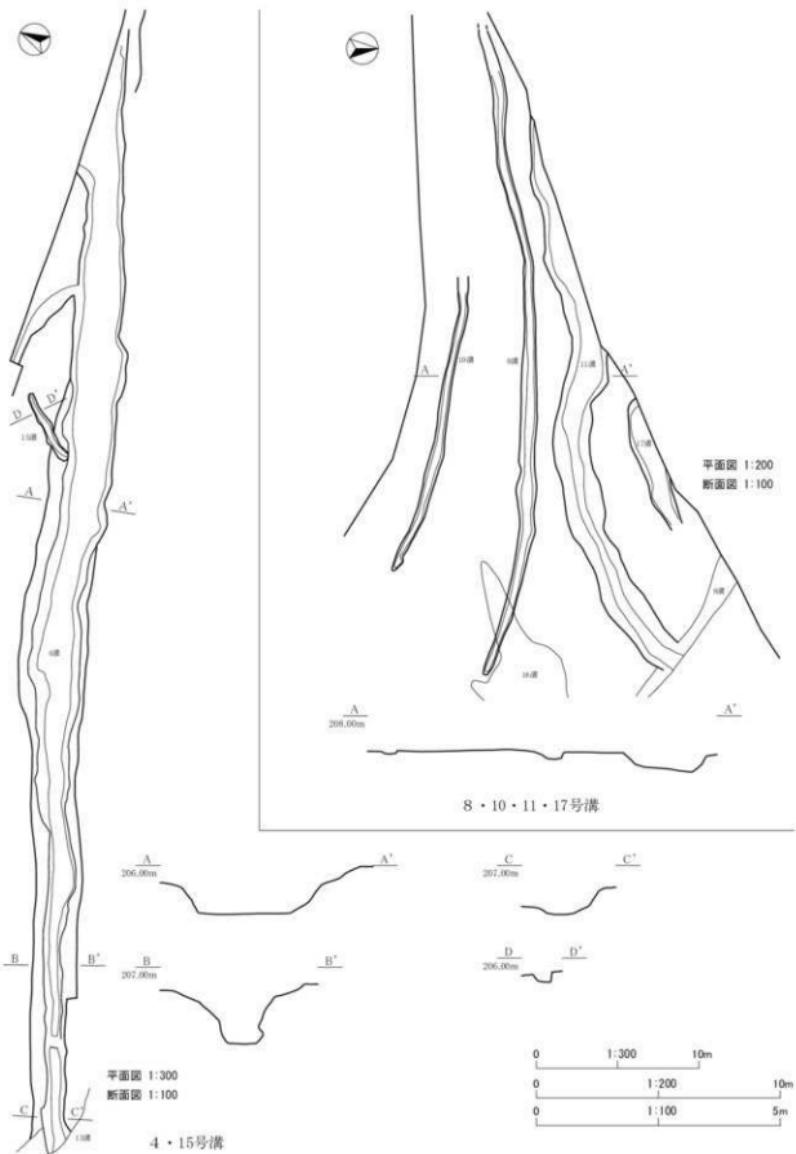
第119図 34号住居址実測図



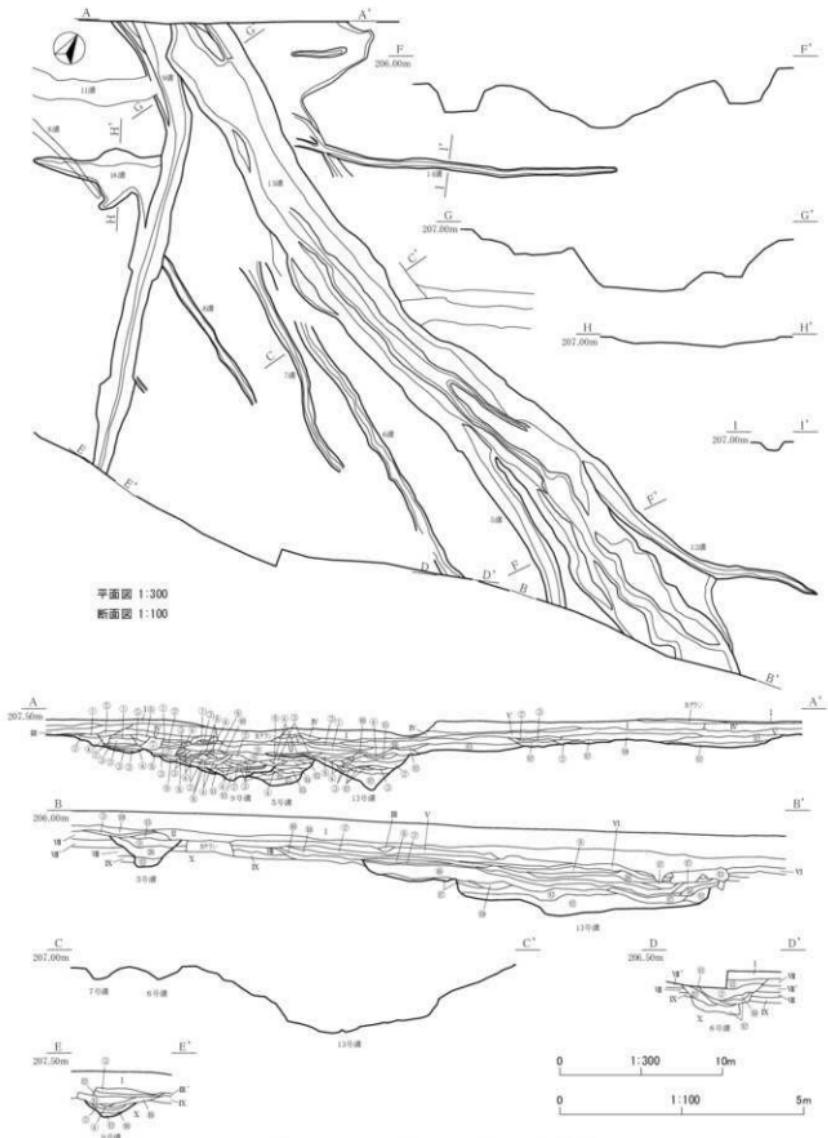
第120図 1号掘立柱建物址実測図



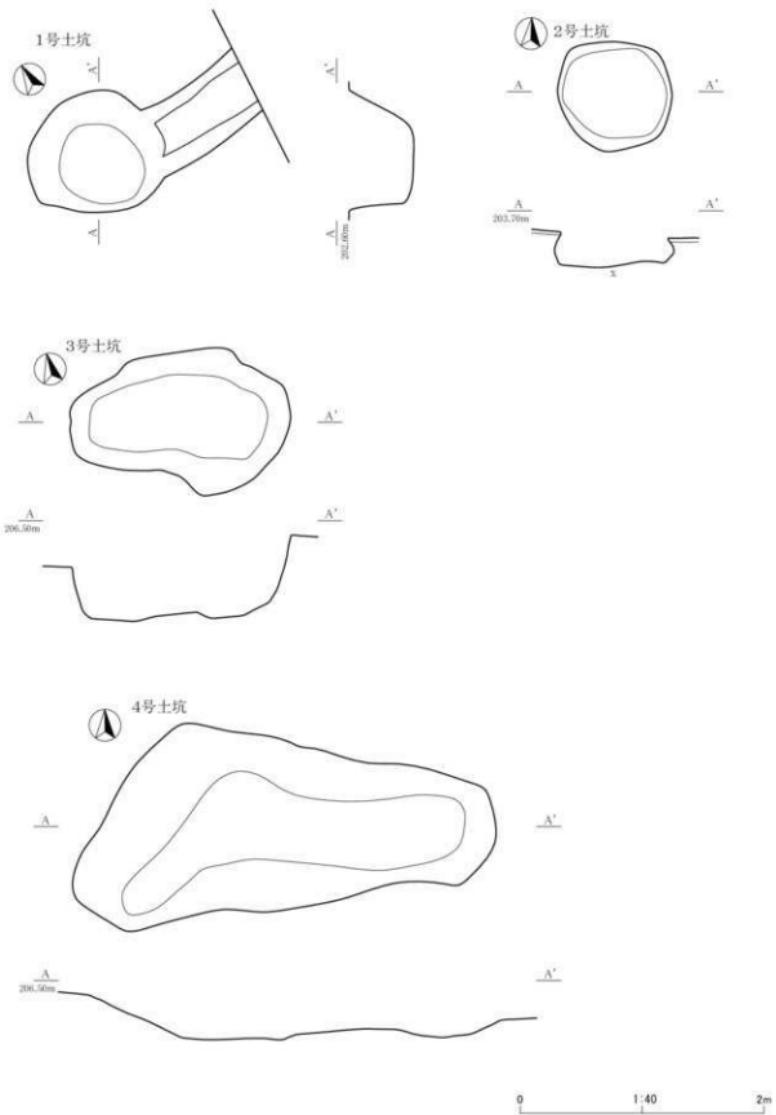
第121図 1～3号溝実測図



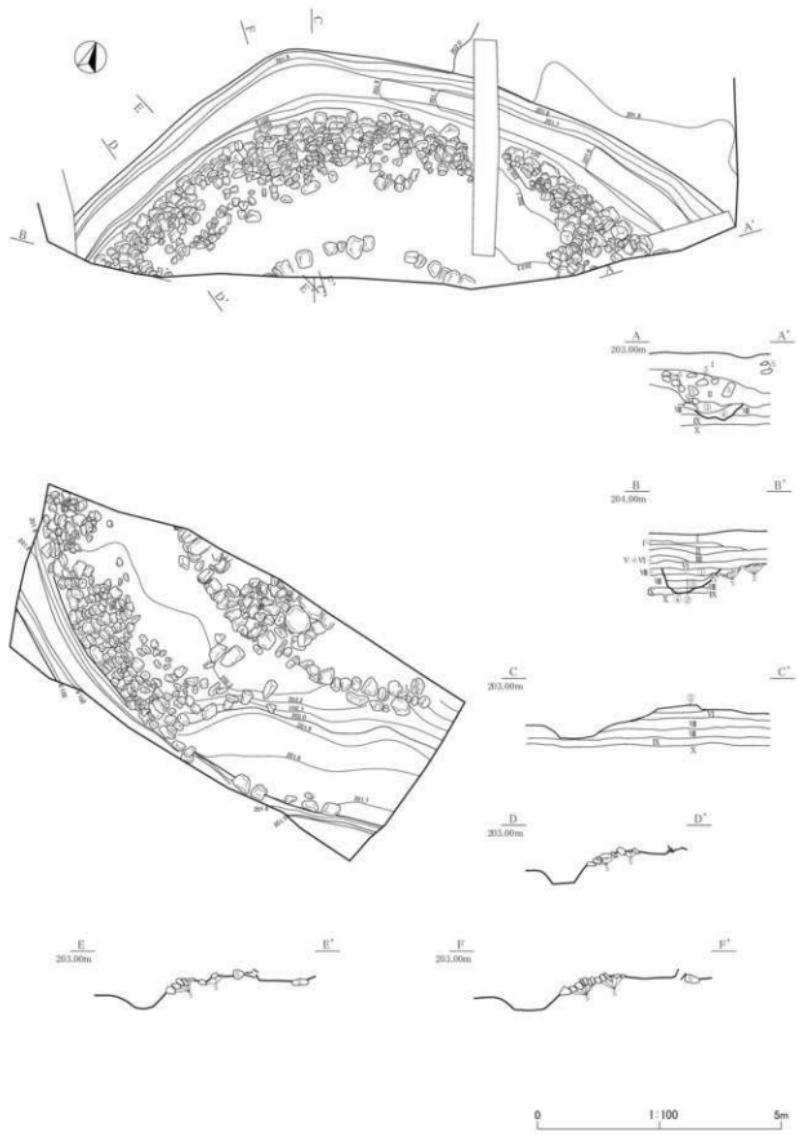
第122图 4号·15号·8号·10号·11号·17号沟实测图



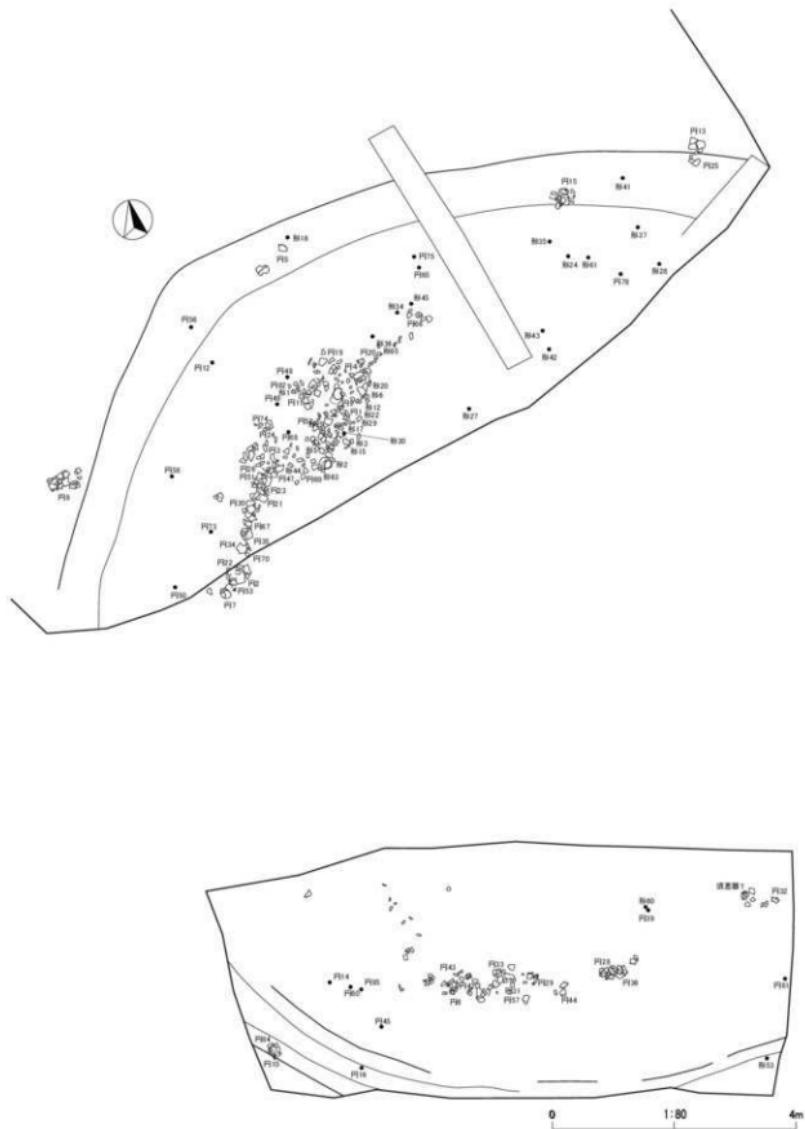
第123図 5～9号・11～14号・16号溝実測図



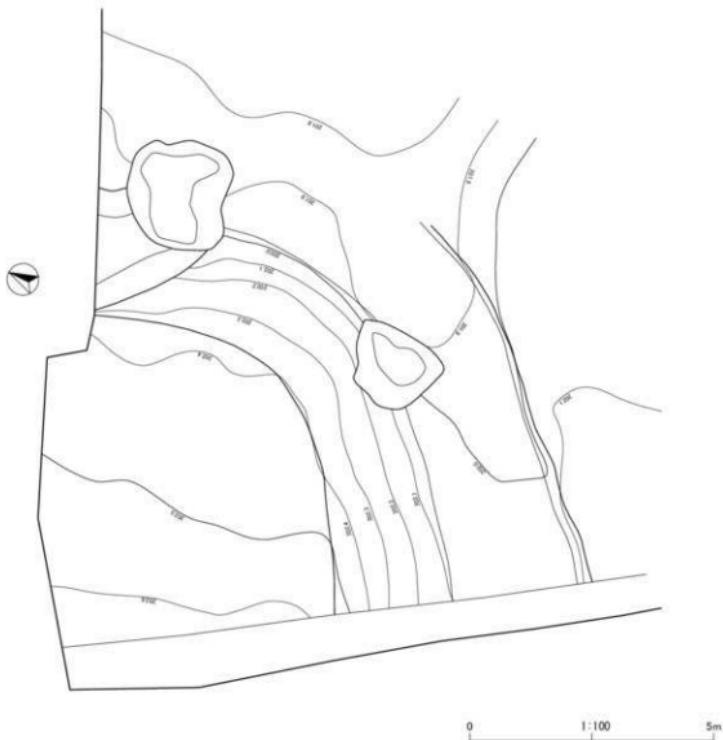
第124図 1～4号土坑実測図



第125図 1号古墳実測図



第126図 1号古墳遺物分布図



第127図 2号古墳実測図

## 1号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒褐色土	As-C軽石多量、ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	As-C軽石・ローム小ブロック少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	柱穴

## 2号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒色土	ローム粒少量含む	
2	黒色土	ローム粒・炭化粒・焼土粒・小石多量に含む	
3	黒褐色土	ロームブロック多量に含む	
4	黒色土	ロームブロック・ローム粒少量含む	
5	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒多量に含む	
6	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
7	黒色土	ローム粒多量に含む	柱穴

## 3号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
2	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック多量に含む	
3	黒褐色土	ローム粒少量	
4	灰黄褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
5	灰黄褐色土	ローム粒多量に含む	
6	黒色土	焼土粒・ローム粒少量含む	鉄跡

## 4号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒褐色土	ローム粒少量含む	
2	灰黄褐色土	ローム粒多量に含む	粘土質
3	灰黄褐色土	ローム粒・小石多量に含む	粘土質
4	黒色土	ローム粒少量含む	
5	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
6	ローム小ブロック	黒褐色土・焼土粒少量含む	胎床
7	黒褐色土	ローム粒多量に含む	ピット

## 7号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒褐色土	ローム粒・小石多量含む	
2	黒色土	炭化粒・焼土ブロック多量に含む	
3	ロームブロック		柱穴
4	ローム小ブロック	灰褐色土少量含む	柱穴
5	灰褐色土	ローム粒少量含む	柱穴
6	灰褐色土	ローム小ブロック少量含む	柱軋
7	黒褐色土	炭化粒・ローム粒多量に含む	柱軋
8	灰褐色土	ローム小ブロック少量含む	柱穴掘り方
9	灰褐色土	ローム粒少量含む	柱穴掘り方
10	黒褐色土	ロームブロック少量含む	柱穴掘り方
11	ロームブロック	灰褐色土少量含む	柱穴掘り方
12	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	柱穴掘り方
13	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	柱穴掘り方
14	黒褐色土	ローム粒少量含む	柱軋
15	黒褐色土	ローム粒多量に含む	胎床
16	黒褐色土	ロームブロック多量に含む	胎床

## 8号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒褐色土	As-C軽石多量、ローム粒少量含む	
2	灰黄褐色土	ローム粒多量、As-C軽石少量含む	
3	ロームブロック	灰黄褐色土少量含む	
4	黒褐色土	ローム粒少量含む	ピット

第62表 1～4号・7号・8号住居址土層注記

## 12号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒色土	As-C軽石多量、ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒多量、As-C軽石・炭化粒少量含む	
3	黒色土	ローム小ブロック・ローム粒多量に含む	
4	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	柱穴
5	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒多量に含む	柱穴

## 13号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒色土	As-C軽石・ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒多量、As-C軽石少量含む	

## 14号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒褐色土	As-C軽石・ローム粒多量、炭化粒少量含む	

## 17号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒色土	純土粒・ローム粒少量含む	
2	黒色土	炭化粒・ローム粒少量含む	
3	黒色土	ローム粒多量、小石少量含む	
4	黒褐色土	小石少量含む	
5	黒褐色土	ローム粒多量に含む	

## 20号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒褐色土	小石多量、As-C軽石少量含む	
2	黒褐色土	小石多量、As-C軽石・ローム粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒多量、As-C軽石少量含む	
4	黒褐色土	ローム粒多量、As-C軽石・ローム小ブロック少量含む	
5	黒褐色土	ローム粒多量、As-C軽石少量含む	

## 21号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒色土	As-C軽石多量に含む	
2	黒色土	As-C軽石・小石多量に含む	
3	黒褐色土	As-C軽石・小石・炭化粒・土崩片多量に含む	
4	黒褐色土	小石多量、As-C軽石・ローム粒・炭化粒少量含む	
5	黒色土	As-C軽石少量含む	
6	黒色土	As-C軽石少量含む	粘土質
7	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	

## 22号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒褐色土	ロームブロック・炭化粒多量に含む	

## 23号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒褐色土	As-C軽石多量、ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	As-C軽石・ローム小ブロック少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	

## 26号住

土層番号	色調	土層中含み物	備考
1	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	
2	黒褐色土	ローム小ブロック・炭化粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	

第63表 12~14号・17号・20~23号・26号住居土層注記

## 28号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	ロームブロック・炭化粒少量含む	
2	黒色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	
4	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	

## 31号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	As-C軽石・ローム小ブロック・炭化粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム小ブロック・炭化粒多量、As-C軽石・小石少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒多量、As-C軽石少量含む	
4	灰褐色土	ローム粒多量、As-C軽石・小石少量含む	
5	黒褐色土	As-C軽石・ローム粒・炭化粒少量含む	
6	黒褐色土	As-C軽石・ローム粒・炭化粒少量含む	
7	灰褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
8	黒色土	ローム粒・炭化粒少量含む	

## 32号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒色土	As-C軽石多量、ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	小石・ローム粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	

## 33号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒色土	As-C軽石・礫・ローム小ブロック・ローム粒多量に含む	
2	黒褐色土	As-C軽石・礫・ロームブロック多量に含む	
3	ロームブロック	As-C軽石・礫少量含む	
4	黒褐色土	As-C軽石・小石・ローム粒少量含む	
5	黒色土	As-C軽石・炭化粒・ローム粒少量含む	
6	ロームブロック		
7	黒褐色土	ロームブロック少量含む	柱穴

## 34号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒色土	As-C軽石多量に含む	
2	黒褐色土	As-C軽石・小石多量に含む	
3	黒色土	As-A軽石・ロームブロック多量に含む	

## 1号溝

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	灰褐色土	As-A軽石多量に含む	
2	灰褐色土	As-A軽石・小石多量に含む	
3	黒色土	As-A軽石・ロームブロック多量に含む	
4	黒褐色土	As-A軽石・小石多量に含む	
5	褐色土	ローム粒多量に含む	
6	黒褐色土		
7	灰褐色土	ローム小ブロック多量に含む	
8	黒褐色土	ローム小ブロック多量に含む	
9	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
10	灰褐色土	粗砂・小石・礫多量に含む	

## 2号溝

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒色土	As-B軽石少量含む	
2	黒褐色土	As-B軽石少量含む	
3	砂利		

第64表 28号・31~34号住居址、1号・2号溝土層注記

## 3号溝

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	灰色土	As-B軽石少量含む	
2	黒褐色土	粗砂少量含む	粘土質
3	砂利		シルト質
4	砂利		

## 5・6・9・13号溝

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	粗砂		鉄分化粧
2	粗砂と細砂		
3	粗砂		
4	細砂		
5	黒褐色土	As-C軽石少量含む	
6	黒褐色土	As-C軽石多量に含む	
7	黒褐色土	As-C軽石・小石・ローム粒・細砂少量含む	
8	シルト		
9	黒褐色土	細砂少量含む	
10	細砂とシルト		
11	粗砂とシルト		
12	砂利		
13	黒褐色土	As-C軽石・ローム小ブロック少量含む	
14	黒褐色土	As-C軽石・ローム粒少量含む	
15	黒褐色土	細砂・ローム小ブロック多量に含む	
16	黒褐色土	小石少量含む	
17	黒褐色土	小石少量に含む	
18	黒褐色土	小石・粗砂・シルト少量含む	
19	黒褐色土	粗砂少量含む	
20	黒褐色土	粗砂・シルト・土崩片を少量含む	

## 1号埴

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黑色土	小石少量含む	
2	黑色土	ローム小ブロック少量含む	
3	黑色土	ローム小ブロックと崩落した碎石を多量に含む	
4	黑色土	ローム粒少量含む	

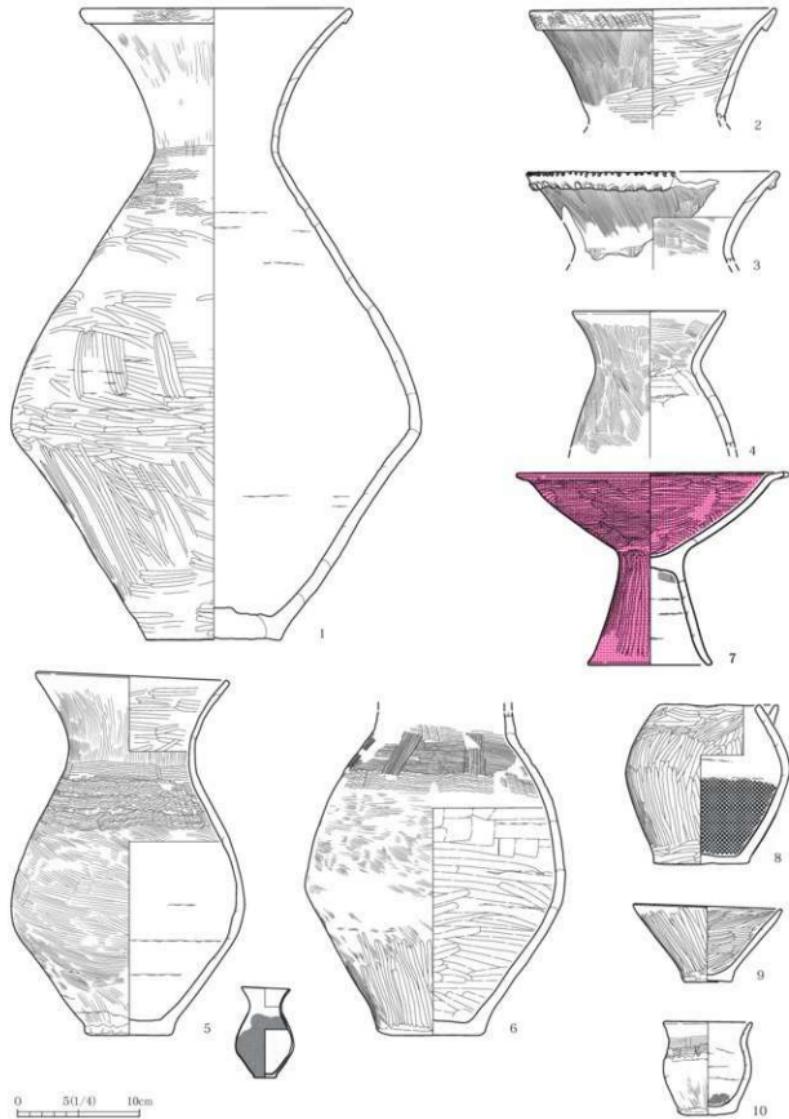
第65表 3号・5号・6号・9号・13号溝、1号古墳土層注記

目次名	平面形態	規 則				規 則	規 則				規 則	規 則		
		長軸m	短軸m	深さm	短軸cm		長軸cm	深さcm	主軸方向	規則性 (手の曲筋)				
1往 方舟?	<4.46m 7.00	5.40 4.96	20 32	14 14	*	NN28° NN22°	24°	4 5	4 5	6:外側主柱(2列壁等) 8:北側主柱(2列壁等) 9:北側主柱(2列壁等) 10:北側主柱(2列壁等)	52	52	參生 HAB-46他 HAB-15 HAB-16 HAB-70 3号柱上部 他	
2往 大型船底方形	(0.04)	5.16	-	-	*	NN43° NN25°	4	1 3	1 3	8:北側主柱(2列壁等) 9:北側主柱(2列壁等) 10:北側主柱(2列壁等)	-	-	參生 HAB-69他 HAB-71 HAB-70 3号柱上部 他	
3往 大型船底方形	9.50	5.32	-	-	*	NN43° NN25°	4	1 3	1 3	8:北側主柱(2列壁等) 9:北側主柱(2列壁等) 10:北側主柱(2列壁等)	42	32	參生 HAB-69他 HAB-71 HAB-70 3号柱上部 他	
4往 大型船底方形	10.70	7.00	40	14	*	NN43° NN25°	4	1 3	1 3	8:北側主柱(2列壁等) 9:北側主柱(2列壁等) 10:北側主柱(2列壁等)	-	-	參生 HAB-69他 HAB-71 HAB-70 3号柱上部 他	
5往 大型船底方形	6.40	5.40	-	-	*	NN15°	4	1 4	1 4	1 4	-	32	26	參生 HAB-71 HAB-72 HAB-73 HAB-74 HAB-75 HAB-76 HAB-77他 3号柱上部 他
6往 不明	-	-	20	4	*	-	-	4	-	-	-	-	-	參生 HAB-43 1號上部 他
7往 大型船底方形	<8.03 8.00	7.24 7.00	22 40	10 14	*	NN40° NN31°	4	4 3	4 3	7:北側主柱(2列壁等) 8:北側主柱(2列壁等) 9:北側主柱(2列壁等)	56	52	參生 HAB-65他 HAB-66他 HAB-67他 7号柱上部 他	
8往 不明?	<5.44 (7.08)	-	-	-	*	-	-	24	-	-	-	-	-	參生 HAB-62 3號上部 他
9往 不明?	4.92	3.40	32	24	*	NN40°	-	-	-	-	-	-	-	參生 HAB-29 2號上部 他
10往 中型船底方形	8.34	5.32	34	18	*	NN57°	4	3	6:外側主柱(2列壁等) 7:北側主柱(2列壁等) 8:北側主柱(2列壁等)	68	52	14 參生 HAB-90 2號上部 他		
11往 大型船底方形	6.86	6.36	34	8	*	NN33°	4	4 3	4 3	4:1:北側主柱(2列壁等) 8:北側主柱(2列壁等)	62	46	參生 HAB-50 1號上部 他	
12往 大型船底方形	7.74	6.20	36	28	○	NN14°	4	3	5:13:庄子門口	-	40	38	參生 HAB-68他 14号柱上部 他	
13往 不明	-	-	18	16	*	-	-	-	-	-	-	-	-	參生 HAB-68 13号柱上部 他
14往 中型船底方形	(4.98)	4.40	30	26	*	NN11°	364	3	-	-	-	-	-	參生 HAB-25他 5號6號上部 他
15往 中型船底方形	(4.52)	3.80	22	16	*	NN15°	344	3	-	-	-	-	-	參生 HAB-24 17号柱上部 他
16往 中型船底方形	6.45	<24.25	54	42	*	NN22°	240	-	4:北側主柱(2列壁等)	-	-	-	-	參生 HAB-24 17号柱上部 他
17往 大型船底方形	6.40	5.48	64	12	*	NN35°	4	5	4	-	36	34	參生 HAB-15 2号柱上部 他	
18往 中型船底方形	4.86	3.28	50	50	*	NN61°	2	-	9:柱六間中央(2列壁等)	-	-	-	-	參生 HAB-83 他
19往 大型船底方形	6.56	5.40	36	20	*	NN49°	6	2	9:北側主柱(2列壁等)	-	-	-	-	參生 HAB-22他 21号柱上部 他
20往 大型船底方形	9.12	6.04	58	0	*	NN11°	4	2	3:1:北側主柱(2列壁等) 8:北側主柱(2列壁等)	-	-	-	-	參生 HAB-32他 36号柱上部 他
21往 大型船底方形	5.14	3.00	16	14	*	NN45°	4	3	1:北側主柱(2列壁等)	-	38	30	參生 HAB-10他 25号柱上部 他	
22往 大型船底方形	7.32	5.76	30	22	*	NN17°	4	4	1:北側主柱(2列壁等) 8:北側主柱(2列壁等)	-	-	-	-	參生 HAB-29他 22号柱上部 他
23往 大型船底方形	10.08	5.86	56	50	○	NN15°	34	4	9:1:北側主柱(2列壁等) 8:北側主柱(2列壁等)	56	40	參生 HAB-87他 4號上部 他		
24往 大型船底方形	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	參生 HAB-65他 4號13號上部 他
25往 方舟?	<5.48	-	-	-	-	-	-	24	-	-	-	-	-	參生 HAB-37他 25号柱上部 他
26往 大型船底方形	<5.48	4.44	44	36	*	NN23°	24	-	北側主柱(2列壁等)	-	-	-	-	參生 HAB-37他 25号柱上部 他
27往 不明?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	參生 HAB-29 26号柱上部 他
28往 不明?	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	參生 HAB-29 26号柱上部 他

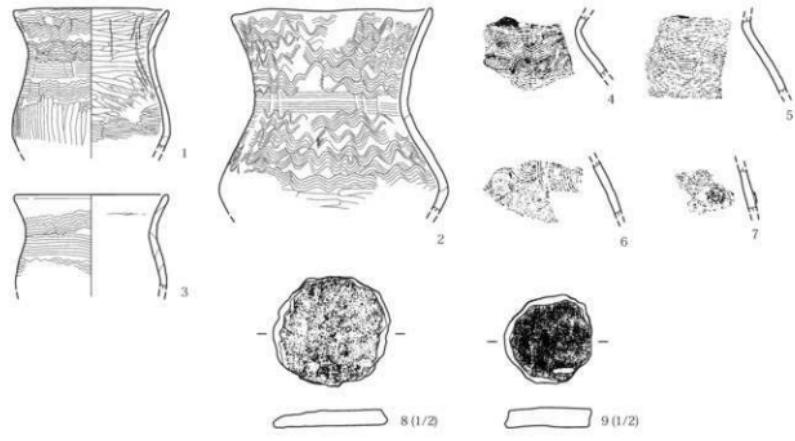
第66表 漢遺跡遺構觀察表(1)

柱位名	平面形態			縦			横			柱位名			縦			横			柱位名				
	其他のm	其他のm	其他のm	柱幅c mm	柱幅c mm	柱幅c mm	柱幅c mm	柱幅c mm	柱幅c mm	柱位名	柱幅c mm												
29 住 大型柱(左) 9.46	65.18	0	34	26	*	NW25*	4	4	6	34	46	34	-	住生	117.01	117.01	6.7	9.46	117.02	117.02	6.7	9.46	
30 住 大型柱(右) 9.58	65.44	0	52	34	*	NW17*	26.0	3	-	46	40	28	-	食生	117.45	117.45	5.6	9.58	117.45	117.45	5.6	9.58	
31 住 大型柱(左) 6.60	4.80	0	46	34	*	NW75	4	4	2	46	44	44	-	住生	115.75	115.75	115.75	115.75	115.75	115.75	115.75	115.75	
32 住 方形?	-	-	-	30	26	*	-	148	-	148	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
33 住 方形?	45.05	7.56	46	36	*	NW38	26.0	4	6	13	11	11	6.4	住生	117.16	117.16	10.48	11.11	11.16	11.16	10.48	11.16	
34 住 大型柱(右) 10.22	7.14	0	36	38	*	NW44*	26.0	4	4	50	54	-	-	住生	117.68	117.68	10.48	11.11	11.16	11.16	10.48	11.16	
面立名																							
面立名																							
1号																							
2号																							
3号																							
4号																							
5号																							
6号																							
7号																							
8号																							
9号																							
10号																							
11号																							
12号																							
13号																							
14号																							
15号																							
16号																							
17号																							

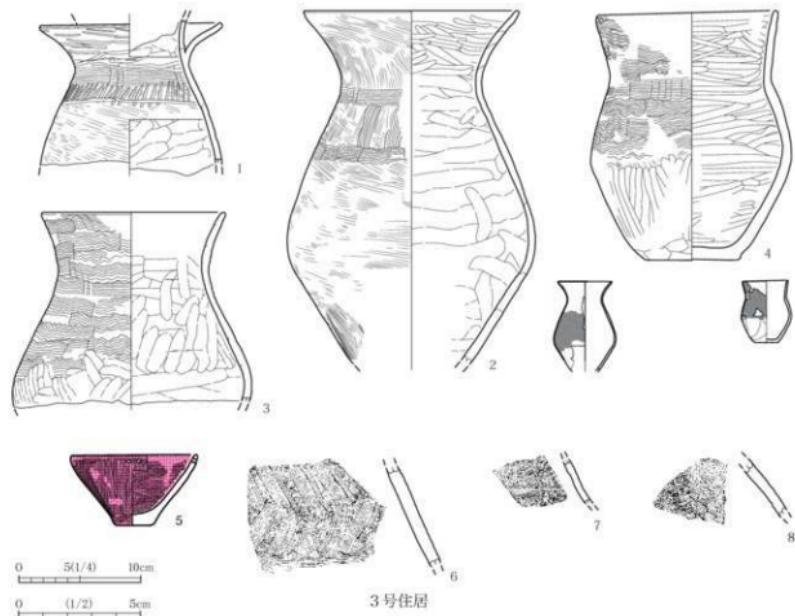
第67表 滝壺所遺構観察表(2)



第128図 遺物集中地点出土土器実測図

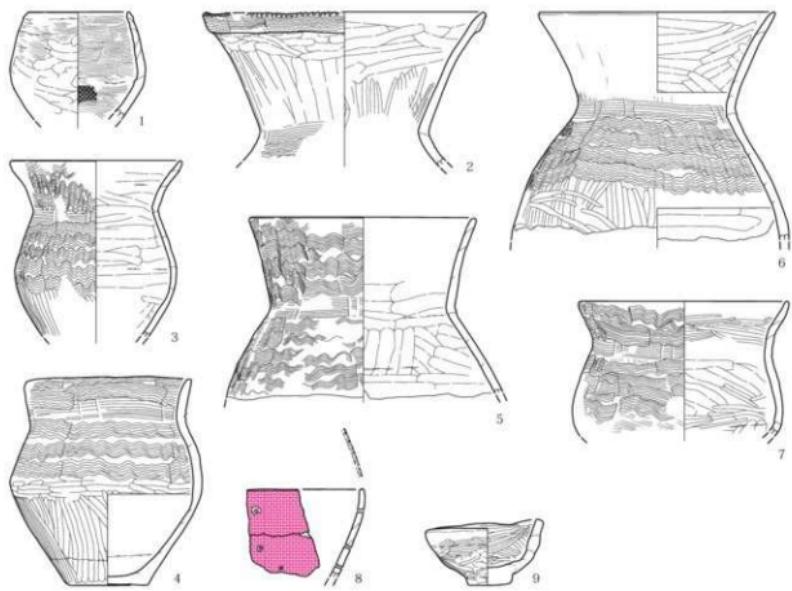


2号住居

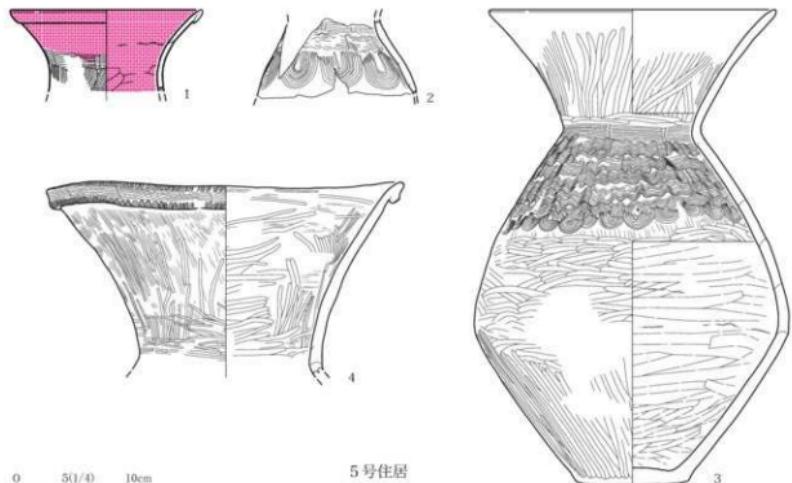


3号住居

第129図 2号・3号住居址出土土器実測図

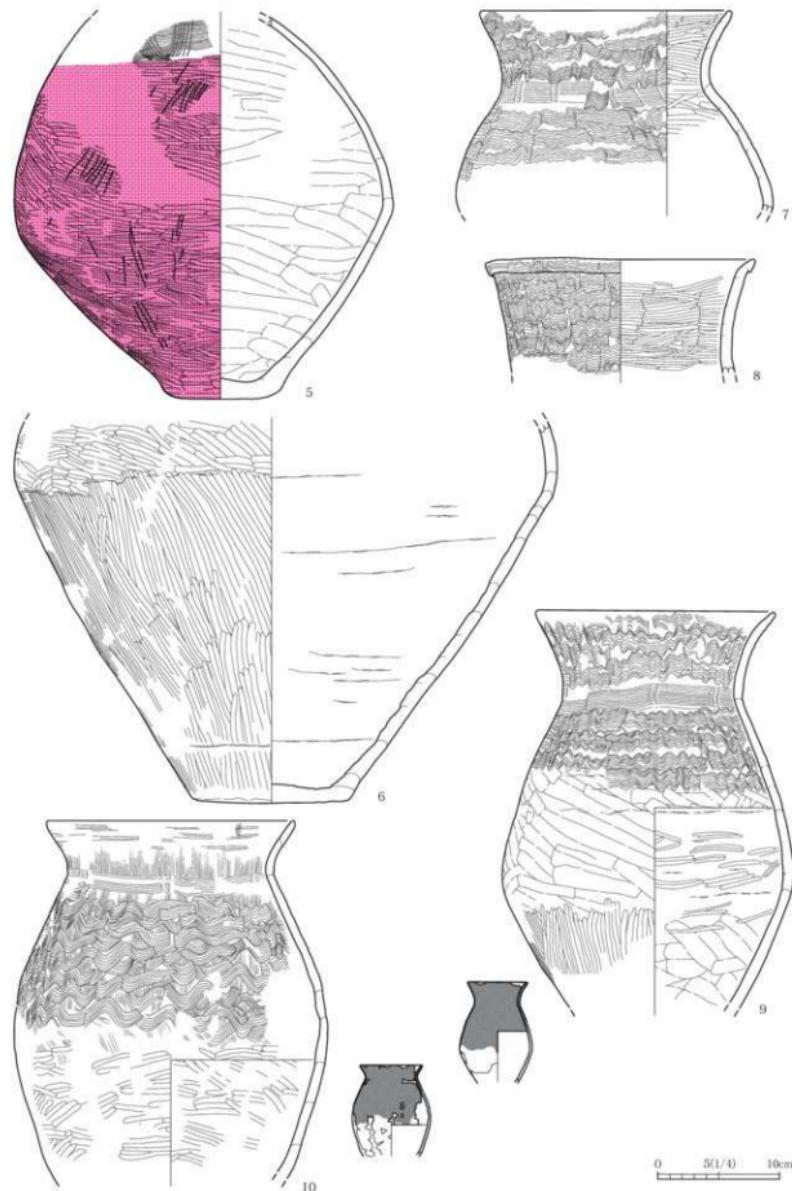


4号住居

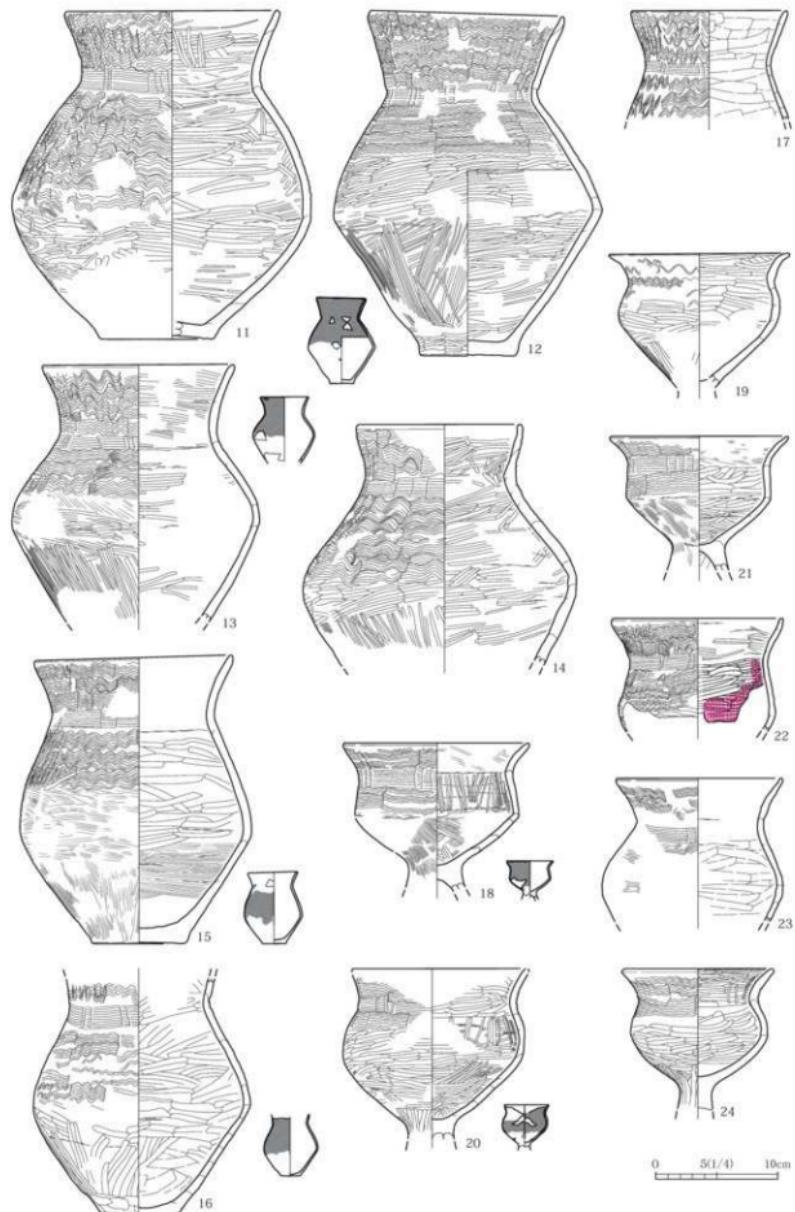


5号住居

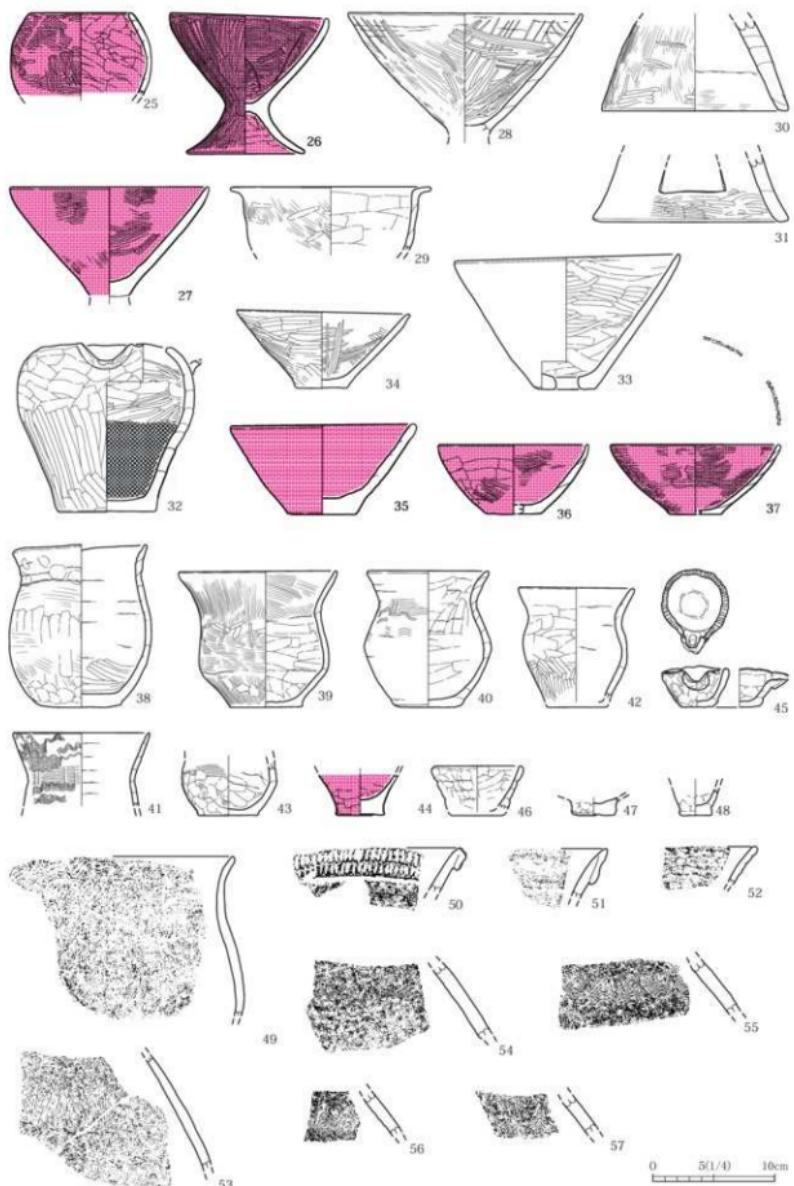
第130図 4号・5号住居出土土器実測図



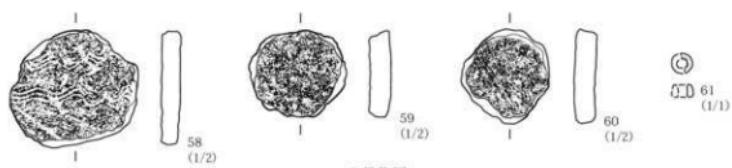
第131図 5号住居址出土土器実測図(1)



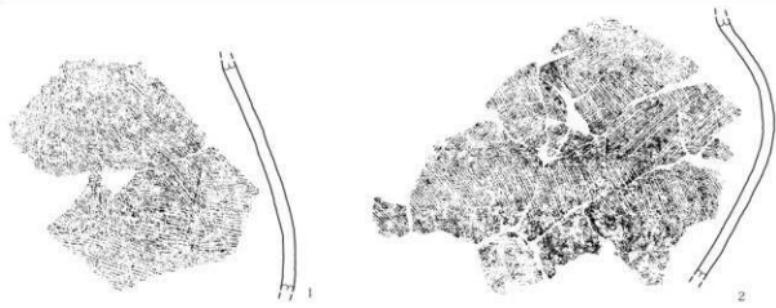
第132図 5号住居址出土土器実測図(2)



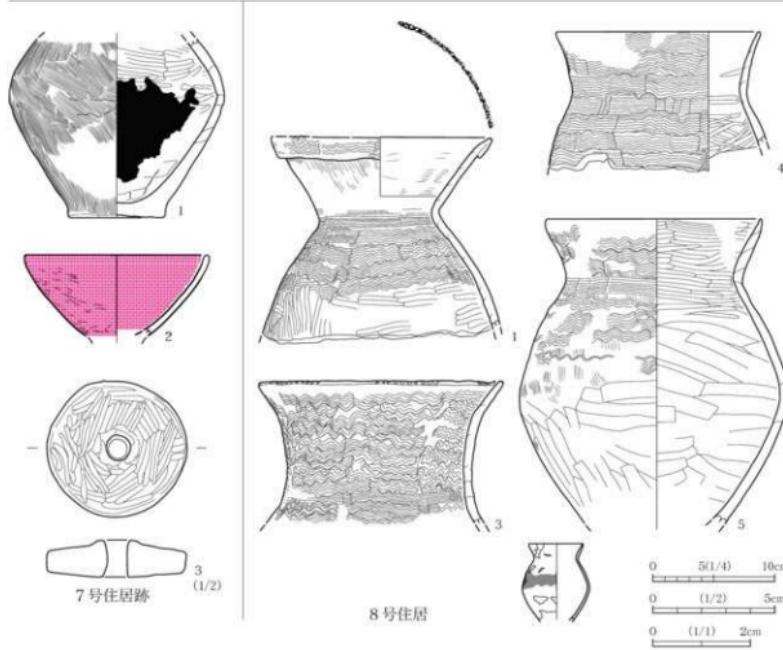
第133圖 5號住居址出土土器實測圖(3)



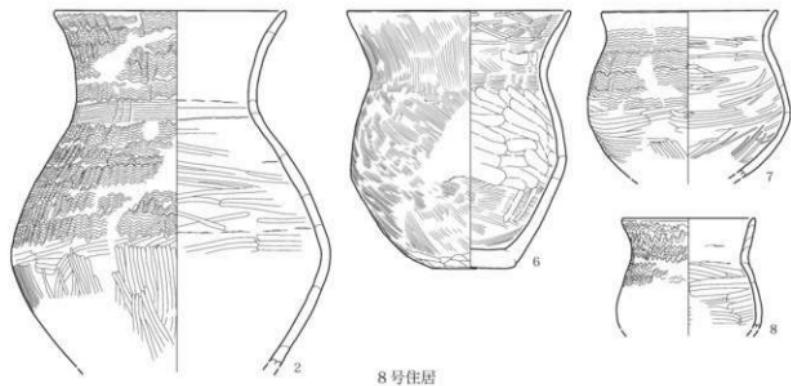
5号住居



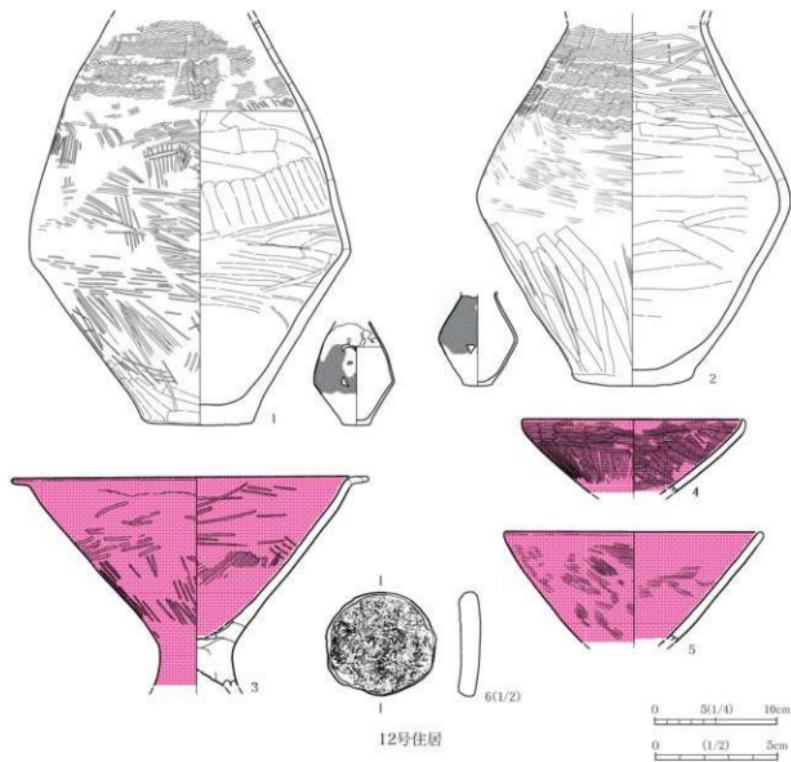
6号住居



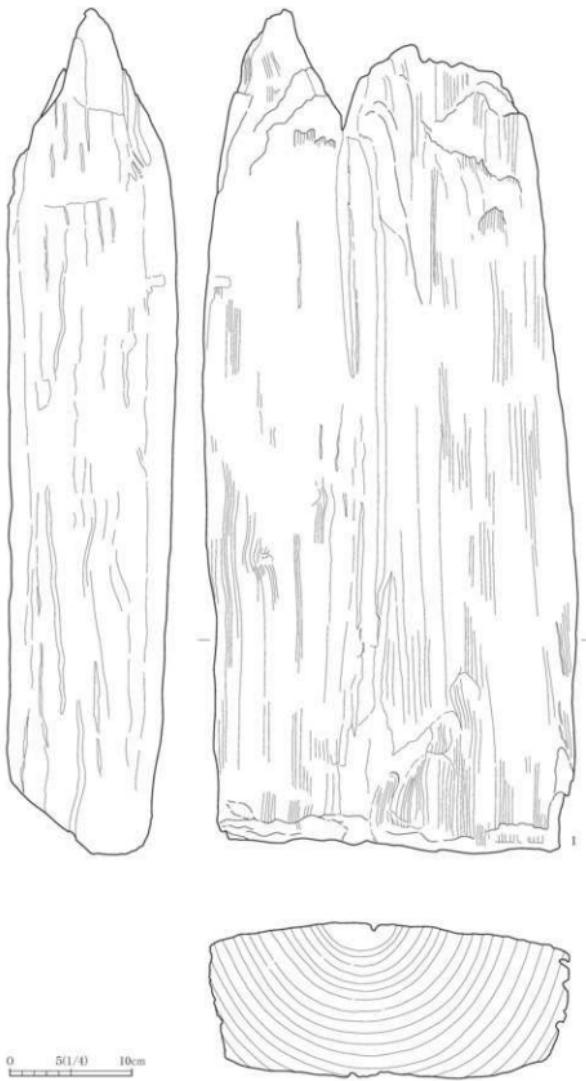
第134図 5～8号住居址出土土器実測図



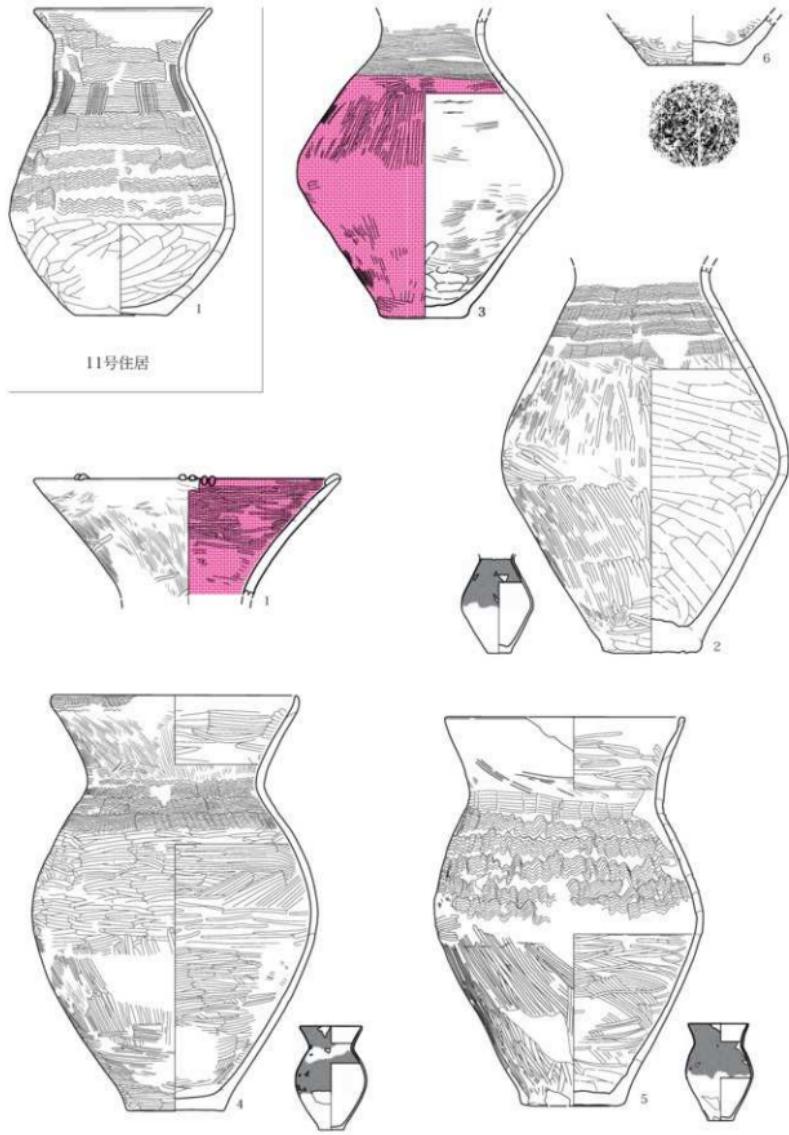
8号住居



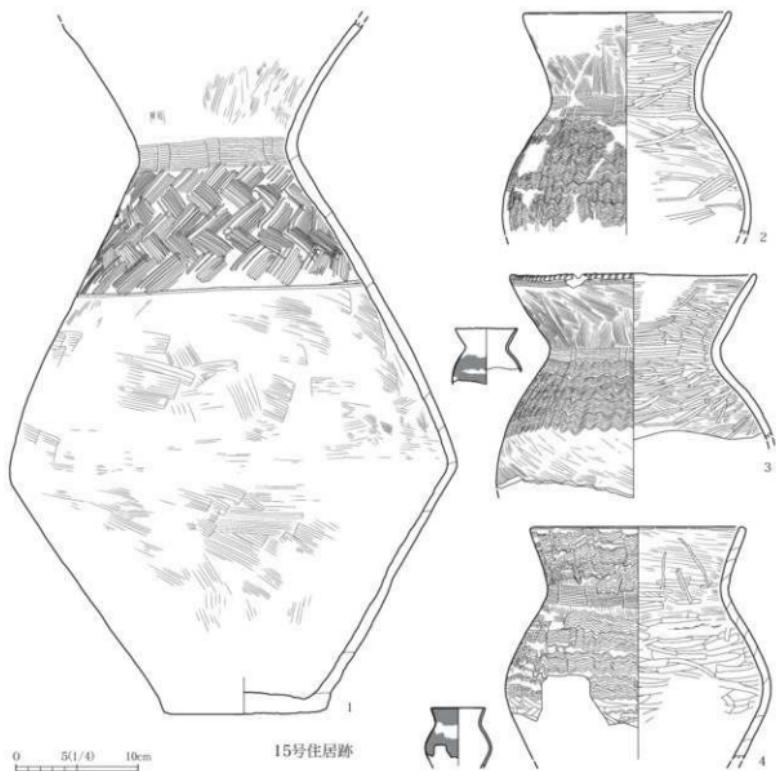
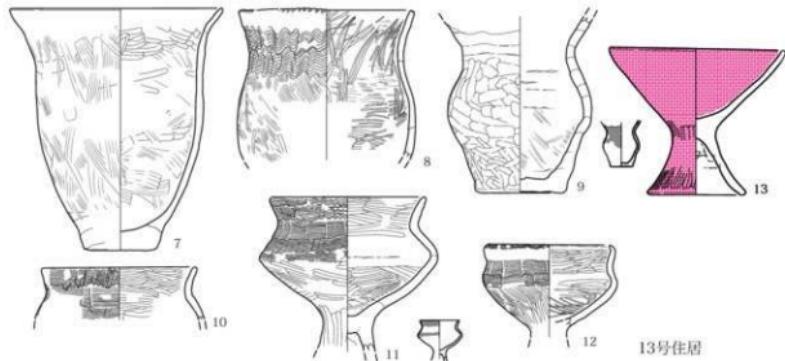
第135図 8号・12号住居址出土土器実測図



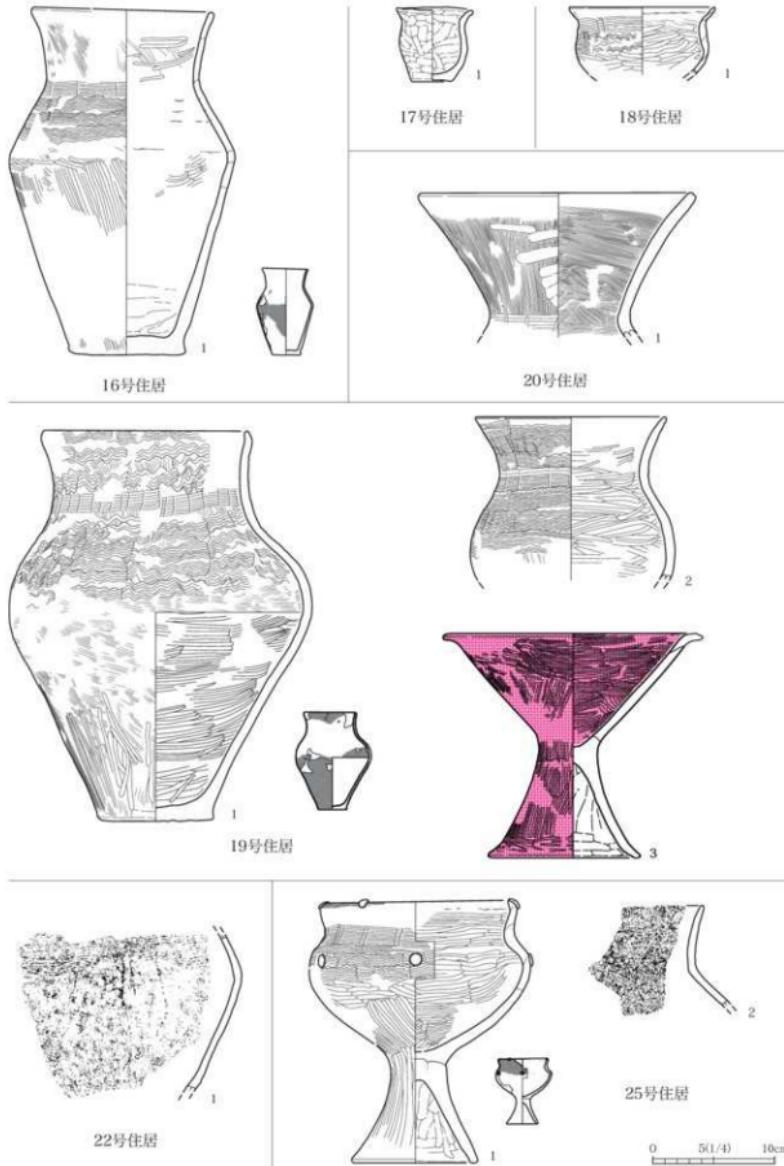
第136圖 9號住居址出土柱材實測圖



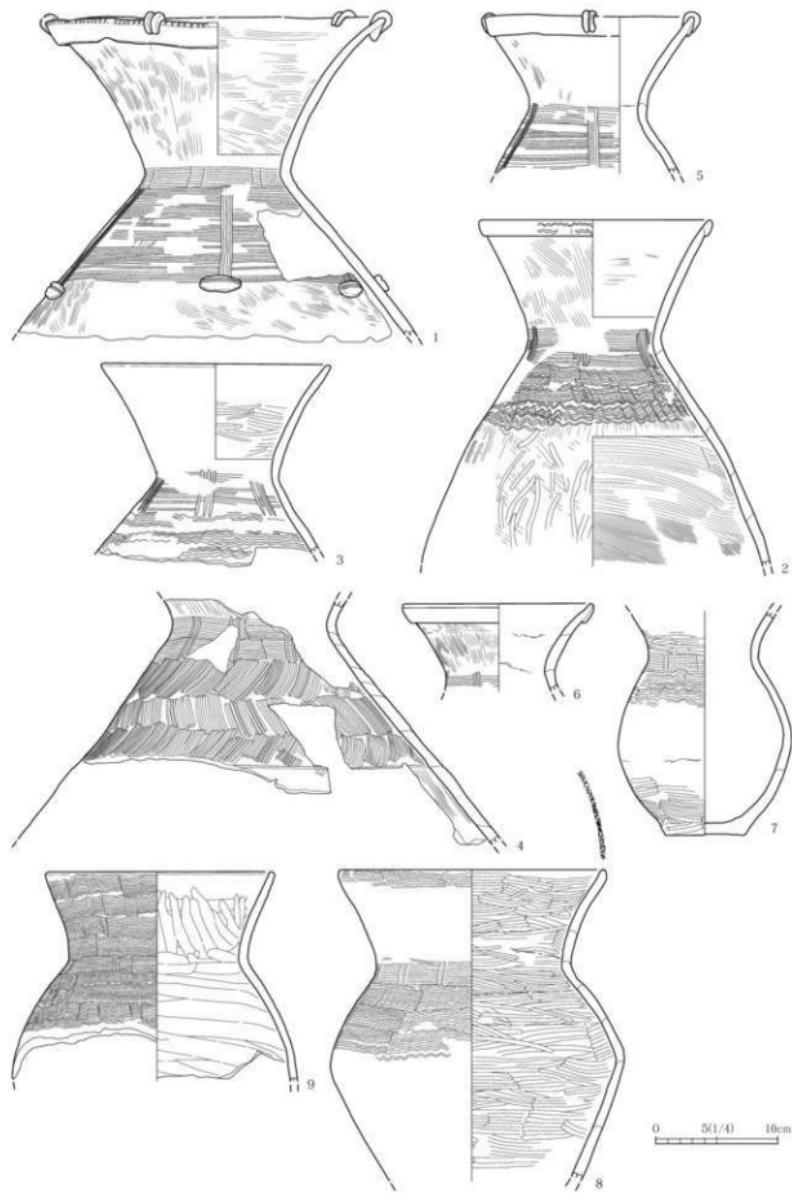
第137図 11号・13号住居址出土土器実測図



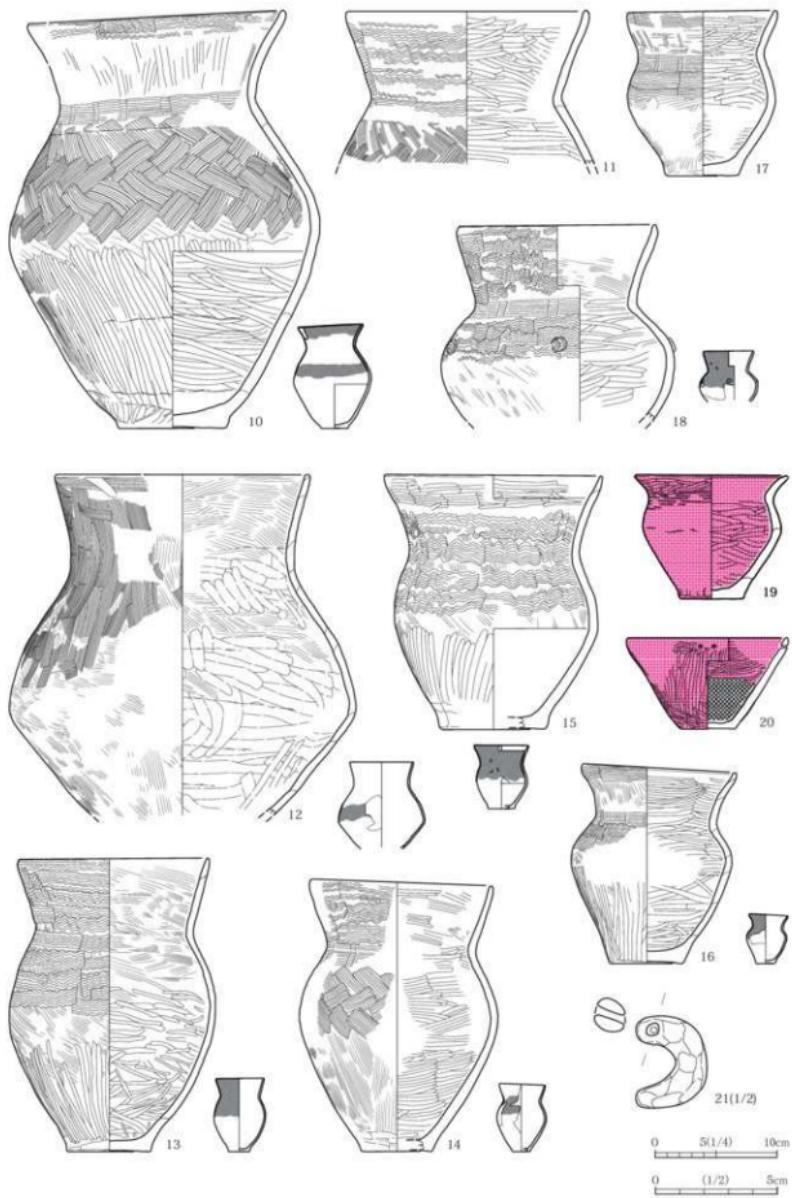
第138図 13号・15号住居址出土土器実測図



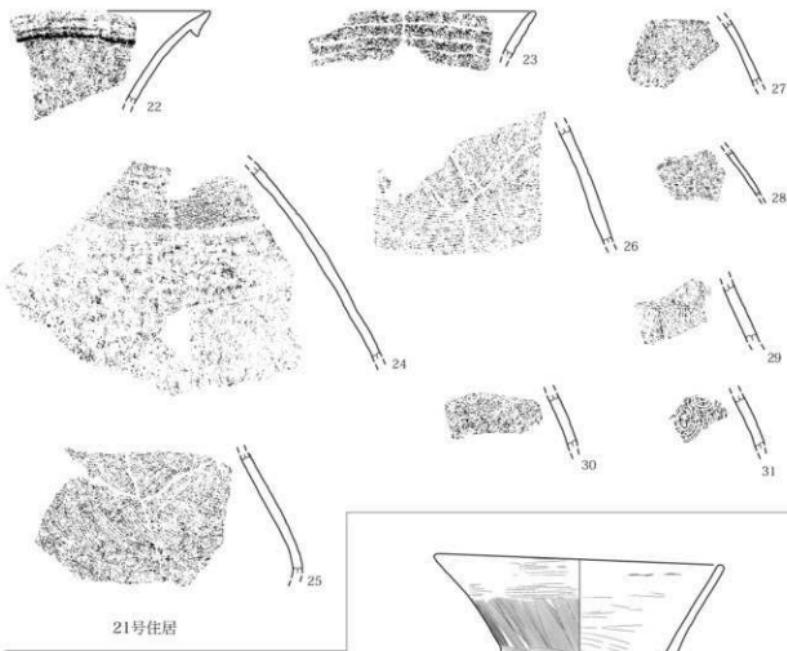
第139図 16~20号・22号・25号住居址出土土器実測図



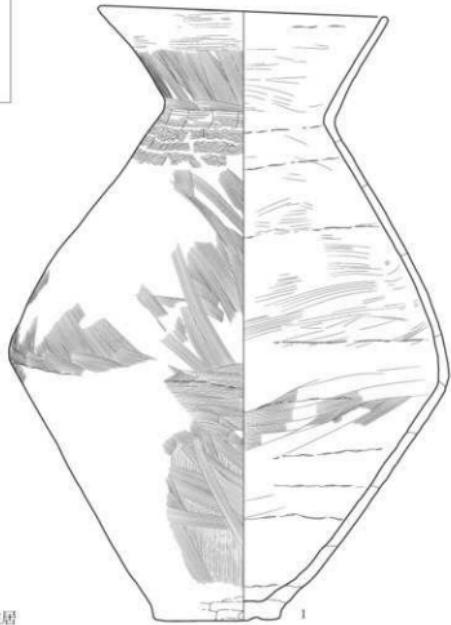
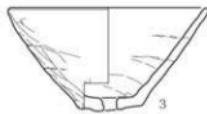
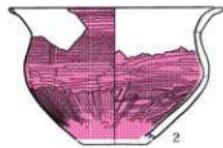
第140図 21号住居址出土土器実測図（1）



第141図 21号住居址出土土器実測図（2）



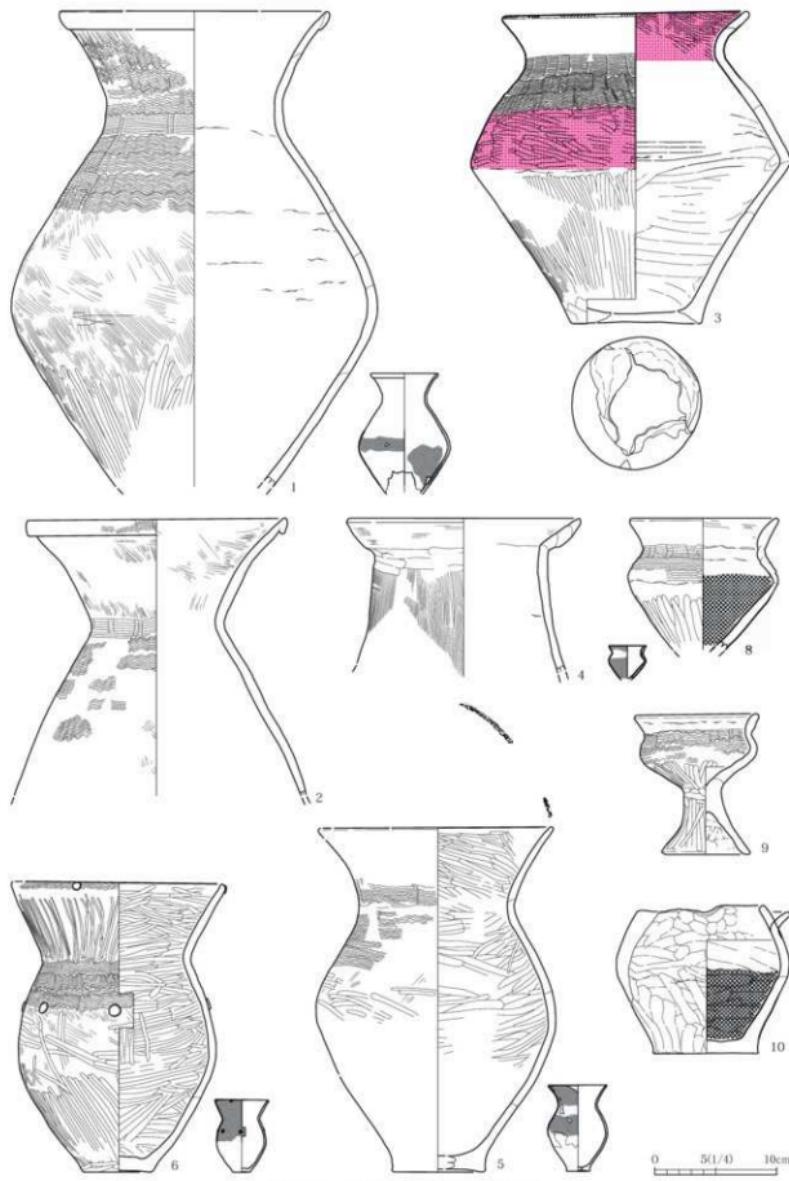
21号住居



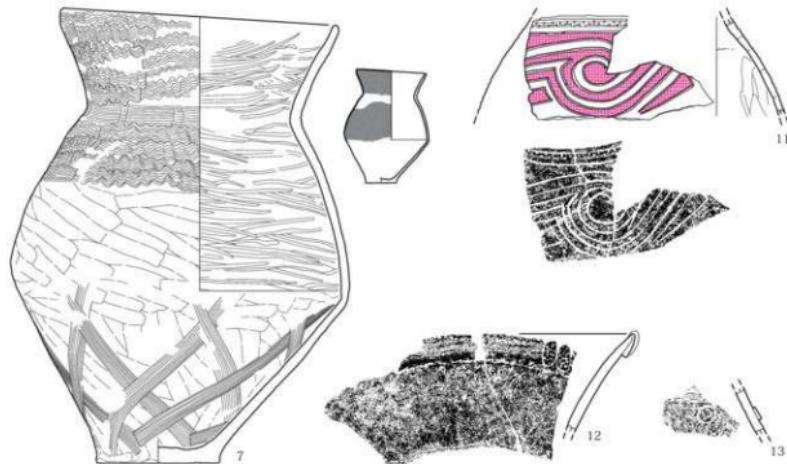
23号住居

0 5(1/4) 10cm

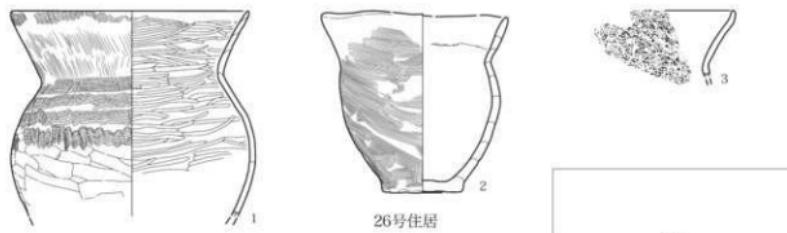
第142図 21号・23号住居址出土土器実測図



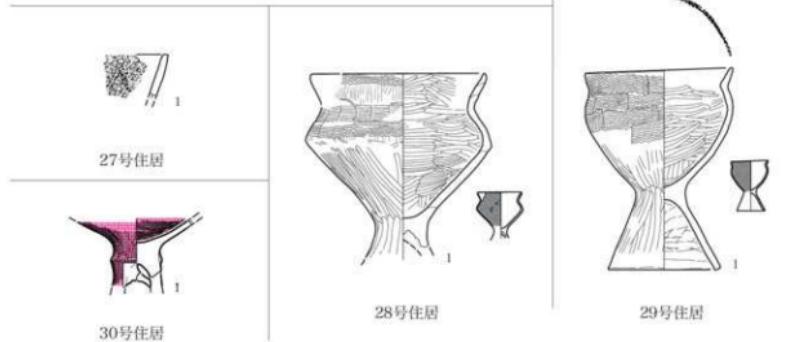
第143图 24号住居址出土土器实测图



24号住居

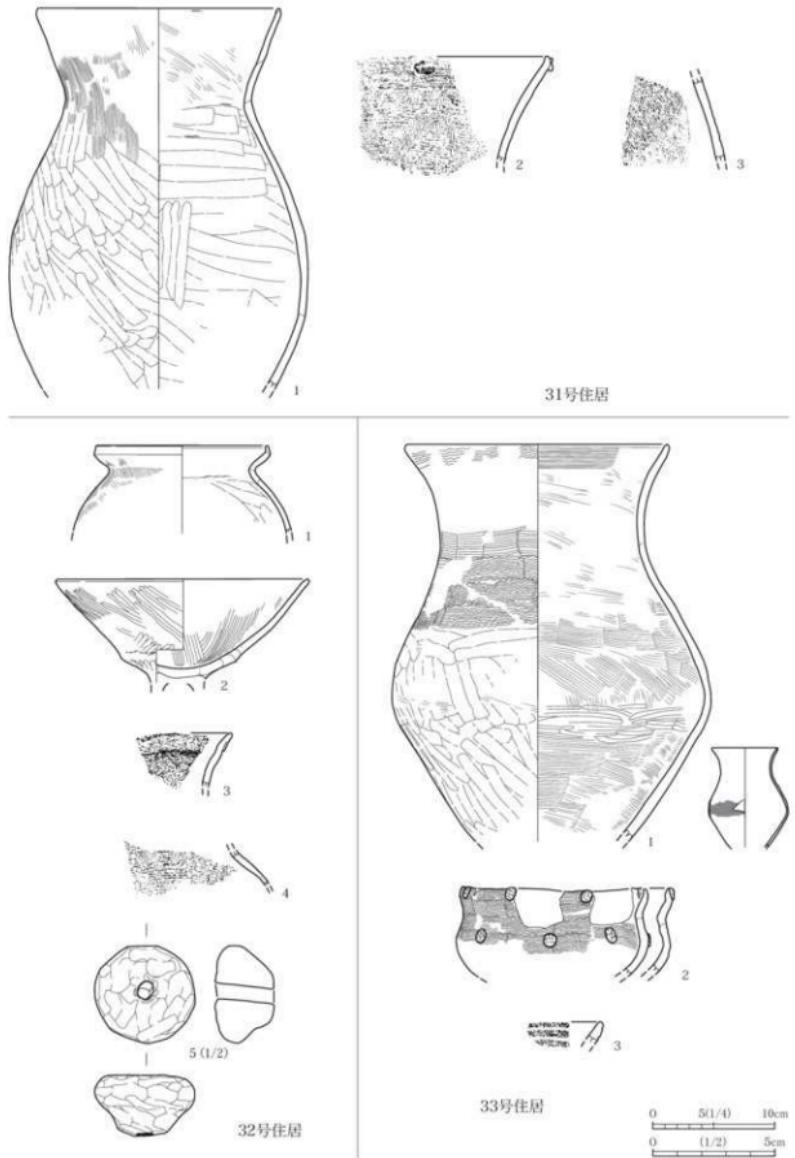


26号住居

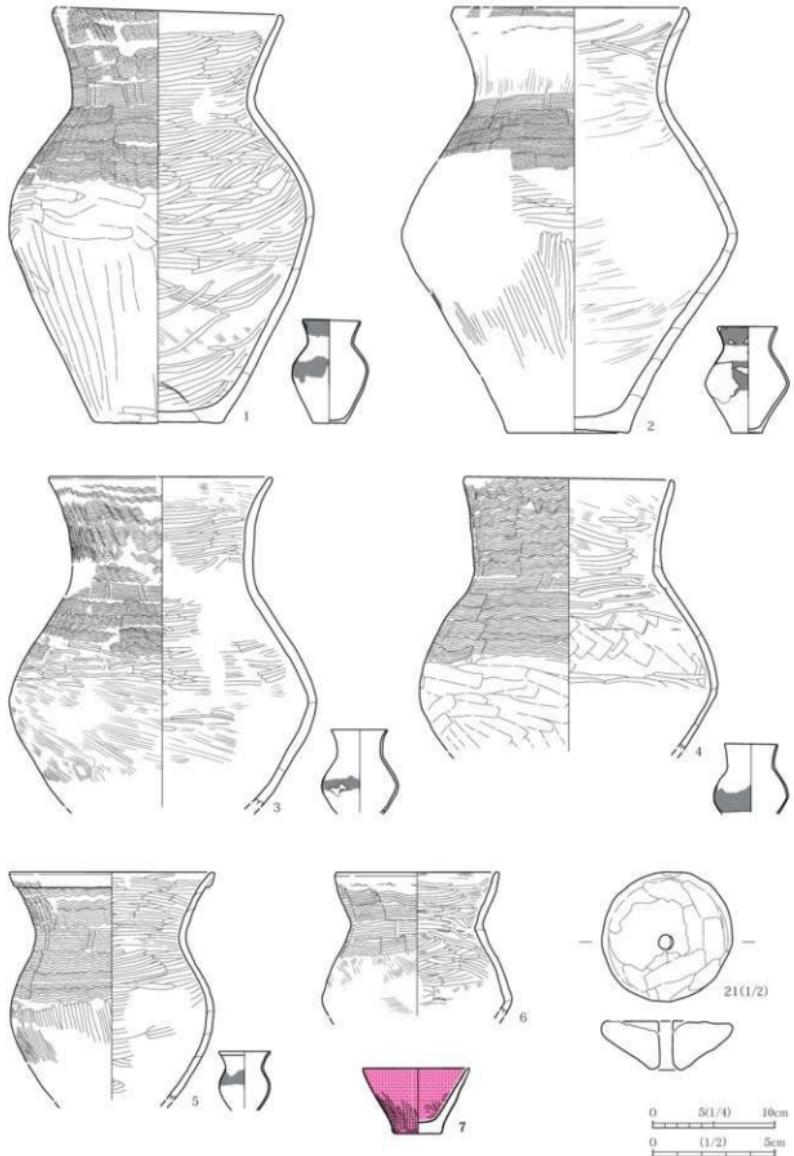


0 5(1/4) 10cm

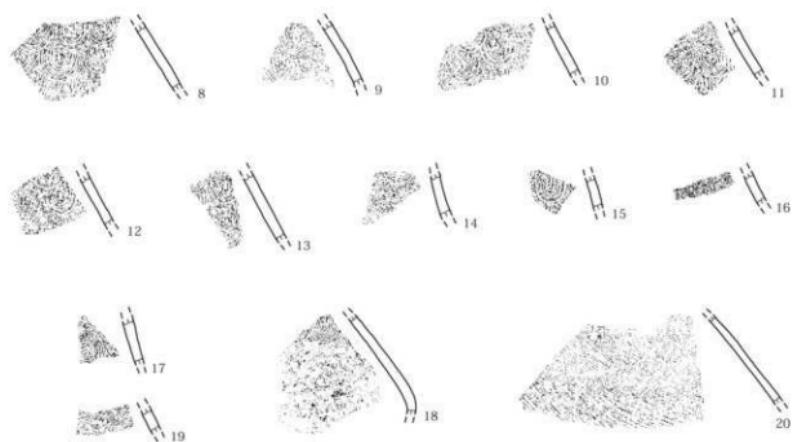
第144図 24号・26~30号住居址出土土器実測図



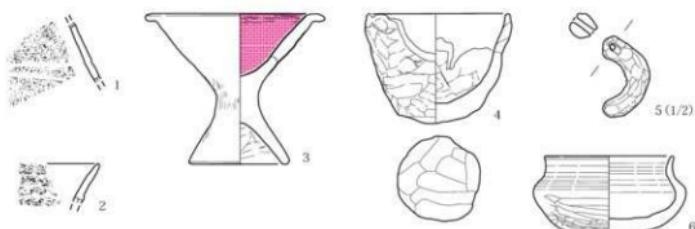
第145図 31~33号住居址出土土器実測図



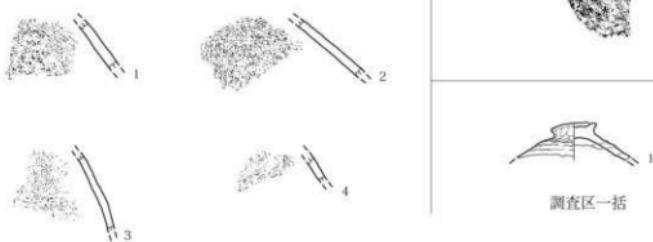
第146图 34号住居址出土土器实测图



34号住居



溝



古墳



調査区一括

0 5(1/4) 10cm  
0 (1/2) 5cm

第147図 34号住居址、溝、古墳、一括出土土器実測図

## 遺物集中地点

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成色調3船玉残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	舟生上湯 東	口径 (22.4) 底径 11.0 高さ 51.9	①普通芯にぶい黄褐色②砾石・片岩・チャート・パミスの粗・細砂③口縁部～ 底部 1/2	外面 口縁折り返して、1段の波状文 (6 倍以上)、底部縦刷毛目→2 次 止漸状文 (7 倍 /12mm)→肩部 2 段の波状文 (7 倍 /12mm)、肩部撫で→ 多方向の捺引き、底部捺引き消滅。 内面 口部側面刷毛目有無、底部横刷毛目。 内面 口縁折り返して、砾石で一上端部残具による痕み (左→右)、下端 底続する加圧 (左→右)、底部縦刷毛目→撫で→2 次以上の多道止漸状文。 内面 口縁折り返して、底部横刷毛目。	3 区
2	舟生上湯 東	口径 29.3	①普通芯にぶい黄褐色 ②石英・輝石・赤粒・パミスの細砂 ③口縁部 1/2	外面 口縁折り返して、砾石毛目→1 段の横筋波状文 (6 倍)、底部縦刷 毛目→横筋波状文 3 次 波状文 (5 倍以上)。 内面 口縁折り返して、砾石毛目→砾 石磨き。	3 区
3	舟生上湯 東	口径 (20.40) 底径 10.0 高さ 49.0	①普通、口縁部内面に黒炭芯にぶい黃褐色 ②石英・チャート・パミス・粗砂の粗 細砂③口縁部 1/3	外面 口縁折り返して、砾石で一上端部残具による痕み (左→右)、下端 底続する加圧 (左→右)、底部縦刷毛目→撫で→2 次以上の多道止漸状文。 内面 口縁折り返して、底部横刷毛目。	3 区
4	舟生上湯 東	口径 12.5 底径 7.0 高さ 29.7	①普通、側面外周端にぶい黄褐色 ②石英・チャート・パミスの細砂 ③口縁部→削除上半	外面 口縫部斜材具小口による撫で→底部→側面横刷毛目。 外面・内面 口縫部斜材具小口による撫で。	3 区
5	舟生上湯 東	口径 16.0 底径 7.1 高さ 29.7	①普通、外周削除下端～底部黒炭 ②石英・チャート・パミスの細砂 ③口縁部 1/4	外面 口縫部黒炭で、底部→削除上口縫部毛目→底部 4 分割の 2 次止漸 状文 (8 倍 /1mm)→肩部 3 段の横筋波状文 (6 倍 /10mm, 上→下)、脚 部以下横筋波状文→砾石毛目、底部黒炭有無で削除済み、削除上位から中位付 着。内面 口縫部黒炭で、底部横刷毛目、刮削ナダ。	3 区
6	舟生上湯 東	口径 8.9 底径 4.9 高さ 29.7	①普通、外周削除下端～底部黒炭 ②石英・輝石・砾石・片岩・赤粒・パ ミスの細砂 ③削除の一部と口縁部欠損	外面 底部 3 次止漸状文 (10 倍 /17mm)→肩部 3 段の横筋波状文 (上→下) →下端部横筋波状文区段 (10 倍 /17mm)→肩部 3 次止漸状文 (10 倍 /17mm), 削除上半部横筋波状文→砾石毛目→横筋波状文。 内面 削除上部は墨無で、下平板と具小口による撫で。	3 区
7	舟生上湯 東	口径 12.0 底径 16.2 高さ 29.7	①普通赤色 ②片岩・チャート・パミスの粗・細砂 ③口縁部・部欠損	山形に 2 等分以上の山形突起。 外面 斜材具小口による撫で。	3 区
8	舟生上湯 口井跡	口径 8.2 底径 7.7 高さ 13.1	①普通、側面～底部外周に黒炭芯にぶい黄褐色 ②石英・輝石・砾石・パミスの粗・細砂小 形 ③削除の一部	外面 口縫部斜材具小口による撫で、底部中位黒炭 3 次→底部と側 面下部横筋波状文、側面の下方にばらな横筋波、側面に削付着。 内面 横筋波状文、削除上位以下に白色物付着。	3 区
9	舟生上湯 跡	口径 12.2 底径 6.6 高さ 6.4	①普通、口縫部内外黒炭帯にぶい黄褐色 ②石英・輝石・砾石・片岩の粗・細砂小 形 ③削除の一部	口縫部取り除き、外面 口縫部斜材具小口による撫で、底部縦刷毛目 →横筋波状文、底部横筋波状文。	3 区
10	舟生上湯 ミニチュア (盤)	口径 7.3 底径 4.9 高さ 7.7	①普通、外周削除下～底部黒炭 ②にぶい黄褐色③石英・輝石・チャート・ パミスの粗・細砂完形	外面 口縫部黒炭で、底部 6 分割の 2 次止漸状文 (4 倍 /6mm)→削除部 状文 (4 倍 /6mm)、側面縦刷毛目→撫で、底部黒炭で後に粘土層。 内面 口縫部上部黒炭、側面横筋波状文、刮削ナダ付着。	3 区

## 2号住居

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成色調3船玉残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	舟生上湯 東	口径 (12.5) 底径 10.0 高さ 29.7	①普通 2 次黄褐色③石英・片岩の細砂 ④口縫部～削除部 1/2	外面 口縫部→底部横筋波状毛目→底部 2 次止漸状文 (17 倍 /15mm)→13 次 止漸状文 (6 倍 /12mm, 上→下)、肩部 1~2 段の波状文 (6 倍 /12mm), 底部横筋波状文。 内面 削除斜材具毛目→砾石→横筋波状 毛目→砾石横筋波状文。	北西壁沿い 床面
2	舟生上湯 東	口径 16.5 底径 14.0 高さ 29.7	①普通 2 次にぶい黄褐色③石英・片岩の粗 砂④口縫部～削除部 1/2	外面 口縫部横筋波状→底部 2~3 次止漸状文 (7 倍 /16mm)→13 次 止漸状文 (5 倍 /9mm, 上→下→上)、肩部 5~6 次の波状文 (5 倍 /9mm, 上→下→上)、削除横筋波状文。 内面 口縫部→底部横筋波状毛目→砾石横 筋波状文。	脚踏 床面
3	舟生上湯 台付腰	口径 (12.7)	①普通 2 次にぶい褐色③石英・角閃石の粗 砂④口縫部～削除部 1/2	外面 口縫部横筋波→底部横筋波→6 次止漸状文 (8 倍 /16mm)→13 次 止漸状文 (6 倍 /13mm)→底部横筋波状文、底部横筋波状文。	脚踏 床面
4	舟生上湯 東	口径 7.7 底径 7.7 高さ 29.7	①普通 2 次にぶい黄褐色③片岩・パミスの 粗砂→細砂④底部削除	外面 底部 2 次止漸状文→肩部 2~3 次止漸状文 (7 倍 /16mm)→13 次 止漸状文 (7 倍 /13mm) で丸洗、口縫部墨水跡。 内面 口縫部横筋波状→砾石横筋波状文。	覆土
5	舟生上湯 東	口径 7.7 底径 7.7 高さ 29.7	①普通 2 次にぶい黄褐色③石英・片岩・チャート・ パミスの粗・細砂④底部削除	外面 刷毛→削除 4 次の横筋波状文 (上→下)→削除下部波状文→底部 横筋波状文、刷毛は 9 倍 /14mm で共通。 内面 刷毛→底部横筋波状。	覆土
6	舟生上湯 東	口径 7.7 底径 7.7 高さ 29.7	①普通 2 次黄褐色③チャート・パミス・ 赤粒の粗砂→細砂④底部削除	外面 口縫部横筋波状文。 内面 刷毛→底部横筋波状。	覆土
7	舟生上湯 東	口径 7.7 底径 7.7 高さ 29.7	①普通 2 次にぶい黄褐色③石英・パミスの 粗砂→細砂④底部削除	外面 口縫部 2 次以上の波状文 (8 倍 /11mm)→門形刷毛文→塗付文に剥落。 内面 刷毛→底部横筋波状。	覆土

8 加工凹槽  
削除部分の縁跡を打ち欠く。全体に磨滅。9 加工凹槽  
擦ないし面の削除部分の縁跡を打ち欠く。側面の一部に研磨痕。

## 3号住居

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成色調3船玉残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	舟生上湯 異形腰	口径 15.0 底径 11.0 高さ 51.9	①普通、削除系頂丸底浅黄褐色③石英・角 閃石・パミスの細砂多い④口縫部と削除 部中位以下欠損	口縫部と削除部横筋毛目→底部横筋波状文 (8 倍 /16mm)、底部 横筋波状→砾石横筋波状、底部 5 分割の 2~3 次止漸状文 (8 倍 /14mm) →削除横筋波状文 (右→左)→3 分割の横筋横刷毛 (右→左)、削除横 筋波状毛目。内面 無。	西壁近い 床面
2	舟生上湯 東	口径 (17.40) 底径 11.0 高さ 51.9	①普通 2 次にぶい黄褐色③石英・角閃石・ パミスの細砂多い④【舟の異形】と同質 ⑤口縫部～削除下半 1/2	外面 口縫部横筋毛目、底部→底部横筋毛目→13 次 2 次止漸状文→肩部 2 次止漸状文 (8 倍 /12mm)→削除 4 次下端部波状文 (8 倍 /12mm)、削除部 横筋毛目→砾石横筋波状、削除中位付着。 内面 口縫部横筋毛目→砾石横筋波状、底部無。	南部床面 + 4 号住居跡
3	舟生上湯 東	口径 15.2 底径 11.0 高さ 51.9	①普通 2 次にぶい黄褐色③石英・角閃石・ パミスの細砂多い④【舟の異形】と同質 ⑤口縫部～削除下半 1/2	口縫部の横筋毛目、削除部→底部横筋毛目→底部横筋波状 (左→右)、削除部 横筋毛目→砾石横筋波状、底部無。	西壁近い 床面

第68表 遺物集中地点、2号・3号住居出土土器観察表

## 3号住居

番号	面 種	法量 (cm)	①焼成赤色調3船土残存	或・整形技法の特徴	出土位置
4	弥生上層 壁	口径 14.9 底径 7.8 高さ 25.0	①普通にぶい黄褐色②片刃・赤鉄・ バニスの粗・細砂多い③口縁部～胴部 1/4欠損	外面 口縁部横裁で、底部 6 分割の 2 連止歛状文 (11 倍 /16mm) → 口 縫部 3 段の波状文・胴部 3 段の波状文 (9 倍 /16mm, 上→下)・胴部斜 肩毛目・複数孔き、胴部下端横削ぎ。底部着底と白色物質付着、胴 部中央上端に複数孔き。 内面 口縁部斜伏具小口による椭圓形、底部以下横開窓き、底部無で。	覆土
5	弥生上層 壁	口径 10.4 底径 3.0 高さ 5.8	①普通赤褐色②石英・角閃石・赤鉄・ バニスの粗砂多い③口縁部一部欠損	外面 口縫部 2 孔の小孔 (孔径 3mm)。 内面 口縫部斜伏具毛目→複数孔き・体部下端横開窓き、 底部膨張したが複数孔き、削開。 内面 赤褐色・横開窓き。	覆土
6	弥生上層 壁	口径 ~ 底径 ~ 高さ ~	①普通2浅黃褐色③石英・チャートの粗 ・細砂④胴部破片	外面 脱部斜削毛目→3 段以上の櫛状横羽状文 (9 倍 /13mm) → 脱部下 2 次進化状況。	覆土
7	弥生上層 壁	口径 ~ 底径 ~ 高さ ~	①普通2浅黃褐色③チャート・赤鉄の粗 ・細砂④胴部破片	外面 脱部斜削毛目→底部横模様文→底部斜格子文。 内面 脱部着底と削開。	覆土
8	弥生上層 壁	口径 ~ 底径 ~ 高さ ~	①普通2にぶい黄褐色③角閃石・チャート・ バニスの粗・細砂④胴部破片	外面 脱部斜削毛目→2 段以上の波状文→櫛状凹弧文、側面は 7 倍 /11 mm。 内面 脱部離。	覆土

## 4号住居

番号	面 種	法量 (cm)	①焼成赤色調3船土残存	或・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生上層 無開窓	口径 9.8 底径 ~ 高さ ~	①普通にぶい黄褐色③雲母・チャートの粗 ・細砂④口縁部 1/2	口縫部内外面に拘泥。 外面部横削毛目→口縫部横裁で、胴部横方向削で。 内面 口縫部斜削毛目・側部横削毛目、底部下半に白色物質付着。	ビット
2	弥生上層 壁	口径 (23.3) 底径 ~ 高さ ~	①普通2浅黃褐色③石英・赤鉄・バニスの粗 ・細砂④口縁部 1/2	口縫部斜削毛目→1 段の波状文と口縫部に斜伏具による刻み。 外面部横削毛目で→口縫部横削毛目で、底部 2 連止歛状文 (8 倍 /12mm) → 脱部斜削毛目 (6 倍 /9mm)。	ビット
3	弥生上層 壁	口径 (14.1) 底径 ~ 高さ ~	①普通にぶい黄褐色③片刃・角閃石・ バニスの粗・細砂④口縁部 1/3	外面部 2 次進化状況→口縫部 4 段の波状文 (8 倍 /9mm, 下→上)・ 底部 2 次進化状況→底部 4 段の波状文 (8 倍 /9mm)、底部横開窓き。 内面 口縫部横削で、底部上半横削で、底部下半斜削で。	ビット
4	弥生上層 壁	口径 13.7 底径 6.6 高さ 17.0	①普通、外面部斜下方に黒斑切刃赤褐色 ③片刃・チャート・赤鉄・バニスの粗・細砂④口縁部一部欠損	外面部 5 分割の 2 連止歛状文→口縫部 2 段の波状文 (上→下)・肩 部 3 段の波状文 (上→下)、側面は 8 倍 /13mm で共通。底部横開窓き→ 削開窓き、底部削開。	東北柱穴
5	弥生上層 壁	口径 18.6 底径 ~ 高さ ~	①普通、胴部前面に黒斑切刃赤褐色 ③片刃・角閃石・バニスの粗・細砂多い ④口縫部 3/4～底部	底部斜削の削開 (上部斜削用)。 外面部 10 分割の 2 連止歛状文→口縫部 4～6 段・底部 5 段以上の 波状文を並べる (上→下)、側面は 10 倍 /14mm で共通。底部横開窓き。 内面 口縫部斜削毛目→底部横削で、底部斜削。	覆土
6	弥生上層 壁	口径 19.5 底径 ~ 高さ ~	①普通、胴部前面に黒斑切刃赤褐色 ③片刃・角閃石・バニスの粗・細砂多い ④口縫部 3/4～底部	底部斜削の削開 (上部斜削用)。 外面部 9 分割の 2 連止歛状文→底部 7 分割の 2 連止歛状文→ 底部 4～5 段の波状文、側面は 7 倍 /11mm で共通。底部横開窓き。 内面 口縫部斜削毛目→底部横削で、底部斜削。	覆土
7	弥生上層 台付壁	口径 17.3 底径 ~ 高さ ~	①普通2にぶい黄褐色③片刃・バニスの粗砂④ 口縫部～体部破片	外面部 第一斜削斜削毛目→底部 8 分割の 2 連止歛状文→ 口縫部 3 段の波状文、側面は 7 倍 /11mm で共通。底部無。	覆土
8	弥生上層 壁	口径 ~ 底径 ~ 高さ ~	①普通赤褐色③石英・赤鉄・角閃石・ バニスの粗砂④口縫部	口縫部斜削具による削開、体部 3 カ所に複数孔き。 外面部 口縫部・体部孔き→横開窓き。 内面 口縫部斜削毛目→複数孔き、底部横開窓き。	覆土 + 3号住跡
9	弥生上層 壁	口径 9.3 底径 3.5 高さ 5.4	①普通、底部裏面にぶい黄褐色③片刃・ 角閃石・チャート・バニスの粗砂④口縫部 一部欠損	外面部 口縫部横削で、体部横削窓き、底部下端斜削で。底部無。 内面 口縫部斜削毛目→横開窓き、底部横開窓き。	覆土

## 5号住居

番号	面 種	法量 (cm)	①焼成赤色調3船土残存	或・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生上層 壁	口径 15.0 底径 ~ 高さ ~	①普通赤褐色石英・赤鉄・角閃石・ チャートの粗・細砂④口縫部 1/3	外面部 7 分割斜削毛目→底部 2 連止歛状文 (8 倍 /10mm) → 2 次 1 段の櫛状凹弧文 (9 倍 /10mm) → 垂下女下端に複数 横孔による区画。 内面 底部斜削毛目→底部赤鉄→口縫部横削ぎ。	覆土
2	弥生上層 壁	口径 ~ 底径 ~ 高さ ~	①普通2明赤褐色③石英・赤鉄・角閃石・ バニスの粗・細砂多い④口縫部～底部	外面部 脱部斜削毛目→底部 2 連止歛状文 (4 倍 /6mm) → 脱部 1 段の波状文 (6 倍 /4mm) → 10 段の波状文 (8 倍 /4mm, 左→右), 全 体に複数孔き。 内面 口縫部→脱部横削毛目。	覆土
3	弥生上層 壁	口径 (23.9) 底径 ~ 高さ 39.1	①普通、胴部外面に黒斑切刃にぶい黄褐色 ③片刃・チャート・赤鉄・バニスの粗砂④ 口縫部と胴部の一部欠損	外面部 口縫部斜削毛目で→複数孔き、底部 7 分割の 2 連止歛状文→ 底部 4 次 1 段の波状文 (6 倍 /4mm) → 10 次の波状文 (8 倍 /4mm, 左→右), 側面は 9 倍 /13mm で共通。底部斜削毛目→横開窓き、底部無。 内面 口縫部斜削毛目→底部横削で→まばらな横開窓き。	海底床
4	弥生上層 壁	口径 29.4 底径 ~ 高さ ~	①普通、口縫部に黒斑切刃赤褐色 ③石英・赤鉄・角閃石・チャート・赤鉄・バニスの粗 ・細砂④口縫部	外面部 口縫部斜削毛目付加し→1 段の波状文と板状具小口による刻み、側 面斜削毛目→まばらな横開窓き、底部横削ぎ。 内面 口縫部斜削毛目→底部横削で→まばらな横開窓き。	仰臥床 床面
5	弥生上層 壁	口径 9.4 底径 ~ 高さ ~	①普通、胴部外面に黒斑切刃にぶい黄褐色 ③片刃・チャート・赤鉄・バニスの粗砂④ 口縫部	外面部 脱部斜削毛目 (8 倍 /8mm) → 2 次 1 段の櫛状凹弧文 (8 倍 /14mm) → 10 次の波状文 (6 倍 /14mm) → まばらな横開窓き、底部斜削 毛目→底部横削。	海底床
6	弥生上層 壁	口径 ~ 底径 12.9 高さ ~	①普通、胴部外面に黒斑切刃赤褐色 ③角閃石・チャート・赤鉄・バニスの粗 ・細砂多い④口縫部以下	底部斜削の削開 (鮮黄色として転写)。 外面部 口縫部横削で、底部 10 次の 2 連止歛状文 (9 倍 /15mm) → 口 縫部 4 次 1 段の波状文 (6 倍 /15mm) → 2 次 1 段の櫛状凹弧文 (8 倍 /15mm) → 10 次の波状文 (6 倍 /15mm) → まばらな横開窓き、底部斜削 毛目→底部横削。	仰卧床 床面
7	弥生上層 壁	口径 29.7 底径 ~ 高さ ~	①普通、赤褐色③角閃石・片刃・ 赤鉄・バニスの粗・細砂④口縫部	外面部 口縫部横削で、底部 10 次の 2 連止歛状文 (9 倍 /15mm) → 口 縫部 4 次 1 段の波状文 (6 倍 /15mm) → 2 次 1 段の櫛状凹弧文 (8 倍 /15mm) → 10 次の波状文 (6 倍 /15mm) → まばらな横開窓き、底部斜削 毛目→底部横削。	東北柱穴 床面

第69表 3～5号住居址出土土器觀察表

## 5号住居

番号	地 埼	法量 (cm)	①焼成2色調3脚土柱残存	或・熊技法の特徴	出土位置
8	弥生上層 壁	口径 22.2 底径 高さ	①普通2色赤色3石英・角閃石・チャート の細砂多い口縁部	外面 □縁部折り返し、1段の波状文。頭部2連止巻伏文→□頭部6 ～8段の短い波状文を重ねる(7面/11cm、上→下→上)。 内面 □頭部横磨き、□縁部に薄く削付着。	覆土
9	弥生上層 壁	口径 19.8 底径 高さ	①普通2色にぶつ黄褐色3石英・角閃石・片岩 ・バミスの粗・細砂口縁部/4と 頭部1/2	外面 □縁部横磨す→頭部3分割の2～4連止巻伏文(11面/16cm) →口縁部3段(8面/12cm、下→上)・頭部2～4段の波状文(8面/13cm、 上→下)。頭部伏状其小口による斜方削付→頭部下半部磨き。頭部 中位部に埋付着。 内面 □縁部→側脚部伏状小(12面)より斜削す→まばらな横磨き。	北東丸六筋 床面
10	弥生上層 壁	口径 (20.4) 底径 高さ	①普通2色灰褐色3石英・角閃石・片岩・ 赤鉄・バミスの粗・細砂口縁部/4と 頭部1/2	外面 □縁部伏状真小口による横磨き→頭部→頭部中央部横磨毛→頭 部2～3連止巻伏文(7面/11cm)→頭部上半周・波状文多段に重ね る(6面/9cm)。頭部下半部磨き。頭部中位以上に埋付着。 内面 □縁部→側脚部伏毛日→横磨き。	北東丸六筋 床面
11	弥生上層 壁	口径 17.7 底径 高さ 27.0	①普通・頭部角黒隈3色にぶつ黄褐色3石英・ 角閃石・チャート・赤鉄・バミスの細砂 の口縁部1/4と側脚部の一部欠損	外面 頭部~頭部中央部横毛日→頭部9分段の3連止巻伏文(8面/16 cm)→口縁部3段(7面/15cm)・頭部10分段の4連止巻伏文(7 面/16cm)→頭部横磨き→頭部下半部磨き。頭部2～6段の波状文(7 面/15cm)。頭部伏状其小口による斜方削付→頭部下半部磨き。頭部 中位部に埋付着。 内面 □縁部横磨す→口縫部→頭部横磨き、底部無。	覆土
12	弥生上層 壁	口径 15.8 底径 高さ 28.3	①普通2色にぶつ黄褐色3石英・片岩・ 赤鉄・バミスの粗・細砂多い口縁部1/3と側脚 の一部欠損	外面 頭部11分段の3連止巻伏文(9面/11cm)→口縁部5～7段の 波状文(10面/10cm、上→下)・頭部4～5段の波状文(6面/10cm、 上→下)。頭部下半部磨き。頭部横磨き。頭部中位以上に埋 付着。 内面 □縁部横磨毛日→まばらな横磨き。頭部横磨き。	覆土
13	弥生上層 壁	口径 15.8 底径 高さ	①普通2色にぶつ黄褐色3片岩・チャート・ バミスの粗砂口縁部→側脚部下位	外面 □縁部→側脚部中央部横毛日→頭部6分段の3連止巻伏文→□縫 部4段(7面/11cm)・頭部3段(7面/11cm)の波状文。頭部11段で共通。 側脚部横磨き→横磨き。頭部下半部に埋付着。 内面 □縁部横磨毛日→まばらな横磨き。頭部横磨き。	伊賀筋 床面
14	弥生上層 壁	口径 (13.7) 底径 高さ	①普通2色にぶつ黄褐色3片岩・バミスの 細砂口縁部3/4～側脚部中位	外面 □縁部横磨す→頭部7分段の3連止巻伏文→□縫部3～4段の 波状文(8面/15cm、上→下)の波状文を重ねる。頭部は8面/15cmで共通。 側脚部横磨き→横磨き。頭部横磨き。	伊賀筋 床面
15	弥生上層 壁	口径 (16.7) 底径 高さ 23.7	①普通・外脚の頭部下位に風磨きにぶつ 黄褐色3角閃石・チャート・赤鉄・バミ スの細砂口縁部1/2欠損	外脚 □縫部→頭部中央部横毛日・頭部9分段の3連止巻伏文→□縫 部3段・2脚部3段の波状文。頭部9面/14cm、脚部下半部横磨毛日。底 部横磨す→周縁横磨き。頭部下半部に埋付着。内面 □頭部横磨き。脚 部斜削毛日→頭部上半部横磨き。底部無。	東南丸 床面
16	弥生上層 壁	口径 6.0 底径 高さ	①普通2色灰褐色2片岩・チャート・バ ミスの細砂口縁部欠損	外脚 上部脚部斜削毛日→脚部3分段の2～3連止巻伏文(9面/15cm) →口縫部1段以上・脚部2段(上→下)の波状文(7面/12cm)。頭部 下半部磨き。下部横磨き。頭部横磨き。頭部中位以上に埋 付着。内面 □縫部→頭部中央部横磨き。	北東丸六筋 床面
17	弥生上層 壁	口径 12.9 底径 高さ	①普通2色にぶつ黄褐色3石英・閃母石・ バミスの細砂口縁部3/4と肩部1/2	外脚 □縫部横磨す→頭部3分段の2連止巻伏文→□縫部3段(下→上)・ 脚部3段以上(上→下)の波状文。脚部は5面/8cmで共通。 内面 □縫部→脚部上部横磨き。	北東丸六筋 床面
18	弥生上層 台付壁	口径 15.3 底径 高さ	①普通2色灰褐色3石英・チャート・ バミスの粗・細砂口縁部→側脚部1/2と側 部欠損	外脚 頭部3連止巻伏文(10面/12cm)→□縫部2段・脚部2段の波 状文(9面/13cm)。脚部下半部横磨毛日。脚部中位以下に埋付着。 内面 □縫部斜削毛日。脚部下半部横磨無で→横磨き。脚部下半部斜 削磨。	覆土
19	弥生上層 台付壁	口径 14.8 底径 高さ	①普通2色にぶつ黄褐色3石英・角閃石・ チャート・赤鉄の粗・細砂口縁部1/3と 脚部1/2	外脚 □縫部2段の波状文(11面/14cm)。頭部横磨き→横磨き。 内脚 □縫部→脚部横磨き。	覆土
20	弥生上層 台付壁	口径 15.3 底径 高さ	①普通2色にぶつ黄褐色3石英・ 角閃石の細砂多い口縁部→脚部2/3	外脚 頭部3連止巻伏文(7面/11cm)→□縫部2段・脚部1段の波 状文(7面/11cm)。頭部横磨君→横磨き。頭部中位にバンド斜削毛日。 内脚 □縫部斜削毛日→横磨君→横磨き→横磨君。頭部中 位以上に埋付着。まばらに白色質付着。	北東丸六筋 床面
21	弥生上層 台付壁	口径 (14.7) 底径 高さ	①普通2色にぶつ黄褐色3片岩・チャート・ 赤鉄・バミスの細砂口縁部1/2と脚部下位欠 損	外脚 頭部6分段の2～4連止巻伏文(10面/16cm)→□縫部1段・中央部 斜削毛日・脚部3段の波状文(10面/16cm)。脚部下半部斜削毛日。脚部 横磨君全体に薄く削付着。内脚 □縫部斜削毛日。脚部→頭部横磨君。脚 部底部無。頭部下半部に白色質付着。	中央丸 床面
22	弥生上層 台付壁	口径 14.1 底径 高さ	①普通2色にぶつ黄褐色3片岩・チャート・ 赤鉄・バミスの粗・細砂多い口縁部→脚部1/2 と脚部1/2	外脚 □縫部横磨す→頭部9分段の2連止巻伏文(8面/11cm)→□縫 部2～3段・脚部2～3段の波状文(8面/11cm)。頭部横磨君。全体 に埋被。	覆土
23	弥生上層 台付壁	口径 13.8 底径 高さ	①普通2色にぶつ黄褐色3片岩・チャート・ 赤鉄・バミスの粗・細砂口縁部→脚部1/2	外脚 頭部2連止巻伏文(7面/11cm)→□縫部3段・肩部4段以上の 波状文(5面/10cm)。頭部横磨君。	覆土
24	弥生上層 台付壁 高杯	口径 12.5 底径 高さ	①普通2色灰褐色3片岩・チャート・ 赤鉄・バミスの粗・細砂口縁部→脚部1/2	外脚 □縫部2段の波状文(8面/14cm、下→上)。脚部横磨君→横 磨君→全体横磨き。全体に薄く削付着。	伊賀筋 床面
25	弥生上層 無脚壁	口径 (8.1) 底径 高さ	①普通2色赤褐色3石英・赤鉄・バミスの 細砂口縁部→脚部1/2	外脚 □縫部→脚部斜削毛日→赤鉄→横磨君磨き。 内脚 □縫部→脚部斜削毛日。	覆土
26	弥生上層 高杯	口径 13.1 底径 高さ	①普通2色赤褐色3石英・雲母の細砂 不完全	外脚 □縫部→脚部赤鉄→□縫部横磨君→赤鉄→脚部横磨君。全 体に薄く削付着。	中央丸 床面
27	弥生上層 高杯	口径 (8.6-4) 底径 高さ	①普通2色赤褐色3石英・チャート・ 赤鉄・バミスの粗・細砂口縁部1/2と脚部1/2	外脚 □縫部斜削毛日→赤鉄→横磨君。内脚 □縫部赤鉄→横磨君。全体に薄く削付着。	覆土
28	弥生上層 高杯	口径 19.3 底径 高さ	①普通2色灰褐色3石英・角閃石・赤鉄・ バミスの粗・細砂・脚部底欠損	外脚 □縫部横磨す→脚部斜削毛日→赤鉄→横磨君磨き。 内脚 □縫部横磨す。全体に薄く削付着。	伊賀筋 床面
29	弥生上層 井	口径 (15.6) 底径 高さ	①普通2色灰褐色3石英・角閃石・赤鉄・ バミスの粗・細砂口縁部→脚部1/2	外脚 □縫部横磨す→脚部斜削毛日→赤鉄→横磨君。全体に薄く削 付着。内脚 □縫部横磨す。全体に薄く削付着。	覆土

第70表 5号住居出土土器観察表(1)

## 5号住居

番号	断面	法量 (cm)	①焼成色調②胎・残存	成・整形技法の特徴	出土位置
30	井生土器 高所	口径 一 底径 (15.2) 脚高 一 1/2	上普通、外面に黒褐色3石英・角 閃石・チャートの粗~細砂付底下位	外面 脚部外側斜削毛目→まばらに荒削き。 内部 脚部磨擦毛目削ぎ。	覆土
31	井生土器 高所	口径 一 底径 (16.0) 脚高 一	①普通色にぼく褐色3角閃石・バ ミスの粗~細砂多い3脚底下位 1/4	脚部の対応4カ所に三角形の透孔。 外面 脚部荒削き。 内部 脚部磨擦。	覆土
32	井生土器 片口跡	口径 10.7 底径 8.1 脚高 13.9	①普通、体部外側に黒褐色3石英・ 角閃石・チャート・バミスの粗~細砂 付底下位脚部欠損	外面 口縁部~口底部上横方向削除で、体部下半横削ぎ、底部凹削 き消滅。内部 口縁部~体部上半横方向削除で→斜荒削き、体部下 半横削ぎに白色物質付着。 内部 口縫部に白色物質付着。	東中央六幡 床面 33入り子
33	井生土器 有孔部	口径 14.5 底径 11.1	①普通、体部外側に黒褐色3石英・ 3石英・バミスの粗~細砂付底下位 4口縫部欠損	底部焼成前穿孔(丸孔上底)。	東中央六幡 床面 32入り子
34	井生土器 跡	口径 14.3 底径 6.5 脚高 6.5	①普通、口縁部外面に黒褐色3石英・ 3石英・バミスの粗~細砂付底下位 脚部欠損	底部焼成前穿孔(丸孔上底)。 外面 口縫部削除で、体部横削ぎで、底部削ぎ。 内部 口縫部削除で、体部横削ぎ→まばらに荒削き。	南東部 床面
35	井生土器 跡	口径 13.5 底径 3.6 脚高 7.2	①普通、体部~底部外側に黒褐色3石英・ 3石英・角閃石・赤鉄・バミスの粗~細 砂・細砂付底一部欠損	口縫部~体部斜削毛目→赤鉄→荒削き、底部削ぎ、全体に磨擦、 刻剥。	覆土
36	井生土器 跡	口径 (12.4) 底径 4.6 脚高 5.7	①普通、体部~底部外側に黒褐色3石英・ 3石英・角閃石・バミスの粗~細砂付 底脚部一部 1/2	口縫部~底部横削ぎ→口縫部横削ぎで→口縫部~体部赤鉄→体部凹削 き、底部削ぎ。 内部 口縫部→底部赤鉄→横削ぎ、全体に刻剥。	覆土
37	井生土器 跡	口径 (14.0) 底径 6.8 脚高 4.2	①普通赤色3片岩・バミスの粗~細 砂口縫部底付 1/2	口縫部に體曲状の刻剥。	覆土
38	井生土器 難	口径 11.1 底径 13.4	①やや不良、外側脚部下半に黒斑 ②黄褐色生石英・チャート・赤鉄・バ ミスの粗~細砂 ③口縫部~脚部の一部欠損	外面 口縫部に3段の粘土接合板と押さえ、脚部上位→中位斜削 毛目→腹側斜削で、脚部下位斜削毛目→赤鉄え、底部削ぎ。 内部 口縫部→底部に付着。	脚跡周辺 床面
39	井生土器 難	口径 13.0 底径 5.9 脚高 11.1	①普通、外面口縫部に黒褐色3石英・ 3石英・黄褐色3生石英・チャート・赤鉄・バ ミスの粗~細砂付底 ②脚部一部1/2欠損	口縫部横削ぎ→口縫部斜削毛目→頭部まばらな削ぎ、脚部上 半横削毛目、脚部下半横削毛目→まばらな削ぎ、底部削ぎ。 内部 口縫部斜削毛目、脚部→底部削ぎ。	中央部 床面
40	井生土器 跡	口径 (14.0) 底径 5.4 脚高 11.2	①普通赤褐色3石英・赤鉄・バ ミスの粗~細砂多い3脚底~脚部1/2欠損	口縫部横削ぎ、脚部下位止進止状又 (6mm/10mm) →脚部2段の 波状紋、脚部下部→底部削ぎ。 内部 口縫部~底部削ぎ、底部削ぎ。	覆土
41	井生土器 難	口径 (11.2) 底径 高 脚高 高	①普通2浅黄色3石英・輝石・バ ミスの粗砂口縫部~脚部 1/2	脚部 脚部2浅止進止状又 (9mm/12mm) →口縫部3段・脚部2段以上 の波状紋 (9mm/12mm, 上→下)。 内部 磨削。	覆土
42	井生土器 跡	口径 9.5 底径 高 脚高 高	①普通、外面口縫部に脚部に黒褐色3 石英・3石英・黄褐色3角閃石・バ ミスの粗~細砂口縫部~脚部 2/3	外面 口縫部横削ぎ、脚部~底部横削ぎで→脚部下半横削ぎ。 内部 口縫部~脚部斜削毛目→荒削き。	覆土
43	井生土器 難	口径 4.3 底径 高	①普通3浅黄色3石英・チャート・バ ミスの粗~細砂口縫部~底部	外面 脚部4段止進止状、脚部斜削毛目→脚部、底部本葉底→脚部。 内部 脚部~底部磨削で→まばらにベンガラ付着。	中央部 床面
44	井生土器 跡	口径 4.0 底径 高 脚高 高	①普通、底部外側に黒褐色3石英・ 3石英・角閃石・チャート・バ ミスの粗~細砂付底	外面 剥離脱落で3赤鉄、底部削ぎ。 内部 脚部~底部磨削で→赤鉄。	覆土
45	井生土器 片口跡	口径 5.5 底径 2.7 脚高 3.4	①普通赤褐色3チャート・赤鉄・バ ミスの粗~細砂多い4足底欠損	口縫部は折り曲げ時に粘土追加、口縫部磨削具による削み。 外面 口縫部→底部斜削毛目→脚部削ぎ。 内部 口縫部~底部横削ぎ。	北西部 覆土
46	井生土器 跡	口径 (6.0) 底径 高 脚高 高	①普通3浅黄色3石英・赤鉄・バ ミスの粗~細砂口縫部~体部 1/4	口縫部~底部粘土接合板と押さえ。 内部 口縫部~底部磨削。	覆土
47	井生土器 難	口径 3.5 底径 高 脚高 高	①普通、外側脚部~底部に黒褐色3 石英・3石英・黄褐色3角閃石・赤鉄の粗~細砂 ④大井頭	外面 捕獲磨削、体部削ぎ。 内部 大井頭無。	覆土
48	井生土器 跡	口径 2.6 底径 高	①普通色にぼく褐色3片岩・角 閃石・バ ミスの粗~細砂口縫部 1/2~底部	体部~底部削ぎで。 内部 体部~底部削ぎ。	覆土
49	井生土器 難	口径 一 底径 高 脚高 高	①普通色にぼく褐色3片岩・チャート・ バ ミスの粗~細砂口縫部破片	外面 口縫部斜削毛目→2段以上の波状紋、脚部に付着。	覆土
50	井生土器 難	口径 一 底径 高 脚高 高	①普通3浅黄色3角閃石・バ ミスの粗~細砂口縫部破片	内面 脚部磨削毛目→脚部削ぎ。 内部 口縫部磨削毛目→脚部削ぎ。	覆土
51	井生土器 難	口径 一 底径 高 脚高 高	①普通3浅褐色3石英・チャート・ バ ミスの粗~細砂口縫部破片	内面 脚部磨削毛目→脚部削ぎ。	覆土
52	井生土器 難	口径 一 底径 高 脚高 高	①普通2浅黄色3石英・チャート ④口縫部破片	外面 口縫部粘土粘み上げ痕を残す。 内部 口縫部磨削。	覆土
53	井生土器 難	口径 一 底径 高 脚高 高	①普通3浅黄色3角閃石・バ ミスの粗~細砂口縫部破片	外面 脚部斜削毛目→2段以上の波状紋→脚部斜削毛目→脚部削ぎ。 内部 文様帶以下は赤鉄。	覆土
54	井生土器 難	口径 一 底径 高 脚高 高	①普通色にぼく褐色3石英・片岩・ チャートの粗~細砂口縫部破片	55, 56, 57 2同一側体か。 外面 脚部波状紋→脚部斜削毛目 (右→左)。 内部 脚部磨削。	覆土
55	井生土器 難	口径 一 底径 高 脚高 高	①普通色にぼく褐色3石英・片岩・ チャートの粗~細砂口縫部破片	54, 56, 57 2同一側体か。 外面 脚部2段以上の波状紋→脚部斜削毛目 (右→左, 11mm/13mm)。 内部 脚部磨削。	覆土

第71表 5号住居出土土器観察表(2)

## 5号住居

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成土色調3船土瓦残存	成・整形技法の特徴	出土位置
56	弥生上湯 裏	口径 - 底径 - 高さ -	①普通にぶい黄褐色②石英・片岩・ チャートの粗→細砂を剥離破片	外面部後波状文→柳桜円弧文(右→左。11曲/13mm)。 外面部剥離波状文。	覆土
57	弥生上湯 裏	口径 - 底径 - 高さ -	①普通にぶい黄褐色②石英・片岩・ チャートの粗→細砂を剥離破片	54・55・57上同一側ほか。 外面部後波状文→柳桜円弧文(右→左。11曲/13mm)。 外面部剥離波状文。	覆土
58	加工円盤	-	焼ないし裏の側部片(波状文)の縁辺を打ち欠く。	-	覆土
59	加工円盤	-	焼ないし裏の側部片(外表面に凹窓)。	-	覆土
60	加工円盤	-	焼ないし裏の側部片(外表面に凹窓)の縁辺を打ち欠く。	-	覆土
61	ガラス玉	1/2欠瓶、径8.5mm、厚さ1.7mm、青色。	-	-	炉跡隔壁上

## 6号住居

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成土色調3船土瓦残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生上湯 裏	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色△角閃石・パミス・赤岩・ 片岩・チャート・細砂を剥離破片	外面部斜削毛目→波状文(9曲/14mm)。 内面部斜削毛目→横舞拂。	覆土
2	弥生上湯 裏	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色△角閃石・チャート・パミ スの粗→細砂を剥離片1/2	外面部斜削毛目→波状文→柳桜円弧文→脇部4段の柳桜拂波状文(上→下、9度/21mm)。脇部下半被熱、脇部上半保たれ。 内面部斜削毛目→横舞拂。	覆土

## 7号住居

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成土色調3船土瓦残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生上湯 裏	口径 - 底径 8.0 高さ -	①普通2赤褐色△角閃石・チャート・パミ スの粗→細砂を剥離片中位→底部1/2	外面部斜削毛目→波状文(9曲/14mm)。 内面部斜削毛目→横舞拂。	覆土
2	弥生上湯 裏	口径 (15.2) 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色△角閃石・チャート・パミ スの粗→細砂を剥離片1/2	外面部斜削毛目→赤岩→横舞拂波状文。 内面部斜削毛目→赤岩→横舞拂波状文。	覆土
3	土製粘土車	外径 5.5～5.7cm、厚さ 1.5cm、孔径 0.8cm、外面部毛目→泥磨き。外表面に薄く焼付。	-	-	南西隅床面

## 8号住居

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成土色調3船土瓦残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生上湯 裏	口径 18.2 底径 - 高さ -	①普通、底部外周底面にぶい赤褐色△角 閃石・チャート・赤岩・パミスの粗砂少 ない△角閃石1/2～底部中央	口部の剥離と底部欠損部の彫型(土臺台転用)。口縁割り造し。口 底部底端具状による刻み。 外面部斜削毛目→波状文→柳桜波状文(10曲/15mm)。 →脇部4段の波状文(10曲/16mm)。脇部多方向波状文。 内面部斜削毛目→横舞拂。	北東壁沿い 床面
2	弥生上湯 裏	口径 19.2 底径 - 高さ -	①普通、底部外周底面にぶい赤褐色△角 閃石・赤岩・パミスの粗→細砂少しお よ△角閃石1/4～剥離下位以下を欠損	外面部斜削毛目→波状文(3道)→底部5段の波状文(下→上)。脇 部上半部6曲の波状文(上→下)。脇部底端具状による刻み。 内面部斜削毛目→横舞拂。	南北穴 床面
3	弥生上湯 裏	口径 20.2 底径 - 高さ -	①普通2にぶい黄褐色②石英・片岩・赤 岩・パミスの粗→細砂△底部	底部外周底面と底部背面の彫型(土臺台転用)。口斜削毛目具 による刻み(9～17曲が6早打)。外面部底端5分割の3～5曲止 止波状文(6曲/8mm)。内面部底端波状文多段に重ねる(6曲/8mm)。内 面部斜削毛目→波状文(1～7曲)。内面部斜削毛目→横舞拂。	北東壁沿い 床面
4	弥生上湯 裏	口径 16.8 底径 - 高さ -	①普通2灰黃褐色③片岩・チャート・パ ミスの粗砂△底部→底部	底部外周底面の彫型(土臺台転用)。外面部6分割の3～5曲止 止波状文(9曲/12mm)。口頭部と底部波状文を重ねる(9曲/17mm)。 内面部斜削毛目→波状文多段に重ねる(6曲/8mm)。内面部斜削毛 目→波状文(1～7曲)。内面部斜削毛目→横舞拂。	北東壁沿い 床面
5	弥生上湯 裏	口径 17.8 底径 - 高さ -	①普通2にぶい黄褐色△角閃石・赤岩・ パミスの粗砂少しあ△底部1/4～底部を 欠損	底部外周底面の彫型(土臺台転用)。底部→底部半横研毛目、底部下半横研毛目→ 底部5分割で調節の2～3曲止波状文(7曲/12mm)。内面部3段の波状文(6曲以上)。 内面部斜削毛目→波状文。内面部斜削毛目→横舞拂。	北東壁沿い 床面
6	弥生上湯 裏	口径 (18.4) 底径 21.3 高さ -	①普通2にぶい黄褐色③片岩・パミスの 粗→細砂△底部→底部上半の1/2欠瓶	外面部斜削毛目→底部斜削毛目(11曲/14mm)→底部斜削毛目(9 曲/17mm)。底部横研毛目と底部斜削毛目、削部上半横研毛目→ 内面部斜削毛目→底部横研毛目→横舞拂。削部下半横研毛目→ 内面部斜削毛目→横舞拂。	北東壁沿い 床面
7	弥生上湯 裏	口径 14.5 底径 - 高さ -	①普通2灰黃褐色△角閃石・片岩・赤 岩・パミスの粗砂△底部→底部下位の3/4	外面部斜削毛目→底部→底部4段の柳桜波状文(8曲/17mm)。下 上)。削部横研毛目→泥磨き。内面部斜削毛目→底部→底部上半横研 毛目→泥磨き。削部下半横研毛目→泥磨き。	北東壁沿い 床面
8	弥生上湯 裏	口径 11.0 底径 - 高さ -	①普通2にぶい黄褐色③石英・角閃石・ パミスの粗砂△底部3/4～底部中央 2/3	外面部斜削毛目→底部→底部5段の柳桜波状文を重ねる(4曲 7mm)。削部横研毛目→泥磨き。削部下半横研毛目→泥磨き。削部 上半横研毛目→泥磨き。	北東部 床面

## 9号住居

番号	面 横	法量 (cm)	特 徴	出土位置
1	柱根	長さ 68cm、幅 29.5cm、厚さ 12.5mmの断面長方形。樹齧:クリ 本取り:延年。	-	北西柱穴

## 11号住居

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成土色調3船土瓦残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生上湯 裏	口径 14.7 底径 7.6 高さ 25.2	①普通、底部外周に泥磨きにぶい黄褐色 ②片岩・チャート・赤岩・パミスの粗砂△ 底部△底部の2曲	外面部2段の柳桜横研波状文(上→下)→底部4段の波状文(上→ 下)。内面部5段の波状文(上→下)→底部10ないし11分割の柳桜横研 波状文(6曲/14mm)。削部下半横研毛目→泥磨拂。	西北柱穴 床面

第72表 5～9号・11号住居址出土土器観察表

## 12号住居

番号	面 機	法算 (cm)	①焼成色調3船下残存	或・整形技法の特徴	出土位置
1	再生土器 壺	口径 - 底径 9.0 高さ -	①普通2にぶい黄褐色石英・バニスの粗・細砂小口縁部と脚部上半1/2欠損	外面部 制部4段以上の大波状文(9瓣/16mm、上→下)、脚部斜削磨き、制部下端斜削で、底部削磨削、脚部中位に埋付着。 内面部 脚部上端斜削で、脚部下位斜削で、脚部下位焼毛目→まばらな焼毛目、底部無。	南東部 床面
2	再生土器 壺	口径 10.0 底径 - 高さ -	①普通2にぶい黄褐色石英・チャート・バニスの粗砂小口縁部欠損	外面部 制部10分の2の波状文(9瓣/17mm)→制部3段の波状文(11瓣/20mm)、制部下位斜削具合による強弱で、脚部下位焼毛目→まばらな焼毛目、底部無。脚部中位に埋付着。 内面部 脚部上端斜削で、脚部下位斜削で、脚部下位焼毛目→まばらな焼毛目、底部無。	南東部 床面
3	再生土器 高杯	口径 29.4 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色石英片岩・チャートの粗・細砂小口縁部1/3と脚部欠損	外面部 口縁部横削で、脚部斜削毛目→赤色→横模様磨き。脚部赤色→横模様磨き。 内面部 口縁部横削で、脚部赤色→横模様磨き。	西部床面
4	再生土器 高杯	口径 18.4 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色石英・バニスの粗砂 口径1/2	外面部 口縁部横削で、脚部斜削毛目→赤色→横模様磨き。 内面部 口縁部斜削で、脚部斜削毛目→赤色→横模様磨き。	覆土
5	再生土器 杯	口径 21.4 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色石英・バニスの粗砂 口径1/2	外面部 体部外側に黒斑点にぶい黄褐色石英・赤鉄・バニスの粗・細砂小口縁部欠損 内面部 体部斜削毛目→赤色→横模様磨き。	南東部 床面
6	加工円盤	-	傷ないし要の側部片(斜削毛目)の縁辺を打ち欠く。全体に焼滅。	-	覆土

## 13号住居

番号	面 機	法算 (cm)	①焼成色調3船下残存	或・整形技法の特徴	出土位置
1	再生土器 壺	口径 25.2 底径 - 高さ -	①普通2にぶい褐色石英・輝石・チャートの粗・細砂小口縁部欠損	口唇へ縁部内面に6瓣の2本筋の状態付す。 外面部 口縁部横削で、脚部斜削毛目→まばらな横模様磨き。 内面部 口縁部横削で、脚部斜削毛目→1/2脚部赤色→横模様磨き。	北壁右側 床面
2	再生土器 壺	口径 8.1 底径 - 高さ -	①普通2にぶい褐色石英・角閃石・赤鉄・バニスの粗砂小口縁部欠損	外面部 脚部中位と底部に黒斑点にぶい黄褐色石英・角閃石・赤鉄・バニスの粗砂小口縁部欠損 内面部 脚部頭部に3段の大波状文(8瓣/11mm)と文様帶下部に等間隔 波状文(8瓣/11mm)、脚部斜削で、脚部下位に埋付着。 脚部頭部・脚部中位に埋付着。 外面部 口縁部横削で、脚部斜削毛目→横模様磨き。脚部下位→赤色→横模様磨き。 内面部 口縁部斜削で、脚部斜削毛目→横模様磨き。	南東部 床面
3	再生土器 壺	口径 - 底径 7.1 高さ -	①普通2赤褐色石英片岩・チャート・バニスの粗砂小口縁部欠損	外面部 口縁部3段の横模様磨き(9瓣/17mm)、脚部赤色→横模様磨き→横模様磨き。底部無。	北壁右側 床面
4	再生土器 壺	口径 20.0 底径 - 高さ 40.1	①普通2にぶい赤褐色石英・片岩・片岩・チャートの粗・細砂小口はぼ完形	外面部 口縁部横削で、脚部斜削毛目→まばらな横模様磨き→脚部頭部に3段の大波状文(9瓣/13mm)、脚部下部斜削毛目→横模様磨き。脚部中位と底部に埋付着。 内面部 口縁部横削で、脚部斜削毛目→横模様磨き。脚部斜削毛目→横模様磨き。底部無。	西部床面
5	再生土器 壺	口径 19.4 底径 8.3 高さ 31.9	①普通2にぶい褐色石英・片岩・チャートの粗砂小口縁部1/2欠損	外面部 口縁部横削で、脚部斜削毛目→撹で→等間隔窪状文(7瓣/14mm)、脚部斜削毛目→横模様磨き。脚部中位に埋付着。 内面部 脚部斜削毛目→撹で→底部無。	北壁右側 床面
6	再生土器 壺	口径 - 底径 7.6 高さ -	①普通2、外面部側面下間に黒斑2度黄褐色 ②角閃石・チャート・バニスの粗・細砂小口	外面部 口縁部斜削毛目→横模様磨き。底部木灰底→まばらな混ざり。 内面部 口縁部斜削毛目→横模様磨き。底部無。	覆土
7	再生土器 壺	口径 17.5 底径 15.6 高さ 19.9	①普通2明赤褐色石英・片岩・チャート・バニスの粗・細砂小口縁部→底部1/2	外面部 口縁部横削で、脚部斜削毛目→横向削で、脚部下端横模様磨り、底部無。底部無により表面のみ。 内面部 口縁部横削で、脚部斜削毛目→横向削で、底部無。	覆土
8	再生土器 壺	口径 17.5 底径 - 高さ -	①普通2にぶい赤褐色石英・片岩・片岩・バニスの粗砂小口縁部→脚部中位1/2	口縁部取り落し、底部無により表面のみ。 外面部 脚部中位に2段の大波状文(7瓣/14mm、下→上)、脚部斜削毛目→横向削で、脚部下端横模様磨り、底部無。	東壁右側 床面
9	再生土器 壺	口径 - 底径 7.2 高さ -	①普通2にぶい褐色石英・角閃石・赤鉄・バニスの粗・細砂小口縁部欠損	外面部 脚部中位に2段の大波状文(7瓣/14mm)→脚部斜削毛目→横向削による角鋸目。外面部 脚部→脚部上半斜削毛目→横向削で、脚部下端斜削毛目、底部無。	北壁右側 床面
10	再生土器 台付壺	口径 12.8 底径 - 高さ -	①普通2にぶい褐色石英片岩・チャート・バニスの粗砂小口縁部→脚部3/4	口縫部取り落し、斜削毛目による角鋸目。外面部 口縁部横削で→脚部斜削毛目→横向削による角鋸目。 内面部 口縁部横削で→1/2脚部→横模様磨き。	脚跡附近 床面
11	再生土器 台付壺	口径 12.8 底径 - 高さ -	①普通2にぶい黄褐色石英チャート・角閃石・赤鉄・バニスの粗・細砂多・有脚部欠損	外面部 脚部25分の等間隔窪状文(13瓣/14mm)→口縫部2段の波状文(10瓣/12mm)→下→上、脚部2段の波状文(10瓣/12mm)→上→下、脚部斜削毛目→横向削で、脚部下端横模様磨き、脚部中位横向削で、脚部無。	脚跡附近 床面
12	再生土器 台付壺	口径 10.0 底径 - 高さ -	①普通2にぶい赤褐色石英・片岩・バニスの粗砂小口縁部の一部と脚部欠損	外面部 口縁部横削で→1段の波状文、底部19分の等間隔窪状文(12瓣/20mm)→脚部2段の波状文(10瓣/12mm)→脚部斜削毛目→1/2脚部3段の波状文(10瓣/15mm)→脚部斜削毛目→まばらな横模様磨き。脚部斜削毛目→横模様磨き。	北壁右側 床面
13	再生土器 高杯	口径 14.5 底径 8.2 高さ 12.0	①普通2赤褐色石英・角閃石・赤鉄・バニスの粗・細砂多→ほぼ完形	外面部 口縫部赤色→混ざり焼滅。脚部赤色→横模様磨き焼滅。内面部 口縫部赤色→混ざり焼滅。脚部横方向削で。	北壁右側 床面

## 15号住居

番号	面 機	法算 (cm)	①焼成色調3船下残存	或・整形技法の特徴	出土位置
1	再生土器 壺	口径 - 底径 13.4 高さ -	①普通2、脚部外側に黒斑2度褐色 ②角閃石・チャート・赤鉄・バニスの粗・細砂小口縁部欠損	外面部 口縫部斜削毛目→脚部横削毛目→脚部9分の2度正窓状文(12瓣/20mm)、脚部下端に横代輪維によく区画され、脚部5段の横模様磨き状文(10瓣/20mm)、底部無。	南東部 床面
2	再生土器 壺	口径 17.0 底径 - 高さ -	①普通2黒褐色石英片岩・バニスの粗・細砂小口縁部→脚部上半1/3	外面部 口縫部横削で→1/2脚部斜削毛目→脚部2度正窓状文(12瓣/15mm)→脚部斜削毛目→1/2脚部6段の波状文(12瓣/15mm)、上→下。全体に埋付着。 内面部 口縫部斜削毛目→脚部斜削毛目→まばらな混ざり。	南東部 床面

第73表 12号・13号・15号住居出土土器観察表

15世纪

番号	品種	法量 (kg)	主栽培2色葉3脚上葉残存	成・整型技術の特徴	出土位置
3	秀生上葉 黒	日付 20.3 低温 高鈣	上普通茎にいわゆる青葉色③片割・バミスの繊維 細胞が3-4層の一部と側部半下部に現 れるのみ。④側部斜削式の葉形で、葉幅は10mm程度 →葉部5-6段の葉状化(8葉/1m)。網状脈網目。側部中位葉付近 に葉縁部へ側脈網目で横隔膜あり。	側部欠損部の整形と頂部内側へのシガラム化(赤芽苗を買入・土面上に軽 く叩きこむ)。側部斜削式の葉形を形成するための小切込み。側部葉の葉幅を 広げ、④側部斜削式の葉形を形成するための側部葉の葉幅を広げ、④側部葉 →葉部5-6段の葉状化(8葉/1m)。網状脈網目。側部中位葉付近 に葉縁部へ側脈網目で横隔膜あり。	西南部 東南部
4	秀生上葉 黒	日付 (17.7) 低温 —	上普通2色葉色3片割・バミスの繊維 ④側部斜削式の葉形で1/2	外側 →葉部側面の波状化(1葉幅/14mm) →側部 3-4段後 →側部4葉の波状化(1葉幅/16mm)。 側部中位葉付近。④側部 →側部中に複数葉付。 内側 ④側部斜削式の葉形→まばらな葉巻形。側部横斜溝で。	西南部 東南部

16号住居

番号	品種	法寸(30)	「虎成2色鱗3船」浅残	或、整形技術の特徴		出土位置
				前頭部	側頭部	
1	弥生土鱈 鰐	口径 15.0 尾長 28.5	口や不良浅黄褐色 3片唇・バミス 赤斑と銀鱗の相・細鰭白縁部へ剥離の一部 頭高 28.5 矢張	外側 口頭部横幅で、頭部へ頭部斜傾毛日→頭部頭頂間隔文化(7側 11mm)→脣部3段の横紋(7次紋/11mm, 上→下), 頭部下半部黒斑 頭部下半部骨付。 内側 脣部斜傾毛日→横斑化、頭頂横溝形跡 黒斑、頭部下部脣無。	西面 東面	南西隅 床面

17号住居

番号	面 種	法量 (cm)	④焼成2色3船上残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 甕	口径 6.2 底径 3.2 高さ 6.1	上滑道、底部外周に黒斑点に似る褐色③ 角凹門・片口・باس、赤色の縁へ斜削 完全形	外面 口縁部へ斜削斜削毛目→照熱で、底部まばらな剥落。 内部 口縁部へ底部指擦。	北西部 床面

I 引言

台付種	筋透種	手口縫透→側部2/3	状文(前段1/2mm、上→下)、頭部脇縫透、口縫部脇縫透行者。	床面	
19号住居			成・整形技術の特徴	出土位置	
1	牛生上崩 垂	1段 (17.0) 2段 (32.0)	上縫透2/3の前後部3片割、チャート→ バースト、筋部の粗→細砂口縫部→脇縫 部の1/4欠損	外側 口縫部→頭部脇縫透(一部削除)、脇縫部脇縫透(2段 / 13mm)→ 内側 口縫部3~4段、脇縫4~5段の状文(後段7mm、上→下)、頭部 斜筋毛目→まろらかな脇縫透、底延縫透、口縫部と脇部下手に埋伏者。 内面 口縫部→頭部脇縫透、底延縫透。	西南西 床面
2	牛生上崩 垂	15.7 筋透 底延	上縫透2/3の前後部3片石英、片岩、 2段 牛生の粗→細砂口縫部→脇部少 量の状文(上→下)、頭部脇縫透11mm/16mm、全体に被熱と埋伏者。	外側 脇縫部25分野の等間隔縫透→3段(二→一)、脇部脇縫透 の状文(上→下)、頭部脇縫透11mm/16mm、全体に被熱と埋伏者。 内面 口縫部脇縫透、頭部→脇部脇縫透。	西南西 床面
3	牛生上崩 高杯	1段 (21.3) 2段 (12.4) 底延 (8.5)	上縫透2/3の前後部3片→バースト、赤透 部の粗→細砂4部1/2欠損	外側 口縫部→底延赤透→口縫部と頭部脇縫透(底延縫透、 内面 埋伏者)→脇縫透、頭部上半周縫透、下半周縫透。	西南西 床面

20号住居

番号	面種	法量(cm)	成・整形技術の特徴		出土位置
			④焼成2色調3貼上残存	成・整形技術の特徴	
1	弥生土器 甕	口径 22.8 底径 - 高さ -	①普通灰陶褐色②凹円石・チャート・バミスの粗・綈少い③口部3/4	外縁張模で、御部板状具小口による脚で→まばらな横幅で→覆土 底面→底部模倣下部 内面→底部模倣で、御部板状具小口による脚で。	

21号住院

番号	形態	法長 (cm)	工場成2色薄3片+胸毛の細 砂、角閃石・鈦石・チャート・バミス 細粒砂+底部へ胴部中央1/3	成・整形技術の特徴		出土位置
				上部 底面	成後	
1	介生上履 臺	口径 27.8 底径 - 高さ -	上普通之にない青褐色3色角閃石・赤鉄 チート+バミスの粗+細砂多い+□(□)縫合 細粒砂	□(□)縫合貼付+加熱し、底部に凹取込み。尻尾部は斜めに削り取る。尻尾部による剪切。 外面 □(□)縫合刷毛目+まばらな横罫刷毛+8分割の2道止状況 (8 mm/18mm)→胴部5段の鷹巣横刷毛 (8 mm/18mm, 上→下)→6分割の 鷹巣横刷毛 (5 mm/18mm)→成後次の下端下部に横円形刮拭手筋+骨 筋貼付+文様地による機械刷毛。頭部は斜めに削り取る。 内面 □(□)縫合横刷毛で、頭部へ胴部縫合刷毛。		荷被穴六 床面
2	介生上履 臺	口径 (18.8) 底径 - 高さ -	上普通之にない青褐色3色角閃石・赤鉄 チート+□(□)縫合部へ胴部中央1/2	□(□)縫合貼付+加熱し、1段の波紋状。頭部縫合刷毛目→2段の櫛 鷹巣横刷毛 (上→下)→7分割の鷹巣刷毛→成後3段の波紋状 (上→下)。 鷹巣横刷毛 (上→下)で共通。胴部は刷毛目+まばらな横罫刷毛。 内面 □(□)縫合刷毛目+横罫刷毛。胴部上部斜めに刷毛目。胴部中 部斜めに刷毛目。		塵土
3	介生上履 臺	口径 18.9 底径 - 高さ -	上普通之にない青褐色3角閃石・チャート+赤 鉄+バミスの粗+細砂多い+□(□)縫合 細粒砂	頭部は斜めに削り取る (17mmの軸用)。 外面 □(□)縫合貼付+加熱し、底部2段の鷹巣横刷毛 (8 mm/18mm, 上→下)→ 7分割の鷹巣刷毛 (上→下) (3 mm/18mm)→成後3段の波紋状 (8 mm/18mm, 上→下)。内面 □(□)縫合横刷毛で、頭部削除。		塵土
4	介生上履 臺	口径 - 底径 - 高さ -	上普通之3色3行英・角閃石・バミスの 細粒砂+□(□)縫合部へ胴部上1/2	外面 □(□)縫合刷毛目→2段の鷹巣横刷毛 (11mm/19mm, 上→下)→成 後3段の鷹巣横刷毛 (11mm/24mm, 上→下)→頭部鷹巣横刷毛 (2 mm/5mm)。尻尾部下部に横罫刷毛。胴部斜め刷毛。		塵土
5	介生上履 臺	口径 (17.2) 底径 - 高さ -	上普通之3色3行英・片刈・チャート+ 粗+細砂+□(□)縫合部へ胴部上1/3	□(□)縫合を直して、2本への移換貼付+加熱4力程。 外面 □(□)縫合貼付目+尾部は5段横刷毛。胴部→3部の鷹巣横刷毛 (8 mm/14mm)→4~5分割の鷹巣横刷毛 (5 mm/17mm, 全身)に斜めに削り取る。 内面 □(□)縫合横刷毛で、完全に斜めに削り取る。		西南柱穴
6	介生上履 臺	口径 15.7 底径 - 高さ -	上普通之2色3行石英・チャート+ ミスの粗+細砂+□(□)縫合部3/4	尾部を直してから切り直し口縫。 外面 □(□)縫合貼付目+割+直し→頭部鷹巣横刷毛 (6 mm/11mm)→4 分割の鷹巣横刷毛 (3 mm/4mm)。内面 □(□)縫合横刷毛で底を削る。		ビット

第74表 15号~21号住居址出土土器觀察表

## 21号住居

番号	形 態	法規 (cm)	①焼成空芯陶3船上ア残存 ②表面にびる褐色3角閃石・チャート の粗・細砂多い④口縁部欠損	或・複数技法の特徴 外面 頭部横剥き頭→2分割の2面止歛状文 (8cm/13mm) →脇部2段 の波状文 (8cm/13mm, 上→下)、脇部横剥き、底部混層。内面 磨削・削磨、脇部中位以下薄く白色物質付着。	出土位置 北東部床面
7	再生土器 壺	口径 底径 高さ	— 6.6 —	①普通2浅黄褐色3角閃石・赤岩 の粗・細砂多い④口縁部欠損	口縫部横剥き頭→外側 の波状文 (8cm/20mm, 上→下)、脇部横剥き、底部混層。内面 磨削・削磨、脇部中位以下薄く白色物質付着。
8	再生土器 壺	口径 底径 高さ	21.9 — —	①普通2浅黄褐色3角閃石・赤岩 の粗・細砂多い④口縁部1/2と 下欠損	口縫部横剥き頭→外側 の波状文 (8cm/20mm, 上→下)、脇部横剥き、底部混層。内面 磨削・削磨、脇部中位以下薄く白色物質付着。
9	再生土器 壺	口径 底径 高さ	18.5 — —	①普通2褐色3角閃石・赤岩・チャート の粗・細砂多く口縁部1/4と脇部中位は 下欠損	脇部大底面の波形と頭部内面の削磨 (8cm上縁部)。 外面 脇部4段の波状文→口縫部4段の波状文 (下→上)、 脇部4段の波状文 (上→下)、脇部横剥き (12cm/16mm)で具造、脇部横剥毛目。 内面 口縫部→脇部横剥き頭、底部混層。
10	再生土器 壺	口径 底径 高さ	21.0 — 34.3	①普通2にびる黃褐色3角閃石・片岩・赤 岩・パミスの粗砂3口縁部→脇部1/2と 下欠損	外面 頭部横剥き頭→頭部2段止歛状文 (10cm/15mm) →口縫部1段 の波状文、脇部4段の横剥横羽状文 (10cm/15mm, 上→下)、脇部斜削 毛目→横剥毛目、底部混層。脇部中位以下は縦部に削付着。 内面 口縫部→脇部横剥き頭。
11	再生土器 壺	口径 底径 高さ	19.9 — —	①普通2浅黄褐色3石英・角閃石・赤岩 の粗砂多い④口縁部1/2と脇部残存	口縫部横剥き頭→底部混層。外面 口縫部3段の波状文 (下→上) →頭部 1段の波状文→脇部2段以上は横剥横羽状文 (上→下)、脇部は10cm/ 15mmで具造。内面 口縫部→底部混層。
12	再生土器 壺	口径 底径 高さ	21.0 — —	①普通3 ②頭部前面に黒斑面にびる黃褐色 3石英・角閃石・チャートの粗・細砂 多く口縁部1/2と脇部1/2一部欠損	外面 口縫部→脇部斜削毛目→板状小口による縮隙、脇部中位に バット状付着。
13	再生土器 壺	口径 底径 高さ	15.8 — 24.1	①普通3 ②頭部前面に黒斑面にびる黃褐色 3チャート・赤岩・パミスの粗砂3口縁部 一部欠損	外面 口縫部→脇部斜削毛目→口縫部へ肩部に8~10段の波状文 (6cm/ 12mm, 上→下)、脇部下端→脇部斜削、脇部中位以上は縦部に削付着。 内面 口縫部→脇部斜削毛目→脇部中位以下は横剥毛目。
14	再生土器 壺	口径 底径 高さ	15.1 — 22.4	①普通2灰白色3角閃石・赤岩の粗砂 多く口縁部→脇部3/4	外面 頭部2段止歛状文 (10cm/16mm) →1/2脇部3段の波状文 (8cm/ 13mm)、脇部3段の横剥横羽状文 (8cm/13mm)、脇部下端→斜削毛目、 脇部4段→底部削、頭部へ肩部に削付着、全体に削減。 内面 口縫部横剥毛目→1/2脇部→脇部横剥き。
15	再生土器 壺	口径 底径 高さ	17.0 — 21.0	①普通3 ②頭部前面に黒斑面にびる黃褐色 3石英・角閃石、赤岩の粗砂 多く口縁部→脇部3/4	外面 口縫部→脇部斜削毛目→口縫部横剥頭、脇部→脇部4段の波 状文 (5cm/12mm)、脇部下端→斜削毛目、脇部中位以下は縦部に 削付着。内面 口縫部→脇部横剥き。
16	再生土器 壺	口径 底径 高さ	12.8 — 16.4	①普通3にびる黃褐色3石英・角閃石 3パミスの粗砂3口縁部→脇部1/4と脇 部1/2一部欠損	外面 口縫部→脇部斜削毛目→頭部2段止歛状文 (8cm/11mm) →1/2脇 部1段の波状文、脇部2段の波状文 (8cm/11mm, 上→下)、脇部下端 横剥毛目、底部混層。
17	再生土器 壺	口径 底径 高さ	13.2 — 13.6	①普通3にびる黃褐色3片岩・チャート・ 赤岩・パミスの粗・細砂3脇部下1/2と 下欠損	外面 口縫部横剥頭→まばらな横剥頭前頭→脇部12分割の2面止歛状文 ピット (9cm/12mm) →1/2脇部1段の波状文、脇部2段の波状文 (9cm/12mm), 脇部下端斜削毛目、底部横剥毛目で横剥頭減、全体に被熱。 内面 口縫部横剥毛目→1/2脇部→脇部横剥き、底部混層。
18	再生土器 台付壺	口径 底径 高さ	16.1 — 21.0	①普通2褐色3石英・角閃石の粗 砂多く口縁部→脇部中位3/4	外面 口縫部横剥頭→1/2脇部3段の波状文 (8cm/13mm) →口縫 部横剥頭→2段の波状文 (上→下)、脇部3段の波状文 (8cm/15mm, 上 →下)→脇部4カ所に円形斜削付、脇部斜削毛目、脇部中位以上は縦部削付着。 内面 口縫部横剥頭→頭部斜削毛目→まばらな横剥頭、脇部横剥毛目、 底部混層。
19	再生土器 鉢	口径 底径 高さ	12.6 — 10.2	①普通2赤褐色3石英・片岩・パミスの 粗砂3口縁部一部欠損	外面 頭部斜削横頭文→口縫部へ体部赤岩→横剥毛目、体部削減、底 部混層。
20	再生土器 鉢	口径 底径 高さ	13.0 — 7.5	①普通2赤褐色3角閃石・チャート・パ ミスの粗砂3口縁部1/3欠損	口縫部2孔の小丸 (孔径2mm)、外面 口縫部へ体部赤岩→口縫 部横剥頭→体部混層削、体部下端横剥毛目、底部混層。内面 口縫部横剥頭→底部斜削毛目→赤岩→横剥毛目、体部中位以下に薄く白色 物質付着。
21	土製勾玉	長さ 幅 厚さ	3.8 2.9 1.6	①普通2浅黄褐色3角閃石・チャートの粗 砂3少	孔径3mm、重さ 14.29g。 外面 無。
22	再生土器 壺	口径 底径 高さ	— — —	①普通2褐色3片岩・パミスの粗 砂多く口縁部破片	折り返し口縫部は無文、全体に削減。 内面 口縫部横剥毛目削減。
23	再生土器 壺	口径 底径 高さ	— — —	①普通2浅黄褐色3石英・角閃石・パミス の粗・細砂3口縁部破片	口縫部貼付・脇部横剥きを装飾的に残す。 内面 削磨・削減。
24	再生土器 壺	口径 底径 高さ	— — —	①普通3にびる黃褐色3チャート・角閃 石・パミス、赤岩の粗・細砂3脇部破片	脇部欠損頭打ち欠損調節及び内面削付着と細かい刻痕 (土器敷地に転 用)、外面 脇部3段以上の波状文→文様帶下端に荒筋束縫 1条、脇部 横剥頭削減、内面 刻痕削減。
25	再生土器 壺	口径 底径 高さ	— — —	①普通3 ②頭部外に無理2褐色3角閃石・ 片岩・赤岩の粗・細砂3脇部破片	外面 頭部2段止歛状文→脇部3段の横剥横羽状文 (上→下, 5cm/ 11mm)、脇部斜削毛目。 内面 脱部横剥毛目。
26	再生土器 壺	口径 底径 高さ	— — —	①普通2にびる褐色3片岩・チャート・パ ミスの粗・細砂3脇部破片	外面 斜削斜削毛目→脱部斜削文内に脱部横剥文で光場 (4cm/5mm)。 内面 脱部横剥毛目→横剥頭。
27	再生土器 壺	口径 底径 高さ	— — —	①普通2浅黄褐色3角閃石・片岩・赤 岩の粗・細砂3脇部破片	外面 脱部斜削毛目→脱部横剥文内に脱部横剥文で光場。 内面 脱部斜削毛目。
28	再生土器 壺	口径 底径 高さ	— — —	①普通2にびる褐色3片岩・チャート・パ ミスの粗・細砂3脇部破片	外面 脱部斜削毛目→脱部横剥文内に脱部横剥文で光場。 内面 脱部斜削毛目。
29	再生土器 壺	口径 底径 高さ	— — —	①普通2褐色3チャート・パミス・赤岩 の粗・細砂3脇部破片	外面 脱部斜削→2段の横剥頭弧文 (7cm/10mm)。 内面 脱部横剥毛目→横剥頭。
30	再生土器 壺	口径 底径 高さ	— — —	①普通2灰褐色3石英・チャート・パ ミスの粗・細砂3脇部破片	外面 脱部横剥頭→脱部弧文。 内面 脱部削減。

第75表 21号住居址出土土器観察表

## 21号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成土色調3船1-3残存	成・整形技法の特徴	出土位置
31	寄生土塗 壁	口径 - 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通2黄褐色3チャート・角閃石・赤 粒の粗~細砂+粘膜硬片	外面 脚部断面弧文 (6cm/15mm)。 内面 脚部磨擦。	覆土

## 22号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成土色調3船1-3残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	寄生土塗 壁	口径 - 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通・脚部外間に黒斑2地凸・角閃石・赤 粒の粗~細砂+粘膜硬片	外面 脚部上半波状文 (6cm/12mm)。脚部下半縱磨き。 内面 脚部横磨き。	ビット 脚硬片

## 23号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成土色調3船1-3残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	寄生土塗 壁	口径 (23.9) 底径 (10.5) 高さ 50.4	10.7 10.5 50.4	①普通2明黄色3石英・片岩・角閃石・ 赤粒の粗~細砂+粘膜硬片+体部3/2	外面 口縁部断続状具小による横磨擦で、脚部等脚部斜面状文 (10cm/17 mm)。脚部3段の波状文 (8cm/18mm、上→下)。脚部斜面状具小による 斜磨り。脚部下端へ延びて脚部で、内面 口縫部斜面毛目。脚部上半 波状磨き。脚部下半脚部斜面状具小による無。	西西北六牆 床面
2	寄生土塗 壁	口径 (17.6) 底径 - 高さ -	10.7 5.3 8.5	①普通2赤褐色3石英・チャート・パミス の粗~細砂+粘膜硬片+体部3/2	外面 口縫部等3横磨り粗さ。脚部3段止磨状文 (18cm/24mm)。体部斜 面毛目+赤褐色+横磨り粗さ。 内面 口縫部+脚部斜面粗さ。体部斜面毛目+赤褐色+横磨り粗さ。	中央部 床面
3	寄生土塗 有孔壁	口径 16.1 底径 5.3 高さ 8.5	10.7 5.3 8.5	①普通・体部外間に黄褐色3石英・ 角閃石・パミスの粗~細砂+粘膜硬片+ 体部1/2欠損	外面 脚部成前丸 (8cm/1cm)。 内面 口縫部+脚部斜面粗さ。体部底面で→昂磨り粗さ。	覆土
4	寄生土塗 壁	口径 - 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通2褐色3石英・チャート・パミス の粗~細砂+粘膜硬片	折り返し口縫部に捺伏状文。口縫部に斜具による刻み。 外面 滑感。 内面 口縫部横磨毛目滑感。	覆土

## 24号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成土色調3土塗残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	寄生土塗 壁	口径 (21.1) 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通2明赤褐色3石英・チャート・パ ミス・赤粒の粗~細砂+粘膜硬片+脚部下 半1/2	上面斜面が引出用 (脚部内面に+稍横円の輪付箇)。 外面 口縫部+脚部斜面+脚部1段→脚部2段止磨状文→口縫部3段 (下→ 上)。脚部4段の波状文 (1下→上)。横磨文は9cm/16mmで共通。脚部下 半波状磨き。脚部中位にシンドウ保付箇。 内面 口縫部+脚部無付箇。	覆土
2	寄生土塗 壁	口径 21.5 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通・石英・片岩・角閃石・パミスの 粗~細砂+口縫部+脚部・体部	外面 口縫部+脚部斜面+脚部2段止磨状文 (8cm/14mm)→脚 部1段→脚部1段+脚部3段以上波状文 (8cm/14mm)。 内面 口縫部+脚部横磨毛目滑感。	覆土
3	寄生土塗 壁	口径 28.4 底径 10.7 高さ 23.7 振	10.7 10.5 23.7	①普通2褐色3石英・片岩・角閃石・ 輝石・パミスの粗~細砂+粘膜硬片+脚部の一部欠 損	内面に脚部による刻み。底面は成後丸から打削による穿孔。 中央部 床面	中央部 床面
4	寄生土塗 壁	口径 18.8 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通・口縫部外外面に黒斑2地+いぶ い青褐色3角閃石・パミス・赤粒の粗~細砂 +粘膜硬片+脚部上半3/4	外面 口縫部断続状具小による無で、脚部側面無で、脚部底面毛目。 内面 口縫部横磨毛目滑感。脚部滑感。	覆土
5	寄生土塗 壁	口径 (19.4) 底径 (7.7) 高さ 28.3	10.7 10.5 28.3	①普通2褐色3石英・片岩・角閃石・赤 粒の粗~細砂+口縫部+底部3/4	外面 口縫部断続状具小による無で、脚部等4段の波状文 (11cm/ 16mm、上→下)。脚部斜面毛目→滑感。口縫部+脚部中位付付着、 脚部半横磨。内面 口縫部+脚部横磨粗さ。	中央部 床面
6	寄生土塗 壁	口径 17.1 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通2褐色3石英・パミスの粗~ 細砂+脚部1/4欠損	内面等と肩部分に各々かねの門形状付着。	西西北 床面
7	寄生土塗 壁	口径 22.8 底径 10.0 高さ 37.4	10.7 10.5 37.4	①普通2明赤褐色3石英・チャート・パ ミス・赤粒の粗~細砂+ほぼ完形	外面 脚部12段分2段止磨状文 (9cm/3cm)→脚部2段止磨状文 (7cm/11cm) →脚部2段の波状文 (9cm/13cm)。脚部斜面粗さ→脚部下半斜格子の標 積文 (9cm/13cm)。底面滑感。口縫部+脚部中位付付着。 内面 口縫部+脚部横磨粗さ。底面無。	北西北6 壁 背面沿 床面
8	寄生土塗 片口跡	口径 12.2 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通2褐色3石英・角閃石・チャート・ パミスの粗~細砂+脚部欠損	外面 口縫部断続状具小による無で、脚部2段止磨状文 (7cm/11cm) →脚部2段の波状文 (9cm/13cm)。脚部斜面粗さ→脚部下白色物付付着。 内面 口縫部+脚部横磨粗さ。底面無。	北西北6 壁 背面沿 床面
9	寄生土塗 片口跡	口径 10.2 底径 7.3 高さ 16.6	10.7 10.5 16.6	①普通2浅黃褐色3石英・チャート・パ ミス・赤粒の粗~細砂+完形	外面 口縫部横磨で、脚部2段止磨状文は脚部の1/2程度で止まる。 内面 口縫部断続状具小による無で、脚部下半横磨粗さ。脚部横磨。	北西北沿 床面
10	寄生土塗 片口跡	口径 (10.0) 底径 8.6 高さ 12.2	10.7 10.5 12.2	①普通・底外間に黄褐色3石英・ 角閃石・パミス・赤粒の粗~細砂+粘膜硬片 +脚部上半の1/3欠損	外面 口縫部+脚部横磨で、底面無で。 内面 口縫部+脚部滑感。底面無。	南東部 床面
11	寄生土塗 壁	口径 - 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通2にぶい黄褐色3チャート・パ ミス・赤粒の粗~細砂多い+粘膜硬片	外面 脚部上端3段の混練構造文と交差斜文、脚部下供給筋彌合 文と斜文。 内面 脚部底面の無。	覆土
12	寄生土塗 壁	口径 - 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通2浅黃褐色3石英・角閃石・赤 粒の粗~細砂+口縫部1/4	外面 口縫部折り返し→横磨で→2個1組の棒状付文に斜突→2段 の波状文。脚部底面無。	覆土
13	寄生土塗 壁	口径 - 底径 - 高さ -	10.7 10.5 50.4	①普通2褐色3チャート・パミス・赤 粒の粗~細砂+粘膜硬片	内面 口縫部滑感。	覆土

第76表 21~24号住居出土土器觀察表

## 25号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成2色調3船王残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	舟生土塗 台付壁	口径	15.0 底径 16.2 厚高 21.8	①普通2赤褐色3片岩・バミスの粗～細 砂多い・口縁部～胴部1/2欠損	口縁部と底部に円形切欠き。外面、頭部2道止撫状文 (10mm/14mm)。 →口縁部1段・肩部3段の波状文 (6mm/11mm, 上～下)。胴部～脚部 横模様焼き。脚部側で、口縁部～胴部付着。胴部被熱。内面 横模様焼き。	北壁泊 床面
2	舟生土塗 壁	口径	-	①普通2黄褐色3石英・角閃石の粗～細 砂多い・口縁部～胴部破片	外面、頭部～脚部脚部横模状文 (10mm/11mm)。 内面、唇部。	壁土

## 26号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成2色調3船王残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	舟生土塗 壁	口径	(19.4) 底径 16.0 厚高 -	①普通2赤褐色3片岩・バミスの粗～細 砂多く・口縁部～胴部上半3/4	外面、口縁部横模で、口縁部横模毛目～脚部13分野の2道止撫状文 (10mm/12mm)。 →口縁部1段・肩部2段の波状文 (9mm/12mm, 上～下)。底部 脚部横模で、外面上全周に溝・縫合付着。 内面、口縁部～脚部横模焼き。	中央部 床面
2	舟生土塗 壁	口径	15.1 底径 6.6 厚高 14.9	①普通2によい褐色3片岩・チャート・バ ミスの粗～細砂少・口縁部破片	外面、口縁部横模で、頭部～脚部板状小口による斜削れ、底部崩壊。 内面、口縁部横模で、口縁部～脚部横模焼き崩壊。底部被熱。	中央部 床面
3	舟生土塗 台付壁	口径	-	①普通2によい褐色3片岩・バミスの粗 ～細砂少・口縁部破片	外面、口縁部横模で→1段の貴状文、頭部斜面毛目→等脚輪廓状文。 内面、口縁部横模で、頭部横模焼き。	壁土

## 27号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成2色調3船王残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	舟生土塗 壁	口径	-	①普通2赤褐色3片岩・チャート・バ ミスの粗～細砂少・口縁部破片	口縁部曲取り。 外面、口縁部2段の斜面文 (LR)。 内面、口縁部曲取り。	壁土

## 28号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成2色調3船王残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	舟生土塗 台付壁	口径	(14.1) 底径 8.7 厚高 -	①普通2赤褐色3片岩・チャート・バ ミスの粗～細砂少・口縁部破片	外面、口縁部横模毛目→部等部横模焼き文 (7mm/12mm) →口縁部1段・ 脚部2段の波状文 (7mm/12mm)。脚部～脚部横模焼き。口縁部～脚部 に斜削れ。内面、口縁部～脚部横模焼き。脚部被熱。	北東隅 床面

## 29号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成2色調3船王残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	舟生土塗 台付壁	口径	12.1 底径 8.7 厚高 16.6	①普通2赤褐色3石英・片岩・バミスの粗 ～細砂少・完形	口部面に斜削れによる筋。 外面、口縁部横模で→口縁部～脚部3～4段の波状文 (8mm/14mm)。 脚部～脚部横模焼き。口縁部～脚部横模付着。脚部被熱。 内面、口縁部横模で、脚部横模焼き。脚部被熱。	軒裏穴

## 31号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成2色調3船王残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	舟生土塗 高所	口径	-	①普通2赤褐色3片岩・バミスの粗 ～細砂少・外部底～脚部	脚部面に粘土層付着による帶。	壁土 (土器敷 野に転用)
2	舟生土塗 壁	口径	-	①普通2によい褐色3片岩・チャート・バ ミスの粗～細砂少・口縁部破片	外面、外部～脚部底～横模焼き。	壁土
3	舟生土塗 壁	口径	-	①普通2によい褐色3石英・チャート・バ ミスの粗～細砂少・脚部破片	外面、脚部底横模文内を茎底沈線で北東。 内面、脚部無。	壁土

## 32号住居

番号	面	種	法量 (cm)	①焼成2色調3船王残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	上脚面 壁	口径	(13.9) 底径 - 厚高 -	①普通2によい褐色3石英・チャートの粗 ～細砂少・口部～脚部上半1/4	受口状口縁。 外面、口縁部横模で、脚部～脚部横模毛目。全体に付着。	壁土
2	上脚面 窓	口径	20.5 底径 - 厚高 -	①普通2によい褐色3片岩・チャート・バ ミスの粗～細砂少・口縁部破片	外面、脚部底横模焼き。脚部～脚部横模毛目。	中央部 床面
3	舟生土塗 壁	口径	-	①普通2によい褐色3石英・角閃石の粗 ～細砂少・口縁部破片	外面、斜り落し口縁部に1段の波状文。 内面、口縁部横模焼き。	壁土
4	上脚面 壁	口径	-	①普通2浅黄褐色3石英・チャート・バ ミスの粗～細砂少・脚部破片	外面、脚部底横模毛目→脚部横模毛目。 内面、脚部底方向無。	壁土
5	上脚縫隙 壁	口径	4.0cm, 厚さ2.5cm, 孔径0.6cm, 重さ34.12g, 明褐色, 焼成前穿孔, 全面を指揮で。			中央部床面

第77表 25～32号住居出土土器観察表

## 33号住居

番号	層	種	法量 (cm)	①焼成色調3船下残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生上層 壁	口径	21.3	①普通2灰黃褐色3角閃石・バシリスの粗~細砂4小部下半1/2と底部欠損	外面 口部斜削毛目・断面で、底部17分類の等厚陶薄片文(10mm/19mm)→口縁部1段・別部3段の波状文(10mm/19mm)、斜削斜削毛目→斜削薄片で、胴部中央にバンド状波状文。内面 口縁部残具小口による擦で、底部に刷毛上斜削毛目。胴部下半斜削毛目。胴部中央燒泥跡。	覆土
2	弥生上層 右付壁	口径	14.9	①普通2灰黃褐色3角閃石・バシリスの粗~細砂4小部下部2/3	口縁部と側部中央に円錐状突起と刺突。外面 口縁部→別部4段の波状文(9mm/12mm、上→下)。内面 口縁部無地、胴部横溝波り。	覆土
3	弥生上層 跡	口径	-	①普通2灰黃褐色3石英・角閃石・バシリス、赤粒の粗~細砂4小部破片	外面 口縁部横溝波文、赤彩剥落。内面 口縁部多歩。	覆土

## 34号住居

番号	層	種	法量 (cm)	①焼成色調3船下残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生上層 壁	口径	18.4	①普通2灰黃褐色3角閃石・バシリスの粗~細砂4小部充てん	外面 胴部12分類の3進止漸状文(11mm/16mm)→口縁部4段・別部4~5段の波状文(上→下、11mm/16mm)、胴部縱横溝波で、中位に横溝波り。内面 口縁部と胴部中央に横溝波り。	西西南部 床面
2	弥生上層 壁	口径	(19.1) 10.6 34.1	①普通2褐色3角閃石・バシリスの粗~細砂4小部中位の1/2欠損	口縫間に柳枝状による孔み。外面 口頭部斜削毛目→横削で、胴部2段止漸状文→口縁部1段・別部4段の波状文、柳枝状に横溝波で、胴部位に複数孔み。内面 口縁部→別部斜削毛目→口縁部横溝波き、胴部無地。	西北柱六筋 床面
3	弥生上層 壁	口径	18.0	①普通2灰黃褐色3石英・片岩・チャート・バシリスの粗~細砂4小部下位3/4	外面 口頭部斜削毛目→胴部2段止漸状文(11mm/14mm)→口縁部4段、胴部斜削毛目→横溝波き、胴部位に1/2段止漸状文。内面 口縁部→別部斜削毛目→横溝波き。	西北柱六筋 床面
4	弥生上層 壁	口径	(16.8) 10.6 34.9	①普通2褐色3石英・角閃石・チャート・バシリスの粗~細砂4小部中位	外面 口縁部→別部斜削毛目→頭部2分類の2進止漸状文→口縁部7段止漸状文(上→下)、頭部は8mm/16mmで共通。胴部無地、別部斜削毛目で横溝波き。内面 口縫間に柳枝状孔目→横溝波き、胴部外見無地で横溝波き。	西北部 床面
5	弥生上層 壁	口径	16.6	①普通2灰黃褐色3角閃石・チャート・バシリスの粗~細砂4小部下位	外面 斜引造じし口縁部横溝で、頭部2分類の2進止漸状文→口縁部2段止漸状文(上→下)、胴部は8mm/16mmで共通。胴部無地、別部斜削毛目で横溝波き。内面 口縫間に柳枝状孔目→横溝波き。	西北柱六筋 床面
6	弥生上層 右付壁	口径	13.1	①普通2灰黃褐色3角閃石・チャート・バシリスの粗~細砂4小部下位	外面 口縫間に柳枝状孔目で、口縫部→胴部斜削毛目→頭部7分類の等厚陶薄片文(上→下)、頭部2段止漸状文(上→下)、別部2段(上→下)、別部4段(上→下)の波状文、頭部は6mm/12mmで共通。全体に自然と無地で横溝波き。内面 口縫部→別部斜削毛目→横溝波き。	西北部 床面
7	弥生上層 跡	口径	8.6 2.9 5.4	①普通2灰黃褐色3片岩・チャート・バシリスの粗~細砂4小部下位	外面 口縫部→底部赤色→横溝波き。内面 口縫部→底部赤色→横溝波き。	覆土
8	弥生上層 壁	口径	-	①普通2灰黃褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部3段以上の柳枝円弧文(上→下、左→右、5mm/14mm)。内面 胴部無地。	覆土
9	弥生上層 壁	口径	-	①普通2灰黃褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部3段以上の柳枝円弧文(上→下、左→右、5mm/14mm)。内面 胴部無地。	中央部 床面
10	弥生上層 壁	口径	-	①普通2褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部3段以上の柳枝円弧文(上→下、左→右、5mm/14mm)。内面 胴部無地。	中央部 床面
11	弥生上層 壁	口径	-	①普通2灰黃褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 頭部3段止漸状文、頭部2段以上の柳枝円弧文(上→下、左→右、7mm/14mm)。内面 胴部無地。	覆土
12	弥生上層 壁	口径	-	①普通2灰黃褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部3段以上の柳枝円弧文。内面 胴部無地。	覆土
13	弥生上層 壁	口径	-	①普通2灰黃褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部4段以上の柳枝円弧文(上→下、左→右、6mm/13mm)。内面 胴部無地。	覆土
14	弥生上層 壁	口径	-	①普通2灰黃褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部3段以上の柳枝円弧文(6mm/13mm)。内面 胴部無地。	覆土
15	弥生上層 壁	口径	-	①普通2灰黃褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部3段以上の柳枝円弧文(5mm/14mm)。内面 胴部無地。	覆土
16	弥生上層 壁	口径	-	①普通2灰黃褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部無地。	覆土
17	弥生上層 壁	口径	-	①普通2灰黃褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部3段以上の柳枝円弧文(上→下、左→右、6mm/11mm)。内面 胴部無地。	覆土
18	弥生上層 壁	口径	-	①普通2褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部柳枝円弧文。内面 胴部無地。	西北部 床面
19	弥生上層 壁	口径	-	①普通2褐色3石英・チャート・バシリスの粗~細砂4小部破片	外面 胴部柳枝円弧文。内面 胴部無地。	覆土

第78表 33号・34号住居址出土土器観察表

## 34号住居

番号	面 種	法量 (cm)	①焼成色調3胎土・残存	或・整形技法の特徴	出土位置
20	夯实土層 裏	口径 - 底径 - 厚高 -	①普通、胴部外面に黒褐色・黄褐色・石英・チャート・パミス、赤粒の粗~細砂・粘土質 片	外面 脇部斜面で→頸部3連止巻状又→脛部2段の櫛状削痕文 (上:右→左、下:右→左、10mm/20mm)。 内面 脱部斜面で→まばらな櫛状削痕。	覆土
21	土製結跡串	径 5.3cm × 5.4cm、厚さ 2.0cm、口径 0.6cm、重さ 45.82g、石英・角閃石・パミス・赤粒を含む。			北西柱穴盤

## 溝

番号	面 種	法量 (cm)	①焼成色調3色1・残存	或・整形技法の特徴	出土位置
1	夯实土層 壁	口径 - 底径 - 厚高 -	①普通等にぶい黄褐色・石英・片岩・チャート・赤粒の粗~細砂多い・脣部破片 片	外面 脱部斜面文 (LR) →2条の洗跡。 内面 脱部横方向擦れ。	2号溝
2	夯实土層 壁	口径 - 底径 - 厚高 -	①普通の黄褐色・石英・チャート・パミスの粗~細砂 (口)・脣部破片	外面 口縁部約1.5cm後合板と指圧痕。 内面 口縁部横擦れ。	3号溝
3	夯实土層 高坪	口径 14.7 底径 8.3 厚高 12.4	①普通の黄褐色・石英・チャート・角閃石・赤粒・パミスの粗~細砂 主坪面2/3欠損	外面 所部崩壊、脣部剥離毛目。 内面 所部剥離毛目→赤彩→模擬焼き痕、脣部指圧痕。	13号溝
4	夯实土層 井	口径 (11.3) 底径 6.7 厚高 9.0	①普通の黄褐色・石英・チャート・角閃石・赤粒・パミスの粗~細砂 口縁部4/5欠損	外面 口縁部・体部指圧痕で、底面部削り。 内面 口縁部削れさえ、体部→脣部指圧痕。	13号溝
5	土製勾玉	-	石英・角閃石・パミスの粗~細砂含む。		9号溝
6	須恵器 短筒壺	口径 10.3 底径 6.7 厚高 6.3	①普通の灰色・チャート・パミスの粗砂 本口縁部→底部1/2	外面 脱部下半～脣部手持ち荒削り調整、底部荒記号。 内面 底部内面で調査。	5号溝

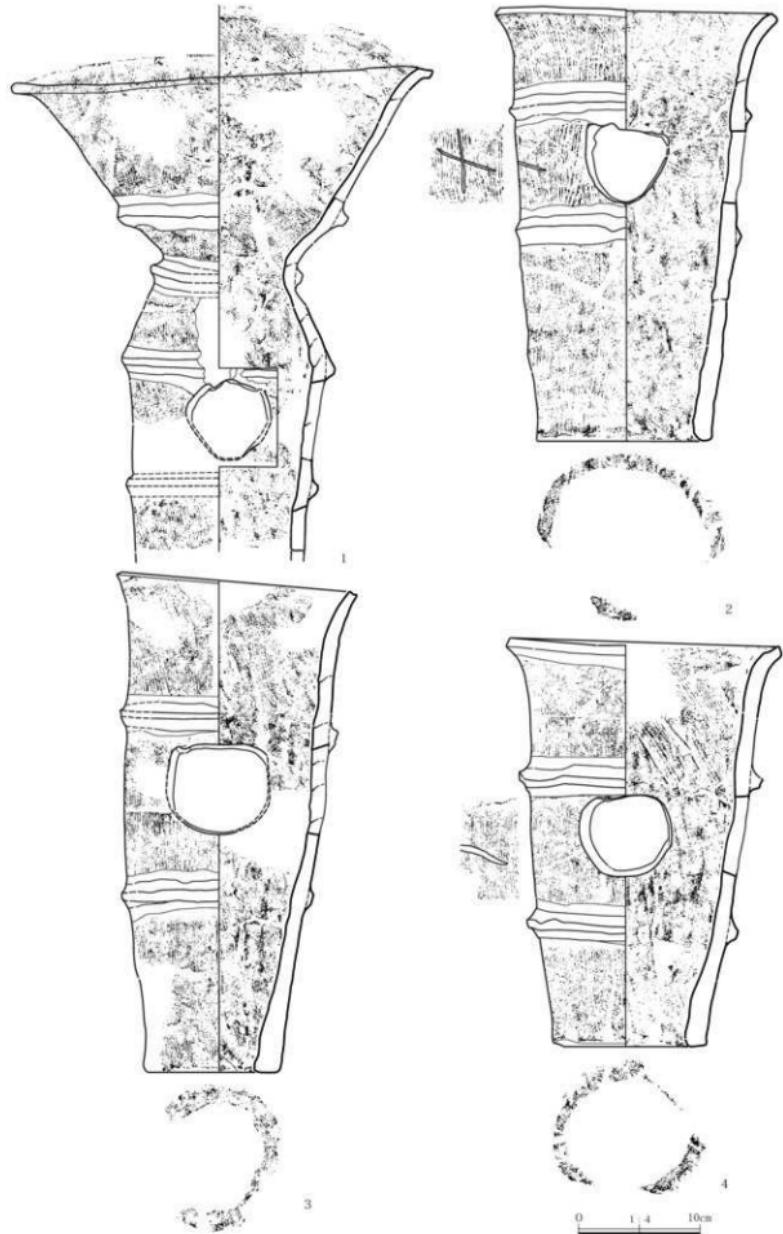
## 古墳

番号	面 種	法量 (cm)	①焼成色調3胎土・残存	或・整形技法の特徴	出土位置
1	夯实土層 壁	口径 - 底径 - 厚高 -	①普通等にぶい黄褐色・石英・角閃石・チャートの粗~細砂・脣部破片	外面 脱部面筋網文を基盤成形で充填→赤彩 (網文内を除く) →赤彩等を模擬焼き。 内面 脱部横方向擦れ。	1号埴
2	夯实土層 壁	口径 - 底径 - 厚高 -	①普通の黄褐色・角閃石・チャート・パミスの粗~細砂・脣部破片	外面 脱部面筋網文の上部を2段以上の直状文。下部を尾筋網文。 内面 脱部面筋網文。	1号埴
3	夯实土層 壁	口径 - 底径 - 厚高 -	①普通、脱部外面に黒褐色にぶい黄褐色・角閃石・パミス、赤粒の粗~細砂不規 則破片	外面 脱部斜面毛目→2段以上の直状文→対するJ字文 (10cm/16mm)。 内面 脱部斜面毛目→まばらな模擬焼き。	1号埴壁丘
4	夯实土層 壁	口径 - 底径 - 厚高 -	①普通等にぶい黄褐色・石英・パミス、赤粒の粗~細砂・脣部破片	外面 脱部斜面毛目 (7mm/11mm)。 内面 脱部斜面毛目。	1号埴壁丘

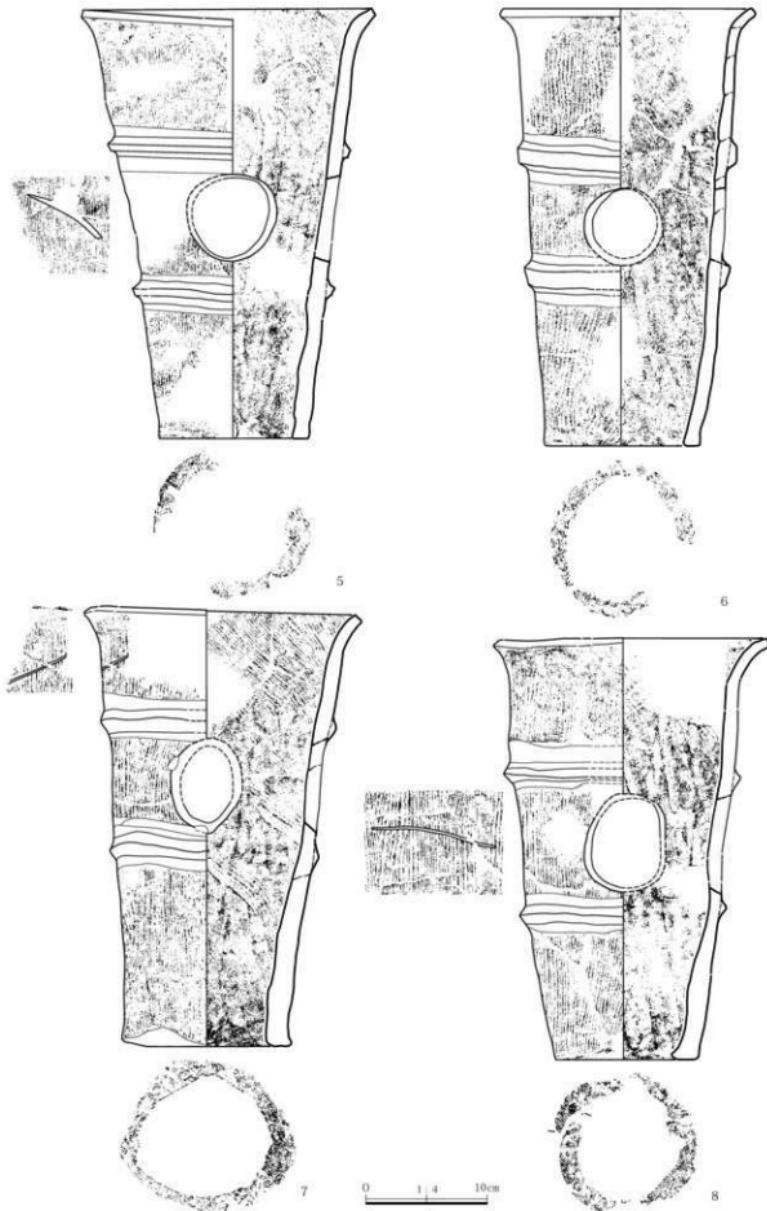
## 遺構外

番号	面 種	法量 (cm)	①焼成色調3胎土・残存	或・整形技法の特徴	出土位置
1	夯实土層 裏	口径 - 底径 2.8 厚高 -	①普通等にぶい黄褐色・チャート・パミスの粗~細砂・口縁部欠損	外面 損傷無でと押さえ。体部粘土帶接合痕残す。 内面 天井部～体部擦れ。	4区

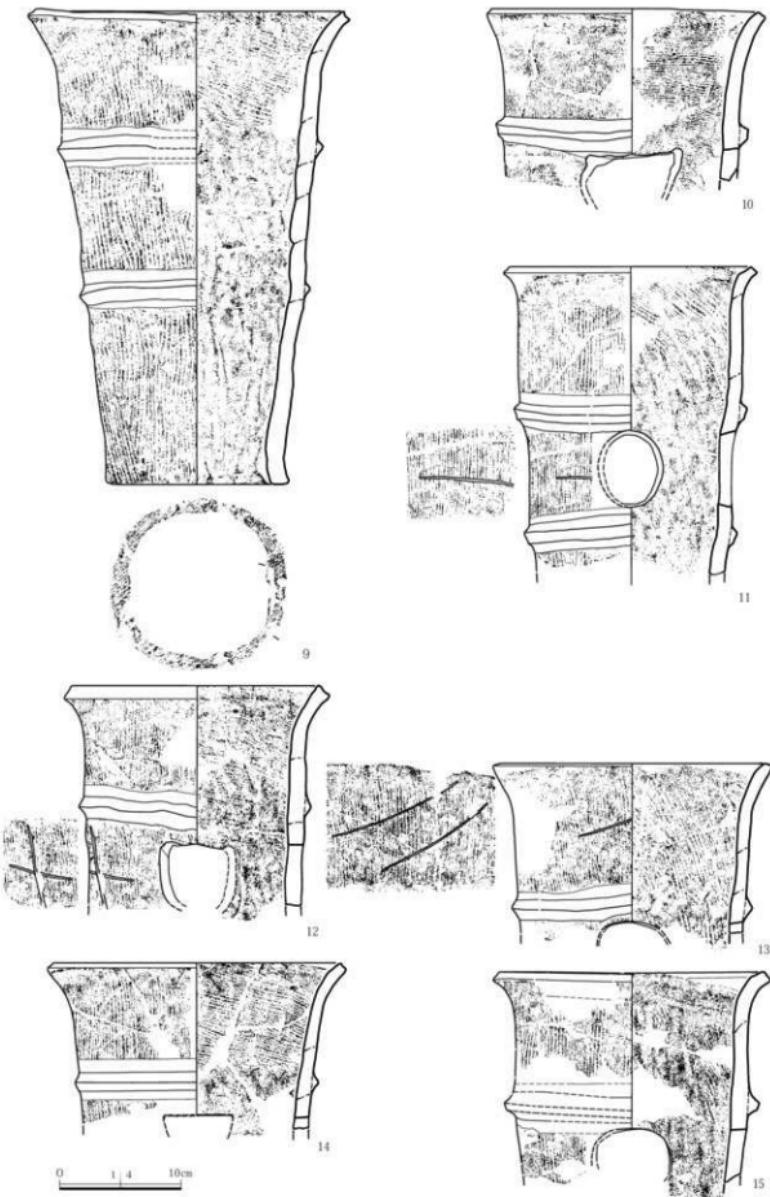
第79表 34号住居址、溝、古墳、遺構外出土土器観察表



第148図 潼1号古墳出土円筒埴輪実測図(1)



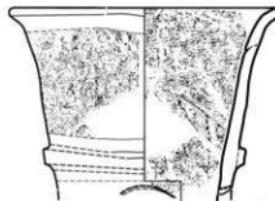
第149図 漢1号古墳出土円筒埴輪実測図(2)



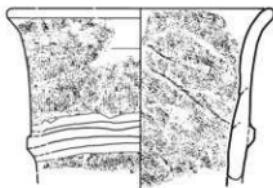
第150図 濑1号古墳出土円筒埴輪実測図(3)



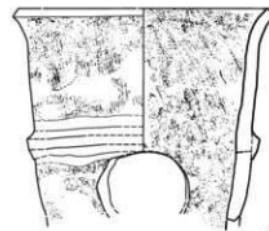
16



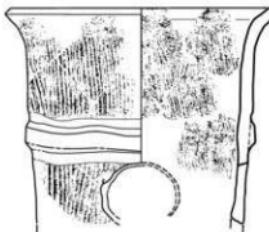
17



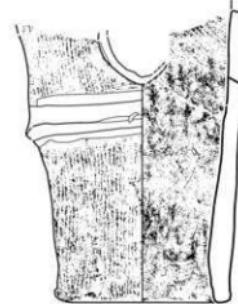
18



19



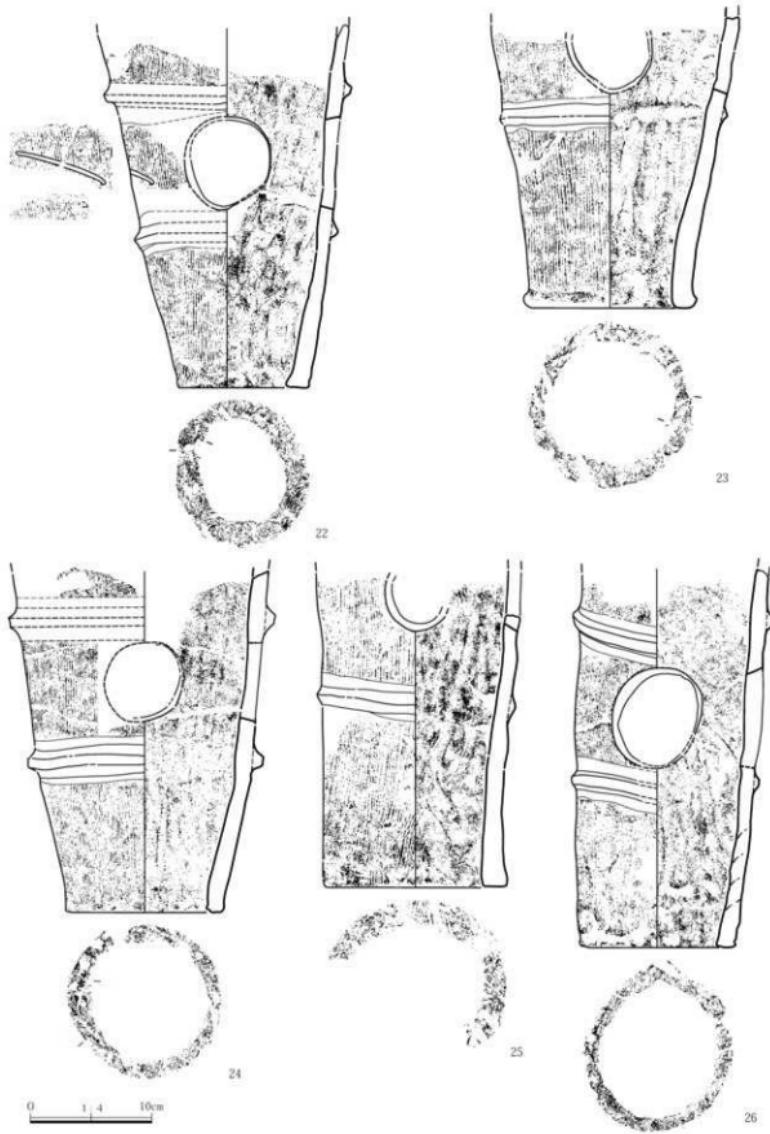
20



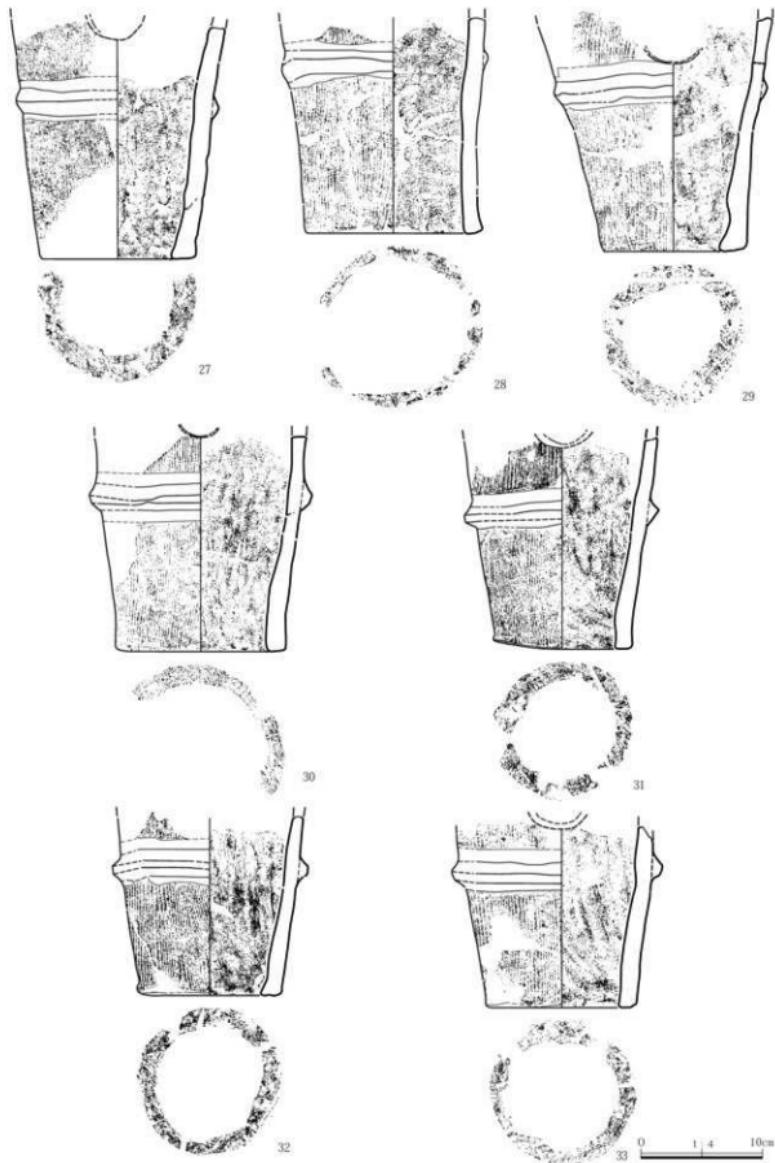
21



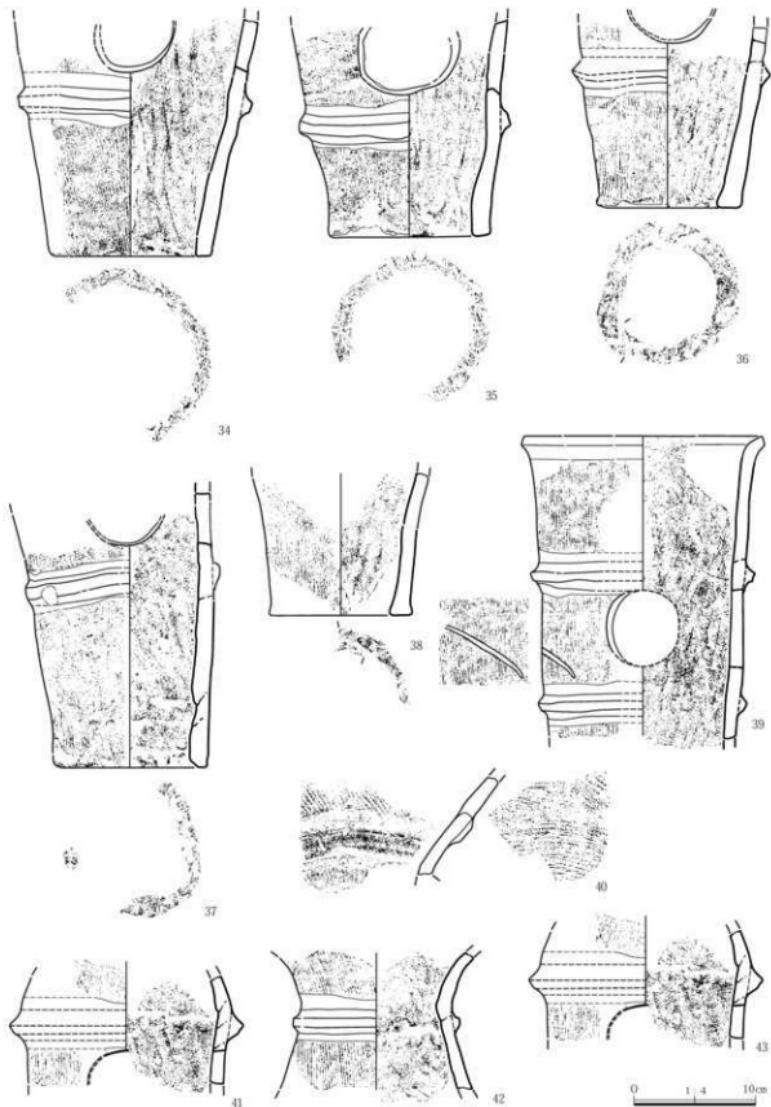
第151図 潘1号古墳出土円筒埴輪実測図(4)



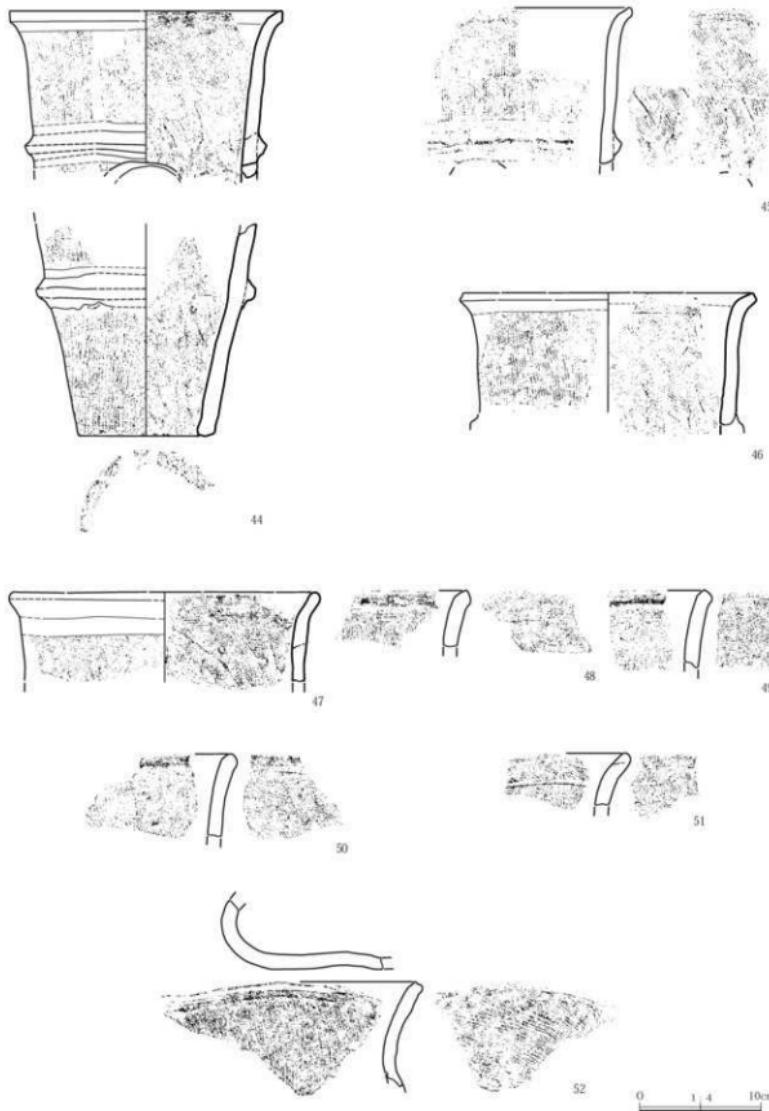
第152図 潘1号古墳出土円筒埴輪実測図(5)



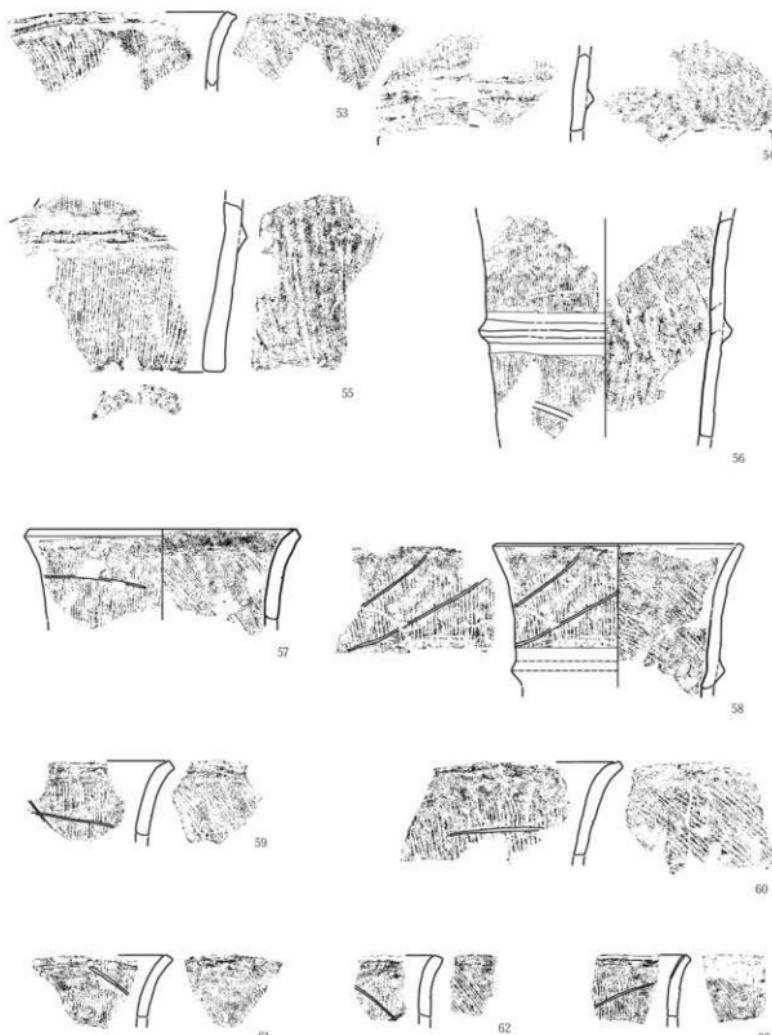
第153図 漢1号古墳出土円筒埴輪実測図(6)



第154図 漢1号古墳出土円筒埴輪実測図(7)

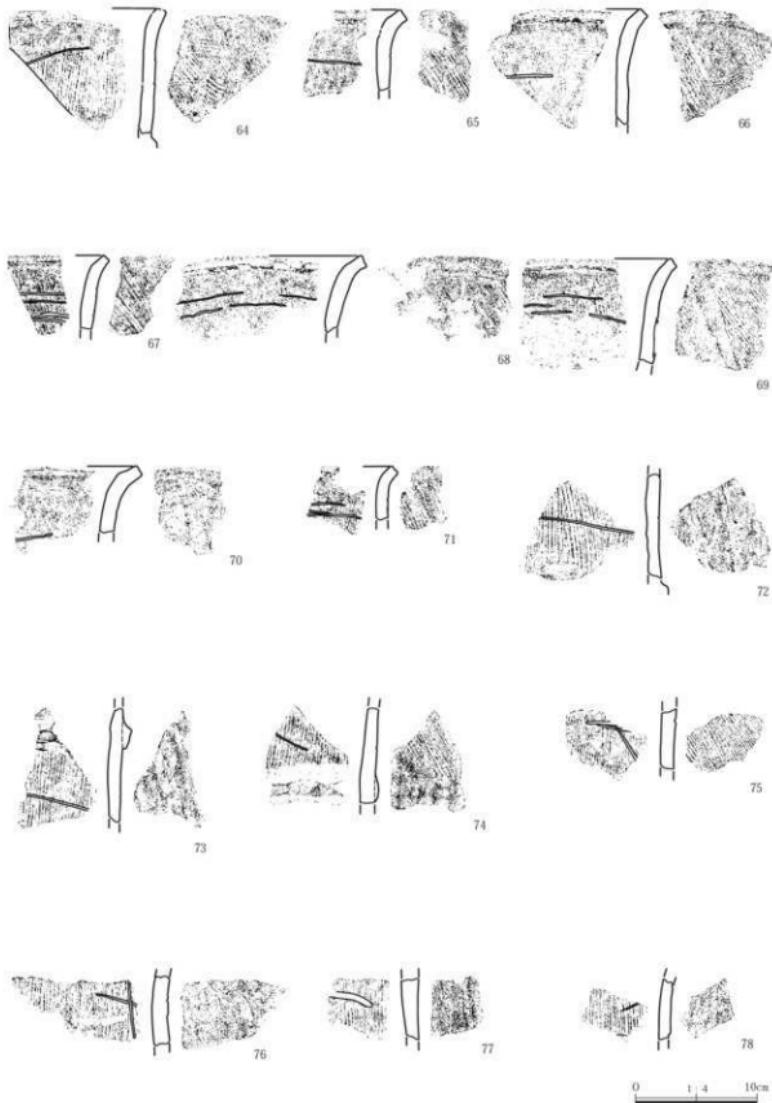


第155図 潼1号古墳出土円筒埴輪実測図(8)

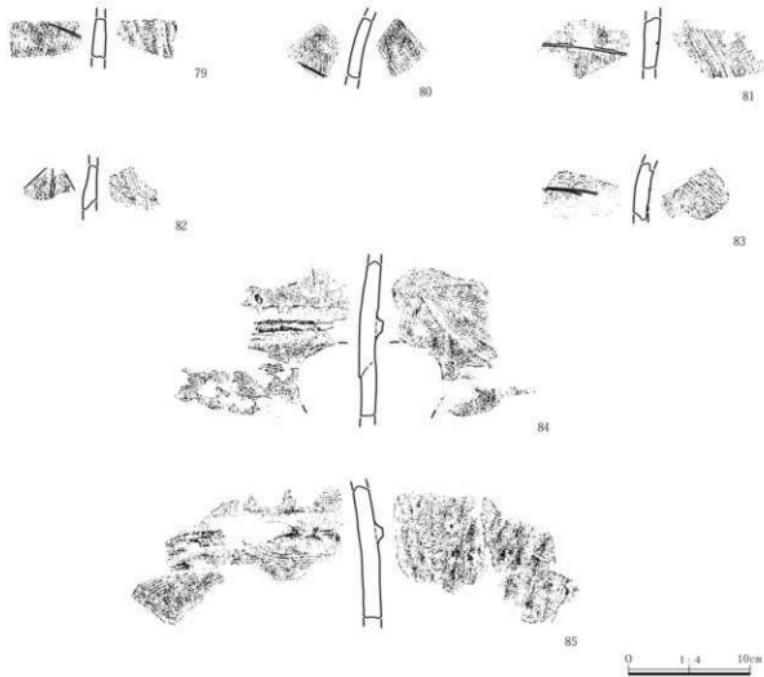


0 1 4 10cm

第156図 潼1号古墳出土円筒埴輪実測図(9)



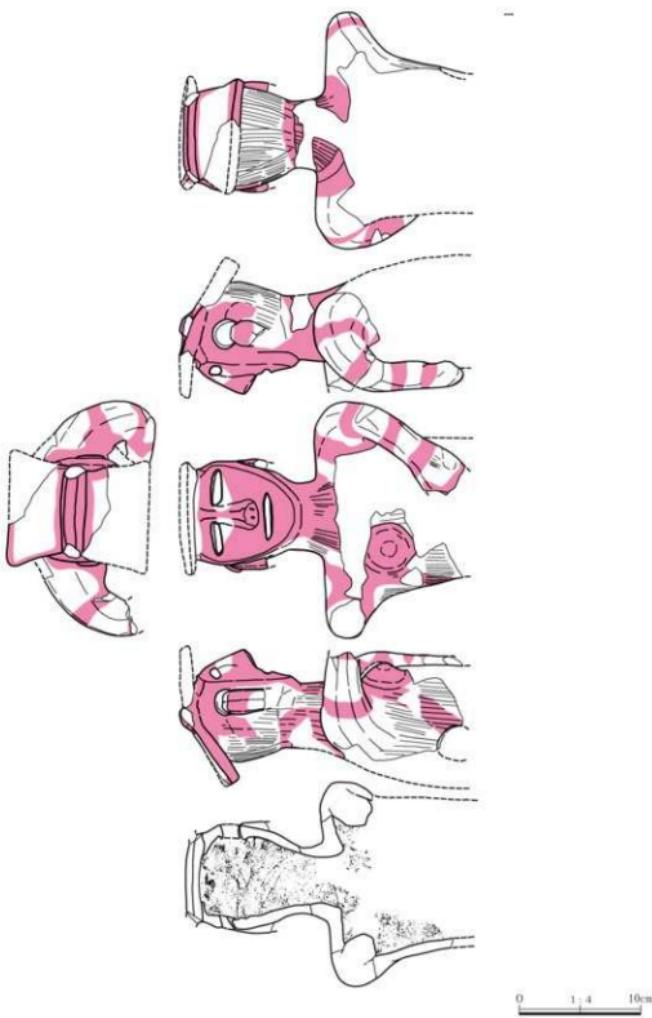
第157図 潼1号古墳出土円筒埴輪実測図(0)



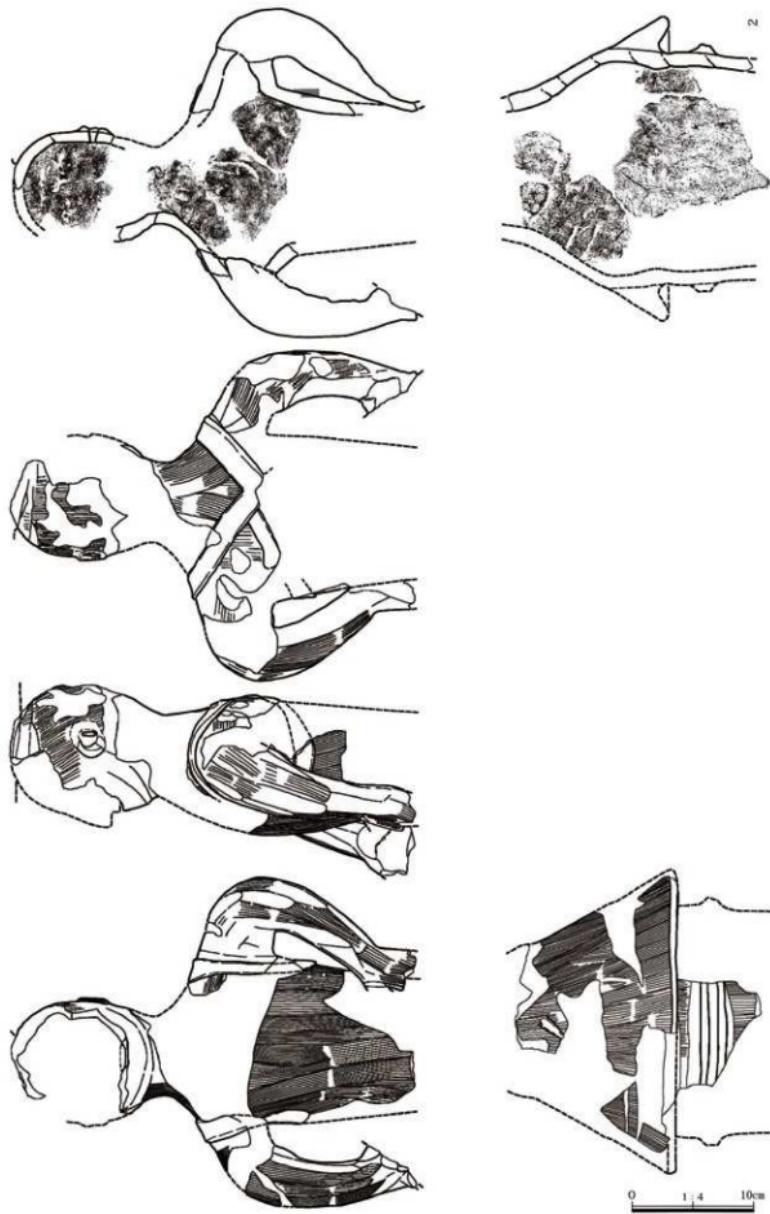
第158図 漢1号古墳出土円筒埴輪実測図(1)



第159図 漢1号古墳出土土器実測図



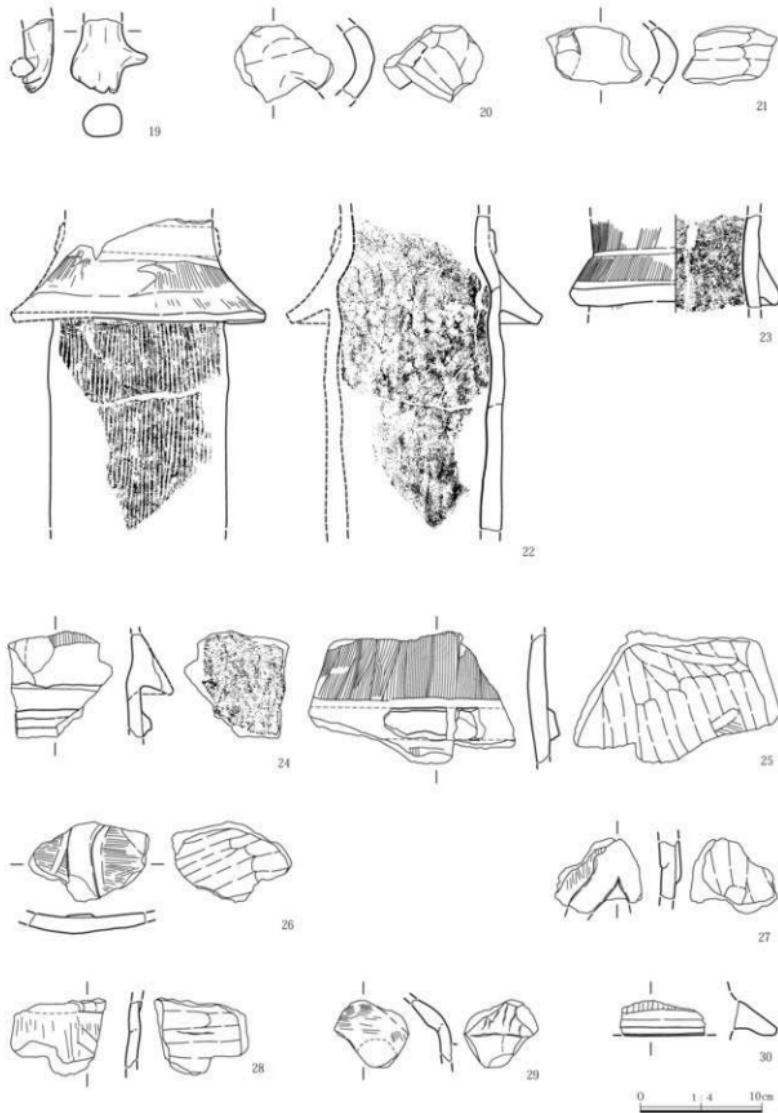
第160図 濑1号古墳出土形象埴輪実測図(1)



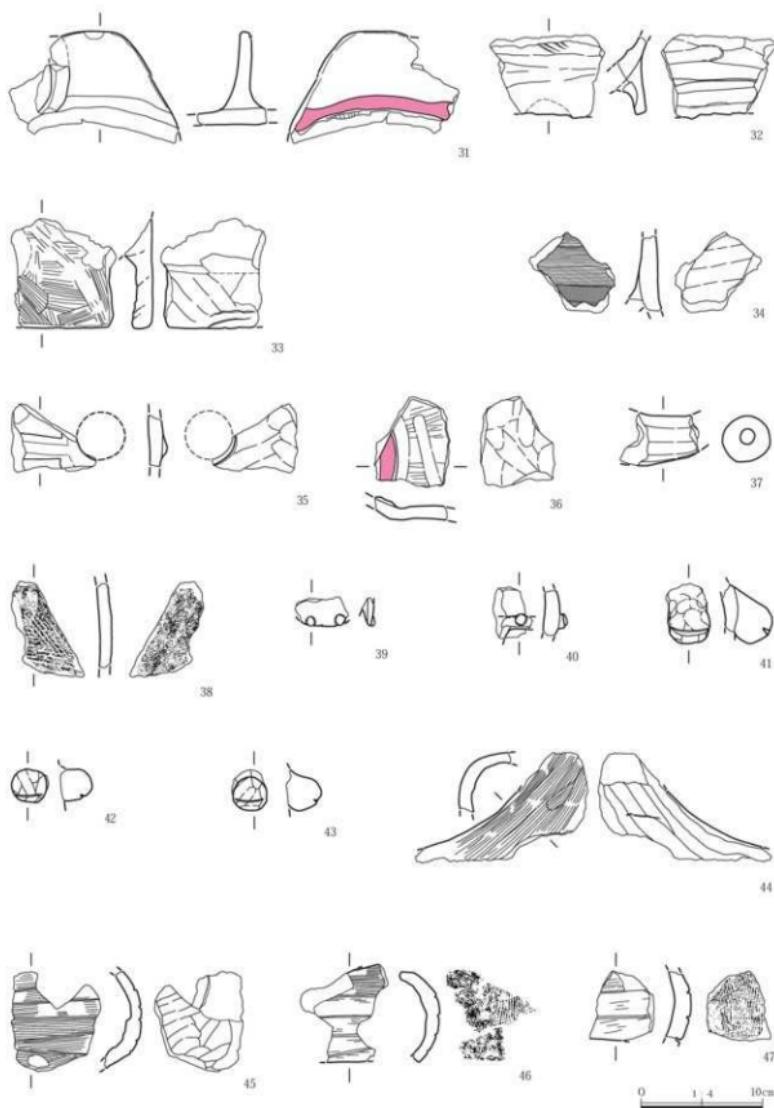
第161図 漢1号古墳出土形象埴輪実測図(2)



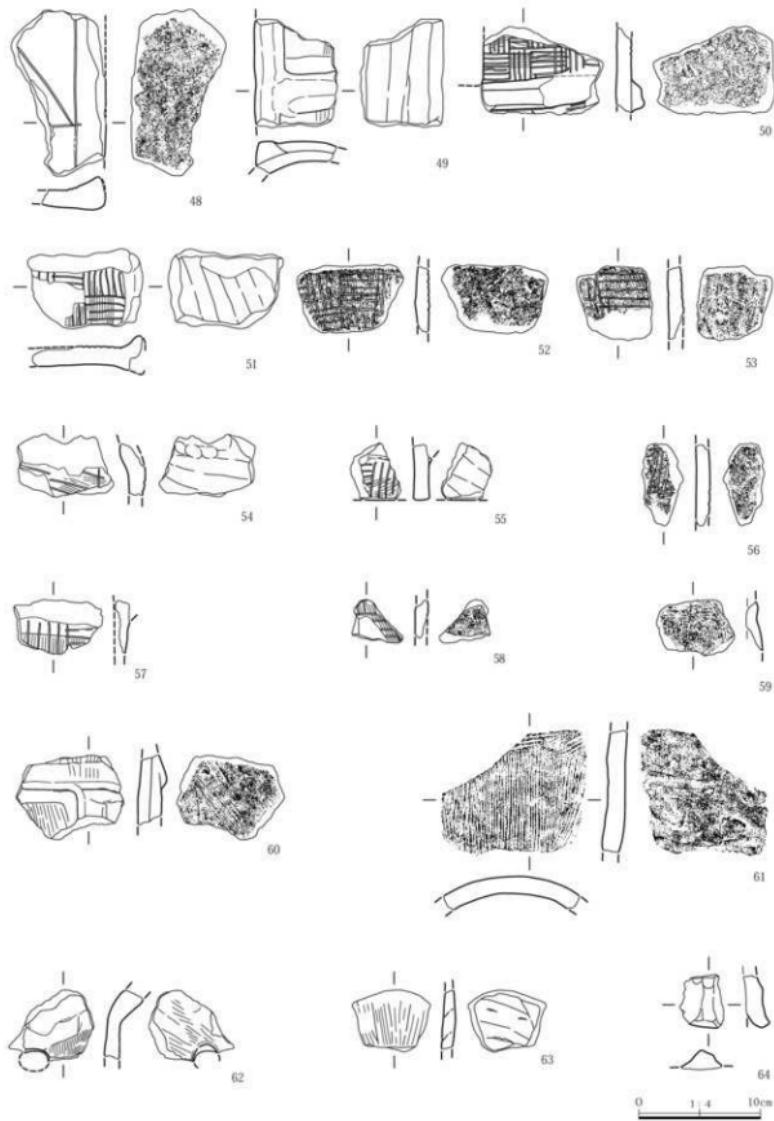
第162圖 漢1號古墳出土形象埴輪實測圖(3)



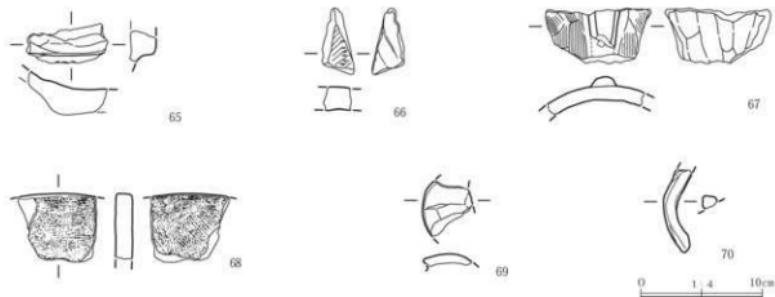
第163図 漢1号古墳出土形象埴輪実測図(4)



第164図 潼1号古墳出土形象埴輪実測図(5)



第165図 漢1号古墳出土形象埴輪実測図(6)



第166図 漢1号古墳出土形態埴輪実測図(7)

番号	種類	計測値(cm)	実帶 断面形状	透孔 形狀	縫毛目 幅×高 /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考	
								外表面	内表面
1	側面形 円筒埴輪	口径 底径 3段 4段 5段 6段	34.5 9.5 7.8 4.7 12.2	台形 ~ 三角形	円	~7.0	10	粗粒チャート・ 麻灰岩 橙色	6段構成+想定。 外表面第5・6段に 赤色塗彩。透孔上 側の第4段を埴土 貼付により亜鉛補 修。第3段透孔付 近に小孔。
		口径 底径 3段 4段 5段 6段	23.1 35.0 14.3 16.7 9.9 8.4	台形	半円	6.1×6.7	9~11	片岩・粗粒チャ ート 橙色	3段構成。外表面 2段に無釉。
		口径 底径 3段 4段 5段 6段	(19.8) (41.0) 11.3 14.6 2段 3段 (11.3)	台形 ~ 三角形	半円	7.4+(8.5)	10~13	片岩・粗粒チャ ート 橙色	3段構成。
		口径 底径 3段 4段 5段 6段	(22.4) 32.5 (12.5) 9.5 12.2 10.8	台形	円	6.5×7.5	5~13	片岩・粗粒チャ ート 明黄褐色	3段構成。外表面 2段に無釉。
		口径 底径 3段 4段 5段 6段	(24.0) 35.3 12.5 12.4 11.3 11.6	台形 ~ 三角形	円	6.9×7.0	10~13	片岩・粗粒チャ ート 明黄褐色	3段構成。外表面 2段に無釉。外表面 第3段に赤色塗彩 の痕跡。漆還元 氣味の焼成。
		口径 底径 3段 4段 5段 6段	(21.0) 35.9 12.8 14.6 10.0 11.3	台形	円	(6.3×6.5)	6~8	粗粒チャート・ 麻灰岩 明黄褐色	3段構成。外表面 3段に赤色塗彩 の痕跡。
7	円筒埴輪	口径 底径 3段 4段 5段 6段	(22.8) 36.0 13.9 15.5 10.7 9.8	三角形	椭円	7.5×(5.8)	9~12	片岩・粗粒チャ ート 橙色	3段構成。外表面 3段に無釉。赤色 塗彩の痕跡。
		口径 底径 3段 4段 5段 6段	(22.7) 34.5 11.8 12.4 10.7 11.4	三角形	椭円	(8.0×6.6)	9~10	片岩・チャート にぶい褐色	3段構成。外表面 2段に無釉。外表面 第3段に赤色塗彩 の痕跡。
		口径 底径 3段 4段 5段 6段	(26.4) 38.9 15.0 16.1 11.5 11.3	三角形	~	~	7~8	粗粒チャート・ 麻灰岩 橙色	3段構成。
		口径 底径 3段 4段 5段 6段	34.5 11.8 12.4 10.7 11.4	三角形	~	~	~	粗粒チャート・ 麻灰岩 橙色	3段構成。
		口径 底径 3段 4段 5段 6段	38.9 15.0 16.1 11.5 11.3	三角形	~	~	~	粗粒チャート・ 麻灰岩 橙色	3段構成。

第80表 漢1号古墳出土円筒埴輪観察表(1)

番号	種類	計測値(cm)	実帶		透孔		顧目 断面形状 (半円)	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形狀	幅×高 /2cm	外側				
10	円筒埴輪	口径 1段 (22.8) 9.6	台形	(半円)	~8.1	10~13 8~9	外側 タテハケ。第2段は一部2次ヨコハケ。 内側 ハケ。 内側 第3段ヨコ・ナナメハケ。第2段ナナメ。	チャート・湖灰 岩 明褐色	3段構成と想定。	
11	円筒埴輪	口径 2段 (20.7) 10.2 3段 11.6	台形	楕円	6.2×(5.3)	8~10	外側 タテハケ。 内側 第3段ナナメハケ。第2段以下指ナナメ。 内側 ハケ。 内側 第3段ヨコ・ナナメハケ。第2段以下ナナメ。口縁部ヨコナナメ。	片岩・チャート にぶい褐色	3段構成と想定。 外側第2段に縫割。	
12	円筒埴輪	口径 3段 (21.7) 9.9	三角形	半円	~(6.3)	8~10	外側 タテハケ。 内側 第3段ナナメハケ。第2段以下ナナメ。 内側 ハケ。 内側 第3段ヨコ・ナナメハケ。第2段以下ナナメ。口縁部ヨコナナメ。	片岩・チャート にぶい黄褐色	3段構成と想定。 外側第2段に縫割。 弱。やや灘元気味の痕跡。	
13	円筒埴輪	口径 3段 (23.0) 11.8	三角形	(円)	—	8~9	外側 タテハケ。 内側 ナナメハケ。突帯裏側に指添压痕。	片岩・チャート 橙色	3段構成と想定。 外側第3段に縫割。 赤色並みの痕跡。	
14	円筒埴輪	口径 3段 (24.5) 9.8	三角形	(半円)	—	8~9	外側 タテハケ。 内側 第3段ヨコ・ナナメハケ。第2段以下ナナメ。口縁部ヨコナナメ。	片岩・粗粒チャート・白色斜状 橙色	3段構成と想定。	
15	円筒埴輪	口径 3段 (22.8) 10.7	台形	(円)	—	7~10	外側 タテハケ。 内側 ヨコナナメハケ。ナナメ後、タテ指ナナメ。口縁部ヨコナナメ。	チャート・湖灰 岩 橙色	3段構成と想定。 外側赤色並みの痕跡。	
16	円筒埴輪	口径 3段 (21.6) 11.9	台形	(円)	—	5~7	外側 タテハケ。 内側 ナナメヨコ後、タテ指ナナメ。口縁部ヨコナナメ。	片岩・チャート 橙色	3段構成と想定。 外側第3段に赤色並みの痕跡。	
17	円筒埴輪	口径 3段 (22.2) 11.6	台形	(円)	—	9~13	外側 タテハケ。口縁部ヨコナナメ。 内側 ナナメハケ。口縁部ヨコナナメ。	粗粒チャート・ 湖灰岩 黄褐色	3段構成と想定。	
18	円筒埴輪	口径 3段 (22.0) 9.9	台形	—	—	10	外側 タテハケ。口縁部ヨコナナメ。 内側 ナナメハケ。	チャート・白色 粗 橙色	3段構成と想定。	
19	円筒埴輪	口径 3段 (21.4) 10.7	台形	円	~7.4	9~10	外側 タテハケ。 内側 ナナメヨコ後ナナメ。口縁部ヨコナナメ。	片岩・粗粒チャ ート 橙色	3段構成と想定。	
20	円筒埴輪	口径 3段 (22.2) 9.6	台形	円	~(6.4)	6~8	外側 タテハケ。 内側 ナナメハケ後、一部ナナメ。突帯裏側に指添压痕。口縁部ヨコナナメ。	チャート・湖灰 岩 浅黃褐色	3段構成と想定。 外側第3段に赤色並みの痕跡。	
21	円筒埴輪	底径 14.9 1段 15.4	三角形	不明	—	5~7	外側 タテハケ。 内側 ナナメハケ後、タテ指ナナメ。第1~2段タテ指ナナメ。突帯裏側に指添压痕。	片岩・粗粒チャ ート 橙色	底面に棒状压痕。	
22	円筒埴輪	底径 10.8 1段 12.9 2段 11.7	台形	円	7.6~7.2	9~10	外側 タテハケ。 内側 第3段ナナメハケ。第1~2段タテ指ナナメ。	チャート・湖灰 岩 橙色	外側第2段に縫割。	
23	円筒埴輪	底径 14.2 1段 15.8	三角形	不明	~7.0	10	外側 タテハケ。 内側 第1~2段タテ指ナナメ。突帯裏側に指添压痕。	片岩・チャート 橙色	底面に棒状压痕。	
24	円筒埴輪	底径 13.0 1段 12.8 2段 11.6	台形	(円)	—	10	外側 タテハケ。 内側 ナナメナナメ指ナナメ。	チャート・湖灰 岩 橙色	外側第3段に赤色並みの痕跡。	
25	円筒埴輪	底径 15.0 1段 14.8	三角形	(円)	—	8~9	外側 タテハケ。 内側 ナナメナナメ指ナナメ。	片岩・白色斜状 橙色 にぶい褐色	底面に棒状压痕。	
26	円筒埴輪	底径 12.8 1段 13.8 2段 13.4	台形	楕円	6.8~7.5	9~10	外側 タテハケ。 内側 第2段ナナメハケ。第3段タテ・ナナメ指ナナメ。	チャート・湖灰 岩 橙色	底面ナナメ。	
27	円筒埴輪	底径 12.8 1段 12.5	三角形	不明	—	9~10	外側 タテハケ。 内側 ナナメハケ。ナナメ。	チャート・湖灰 岩 橙色	底面に棒状压痕。	
28	円筒埴輪	底径 14.6 1段 14.5	三角形	—	—	7	外側 タテハケ。 内側 ナナメ。底部ケズリ。	片岩・粗粒チャ ート にぶい褐色	底面に棒状压痕。	
29	円筒埴輪	底径 11.8 1段 13.4	三角形	不明	—	9	外側 タテハケ。 内側 ナナメナナメ指ナナメ。	片岩・粗粒チャ ート にぶい褐色	底面に棒状压痕。	
30	円筒埴輪	底径 14.0 1段 12.9	台形	(円)	—	8	外側 タテハケ。 内側 タテナナメ指ナナメ。	粗粒チャート・ 湖灰岩 にぶい褐色	底面に棒状压痕。	
31	円筒埴輪	底径 11.5 1段 11.4	台形 ~ 三角形	不明	—	10~11	外側 タテハケ。 内側 タテ・ナナメ指ナナメ。	粗粒チャート・ 湖灰岩 にぶい褐色	底面に棒状压痕。	
32	円筒埴輪	底径 11.8 1段 10.6	台形	—	—	8~13	外側 タテハケ。 内側 タテ・ナナメ指ナナメ。	チャート・湖灰 岩 橙色	底面に棒状压痕。	
33	円筒埴輪	底径 12.4 1段 11.7	台形	不明	—	7~9	外側 タテハケ。 内側 タテ・ナナメ指ナナメ。	片岩・粗粒チャ ート にぶい褐色		

第81表 漢1号古墳出土円筒埴輪観察表(2)

番号	種類	計測値(cm)	安帶 断面形状		透孔 形状		研磨日 総×幅/2cm	成形・整形の特徴	胎土・色画	備考
			形狀	幅	形狀	幅				
34	円筒埴輪	底径 1段 (15.4) 1段 12.7	台形	不明	—	—	7~9	外側 タテハケ。 内側 タテ・ナナメ指ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色	
35	円筒埴輪	底径 1段 13.3 1段 10.2	台形 (円)	—	8~8.4	8~10	外側 粗健なタテハケ。 内側 タテ・ナナメハケ後、粗健なナデ。	チャート・凝灰 岩 褐色	底面に棒状圧痕。	
36	円筒埴輪	底径 1段 11.9 1段 10.9	台形 ～ 三角形	不明	—	10~12	外側 タテハケ。 内側 タテ・ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色		
37	円筒埴輪	底径 1段 (12.5) 1段 16.5	台形	不明	—	10	外側 タテハケ。 内側 タテ・ナナメ指ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色		
38	円筒埴輪	底径 (11.8)	—	—	—	12~13	外側 タテハケ。 内側 タテ・ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色	底部に焼ムラあり。	
39	円筒埴輪	口径 2段 (20.0) 2段 10.6 3段 11.3	台形 (円)	—	11~14	外側 タテハケ。口縁部ヨコナダ。 内側 第3段ナナメハケ。第3段中位以下タテ曲ナデ。口縁部ヨコナダ。	チャート・凝灰 岩 淡黄色	3段構成と想定。 外側第2段に継ぎ 目。		
40	朝顔形 円筒埴輪		低台形	—	—	6	外側 タテハケ。 内側 ヨコ・ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色	外側に赤色塗彩。 にぶい褐色	
41	朝顔形 円筒埴輪		三角形	—	—	10~12	外側 タテハケ。 内側 ヨコ・ナナメハケ。括れ部ナデ。	チャート・凝灰 岩 褐色	内面は褐色。	
42	朝顔形 円筒埴輪		台形	—	—	9~12	外側 タテハケ。 内側 括れ部上側はヨコ・ナナメハケ。 下側はナナメ指ナデ。	片岩・粗粒チャ ート 褐色		
43	朝顔形 円筒埴輪		台形 ～ 三角形 (円)	—	—	10~12	外側 タテハケ。 内側 ナデ。	チャート・凝灰 岩 褐色		
44	円筒埴輪	口径 底径 1段 (22.4) (11.2) 1段 12.1 3段 11.0	台形	円	—	6~12	外側 タテハケ。口縁部ヨコナダ。 内側 第3段ナナメハケ。第2段以下タ テ・ナナメ指ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 にぶい褐色		
45	円筒埴輪	3段 11.1	台形 ～ 三角形	不明	—	9~13	外側 タテハケ。口縁部ヨコナダ。 内側 第3段ナナメハケ。口縁部ヨコナ ダ。	チャート・凝灰 岩 褐色	3段構成と想定。	
46	円筒埴輪	口径 (24.4)	—	—	—	9~13	外側 タテハケ。口縁部ヨコナダ。 内側 第3段ナナメハケ。口縁部ヨコナ ダ。	チャート・凝灰 岩 褐色	3段構成と想定。	
47	円筒埴輪	口径 (25.6)	—	—	—	9~15	外側 タテハケ。口縁部ヨコナダ。 内側 ヨコハケ・ナナメハケ。	チャート・凝灰 岩 褐色	外側に赤色塗彩の 痕跡。	
48	円筒埴輪		—	—	—	12	外側 タテハケ。口縁部ヨコナダ。 内側 ヨコハケ。	チャート・凝灰 岩 褐色	口縁部やや肥厚。 にぶい褐色	
49	円筒埴輪		—	—	—	12	外側 タテハケ。口縁部ヨコナダ。 内側 ヨコハケ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色	口縁部やや肥厚。 にぶい褐色	
50	円筒埴輪		—	—	—	8~12	外側 タテハケ。口縁部ヨコナダ。 内側 ヨコ・ナナメハケ。	チャート・白色 粉 にぶい褐色	口縁部やや肥厚。 にぶい褐色	
51	円筒埴輪		—	—	—	10~13	外側 タテハケ。口縁部ヨコナダ。 内側 ナナメハケ。口縁部ヨコナダ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色	外側に赤色塗彩の 痕跡。	
52	円筒埴輪		—	—	—	6~12	外側 タテハケ。 内側 ナナメハケ。	チャート・凝灰 岩 明赤褐色	泥苦しめし。運元 気味の焼成。	
53	円筒埴輪		—	—	—	5~9	外側 タテハケ。 内側 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部 ヨコカズ。	片岩・チャート にぶい褐色	運元気味の焼成。 外側に赤色塗彩の 痕跡。	
54	円筒埴輪		三角形 (半円)	—	—	8~12	外側 タテハケ。 内側 ナナメハケ後に一部ナデ。安帶裏 側に指頭圧痕。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色	運元気味の焼成。	
55	円筒埴輪	1段 9.3	三角形	不明	—	10	外側 タテハケ。 内側 タテ指ナデ・安帶裏側に指頭圧痕。	片岩・粗粒チャ ート にぶい褐色		
56	円筒埴輪		台形 ～ 三角形	—	—	8~12	外側 タテハケ。 内側 第3段ナナメハケ。第2段タテ指 ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色	3段構成と想定。 外側第2段に継 ぎ目。	
57	円筒埴輪	口径 (22.6)	—	—	—	6~12	外側 タテハケ。 内側 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部 ヨコナダ。	片岩・粗粒チャ ート にぶい褐色	外側に継ぎ目。	
58	円筒埴輪	13段 (20.6) 3段 10.4	三角形	—	—	5~9	外側 タテハケ。口縁部ヨコナダ。 内側 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部 ヨコナダ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色	3段構成と想定。 外側第3段に継 ぎ目。	

第82表 漢1号古墳出土円筒埴輪観察表(3)

番号	種類	計測値(cm)	突起		透孔 横幅 mm	横毛目 /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形状					
59	円筒埴輪		—	—	—	8	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部 ヨコナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 にぶい褐色	外面に縦刻。
60	円筒埴輪		—	—	—	5	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部 ヨコナデ。	片岩・粗粒チャ ート にぶい褐色	外面に縦刻。
61	円筒埴輪		—	—	—	9~11	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部 ヨコナデ。	チャート・白色 粒 褐色	外面に縦刻。
62	円筒埴輪		—	—	—	8~9	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩・チャート にぶい褐色	外面に縦刻。
63	円筒埴輪		—	—	—	9~10	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後にナデ。	片岩・白色状 にぶい褐色	外面に縦刻。内面 口縁部調節。
64	円筒埴輪		—	—	—	6~9	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後にナデ。	片岩・チャート にぶい褐色	外面に縦刻。
65	円筒埴輪		—	—	—	7~12	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャ ート にぶい褐色	外面に縦刻。
66	円筒埴輪		—	—	—	7~14	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色	外面に縦刻。
67	円筒埴輪		—	—	—	6~7	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色	外面に縦刻。
68	円筒埴輪		—	—	—	6~8	外面 タテハケ。 内面 調整著しいがナナメハケ。口縁部 ヨコナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 にぶい褐色	外面に縦刻。赤色 胎土の痕跡。
69	円筒埴輪		—	—	—	6~7	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部指ナデ。口縁 部ヨコナデ。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色	外面に縦刻。
70	円筒埴輪		—	—	—	10	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後、チテ指ナデ。口縁 部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャ ート にぶい褐色	外面に縦刻。
71	円筒埴輪		—	—	—	6~10	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部 ヨコナデ。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色	外面に縦刻。
72	円筒埴輪		—	—	—	9	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	片岩・チャート にぶい褐色	外面に縦刻。
73	円筒埴輪	台形 ～ M字	—	—	—	8~12	外面 タテハケ。 内面 ナナメ指ナデ。	片岩・チャート にぶい褐色	外面に縦刻。
74	円筒埴輪	脳台形	—	—	—	8~9	外面 タテハケ。 内面 破片上側ナナメハケ、下側タテ指 ナデ。	片岩・白色状 にぶい褐色	外面に縦刻。
75	円筒埴輪		—	—	—	9~11	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色	外面に縦刻。
76	円筒埴輪		—	—	—	7	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色	外面に縦刻。内面 は灰色。遷元氣味 の焼成。
77	円筒埴輪		—	—	—	10	外面 タテハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	チャート・凝灰 岩 にぶい褐色	外面に縦刻。
78	円筒埴輪		—	—	—	8	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、チテ指ナデ。	片岩・チャート にぶい褐色	外面に縦刻。
79	円筒埴輪		—	—	—	10	外面 タテハケ。 内面 ナナメ指ナデ。	片岩・チャート にぶい褐色	外面に縦刻。
80	円筒埴輪		—	—	—	8	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。	片岩・白色状 粒 褐色	外面に縦刻。赤色 胎土の痕跡。
81	円筒埴輪		—	—	—	9~11	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。	チャート・凝灰 岩 褐色	外面に縦刻。
82	円筒埴輪		—	—	—	8~11	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝灰 岩 褐色	外面に縦刻。
83	円筒埴輪		—	—	—	9~13	外面 タテハケ。潤滑著しい。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝灰 岩 褐色	外面に縦刻。
84	円筒埴輪	台形 (円)	—	—	—	8	外面 タテハケ。第2段は2次ヨコハケ。 内面 ナナメハケ後、第2段中心にナデ。	チャート・凝灰 岩 褐色	外面第1段に縦刻 あるが不明瞭。
85	円筒埴輪	台形	—	—	—	9	外面 1次タテハケ、2次ヨコハケ。 内面 タテ・ナナメ指ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色	

第83表 漢1号古墳出土円筒埴輪観察表(4)

番号	種類	計測値(cm)	成形・調整等の特徴	触土・色調	備考
1	頭部器 瓶	口径 底径 湯舟	丸底。底部に凹線と列点文。	チャート・底灰岩 灰色	
2	頭部器 高 环	口径 底径 (8.0) 湯舟	脚部底は有段。長方形の三方透し。	片岩・雲母・チャート にぶい黄褐色	酸化鉄気味の施成。

第84表 龍1号古墳出土土器觀察表

番号	種類	計測値(cm)	形態・成形・調節等の特徴	船上・色調	備考
1	人物	残高 23.4	半身像と想定される女子人物の上半身。島田畠の1/3、右腕は2/3、左胸部。背中を矢張り斜めにした板状の頭部部品で頭部を構成する。頭部中央部に斜めに筋目状の縫合を施して結び目表現し、兩側部は削減するが露出するようである。顎部は貼付表現されている可能性もあるが顎部の太さが明確ではない。目口にはさく開けられ、鼻は鼻孔を貼付して陰影を表現する。耳は円形で、2本の筋目による下唇状表現があるが頭部は欠損する。頭部は中央通りでソケット状に胴体に差し込んだ。左手を腹部に当て、右手を胸前に差し出すよう表現する。胸部は貼付して隆起させる。脇腹部に円形と想定される透かしがある。後腰部、腰部は粗い（5~6本×2cm）ハケで、髪・顔・胸・乳房・耳飾りはナデ。赤色顔料は、島田畠の眉線部と結び目。両耳の下の三角形部を除く全額面、耳飾りの舟部、背・胸には面地、頭部と肩附近には帶状に施され、肩付近の赤彩は押出し表現と想定される。	チャート・白色セラミック	形態・成形、透かし、色彩等、保護DIY遺物の赤色の女子人物に類似。
2	人物		半身像と想定される。頭部は欠損するが島田畠と思われる調節軸がある。左肩に欠損するが耳環表現。頭部は下側をきんこ頭。帶状の粘土紐を貼付して表すを表現する。腕部は胸中央部で手と手の平には左右とも頭蓋板がある。若者は頭部を表現する。	片岩・粗粒チャート・橙色	上下は接合しないが、臉・土・色調・調整から同一物体と判断した。
3	人物		女子人物の頭部。粘土細部み上げ成形。鼓形と想定される板状の島田畠。頭部面を削落する。島田畠中央部には貼付部で結合を表現。顎には織目により顎が表現されている。	片岩・チャート・橙色	画面に赤色顔料。
4	人物		島田畠が削落した女子とされる他の人物頭部。右耳部に複数の調節軸。唇は粘土紐を貼付して表現。外側と内側とに全体的に繋げる。	片岩・チャート・橙色	
5	人物	(11.9 11.2)	女子人物の頭部から削落した島田畠。平面形で鼓形で、粘土紐を2枚合わせて立体的につくる。中央部の結構を除きハケ目。	片岩・粗粒チャート・ぶい・褐色	前面側に赤色顔料。
6	人物		女子人物の頭部から削落した島田畠。平面形では鼓形。	片岩・粗粒チャート・橙色	
7	人物		女子人物の頭部から削落した板状の島田畠。中央部に粘土紐を貼付して結合を表現する。	片岩・チャート・橙色	
8	人物		女子人物の頭部から削落した板状の島田畠。上面はハケ後ナデ。	片岩・チャート・橙色	
9	人物		女子人物の頭部から削落した島田畠。粘土紐貼付による結合表現。	片岩・チャート・凝灰岩・橙色	
10	人物		島田畠の結構部分の破片。	片岩・チャート・橙色	
11	人物		顎の破片。左目・鼻・口上部が残る。	チャート・凝灰岩・橙色	
12	人物		耳部分の破片。環状に粘土を貼付し、耳孔を穿孔する。	片岩・チャート・橙色	
13	人物		耳部分の破片。耳孔を穿孔する。	片岩・露泥・白色針状粒・橙色	
14	(人物)		顎部分の破片と思われる。目と耳孔穿孔部がわずかに残る。	片岩・チャート・橙色	赤色顔料の痕跡。
15	人物		女子人物の脚部部分。手筋形の粘土紐を貼付して履履を表現。大半が剥落しているが脚部に一連の丸孔が残る。右側は上方に上げるようである。	片岩・チャート・黄褐色	首付近に赤色顔料。
16	人物		ソケット状に差し込まれる脚部。中央つくり。差し込み部が長い。右手と想われる。	片岩・チャート・橙色	
17	人物		ソケット状に差し込まれる左脚部。一部欠損するが五指が立体表現されている。中央つくり。差し込み部が長い。背曲して脚付近に当たれていたと思われる。	片岩・チャート・橙色	
18	人物		ソケット状に差し込まれる脚部。中央つくり。	片岩・チャート・ぶい・褐色	
19	人物		右手。背面以外の先端は欠損するが五指が表現されている。背曲の状態と頭部から伏せた物を握っていたと思われる。	片岩・白色針状粒・橙色	
20	(人物)		腕が差し込まれていた人物腕輪の断面か。	片岩・チャート・橙色	
21	(人物)		腕が差し込まれていた人物腕輪の断面か。貼付されている粘土紐は厚の一部か。	片岩・粗粒チャート・橙色	
22	人物		円筒形で粘土紐を貼付して衣類を表現する。帯状の調節軸がある。前面は、円筒部タハゲ、衣部部分タハゲ後、複部をナメ、内面は反対方向の凸出部。	片岩・チャート・黄褐色	

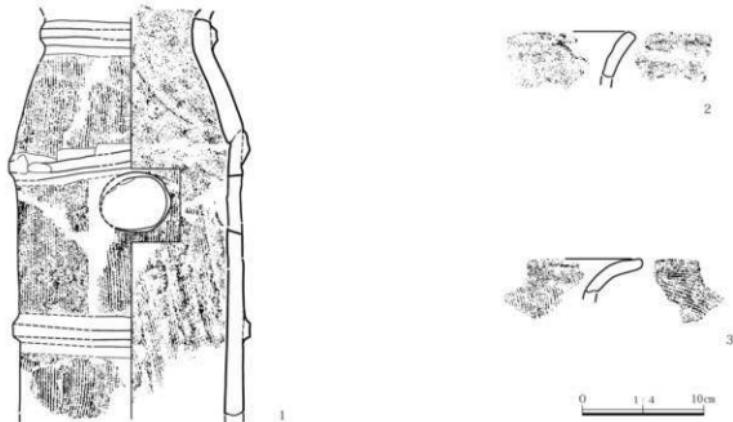
第85表 漢1号古墳出土形象埴輪觀察表(1)

番号	種類	計測値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	施土・色調	参考
23	人物		円筒部に粘土を貼付して衣裾を表現。外側、タテハケ、裾部ナデ。内面、指ナデ。	片岩・チャート 橙色	
24	人物		腰付近と思われる。帯状粘土が貼付されている。外側、タテハケ。内面、指ナデ。	片岩・チャート 橙色	
25	人物		円筒部に粘土を貼付して衣裾を表現しているが、大半を欠損している。何らかの調節痕があるが不明瞭。	粗粒チャート・白色粒 橙色	
26	人物		腰付近の破片。帯状粘土を貼付して襷を表現する。外側ハケ。内面ナデ。	片岩・チャート 橙色	
27	人物		背中もしくは腰付近の破片。帯状粘土が貼付されている。襷もしくは若衣の結合部を表現と思われる。	片岩・チャート 橙色	
28	(人物)		上側に何かを戴せる腹部部分。外側、ハケ後ナデ。内面、ナデ。	片岩・チャート 橙色	
29	(人物)		耳の調節痕のある頭部部分。外側、ハケ後ナデ。内面、粗雑なナデ。	片岩・チャート 橙色	
30	人物		衣裾部の破片。表面はハケ後に裾部をヨコナデ。	片岩・チャート 橙色	
31	馬		輪。前輪、前側に粘土紐で手縛を表現。タテガミの接合部が欠損する。後側の下端に帶状に赤色塗装を施す。	粗粒チャート・白色粒 橙色	
32	馬		円筒状の頭部に付けられた側板と思われる。下位に平行形の調節痕。	チャート・凝灰岩 明黄褐色	一派に赤色塗彩楓。
33	馬		馬胴部から剥落した板状の跡跡。表面はハケ目後に一部ナデ。裏面は粗雑なナデ。裏面の調節痕があり、縫が剥落したと思われる。	片岩・チャート 橙色	
34	馬		脚部部分と思われる。外側ハケ、内面指ナデ。	片岩・粗粒チャート 橙色	
35	馬		尻の上部。推定径3.8cmの孔を中心にして粘土紐を貼付して尻輪を表現。	粗粒チャート・凝灰岩 灰褐色 明黃褐色	一派に赤色塗彩楓。
36	馬		尻部か。貼付された粘土紐は尻毛の回りに巻かれた繩と思われる。	チャート・凝灰岩 橙色	尻輪に赤色塗彩。
37	馬		尻尾。木芯中空つくり。	白糸針状粒・チャート じぶい褐色	
38	馬		胴部の破片か。外側、ハケ後に一部ナデ。内面、ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	一派に赤色塗彩楓。
39	馬		本体から剥落した板状の破片。粘土紐を貼付して輪が表現されている。	チャート・凝灰岩 橙色	
40	馬		粘土紐で輪を表現。粘土紐を貼付して輪が表現されている。	片岩・チャート にじむ褐色	
41	(馬)		鈴。中実つくり。切れ込みがある。	チャート・白色粒 橙色	一派に赤色塗彩楓。
42	(馬)		本体から剥落した鈴。中実つくり。切れ込みがある。	片岩・チャート にじむ褐色	
43	(馬)		本体から剥落した鈴。中実つくり。切れ込みがある。	白糸針状粒・チャート 橙色	
44	不明		トリ形彌輪の頭部か。外側ハケ、内面ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
45	トリ		筒状の尾。外側、ハケと同一方向に縦筋を施す。内面、粗雑なナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
46	トリ		筒状の尾。外側、ハケと同一方向に縦筋を施す。内面、ハケ・ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
47	トリ		筒状の尾。外側、ハケと同一方向に縦筋を施す。内面、ハケ。	片岩・チャート 橙色	
48	家		入母屋造りの上屋根部。沈縁で彌輪文を描くと想定される。	チャート・赤褐色 粒 橙色	
49	家		四隅京体柱。四柱は粘土を貼付。横方向の突堤。	片岩・赤褐色 粒 にじむ褐色	四柱に赤色塗彩の痕跡。
50	家		望体部。縱横の縦筋で副代壁を表現する。出入口と想定される透しがある。	チャート・凝灰岩 橙色	
51	家		切妻造りの屋根部と思われる。縞刑による網代表現。	片岩・チャート にじむ・黃褐色	
52	家		屋根か。縞刑による網代表現。	チャート・凝灰岩 橙色	
53	家		屋根か。縞刑による網代表現。	片岩・チャート 橙色	
54	不明		外側、ハケ後に縦方向・横方向の縞刑。内面、ナデ・指道仕刷。	チャート・凝灰岩 橙色	
55	家		望体部。縞刑による網代表現を表現。出入口もしくは窓と想定される透しがある。	チャート・凝灰岩 にじむ・橙色	
56	家		屋根かあるいは望体部か。縞刑による網代表現。	チャート・凝灰岩 橙色	

第86表 漢1号古墳出土土器形象埴輪観察表(2)

番号	種類	計測値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
57	家		屋根かあるいは堅体部か。縫剝による網代表現。	チャート・凝灰岩 橙色	
58	家		屋根かあるいは堅体部か。縫剝による網代表現。	チャート・凝灰岩 橙色	
59	(家)		屋根か、縫剝による網代表現。裏側は剥離面。	チャート・凝灰岩 橙色	
60	不明		縫位に粘土紐を貼付し、さらに横位に粘土を付加している。内面はナナメハケ後ナデ。	チャート・凝灰岩 にぶい褐色	
61	不明		外面タテハケ。内面ナデ。人物埴輪の脚部分。	白色針状粒・チャート 明るい褐色	
62	不明		小孔のある破片。人物埴輪の脇部か。内面、ハケ後ナデ。	片岩・チャート 橙色	
63	不明		外面タテハケ。内面ナデ。人物埴輪の脇部か。	片岩・チャート 橙色	
64	不明		断面が台形の破片。裏側は剥離面。	チャート・凝灰岩 粉色	
65	不明		内側に反る突帯状の破片。裏側は剥離面。	チャート・凝灰岩 粉色	
66	不明		連続割れのある小破片。内面ナデ。	チャート・白色粉 橙色	
67	不明		突帯状の粘土が貼付される破片。外面ハケ、内面ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
68	不明		頂部が瓶状となる破片。	チャート・凝灰岩 橙色	
69	不明		本体から剥落した部品で裏側は剥離面。粗粒なナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	
70	不明		本体から剥落した紐状の部品。裏側は剥離面。	片岩・白色針状粒 橙色	

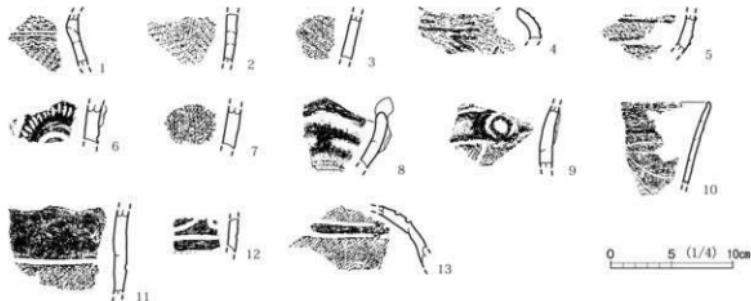
第87表 瀧1号古墳出土形象埴輪観察表(3)



第167図 瀧2号古墳出土円筒埴輪実測図

番号	種類	計測値(cm)	実寸		透孔 断面形状	透孔 形狀	網目 幅×横 /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			外側 断面形状	内側 断面形状						
1	朝顔形 円筒埴輪	3段 14.6 4段 9.5	台形 ～ 器M字	円	4.8×(5.6)	9～10	外面 タテハケ。 内面 第2～3段ナナメハケ。第4 段ナナメナデ。	粗粒チャート・凝 灰岩 にぶい黄褐色	6段構成と想定。	
2	円筒埴輪	—	—	—	10	外面 タテハケ。 内面 ナデ。	チャート・赤褐色 粗 粒 橙色	口縁部片。		
3	円筒埴輪	—	—	—	8	外面 タテハケ。 内面 ヨコ・ナナメハケ。	チャート・赤褐色 粗 粒 浅黃褐色	口縁部片。		

第88表 瀧2号古墳出土円筒埴輪観察表



第168図 遺構外出土縄文土器実測図

遺構外

番号	器種	法員(cm)	①焼成変色調(船上)未発存		成・整形技法の特徴	出土位置
			口径	底径		
1	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高	(上)普通にぶい黄褐色(下)縦縫、石英、赤 青色粒未剥離		単筋LR圓文施文後、横位沈縫とコンヌ又を施文。内面は横位のナデ。	一括
2	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高	(上)普通変灰黃褐色(下)縦縫、赤褐色粒 (中)縫部		単筋RL、LRの羽状縄文を複数施文。内面は横位のナデ。	一括
3	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高	(上)普通変赤褐色(下)縦縫、石英 (中)縫部		単筋RL圓文施文。内面は横位のナデ。	一括
4	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高 (中)縫部	(上)普通変浅黃褐色 (中)石英、黒色粒 (下)縫部		波状口縫。LR圓文施文後、口縫部に2条の横位浮羅貼付後、その下に 弧状の浮羅。内面は横位のナデ。	一括
5	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高 (中)縫部	(上)普通変灰褐色 (中)石英、砂粒 (下)縫部		LR圓文施文後、浮縫を横位貼付。内面は横位のナデ。	一括
6	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高	(上)普通変青褐色(下)石英、輝石、砂粒 (中)縫部		縫帶貼付後、棒状工具で弧状に区画。縫帶上に角突起。内面は横位のナデ。	21号住居跡 覆土
7	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高	(上)普通変赤褐色(下)縫石、砂粒 (中)縫部		筒系r施文。内面は横位のナデ。	21号住居跡 覆土
8	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高	(上)普通にぶい黄褐色(下)石英、輝石、砂 粒(中)縫部		波状口縫、縫部LR圓文施文→口縫部粘土貼付後、折頭状工具による沈縫。 2号住居跡 覆土	
9	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高 (中)縫部	(上)普通にぶい黄褐色(下)縫石、チャート 砂粒(中)縫部		筒部LR圓文施文。口縫部船土貼付後筒刺突→横位沈縫→弧状沈縫。内面は横位のナデ。	一括
10	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高 (中)縫部	(上)良好変黄灰色三角閃石、砂粒(中)口縫 (中)縫部		口縫部。丁寧に削いた後、跳縫を付けし、押圧。胴部、LR圓文施文後、 沈縫で弧状に区画。削り落した縫。内面。口縫部に沈縫。丁寧な横位のナデ。	2号施設 辺覆土
11	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高 (中)縫部	(上)普通変灰褐色(下)縫石、砂粒(中)面部～胴 部		胴部RL圓文施文後、頭部横位の削き→横位沈縫で区画。内面は横位のナデ。	3号溝 覆土
12	圓文土器 深鉢	口径 底径 腹高 (中)縫部	(上)良好変灰褐色(下)角閃石、砂粒 (中)縫部		丁寧に削いた後、横位沈縫。弧状?沈縫。内面は横位のナデ。	1号埴 燒土
13	圓文土器 壺	口径 底径 腹高 (中)縫部	(上)普通にぶい黄褐色(下)石英、チャート、 砂粒(中)縫部		LR圓文施文後、2条の横位沈縫。内面は横位のナデ。	13号住居跡 覆土

第89表 遺構外出土縄文土器観察表

## 小日向瀧遺跡出土の石器（第169図）

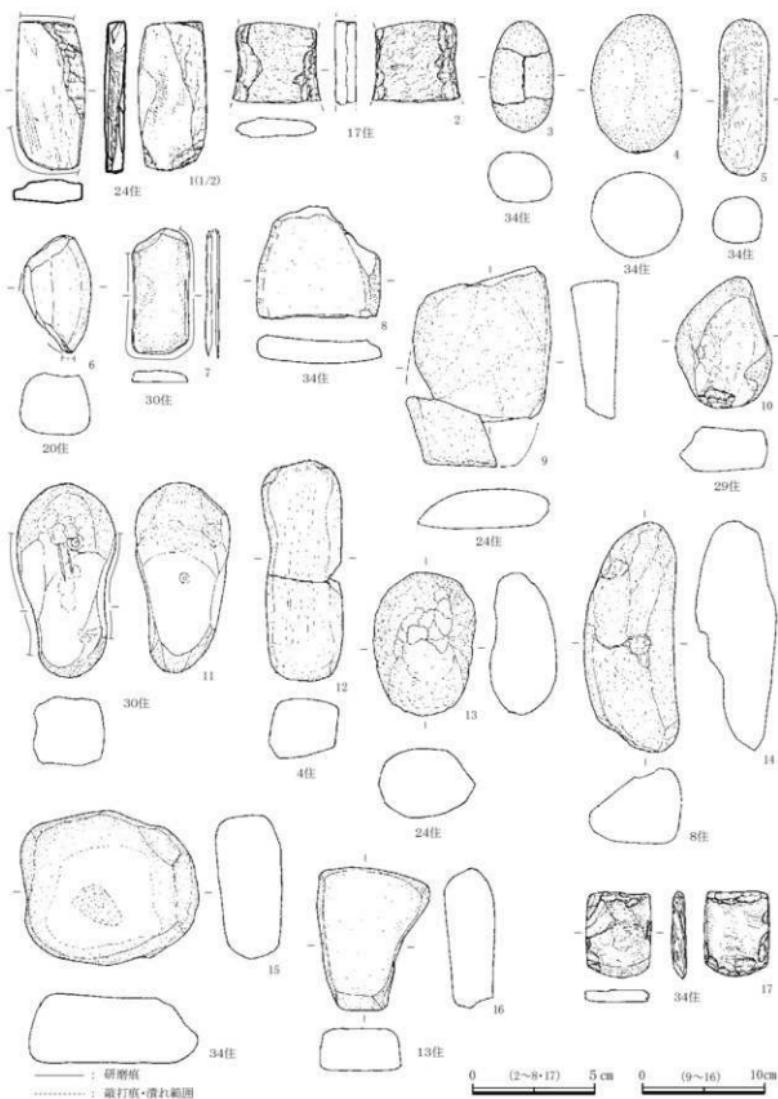
本遺跡からは、12軒の住居址、土坑から石器19点が出土した。石器は、住居址から少數出土しており、遺跡の主体が、弥生時代であり他時期の遺物混入の可能性が低いことから、概ね後期後半を主体とした石器群と推定される。器種組成は、第90表のとおりである。剥片石器等の石器製作は、遺物からは認められず、全て他からの搬入品あるいは単品である。台石等の大形石器は、床面直上で出土したもので遺構に伴うものとした。

1は両面研磨によって矩形に整形されたタブレット状（板状）の磨製石鎌素材（珪質準片岩）である。2は、安山岩製石鎌の中央部分破片である。形状は刃部が大きくなるうちわ形と推定される。板状（鉄平石）の礫を素材に両側縁に直接打撃による交互剥離調整を施している。片面中央には磨れ痕が観察される。3～5は、磨石である。安山岩製（3、4）と緑色岩類製（5）がある。5は棒状の自然礫で礫面には、部分的に磨り面と筋状の研磨痕がある。砥石の可能性もある。6は頁岩製（黒色）の敲石（石槌）の欠損品である。拳大程の自然礫で、端部に敲打痕がある。7と8は、牛伏砂岩製の砥石である。7は平面長方形、断面扁平で両側縁には研磨による平滑面がある。9～16は台石である。礫面が平坦で砥石として使用されたもの（9～11）、礫面に敲打の痕跡あるいは凹みが残るもの（13～15）、平坦面があるもの（12、15）がある。11は、四側面が湾曲し、凹みあるいは太い線状痕が観察される。砥石として使用された可能性がある。9の砂岩製以外は、安山岩製である。なお、9は被熱により脆く、下端部が欠損している。17は大陸系磨製石器に分類される緑色岩類製（青灰色）の扁平片刃石斧である。全面研磨が認められるが、研磨後の剥離痕が刃部、両側縁、上端部に観察され、本来の磨製石斧の機能とは別の敲石への二次転用の可能性がある。

（井上 慎也）

遺跡	磨製 石鎌	磨鎌 素材	スケレ イバーB	石歯	磨石	凹石	敲石	砥石	台石	大型始刃 石斧	扁平片刃 石斧	原石	菅玉	筋鍬車	棒状礫	搬入礫	合計
13号住									1								1
24号住									2								2
29号住									1								1
30号住									1								1
34号住					3				1	1							5
4号住										1							1
5号土坑						2											2
8号住									1								1
17号住				1													1
20号住						1											1
24号住		1															1
30号住								1									1
34号住											1						1
合計	0	1	0	1	5	0	1	3	7	0	1	0	0	0	0	0	19

第90表 瀧遺跡出土弥生石器組成表



第169図 濑遺跡出土弥生石器実測図

測定番号	登録番号	遺構名	部種	形態	石材	欠損	被熱	長さ(mm)	幅(mm)	厚さ(mm)	重量(g)	備考
1	28	Y24 住	磨製石器	珪質半片岩				62.82	29.20	7.85	27.0	
2	24	Y17 住	石耕	安山岩	○			66.52	76.03	15.94	147.6	
3	68	Y34 住	磨石	安山岩	○ ○			86.66	51.11	44.87	242.3	
4	67	Y34 住	磨石	頁岩				110.12	81.65	70.91	888.4	
5	59	Y34 住	磨石	頁岩				129.15	44.49	37.60	317.9	
6	25	Y20 住	敲石	楕円形	頁岩			92.81	60.02	49.60	438.6	
7	27	Y30 住	磨石	中砥	砂岩			106.04	49.45	9.70	68.2	
8	60	Y34 住	敲石	仕上砥	安山岩			91.95	104.68	19.90	335.5	
9	70	Y24 住 S-2	台石		砂岩	○ ○		293.00	229.00	57.00	3800.0	
10	72	Y29 住石 No.1	台石		頁岩			207.00	147.00	189.00	3400.0	
11	75	Y30 住 G No.1	砾石	仕上砥	安山岩			289.00	154.00	144.00	6500.0	
12	66	Y4 住 S-1	台石		安山岩			315.00	108.00	93.00	7100.0	
13	69	Y24 住 S-3	台石	中央凹み	安山岩			218.00	156.00	114.00	3600.0	
14	74	Y8 住石 No.1	台石		安山岩			358.00	166.00	106.00	9200.0	
15	73	Y34 住石 No.3	台石		安山岩			237.00	284.00	105.00	12800.0	
16	65	Y13 住 S-1	台石		安山岩			217.00	128.00	89.00	5200.0	
17	26	Y34 住 S-1	扁平片刃石斧		綠色岩類			72.39	54.45	10.75	89.4	
18	71	5号土坑石 No.1	磨石	楕円形	安山岩			125.81	81.15	63.42	894.8	
19	58	5号土坑石 No.2	磨石	円形	安山岩			138.04	124.46	57.00	1756.7	

第91表 澄遺跡出土弥生器観察表

## 小日向瀧遺跡 小結

小日向瀧遺跡で検出された遺構は、弥生時代後期の堅穴住居跡33軒と遺物集中地点1箇所、古墳時代前期の堅穴住居跡1軒と後期の古墳2基、古代～近代までの溝17条、時期不明の掘立柱建物跡1棟と土坑4基である。各時代の概要は以下の通りである。

### (1) 繩文時代

弥生時代の住居などで繩文土器が散見する(第168図)。前期中葉(1・2)・後葉(3~5)、中期中葉(6)・後半(7~9)、後期前葉～中葉(10・11)、晚期前葉～中葉(12・13)などである。袋状土坑の2号土坑は繩文時代の可能性が考えられる。

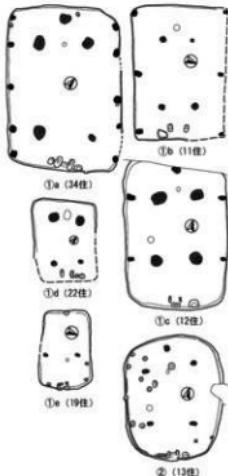
### (2) 弥生時代

弥生時代後期の堅穴住居跡は調査区中央の遺構空白域を取り囲む配置を示す(1住～31住、33・34住)。住居の平面形は第170図のように、長方形(①a～①e)と小判形(②、13住)に分けられ、①dと①eは長軸5m以下の小型である。主柱穴は短軸上の2本となる①e(10・19住)を除き、4本である。壁柱穴は①a～①cの長辺沿いにみられ、それぞれ10本・6本・4本である。7住で16cm×32cmの長方形の柱痕が検出され、9住で13cm×30cmの断面長方形の柱根(クリ、AMS年代測定1,830±30yrBP)が出土したことから、主柱には板状の柱材が使用されたことが窺われる。北側主柱穴間の北寄りに棟持柱を有する住居が約1/3の割合で存在する。堅穴の拡張は半数近くの住居で行われ、29住では4回の拡張が確認された。住居の軸を90°変えて拡張した例もある(8住)。

炉は南北軸の住居では北側に設置され、比較的大型の住居では西側にも設置される例がある。炉の形態は円形ないし楕円形の地床炉の縁に枕石1石を置いたものが大半であるが、第171図に示した6軒では炉底に土器片を敷いた土器敷炉が検出された。土器敷炉の形態は炉底全体に土器(壺

胸部下半)を敷く33住や、火床には土器を敷かない26・31・34住の例がある。17・31住の土器には半円形に煤の付着がみられる。31・34住の枕石は火床をL字状に囲むように配置される。これらのL字状石圍炉や土器敷炉は、長野県佐久地方の影響を受けたものと考えられる。佐久地方の土器敷炉や石围炉は弥生時代後期前半の千曲川右岸に盛行し、地床炉を主体とする千曲川左岸とは対象的であるとされ、さらに千曲川右岸には天竜川流域に多い埋甕炉が一定量存在することから、両地域間の活発な交流が指摘されている(助川1990)。本遺跡では天竜川流域に特徴的な櫛描円弧文を施す壺が出土しており(第172図)、千曲川右岸を介した天竜川流域との交流の可能性を示している。なお土器敷炉を有する6軒の住居は全て棟持柱を有し、31住を除き調査区西側にまとまっている。

出土遺物で注目されるのは24住で出土した壺(4・11)である(第173図)。内湾する口縁形状、交互刺突文・連繫渦文の特徴から、弥生時代後期前半の東北地方南部に分布する天王山式土器の系統と捉えられる。県内では長根安坪遺跡(高崎市)、後田東遺跡(渋川市)、下綱引遺跡(前橋市)で出土している。このほか横羽状文の壺(15住1・21住4)、焼成後に貼付文を施した壺(21住1)、底部を穿孔した壺(24住3)などが特徴的である。口縁部が二重になる異形壺(3住1)は見立相好遺跡(渋川市)に類例がある(第174図)。5住では片口鉢の上に有孔鉢が重なった状態で出土した。2点とも内面に灰汁状物質が付着することから、組み合わせて使用されたことが確実であり、有孔鉢が瀧過器として使用されたことを窺わせる。灰汁状物質が付着する片口鉢は遺物集中地点や24住にもあり、小型台付壺(24住)・赤彩鉢(21住)での付着例もみられる。



第170図 弥生時代後期の堅穴  
住居形態(縮尺1/30)



第171図 弥生後期の土器敷炉  
(縮尺1/40)

### (3) 古墳時代

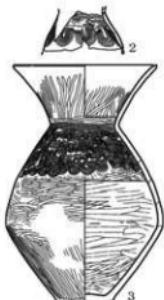
竪穴住居跡は前期の32住1軒のみである。1号墳は周溝を含めた全長16.5mの円墳で、主体部は未調査である。中段テラス面の外側には円筒埴輪列があり、内側では形象埴輪（人物・馬・トリ・家）の破片が多く出土した。朝顔形円筒埴輪は6段と想定され、外面の第5・6段に赤彩が施される。円筒埴輪は3段構成で、外面第3段に赤彩を施すものがある。外面調整はすべて一次タテハケで、二次調整（ヨコハケ）を施すものはない。透孔は円形と半円形がある。人物埴輪は島田罈の数などから7体前後の女子人物が樹立されていたと思われるが、男子人物と判断されるものはなかった。人物埴輪は22や23などの衣裾部・基部の状態から半身像と想定され、5のように立体的に島田罈を表現したものもある。腕部はいずれも中実造りでソケット状に差し込むものである。1の人物埴輪は保渡田VII遺跡（高崎市）出土の女子人物に形態・成形・調整及び赤彩が類似しており、同一工人が製作した可能性が高い。馬形埴輪の鞍部片等には赤彩が施される。これらの埴輪の特徴から、1号墳は5世紀末葉の築造と考えられる。円筒埴輪・形象埴輪の胎土には片岩や粗粒チャートが顕著に観察され、藤岡地域で生産されたものと考えられる。

2号墳はかろうじて検出された周溝から少量の朝顔形円筒埴輪や円筒埴輪が出土した。朝顔形円筒埴輪の形態の類似から1号墳に接近した時期と考えられる。

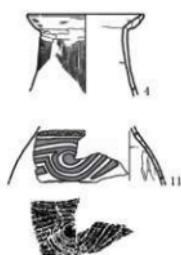
### (4) 古代以降

1号溝はAs-A軽石を含む近代の溝、2・3号溝はAs-B軽石混土を含む中世の溝である。5・9・13号溝はAs-B軽石より古く、須恵器が出土することから古代の溝と考えられるが、出土遺物が少なく時期の特定はできない。4・11号溝とともに灌漑用水路として機能したと考えられる。1号掘立柱建物跡は、4・13号溝に囲まれる位置関係から同時期の可能性がある。

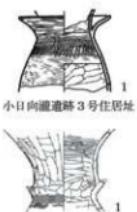
（常深 尚）



第172図 5号住居址出土  
の櫛描円弧文を施す壺（縮  
尺1/8）



第173図 24号住居址出土  
の天王山式系土器（縮尺1  
/8）



第174図 弥生時代後期  
の異形壺（縮尺1/8）

#### 参考文献

- 林幸彦・花岡弘 1983 「弥生時代の壺」『信濃』35~4 信濃史学会  
助川 朋広 1990 「弥生時代の壺再考—佐久地方を中心として」『赤い土器を追う』佐久考古学会  
小林 修他 2005 「見立相好遺跡I・II」赤城村教育委員会

## 4 小日向壱丁田遺跡

## 4 小日向老丁田遺跡

### (1) 概 要

本遺跡は瀧遺跡の西に隣接する緩やかな南斜面上に位置している。標高は北端で約208m、南端で約205mを測る。現在、行政区上の小字が異なるため瀧遺跡とは別遺跡として報告するが、実際は同一台地上に連続して展開する一連の遺跡と捉えることができる。本遺跡の西側には小規模な沢が北西から南東へ流下している。小字上はこの沢の西側も老丁田であり、確認されている遺構も同時期所産のものが主体をなしている。しかし、前述の沢の部分で集落としては一旦途切れることから、その沢までを老丁田遺跡としてここで報告し、沢の西側部分は老丁田II遺跡として次章で報告する（ただし、弥生時代石器については、老丁田II遺跡出土のものも本章で報告している）。遺跡地は九十九川左岸の段丘上に位置しており、眼下に九十九川の流れを望む地である。

### (2) 弥生時代

本遺跡の主体をなすのが、弥生時代後期の遺構である。今回の調査により樽式期の所産と考えられる竪穴住居址が37軒検出されているが、遺存状況は全体的に不良であり、プランを正確に把握できていない住居址もある。他の樽式期集落と同様に大型住居址が多く、1号・3号・9号・19号住居址は、いずれも長軸10mを超えており、住居址の接近・重複が多く、一定期間継続した集落であると考えられる。

### (3) 古墳時代

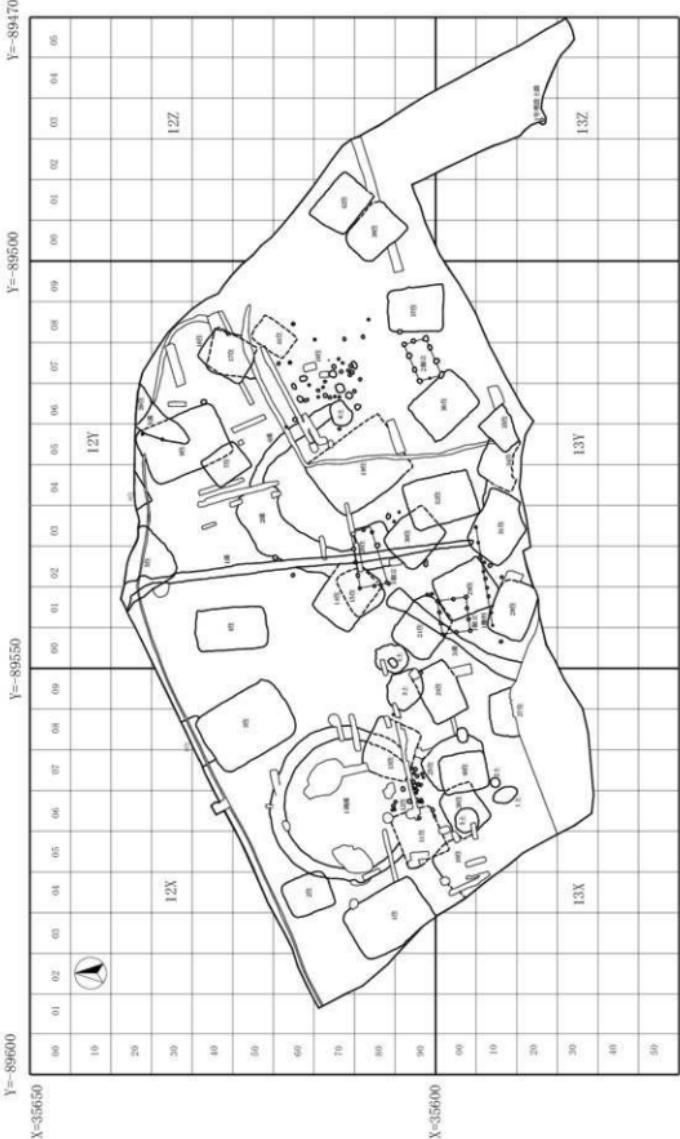
円形の堀が確認された。堀の周辺には、原位置はとどめていないか石室の構築材として利用されたと推測される大型扁平礫等が複数認められたため、円形の堀は古墳周堀と判断した。周堀の規模は直径約19mである。主体部は全て削平されており、石室構造等については不明である。埴輪・副葬品等古墳に伴うと考えられる遺物も確認されていない。

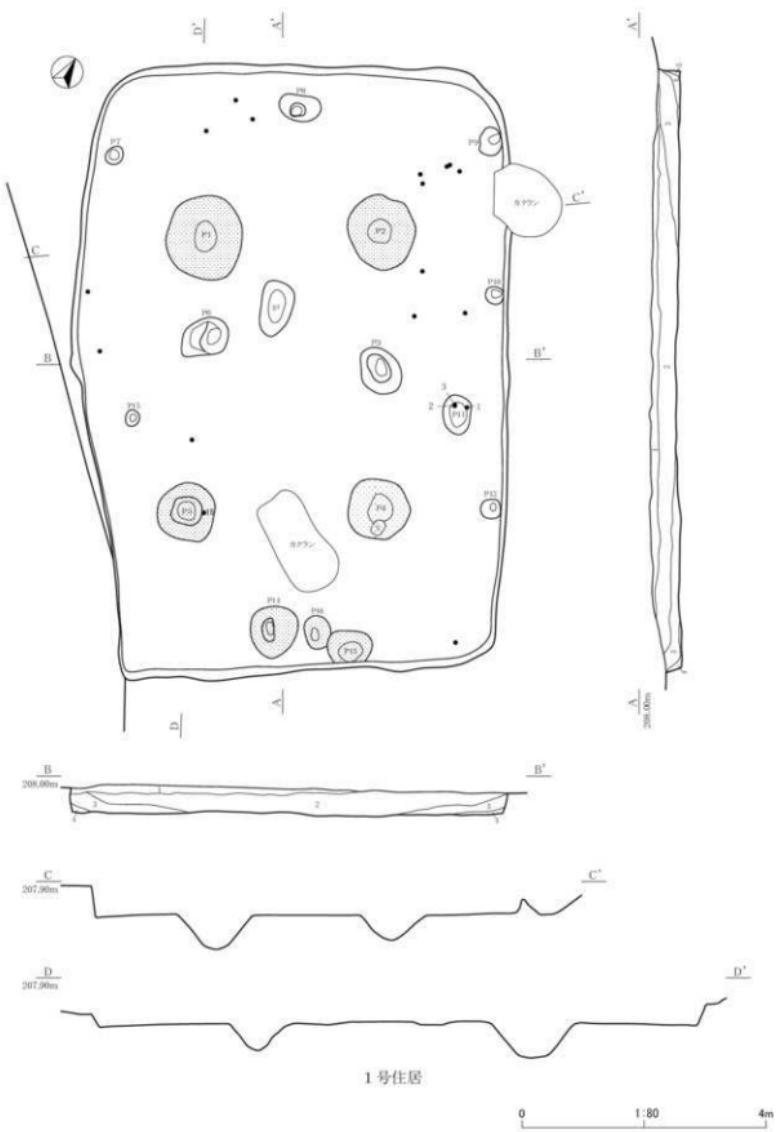
### (4) 古代以降

覆土にAs-B軽石を含む溝が検出されているが、時期・性格等不明な点が多い。

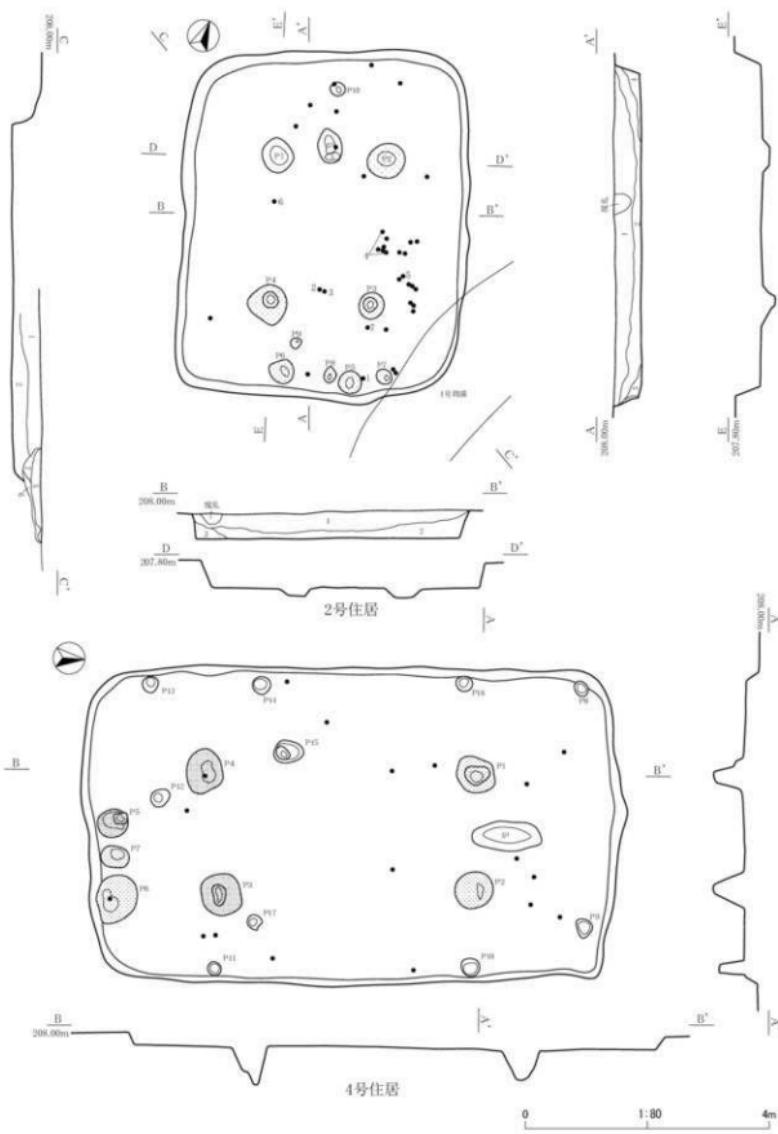
Y=89470  
Y=89500  
Y=89550  
Y=89600

第175図 小日向志丁田遺跡全体図・グリッド設定期

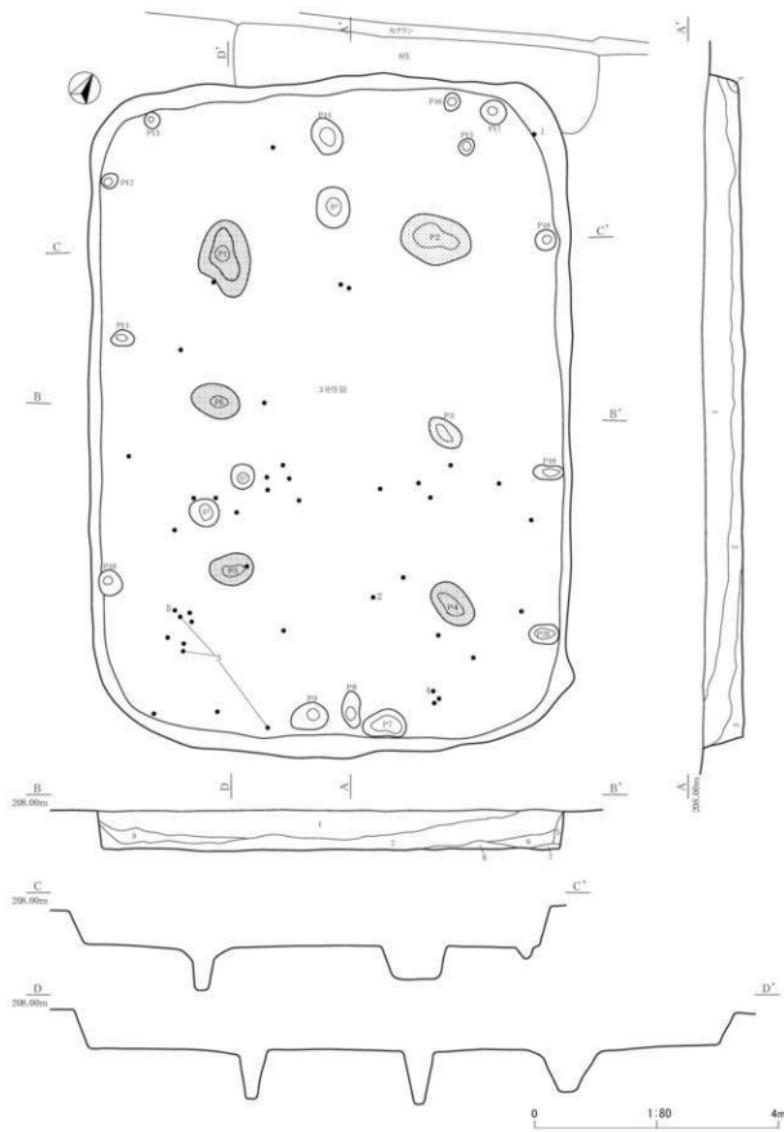




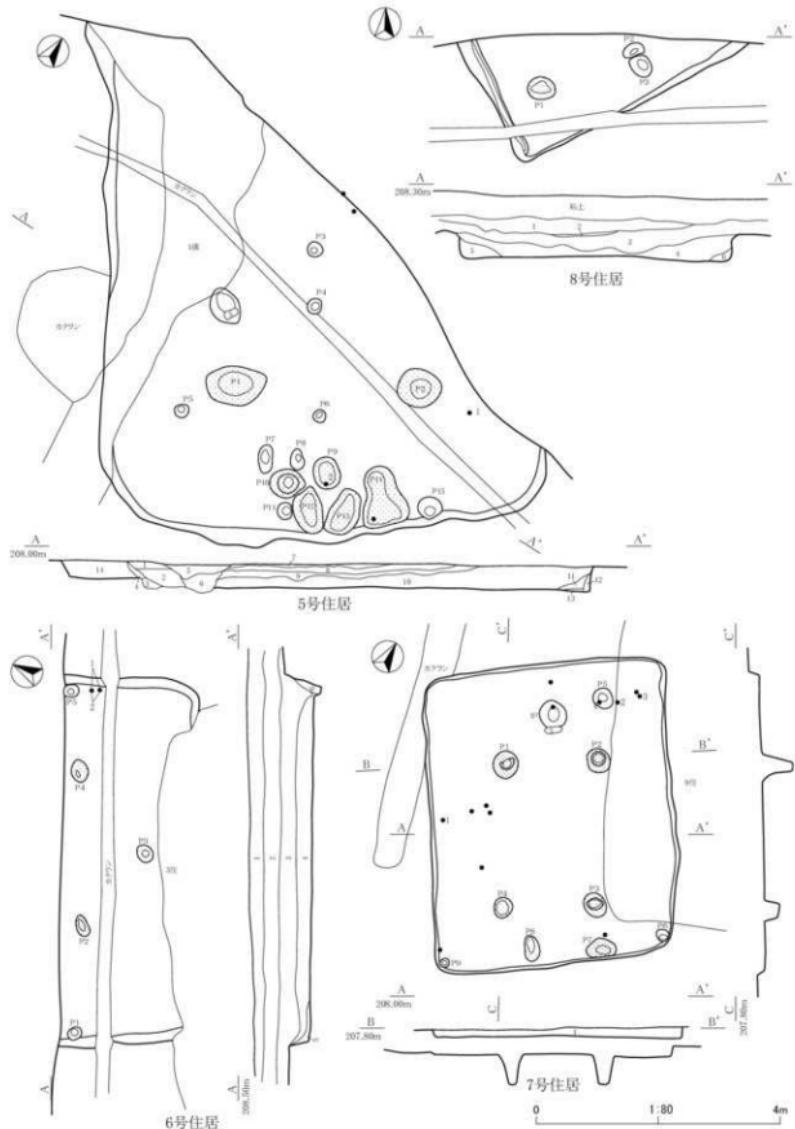
第176図 1号住居址実測図



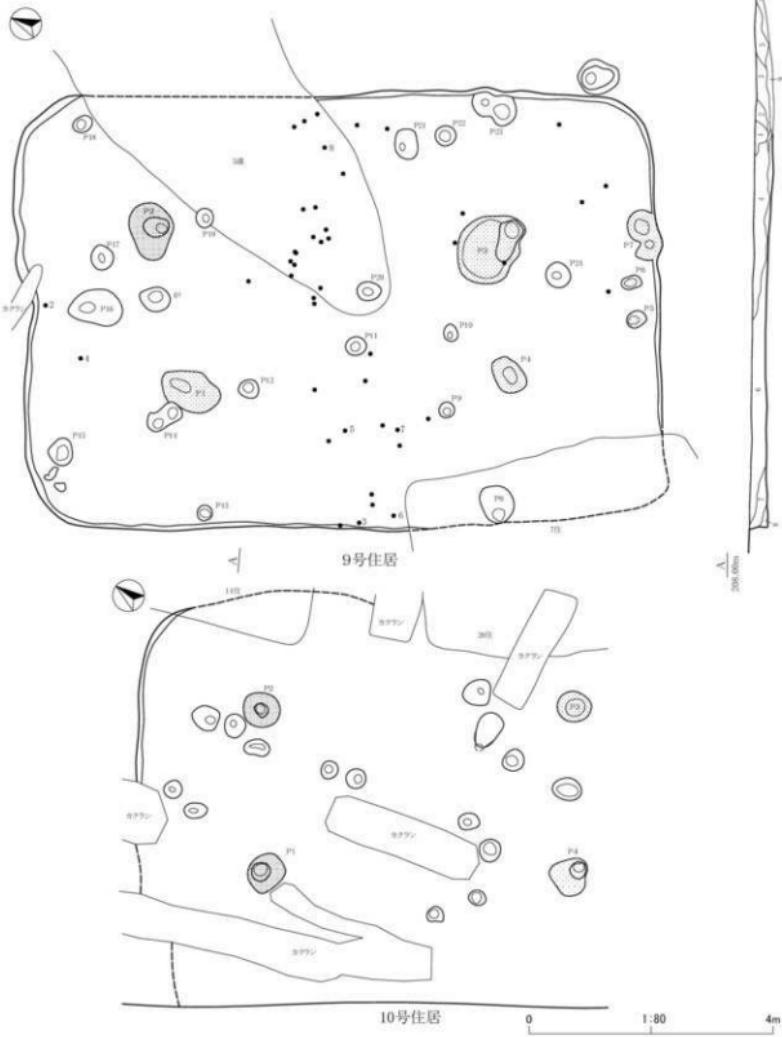
第177図 2号・4号住居址実測図



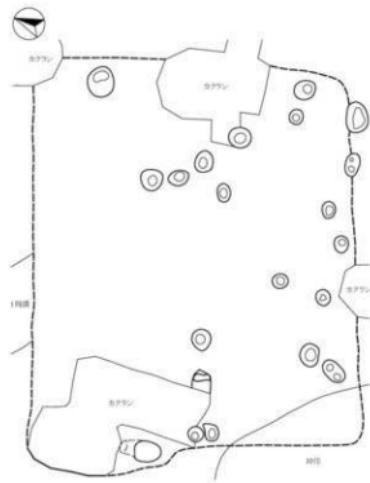
第178図 3号住居址実測図



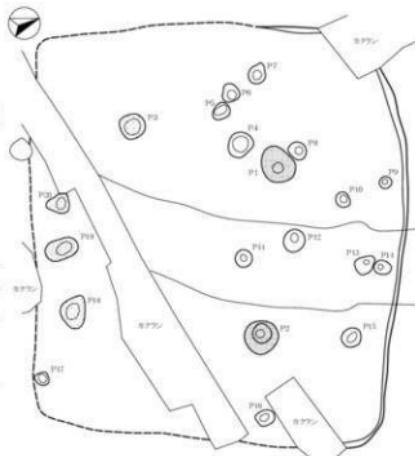
第179図 5～8号住居址実測図



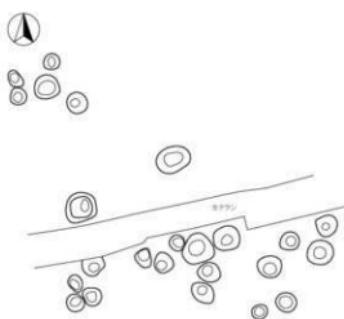
第180図 9号・10号住居址実測図



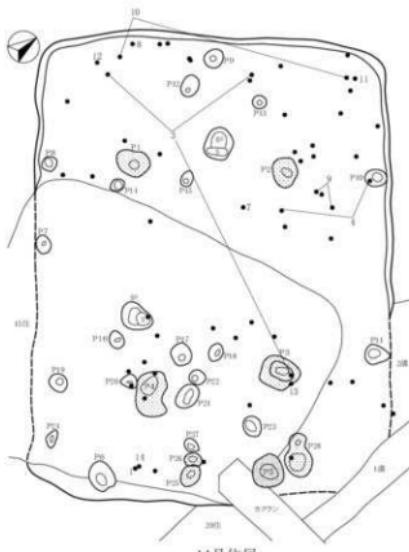
11号住居



13号住居

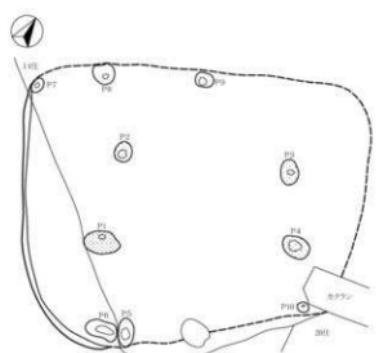


12号住居

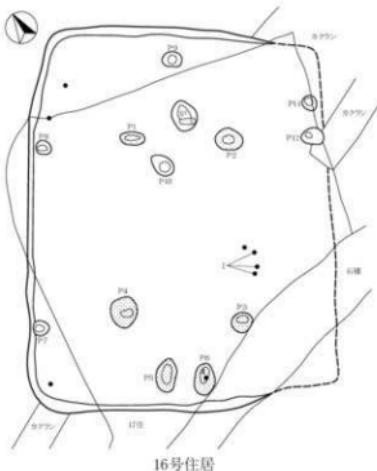


14号住居

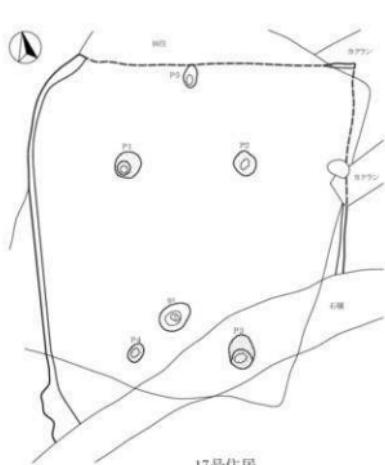
第181図 11~14号住居址実測図



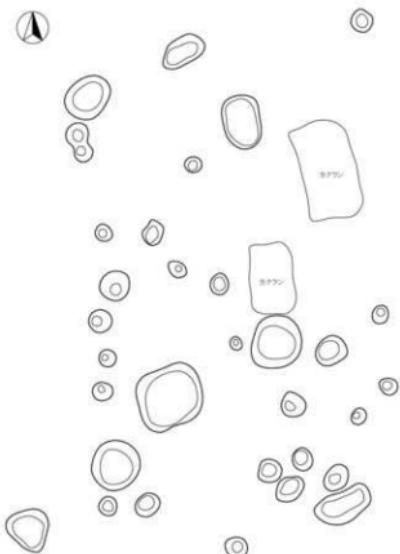
15号住居



16号住居



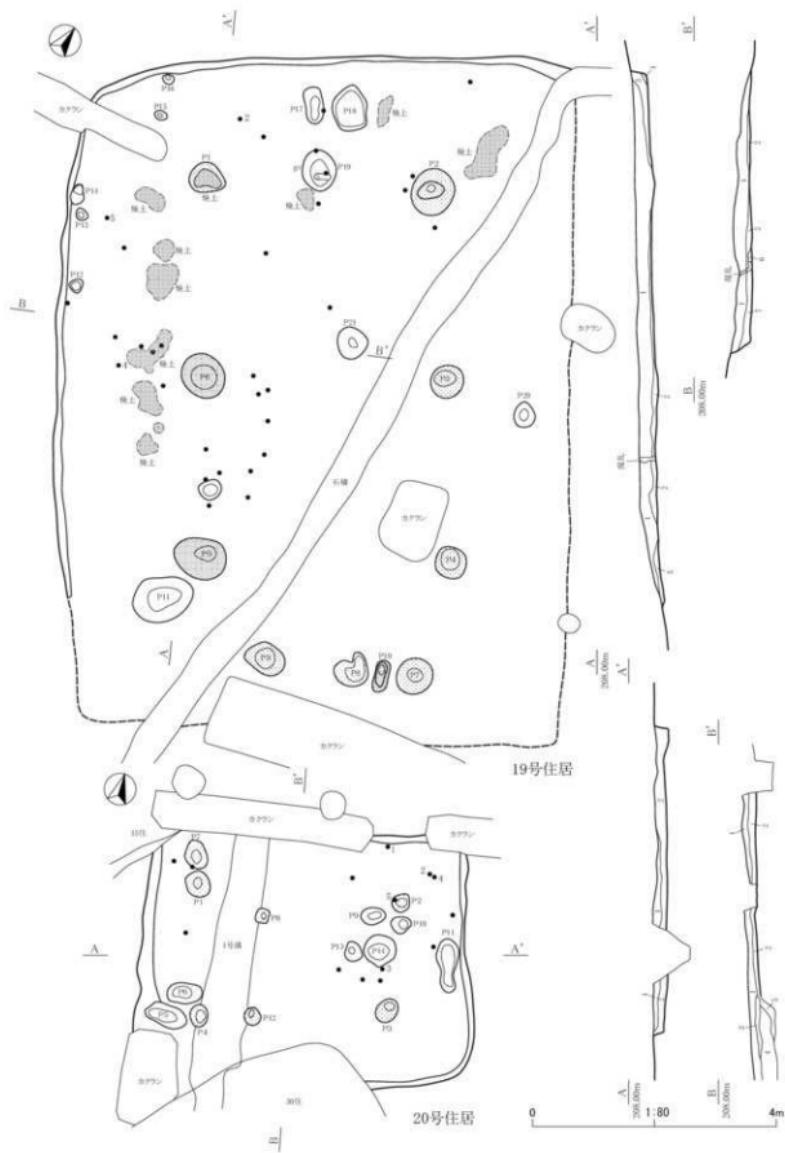
17号住居



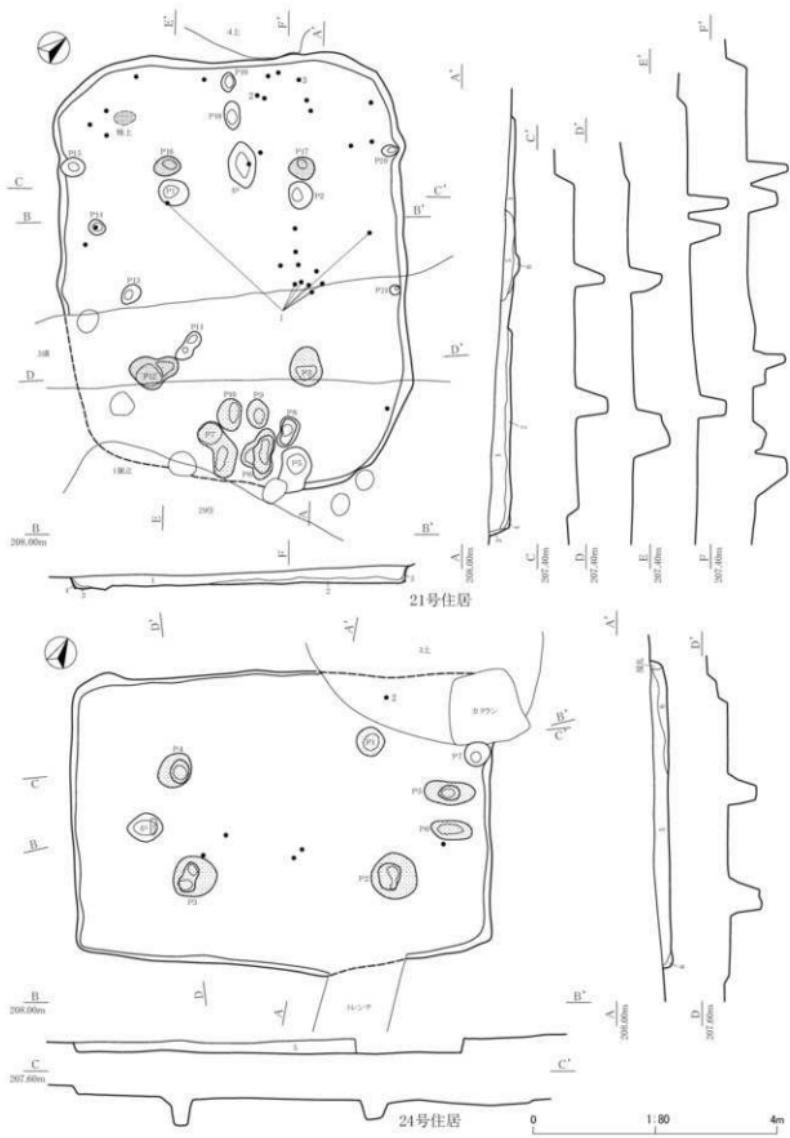
18号住居

0 1:80 4m

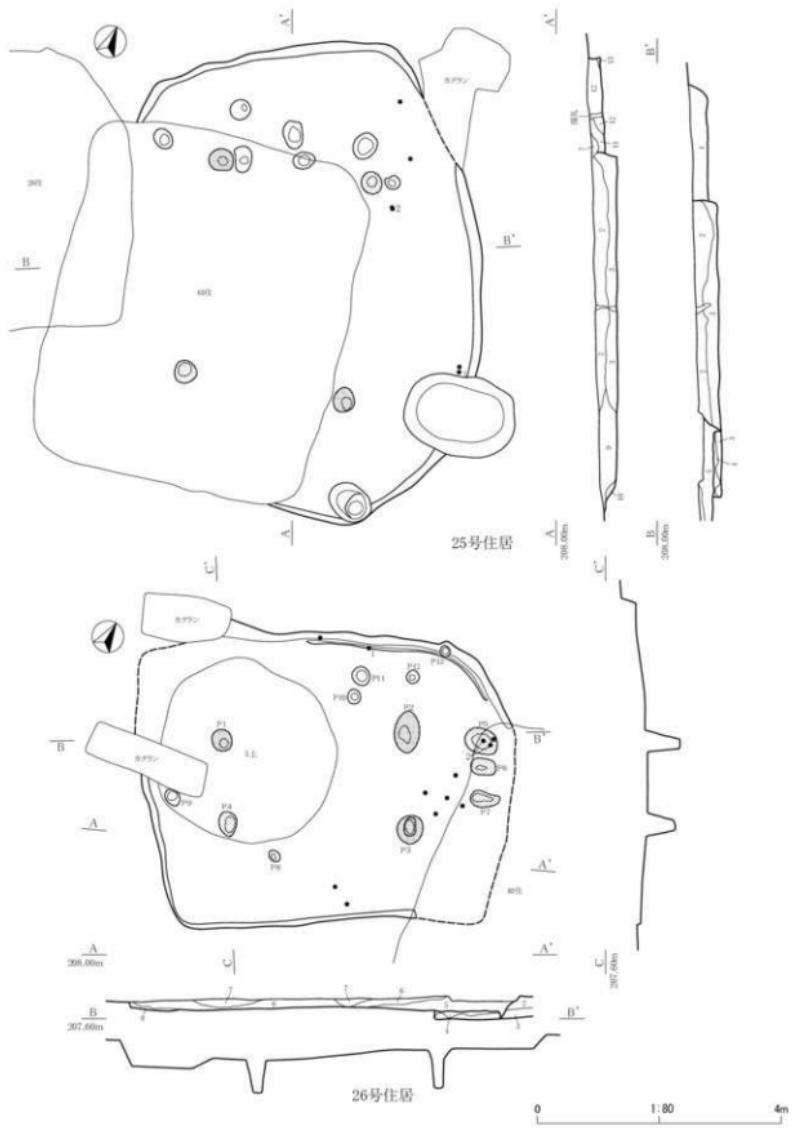
第182図 15~18号住居址実測図



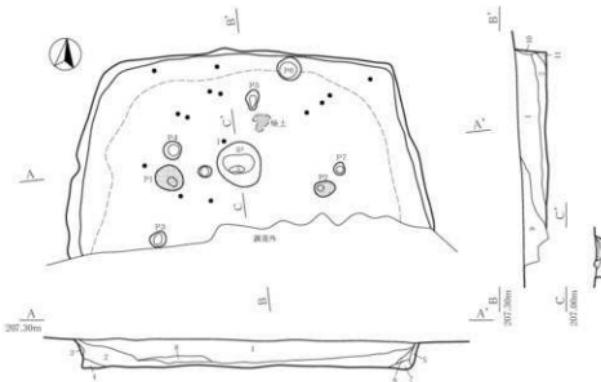
第183図 19号・20号住居址実測図



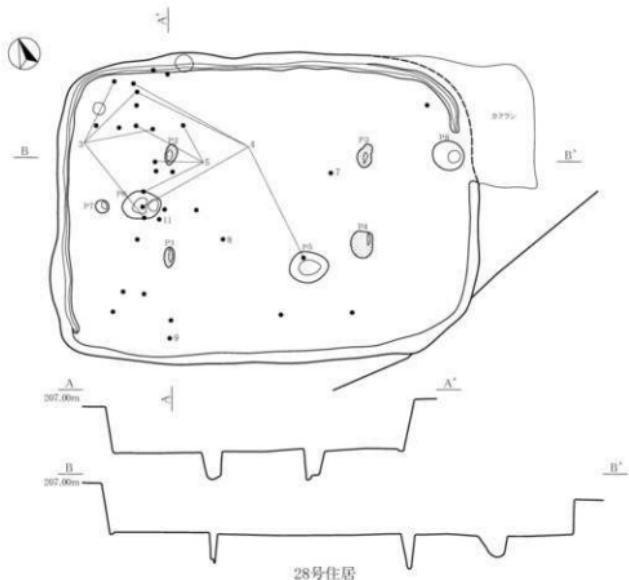
第184図 21号・24号住居址実測図



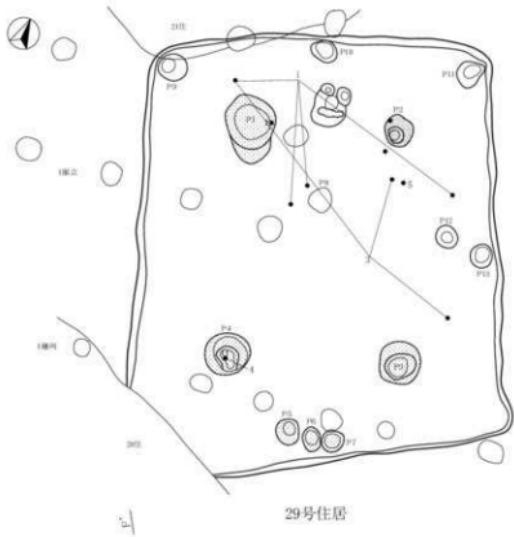
第185図 25号・26号住居址実測図



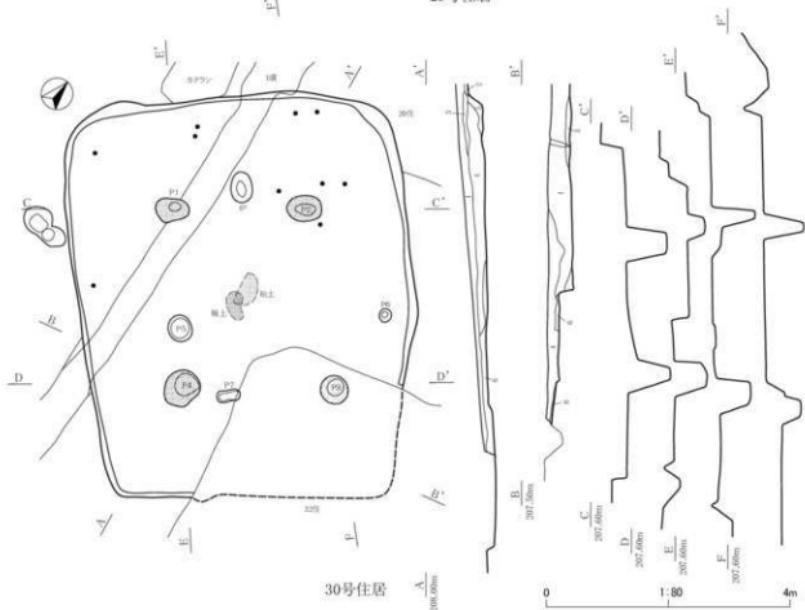
27号住居



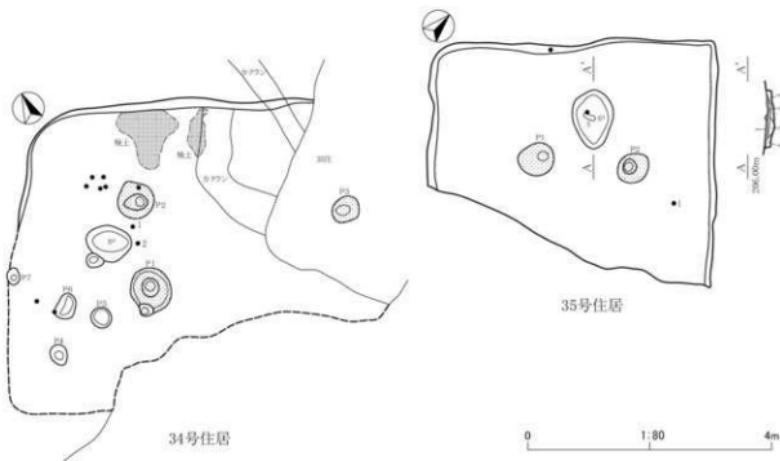
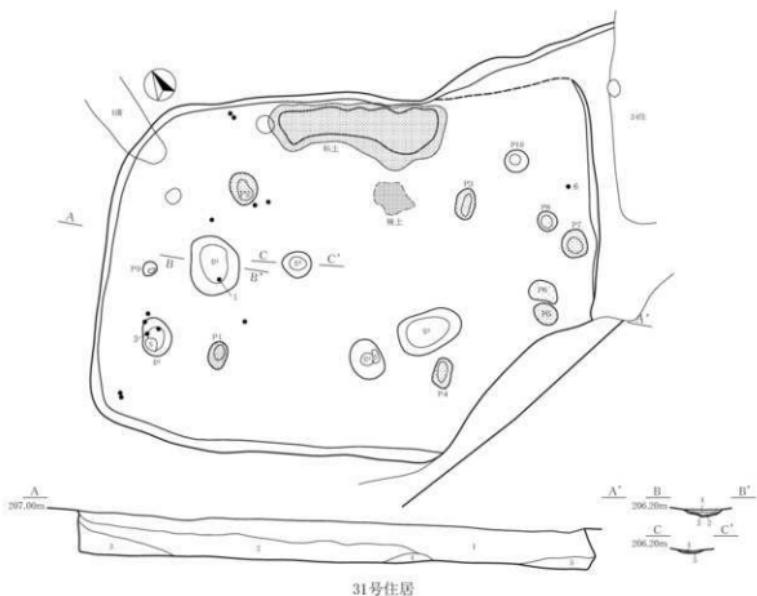
第186図 27号・28号住居址実測図



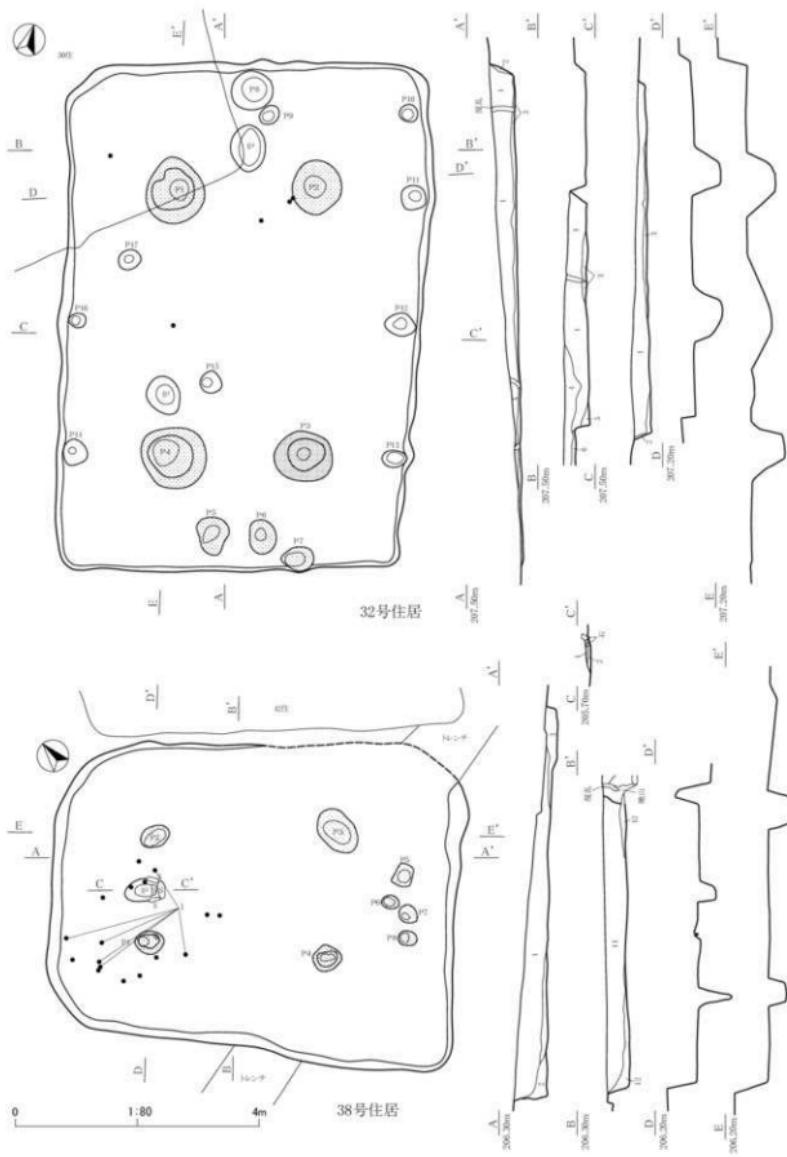
29号住居



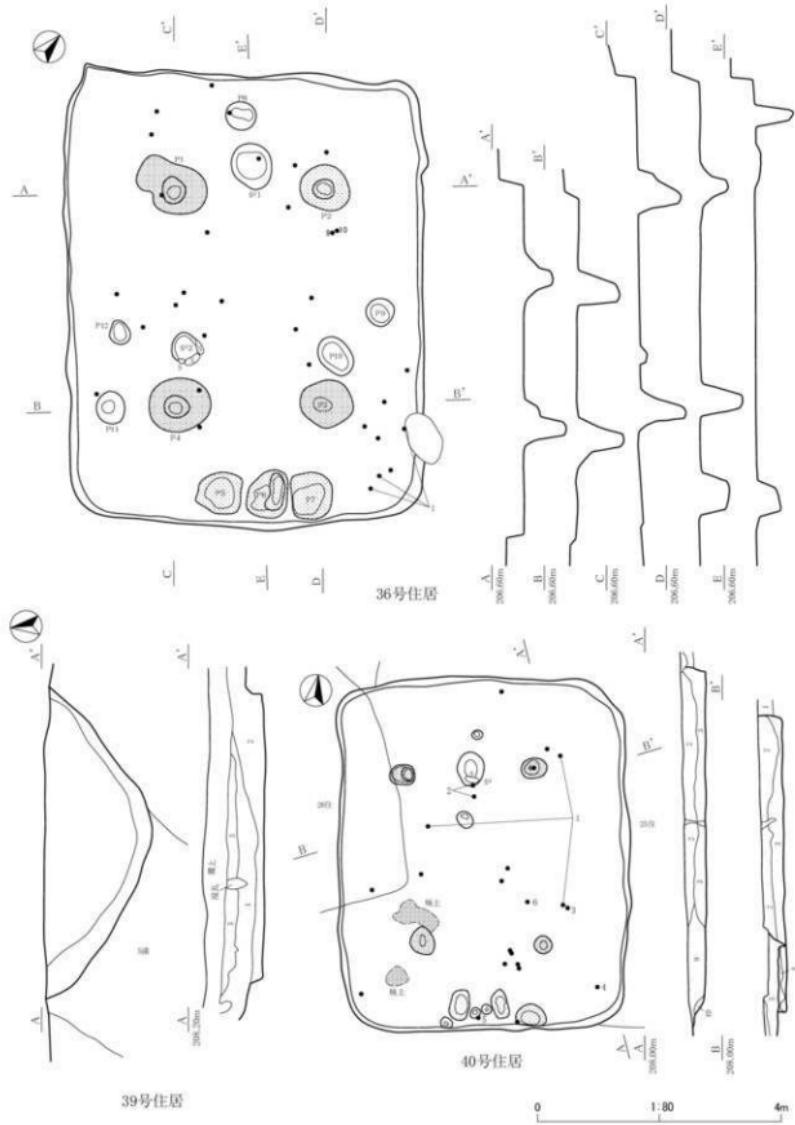
第187図 29号・30号住居址実測図



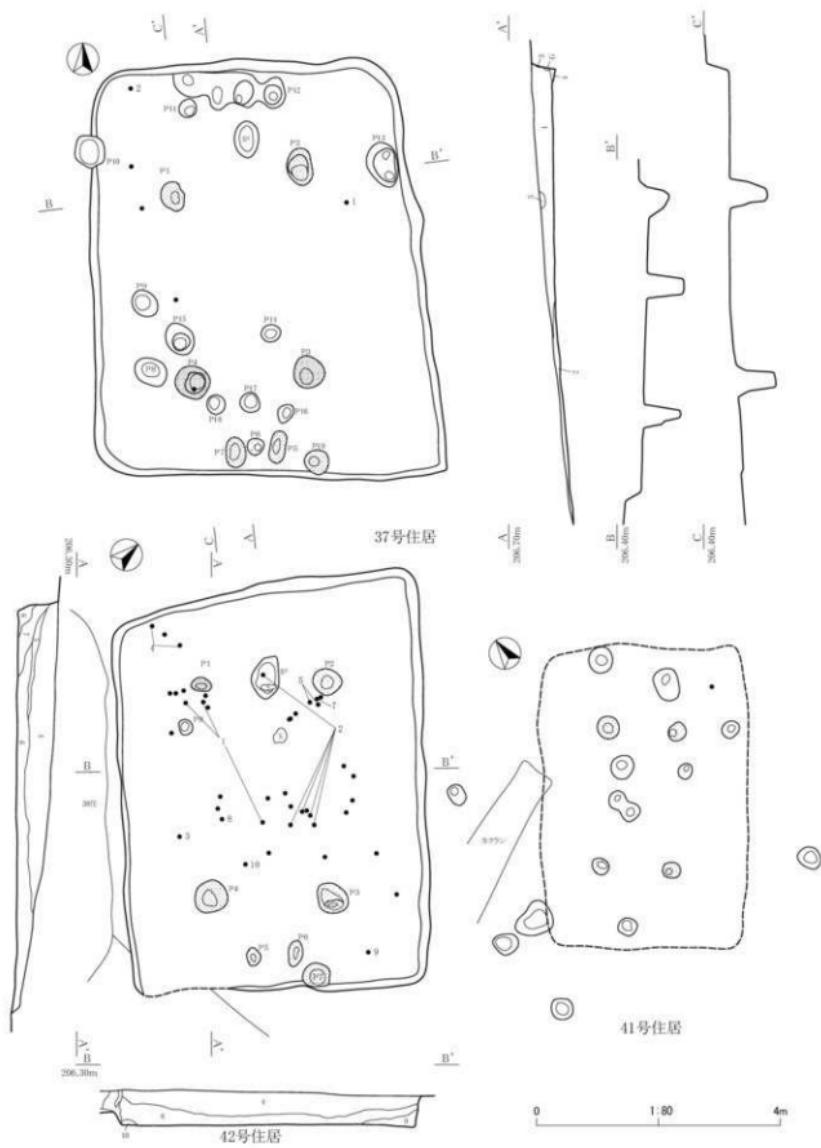
第188図 31号・34号・35号住居址実測図



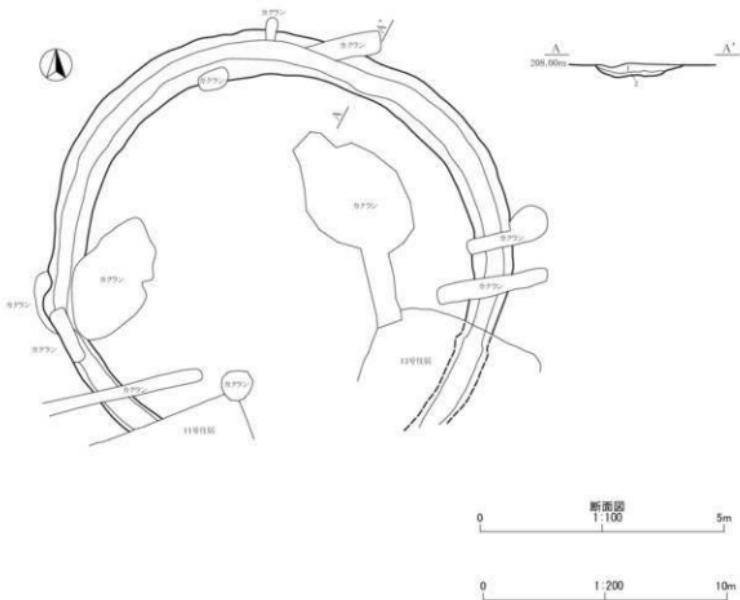
第189図 32号・38号住居址実測図



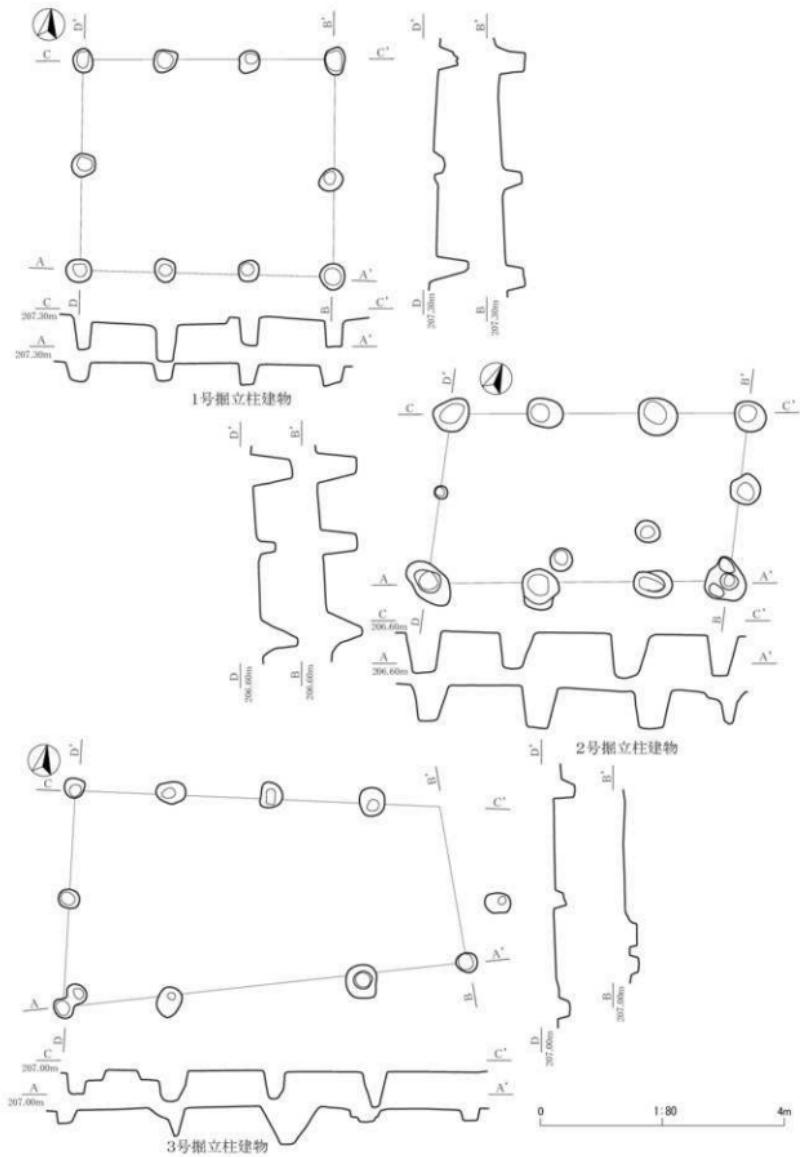
第190図 36号・39号・40号住居址実測図



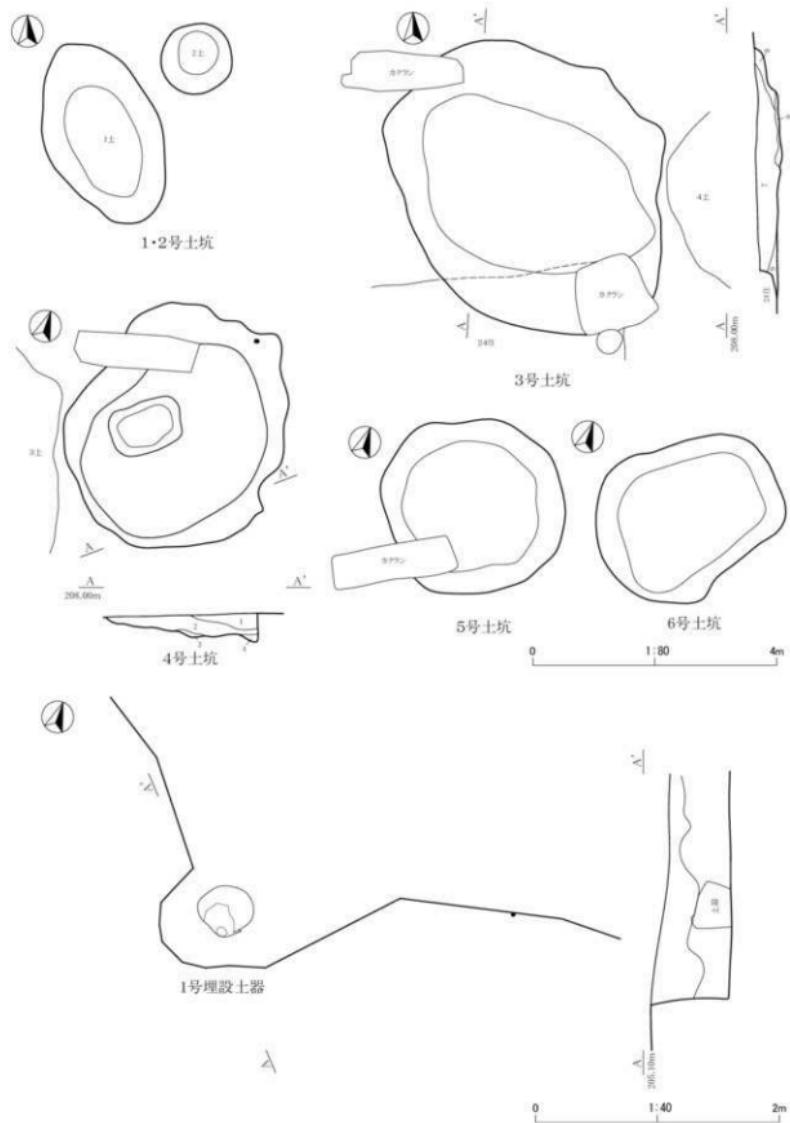
第191図 37号・41号・42号住居址実測図



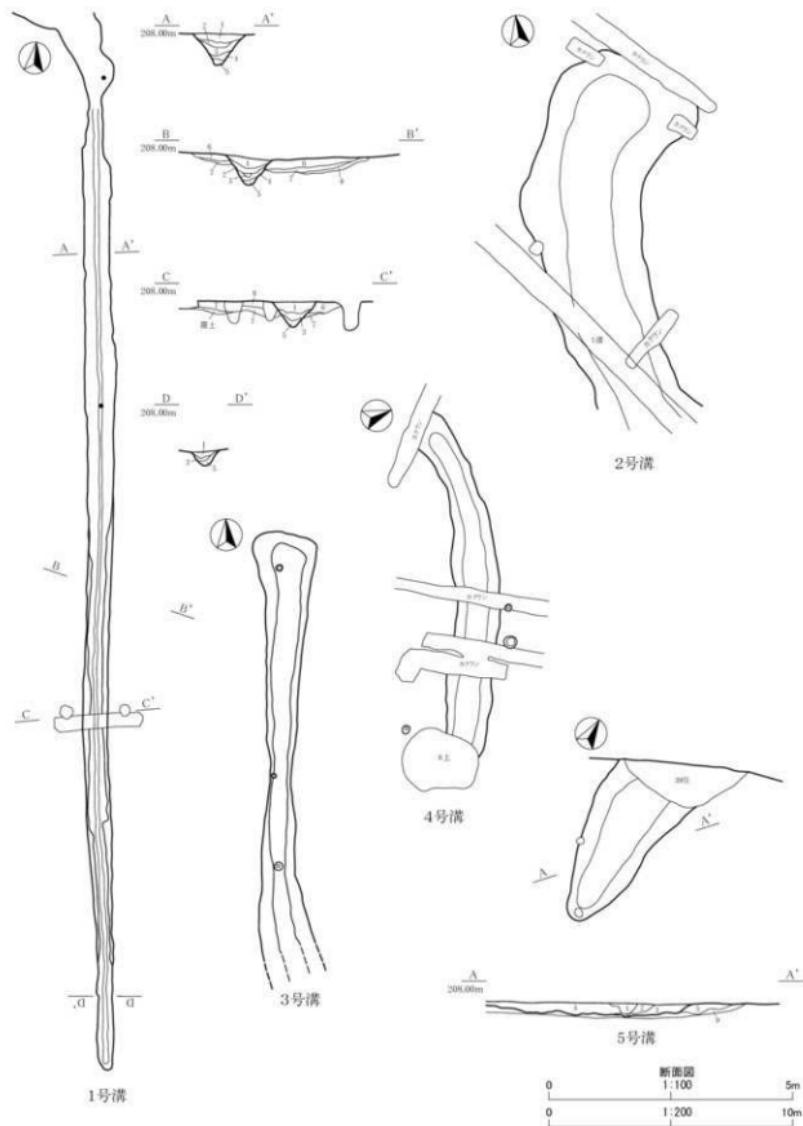
第192図 1号古墳実測図



第193図 1～3号掘立柱建物址実測図



第194図 1～6号土坑・1号埋設土器実測図



第195図 1～5号溝横断図

## 1号住居 (A-A')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	灰色土	グライ化しており灰色を呈す(灰色の中に鉄分が酸化してサビた色調を呈す)	
2	暗褐色土	黒色土を多量に含む。軽石の粉を含む	
3	暗褐色土	ローム粒を少額含む。鐵鉱の鉄石を含む	
4	暗褐色土	ロームブロックを少額含む	
5	褐色土	ロームブロックを多量に含む	

## 2号住居 (A-A', B-B', C-C')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	ローム粒・炭化粒を含む。約10mm前後の褐色バニスを少額含む	
2	暗褐色土	(他の層より面白い色の)ロームブロック・ローム粒を多量に含む。褐色バニスを上層より多く含む	
3	暗褐色土	ローム粒を少額含む。約数mm前後の褐色バニスを少額含む	
4	暗褐色土	2層に亘り(ローム粒は微細)	
5	暗褐色土	約数mmの白色バニスを含む。ローム粒を少額含む	
6	褐色土	ローム粒・ロームブロックを含む。白色バニスを少額含む	古墳周溝
7	暗褐色土	白色バニスを含む。(5層より多い) ローム粒を少額含む	

## 4号住居土層記なし

## 3号住居 (A-A', B-B')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	約数mmの白色バニスが多量に混入	
2	暗褐色土	約数mmの黄色バニスを多量に含む。ローム粒を含む。ロームブロックを多く微細に含む	
3	黒褐色土	約数mmの黄色バニスを多量に含む。ローム粒を少額含む	
4	褐色土	ローム粒・ロームブロックを多量に含む(崩落による流込)	
5	褐色土	ローム粒・ロームブロックを含む。約数mmの黄色バニスを少額含む	
6	暗褐色土	炭化粒の粒を少額含む	
7	褐色土	炭化粒を微量に含む	
8	暗褐色土	ロームブロックを含む(床面上に)	
9	暗褐色土	約数mmの白色バニスを少額含む	

## 5号住居 (A-A')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	白色バニスを多量に含む。軽石を少額含む	
2	暗褐色土	ローム粒を微量に含む。白色バニスを多く微量含む	
3	褐色土	ロームブロックと暗褐色土を少額含む(1.5mの壁の一部が崩落)	
4	暗褐色土	白色バニスにローム粒を多量に含む	
5	暗褐色土	ローム粒(少量)に軽石の解、白色バニスを少量含む(大半は軽石)	
6	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む	
7	暗褐色土	白色バニスに軽石を多量に含む	
8	暗褐色土	1.5の壁に附着	
9	暗褐色土	ロームブロックを微量に含む。白色バニスを少額含む	
10	暗褐色土	ローム粒を微量に含む。炭化粒を多量に混入	
11	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックに炭化粒を少額含む	
12	褐色土	ローム粒・ロームブロックに黑色土・炭化粒を微量に含む(崩落)	
13	褐色土	ロームブロックに黑色土・炭化粒を微量に含む	
14	暗褐色土	白色バニスにローム粒を微量に含む	

1層

## 6号住居 (A-A')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土(赤い)	黄土(耕作土) 軽石を含む	
2	褐色土(赤い)	グライ化した層。約数mmの白色バニスを多量に含む	
3	褐色土	白色バニスを多量に含む	
4	暗褐色土(3層より深い)	約数mmの黄色バニスを含む。炭化粒・ローム粒を微量に含む	
5	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを含む	
6	褐色土	2層に附着	

## 7号住居 (A-A')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	白色バニスを多量に含む	

## 8号住居 (A-A')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	白色バニスを少額含む	
2	褐色土	8軽石(レンズ状に地盤)	
3	暗褐色土	約数mmの白色バニスを多量に含む。約数mmの黄色バニスを少額含む	
4	暗褐色土	(3層より深い) 炭化粒を多量に含む。ローム粒を含む	
5	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを少額含む。炭化粒をほとんど含まないため4層と区別	
6	暗褐色土	ローム粒を少額含む。炭化粒をほとんど含まない	

第92表 1～3号・5～8号住居址土層層記

## 9号住居 (A-A') 5号溝 (A-A')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	礫石(B)を多量に含む	5調
2	暗褐色土	礫石を少量含む	
3	暗褐色土	礫石を少量含む。	
4	暗褐色土	3層に跨る	
5	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを少量含む	
6	暗褐色土	ローム粒を微細に含む。φ数mm以下の白色パミスを少量含む	
7	暗褐色土	ローム粒を少量含む	9H
8	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを少量含む	
9	両色土	ローム粒・ロームブロックを少量含む	

10～38号住居土層注記なし  
19号住居 (A-A', B-B')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	炭化粒が少量混入。同層にロームブロックが混入。φ数mm以下白色パミス多量に混入。	
2	暗褐色土	ロームブロック・焼土粒・炭化材が多量に混入	
3	暗褐色土	ローム粒・焼土粒・炭化材が多量に含む	
4	暗褐色土	ロームブロック・ローム粒(崩落塊込み)	
5	両色土	ロームブロック・ローム粒にφ数mm以下の白色パミスが少量混入	
6	暗褐色土	焼土粒・ローム	
7	暗褐色土	2層に跨る	

## 20号住居 (A-A', B-B') 30号住居 (A-A')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	礫石を多量に含む。ローム粒を微細に含む	20H
2	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを少量含む	
3	暗褐色土	礫石を少量に含む	
4	暗褐色土	ローム粒・白色パミス少量を含む。炭化材(?)粒を多量に含む	
5	淡・暗褐色土	φ数mmの白色パミスを特に(B)を微細に含む	
6	両色土	ロームブロック・粘土ブロック(黄白色を呈す)の層	

## 21号住居 (A-A', B-B')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	φ数mmの白色パミスを多量に含む	3調
2	暗褐色土	焼土粒・炭化材を多量に含む	
3	両色土	ローム粒を少量含む。φ数mmの白色パミスを微細に含む	
4	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを含む	
5	暗褐色土	φ数mmの白色パミスを特に(B)を微細に含む	
6	両色土	ロームブロックを少量含む。φ数mmの白色パミスを微細に含む	

## 24号住居 (A-A', B-B')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	淡色土粒・ローム粒。φ数mmの黄色パミスを含む	
2	暗褐色土	1層よりローム粒を多量に含む	

## 25号住居 (A-A', B-B')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	φ数mmの白色パミスを多量に含む。ローム粒が微細に混入	
2	暗褐色土	φ10mm前後の白色パミスが混入	
3	暗褐色土	焼土粒・炭化材(?)粒が多量に混入。φ数mmの黄色パミスを多量に含む	40H
4	両色土		
5	暗褐色土	ローム粒を微細に含む。φ数mmの白色パミスを含む	26H
6	暗褐色土	ローム粒を少量含む。白色パミスを含む	26H
7	暗褐色土	ロームブロックごとに礫石を多量に含む	
8	両色土	ローム粒・ローム粒を含む	26H
9	赤褐色土	焼土粒・ローム・炭化材・ロームブロックを多量に含む	
10	両色土	ロームブロック(崩落)	40H
11	暗褐色土	ローム粒・ロームブロックを多量に含む	25H
12	暗褐色土	ロームブロック(少量)にφ数mmの白色パミスを少量含む	
13	暗褐色土	ローム粒を微細に含む	

## 26号住居土層注記なし

## 27号住居 (A-A', B-B')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	礫石に際面石を多量に含む	
2	暗褐色土	焼土粒・炭化材を多量に含む	
3	暗褐色土	ロームブロックごとに褐色土(崩落)	
4	暗褐色土	ローム粒に焼土粒と炭化材(?)粒を含む	
5	両色土	ローム粒を多量に含む(崩落)	
6	両色土	ローム粒を多量に含む	
7	暗褐色土	ローム粒を少量含む	
8	両色土	ロームブロックごとに含む(崩落)	
9	暗褐色土	大きな際面石を含む褐色土の層	
10	両色土	ローム粒を含む	
11	暗褐色土	ローム粒を多量に含む。焼土粒を微細に含む	

※27号土層注記なし

第93表 9号・19～21号・24号・25号・27号住居址土層注記

28, 29号住居土層注記なし

30号住居 (B-B') 32号住居 (A-A', B-B', C-C')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	φ数mm～10mmくらいの白色パミスを多量に含む	
2	褐色土	φ数mm～10mmくらいの白色パミスを少量含む	
3	暗褐色土	φ数mm～10mmくらいの白色パミスと白色パミスにローム粉を多量に含む	32H
4	暗褐色土	明石(?)を含む。φ数mmの白色パミスを少量含む	30H
5	暗褐色土	ローム粉を微量に含む。φ数mmの白色パミスを少量含む	32H
6	褐色土	ローム粉・ロームブロックを多量に含む(H-Q30の床直上)	30H

31号住居 (A-A')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	φ数mmの黄色パミス・炭化材を少額含む	
2	暗褐色土	ローム粉を少額含む。下層とのきわめてローム粉多量	
3	暗褐色土	φ 5mm前後の黄色パミスを少額含む(黒い色調)	
4	暗褐色土(?)	ローム粉・ロームブロックを少額含む	
5	暗褐色土	SB034(H-Q34)の粘り土(ローム粉にスコリ亞等を多量に含んだ層)	

31号住居 (B-B', C-C')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土(黒褐色に近い)	炭化物に褐色土を多量に含む	
2	褐色土	炭化物(少量)に褐色土・焼土ブロックを多量に含む	
3	褐色土	地山に褐色の焼土粒が混入	
4	暗褐色土	炭化物・褐色土粉を含む	
5	褐色土	褐色土を多量に含む	

34号住居土層注記なし

35号住居 (B-B') (A-A')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	焼土粒・焼土ブロックを多量に含む	
2	火床土	焼土ブロック	
3	暗褐色土	(より明褐色土)ローム粉・黄色パミス	
4	暗褐色土	地山	

37号住居 (A-A')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	φ数mmの黄色パミスを少量含む。炭化物を微量に含む	
2	褐色土	ローム粉を多量に含む(白熱石が焼けきった状態)	
3	暗褐色土	崩落によりロームブロックの混入	
4	黑色土	陶化鉢(?)地山の一部として地槽(黒褐色で少し赤みを帯びる)	
5	暗褐色土	白熱石(?)が混入	

38号住居 (A-A', B-B')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	φ 5mm前後の黄色パミス・スコリアを多量に含む。炭化物を少額含む	
2	暗褐色土	ロームブロック(少額)にφ 5mm前後の黄色パミス・スコリアを多量に含む	
3	暗褐色土	φ数mmの黄色パミスを少額含む	

38号住居 (A-A', B-B') (C-C')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	赤褐色	火床部(焼土・炭化物を多量に含む)	
2	褐色土	焼土粒・炭化物を含む	

※本來は右図であったものがいくつか書き取られた可能性が指摘される

39号住居 (A-A')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	(黒褐色に近い)粗粒土(やや大きめ)がいくつか混入	5m
2	暗褐色土	ローム粉を微量に含む	
3	褐色土	白熱石を多量に含む。褐色土を少額含む	5m

42号住居 (A-A', B-B')

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	φ 10mm前後の黄色パミスを多量に含む(6層よりもローム粉・ロームブロックを多量に含む)。φ数mmの細かい白色パミスを多量に含む	
2	暗褐色土	φ 10mm前後の黄色パミスを多量に含む。炭化物を多量に含む	
3	暗褐色土	φ 5mm前後の黄色パミスを多量に含む。炭化物を微量に含む	
4	暗褐色土	(5層よりも細かい白色炭化物)・黄色パミス(スコリア)を多量に含む	
5	暗褐色土	崩落。φ数mmの黄色パミスを含む(炭化物がほとんど含まれず赤い色調を呈す)	
6	暗褐色土	3層に比べてφ数mmの黄色パミスを少額含む	
7	暗褐色土	(3層よりも深い色調)φ数mmの白色パミスを多量に含む	

1号古墳

層番	層名	土 层 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	φ數ミリの白色パミスを含む。ローム粉を少額含む	
2	褐色土	ローム粉・ロームブロックを少額含む。黒色土を少額含む	

1号溝 (A-A', B-B', C-C', D-D')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	軽石を多量に含む	
2	暗褐色土	軽石を多量に含む。ローム粒を少量含む。小石(砂利)が複数混入。	
3	暗褐色土	軽石を含む。ローム粒を多量に含む	
4	暗褐色土	軽石を少額含む。ローム粒を多量に含む。ロームブロックを少額含む	
5	褐色土	軽石を多少含む。ローム粒・ロームブロックを多量に含む	
6	暗褐色土	軽石(Ag B)がレンズ上に埋積。跡まりや活性土を乏しい	
7	暗褐色土	軽石(Ag B)を少額含む。黄色バースを少額含む。より黑色に近い暗褐色を呈する	
8	褐色土	ローム粒・ロームブロックを多量に含む	

3号土坑 (A-A')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	軽石を多量に含む	
2	褐色土	ロームブロックに黒褐色土を少額含む	
3	褐色土	地山? (一部崩れすぎ) 2層にはぼ凹む	

4号土坑 (A-A')

層番	層名	土 層 中 合 有 物	備考
1	暗褐色土	軽石の層。一部赤色の軽石がレンズ状に埋積	
2	暗褐色土	軽石に微量のローム粒を含む	
3	褐色土	多量のローム粒を含む黑色土(マーブル状に埋積。流れて埋積したような状態)	
4	褐色土	マーブル状に埋積	

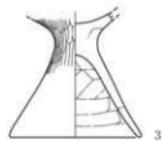
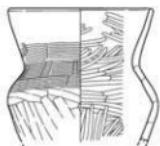
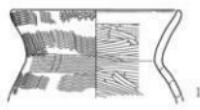
第95表 1号溝、3号・4号土坑土層注記

丁田遺跡遺構觀察

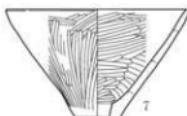
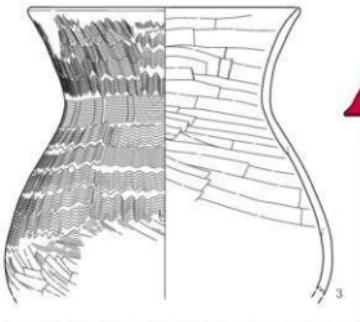
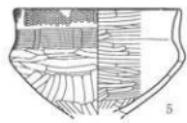
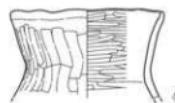
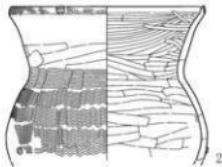
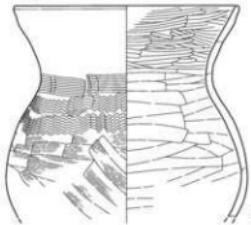
第96表 老丁遺構觀察表(1)



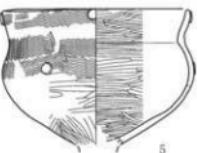
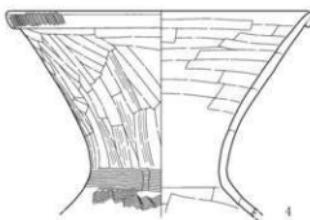
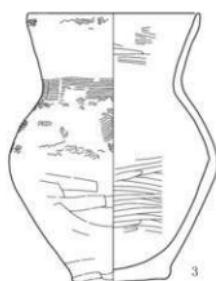
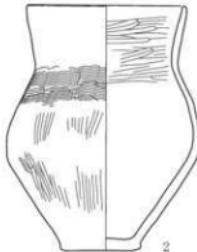
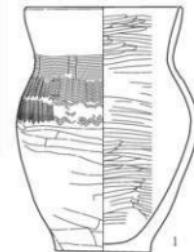
1号住



2号住

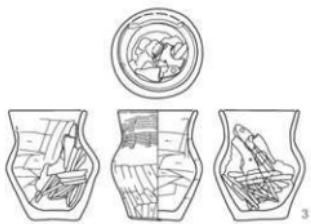
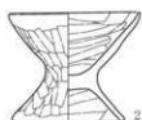
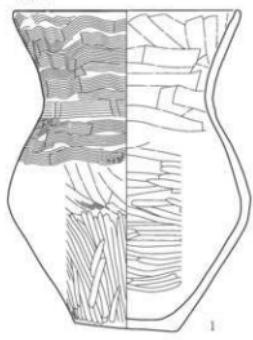


3号住



第196図 1～3号住居址出土土器実測図

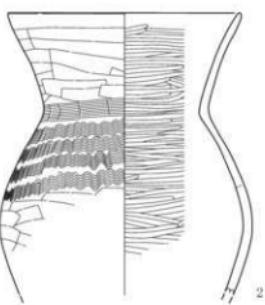
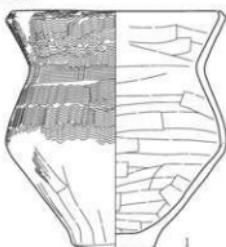
5号住



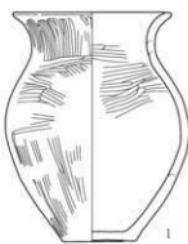
7号住



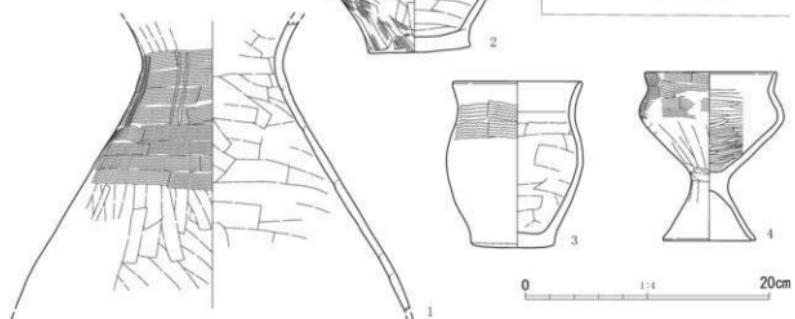
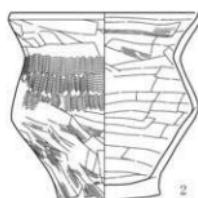
6号住



8号住



9号住



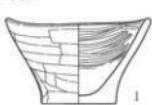
0 1:4 20cm

第197図 5～9号住居址出土土器実測図

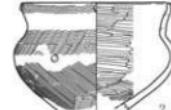
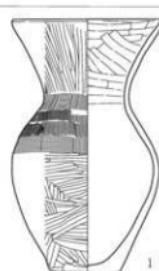
9号住



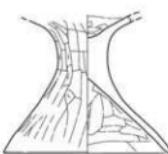
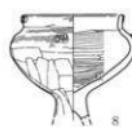
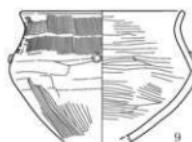
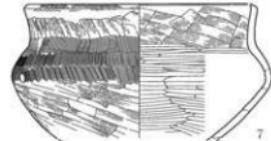
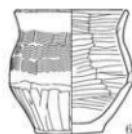
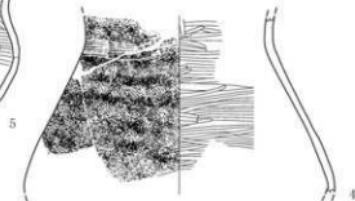
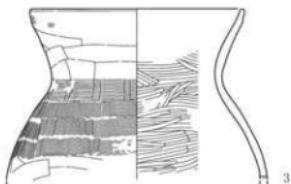
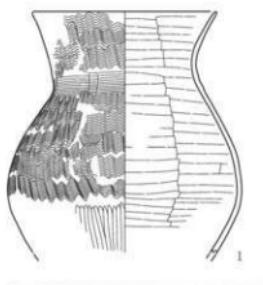
10号住



14号住



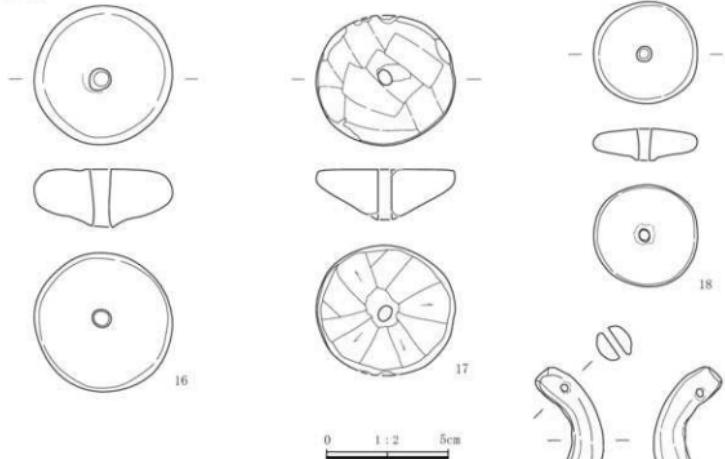
13号住



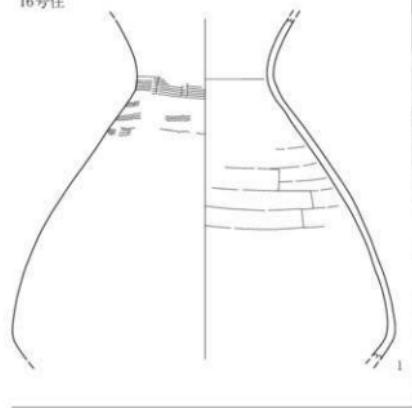
0 1:4 20cm

第198圖 9号・10号・13号・14号住居址出土土器実測図

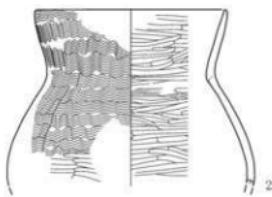
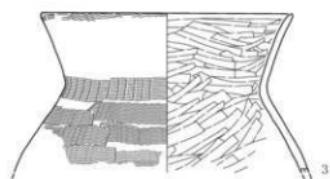
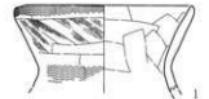
14号住



16号住



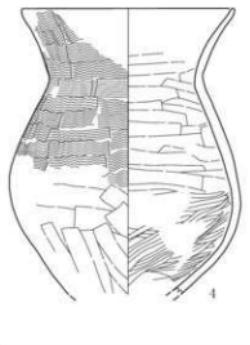
16・17号住



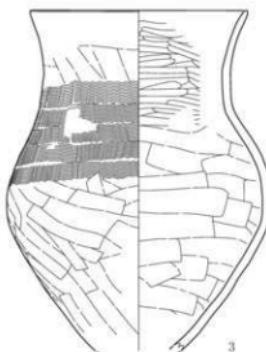
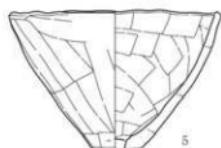
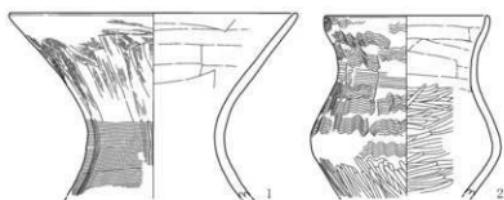
0 1:4 20cm

第199図 14号・16号・17号住居址出土土器実測図

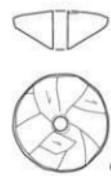
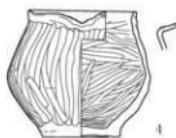
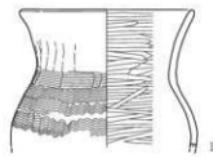
16・17号住



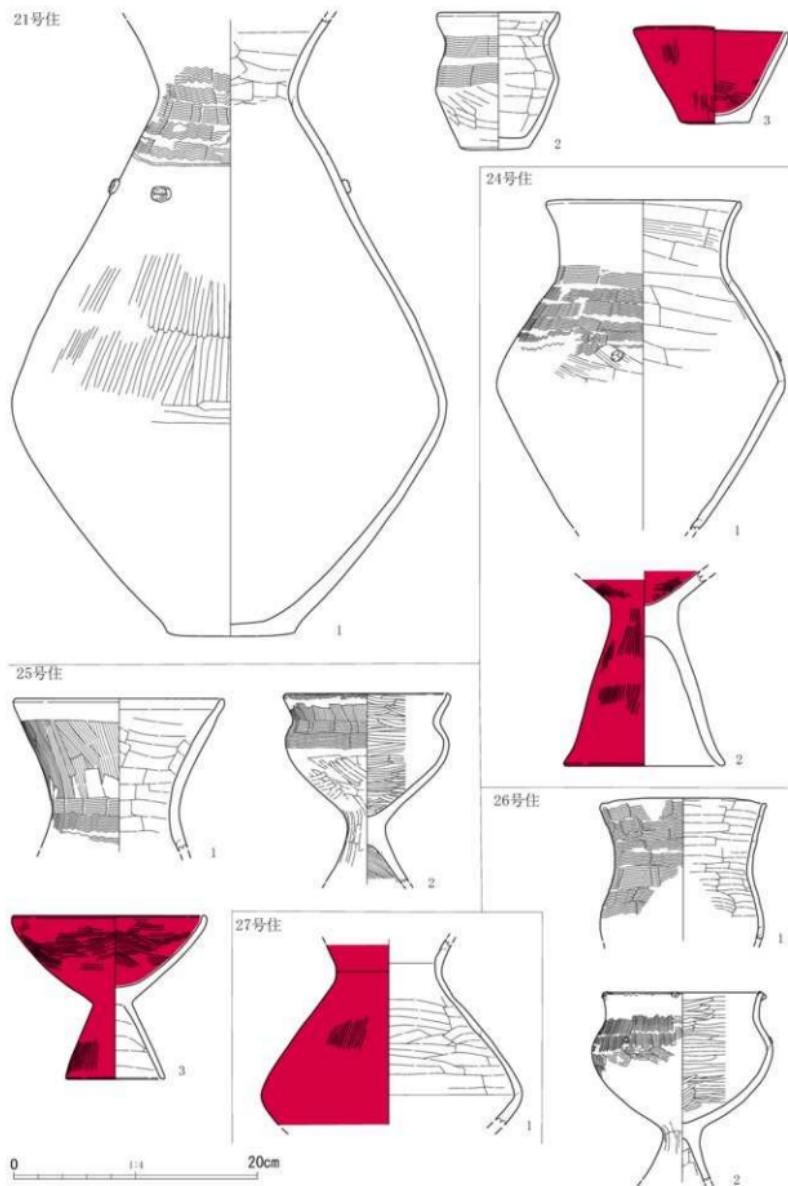
19号住



20号住

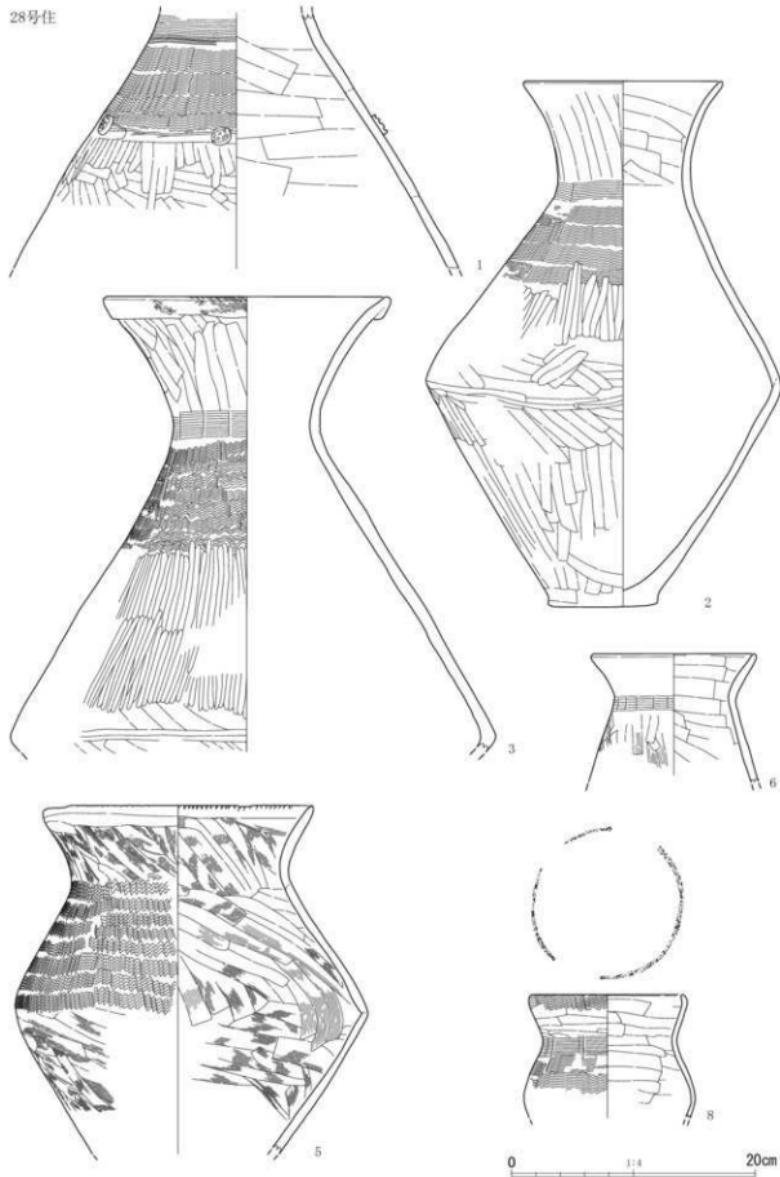


第200图 16号・17号・19号・20号住居址出土土器实测图



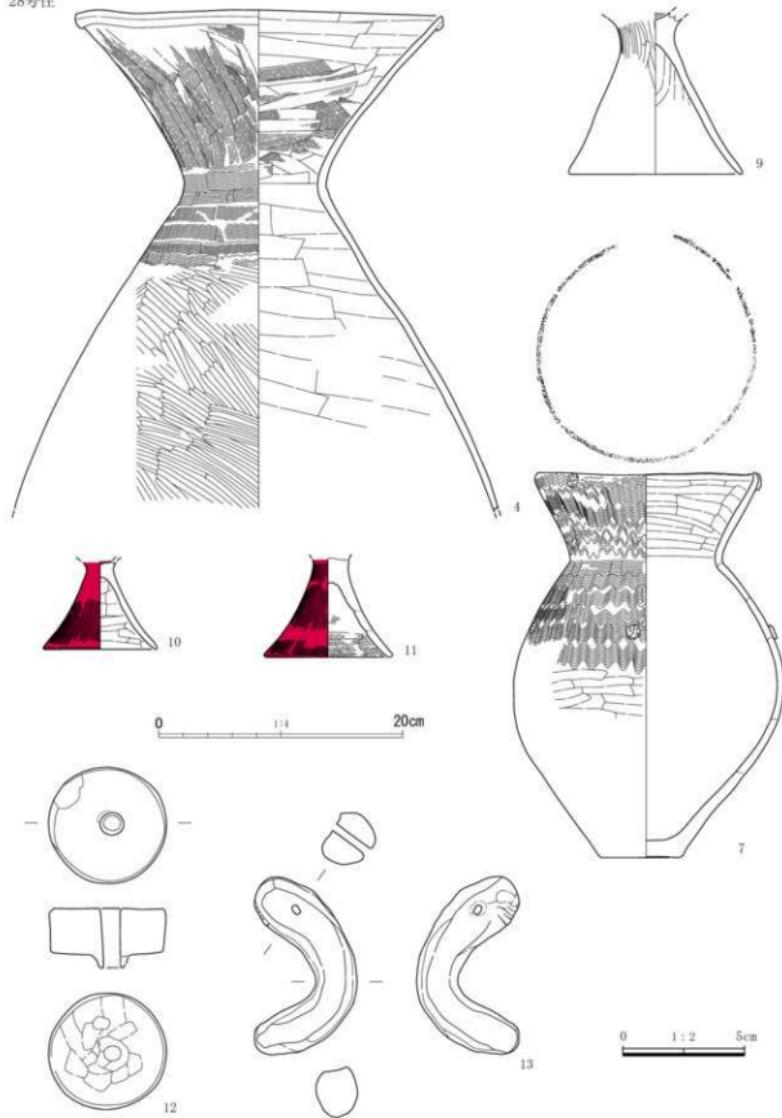
第201図 21号・24~27号住居址出土土器実測図

28号住



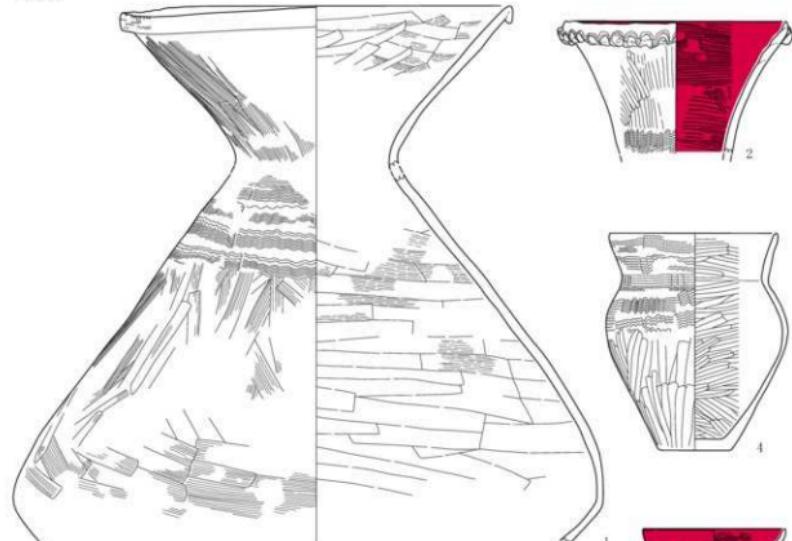
第202図 28号住居址出土土器実測図(1)

28号住

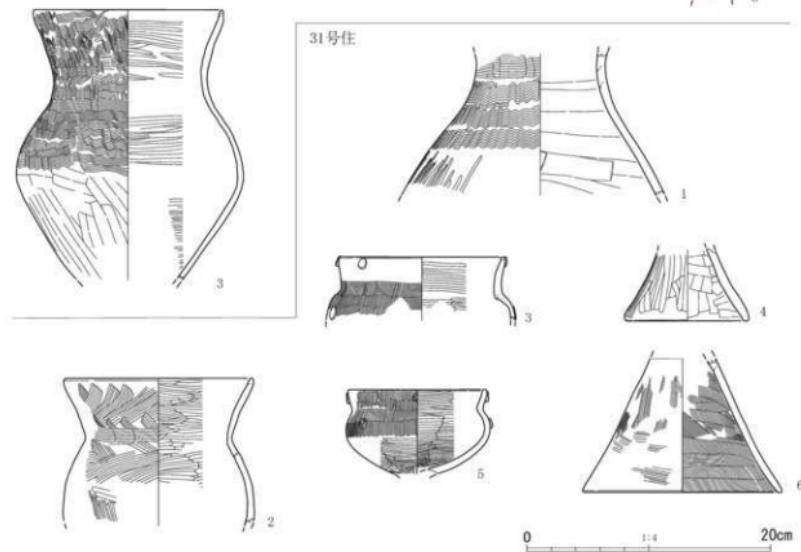


第203図 28号住居址出土土器実測図(2)

29号住

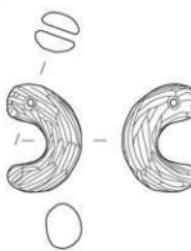
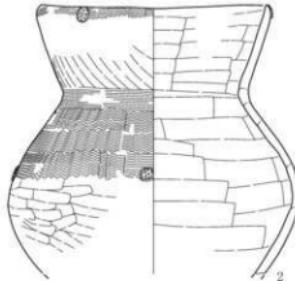
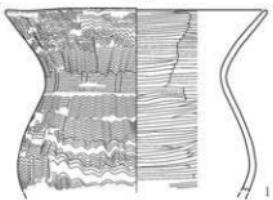
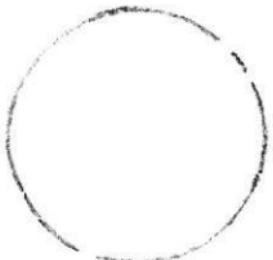


31号住



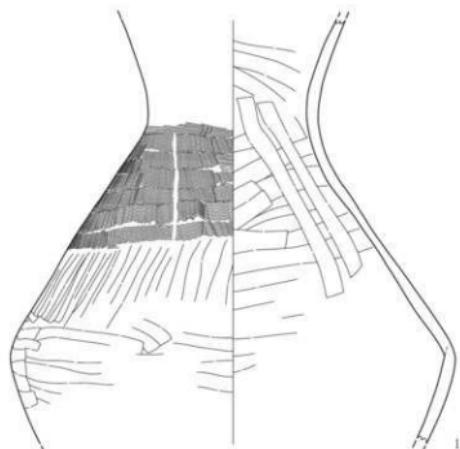
第204図 29号・31号住居址出土土器実測図

34号住



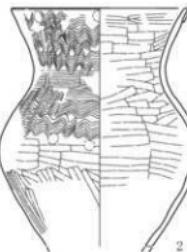
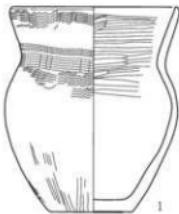
0 1:2 5cm

35号住



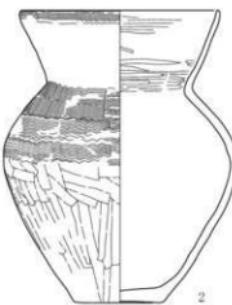
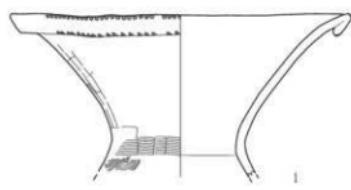
0 1:4 20cm

36号住

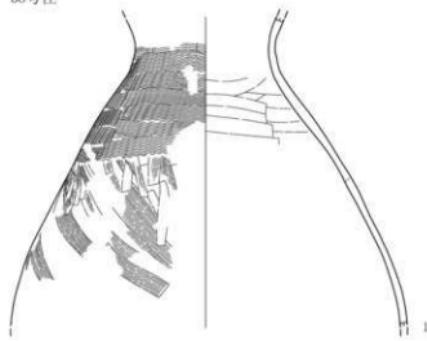


第205図 34~36号住居址出土土器実測図

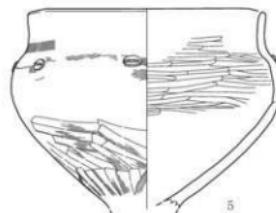
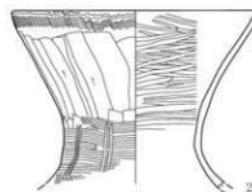
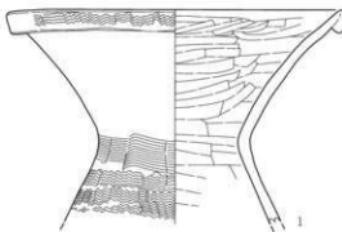
37号住



38号住

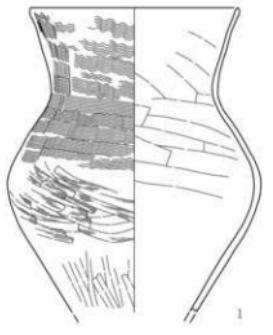


40号住

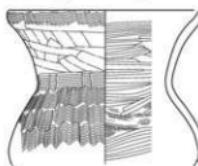
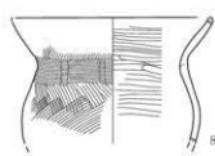
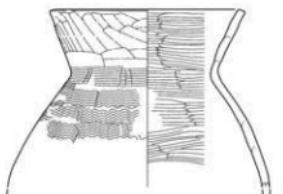
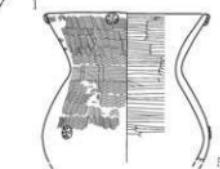
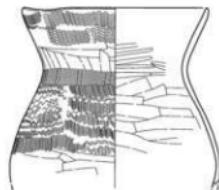
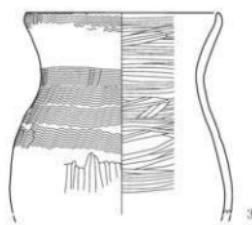
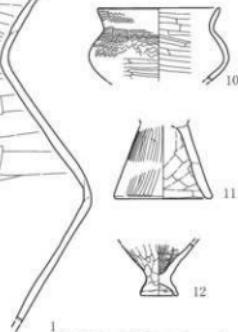
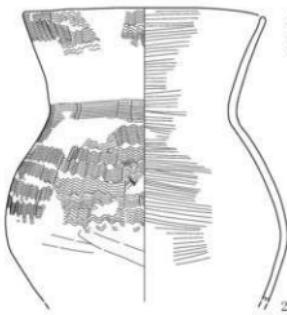


第206図 37号・38号・40号住居址出土土器実測図

41号住



42号住



0 1:4 20cm

第207図 41号・42号住居址出土土器実測図

壺丁田遺跡土器觀察表

1号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 小形甕		口径 13.6 底径 7.0 器高 一	①普通 ②純い赤褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部上位4/5	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面 口縁部横擦で、口縁部～胴部上位磨き。
2	弥生土器 小形甕	一括	口径 11.5 底径 7.0 器高 7.8	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・石英 ④口縁部～胴部中位	外面 口縁部簾擦で、下位波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面 口縁部～胴部中位磨き。
3	弥生土器 高甕		口径 10.7 底径 7.0 器高 一	①普通 ②暗～純い褐色 ③白色粒・角閃石 ④底部～脚部4/5	外面 脚部磨き。 内面 底部器面荒れ調査不明瞭、脚部磨擦。

2号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 (8.3) 底径 7.0 器高 一	①普通 ②暗～純い褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部上位1/4	外面 口縁部簾擦で、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位磨擦で。 内面 口縁部磨き、胴部磨擦。
2	弥生土器 甕	一括	口径 (15.6) 底径 7.0 器高 一	①普通 ②暗～灰黃褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位2/3	外面 口縁部墨文 RL、口縁部磨擦で、頸部簾状文、胴部上位～中位波状文。 内面 口縁部磨擦で、頸部磨擦。
3	弥生土器 甕	一括	口径 22.0 底径 7.0 器高 一	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・黒褐色・褐色粒 ④口縁部～胴部中位3/4	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位磨擦で。 内面 口縁部～胴部中位磨擦で。
4	弥生土器 小形甕	一括	口径 12.3 底径 7.0 器高 7.8	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部上位7/8	外面 口縁部横擦で、口縁部～胴部上位磨擦で。 内面 口縁部～胴部上位磨き。
5	弥生土器 台付甕	一括	口径 13.3 底径 7.0 器高 一	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位3/5	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位磨擦で、下位磨き。 内面 口縁部～胴部下位磨き。
6	弥生土器 高甕		口径 10.0 底径 14.5 器高 一	①普通 ②黒褐色、赤色 ③白色粒・角閃石 ④体部下部～脚部 部9/10	外面 脚部磨き、赤彩。 内面 底部磨擦で、脚部墨目、底部磨擦。
7	弥生土器 有孔鉢	一括	口径 (14.8) 底径 3.7 器高 9.0	①普通 ②暗～純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④3/5	外面 口縁部～底部磨き。 内面 口縁部～底部磨き。底部に径 2 cm の円孔。

3号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕		口径 12.7 底径 7.7 器高 20.2	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黒褐色 ④7/8	外面 口縁部横擦で、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位～底部磨擦で。 内面 口縁部～底部磨き。
2	弥生土器 甕		口径 12.8 底径 6.3 器高 20.1	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・褐色粒 ④7/8	外面 口縁部横擦で、口縁部～胴部上位波状文、胴部中位～下位磨き、底部磨擦で。
3	弥生土器 甕		口径 13.9 底径 7.5 器高 22.3	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黒褐色・褐色粒 ④3/4	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、下位～底部磨擦で。 内面 口縁部～底部磨き。
4	弥生土器 甕	一括	口径 25.0 底径 7.0 器高 一	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部上位 残存	複合口縁、波状文、口縁部磨擦で、頸部簾状文、胴部上位波状文。 内面 口縁部～胴部上位磨擦。
5	弥生土器 台付甕	一括	口径 15.2 底径 6.3 器高 一	①普通 ②暗褐色 ③白色粒・黒褐色 ④口縁部～胴部下位5/ 6	外面 口縁部～胴部上位波状文、円形浮文、胴部下位磨き。 内面 口縁部～胴部下位磨き。
6	弥生土器 高甕	一括	口径 一 底径 9.0 器高 一	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・角閃石 ④脚部7/8	外面 脚部磨き、赤彩。 内面 底部磨き、赤彩、脚部磨擦で、所々に赤色顔料が付着。

5号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕		口径 18.2 底径 8.4 器高 26.4	①普通 ②純い黃褐色～灰黃褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～脚部欠損	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位波状文、中位磨擦で、下位磨削り、底部墨削り。 内面 口縁部横擦で、口縁部～胴部上位波状文、下位～底部磨削。
2	弥生土器 高甕		口径 10.6 底径 9.0 器高 9.0	①普通 ②純い黄褐色 ③淡褐色 ④白色粒・角閃石 ④口縁部～脚部欠損	外面 口縁部～脚部磨擦で。 内面 口縁部～底部磨擦で、脚部磨擦。
3	弥生土器 12号7号	一括	口径 6.3 底径 3.7 器高 9.0	①普通 ②橙色 ③白色粒・角 閃石 ④口縁部1/4欠損	外面 口縁部波状文、頸部簾状文、胴部上位磨擦で、中位～下位磨削り、底部磨擦で。 内面 口縁部横擦で、胴部磨削り。内に板状の鉄片が多量に積着した塊あり。

第98表 1～3号・5号住居址出土土器觀察表

## 6号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	成・整形技法の特徴			
				①焼成	②色調	③胎土	④残存
1	弥生土器 甕	口径 17.0 底径 6.5 器高 19.5	17.0 6.5 19.5	①普通 ②縫～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下位	外面 内面	口縁部波状文、頸部巻状文、胸部上位波状文、中位～底 部波状文で。	口縁部～底部波状文で。
2	弥生土器 甕	口径 19.0 底径 7.4 器高 Y-3位-基	19.0 7.4 —	①普通 ②褐色 ③白色粒・黒 色粒 ④口縁部～胴部下位1/2	外面 内面	口縁部巻文で、頸部巻状文、胸部上位波状文、中位巻文 で。	口縁部～胴部中位巻文。

## 7号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	成・整形技法の特徴			
				①焼成	②色調	③胎土	④残存
1	弥生土器 台付甕	口径 10.0 底径 — 器高 —	10.0 — —	①普通 ②縫～純い黄褐色 ③白色粒 ④口縁部～台部上 位残存	外面 内面	口縁部波状文LR、口縁部～台部波状文で。	口縁部～底部波状文で、台部波状文で。
2	弥生土器 高杯	一括	— — —	①普通 ②縫～純い褐色 ③白色粒 ④脚部7/8	外 内	脚部波状文で。	脚部波状文で。
3	弥生土器 鉢	口径 11.1 底径 4.5 器高 5.4	11.1 4.5 5.4	①普通 ②縫～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・褐 色粒 ④ぼ形	外 内	口縁部横彌文で、体部～底部波削り。	口縁部～底部波削り。
4	弥生土器 有孔鉢	口径 20.5 底径 4.9 器高 13.3	20.5 4.9 13.3	①普通 ②橙色 ③白色粒・輝 石 ④2/3	外 内	口縁部～体部下位波削り、体部下位～底部波削り。	口縁部横彌文で、体部～底部波削り。

## 8号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	成・整形技法の特徴			
				①焼成	②色調	③胎土	④残存
1	弥生土器 甕	一括	口径 12.8 底径 5.8 器高 18.8	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒 ④角閃石・石英 ⑤7/8	外 内	口縁部～脚部波削り、底部器面荒れ調整不明瞭。	口縁部脚部荒れ調整不明瞭、脚部上位波削り、中位～底 部器面荒れ調整不明瞭。

## 9号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	成・整形技法の特徴			
				①焼成	②色調	③胎土	④残存
1	弥生土器 甕	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②縫～純い黄褐色 ③白色粒 ④口縁部～胴部下位 ⑤中位1/2	外 内	口縁部下位波彌文で、頸部T字文、脚部上位波状文、中位 部波彌文で。	口縁部下位～頸部中位波彌文で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 15.4 底径 8.2 器高 15.5	①普通 ②縫～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④7/8	外 内	口縁部波彌文で、口縁部～脚部上位波状文、脚部～胸部上位波状文、 下位～脚部波彌文で。	口縁部～脚部波彌文で。
3	弥生土器 小形甕	口径 10.7 底径 6.8 器高 13.6	10.7 6.8 13.6	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒・褐 色粒 ④角閃石 ⑤3/4	外 内	口縁部横彌文で、脚部～脚部上位波状文、中位～底部器面 が荒れ調整不明瞭。	口縁部横彌文で、脚部～底部波彌文で。
4	弥生土器 台付甕	口径 10.6 底径 7.4 器高 13.9	10.6 7.4 13.9	①普通 ②縫～純い褐色 ③白色粒・角 閃石 ④7/8	外 内	口縁部～脚部上位波状文、脚部下位～底部波彌文で。 口縁部～底部波彌文で、脚部器面荒れ調整不明瞭。	口縁部～底部波彌文で、脚部器面荒れ調整不明瞭。
5	弥生土器 高杯	一括	口径 22.0 底径 — 器高 —	①普通 ②縫～純い黄褐色 ③赤色 ④白色粒・角 閃石 ⑤4/7	外 内	口縁部刻目、口縁部～体部波彌文で、赤色。	口縁部～底部波彌文で、赤色。
6	弥生土器 高杯	一括	口径 — 底径 9.8 器高 —	①普通 ②縫～純い褐色 ③赤褐色 ④脚部 ⑤8/10	外 内	脚部波彌文。	脚部刷毛目、赤色顔料が付着。塗装ではなく容器として 転用したもの。
7	弥生土器 高杯	一括	口径 (25.8) 底径 (7.4) 器高 —	①普通 ②縫～純い褐色 ③赤褐色 ④黑色粒 ⑤脚部 ⑥部下位5/6	外 内	口縁部～体部波彌文で、赤色。	口縁部～体部波彌文で、赤色。
8	弥生土器 鉢	口径 8.7 底径 4.2 器高 5.3	8.7 4.2 5.3	①普通 ②縫～純い赤褐色 ③白色粒 ④黑色粒 ⑤角 閃石 ⑥一部欠損	外 内	口縁部～体部波彌文で、赤色、底部彌文で。	口縁部～底部波彌文で、赤色。

## 10号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	成・整形技法の特徴			
				①焼成	②色調	③胎土	④残存
1	弥生土器 鉢	一括	口径 (11.6) 底径 6.0 器高 7.0	①普通 ②縫～純い黄褐色 ③白色粒 ④黑色粒 ⑤角 閃石 ⑥1/3	外 内	口縁部波状文、頸部巻状文、胸部上位波状文、下位巻 き。	口縁部～底部下位波彌文で。

## 13号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	成・整形技法の特徴			
				①焼成	②色調	③胎土	④残存
1	弥生土器 甕	一括	口径 (15.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②縫～純い褐色 ③白色粒 ④黑色粒 ⑤口縁部～胴部下 位1/2	外 内	口縁部波状文、頸部巻状文、胸部上位波状文、下位巻 き。	口縁部～胴部下位波彌文で。

第99表 6～10号・13号住居址出土土器観察表

## 14号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 12.2 底径 5.6 器高 20.8	①普通 ②純い赤褐色 ③白色粒・黒色粒・褐色粒・石英 ④ はぼ形	外面 口縁部磨削き、頭部縦状文、胴部上位波状文、縦状文、 胴部中位～下位昆磨削、底部昆磨削。 内面 口縁部～底部昆磨削。
2	弥生土器 甕	一括	口径 11.8 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～赤褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部 ～胴部下位4/5	外面 口縁部波状文、円形浮文、口縁部横撫で、頭部～胴部 上位波状文、円形浮文、下位網目。 内面 口縁部～胴部下位昆磨削。
3	弥生土器 甕	一括	口径 (17.3) 底径 一 器高 一	①普通 ②灰褐色 ③白色粒・ 黒色粒 ④口縁部～胴部中位2/ 部中位1/3	外面 口縁部上位波状文、口縁部昆磨削で、頭部縦状文、胴部上 位波状文、胴部中位昆磨削。 内面 口縁部～胴部中位昆磨削。
4	弥生土器 甕	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・ 黒色粒 ④口縁部下位～胴 部中位1/3	外面 口縁部下位昆磨削で、頭部縦状文、胴部上位網文LR・RL、 中位昆磨削。 内面 口縁部下位～胴部中位昆磨削。
5	弥生土器 小形甕	一括	口径 (11.3) 底径 5.7 器高 14.0	①普通 ②灰褐色 ③白色粒・ 褐色粒 ④1/3	外面 口縁部～胴部上位波状文、胴部下位～底部昆磨削。 内面 口縁部昆磨削で、底部昆磨削。
6	弥生土器 小形甕	一括	口径 8.9 底径 5.4 器高 10.2	①普通 ②灰黃褐色 ③白色 粒・黒色粒 ④1/3	外面 口縁部刻目、口縁部横撫で、頭部縦状文、胴部上位波 状文、胴部下位～底部昆磨削。 内面 口縁部昆磨削。
7	弥生土器 台付甕	一括	口径 18.3 底径 一 器高 一	①普通 ②橙～純い赤褐色 ③ 白色粒 ④口縁部～胴部下位7/ 8	外面 口縁部波状文、口縁部昆磨削で、頭部縦状文、胴部上位 波状文、円形浮文、下位昆磨削。 内面 口縁部昆磨削で、胴部昆磨削。
8	弥生土器 台付甕	一括	口径 8.0 底径 一 器高 一	①普通 ②純い赤褐色 ③白色 粒・角閃石 ④口縁部～台付 上位残存	外面 口縁部～胴部上位波状文、円形浮文、下位～台部上位昆 磨削で。 内面 口縁部表面荒れ調整不明瞭、胴部～底部昆磨削。
9	弥生土器 台付甕	一括	口径 (13.0) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～純い黄褐 色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部 ～胴部下位4/4	外面 口縁部～胴部上位波状文、円形浮文、胴部中位昆磨削で、 胴部下位昆磨削。 内面 口縁部～胴部下位昆磨削。
10	弥生土器 高杯	一括	口径 12.5 底径 12.5 器高 一	①普通 ②橙～純い黄褐色 ③ 白色粒・黒色粒・角閃石 ④体 部下位～脚部残存	外面 体部下位～脚部昆磨削で、底部昆磨削。 内面 底部昆磨削で、脚部昆磨削。
11	弥生土器 高杯	一括	口径 一 底径 11.5 器高 一	①普通 ②純い黄褐色、赤色 ③白色粒・角閃石 ④体部下位 ～脚部7/8	外面 体部下位～脚部昆磨削、赤色。 内面 底部昆磨削、赤色、脚部昆磨削。
12	弥生土器 高杯	一括	口径 一 底径 (16.2) 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒 ④底部～脚部3/5	外面 脚部昆磨削、赤色。 内面 底部表面荒れ調整不明瞭、脚部昆磨削で後昆磨削。
13	弥生土器 高杯	一括	口径 (22.8) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色、赤褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部 ～体部下位2/3	外面 口縁部～体部下位昆磨削、赤色。 内面 口縁部～体部下位昆磨削、赤色。
14	弥生土器 鉢	一括	口径 11.3 底径 一 器高 5.4	①普通 ②赤褐色～純い橙色 ③ 白色粒 ④4/5	外面 口縁部～底部昆磨削、口縁部～体部赤色。 内面 口縁部～底部昆磨削、赤色。
15	弥生土器 鉢	貯藏穴	口径 10.9 底径 6.2 器高 6.7	①普通 ②純い黄褐色～黒褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④ 完形	外面 口縁部～底部昆磨削で。 内面 口縁部～底部昆磨削で。

## 16号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②外・褐灰色、内・橙 色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部 ～胴部下位～胴部中位3/4	外面 口縁部下位表面荒れ調整不明瞭、頭部縦状文、胴部上位 波状文、胴部中位調整不明瞭。 内面 口縁部下位～胴部中位昆磨削で。

## 16・17号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 14.4 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・黒色粒 ④口縁部～胴部上 位1/5	外面 口縁部波状文、口縁部昆磨削で、頭部～胴部上位波状文、 胴部上位昆磨削。 内面 口縁部～胴部上位昆磨削で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 (15.4) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～純い黄褐 色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部 ～胴部中位1/3	外面 口縁部～胴部上位波状文、胴部中位昆磨削。 内面 口縁部～胴部中位昆磨削で後昆磨削。
3	弥生土器 甕	一括	口径 20.4 底径 一 器高 一	①普通 ②浅黃褐色～灰褐色 ③ 白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴 部上位3/4	外面 口縁部波状文、頭部縦状文、胴部上位波状文。 内面 口縁部～胴部上位昆磨削で。
4	弥生土器 甕	一括	口径 17.2 底径 一 器高 一	①普通 ②浅黃褐色 ③白色 粒・褐色粒 ④口縁部～胴部下 位5/6	外面 口縁部波状文、頭部縦状文、胴部上位波状文、下位昆 磨削。 内面 口縁部～胴部上位昆磨削で、下位昆磨削。

第100表 14号・16号・17号住居址出土土器観察表

## 19号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 23.2 底径 一 器高 一	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐色 ④口縁部～胴部上位2/3	外面 口縁部昆撫で、頸部～胴部上位T字文。 内面 口縁部～胴部上位昆撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 13.1 底径 一 器高 一	①普通 ②純い赤褐色～純い褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部下位 内面 波状文。 口縁部昆撫で、胴部昆撫き。
3	弥生土器 甕	一括	口径 17.6 底径 一 器高 一	①普通 ②明赤褐色～灰褐色 ③ 白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴	外面 口縁部昆撫で、頸部～胴部上位波状文、胴部下位昆撫で。 内面 口縁部昆撫き、胴部昆撫で。
4	弥生土器 高杯	P 4 一括	口径 一 底径 (11.1) 器高 一	①普通 ②純い赤褐色 ③白色 黑色粒 ④底部～脚部1/3	外面 脚部昆撫き、赤彩。 内面 底部昆撫で、脚部昆撫で。
5	弥生土器 有孔鉢		口径 16.8 底径 4.1 器高 11.5 損	①普通 ②純い褐色 ③白色 粒・褐色粒・櫛 ④口縁部/4次 損	外面 口縁部～体部下位昆撫で、体部下位～底部昆撫削り。 内面 口縁部～底部昆撫で。底部に径1.3cmの円孔。
6	弥生土器 [コナフタガ]	一括	口径 7.1 底径 4.3 器高 6.8	①普通 ②浅黄褐色～褐色 ③褐色 粒 ④5/6	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部下位 内面 波状文。 口縁部～底部昆撫き。

## 20号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕		口径 13.9 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・褐色粒 ④口縁部～胴部中 位残存	外面 口縁部昆撫で、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位昆撫 で。 内面 口縁部～胴部中位昆撫き。
2	弥生土器 甕	一括	口径 13.2 底径 一 器高 一	①普通 ②燈～灰褐色 ③褐色 粒 ④口縁部～胴部中位1/2	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部中位 内面 昆撫き。 口縁部～胴部中位昆撫き。
3	弥生土器 小型甕	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②純い褐色 ③褐色粒 ④口縁部下位～底部5/6	外面 口縁部下位波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部 中位から下位昆撫き、底部昆撫で。 内面 口縁部下位～底部昆撫き。
4	弥生土器 片口鉢		口径 8.7 底径 6.4 器高 10.5	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・黑色粒 ④ほぼ完形	外面 口縁部横撫で、頸部～胴部昆撫き、胴部下位昆撫で。底 部路削り。 内面 口縁部～底部昆撫き。
5	弥生土器 [コナフタガ]		口径 9.0 底径 4.9 器高 9.6 欠損	①普通 ②純い黄褐色～純い灰褐 色 ③褐色粒 ④口縁部一部	外面 口縁部昆撫で、頸部巻状文、胴部上位波状文、円形浮文、 胴部下位昆撫き、底部昆撫で。 内面 口縁部～底部昆撫き。

## 21号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 10.3 底径 10.0 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③黒色 粒 ④口縁部下位～底部2/3	外面 口縁部下位昆撫で、波状文、頸部巻状文、胴部上位波状 文、I条の模様で区画し下位に円形浮文、胴部昆撫き、底 部路削り。 内面 口縁部下位～底部昆撫で。
2	弥生土器 小型甕	一括	口径 9.6 底径 5.6 器高 一部欠損	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・角閃石 ④口縁部・胴部一 位	外面 口縁部横撫で、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部下位 ～底部昆撫で。 内面 口縁部～底部昆撫で。
3	弥生土器 鉢		口径 12.4 底径 5.6 器高 8.0 完形	①普通 ②純い黄褐色、赤褐色 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④	外面 口縁部～体部昆撫き、赤彩、底部器面荒れ調整不明瞭。 内面 口縁部～底部昆撫き、赤彩。

## 24号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 15.8 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色 ③白色 粒・角閃石 ④口縁部～胴部下 位1/2	外面 口縁部横撫で、頸部巻伏文、胴部上位波状文、円形浮文、 下位昆撫で。 内面 口縁部～胴部下位昆撫で。
2	弥生土器 高杯		口径 12.8 底径 12.8 器高 一	①普通 ②純い黄褐色、赤色 ③白色粒・角閃石 ④体部下位 ～脚部1/2	外面 体部下位～脚部昆撫き、赤彩。 内面 底部昆撫き、赤彩、脚部器面荒れ調整不明瞭。

## 25号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕		口径 17.0 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③白色 粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部 ～胴部上位4/5	外面 口縁部上位横撫で、口縁部刷毛目、頸部巻状文、胴部上 位波状文。 内面 口縁部上位横撫で、口縁部～胴部上位昆撫で。

第101表 19~21号・24号・25号住居址出土土器観察表

## 25号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
2	弥生土器 台付壺	一括	口径 13.2 底径 — 器高 —	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部・台部上位7/8	外面 口縁部波状文、口縁部刷毛目、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部下位～台部上位巻削で。 内面 口縁部～底部巻削き、台部刷毛目。
3	弥生土器 高杯	一括	口径 (15.6) 底径 7.9 器高 13.4	①普通 ②純い黄褐色 ③赤褐色 ④白色粒・黒色粒・褐色粒 ④ 3/5	外面 口縁部～脚部鋸削き、赤彩。 内面 口縁部～底部巻削き、赤彩、脚部巻削で。

## 26号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 13.4 底径 — 器高 —	①普通 ②橙～灰黃褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位2/3	外面 口縁部波状文、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部中位巻削で。 内面 口縁部～胴部中位巻削で。
2	弥生土器 台付壺	一括	口径 12.9 底径 — 器高 —	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～台部上位2/3	外面 口縁部波状文、円形浮文、口縁部横削で、頸部～胴部上位波状文、胴部中位～台部上位巻削で。 内面 口縁部～底部巻削き、台部巻削で。

## 27号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺		口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②純い黄褐色 ③赤褐色 ④白色粒・褐色粒・角閃石 ④ 頸部～胴部中位残存	外面 頸部器面荒れ調整不明瞭、胴部上位～中位巻削き、赤彩。 内面 頸部器面荒れ調整不明瞭、胴部巻削で。

## 28号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 壺	一括	口径 — 底径 — 器高 —	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④頸部～胴部中位2/3	外面 頸部横線文、胴部上位波状文、円形浮文、中位巻削で、頸部～胴部中位巻削で。
2	弥生土器 壺	一括	口径 16.0 底径 8.9 器高 43.1	①普通 ②純い橙～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・右夷文 ④ 3/5	外面 口縁部巻削で、頸部巻状文、胴部上位波状文、中位巻削き、下位～底部巻削で。 内面 口縁部～底部巻削で。
3	弥生土器 壺		口径 (23.0) 底径 — 器高 —	①普通 ②橙～純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部中位2/3	外面 口縁部横削文RL、複合口縁、波状文、口縁部巻削で、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部中位巻削き、赤彩、下位巻削で。 内面 口縁部赤彩、口縁部～胴部器面が荒れ調整不明瞭。
4	弥生土器 壺	一括	口径 30.0 底径 — 器高 —	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部中位7/8	外面 複合口縁、口縁部巻削で、頸部波状文、巻状文、胴部上位波状文、胴部中位巻削き。 内面 口縁部～胴部中位巻削で。
5	弥生土器 壺	一括	口径 21.9 底径 — 器高 —	①普通 ②橙色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部下位残存	外面 口縁部横削で剝剥目、口縁部巻削で、頸部～胴部中位波状文、胴部中位巻削で。 内面 口縁部～胴部中位巻削で。
6	弥生土器 壺	一括	口径 13.2 底径 — 器高 —	①普通 ②灰黄褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位4/5	外面 口縁部横削で、頸部巻状文、胴部巻削で。 内面 口縁部～胴部中位巻削で。
7	弥生土器 壺	一括	口径 17.8 底径 6.4 器高 31.6	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④ 2/3	外面 口縫部纏文、口縁部波状文、円形浮文、頸部巻状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位～底部巻削で。 内面 口縫部～底部巻削で。
8	弥生土器 小形壺		口径 12.4 底径 — 器高 —	①普通 ②黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位4/5	外面 口縫部纏文、口縁部上位波状文、下位巻削で、頸部巻状文、胴部上位波状文、胴部中位巻削で。 内面 口縫部～胴部中位巻削で。
9	弥生土器 高杯		口径 — 底径 (14.0) 器高 —	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④底部～脚部3/5	外面 脚部巻削き。 内面 底部巻削き、脚部巻削で。
10	弥生土器 高杯	一括	口径 — 底径 9.2 器高 —	①普通 ②赤褐色 ③白色粒・黒色粒 ④底部～脚部残存	外面 脚部巻削き、赤彩。 内面 底部巻削で、赤彩、脚部巻削で。
11	弥生土器 高杯	一括	口径 — 底径 10.0 器高 —	①普通 ②純い橙色・赤色 ③白色粒・褐色粒 ④脚部9/10	外面 脚部巻削き、赤彩。 内面 脚部巻削で。

第102表 25～28号住居址出土土器観察表

## 29号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕		口径 31.8 底径 一 器高 二	①普通 ②明黄褐色 ③黑色粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部 ～胴部中位4/5	外面部合口縫、波状文、口縁部刷毛目、頭部壓状文、胴部上位波状文、胴部中位刷毛目。 内面部口縁部～胴部壓撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 18.0 底径 一 器高 二	①普通 ②純い橙色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部3/5	外面部口縁部上位に波状の粘土紐貼付、口縁部磨き、下位波状文。 内面部口縁部磨削、赤彩。
3	弥生土器 甕	一括	口径 15.4 底径 一 器高 2/3	①普通 ②灰黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部下位2/3	外面部口縁部波状文、頭部壓状文、胴部上位波状文、胴部下位磨削で。 内面部口縁部～胴部下位磨削。
4	弥生土器 甕	一括	口径 (13.7) 底径 5.9 器高 17.8	①普通 ②純い褐～明褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④4/5	外面部口縁部波状文、頭部壓状文、胴部上位波状文、胴部中位～下位磨削で、底部壓撫で。 内面部口縁部～底部磨削。
5	弥生土器 高杯		口径 11.6 底径 一 器高 一	①普通 ②明赤褐色 ③白色粒・黒色粒 ④坏部9/10	外面部口縁部～体部下位磨削、赤彩。 内面部口縁部～底部磨削、赤彩。

## 31号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕		口径 一 底径 一 器高 2/3	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④頭部～胴部中位	外面部頭部壓状文、胴部上位波状文、胴部中位磨削。 内面部頭部～胴部中位壓撫で。
2	弥生土器 甕	一括	口径 (15.2) 底径 一 器高 2/5	①普通 ②純い橙色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部上位2/5	外面部口縁部～胴部上位羽状文、頭部壓状文、胴部中位磨削。 内面部口縁部～胴部中位磨削。
3	弥生土器 台付甕	Na.3	口径 (12.3) 底径 一 器高 2/8	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部上位2/8	外面部口縁部刷毛目後撫で、円形浮文、頭部壓状文、胴部上位波状文、円形浮文。 内面部口縁部横無で、口縁部～胴部上位磨削。
4	弥生土器 台付甕	一括	口径 一 底径 9.8 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③白色粒・黒色粒 ④台付残存	外面部台部刮削後磨削。 内面部台部壓撫で。
5	弥生土器 台付甕	一括	口径 11.1 底径 一 器高 2/3	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位2/3	外面部口縁部刷毛目R1、口縁部波状文、円形浮文、頭部壓状文、胴部上位波状文、円形浮文、下位磨削。 内面部口縁部～胴部下位磨削。
6	弥生土器 高杯	一括	口径 一 底径 16.2 器高 一	①普通 ②橙色、赤色 ③白色粒・角閃石 ④脚部9/10	外面部腳部刷毛目後磨削、赤彩。 内面部腳部刷毛目。

## 34号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括 Y-3H-1基	口径 21.2 底径 一 器高 5	①普通 ②黄褐色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部中位5	外面部口縁部刷毛、口縁部波状文、頭部壓状文、胴部上位波状文。 内面部口縁部～胴部中位磨削。
2	弥生土器 甕	一括 Y-3H-1基	口径 18.5 底径 一 器高 7/8	①普通 ②明赤褐色～純い黄褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部中位7/8	外面部口縁部波状文、円形浮文、口縁部横無で、頭部壓状文、胴部上位波状文、胴部中位壓撫で。 内面部口縁部～胴部中位壓撫で。

## 35号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 一 底径 一 器高 一	①普通 ②純い橙色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部中位2/3	外面部口縁部磨削で、頭部壓状文、胴部上位波状文、胴部中位磨削で。 内面部口縁部～胴部中位磨削。

## 36号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 13.3 底径 6.6 器高 16.9	①普通 ②純い黄褐色 ③白色粒・褐色粒 ④3/4	外面部口縁部波状文、頭部壓状文、胴部上位波状文、胴部中位～下位磨削で、底部壓撫で。 内面部口縁部～底部磨削。
2	弥生土器 甕	一括	口径 14.4 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黄褐色～黒褐色 ③白色粒・黒色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下位1/4	外面部口縁部波状文、円形浮文、頭部壓状文、胴部上位波状文、円形浮文、中位～下位壓撫で。 内面部口縁部上位磨削で、口縁部～胴部下位磨削で。

## 37号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 (27.7) 底径 一 器高 一	①普通 ②橙色 ③白色粒・黒色粒 ④口縁部～胴部上位1/2	外面部複合口縫、刺目、口縁部磨削で、頭部壓状文、胴部上位波状文。 内面部口縁部～胴部上位面荒れ調整不明瞭。

第103表 29号・31号・34～37号住居址出土土器観察表

## 37号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
2	弥生土器 甕	一括	口径 16.1 底径 7.1 器高 24.0	①普通 ②純い褐色～灰褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部下位 ～側部中位4/5	外面 口縁部波状文、口縁部既削で、頸部～胴部上位波状文、 底～底部既削で。 内面 口縁部～底部既削。

## 38号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 27.2 底径 6.0 器高 13.1	①普通 ②純い黃褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部上位 ～側部中位4/5	外面 口縁部下位既削で、頸部既削文、胴部上位波状文、胴部 中位既削で。 内面 口縁部下位～胴部既削。
2	弥生土器 高坏	一括	口径 9.8 底径 5.4 器高 9.4	①普通 ②橙色、赤色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 口縁部～脚部既削き、赤彩。 内面 口縁部～底部既削き、赤彩、脚部既削。

## 40号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 27.2 底径 6.0 器高 13.1	①普通 ②純い黃褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部上位 ～側部中位4/5	外面 複合口縁、波状文、口縁部既削で、頸部既削文、胴部上 位波状文。 内面 口縁部～胴部中位既削。
2	弥生土器 甕	N <sub>2</sub>	口径 (20.0) 底径 6.1 器高 13.1	①普通 ②純い黃褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部3/4	外面 口縁部波状文、口縁部既削り、口縁部下位既削で、頸 部T字文、胴部上位波状文。 内面 口縁部～胴部下位既削。
3	弥生土器 小形甕	一括 Y-25E-1基	口径 11.4 底径 6.1 器高 13.1	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・褐色粒 ④2/3	外面 口縁部波状文、頸部既削文、胴部上位～中位波状文、下 位～底部既削で。 内面 口縁部既削で、胴部～底部既削。
4	弥生土器 小形甕	一括	口径 8.7 底径 5.0 器高 8.2	①普通 ②橙色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部一部欠損	外面 口縁部上位横削で、下位波状文、頸部既削文、胴部上位 ～中位波状文、下位～底部既削で。 内面 口縁部～底部既削で。
5	弥生土器 台付甕	一括	口径 19.0 底径 6.0 器高 11.5	①普通 ②純い赤褐色 ③白色粒・褐色粒 ④口縁部～胴部下位3/5	外面 口縁部既削で、頸部既削文、胴部上位波状文、円形浮文、 下位既削で。 内面 口縁部～胴部下位既削。
6	弥生土器 高坏	一括	口径 8.3 底径 5.8 器高 8.2	①普通 ②明赤褐色、純い褐色 ③白色粒・黑色粒・角閃石 ④ 底部～脚部既削	外面 脚部既削き、赤彩。 内面 脚部底部面荒れ調整不明瞭、脚部既削で、裾部崩毛目。

## 41号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 (17.0) 底径 5.8 器高 11.5	①普通 ②純い黃褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部～胴部下 位3/5	外面 口縁部波状文、頸部既削文、胴部上位波状文、中位～下 位既削。
2	弥生土器 小形甕	一括	口径 10.8 底径 5.8 器高 11.5	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・黑色粒 ④3/4	外面 口縁部既削で、胴部既削き、底部既削。 内面 口縁部～胴部下位既削。
3	弥生土器 高坏	一括	口径 (24.6) 底径 一 器高 一	①普通 ②純い黃褐色 ③白色粒・角閃石 ④口縁部 ～胴部下位1/5	外面 口縁部既削き、赤彩。 内面 口縁部既削き、赤彩。

## 42号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	一括	口径 21.7 底径 27.5 器高 一	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・黑色粒・角閃石 ④口縁部 ～胴部下位3/4	外面 口縁部波状文、頸部既削文、胴部上位～中位横削羽状文。 内面 口縁部～胴部下位既削。
2	弥生土器 甕	一括	口径 10.8 底径 5.8 器高 11.5	①普通 ②純い褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部 ～胴部中位4/5	外面 口縁部上位波状文、口縁部下位既削で、頸部既削文、胴 部上位波状文、胴部中位既削。 内面 口縁部～胴部中位既削。
3	弥生土器 甕	一括	口径 15.6 底径 15.6 器高 13.5	①普通 ②褐～灰褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部～胴部中 位4/5	外面 口縁部波状文、口縁部横削で、頸部既削文、胴部上位 波状文、胴部中位既削。 内面 口縁部～胴部中位既削。
4	弥生土器 甕	一括	口径 15.0 底径 15.0 器高 一	①普通 ②純い黃褐色～灰褐色 ③白色粒・黑色粒・褐色粒・角 閃石 ④口縁部～胴部中位2/3	外面 口縁部上位波状文、口縁部下位既削で、頸部既削文、胴 部上位波状文、胴部中位既削。 内面 口縁部既削き、胴部既削。
5	弥生土器 甕	一括	口径 13.0 底径 13.0 器高 一	①普通 ②褐～暗褐色 ③白色粒・黑色粒・褐色粒・角閃石 ④口縁部 ～胴部中位2/3	外面 口縁部波状文、円形浮文、頸部既削文、胴部上位波状文、 円形浮文、胴部中位既削面荒れ調整不明瞭。 内面 口縁部～胴部中位既削。

第104表 37号・38号・40号～42号住居址出土土器観察表

42号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	(1)焼成 (2)色調 (3)胎土 (4)残存	成・整形技法の特徴	
					外側	内面
6	弥生土器 甕	一括 Y-36E-1基	口径 15.0 底径 二 器高 二	(1)普通 (2)純い黄褐色 (3)白色 粒・角閃石 (4)口縁部～胴部中 位1/4	口縁部落削で、頭部彫状文、胴部上位波状文、胴部中位 器面荒れ調整不明顯。 口縁部～胴部中位荒磨き。	
7	弥生土器 甕	一括	口径 15.8 底径 一 器高 一	(1)普通 (2)純い黄褐色～純い黄 褐色 (3)白色粒・黒色粒・角閃石 (4)口縁部～胴部中位3/4	口縁部波状文、口縁部荒削で、頭部彫状文、胴部上位 波状文、胴部中位荒削で。 口縁部～胴部中位荒削で後荒磨き。	
8	弥生土器 甕		口径 一 底径 一 器高 一	(1)普通 (2)純い白～純い褐色 (3)白色粒・黒色粒 (4)口縁部 ～胴部中位1/2	口縁部網毛目、頭部彫状文、胴部上位網毛目。 口縁部～胴部中位荒磨き。	
9	弥生土器 小形甕		口径 (12.6) 底径 5.3 器高 15.3	(1)普通 (2)純い黄褐色～黒褐色 (3)白色粒・黒色粒 (4)3/4	口肩部彫文、口縁部波状文、円形浮文、頭部彫状文、胴 部上位波状文、円形浮文、胴部下位荒磨き、底部荒削で。 口縁部～底部荒磨き。	
10	弥生土器 小形台付 甕		口径 9.9 底径 一 器高 一	(1)普通 (2)明褐色～純い褐色 (3) 白色粒・黒色粒 (4)口縁部～胴部下位1/2	口縁部波状文、頭部彫状文、胴部上位波状文、胴部中位 ～下位荒磨き。 口縁部～胴部下位荒磨き。	
11	弥生土器 台付甕	一括 Y-36E-1基	口径 一 底径 7.6 器高 一	(1)普通 (2)純い橙色 (3)白色粒 (4)台脚9/10	台部荒磨き。 台部荒削で。	
12	弥生土器 ミニチャ ア土甕	一括	口径 一 底径 2.9 器高 一 4/5	(1)普通 (2)純い黄褐色 (3)白色 粒・黒色粒 (4)胴部下位～台部	胴部下位～台部荒削で。 胴部下位～底部荒磨き、台部荒削で。	

第105表 42号住居址出土土器観察表

## 小日向壱丁田遺跡出土の石器（第208図）

本遺跡では、19軒の住居址、遺構外から石器26点が出土した。石器は、住居址覆土が主体であったが、石器の形態的特徴、土器との共伴関係により、後期後半を主体とする石器群に位置づけられる。石器の器種組成は、第106表のとおりである。剥片石器等の石器製作は、遺物からは認められず、全て他からの搬入品あるいは単品である。台石等の大形石器は、床面直上で出土したため、遺構に伴うものとした。

1は、両面研磨によって扁平に整形された平面五角形、珪質準片岩製の有孔磨製石鎌（四基式）である。2は、頁岩製の横刃形スクレイパーで、縁辺（刃部）には、摩耗痕が観察される。形状が半月状であることから打製石庖丁の可能性がある。3は、ホルンフェルス製の大形横長剥片を素材とした石鎌で、直接打撃による両面交互隔離調整によって整形された中形で刃部が剣先形と推定される。4は安山岩製の磨石（I形態）、5は安山岩製の敲石（I形態）である。6～13は砥石である。砥石は定型的な仕上砥（III形態：6～8、13）と不定形の中砥（II形態、9～12）に分けられる。6と11には、細い線状痕が観察され、金属器等の刃先を研いた痕跡の可能性がある。側辺に研ぎによる平滑面が観察されるもの（6、8）も認められる。7には、中央部に研磨による浅い滑らかな凹面が観察される。砥石の石材は、緻密細粒の牛伏砂岩（8～13）と硬質で滑らかな緑色岩類（6）及び安山岩（7）に分けられる。14は、両面の2カ所に凹みのある結晶片岩製の石器（凹石）で、凹みには磨り痕によって滑らかくなっている。15～17は、台石である。15は扁平礫を素材とした牛伏砂岩製である。被熱により表面が脆くなっているが、側面が面取され直方体となっている。16と17は、安山岩製で礫面中央に敲打あるいは使用による浅い凹み（使用痕）が観察される。18は器体中央部が欠損した輝緑岩製の大型始刃石斧で、欠損面は再加工により研磨されている。刃部と器体の一部には、敲打による潰れ痕が残ることから、本来の石斧としての機能ではなく、敲石としての転用が考えられる。19は堆積岩系石材製の扁平片刃石斧の刃部破片で、被熱による剥落が認められる。18と19は形態的特徴から中期後半に盛行した大陸系磨製石器である。20はやや軟質の凝灰岩質石材製の扁平鋸鍤車で、敲打、研磨によって整形された。21は、棒状の自然礫に筋状の浅い沈線のある結晶片岩製石製品である。22は、棒状の頁岩製石製品で全面が滑らかな礫面で覆われている。砥石の可能性もある。23は黒色安山岩の板状原石である。24は、2次調査（K-2）で出土した磨製石鎌の素材剥片（珪質準片岩）である。

（井上 慎也）

壱丁田遺跡	磨製 石鎌	滑溜 素材	スクレ イパー B	石劍	磨石	円石	砾石	砥石	台石	大型 刃 石斧	扁平 刃 石斧	墨石	菅玉	鉄錆車	神社鏡	搬入品	合計
10号住			1						1								2
12Y-70									1								1
13号住					1					1							2
36号住	1																1
42号住									1								1
1号住				1													1
3号住							1					1					2
6号住						1											1
8号住						1											1
9号住														1	1		1
15号住													1				1
19号住								1									1
20号住								1									2
25号住								1									1
28号住									1				1				2
31号住									1								1
35号住											1						1
42号住		1			1												2
遺構外		1			1												1
K-2 2号住																	1
合計	1	1	2	1	2	1	1	9	3	1	1	1	0	1	1	0	26

第106表 壱丁田遺跡出土石器組成表



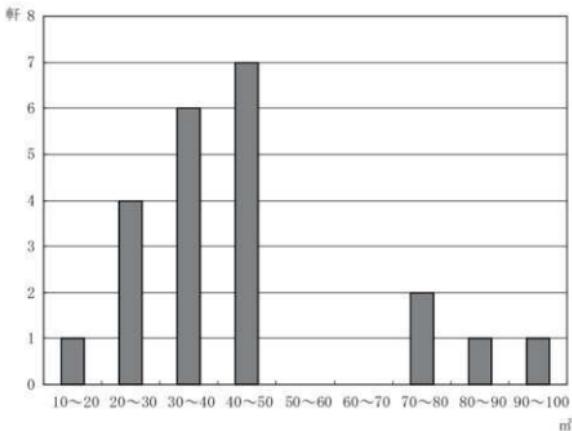
第208図 老丁田遺跡出土石器実測図

標記番号	登録番号	遺構名	基 標	形 狀	石 材	欠損	被熱	長さ (mm)	幅 (mm)	厚さ (mm)	重量(g)	備 考
1	77	36E	磨製石器	有孔	珪質单片岩			50.16	25.49	2.96	4.6	
2	02	42E	SeB	直刃刃	直刃			38.61	61.92	7.65	23.2	
3	11	表探	石器	直刃刃	安山岩			186.68	82.48	23.38	496.3	
4	12	1往	磨石	円形	安山岩			60.20	64.62	60.11	265.1	
5	03	20E	磨石	円形	安山岩			64.63	52.48	46.72	29.5	
6	16	20E	砾石	往上遞	綠色岩類			113.83	42.53	9.24	93.5	種状痕
7	10	10E	SeB	圓	安山岩			44.97	79.20	11.66	47.6	
8	04	25E	砾石	往上遞	砂岩			124.40	70.24	13.46	165.8	
9	17	6往	砾石	小砾	砂岩			96.16	54.96	15.00	104.8	
10	19	3往	砾石	中砾	砂岩			54.93	63.83	15.05	80.3	
11	18	12Y-36	砾石	小砾	砂岩			75.97	50.77	10.17	55.5	
12	09	19E-26e-6	砾石	英泥	砂岩			72.26	55.63	11.68	83.7	
13	15	8往	砾石	往上遞	砂岩			63.20	41.91	25.92	72.3	
14	61	13E-26g-1	砂石	神狀	結晶片岩			245.00	62.84	34.59	1113.7	
15	21	28E	苔石	扁平凹凸	砂岩	○		219.14	170.78	40.84	201.0	
16	64	42E-6-5	苔石	安山岩	○			161.00	196.00	84.00	3290.0	
17	63	13E-5-2	苔石	安山岩	○			226.00	196.00	151.00	8000.0	
18	13	35E-3-4	大型船刃	塊狀岩				110.76	78.74	48.06	745.7	
19	29	3往	前半刃形刀斧	不明	○			19.00	48.22	7.05	6.2	
20	08	15E-5-1	研磨車	扁平	闊灰岩質			46.66	47.34	11.47	27.5	
21	06	9往	神狀鑑	結晶片岩	104.89	29.52	25.78	111.8				
22	07	30往	神狀鑑石	往上遞	結晶片岩			100.22	19.16	89.30	33.9	
23	05	28往	磨石	黑色安山岩	100.22	72.69	26.69	376.4				
24	57	K2-2往-54往4層	磨製石器素材	破片	珪質单片岩			52.07	27.78	3.52	6.3	
25	62	10往61	砾石	往上遞	安山岩			142.04	89.45	43.65	821.6	
26	01	42E	磨石	圓形	安山岩	○		75.70	66.03	53.00	308.0	

第107表 壱丁田遺跡弥生石器觀察表

## 小日向壺田遺跡 小結

本遺跡においては弥生時代後期の遺構が主体をなしており、槇式期竪穴住居址が37軒検出されている。先述のように、当該期集落は東の遠地谷戸遺跡から、西の田中遺跡にかけての広範な地域に展開している。位置的には、本遺跡及び東接する瀧遺跡が当該期集落の中心部付近となる。そのことに起因しているのか本遺跡及び瀧遺跡には大型住居址が多い。遺跡群全体では178軒の槇式期住居址が検出されており、そのうちの13軒が長幅10mを超える大型住居址である。本遺跡においては1号・3号・10号・19号住居址の4軒がこれに該当する。この中で19号住居址は、一部が柱穴位置による推定ではあるが、面積は約94.7m<sup>2</sup>を測り、本遺跡群の中で最大の規模を持つものである。本遺跡の竪穴住居址面積別グラフを次に示す。



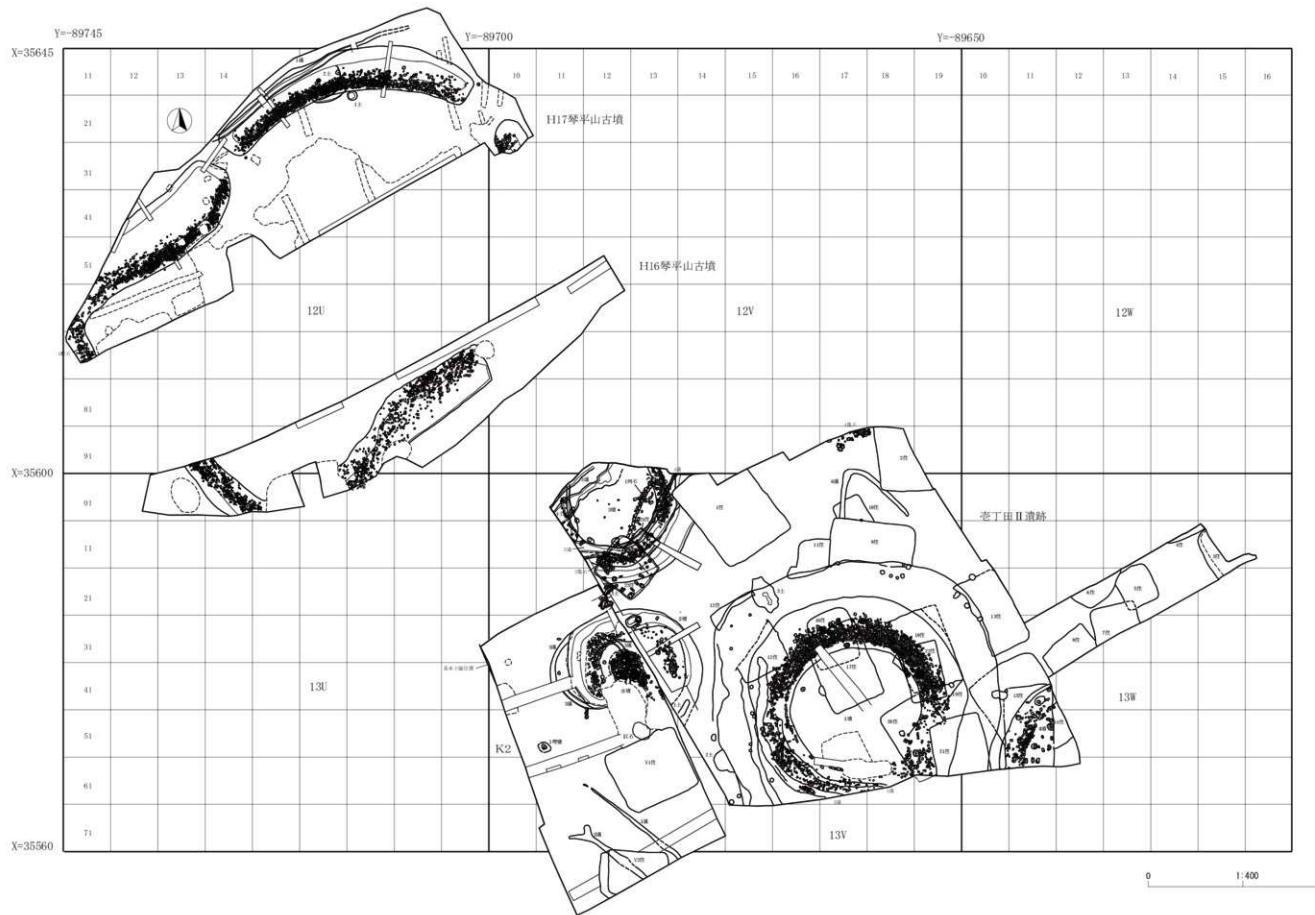
第209図 壺田遺跡槇式期住居址面積別グラフ

本遺跡検出の槇式期住居址面積の平均は、約44.8m<sup>2</sup>である。前掲のグラフが示すとおり、大部分の住居址は面積50m<sup>2</sup>以下であり、80m<sup>2</sup>前後の大型住居址が何軒か存在している。つまり、分布のピークが2ヶ所認められるのである。これは本遺跡において特徴的に見られる傾向ではなく、遺跡群全体の傾向として認められるものである。この点についてはVII章において検討・考察を試みたい。

また、出土遺物の中で特殊なものとして、5号住居—3として報告をした小形（ミニチュア）甕があげられる。住居址一括遺物として取り上げているために、出土位置・状況等は不明である。法量は口径6.3cm、器高9.0cmであり、口縁の一部が欠損している。X線写真撮影の結果、内部には板状鉄片が多量に遺存していることが判明した。今回の小日向地区遺跡群発掘調査の中で、弥生時代所産の鉄と推定されるのは本遺物のみである。当該期鉄製品の製作方法・普及状況等を検討していく上で、極めて重要な資料と思われる。

（壁 伸明）

## 5 小日向壱丁田II遺跡



第210図 小日向巣丁田II遺跡全体図・グリッド設定図

## 5 小日向壙丁田II遺跡

### (1) 概要

本遺跡は、平成16年度～18年度の3カ年で調査を実施した。遺跡地の大部分を16年度に、琴平山古墳北半を17年度に、遺跡地西端の一部分の調査を18年度に実施した（18年度調査分をK2と呼称している）。遺跡地の東西には小規模な谷地が存在し、それぞれの谷地を挟んで東は壙丁田遺跡に、西は田中遺跡に接している。なお、本遺跡が所在する場所の字名は「壙丁田」であるが、前章でも述べたように壙丁田遺跡との間には谷地が存在し、弥生時代後期の集落が一旦途切れるため、遺跡名を壙丁田II遺跡としている。また、琴平山古墳も本遺跡に属するものなので、ここで報告する。

### (2) 繩文時代

平成16年度調査において、中期末葉の所産と推定される列石が、3号古墳の埴丘下で検出されている。やや細長い石を、長軸方向を揃えて、北北西から南南西の方向へ緩い弧状に配置している。列石両端は3号古墳周囲により壊されており、確認されたのは7メートル程である。しかし、18年度調査時に2号古墳北側及び南側周囲付近において、本遺構と一連のものと考えられる石が数個検出されており、最低でも26メートル以上の規模を有するものと推定される。列石周辺からは、加曾利E式期の土器が一定量出土しているため、中期末葉の所産と考えられる。

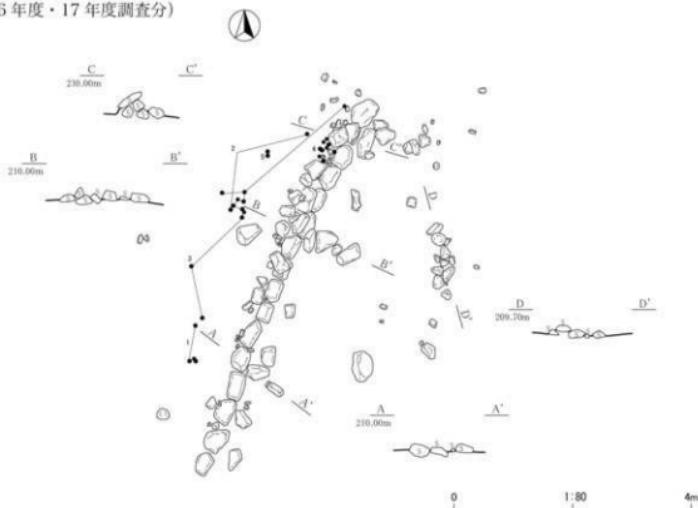
### (3) 弥生時代～古墳時代初頭

平成16年度調査において、弥生時代後期～古墳時代初頭の所産と考えられる竪穴住居址が24軒検出された。1号住居址・14号住居址のように、長軸方向が10メートルを超える大型住居址も確認されている。また、住居址の重複や拡張住居址も目立ち、一定期間継続して営まれた集落と考えられる。平成18年度調査においては、2号古墳の一部・弥生時代後期竪穴住居址2軒・住居址と同時期の所産と推定される埋設土器等の調査を実施した。

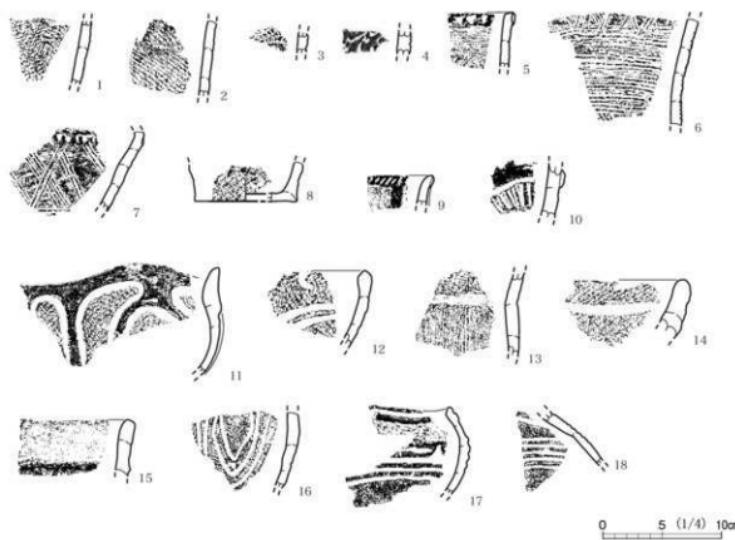
### (4) 古墳時代

前述の琴平山古墳の他に4基、合計5基の古墳の調査を実施した。琴平山古墳は、昭和の初め県道建設工事に伴い埴丘の中心部分が削平されたため、道路の南北に埴丘が分断され遺存している状況であった。南半を16年度に、北半を17年度に調査した結果、本墳は全長50メートル強の前方後円墳であり、安中市内においては梁瀬二子塚に次ぐ規模を有するものであることが判明した。また、築造時期も6世紀初頭～前半と考えられ、九十九川流域においては最古級の1基と考えられる。周囲からは多数の円筒埴輪・形象埴輪が出土している。特に石見型盾の出土は県内3例めと考えられ、貴重な発見となつた。なお、「松井田町誌」には、道路建設時に出土した遺物は国立博物館に収蔵されていると記載されているが、その詳細については不明である。

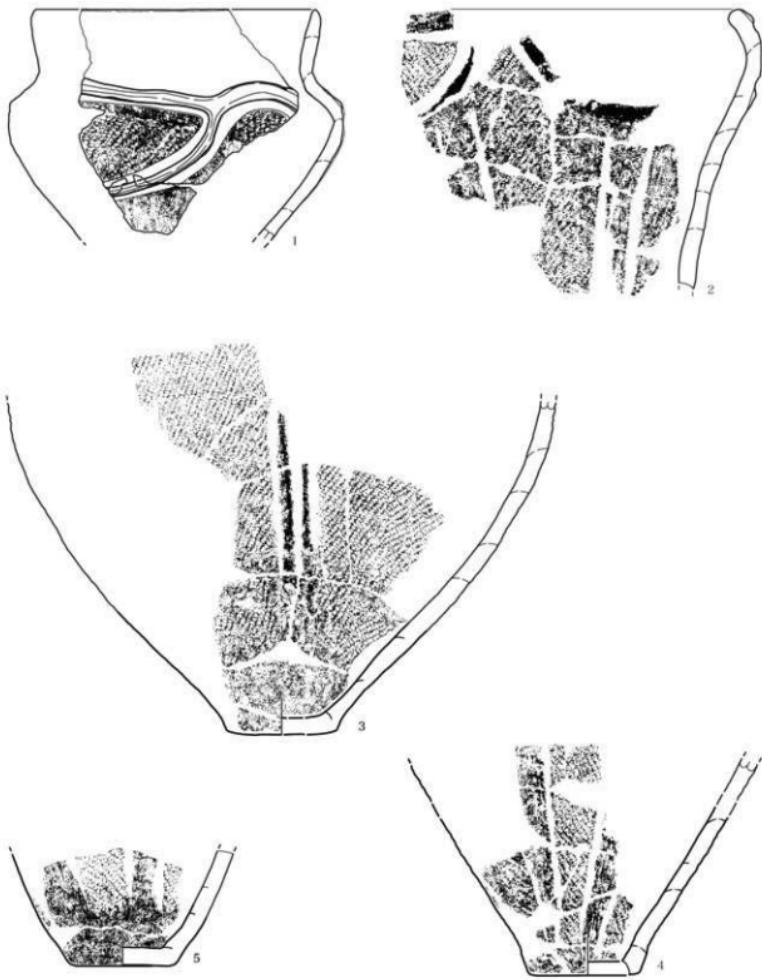
(16年度・17年度調査分)



第211図 1号列石実測図



第212図 遺構外出土縄文土器実測図



0 5 (1/4) 10cm

第213図 1号列石出土縄文土器実測図

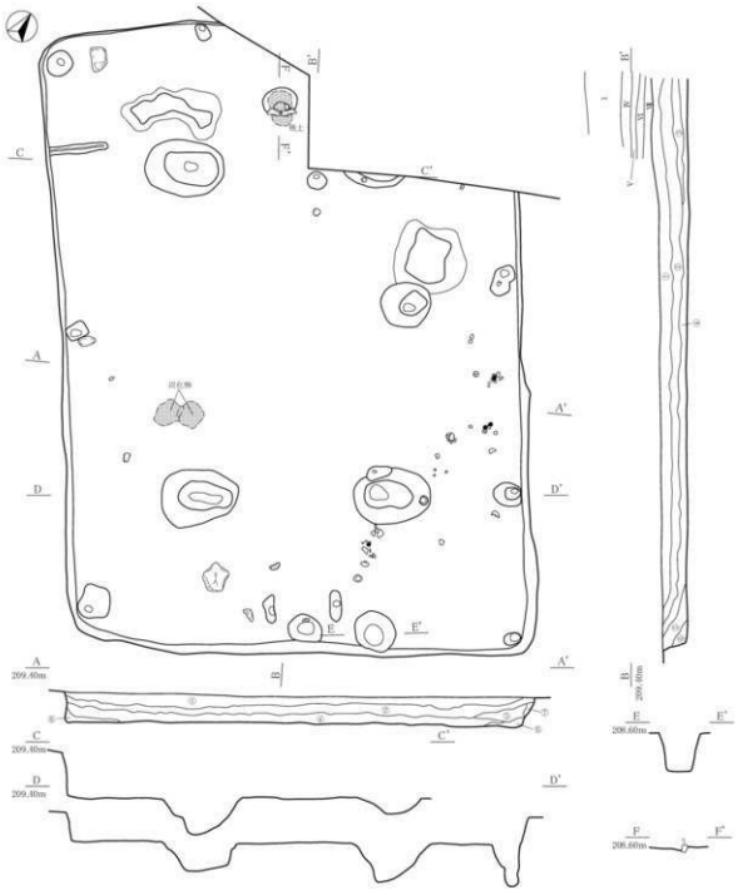
## 遺構外

番号	器種	法量 (cm)	①焼成2色調3釉下4残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色3鉢底・砂粒 ④剥離	無節の羽状圓文。内面は横位のナデ。	4号埴周辺
2	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①不良なにい・黄褐色3鉢底・砂粒 ④剥離	無節R。内面は横位のナデ。	21号住居跡 覆土
3	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色3砂粒4剥離	半纏竹管状工具による爪形文。内面は横位のナデ。	1号列右 周辺
4	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	②普通2にい・黄褐色3石英・砂粒 ④剥離	半纏竹管状工具による爪形文を弧状に施文。内面は横位のナデ。	1号埴 堆土南西部
5	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2にい・黄褐色3石英・砂粒 ④口縁部～剥離	剥離に斜位の集合沈線→頭部横位集合沈線→口縁部粘土貼付後、押圧。内面は横位のナデ。	5号土坑 覆土
6	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2にい・桔色3角凹石・チャート・砂粒4剥離	横位集合沈線→斜位の集合沈線。格子状の集合沈線。内面は横位のナデ。	1号列右 南側
7	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色3角凹石・チャート・砂粒3砂粒～剥離	口縁部、多くの字位に届する。横位集合沈線で区画→格子状の集合沈線。内面は横位のナデ。	1号列右 南側
8	圓文土器 深鉢	口径 8.6 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色3角凹石・砂粒 ④剥離～底部	平底。剥離單面LR圓文。内面は横位のナデ。	2号土坑 覆土
9	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色3チャート・砂粒 ④口縁部	平底。口縁部に横位粘土貼付→口縁部から垂下する縦帶を貼付→横位堆疊上に刻み。内面は横位のナデ。	一括
10	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色3角凹石・石英・砂粒 ④剥離	弧状に縦帶を貼付し区画→区画内を角押文で充填→降帯輪に沈線。内面は横位のナデ。	23号住居跡 覆土
11	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2にい・黄褐色3角凹石・砂粒 ④口縁部	波状口縁。口縁部を縦帶で横円状・V状に区画→区画内に横圓文を施す。降帯輪に指捺状工具による沈線。内面は横位の丁寧なナデ。	2号住居跡 覆土
12	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色3石英・砂粒4口縁部	平底。RL圓文施文後、強狀の沈線。内面は横位のナデ。	2号住居跡 覆土
13	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色3角凹石・砂粒3砂粒～剥離	剥離RL圓文施文後、指捺状工具による沈線→粗部唇沿頭状工具による横位沈線。剥離部の条線。内面は横位のナデ。	1号列右 北側
14	圓文土器 鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色3角凹石・砂粒 ④口縁部	RL圓文施文後、横位沈線。内面は横位のナデ。	23号住居跡 覆土
15	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2にい・黄褐色3角凹石・砂粒 ④口縁部～剥離	剥離部文施文。口縁部横位の丁寧なナデ。頭部に棱を持つ。内面は横位のナデ。	9号住居跡 覆土
16	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2にい・黄褐色3砂粒4剥離	LR圓文施文後、U字状沈線。内面は横位のナデ。	2号住居跡 覆土
17	圓文土器 鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①良好な褐色3骨針・砂粒4口縁～剥離	内湾する口縁。外面丁寧な晒き。剥離上位に変形工字文。内面は横位のナデ。	5号住居跡 覆土
18	圓文土器 鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①良好な褐色3骨針・砂粒4砂粒	剥離上位を5条の横位沈線で区画。区画内に斜位の沈線。内面は横位のナデ。	1号住居跡 覆土

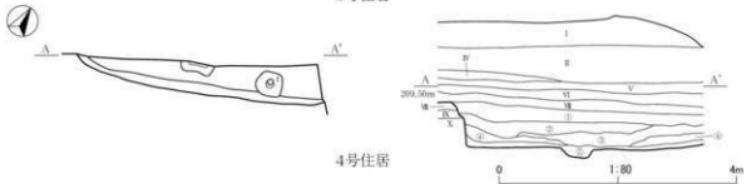
## 1号列右

番号	器種	法量 (cm)	①焼成2色調3釉下4残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	圓文土器 鉢	口径 (23.6) 底径 - 高さ -	①普通2赤褐色3角凹石・砂粒 ④口縁部～剥離	平底。口縁部横位のナデ。剥離、縦帶で弧各に区画→区画内RL圓文施文→陥没部を指捺状工具による沈線。剥離下位に横位の条線。内面は横位のナデ。	列石北西側
2	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2黄褐色3角凹石・石英・砂粒 ④口縁部～剥離	内湾する口縁。RL圓文施文後、口縁部にU字状の縦帶を貼付。剥帶輪を指捺状工具による沈線。剥離、同様の工具による横位の沈線で区画。区画内は晒り消し。内面は横位のナデ。	列石北西側
3	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 9.2 高さ -	①普通2赤褐色3角凹石・砂粒4剥離～底部	RL圓文施文後、2条1組の横位の陥没部、V字状縦帶を貼付し区画。陥没部を指捺状工具による沈線。区画内は晒り消し。内面は上位は横位のナデ。下位は横位のナデ。	列石北西側
4	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 9.0 高さ -	①普通2赤褐色3角凹石・砂粒 ④剥離～底部	RL圓文施文後、2条1組の横位の陥没部を施文。沈線による区画内は晒り消し。内面は横位のナデ。底部付近に帯状のコゲが半周する。	列石北西側
5	圓文土器 深鉢	口径 - 底径 8.8 高さ -	①普通2赤褐色3角凹石・砂粒 ④剥離～底部	LR圓文施文後、指捺状工具による2条1組の横位の沈線を施文。沈線による区画内は晒り消し。内面は横位のナデ。底部付近に帯状のコゲが半周する。	列石北西側

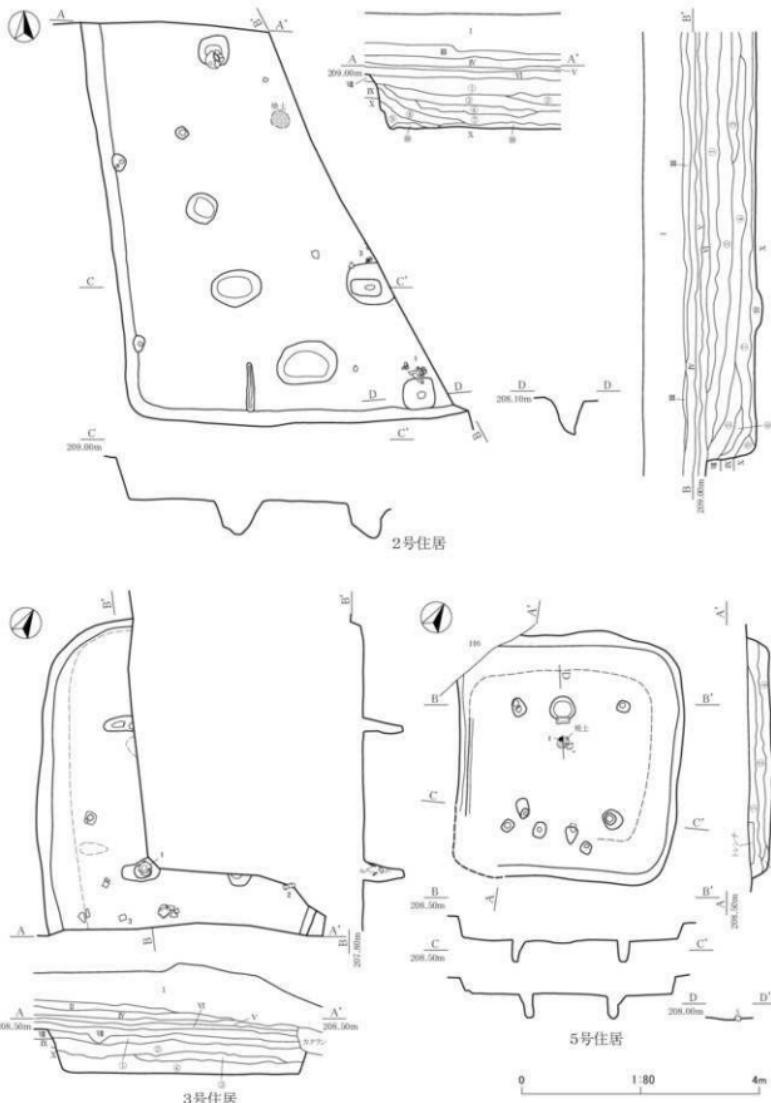
第108表 遺構外・1号列石出土圓文土器観察表



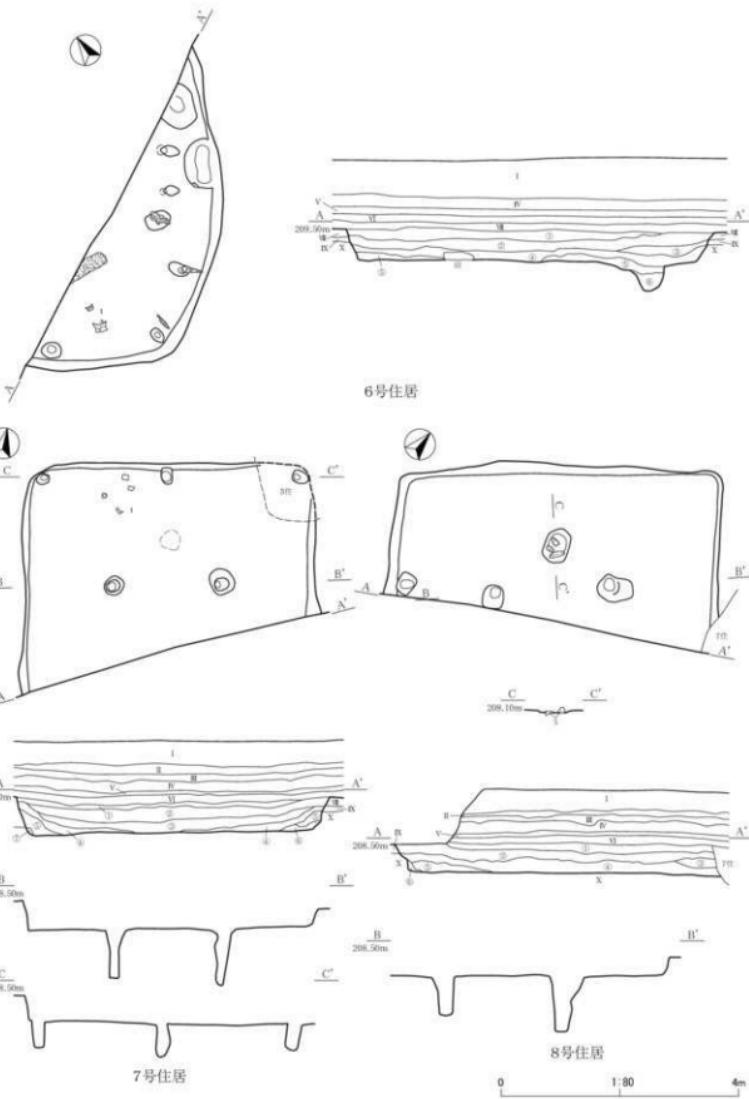
1号住居



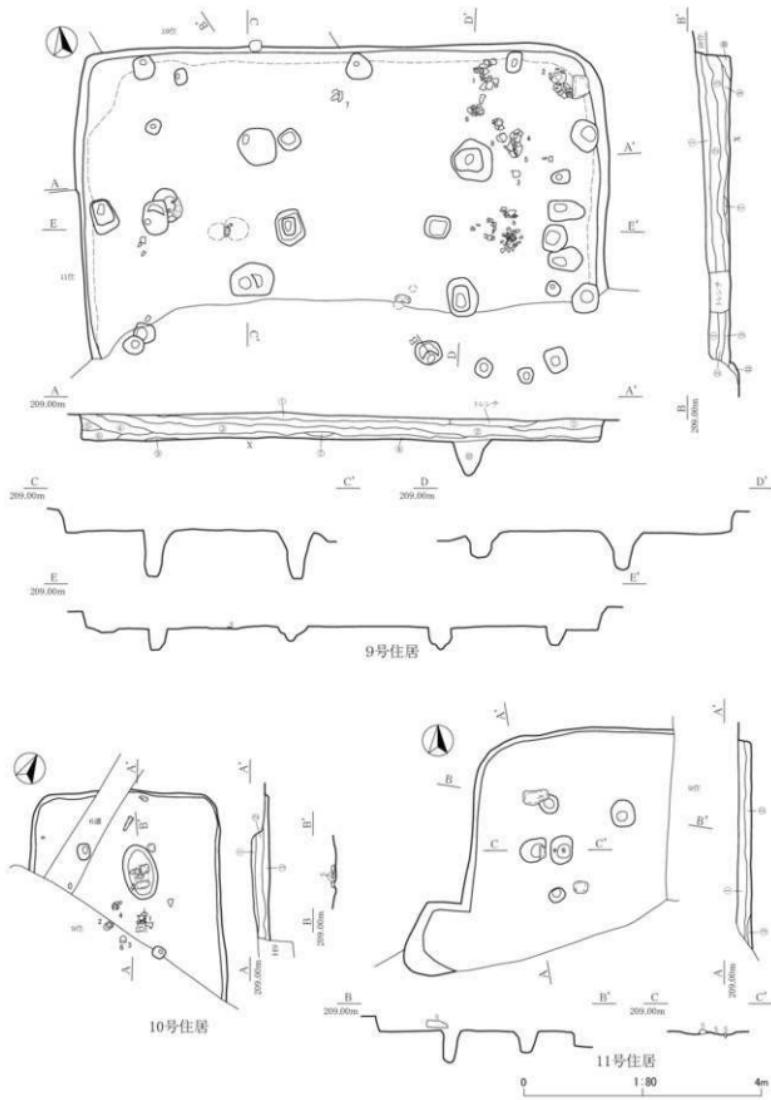
第214図 1号・4号住居址実測図



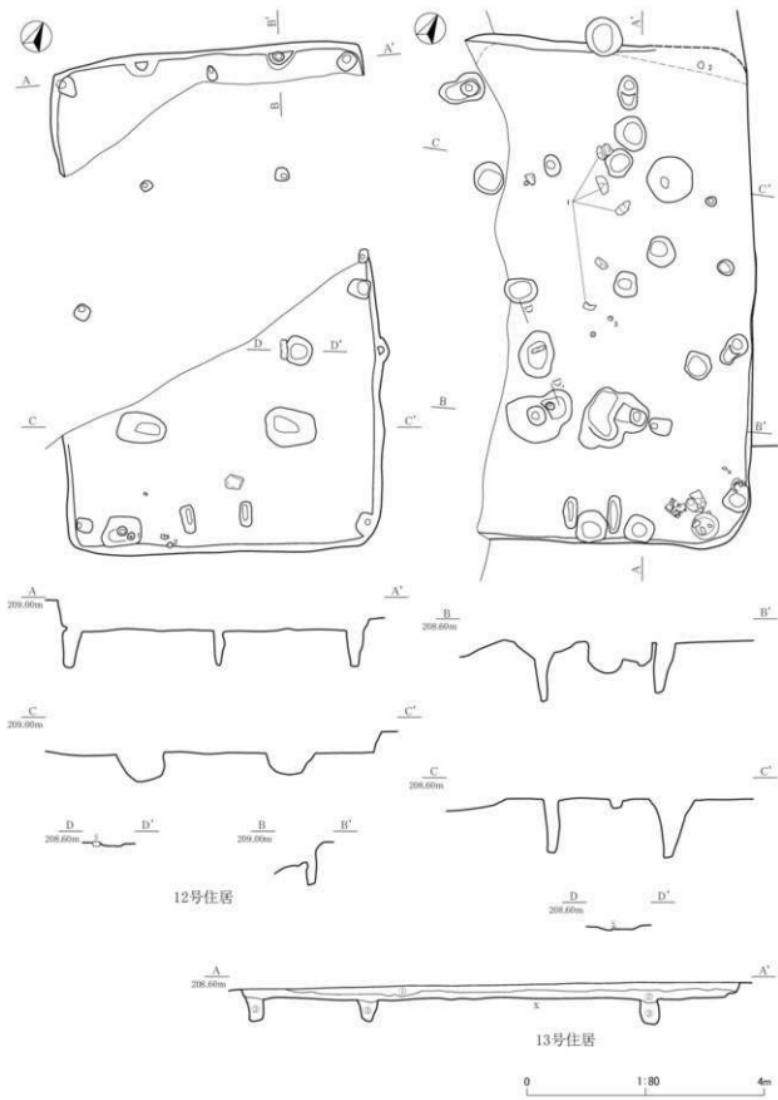
第215図 2号・3号・5号住居址実測図



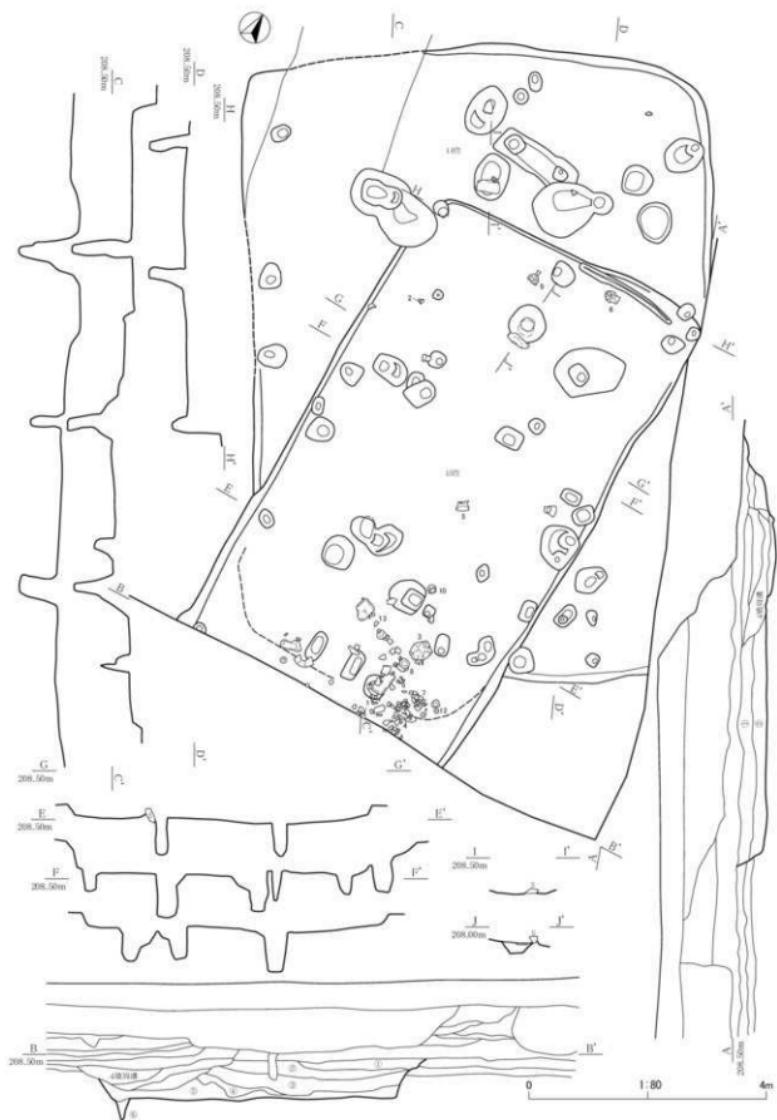
第216図 6号・7号・8号住居址実測図



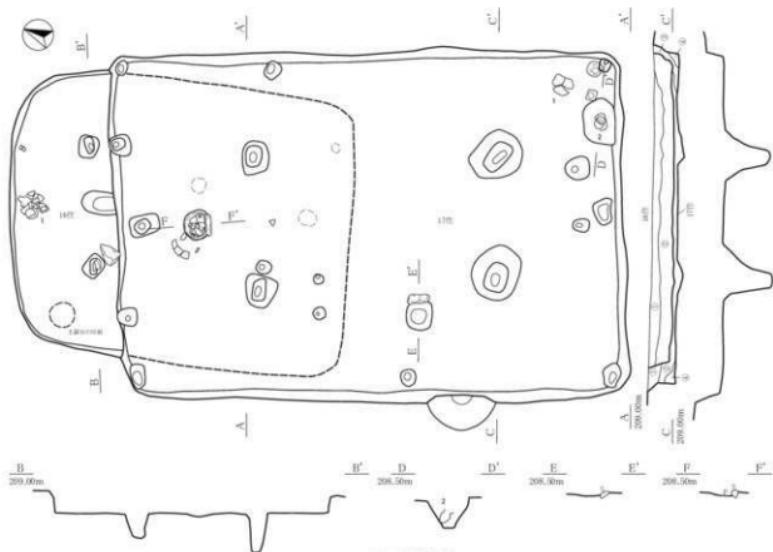
第217図 9号・10号・11号住居址実測図



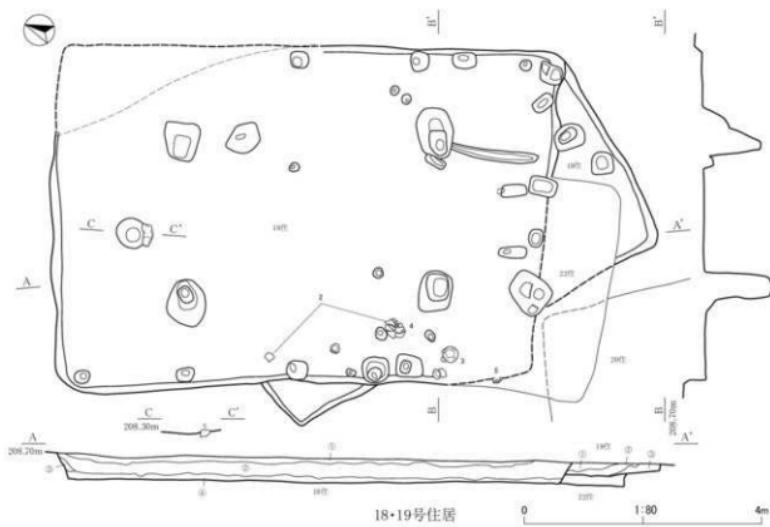
第218図 12号・13号住居址実測図



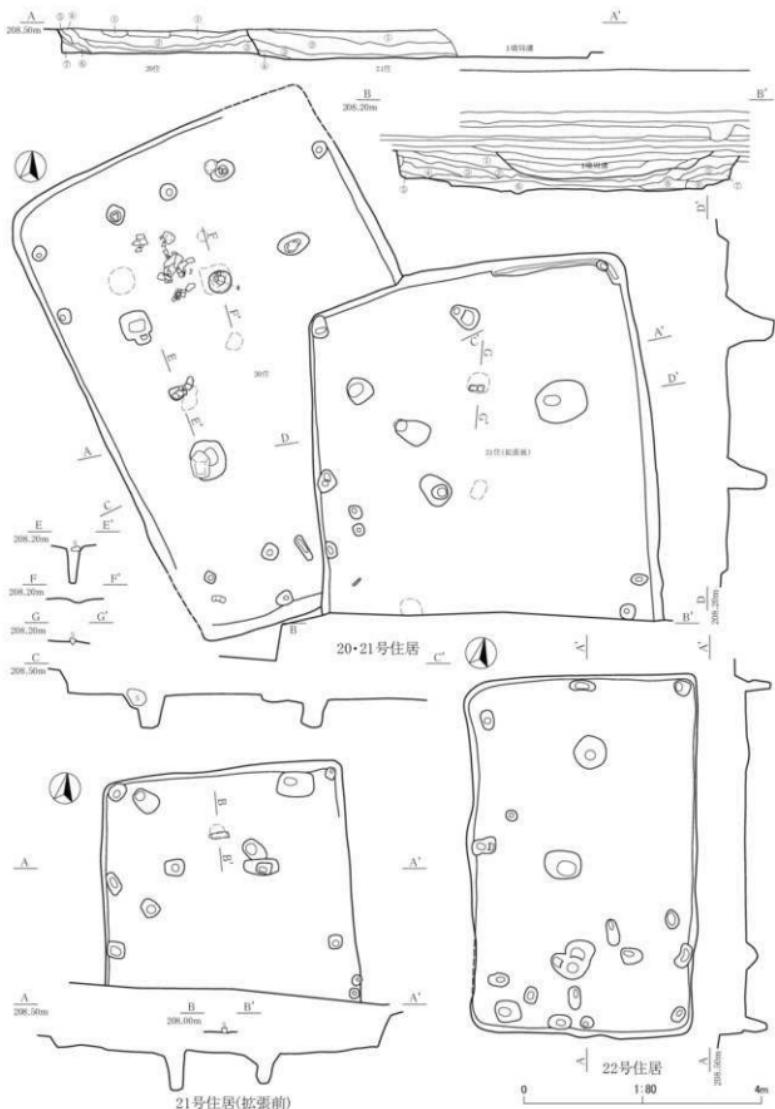
第219図 14号・15号住居址実測図



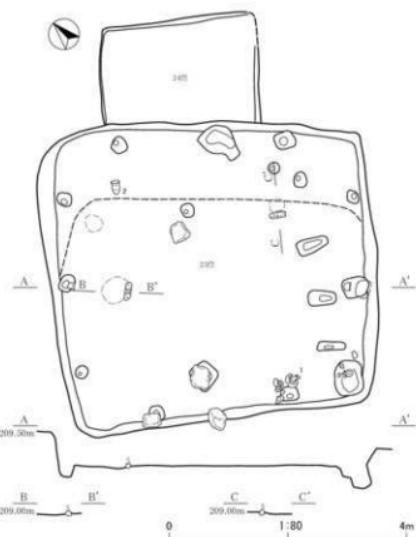
16・17号住居



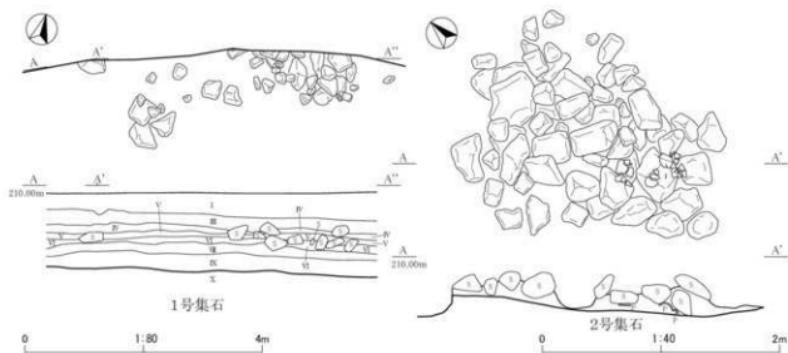
第220図 16号・17号・18号・19号住居址実測図



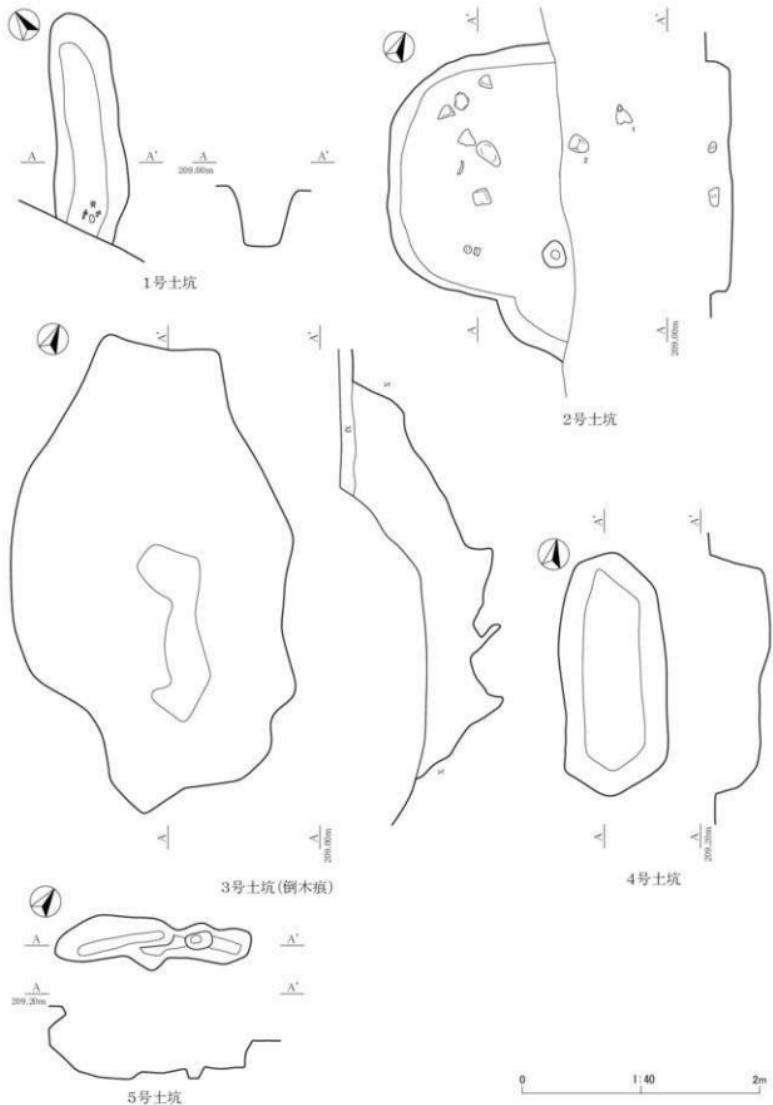
第221图 20号・21号・22号住居址実測図



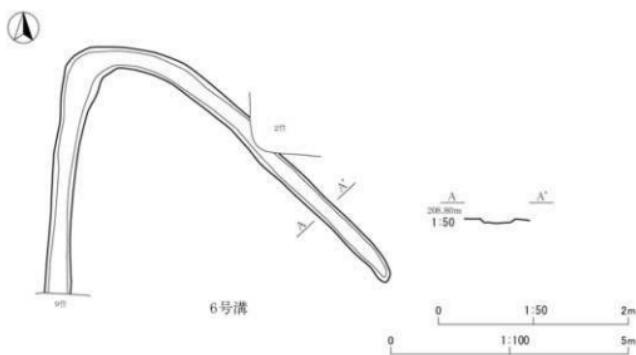
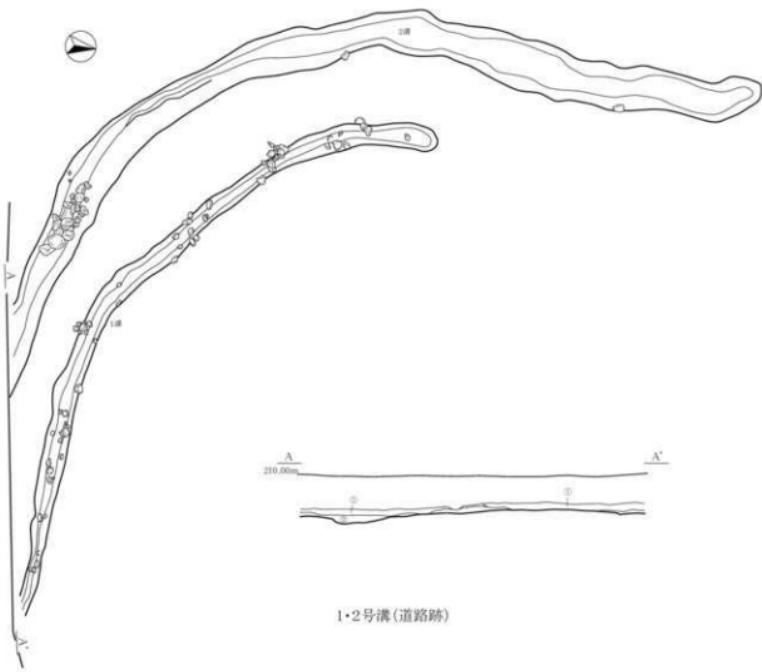
第222図 23号・24号住居址実測図



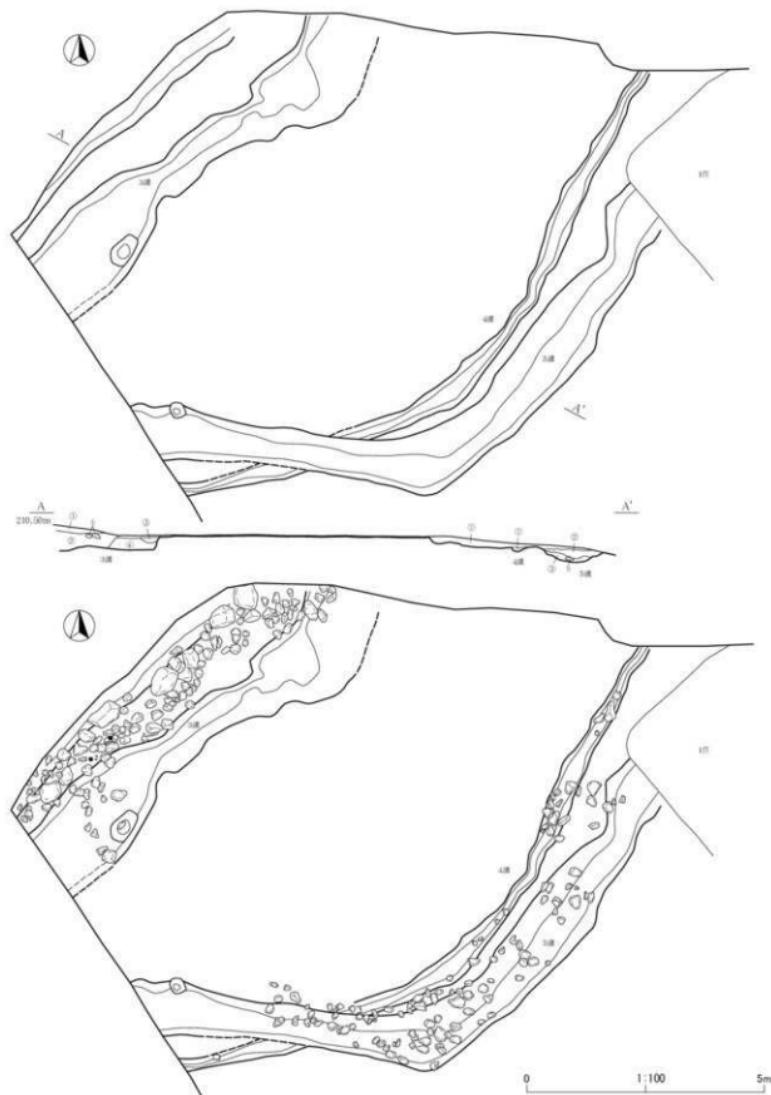
第223図 1号・2号集石実測図



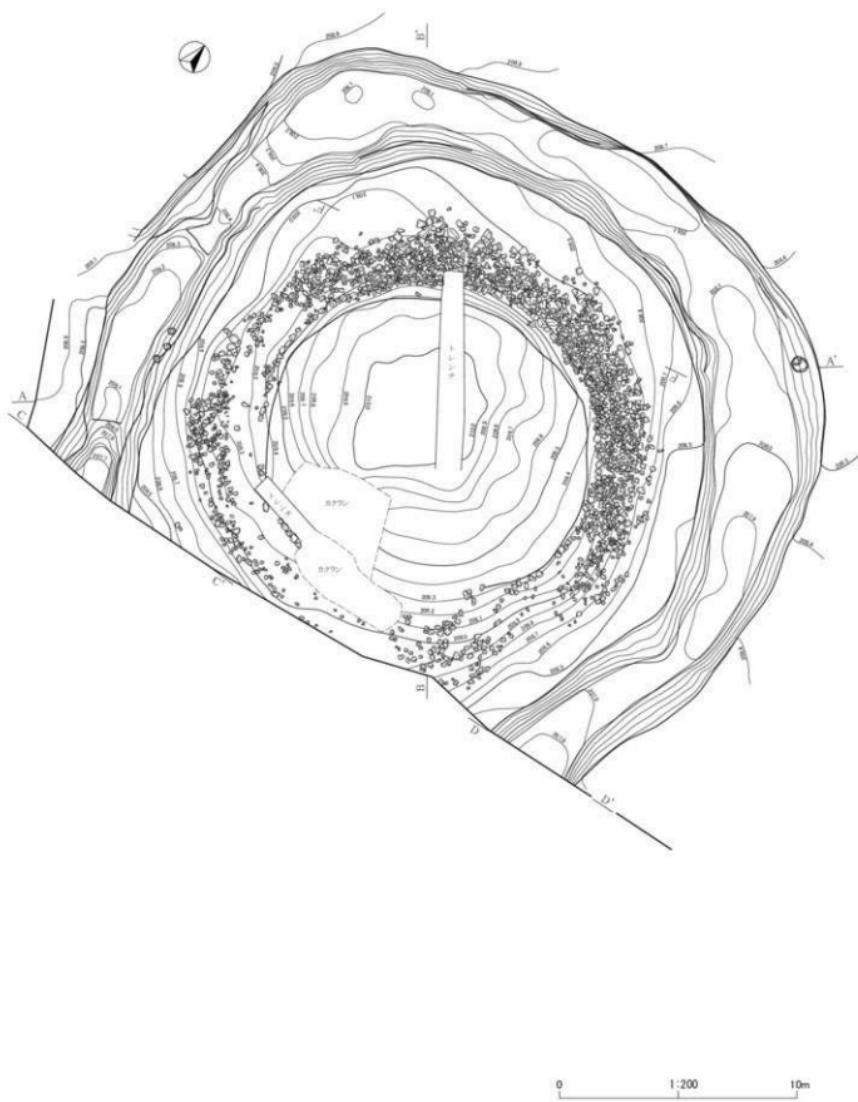
第224図 1号・2号・3号・4号・5号土坑実測図



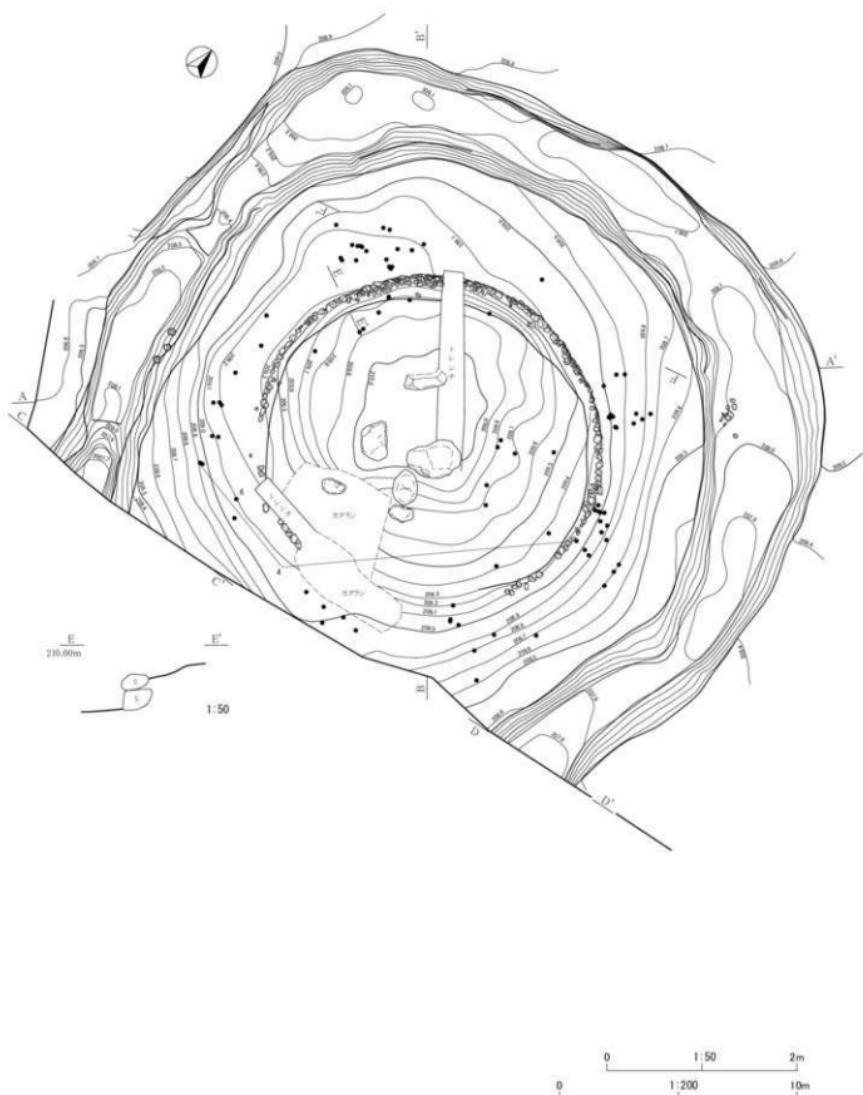
第225図 1号・2号・6号溝実測図



第226図 3～5号溝実測図



第227図 1号古墳葺石崩落状況実測図

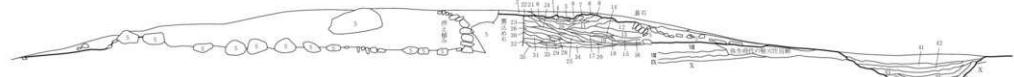


第228図 1号古墳実測図(1)

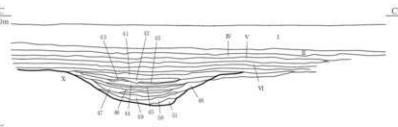
A  
211.00m



B  
209.00m



C  
210.00m



D  
210.00m



E  
210.00m



F

A'



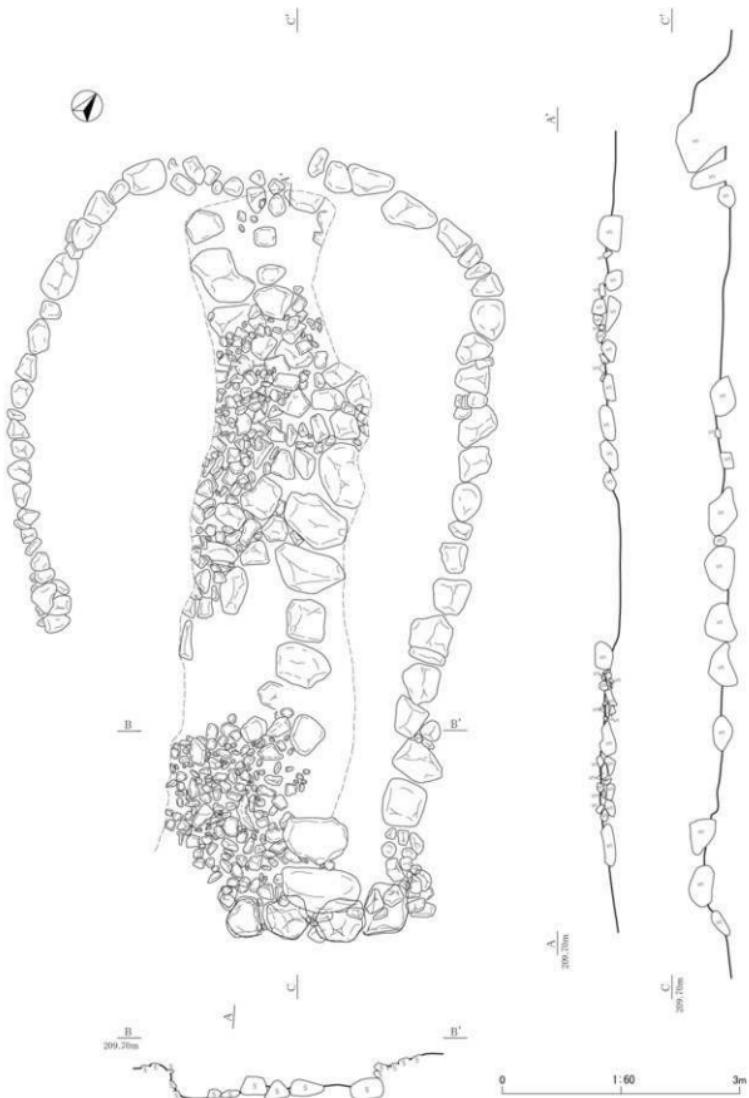
B'

700

C'

0 1:100 5m

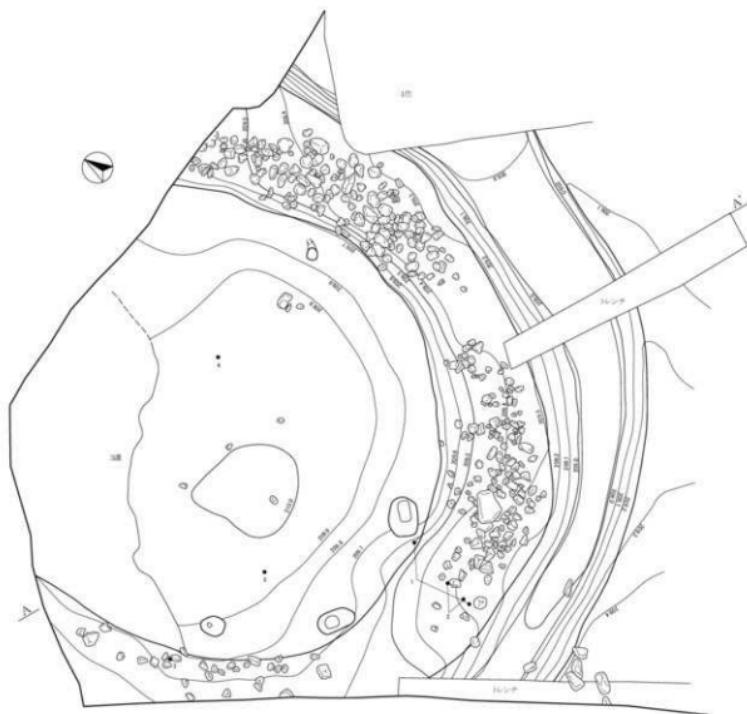
第229图 1号古填实测图(2)



第230图 1号古填石室实测图



第231図 2号古墳実測図

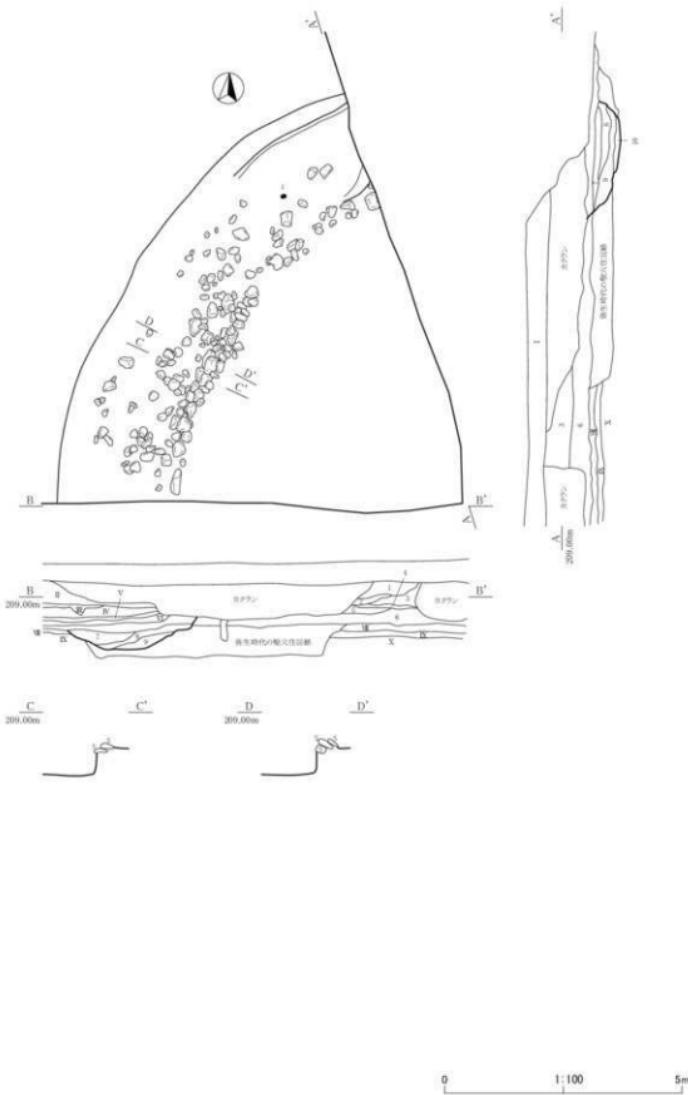


A  
211.00m

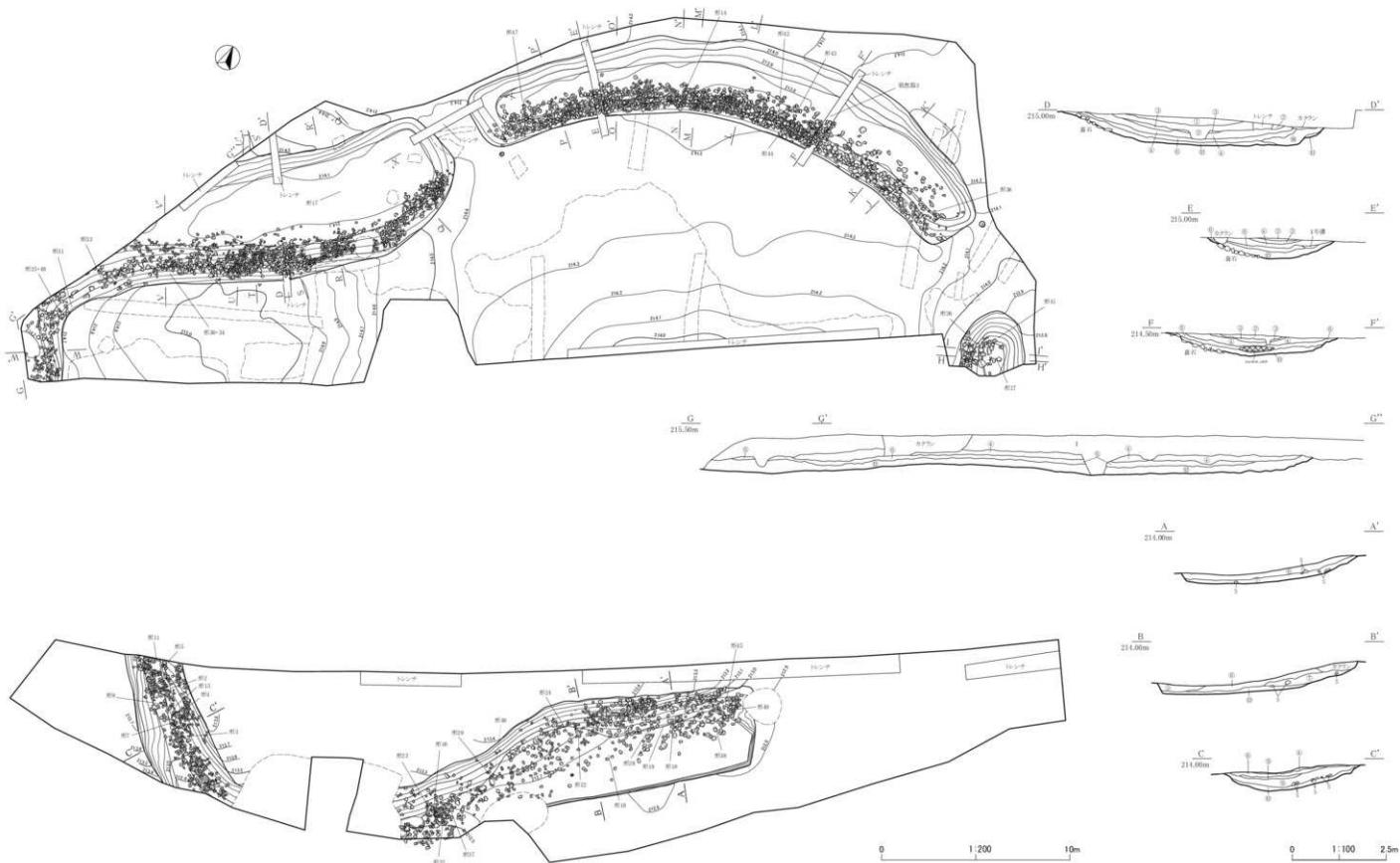
A'

0 1:100 5m

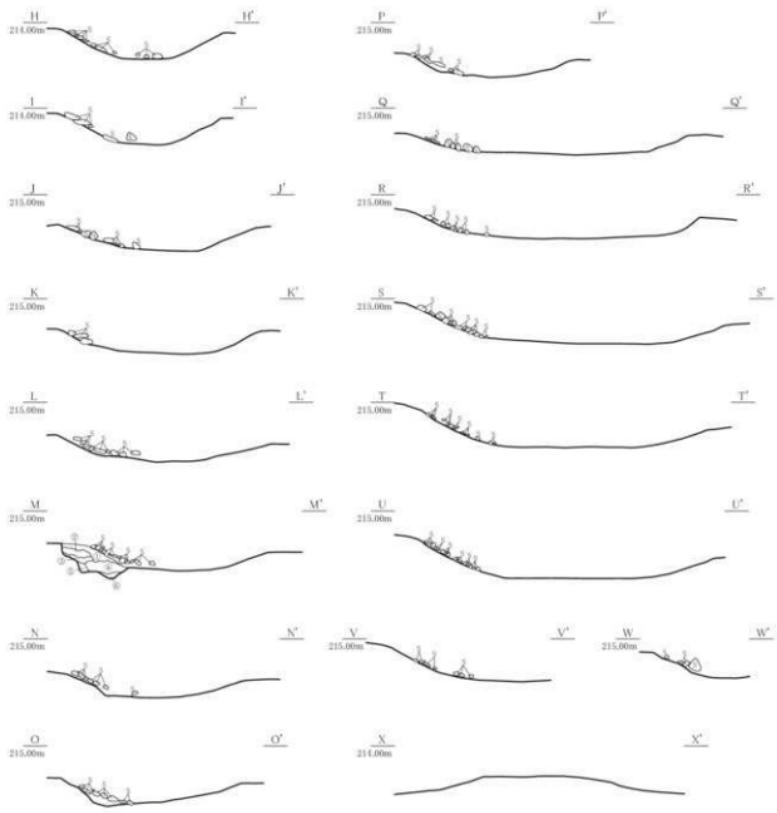
第232図 3号古墳実測図



第233図 4号古墳実測図

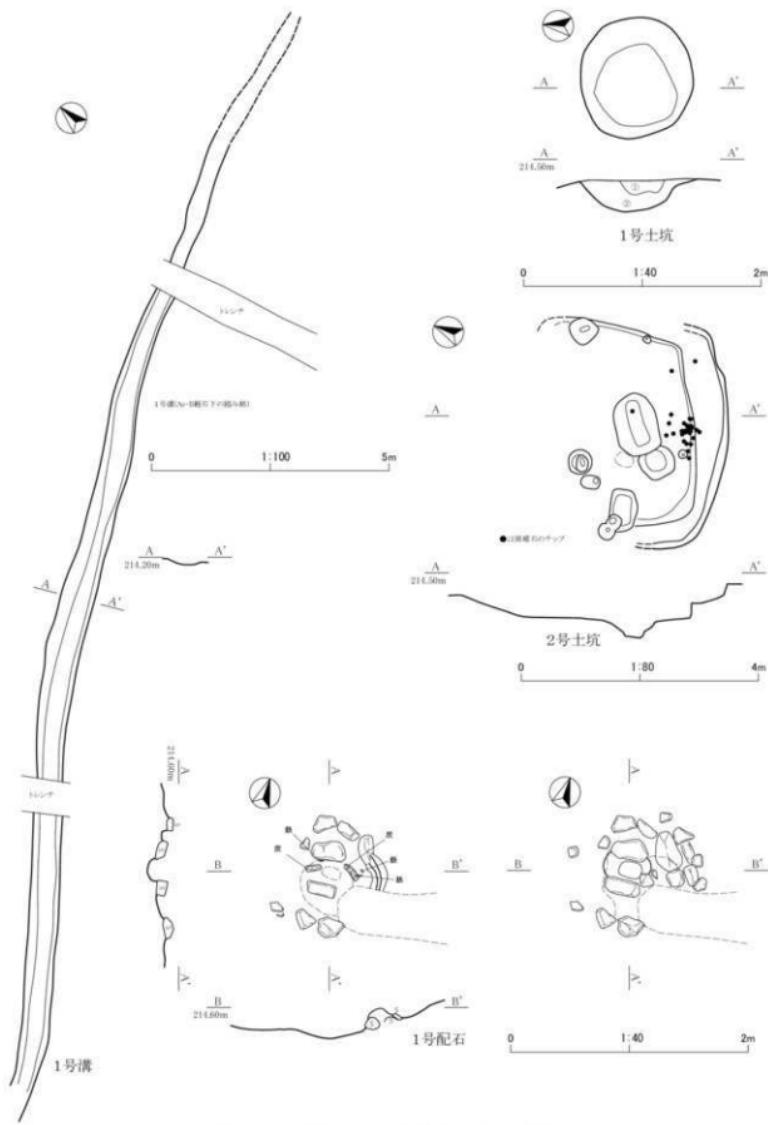


第234図 琴平山古墳実測図(1)



0 1:100 5m

第235図 琴平山古墳実測図(2)



第236図 1号溝、1・2号土坑、1号配石実測図

## 1号住

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒色土	As-C 軽石多量。炭化粒微量に含む	
2	黒色土	As-C 軽石・ローム粒少量含む	粘土質
3	黒色土	炭化粒多量。塊土粒微量に含む	粘土質
4	灰褐色土	炭化粒・ロームブロック・ローム粒少量含む	粘土質
5	黒褐色土	炭化粒・ロームブロック少量含む	
6	黒褐色土	ローム粒多量に含む	粘土質
7	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒多量に含む	

## 2号住

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒色土	As-C 軽石・小石少量含む	
2	黒褐色土	As-C 軽石多量に含む	
3	黒褐色土	As-C 軽石・ローム粒多量に含む	
4	褐灰色土		
5	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
6	灰黃褐色土	ローム粒多量に含む	
7	黒褐色土	ロームブロック多量、塊土ブロック・炭化粒少量含む	
8	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
9	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒多量に含む	
10	灰褐色土	炭化粒少量含む	粘土質

## 3号住

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒色土	土源片・小石多量に含む	
2	黒褐色土	小石多量、炭化粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒多量、炭化粒少量含む	
4	黒褐色土	炭化材多量、塊土粒・小石少量含む	

## 4号住

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒色土	小石多量、炭化粒・塊土粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒多量、炭化粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック・炭化粒多量に含む	
4	黒色土	ロームブロック少量含む	
5	灰黃褐色土	ロームブロック・ローム粒多量、炭化粒少量含む	

## 5号住

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒色土	ローム粒・小石多量、As-C 軽石少量含む	粘土質
2	黒色土	ローム粒・ロームブロック・炭化粒多量に含む	
3	褐灰色土	ローム粒少量含む	粘土質
4	黒色土	炭化材・塊土ブロック多量に含む	粘土質

## 6号住

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	褐灰色土	ローム粒・小石少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック多量、小石少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
4	炭化物	黒褐色土多量、塊土粒・ローム粒少量含む	
5	塊土ブロック	炭化粒多量に含む	
6	黒褐色土	炭化粒多量、ローム粒少量	

## 7号住

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	褐灰色土	ローム粒・小石少量含む	
2	黒色土	As-C 軽石・ローム粒少量含む	
3	灰白色粘土		
4	褐灰色土	ローム粒少量含む	

第109表 1~7号住居址土層注記

5	黒色土	ローム粒少量含む	
6	灰褐色土	ローム粒多量に含む	
7	ロームブロック		

## 8号住居跡

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	As-C輕石・ローム粒・小石少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒多量、As-C輕石・小石少量含む	
3	黒色土	ローム粒少量含む	
4	黒褐色土	ローム粒多量、炭化粒・小石少量含む	
5	黒色土	ローム粒少量含む	
6	黒色土	ロームブロック多量に含む	

## 9号住居跡

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	小石多量に含む	
2	黒褐色土	小石多量、炭化粒・ローム粒少量含む	
3	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック多量、炭化粒少量含む	
4	黒色土	ローム粒多量、炭化粒・ロームブロック少量含む	
5	黒褐色土	ローム粒少量含む	
6	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
7	ロームブロック		
8	灰褐色土	ローム粒多量に含む	粘土質
9	褐色土		
10	黒褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
11	黒褐色土	燒土粒多量に含む	鉄器か 柱穴
12	黒褐色土		

## 10号住居跡

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒色土	土胎片・小石多量に含む	
2	黒褐色土	土胎片多量に含む	
3	黒褐色土	土胎片少量含む	

## 11号住居跡

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	燒土粒・炭化粒少量含む	
2	黒色土	ロームブロック少量含む	
3	黒色土	燒土粒・ロームブロック多量に含む	

## 13号住居跡

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	ローム粒・炭化粒多量、ロームブロック・小石少量含む	粘土質
2	黒色土	ローム粒・炭化粒少量含む	粘土質
3	黒褐色土	ローム粒多量に含む	ビット

## 14号住居跡

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	小石多量、ローム粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック多量、炭化粒少量含む	

## 15号住居跡

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	As-C輕石・炭化粒・小石少量含む	
2	黒褐色土	ロームブロック・ローム粒・土胎片多量、炭化粒少量含む	
3	黒褐色土	小石多量、ローム粒少量含む	
4	ロームブロック		
5	黒色土	ローム粒・土胎片多量に含む	
6	黒褐色土	ロームブロック多量に含む	

第110表 8~15号住居址土層注記

## 16号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒・炭化粒・As-C軽石多量に含む	

## 17号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	炭化粒少量、ローム粒微量に含む	
2	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック多量に含む	
3	黒色土	ローム粒・炭化粒少量含む	粘土質
4	ロームブロック	黒褐色土少量含む	

## 18号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
2	黒色土	ローム粒多量、炭化粒・燒土粒少量含む	粘土質
3	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
4	黒褐色土	ローム粒小ブロック多量に含む	粘土質

## 19号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒色土	ローム粒・小石少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
3	黒色土	ローム粒少量含む	粘土質

## 20号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒・ローム小ブロック・炭化粒・燒土粒・土器片多量に含む	
3	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
4	灰褐色土	ローム粒少量含む	粘土質
5	黒色土	ローム粒少量含む	粘土質
6	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
7	灰褐色土	ローム粒多量に含む	

## 21号住

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	
2	黒褐色土	ローム粒・炭化粒・燒土粒・小石多量に含む	
3	黒褐色土	ローム粒小ブロック・炭化粒多量に含む	
4	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
5	黒色土	ローム粒少量含む	
6	黒色土	炭化粒・燒土粒多量、ローム小ブロック少量含む	粘土質
7	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
8	黒褐色土	ローム粒・炭化粒少量含む	

## 1・2号溝

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	粗砂	As-B軽石多量に含む	鉄分沈着
2	粗砂	粗砂少量含む	鉄分沈着

## 3号溝

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	暗灰褐色土	As-B軽石多量に含む	鉄分沈着
2	灰褐色土	As-B軽石・鐵・粗砂多量に含む	鉄分沈着
3	灰黄色土	As-B軽石・粗砂多量に含む	鉄分沈着
4	黑色土	As-B軽石・鐵・粗砂少量含む	鉄分沈着

## 4号溝

土層番号	色調	土層中含物	備考
1	粗砂	As-B軽石少量含む	鉄分沈着

第111表 16~21号住居址、1~4号溝土層注記

## 5号溝

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	粗砂	Aa-B輕石少量含む	鉄分沈着
2	灰黃褐色土	Aa-B輕石少量含む	シルト質
3	粗砂	Aa-B輕石・細砂少量含む	鉄分沈着

## 1号溝

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黑色土	ロームブロック多量に含む	硬く締る
2	黑色土		
3	黑色土	ローム小ブロック多量に含む	
4	ロームブロック		
5	黑褐色土	ローム粒多量に含む	
6	黑色土	ローム粒少量含む	
7	ロームブロック		
8	黑褐色土	ローム粒少量含む	
9	ロームブロック		硬く締る
10	黑色土	ロームブロック少量、炭化粒微量に含む	
11	黑褐色土	ロームブロック多量、ローム粒・小石少量含む	
12	黑褐色土	ロームブロック・小石多量に含む	
13	黑褐色土	ロームブロック多量、ローム粒少量含む	
14	ロームブロック	黒褐色土・ローム粒少量含む	
15	黑褐色土	ローム小ブロック多量に含む	
16	黑褐色土	ローム小ブロック締めて多量に含む	
17	黑褐色土	ロームブロック多量に含む	
18	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
19	黑色土	ロームブロック少量含む	
20	ロームブロック	黑色土少量含む	硬く締る
21	黑色土	ローム小ブロック少量含む	
22	黑色土	ローム粒多量に含む	
23	黑褐色土	ローム粒多量に含む	
24	黑色土	ローム粒少量含む	
25	黑褐色土	ローム粒少量含む	
26	黑褐色土	ローム粒多量に含む	
27	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
28	黑褐色土	ローム粒少量含む	
29	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
30	ロームブロック	黒褐色土少量含む	硬く締る
31	黑褐色土	ローム小ブロック・ローム粒少量含む	
32	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
33	黑褐色土	ロームブロック少量含む	
34	黑褐色土	ローム粒多量に含む	
35	ロームブロック	黒褐色土少量含む	
36	黑褐色土	ローム粒多量に含む	硬く締る
37	黑色土	ローム粒少量含む	
38	黑褐色土	ローム粒多量に含む	
39	黑褐色土	ロームブロック・ローム粒少量含む	
40	黑色土	ロームブロック多量に含む	
41	黑褐色土	ローム粒少量含む	
42	黑色土	ローム粒少量含む	
43	灰褐色土	ローム粒少量含む	砂質
44	黑褐色土	ローム粒少量含む	
45	黑色土	ローム粒少量含む	シルト質
46	灰褐色土	ローム粒少量含む	シルト質
47	灰褐色土	ローム粒少量含む	
48	黑褐色土	ローム粒少量含む	
49	黑色土	ローム粒少量含む	
50	黑褐色土	ローム小ブロック多量に含む	
51	黑色土	ローム小ブロック多量に含む	

第112表 5号溝・1号古墳土層注記

3号墳

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒色土	Aa-C 軽石・ローム粒・小石多量に含む	
2	黒色土	Aa-C 軽石・ローム粒多量に含む	
3	黒色土	Aa-C 軽石・ローム粒・ロームブロック多量に含む	

4号墳

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒色土	小石多量に含む	
2	黒色土	小石・ローム粒多量に含む	
3	黒色土	小石少量含む	
4	黒色土	小石多量に含む	
5	黒色土	ローム粒多量、小石少量含む	
6	黒色土	小石多量、Aa-C 軽石少量含む	
7	黒色土	礫を少量含む	
8	黒色土		
9	黒色土	崩落した礫石を多量に含む	
10	黒褐色土	ロームブロック多量に含む	

琴平山古墳

土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	ロームブロック	Aa-B 軽石少量含む	
2	黒褐色土	Aa-B 軽石多量に含む	
3	Aa-B 軽石二次堆積		
4	Aa-B 軽石		
5	黒褐色土	ローム粒多量に含む	
6	黒褐色土	ローム粒・ロームブロック・崩落した礫石・崩輪を少量含む	
7	黒褐色土	ローム粒少量含む	
8	黒褐色土	ローム粒・ローム小ブロック少量含む	
9	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	
10	黒褐色土	ローム小ブロック少量含む	
11	黒褐色土	ローム粒少量含む	
12	灰黒褐色土	ローム粒・ロームブロック・崩落した礫石・崩輪を多量に含む	

1号土坑

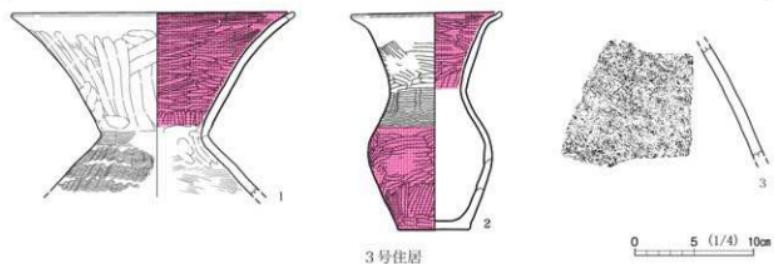
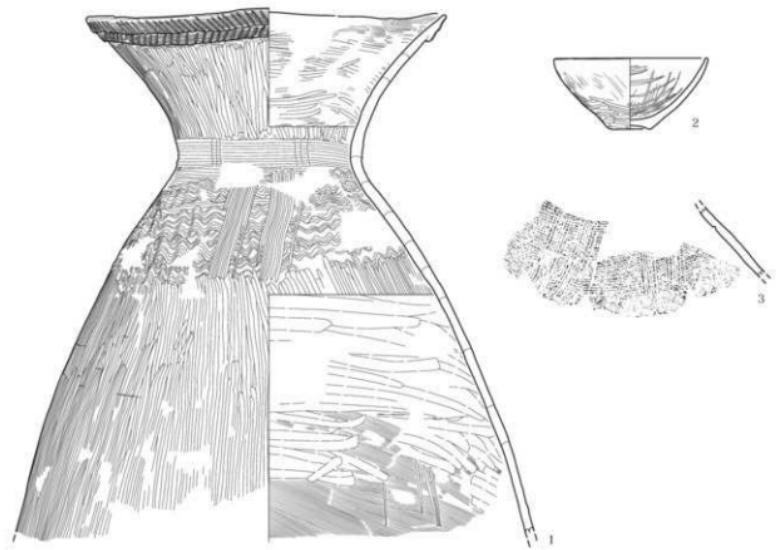
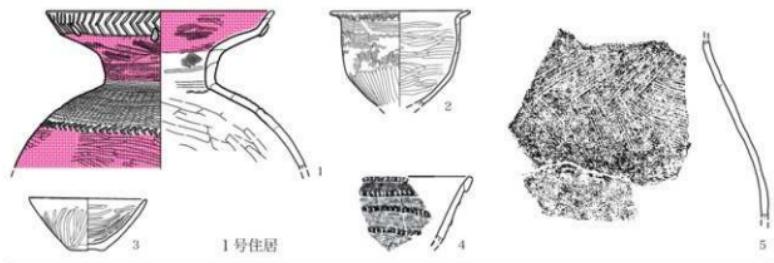
土層番号	色調	土層中含有的物	備考
1	黒褐色土	Aa-C 軽石・炭化粒少量含む	
2	灰黒褐色土	Aa-C 軽石・炭化粒・ロームブロック・礫少量含む	

第113表 3・4号古墳、琴平山古墳、1号土坑土層注記

OH-II													
生息名	平面形態	長軸 cm	短軸 cm	深さ・厚さ cm	深さ最小 cm	深さ最大 cm	主軸の傾き	側面柱穴 (Pの付近)	補助柱穴 (Pの付近)	P位置	野原穴 (Pの付近)		
1往 大型扇丘形	7.544 (6.82)	42	*	N-36°W	4	7	北東柱穴の間隔等り	72	58	60度生	13W-04E 5度・3分野と直線		
2往 方形?	5.441 (5.44)	86	*	N-7°W	36	1	2-	-	54	54	64度生		
3往 方形?	4.522 (3.22)	64	*	N-31°W	36	-	-	-	-	-	13W-15		
4往 不明	-	78	*	52	-	-	-	-	-	-	13W-14		
5往 中型扇丘形	3.822 (4.22)	40	*	N-26°W	4	4	北東柱穴の間	-	-	13W-23	6度生・野原と直線		
6往 不明	-	56	*	48	-	4	2-	-	76	60	42度生		
7往 方形?	3.7	436	*	N-12°W	24	-	3	-	-	13W-33	6度生・1分野と直線		
8往 方形?	3.04	536	*	N-39°W	24	-	1 北東柱穴の間隔等り	-	-	13W-32	7度生と直線		
9往 小型扇丘形	3.62 (5.14)	60	-	N-77°W	4	6	7 側面柱穴の間隔等り	-	-	13W-01	10度生 11度・6分野と直線		
10往 方形?	3.222 (3.22)	30	-	N-30°W	-	-	-	-	-	13W-07	10度生 6分野と直線		
11往 方形?	-	26	-	26	-	-	-	-	-	13W-11	10度生 9度・1分野と直線		
12往 大型扇丘形	5.443 (8.9)	56	*	N-27°W	4	3	9度生; 北東柱穴の間隔等り	68	46	-	13W-35	3度生・1分野・2分野と直線	
13往 小型扇丘形	4.522 (10.74)	30	*	N-28°W	36	4	1-	-	52	48	-	13W-20	1分野と直線
14往 大型扇丘形	7.96 (8.54)	50	*	N-31°W	6	3	6 北東柱穴の間	-	48	44	64度生		
15往 中型扇丘形	5.20 (5.96)	68	*	N-2°W	4	3	7 北東柱穴の間隔等り	40	-34	-	13W-51	14度生・4分野と直線	
16往 方形?	4.74 (4.98)	38	*	N-21°W	36	-	-	-	-	13W-37	17度生・1分野と直線		
17往 小型扇丘形	4.62 (8.52)	36	*	N-21°W	4	4	8 側面柱穴の間隔等り	70	54	52度生	12W-37		
18往 方形?	5.72 (7.18)	42	*	N-22°W	4	4	8 北東柱穴の間隔等り	-	-	-	13W-39		
19往 小型扇丘形	5.72 (8.34)	24	12	N-49°W	4	4	-	-	-	13W-41	15度生・1分野と直線		
20往 中型扇丘形	5.72 (6.18)	42	*	N-33°W	4	-	4 側面柱穴の間	-	-	13W-51	14度生・4分野と直線		
21往 方形?	5.76 (5.76)	60	*	N-47°W	24	-	5 北東柱穴の間隔等り	-	-	13W-50	6度生		
22往 小型扇丘形	6.14 (5.56)	46	*	N-12°W	14	3	7-	-	-	13W-20	11度生と直線		
23往 中型扇丘形	5.58 (3.85)	62	*	N-51°W	-	3	8 側面柱穴の間隔等り	50	38	40度生	13W-12		
24往 方形?	2.96 (2.96)	30	*	N-49°E	25	-	8 側面柱穴の間隔等り	-	-	13W-13	3度生・4分野と直線・2分野と直線		

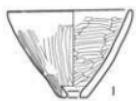
OH-II											
生息名	規 模	長軸 cm	短軸 cm	深さ cm	斜面	斜面	斜面	斜面	斜面	斜面	斜面
1号	5.51	1.95	52	3.5 cm	3V-4E	1度生	2.9度生	3.3V-4E	2度生	3.3V-4E	2度生
2号	2.69 (1.47)	12	(21)	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95	1.95
3号	4.05 (2.05)	2.38	1.27	1.27	1.27	1.27	1.27	1.27	1.27	1.27	1.27
4号	1.64 (1.64)	91	50	13V-01	13V-01	13V-01	13V-01	13V-01	13V-01	13V-01	13V-01
5号	44	62	62	13V-22	13V-22	13V-22	13V-22	13V-22	13V-22	13V-22	13V-22

第144表 岩田II遺跡 (16年度・17年度調査分) 遺構觀察表

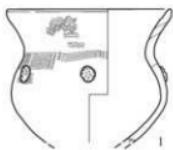


第237図 1・2・3号住居出土土器実測図

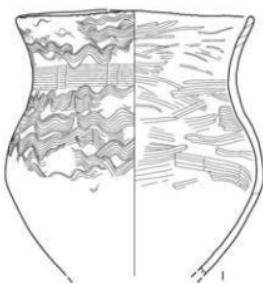
0 5 (1/4) 10cm



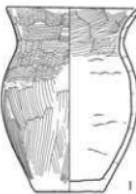
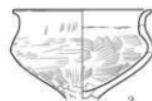
4号住居



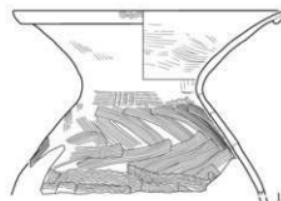
5号住居



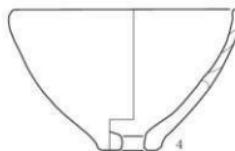
6号住居



7号住居



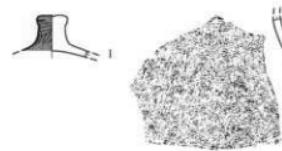
10号住居



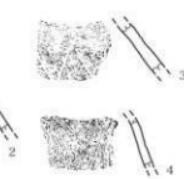
12号住居



12号住居

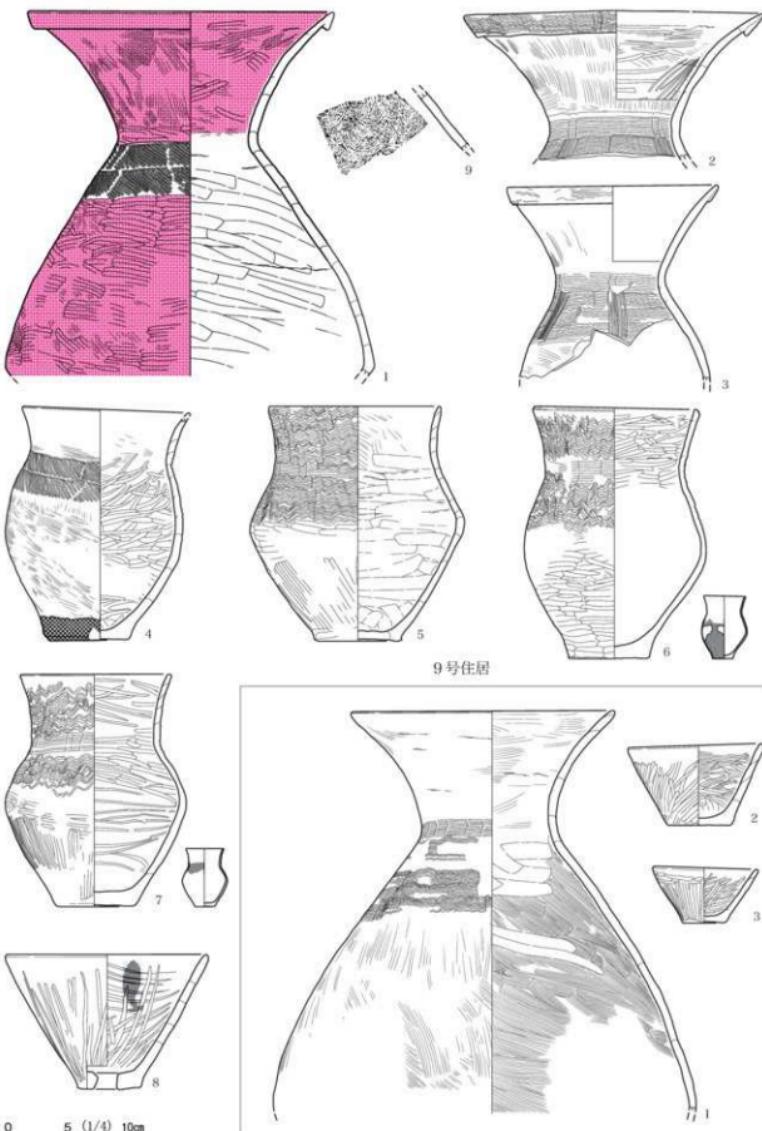


14号住居

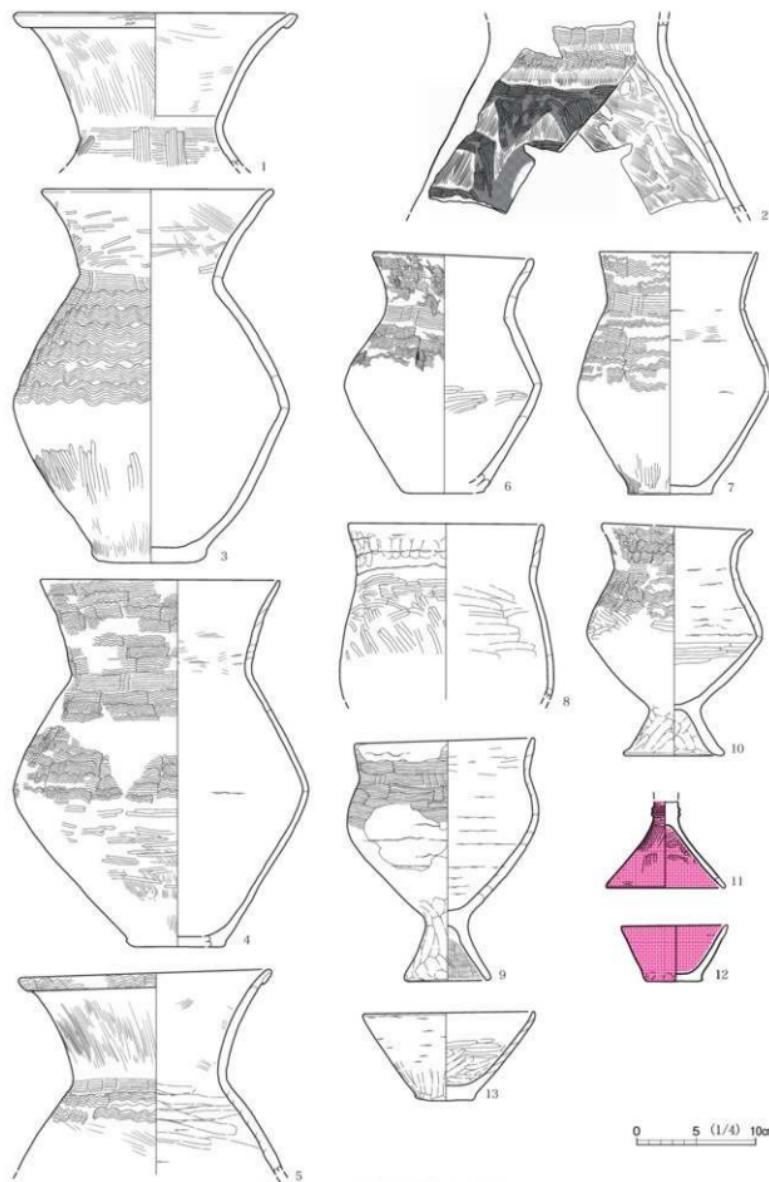


0 5 (1/4) 10cm

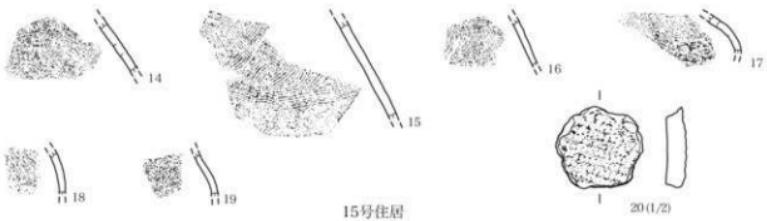
第238図 4・5・6・7・10・12・14号住居址出土土器実測図



第239図 9・13号住居址出土土器実測図



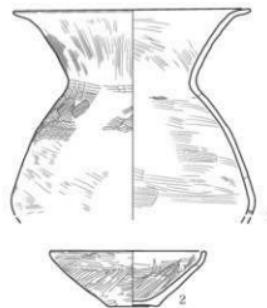
第240図 15号住居址出土土器実測図



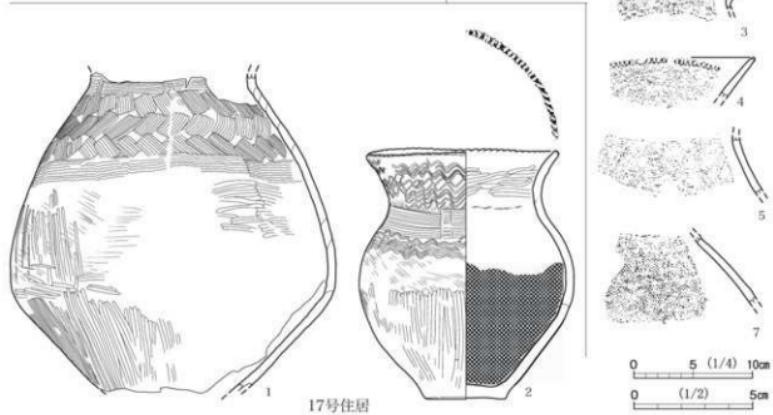
15号住居



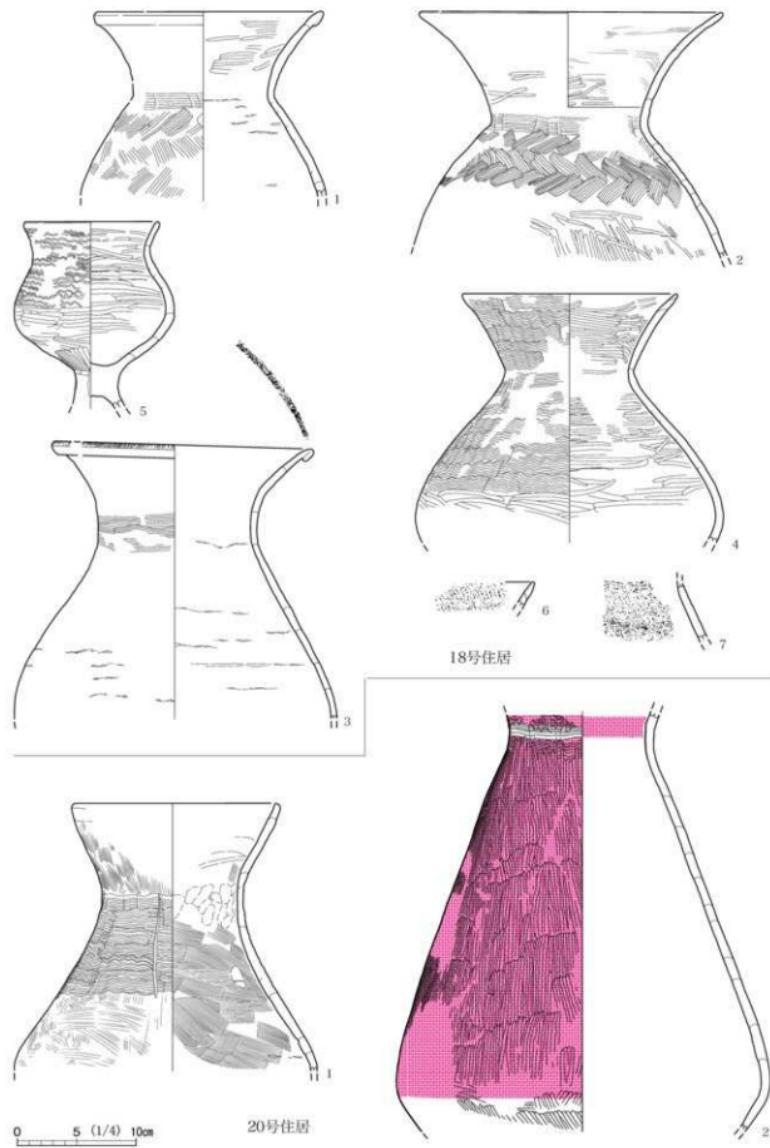
16号住居



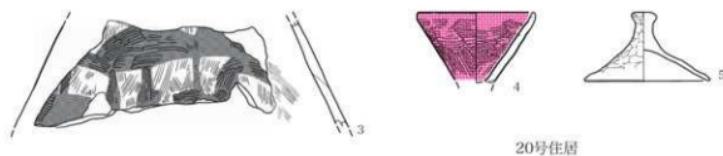
21号住居



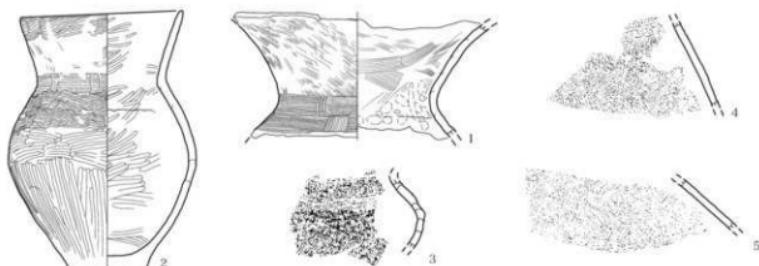
第241図 15・16・17・21号住居址出土土器実測図



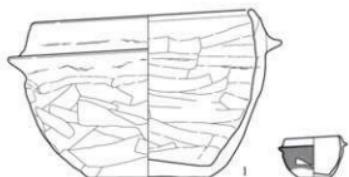
第242図 18・20号住居址出土土器実測図



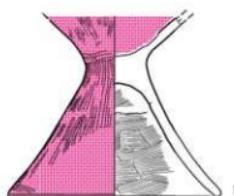
20号住居



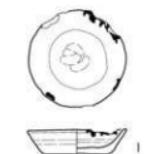
23号住居



2号集石



2号土坑



3号溝



調査区一括

0 5 (1/4) 10cm

第243図 20・23号住居址、2号集石、2号土坑、3号溝、調査区一括出土土器実測図

## 1号住

番号	器種	法量 (cm)	①焼成2色調3刷土+残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 (18.9) 底径 - 高さ -	上普通型にぶい褐色3片割・チャート・ バミスの粗~細砂(±)に底部1/4と側部上 半1/2	外面 口縁部裏面に横状貼付文。 内面 口縁部裏具による矢羽状化紋。頭部斜削毛目→赤芯→横幅削 状具による矢羽状化紋。側部斜削毛目→横幅削。 内面 口縁部裏面→横幅削。頭部斜削毛目、側部斜削毛。	覆土
2	弥生土器 台付壺	口径 11.5 底径 - 高さ -	上普通型にぶい褐色3片割門石・バミス・ 赤粒の粗~細砂多い±口縁部~側部 内面 黒褐色3分割の等間隔横状文 (7箇/9cm)→口縁部1段・肩部2 段の波状文 (7箇/9cm)。頭部斜削面あり。底部削面有り。 内面 口縁部削面、側部斜削面有り。	朱健中央 床面	
3	弥生土器 鉢	口径 9.9 底径 4.9 高さ 4.5	上普通・底部外面に黒斑型にぶい褐色 2片岩・チャート・バミス。赤粒の粗~ 細砂多い±口縁部1/3欠損	外面 口縁部削面、側部斜削面有り。底部下端横削面あり。底部削面有り。 内面 口縁部削面、側部~底部斜削面有り。	南東柱穴
4	弥生土器 壺	口径 - 底径 - 高さ -	上普通・淡褐色3片石・片岩・チャートの粗~ 細砂(±)に底部破片	外面 口縁部は粗い粘土層を付加した折り返し、口唇部と折り返し部 に尾状具による短孔。 内面 口縁部削面。	覆土
5	弥生土器 壺	口径 - 底径 - 高さ -	上普通・淡褐色3片石・片岩・角閃石・バミ ス・赤粒の粗~細砂(±)側部破片	外面 肩部削面次々→底部2段の鷹脛羽状文 (上→下、右→左)、側部削 面磨き削面。全体に視認。 内面 刨部削面有り。粘土層有り。	ピット

## 2号住

番号	器種	法量 (cm)	①焼成2色調3刷土+残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 10.0 底径 - 高さ -	上普通・口縁部~側部の外面上に黒斑型に ぶい褐色3片石・片岩・バミス・赤粒の粗~ 細砂(±)に底部、側部上半3/4	外面 前り返し口縁部は板状具と口によじ換無で→側部具削突によ る矢羽状文。頭部斜削毛目→分頭3段の3連止瀧状文 (9箇/20cm)→報 磨削面。側部斜削毛目→2段の鷹脛羽状文→4段の波状文 (下→上、左 →右/20cm)→2条1筋の鷹脛羽状文4条 (8箇/22cm)。頭部斜削面。 内面 口縁部削毛目→横幅削。	南東底盤六 脚+16号住 跡+17号住 跡
2	弥生土器 鉢	口径 13.8 底径 3.7 高さ 6.0	上普通。体部外面上に黒斑淡褐色3片石 ・片岩・チャート・バミス。赤粒の粗~細砂 (±)に底部1/4欠損	外面 口縁部削面で、体部斜削毛目→横幅削。底部削面。 内面 口縁部削面で。底部~底部まばらな削面。	覆土
3	弥生土器 壺	口径 - 底径 - 高さ -	上普通。肩部外面上に黒斑淡褐色3片石・ 角閃石・赤粒の粗~細砂(±)側部破片	外面 肩部多段止瀧状文→側部4段の鷹脛羽状文 (上→下、7箇/15mm)。頭部斜削毛目→ 横幅削。底部削面。 内面 2条1筋の鷹脛羽状文 (7箇/15mm)。頭部斜削面。	南東柱穴

## 3号住

番号	器種	法量 (cm)	①焼成2色調3刷土+残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 23.6 底径 6.1 高さ 18.4	上普通赤褐色3片石・片岩・角閃石・バ ミスの粗~細砂(±)に底部3/4と側部 1/2	外面 口縁部斜削毛目→口縁部削面で、頭部斜削面で→頭部等間隔 矢羽状文 (9箇/15cm)→側部3段以上の波状文 (9箇/15cm)。頭部斜削毛目→赤芯→ 横幅削。底部削面。 内面 口縁部斜削毛目→赤芯→横幅削。頭部削面で、側部斜削毛目。	南西柱穴
2	弥生土器 壺	口径 12.4 底径 6.1 高さ 18.4	上普通赤褐色3片石・片岩・角閃石・バ ミスの粗~細砂(±)に底部の一部側部	外面 口縁部削面で→口縁部削面で、頭部等間隔3頭部10分頭の2連止瀧状文 (9 箇/15cm)→側部1筋の波状文 (9箇/15cm)。頭部斜削毛目→赤芯→ 横幅削。底部削面。	南東部床面
3	弥生土器 壺	口径 - 底径 - 高さ -	上普通・淡褐色3片石・片岩・角閃石・チャート ・側部破片	内面 口縁部斜削毛目→まばらな削面で→茎脛羽状文。 内面 脱部斜削毛目→まばらな削面で→茎脛羽状文。	西南部

## 4号住

番号	器種	法量 (cm)	①焼成2色調3刷土+残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 有孔井	口径 10.2 底径 2.5 高さ 7.4	上普通淡褐色3片石・片岩・チャート・ バミスの粗~細砂(±)に底部1/5強	外面 脱部斜削前から。 内面 体部削面有り。口縁部と底部摩滅。 内面 口縁部削面。	ピット

## 5号住

番号	器種	法量 (cm)	①焼成2色調3刷土+残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 台付壺	口径 (13.6) 底径 - 高さ -	上普通赤褐色3片石・片岩・角閃石・バ ミスの粗~細砂(±)に底部1/2	外面 全体に削減面有り。頭部3連止瀧状文、側部1段の伊豫輪 波状文→伊豫輪波文6ヶ所。 内面 全体に削減面有り。	伊豫輪

## 6号住

番号	器種	法量 (cm)	①焼成2色調3刷土+残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 台付壺	口径 (19.6) 底径 - 高さ -	上普通赤褐色3片石・角閃石・バミス・ 赤粒の粗~細砂(±)に底部1/2	外面 口縁部に削突具による刻み。口縁部~側部斜削毛目→頭部2連 止瀧状文 (9箇/16cm)→口縁部3~5段、側部5~6段の波状文を組 ねる。側部削面。 内面 口縁部削面。	南東部床面
2	弥生土器 壺	口径 11.8 底径 - 高さ -	上普通赤褐色3片石・片岩・角閃石・バ ミスの粗~細砂(±)に底部1/2	外面 口縁部削面で、頭部~側部横幅削毛目→まばらな削面で。口縁 部~側部の一部に白色質質有り。 内面 口縁部削面。	覆土
3	弥生土器 壺	口径 - 底径 - 高さ -	上普通淡褐色3片石・片岩・バミス・赤粒 の粗~細砂(±)側部破片	外面 脱部斜削毛目→波状文 (9箇/10cm)→脱沈线のある椭円形貼付文。 内面 脱部横幅削面。	覆土

第115表 1・2・3・4・5・6号住居址出土土器観察表

## 7号住

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成2色調③胎土残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 要	口径 (5.1) 厚 (5.1) 追径 (5.7) 断面高 (5.6)	①滑道、胴部外表面に黒褐色にぶい・黄褐色 行先石・片岩・バミスの粗→細砂④縫合 部 1/4欠損	外面 口縫部横磨で一部縫合3~6mmの通止歴状文→1/4縫合部2段(下→上)・縫合部2段の波状文(上→下)。断面高は7mmで共通。胴部横磨及 底面・全体に波状磨削。口縫部横磨を施す。口縫部横磨を施す。胴部 横磨を施す→まばらな横磨き。底部無地。	北部床面
2	弥生土器 ミニチュ ア(要)	口径 (5.8) 厚 (5.8) 追径 (3.3) 断面高 (5.1)	①滑道にぶい・黄褐色②チャート・角閃 石・バミス・赤鉄の粗→細砂④縫合部 1/2欠損	外面 口縫部→胴部側面と頂面窓。底部無地。 内面 口縫部→底部側面。	覆土

## 9号住

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成2色調③胎土残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 要	口径 (25.5) 厚 (5.5) 追径 (5.5) 断面高 (5.5)	①滑道・外表面に黒褐色にぶい・黄褐色 行先石・片岩・バミスの粗→細砂④縫合部 中段4/5	外面 扱り足引じて縫合で一部縫合毛目→1/4縫合→頭部斜面毛目→横 磨き→脚部2段の横斜面(RL)。胴部斜面毛目→赤彩→横磨き。 内面 口縫部斜面毛目→赤彩→横磨き。胴部斜面無地。	北東竈ない 床面
2	弥生土器 要	口径 25.0 厚 (5.5) 追径 (5.5) 断面高 (5.5)	①滑道にぶい・黄褐色③片岩・バミスの 粗→細砂④縫合部	頭部外縫合の形態と頭部内縫合の横磨(倒立上部側に軸印)。 外面 扱り足引じて縫合に1~2段の波状文(12mm/16mm)、頭部斜面毛目 →まばらな横磨方向擦す→5分の2通止歴状文(12mm/16mm)→別 部波状文(12mm/16mm)→横状文と同様の横斜面下文(9mm/15mm) 内面 口縫部斜面毛目→横磨き。	北東隅 床面
3	弥生土器 要	口径 (17.0) 厚 (5.5) 追径 (5.5) 断面高 (5.5)	①滑道、胴部外表面に黒褐色にぶい・黄褐色 行先石・片岩・バミスの粗→細砂④縫合部	外縫合 扱り足引じて縫合部1~2段の波状文。頭部斜面毛目→2通止歴 状文→横斜面。頭部内縫合部2段の波状文(9mm/14mm)→頭部斜面下文4~9 mmの波状文。	北東部 床面
4	弥生土器 要	口径 (19.3) 厚 (5.5) 追径 (5.5) 断面高 (5.5)	①滑道、胴部外表面に黒褐色にぶい・黄褐色 行先石・片岩・バミスの粗→細砂④縫合部と側 部の一部欠損。	外面 口縫部斜面(底辺)小にによる横磨で、肩部2~3段の横斜面(RL)。 胴部斜面毛目→横斜毛目による斜面。胴部下端→底辺に白色物付着。 内面 口縫部→横磨き。	北東部 床面
5	弥生土器 要	口径 (14.3) 厚 (5.5) 追径 (6.7) 断面高 (19.8)	①滑道、胴部外表面に黒褐色・黄褐色③ 行先石・片岩・バミスの粗→細砂④縫合部	外面 口縫部斜面の2段止めの横磨文→1/4縫合4段(下→上)・縫合3段(上 →下)の波状文。腰部は9mm/13mmで共通。胴部横磨き。底部底座。 全体に薄い磨き有。	北東部 床面
6	弥生土器 要	口径 13.4 厚 (5.5) 追径 (5.5) 断面高 (19.6)	①滑道にぶい・黄褐色③片岩・行先石・ 片岩・バミスの粗→細砂④縫合部1/4欠 損	外面 口縫部斜面で、頭部斜面毛目→口縫部2段(下 →上)・肩部3段(上→下)の波状文(9mm/11mm)。胴部斜面毛目→横 磨き。底部底座。胴部下端半幅付着。底部白色物付着。 内面 口縫部→一部横磨き。	北東部 床面
7	弥生土器 要	口径 (12.3) 厚 (6.7) 追径 (6.7) 断面高 (19.6)	①滑道、底部外表面に黒褐色にぶい・黄褐色 行先石・片岩・バミスの粗→細砂④縫合部	外面 口縫部斜面で、頭部斜面毛目→3通止歴状文(7mm/15mm)→1/4 縫合4段(上→下)の波状文(4mm/10mm)→2通止歴状文(6mm/10mm)を重ねる。胴部 斜面毛目→横磨き。	北東部床面
8	弥生土器 有孔鉢	口径 16.8 厚 (5.4) 追径 6.5 断面高 11.4	①滑道、体部外表面に黒褐色・黄褐色 行先石・片岩・バミス・赤鉄の粗→細砂④縫合 部1/2欠損	底座焼成前削字。 外面 口縫部横磨で、体部まばらな横磨き。底 部底座。底部白色物付着。	北東部 床面
9	弥生土器 要	口径 - 厚 (5.5) 追径 - 断面高 -	①滑道にぶい・黄褐色③片岩・バミス・赤鉄の 粗→細砂④縫合部	内面 口縫部斜面で、体部まばらな横磨き。底 部底座。	覆土

## 10号住

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成2色調③胎土残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 要	口径 (22.9) 厚 (5.5) 追径 - 断面高 -	①滑道、胴部外表面に黒褐色・黄褐色③ 行先石・片岩・バミス・赤鉄の粗→細砂④縫合 部1/4・縫合3/4	外面 扱り足引じて縫合1段の波状文。頭部斜面毛目→4通止歴状文(8 mm/11mm)→縫合2段の横斜面横磨状文(8mm/14mm)→2段以上の波状 文(8mm/14mm)。	中央部 床面
2	弥生土器 要	口径 11.7 厚 (5.6) 追径 5.6 断面高 15.3	①滑道にぶい・黄褐色③片岩・バミスの粗 →細砂④縫合部 1/2 欠損	口縫部横磨で→頭部2通止歴状文→縫合2段・肩部2~3段 の波状文。腰部は6mm/11mmで共通。胴部横磨き。底部無地。全 体に横磨き。	中央部 床面
3	弥生土器 要	口径 8.8 厚 (5.6) 追径 5.6 断面高 9.7	①滑道。口縫部外表面に黒褐色にぶい・ 黄褐色③石英・角閃石・バミスの粗→細砂④縫合 部完形	口縫部横磨で→1/4縫合から肩部3~4段の波状文を重ねる。胴 部底座。底部斜面毛目。	中央部 床面
4	弥生土器 有孔鉢	口径 18.6 厚 (4.7) 追径 11.9 断面高 -	①滑道。底部外表面に黒褐色にぶい・黄 褐色・行先石・片岩・バミスの粗→細砂④縫合 部3/4・縫合1/2 欠損	外縫合→微削成前削字(1.8cm)。 内面 口縫部横磨と削字。底部横磨き。底部底座。	中央部 床面
5	弥生土器 要	口径 - 厚 (5.5) 追径 - 断面高 -	①滑道にぶい・黄褐色③片岩・チヤート・ バミス・赤鉄の粗→細砂④縫合部	口縫部3段の粘土層接合部を残し。横斜面横磨( RL)。 内面 口縫部無地。	覆土
6	弥生土器 要	口径 - 厚 (5.5) 追径 - 断面高 -	①滑道にぶい・黄褐色③石英・チヤート・ バミス・赤鉄の粗→細砂④縫合部	外面 異面多通止歴状文(8mm/10mm)・縫合2段以上との横斜面横磨状文(8 mm/14mm)。 内面 黑部→削字まばらな横磨き。	中央部 床面

## 12号住

番号	面 横	法量 (cm)	①焼成2色調③胎土残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 高井	口径 (5.1) 厚 (5.6) 追径 6.6 断面高 8.0	①滑道。外部外表面に黒褐色にぶい・黄褐色 行先石・片岩・バミスの粗→細砂④縫合部 1/2・縫合1/2 欠損	外面 口縫部横磨で。底部横磨き。底部底座。	南西隅 床面
2	弥生土器 鉢	口径 8.7 厚 (3.5) 追径 7.3	①滑道にぶい・黄褐色③石英・チヤート・ バミス・赤鉄の粗→細砂④縫合部	口縫部→体部斜面→1/2縫合横磨き。底部底座。	北東竈ない 床面

第116表 7・9・10・12号住居址出土土器観察表

番号	形 様	法量 (cm)	(1)他成2色調3射土手残存	成・整型技法の特徴	出土位置
3	骨生土器 盤	口径 - 底径 - 高さ -	上普通に赤黄色地3角閃石・白ミスの粗・細砂 底径 - 高さ -	外面 刷部2段の脚部横羽状文→1段の波状文、脚部は8mm/11mmで 内面 刷部脚部指捺で。	覆土
13 号住					
番号	形 様	法量 (cm)	(1)他成2色調3射土手残存	成・整型技法の特徴	出土位置
1	骨生土器 盤	口径 (22.2) 底径 - 高さ -	上普通、脚部外側に黒斑3浅黃褐色 △角閃石・チャート・バニスの粗・細砂 △口縁部～脚部上半3/4	外面 □脚部斜削毛目→脚部等脚部横羽状文→刷部5段の波状文、脚部 は11mm/13mmで直邊、脚部横羽状文。 内面 □脚部斜削毛目、脚部斜削毛目→まばらな横方向削で。	中央部 床面
2	骨生土器 鉢	口径 11.1 底径 5.3 高さ 6.9	上普通に赤黄色地3石英、角閃石、 バニスの粗・細砂△口縁部 底径 5.3 高さ 6.9	外面 □脚部横羽状、体部斜削削き、底部無削。 内面 □縁部→底部横羽状。	東北隅 床面
3	骨生土器 鉢	口径 8.7 底径 3.6 高さ 4.8	上普通、体部外側に黒斑3浅黃褐色 △チャート・バニスの粗・細砂△口縁部 底径 3.6 高さ 4.8	外面 □脚部横羽状、体部斜削削き、底部無削。 内面 □縁部→底部まばらな横横羽状。	中央部床面
14 号住					
番号	形 様	法量 (cm)	(1)他成2色調3射土手残存	成・整型技法の特徴	出土位置
1	骨生土器 盤	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2赤色地3石英、角閃石・バニスの粗・細砂△口縁部	外面 摺み部上部に全周しない丸い孔削、摺み部赤わ→脚部横羽状。 内面 大脚部削で。	覆土
2	骨生土器 鉢	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2赤色地3石英、片岩・バニス・ 赤粒の粗・細砂△脚部断片	外面 □脚部横羽状→脚部斜削削、脚部斜削毛目→4段の波状文→又脚削 下端に脚部横羽、脚部は8mm/16mm。 内面 □脚部斜削毛目→脚部横羽。	覆土
3	骨生土器 盤	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2赤色地3角閃石、チャート・バニスの粗・細砂△脚部断片	外面 刷部2段の脚部横羽状文(上→下、8mm/13mm)→脚部横羽状→脚 文内側に斜削した金屬部による比較。 内面 □縁部下方無削。	覆土
4	骨生土器 盤?	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2赤色地3角閃石、チャート・バニスの粗・細砂△脚部断片	外面 刷部脚部曲波文(7mm/11mm)。 内面 脚部横羽削で。	覆土
15 号住					
番号	形 様	法量 (cm)	(1)他成2色調3射土手残存	成・整型技法の特徴	出土位置
1	骨生土器 盤	口径 23.6 底径 - 高さ -	上普通2赤色地3石英・チャート・バニス・ 赤粒の粗・細砂△口縁部2/4	外面 削り返し口縁部1段の波状文、底部斜削毛目→2段以上の脚部 横羽状→脚部斜削位置4所に2条1組の脚部斜削下文(8mm/15mm)、 内面 □脚部斜削毛目削。	南北東隅穴 壁
2	骨生土器 盤	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2赤色地3石英、片岩・バニス・ 赤粒の粗・細砂△脚部上部1/6	外面 □脚部斜削毛目→脚部等脚部横羽状→刷部1段の波状文(7mm/12 mm)、脚部斜削毛目→分け入る幾何学的文様表現→赤彩部混削き。 内面 □脚部斜削毛目→まばらな横削。	西北部床面と 20号住跡
3	骨生土器 盤	口径 (19.0) 底径 - 高さ 31.5	上普通2赤色地3片岩・チャート・バニス・ 赤粒の粗・細砂△口縁部一部欠損	外面 □脚部2段はならぬ横削き、頭部9分削の2連止端伏文(9mm/13mm)→ 1脚部上半2段の波状文(上→下、7mm/15mm)、脚部下半斜削毛目 →脚部横羽削、赤彩部混削、全体に滑り削材質。 内面 □脚部斜削毛目、脚部横羽削。	南北東 床面
4	骨生土器 盤	口径 20.0 底径 18.0 高さ 31.0	上普通、脚部外側に黒斑3浅黃褐色 △片岩・チャート・バニスの粗・細砂△ 脚部一部1/4欠損	外面 □脚部2段の波状文(8mm/14mm)→脚部7段以上・脚部上 部4段の波状文→脚部斜削毛目→脚部横羽削、脚部斜削毛目、 内面 □脚部斜削毛目、脚部横羽削。	南北東 床面
5	骨生土器 盤	口径 (21.4) 底径 - 高さ -	上普通、脚部外側に黒斑3浅黃褐色 △片岩・バニスの粗・細砂△口縁部1/2 →脚部上半	外面 削り返し(口縁部1段の波状文、脚部2~4連止端伏文(6mm/10mm) →脚部2段の波状文(上→下、6mm/10mm)、脚部斜削毛目。 内面 □脚部斜削毛目、脚部横羽削。	中央部 床面
6	骨生土器 盤	口径 13.1 底径 6.9 高さ 20.4	上普通2赤色地3石英、角閃石・バニスの 粗・細砂△口縁部1/2と底部 1/2欠損	外面 □脚部7分の2連止端伏文(8mm/13mm)→脚部4~5段、脚 部3~4段の波状文を走る、削部→底部横削と刮削、全体に滑り削 材質。 内面 □脚部横羽削、脚部削除で、脚部横羽削。	南北東 床面
7	骨生土器 盤	口径 13.2 底径 7.0 高さ 20.5	上普通2赤色地3石英、角閃石・バニスの 粗・赤粒の粗・細砂△口縁部1/2欠損	外面 □脚部9分削の3連止端伏文(7mm/13mm)→脚部2~3段・脚 部4~5段の波状文、脚部横削と刮削、底削削で。 内面 □口縫部斜削毛目→脚部横羽削、底部横削。	南北東 床面
8	骨生土器 盤	口径 16.2 底径 - 高さ -	上普通2赤色地3石英・チャート・バニスの 粗・細砂△口縁部→脚部上半	外面 □脚部2段の粗・細砂後合削と刮削成、脚部横羽削。 内面 □脚部横削、脚部斜削。	南北東 床面
9	骨生土器 台付盤	口径 14.7 底径 6.7 高さ 20.5	上普通2赤色地3石英・チャート・白 ミスの粗・細砂△口縁部と脚部の一部削 除	外面 □脚部3~4連止端伏文→口縁部2段(下→上)、脚部3~4段 (下→上)、脚部は7mm/10mmで共削、脚部→脚部無削で、脚部→脚部被削、 全体に滑り削材質。 内面 □脚部斜削毛目→脚部横羽削→脚部削除。	北壁近 床面
10	骨生土器 台付盤	口径 12.5 底径 7.0 高さ 19.7	上普通2赤色地3石英・バニスの粗・細砂 △口縁部1/2と脚部下半1/2削除	外面 □脚部2~3連止端伏文(7mm/13mm)→脚部4段・脚部3段の波状文、脚部 は5mm/9mmで共削、脚部横削と刮削、脚部削除で、脚部→脚部横削、 内面 □口縫部斜削毛目→脚部横羽削、脚部削除。	南北東穴 壁
11	骨生土器 高杯	口径 - 底径 (9.8) 高さ -	(1)普通2赤色地3石英、角閃石・ 赤粒の粗・細砂△脚部1/2	外面 □脚部横羽毛目→2条の突起→赤彩→混削き。 内面 □脚部赤わ→横削き。	覆土
12	骨生土器 鉢	口径 8.8 底径 4.6 高さ 4.8	上普通、脚部外側に黒斑3赤色3石英、 角閃石・バニスの粗・細砂△完形	外面 □脚部2~3連止端伏文→脚部横羽削、底部横削、 内面 □脚部2~3連止端伏文→脚部横羽削→底部赤引→横削き。	南北東 床面
13	骨生土器 鉢	口径 (14.2) 底径 7.7 高さ -	上普通、底部外側に黒斑3浅黃褐色 △石英・角閃石・バニス、赤粒の粗・細 砂△口縁部1/2と脚部上半	外面 □脚部横羽削で、体部斜削削で、底部無削。 内面 □脚部横羽削、体部→底部削無削。	南北東 床面
14	骨生土器 盤	口径 - 底径 - 高さ -	(1)普通、底部外側に黒斑3赤色3石英、 角閃石・バニスの粗・細砂△脚部断片	外面 刷部脚部伏文と2段以上の長井の波状文(7mm/10mm)。 内面 脚部横羽削で。	覆土

第117表 12・13・14・15号住居出土土器観察表

番号	測 検	法 番 (N)	①焼成2色調3粒±残存	成・整形技術の特徴		出土位置
				外面	内面	
15	弥生上層 漆器	山住一 山住二 山住三	①普通2にない黃褐色3粒石英・石片・バ ミスの粗=細砂+底部破片	外面：肩部3段以上の粗面横彫羽状(7面/12mm)→底部下端3連止め 彫伏状(9面/15mm)。 内面：底部構造が見難い。		土壇上・21号 室跡
16	弥生上層 漆器	山住一 山住二 山住三	①普通2黄褐色3角石英・チャート・バ ミス・赤鉄の粗=細砂+底部破片	外面：底部横彫羽状(7面/11mm)。 内面：底部構造が見難い。		土壇上
17	弥生上層 漆器	山住一 山住二 山住三	①普通2にない黃褐色3角石英・バミス・ 赤鉄の粗=細砂+底部破片	外面：底部横彫羽状(7面/11mm)。 内面：底部構造が見難い。		土壇上
18	弥生上層 漆器	山住一 山住二 山住三	①普通2色調3粒石英・石英の粗=細砂+ 底部破片	外面：底部横彫羽状(7面/11mm)。 内面：底部構造が見難い。		土壇上
19	弥生上層 漆器	山住一 山住二 山住三	①普通2にない黃褐色3粒石英・角石英・ バミスの粗=細砂+底部破片	外面：底部横彫伏状(7面/11mm)。 内面：底部構造が見難い。		土壇上
20	加工刀彫器	藤原部屋(外削面圖)	外削面圖(外削面圖)の側面を打ち欠く。径3.3cm～3.6cm、石英・バミスの粗=細砂多く含む。			土壇上

16 畫作

番号	種類	法長(m)	①焼成色調3粒付残存	成・整粒技法の特徴		出土位置
				外面	内面	
1	祭主上層 盤	径12.1 厚11.3 高34.4	①表面浅色褐色③岩片・バーミス・赤粒 の粗・細沙子による定形	外縁部・腹面上部斜面手彫刻・底部22分格の腰脚圓墻状文(13束/20mm)・内縁部・底盤、足部5~7束の波紋文(上→下→上、13束/20mm)・脚部下部一括低部、脚部中位にレリーフ伏火付着。 内面	①縦縫部・側面横溝痕跡、底部痕。	東壁沿い 東面

17 緒論

番号	施 種	法量 (cm)	焼成2色調法上木残存		成・整型技法の特徴		出土位置
			上木	下木	側面	側面	
1	仰生上木 裏	11.9	①浮き上木に隣接する箇所に無理矢理薄黄色3分割 引子の粗い部分、バスク、他の木の一部、細鉛 3箇所で解剖1/2	②	側面 側面3箇所を秋入・解剖した際の断面剥離伏伏(上→下)→剝離 7箇所に1段の波状入、側面剥離伏伏(左→右)→剝離 2箇所で解剖1/2	側面 側面剥離伏伏(左→右)→剝離	東南東部
2	仰生上木 裏	15.0 6.7 20.9	①浮き2木間に褐色空心部・チャート・バ スの粗→細部4/4は充てん	②	上部剥離伏伏による解剖、外縁 上縁部・側面剥離伏伏目打・12箇所2段の波状入・側面6箇所の2段波状充てん(10mm/24mm)、側面1段1 箇所の波状入、側面・手部剥離伏伏、内縫 側面・頭部以下に白色糊付着物	側面 側面剥離伏伏(左→右)→剝離	西

18-944

20号件

番号	麻 種	法度 (mm)	①構成元素と主な構造		成・整形技術の内側	出上位層
			外形	内部		
1	野生上唇 脣系	L型 (16.8) 上唇 脣系 脣系	①前部に舌形の唇底板と、側部には前庭底板による前庭閉鎖。 ②前部・チャット・バックスの組合せ。 ③側部1/4と側縫隙半3/4	外形：口頭部横幅で、頭部斜面斜削毛刃（→頭部等頭膜開放咬合、7角筒13mm）、前庭部の横径改変（上→下、6度/13mm）→解剖しない箇所で、側方咬合の異常を防ぐ。 内部：口頭部等頭膜開放咬合。	土壌	
2	野生上唇 脣系	L型 脣系 脣系	①伴走赤色3片舌苔+バミス、赤核の組合せ。 ②脣系1/3基部+側縫隙1/2	外形：上唇半2倍以上張り（8倍/12mm）→頭部・脣部斜面改変→口頭部・脣部上半赤型→二段部・脣部斜面崩落。 内部：全体に剥離と創縫。	北西部 床面	
3	野生上唇 脣系	L型 脣系 脣系	①伴走2/3+白黒複合3舌苔、チャット+バミス、赤核の組合せ。 ②脣部の組合せ。	外形：頭部斜面毛刃→赤筋埋め込による多角形の又彎表面→赤影部剥離。頭部斜面削毛刃。 内部：頭部斜面削毛刃。	ビット	
4	野生上唇 脣系	L型 9.6 脣系 脣系	①伴走赤色3舌苔+チャット+バミス、赤核の組合せ。 ②脣部の組合せ。	外形：頭部等頭膜開放咬合。 内部：頭部等頭膜開放咬合。	髪縫内	
5	野生上唇 脣系	L型 (10.3) 脣系 脣系 5.8	①伴走赤色3片舌苔+チャット+バミス、赤核の組合せ。 ②脣部の組合せ。	外形：頭部等頭膜開放咬合。 内部：頭部等頭膜開放咬合。全体に剥離。	土壌	

第118表 15·16·17·18·20号住居址出土土器觀察表

## 21号住

番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3脚土器残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 19.6 底径 - 高さ -	上普通2色焼青褐色3片剥・チャート・赤粒の粗・細砂付口縁部・肩部上半1/2 底径 - 高さ -	外面 口縁部斜削毛目→口縁部横削で→頭部3段止巻状文→肩部2段の横削毛目→ひばらな横巻き。側面斜削毛目→ひばらな横巻き。 内部 口縁部斜削毛目、側面横削毛目。	覆土
2	弥生土器 鉢	口径 12.7 底径 4.1 高さ 4.7	上普通2色焼3片剥・チャート・赤粒の粗・細砂付口縁部1/2欠損	外面 口縁部1体部赤引→口縁部横削毛目・体部斜削毛目、底部旋削毛目。 内部 口縁部→赤部赤引→口縁部横削毛目・体部→底部旋削毛目。	覆土
3	弥生土器 便	-	上普通2色焼3片剥・チャート・赤粒の粗・細砂付口縁部破片	外面 頭部2段止巻状文→口縁部2~3段の波状文。 内部 口縁部斜削毛目→まばらな横巻き。	覆土
4	弥生土器 便	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2色焼3片剥・チャート・赤粒の粗・細砂付口縁部破片	口縁部斜削毛目による粗面。 外面 口縁部1段以上の波状文を重ねる(10mm/12mm)。 内部 口縁部斜削毛目→まばらな横巻き。	覆土
5	弥生土器 便	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2色焼3片剥・チャート・赤粒の粗・細砂付口縁部破片	外面 斜削3段の横筋直巻文(上→下、13mm/14mm)→肩部2段波状文→一部横削と旋削。 内部 斜削3段の横筋直巻文。	覆土
6	弥生土器 便	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2色焼3片剥・チャート・赤粒の粗・細砂付口縁部破片	外面 頭部3段止巻状文→肩部2段の横筋直巻文(8mm/13mm)。 内部 口縁部斜削毛目。	覆土
7	弥生土器 便	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2色焼3片剥・チャート・赤粒の粗・細砂付口縁部破片	外面 肩部斜削毛目→頭部2段止巻状文→肩部2段の横筋直巻文(8mm/13mm)。 内部 口縁部斜削毛目。	覆土

## 23号住

番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3脚土器残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 壺	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2色焼3片剥・チャート・バミス・赤粒の粗・細砂付口縁部	口縁部と肩部の粗面の形態と肩部内部の横削(倒立上台輪軸用)。 外面 口縁部斜削毛目・肩部5段型の4段止巻状文・肩部2段以上の横筋直巻文→横筋直巻下部・側面は14mm/17mmで共通。側面横削毛目・底部斜削毛目、側面無削。	南面部床面
2	弥生土器 便	口径 13.5 底径 6.3 高さ 21.0	①普通、口縁部→肩部外縁に黒度2色焼3片剥・バミスの粗・細砂付口縁部 ②普通、口縁部→赤粒の粗・細砂付口縁部	外面 口縁部斜削毛目→頭部8分割の2段止巻状文→口縁部1段・肩部2段(上→下)の波状文。側面は10mm/15mmで共通。側面横削毛目・底部斜削毛目、側面無削。 内部 口縁部斜削毛目。	北東部床面
3	弥生土器 便	口径 - 底径 - 高さ -	上普通、肩部外縁に黒度2色焼3片剥・バミスの粗・細砂付口縁部 ③普通、口縁部→赤粒の粗・細砂付口縁部	外面 肩部斜削毛目→頭部多段止巻状文→肩部斜削直下文→肩部下端斜削毛目→側面は5mm/10mmで共通。 内部 副部斜削毛目。	覆土
4	弥生土器 便	口径 - 底径 - 高さ -	①普通2色焼3片剥・チャート・赤粒の粗・細砂付口縁部 ②普通2色焼3片剥・赤粒の粗・細砂付口縁部 ③同一	外面 副部斜削毛目→頭部斜削直文→肩部1段の波状文→肩部3段以上ビットの横筋直巻文。側面は9mm/14mmで共通。 内部 副部斜削毛目→頭部斜削直文→側面無削。	ビット
5	弥生土器 便	口径 - 底径 - 高さ -	上普通2色焼3片剥・チャート・赤粒の粗・細砂付口縁部 ④同一	外面 副部斜削毛目→頭部3段以上の横筋直巻文→肩部下端波状文。側面は9mm/14mmで共通。 内部 副部斜削毛目→頭部斜削直文→側面無削。	ビット

## 2号集石

番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3脚土器残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	羽笛	口径 18.2 底径 10.2 高さ 14.2	上化成2色焼3脚土器残存	外面 口縫部横削で、肩部斜削直り、底部無削。肩部上位→中位に斜削付着。	石塊底面

## 2号土坑

番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3脚土器残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	弥生土器 高杯	口径 - 底径 18.0 高さ -	上普通2色焼3片剥・チャートの粗・細砂付口縁部1/4欠損	外面 口縫部横削で、肩部斜削直り、底部無削。肩部上位→中位に斜削付着。	石塊底面
2	台石	長さ 21.1cm、幅 14.2cm、厚さ 7.0mm、重さ 2877.8g	安山岩の扁平塊で裏面に浅い凹状の削り痕。		石塊底面

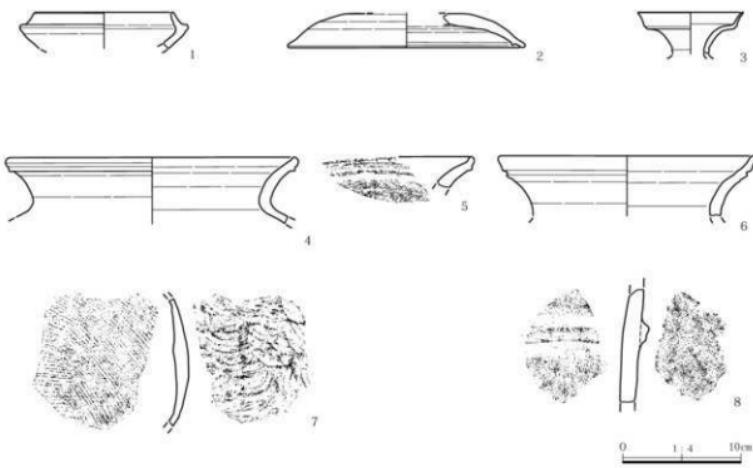
## 3号溝

番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3脚土器残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	かわらけ	口径 8.2 底径 5.5 高さ 2.2	上化成2色焼3片剥・チャートの粗・細砂付口縁部1/2欠損	人為的に打ちいたし口縫部に施削付着。 外面 底部左斜削直切り。 内部 底部中央部不定方向削撫で。	覆土
2	かわらけ	口径 12.3 底径 6.5 高さ 2.3	上化成2色焼3片剥・チャート④1/3	外面 底部斜削直切り。口縫部外縁に施削付着。	覆土

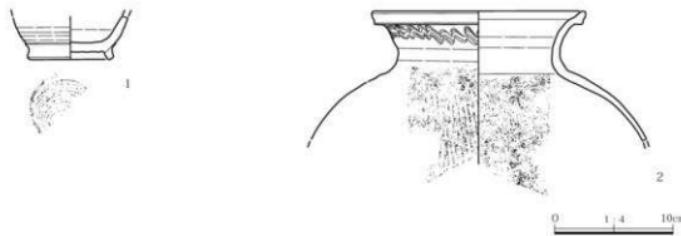
## 調査区一括

番号	器種	法量(cm)	①焼成2色調3脚土器残存	成・整形技法の特徴	出土位置
1	重箱形 壺	口径 (18.4) 底径 - 高さ -	上漫光2色焼3脚石英石・バミスの粗・細砂付口縁部1/4	外面 天井部斜削直切り。	調査区

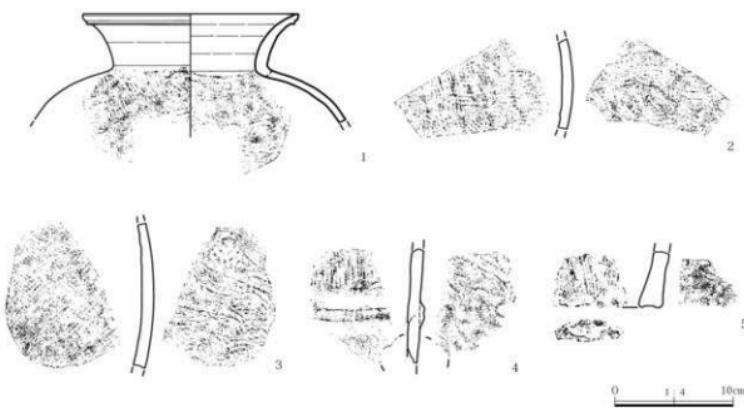
第119表 21・23号住居址、2号集石、2号土坑、3号溝、調査区一括出土土器觀察表



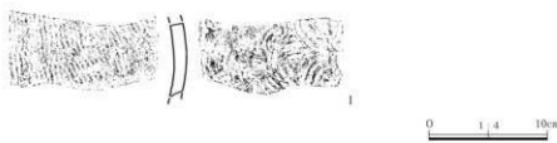
第244図 1号古墳出土土器・埴輪実測図



第245図 2号古墳出土土器実測図



第246図 3号古墳出土土器・埴輪実測図



第247図 4号古墳出土土器実測図



第248図 3号古墳出土土器実測図

番号	種類	計測値(cm)	成形・調整等の特徴				胎土・色調	備考
1	須恵器 环	口径 (11.6) 底径 — 高さ —	ロクロ整形。				チャート・黑色粒 灰白色	小片。
2	須恵器 蓋	口径 (20.0) 底径 —	ロクロ整形。天井部凹軸へラケズリ。内面に凹りを持つ。				チャート・石英・ 白色粒 灰色	1/4残存。 口縁部片。
3	須恵器 盤	口径 (9.0) 底径 — 高さ —	口縁部ロクロ整形。				石英・白色粒 黒色	口縁部片。 内面に灰かぶり。
4	須恵器 盤	口径 (24.8) 底径 — 高さ —	口縁部ロクロ整形。				チャート・黑色粒 灰色	口縁部1/2残存。
5	須恵器 盤	口径 (41.4) 底径 — 高さ —	口縁部ロクロ整形。外面に波状文。				チャート・石英・ 白色粒 にびい赤褐色	口縁部小片。
6	須恵器 盤	口径 (21.6) 底径 — 高さ —	口縁部ロクロ整形。				白色粒・白色粒 灰白色	口縁部片。
7	須恵器 盤	口径 — 底径 — 高さ —	外面、網格子目タキ。内面、同心円文。				チャート・石英・ 白色粒 灰黄色	胸部片。
番号	種類	計測値(cm)	実帶 断面形状	透孔 形状	ハケ 幅・横 /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
8	円筒埴輪		台形 ～ 低M字	—	—	不明 外面 タチハケ(削減する)。 内面 指ナデ(削減する)。	チャート・凝灰岩 棕色	切れ込みと思われる。

第120表 1号古墳出土土器・埴輪観察表

番号	種類	計測値(cm)	成形・調整等の特徴				胎土・色調	備考
1	須恵器 (瓶)	口径 — 底径 (7.2) 高さ —	ロクロ整形。底部回転糸切り後、高台付付。				チャート・無砂 粒 灰色	底部1/2残存。
2	須恵器 盤	口径 — 底径 — 高さ 18.0	外面、口縁部に波状文。制部は平行タキ。内面、口縁部はロクロナデ。制部は同心円文後にナデ。				白色粒・黑色粒 灰色	

第121表 2号古墳出土土器観察表

番号	種類	計測値(cm)	成形・調整等の特徴				胎土・色調	備考
1	須恵器 盤	口径 — 底径 — 高さ (18.2)	ロクロ整形。底部平行タキ後にナデ。内面、口縁部ロクロナデ。制部同心円文後にナデ。				白色粒・黑色粒・ 鐵砂粒 灰色	1～4号墳の破片が接合。
2	須恵器 盤	口径 — 底径 — 高さ —	外面、制部網格子目タキ。内面、制部同心円文。				白色粒・黑色粒・ 鐵砂粒 灰色	制部片。
3	須恵器 盤	口径 — 底径 — 高さ —	外面、制部網格子目タキ。内面、制部同心円文後に一部ナデ。				チャート・凝灰岩 灰色	制部片。
番号	種類	計測値(cm)	実帶 断面形状	透孔 形状	ハケ 幅・横 /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
4	円筒埴輪		低M字 ～ 低台形	不明	—	23～25 外面 タチハケ。 内面 ナナメハケ後に一溝 ナデ。	チャート・凝灰岩 にびい褐色	切れ込みと思われる。
5	円筒埴輪		—	—	—	6 外面 タチハケ。 内面 指ナデ。	片岩・チャート 棕色	切れ込みと思われる。

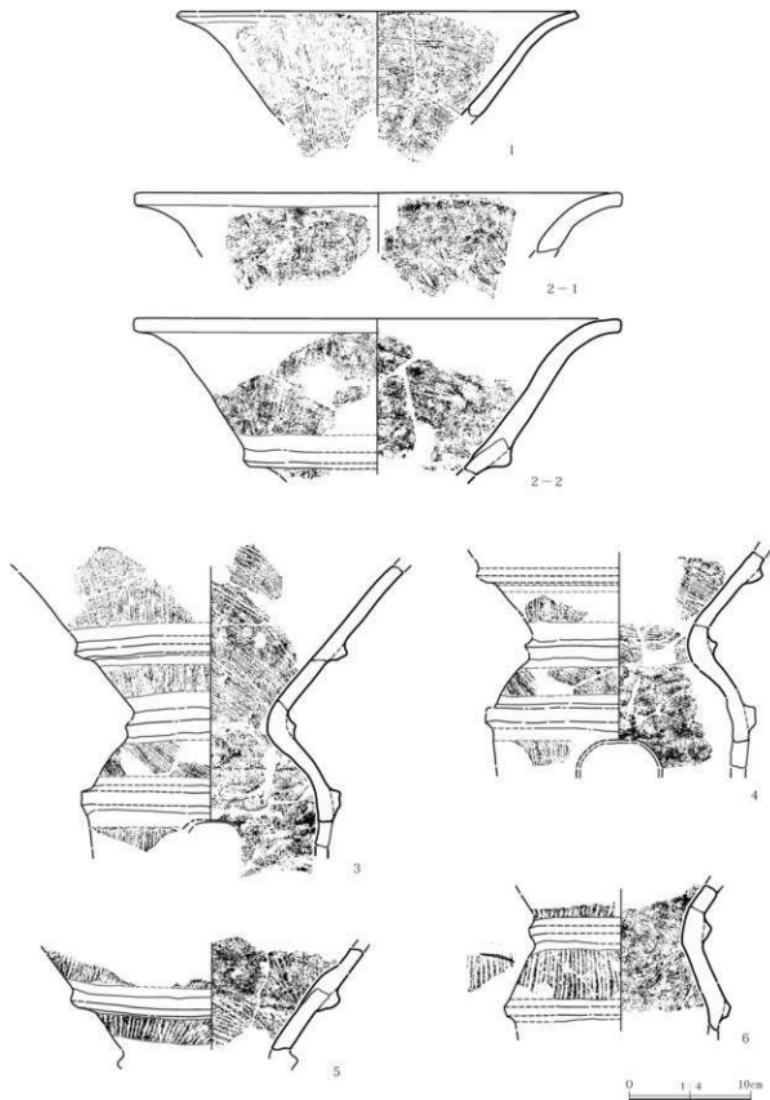
第122表 3号古墳出土土器・埴輪観察表

番号	種類	計測値(cm)	成形・調整等の特徴				胎土・色調	備考
1	須恵器 盤	口径 — 底径 — 高さ —	外面、制部平行タキ後に一部ナデ。内面、制部同心円文。				白色粒・白色粒・ 鐵砂粒 黄灰色	制部片

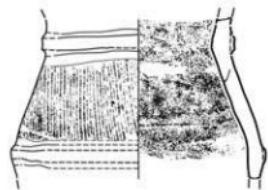
第123表 4号古墳出土土器観察表

番号	種類	計測値(cm)	実帶 断面形状	透孔 形状	ハケ 幅・横 /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
1	円筒埴輪		低台形 (円)	—	8	外面 タチハケ。 内面 ナナメハケ後、一部ナデ。	チャート・凝灰岩 浅黃褐色	切れ込み。
2	朝形埴輪		低台形 低M字	—	6	外面 タチハケ。 内面 指ナデ。	滑面・片岩・チャ ート にびい褐色	切れ込み。

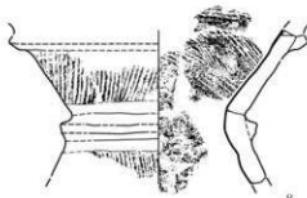
第124表 3号満出土埴輪観察表



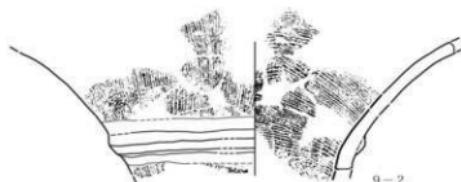
第249図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(1)



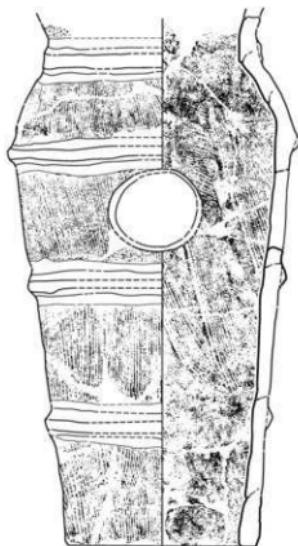
7



8



9-2

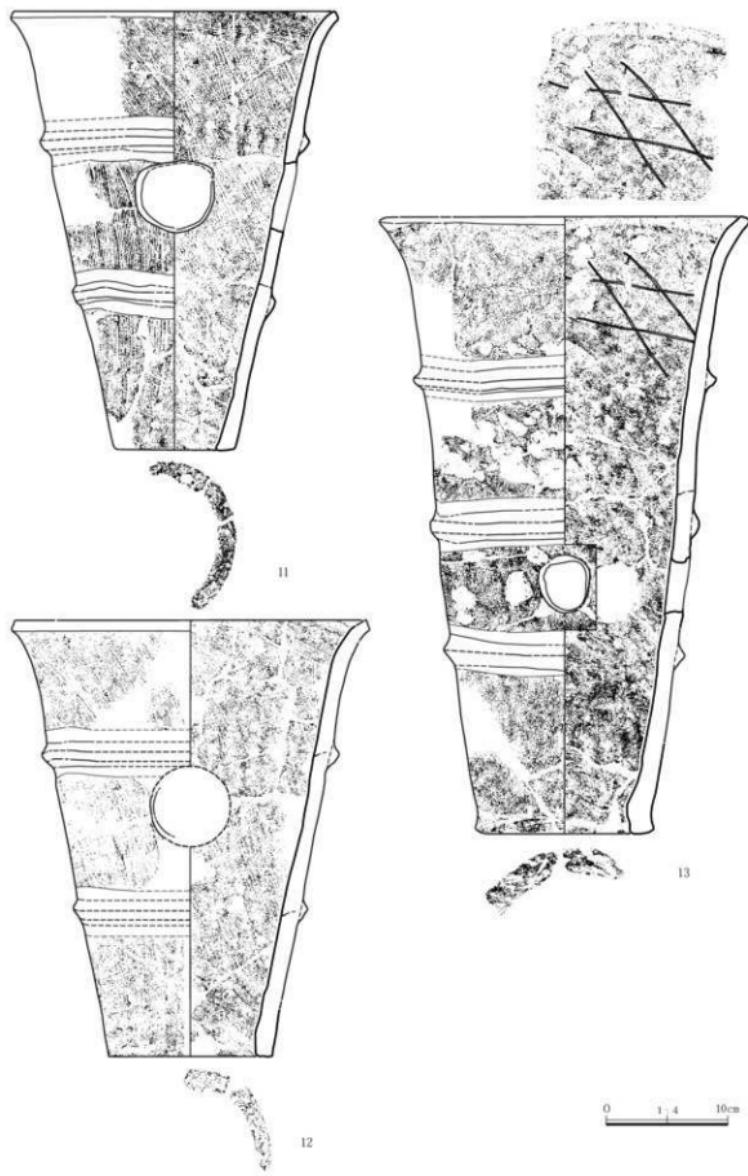


9-1

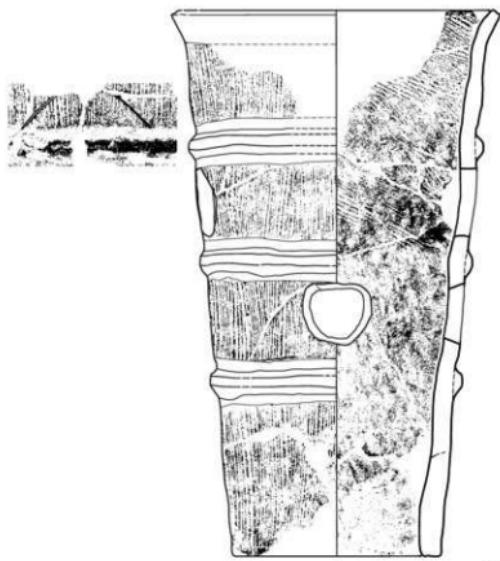


10

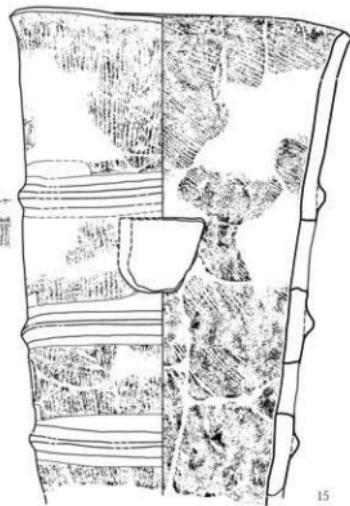
第250図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(2)



第251図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(3)



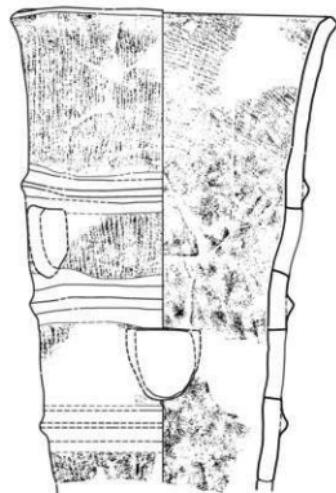
14



15



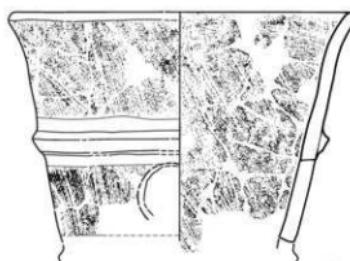
第252図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(4)



16



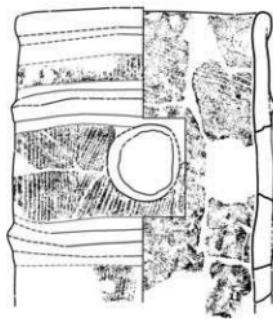
17



18



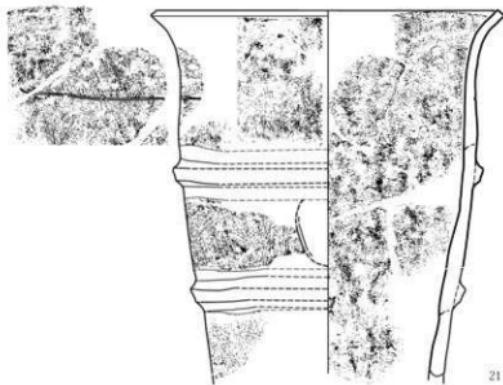
19



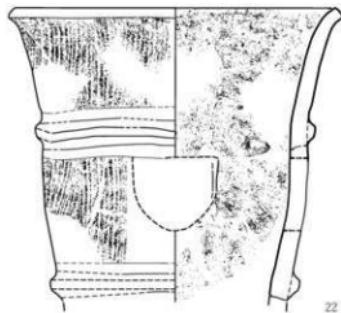
20

A scale bar at the bottom of the page, marked from 0 to 10 cm in increments of 1 cm.

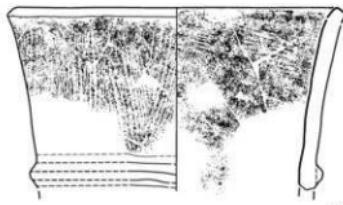
第253図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(5)



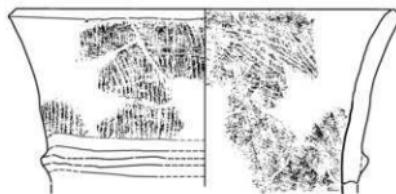
21



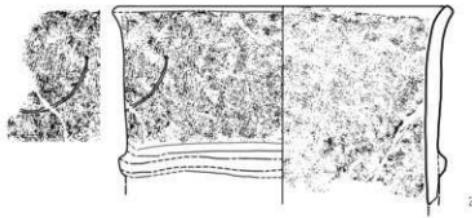
22



23



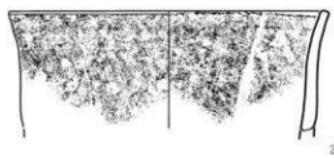
25



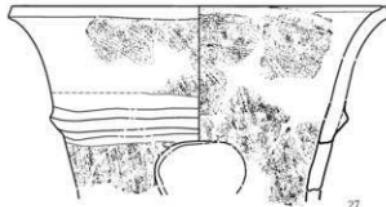
24

0 1 4 10cm

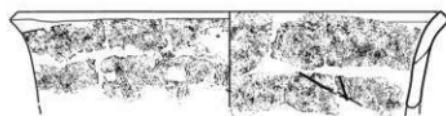
第254図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(6)



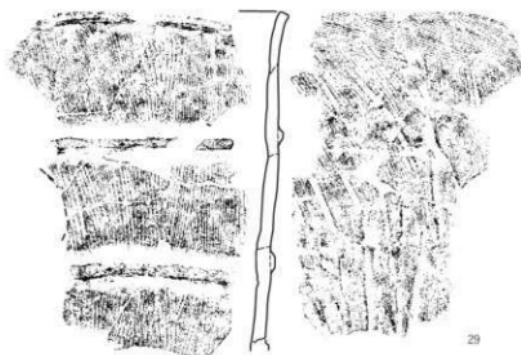
26



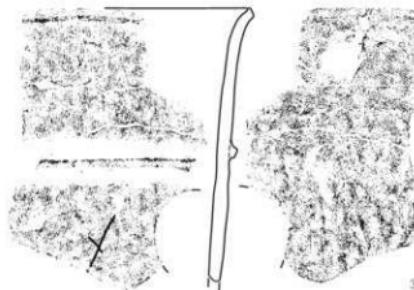
27



28



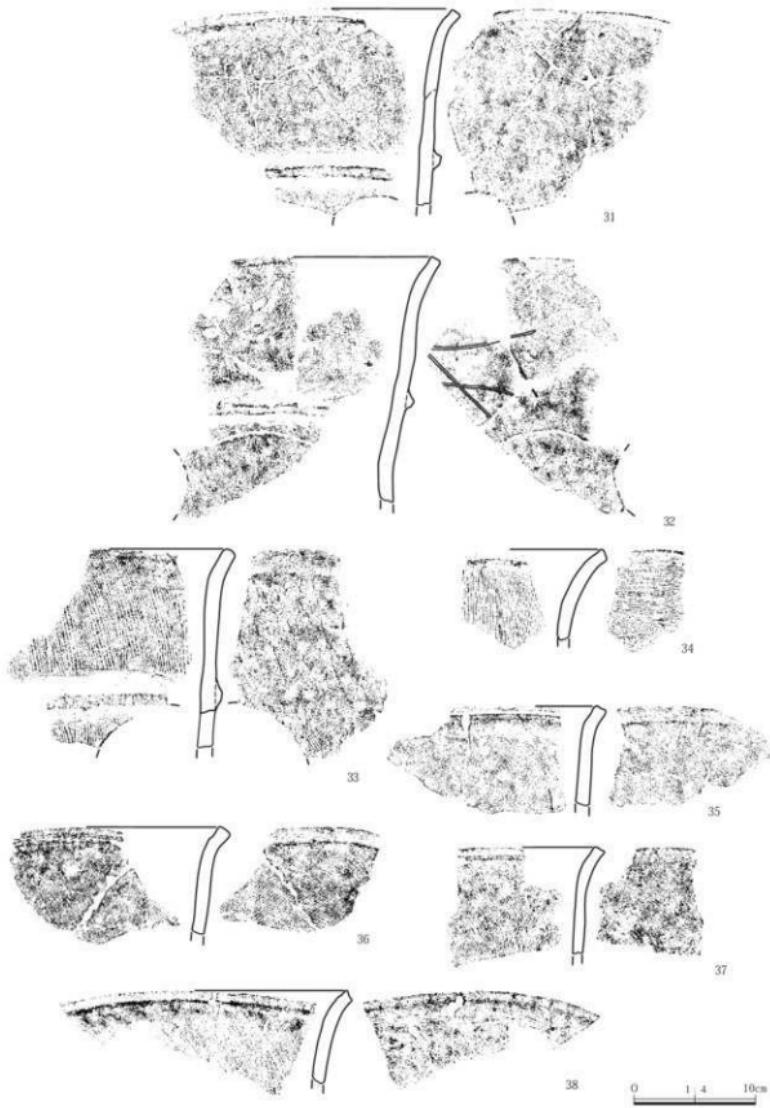
29



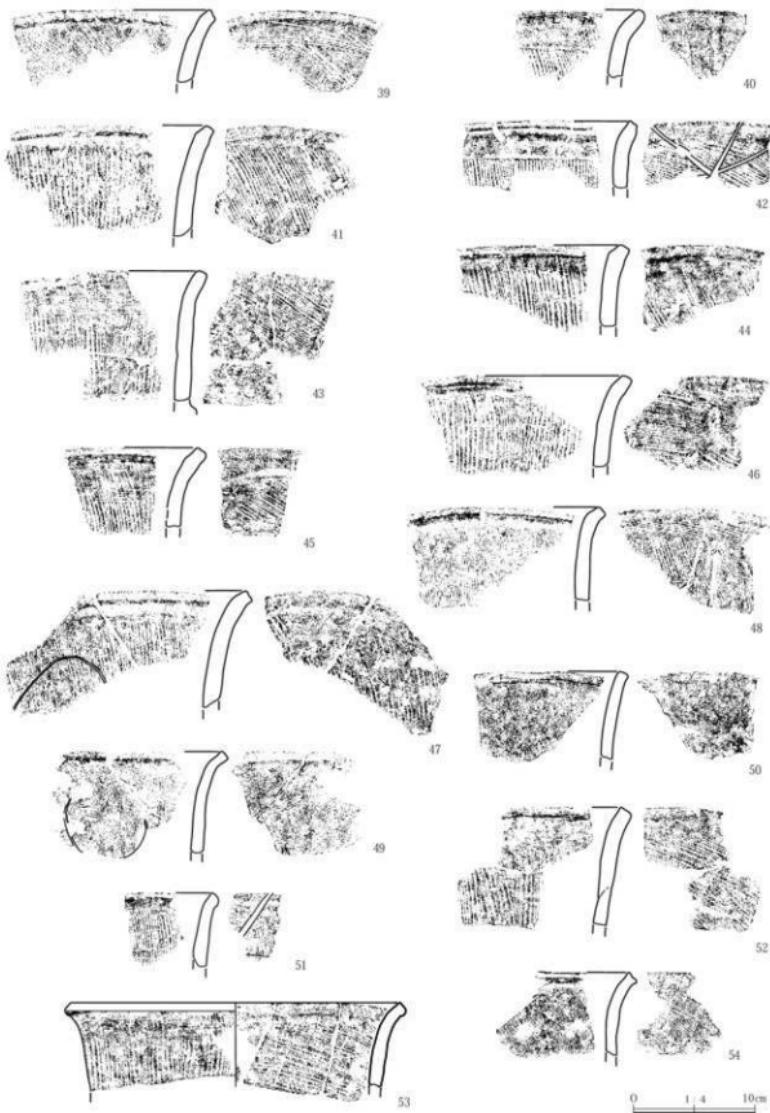
30

0 1 4 10cm

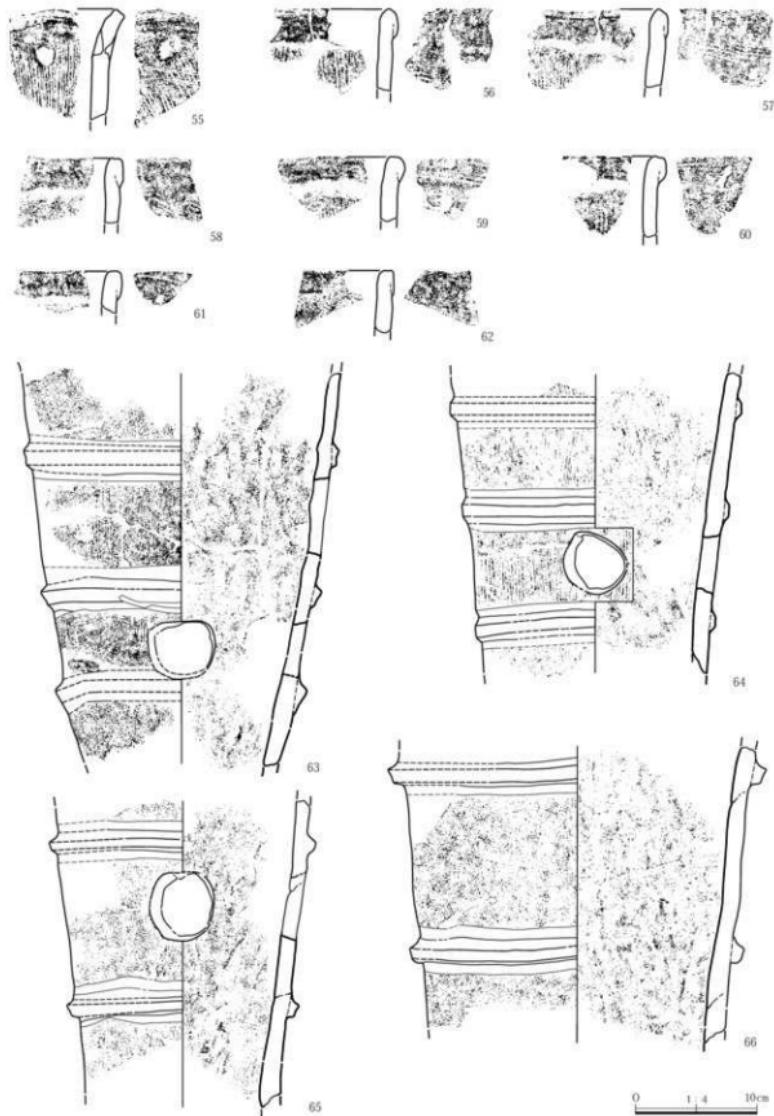
第255図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(7)



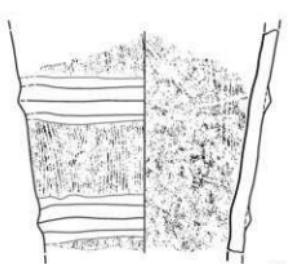
第256図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(8)



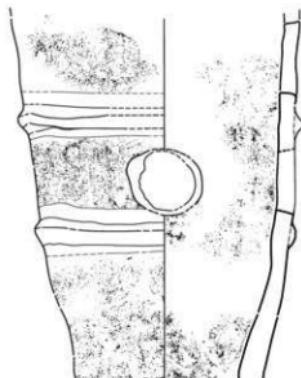
第257図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(9)



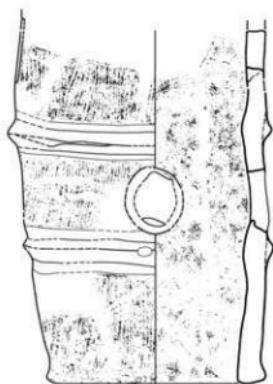
第258図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(0)



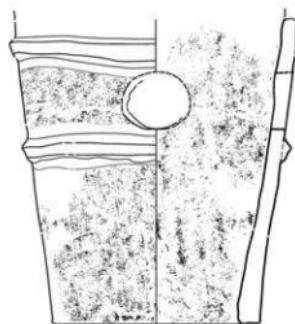
67



68



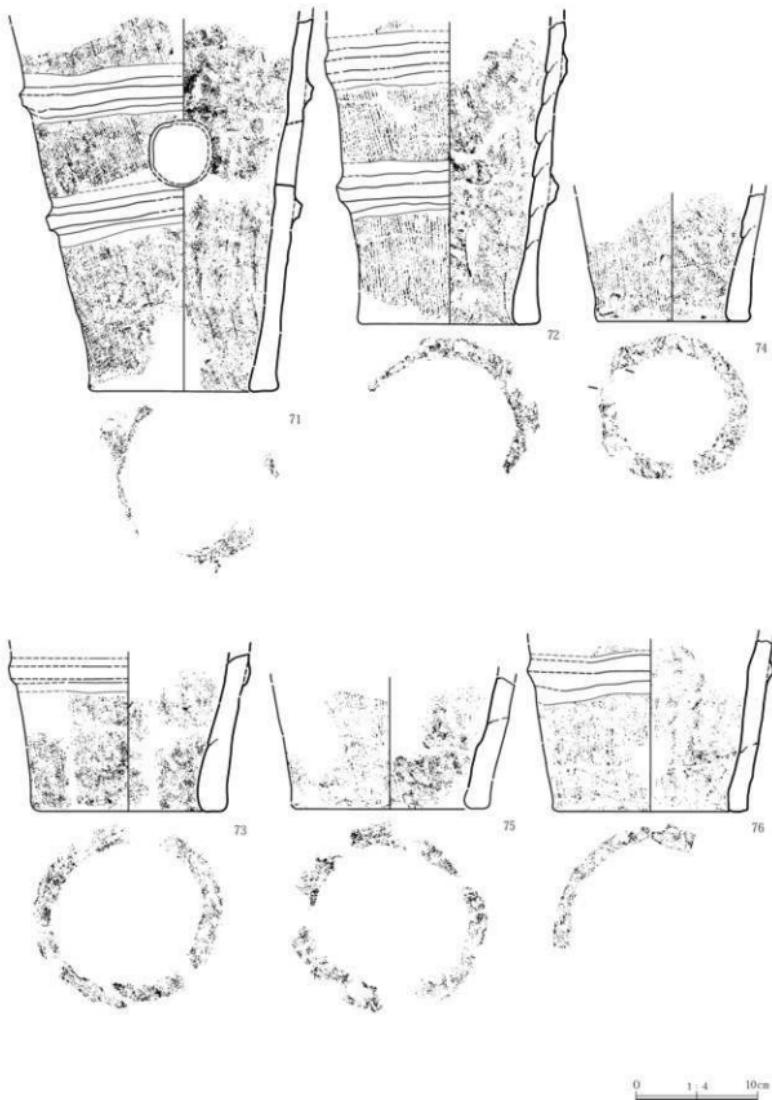
69



70

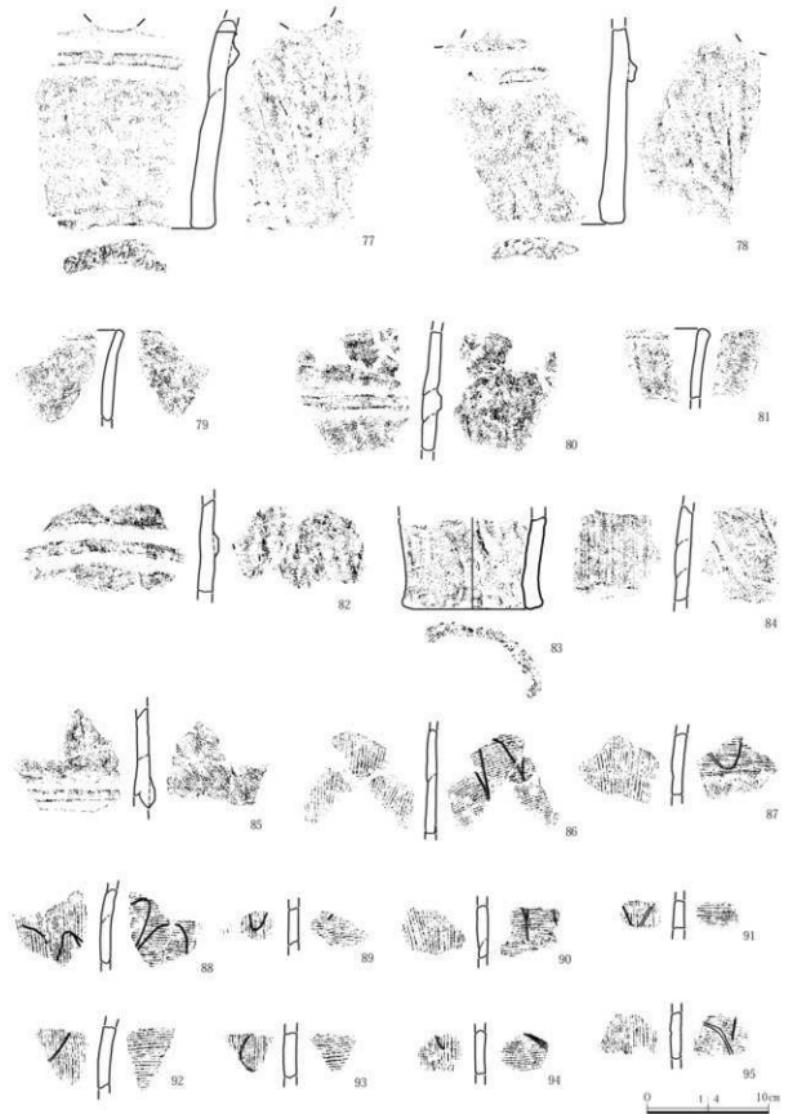
A horizontal scale bar with numerical markings at 0, 1, 4, and 10 cm.

第259図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(1)

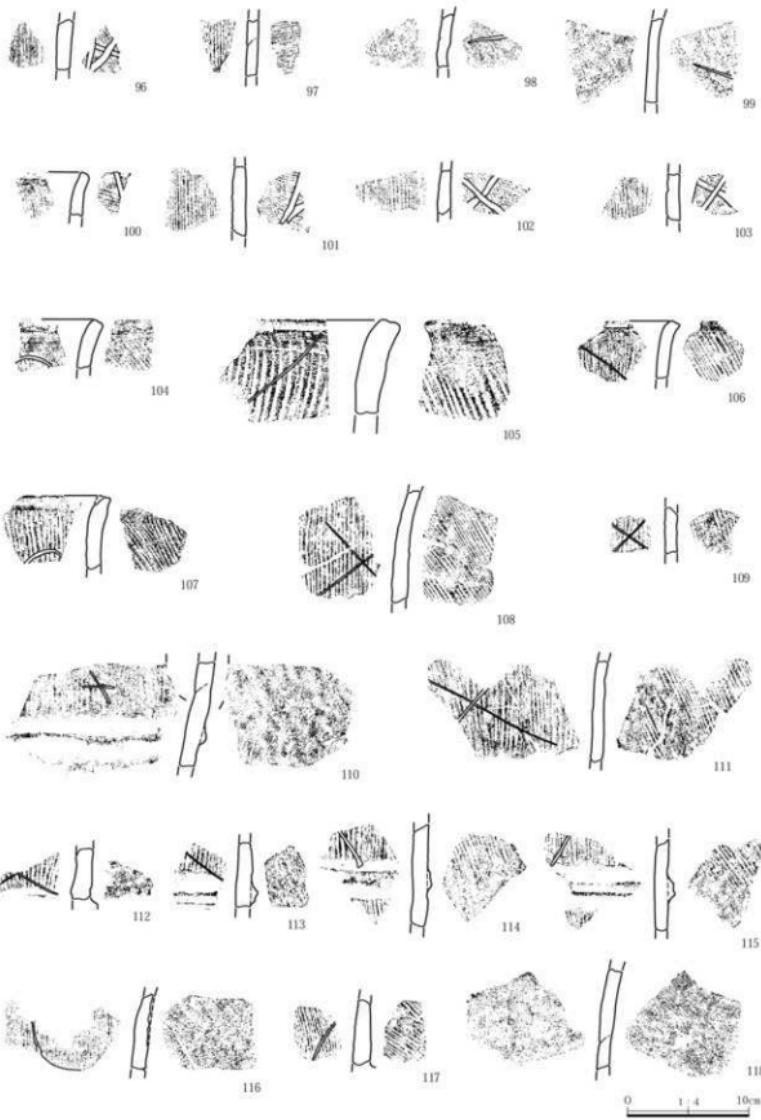


第260図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(2)

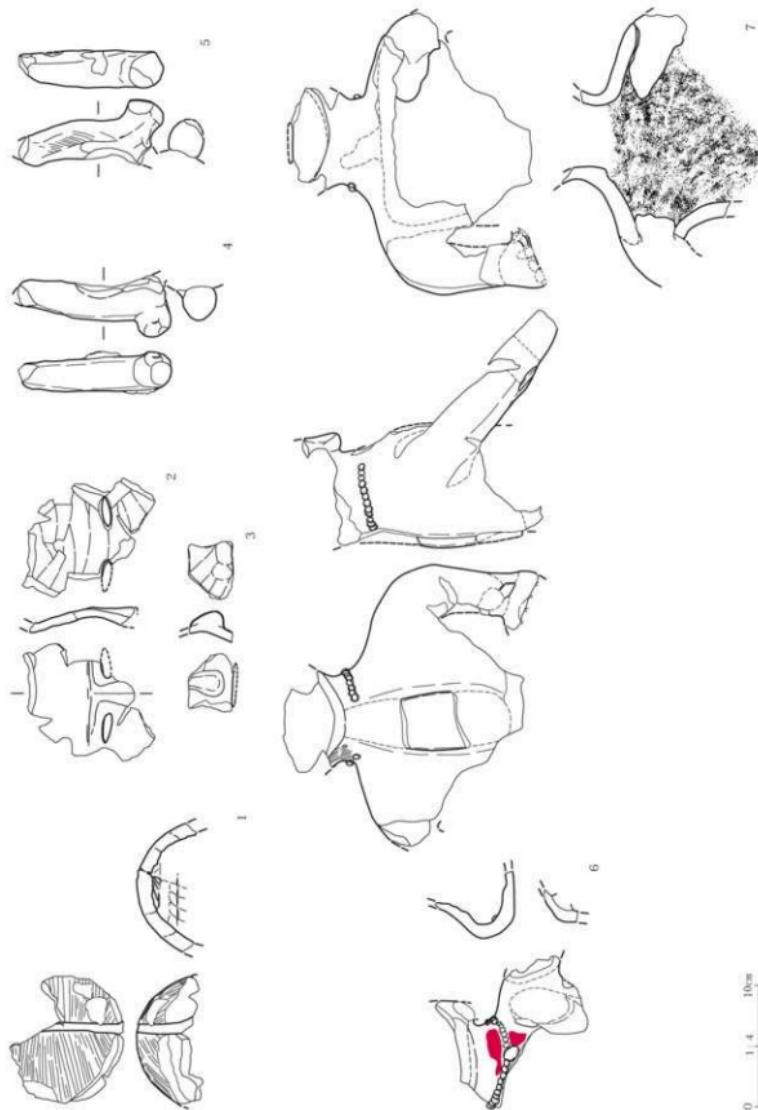
0 1-4 10cm



第261図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図(3)



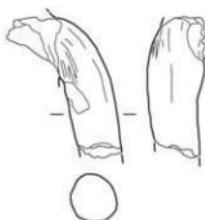
第262図 琴平山古墳出土円筒埴輪実測図④



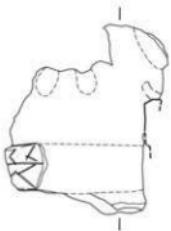
第263圖 琴平山古墳出土形象埴輪車輪(1)



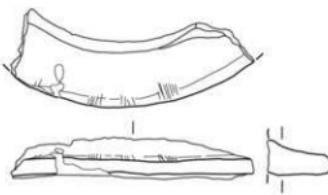
8



9



10



11



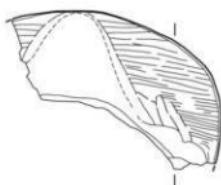
12



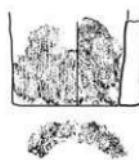
13



14

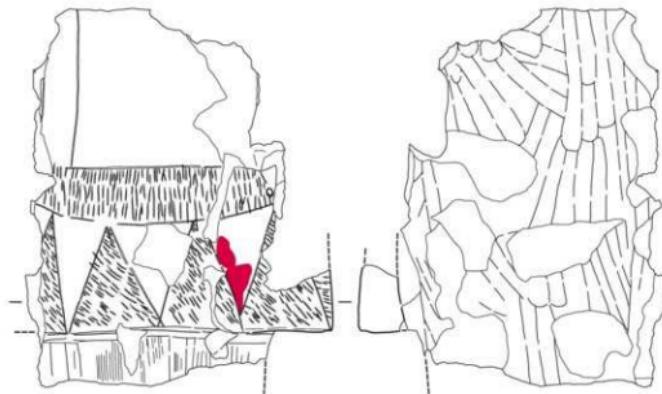


15

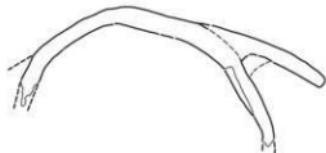


16

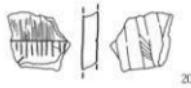
第264図 琴平山古墳出土形象埴輪実測図(2)



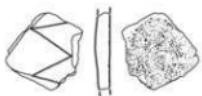
17



19



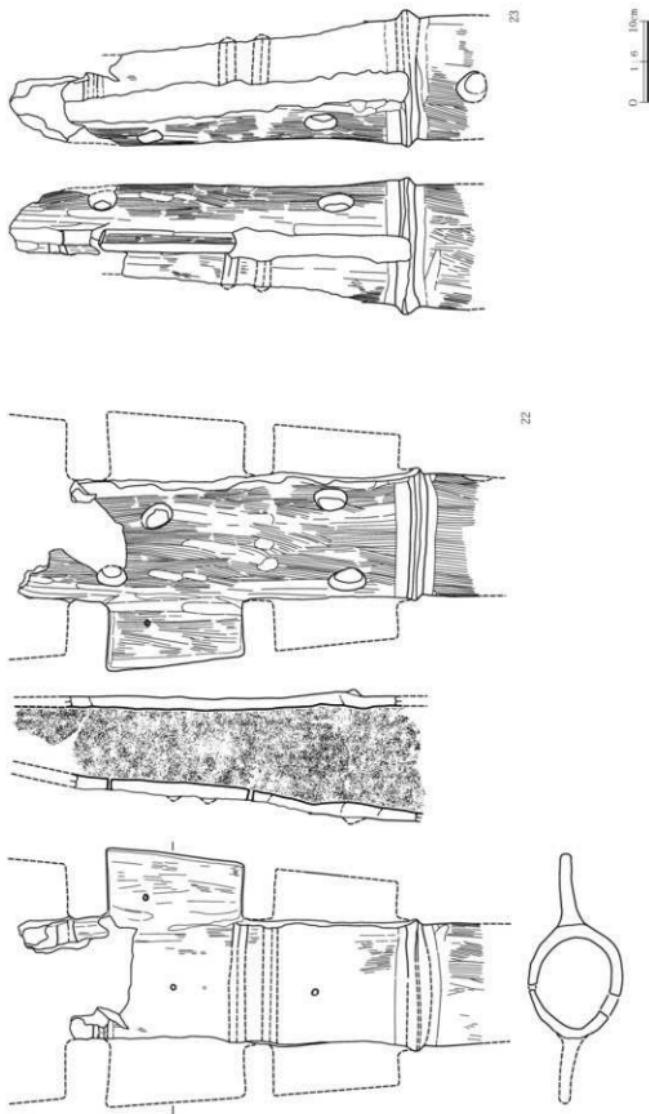
20



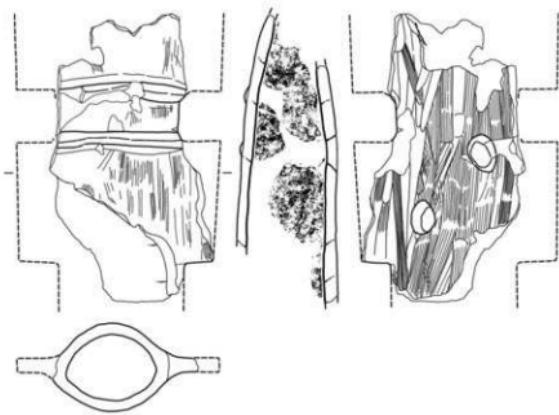
21

0 1 4 10cm

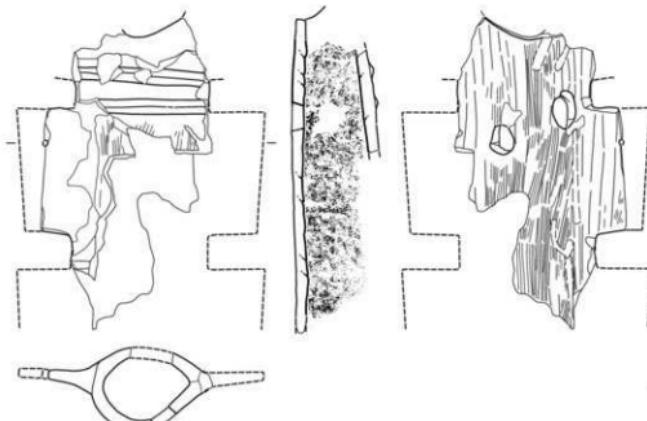
第265圖 琴平山古墳出土形象埴輪寒洞圖(3)



第266図 琴平山古墳出土形象埴輪実測図(4)



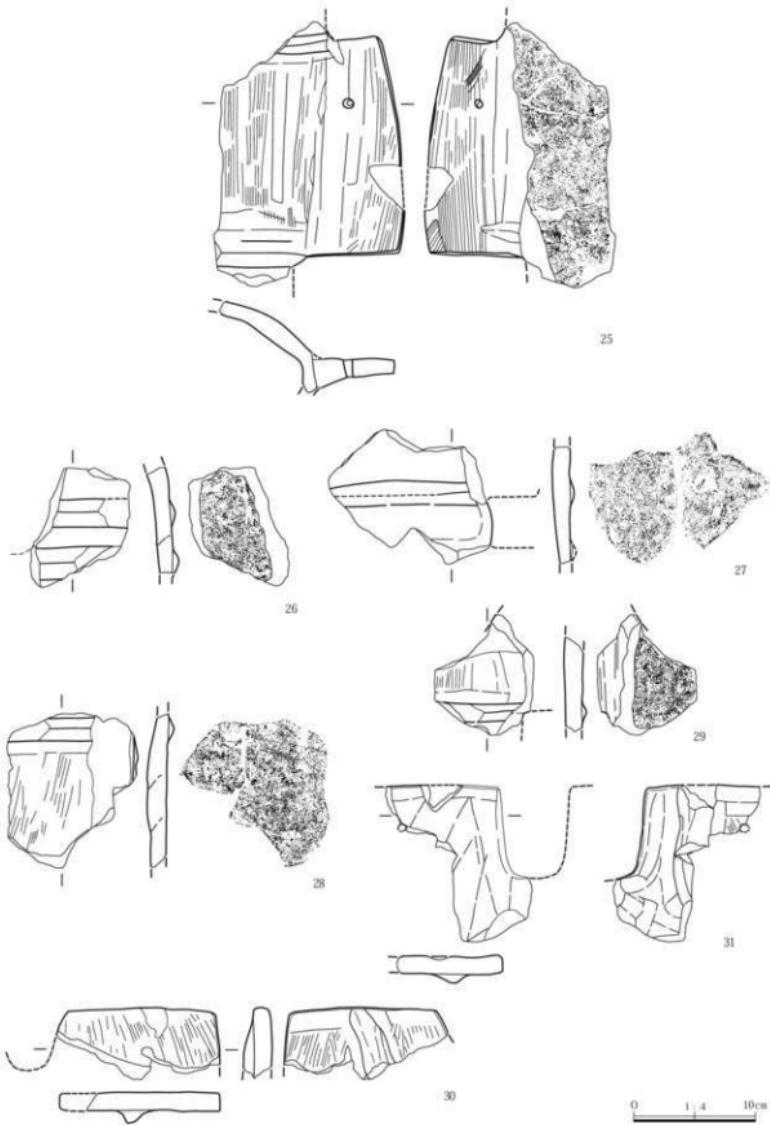
23



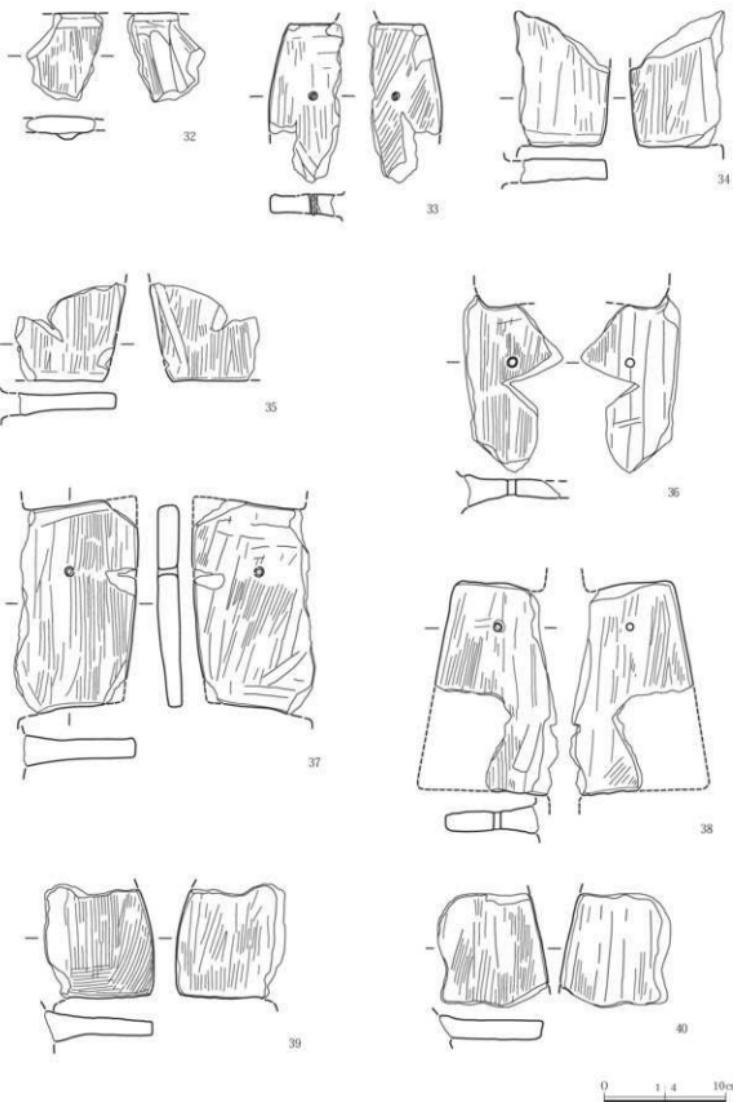
24

0 3 6 10 cm

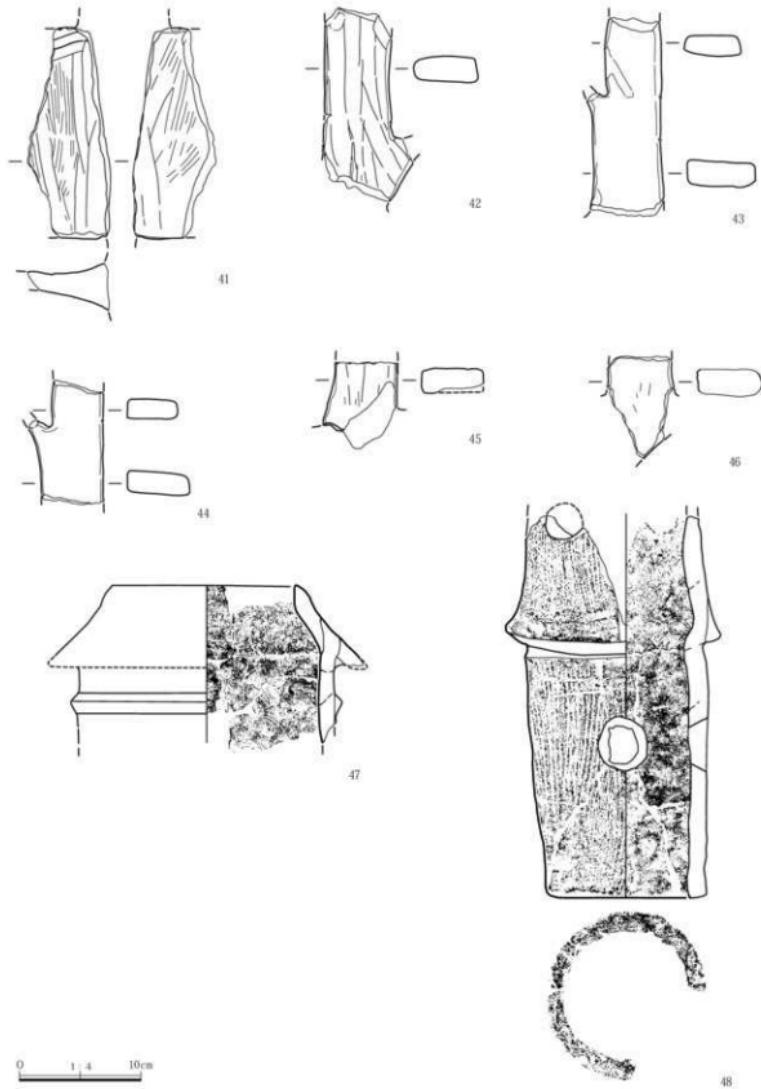
第267図 琴平山古墳出土形象埴輪実測図(5)



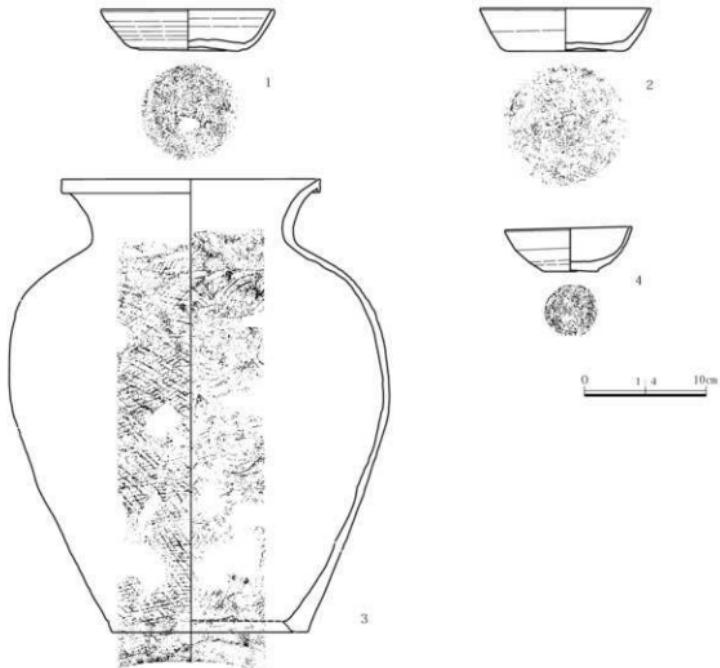
第268圖 琴平山古墳出土形象埴輪寒窓圖(6)



第269図 琴平山古墳出土形象埴輪寒闌図(7)



第270図 琴平山古墳出土形象埴輪実測図(8)



第271図 琴平山古墳出土土器実測図

番号	種類	計測値(cm)	実測値			成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	透孔	ハケ			
1	朝顔形 円筒埴輪	口径 (33.0)	—	—	—	10~15 外側 タテ・ナナメハケ。口縁部ナデ。 内側 ヨコ・ナナメハケ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色	
2	朝顔形 円筒埴輪	底径 (40.0) (6段) (11.5)	台形	—	—	6 外側 タテハケ。 内側 ハケ後ナデ。	片岩・黒母・ チャート 明赤褐色	団上復元。
3	朝顔形 円筒埴輪	(4段) 5.4 (5段) 5.9	台形 三角形	(P)	—	10~15 外側 タテハケ。第4段はナナメハケ。 内側 第4段以下、ナデ。第5段以上ナナ メハケ。	チャート・白 色粒 褐色	外面に赤色塗彩 の痕跡。
4	朝顔形 円筒埴輪	(4段) 5.4 (5段) 5.5	台形 三角形	(P)	—	6~10 外側 タテハケ。第4段はナナメハケ。 内側 第4段以下、ナデ。第5段以上ナナ メハケ。	チャート・凝 灰岩 浅褐色	外面に赤色塗彩。
5	朝顔形 円筒埴輪		台形	—	—	5~7 外側 タテハケ。 内側 ナナメハケ後ナデ。	片岩・粗粒チ ャート 明赤褐色	
6	朝顔形 円筒埴輪	(4段) 6.5	台形	—	—	5~7 外側 タテハケ。 内側 ナナメハケ。第4段ナデ。	片岩・粗粒チ ャート 明赤褐色	外面4段に細 割。
7	朝顔形 円筒埴輪	(4段) 9.1	台形	—	—	7~8 外側 タテハケ。 内側 ナデ。	チャート・赤 褐色 明赤褐色	
8	朝顔形 円筒埴輪	(5段) 6.7	台形	—	—	5~7 外側 タテハケ。 内側 第4段以下、ナデ。第5段以上ナナ メハケ。	片岩・黒母・ チャート 明赤褐色	瓶みのある腹弧 口縁。

第125表 琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(1)

番号	種類	計測値(cm)	尖部		透孔 形狀	ハゲ 幅×高 /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			形状	幅 幅					
9	朝顔形 円筒埴輪	底径 1段 16.0 2段 10.6 3段 11.4 4段 11.3 5段 7.7 6段 —	低台形 ～ 三角形	円 (6.7×7.7)	14～15	外面 タテハケ。 内面 第1段ナデ。第2～3段ナナメ・タ テハケ後に一部ナデ。第4段ナデ。 第5～6段ヨコ・ナナメハケ。	ナナメト・凝 灰岩 明黄褐色	6段構成。外側 第3～6段に赤 色擦彩。	
10	朝顔形 円筒埴輪	底径 1段 12.7 2段 7.8 3段 10.1 4段 11.1 5段 10.1	台形	円 7.3×(6.7)	11～15	外面 タテハケ。 内面 指ナデ。	片岩・粗粒子 チャート 橙色	7段構成と想定 される。第2・ 4段に透孔。	
11	円筒埴輪	口径 36.0 35.8 底径 (10.0) 1段 12.2 2段 13.1 3段 10.7	台形	円 5.9×6.5	6～15	外面 タテハケ。口縁部弱いヨコナデ。 内面 ヨコ・ナナメハケ。突部背面に指頭 压痕。	粗粒チャート・ 白色粒 明黄褐色	3段構成。	
12	円筒埴輪	口径 (29.4) 35.8 底径 (13.4) 1段 12.4 2段 12.7 3段 11.0	台形	(円)	—	6～11	外面 タテハケ。口縁部弱いヨコナデ。 内面 ナナメハケ。第1段下位ナデ。突部 裏側に指頭压痕。	粗粒チャート・ 白色粒 橙色	3段構成。第2・ 3段外側に赤色 擦彩。
13	円筒埴輪	口径 50.5 50.5 底径 (14.7) 1段 10.6 2段 11.1 3段 11.6 4段 13.2	台形 ～ 三角形	円 4.8×4.2	12	外面 タテハケ。第4段はやナナメハケ。 内面 口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・ 白色粒 橙色	4段構成。第4 段内面に紅斑。	
14	円筒埴輪	口径 (27.4) 44.8 底径 (16.8) 1段 14.8 2段 9.8 3段 9.5 4段 10.7	台形	円 5.1×5.7	7～8	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後、第3段以下ナデ。口 縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・ チャート 橙色	4段構成。第4 段外側に紅斑。	
15	円筒埴輪	口径 (28.1) 2段 8.6 底径 (3.5) 1段 11.5 2段 15.1	台形 ～ 三角形	半円 6.4×7.1	6	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、第3段以下ナデ。口 縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・ チャート 橙色	4段構成。第3 段外側に紅斑。	
16	円筒埴輪	口径 26.9 2段 (9.7) 底径 (3.5) 1段 9.5 2段 14.1	台形 ～ 三角形	半円 5.9×(6.0)	6	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、第3段以下ナデ。口 縁部ヨコナデ。	片岩・チャー ト 橙色	4段構成。	
17	円筒埴輪	口径 33.1	—	—	—	10～13	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 橙色	4段構成。
18	円筒埴輪	口径 (28.5) 3段 10.4	台形	(円)	—	10～12	外面 タテハケ。第3段はやナナメハケ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。突部 裏側に指頭压痕。	粗粒チャート・ 凝灰岩 橙色	3段構成と想 定。外側第2・ 3段に赤色擦 彩。
19	円筒埴輪	口径 (26.4) 4段 11.3	台形 ～ 三角形	半円	—	12～14	外面 タテハケ。第4段はやナナメハケ。 内面 ナナメハケ後ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 橙色	4段構成と想 定。
20	(円筒基台)	口径 (21.1) 3段 10.4 4段 7.7	三角形	円 6.3×6.0	6～7	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメハケ後、第3段以下中心にナ デ。	片岩・雲母・ チャート 橙色	4段構成と想 定。外側第2・ 3段に透孔。 組合せ式 器財埴輪の円筒 基台部。	
21	円筒埴輪	口径 (29.0) 3段 10.0 4段 13.0	台形 (半円)	—	12	外面 タテハケ。第4段上位に指頭压痕。 内面 ナナメハケ後。第4段中位以下節ナ デ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 黃褐色	4段構成と想 定。第4段外側 に紅斑。第2・ 3段に透孔。	
22	円筒埴輪	口径 (27.4) 4段 12.3 底径 (9.8)	台形 (半円)	—	6	外面 タテハケ。 内面 ナデ。	片岩・雲母・ チャート 橙色	4段構成と想 定。	
23	円筒埴輪	口径 (28.0) 4段 12.5	台形	—	—	10～12	外面 タテハケ。 内面 第4段ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 橙色	4段構成と想 定。第4段外側 に紅斑。
24	円筒埴輪	口径 (27.8) 4段 13.5	台形	—	—	5～8	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後。指ナデ。	片岩・雲母・ チャート 橙色	4段構成と想 定。
25	円筒埴輪	口径 (32.3) 4段 12.3	台形 ～ 三角形	—	—	4～7	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨ コナデ。	片岩・雲母・ チャート 明赤褐色	4段構成と想 定。

第126表 琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(2)

番号	種類	計測値(cm)	尖部			透孔 断面形状	形狀 幅×高	ハゲ /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			前面	側面	底面						
26	円筒埴輪	口径 26.4	—	—	—	14	外面部 内面部	タテハケ。 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート。 凝灰岩 褐色		
27	円筒埴輪	口径 31.4 4段 9.2	低台形	(P)	— ×(7.5)	9~11	外面部 内面部	第3段タテハケ。第4段ナナメハケ。 ナナメハケ後、第3段以下ナデ。口 縁部ヨコナデ。	粗粒チャート。 凝灰岩 褐色	4段構成と想 定。外周第3・ 4段に赤色塗 装。	
28	円筒埴輪	口径 36.1	—	—	—	12~14	外面部 内面部	タテハケ。口縁部弱いヨコナデ。 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート。 凝灰岩 褐色	内面部無刻。	
29	円筒埴輪	3段 10.1 4段 9.8	台形	(P)	—	8	外面部 内面部	タテハケ。 ナナメハケ後に一部ナデ。	粗粒チャート。 凝灰岩 褐色	4段構成。	
30	円筒埴輪	4段 11.5	台形	円	—	12	外面部 内面部	タテハケ。 ナナメハケ後、第2段以下ナデ。口 縁部ヨコナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色	4段構成と想 定。第3段外側 に無刻。	
31	円筒埴輪	4段 11.9	台形	円	—	13	外面部 内面部	タテハケ。 ナナメハケ後、第2段以下ナデ。口 縁部ヨコナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色	4段構成と想 定。	
32	円筒埴輪	4段 11.8	台形	(P)	—	14~16	外面部 内面部	タテハケ。 ナナメハケ後、第2段以下ナデ。口 縁部ヨコナデ。	粗粒チャート。 凝灰岩 褐色	4段構成と想 定。第4段内面 に無刻。	
33	円筒埴輪	4段 11.5	台形	円	—	6~8	外面部 内面部	タテハケ。 ナナメハケ後ナデ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート。 白砂粒 に黒い黄褐色	3段構成と想 定。	
34	円筒埴輪	—	—	—	—	10~12	外面部 内面部	タテハケ。 ヨコ・ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・白 色粒 褐色		
35	円筒埴輪	—	—	—	—	12~14	外面部 内面部	ナナメハケ。 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・白 色粒 褐色		
36	円筒埴輪	—	—	—	—	12~14	外面部 内面部	ナナメハケ。 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート。 凝灰岩 褐色		
37	円筒埴輪	—	—	—	—	11~14	外面部 内面部	ややナナメハケ。	粗粒チャート。 凝灰岩 褐色		
38	円筒埴輪	—	—	—	—	10~11	外面部 内面部	ナナメハケ。 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨ コナデ。	粗粒チャート。 凝灰岩 黃褐色		
39	円筒埴輪	—	—	—	—	10	外面部 内面部	ナナメハケ。 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート。 凝灰岩 浅灰色	外面部に赤色塗 装の痕跡。	
40	円筒埴輪	—	—	—	—	8	外面部 内面部	タテハケ。 ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色		
41	円筒埴輪	—	—	—	—	5~6	外面部 内面部	タテハケ。口縁部ヨコナデ。 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・ チャート 褐色		
42	円筒埴輪	—	—	—	—	8	外面部 内面部	タテハケ。口縁部ヘラナデ。 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色	内面部無刻。	
43	円筒埴輪	—	—	—	—	9	外面部 内面部	タテハケ。口縁部ヨコナデ。 ナナメハケ。広範に磨滅。	片岩・雲母・ チャート 褐色		
44	円筒埴輪	—	—	—	—	7~9	外面部 内面部	タテハケ。口縁部ヨコナデ。 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨ コナデ。	片岩・雲母・ チャート 褐色		
45	円筒埴輪	—	—	—	—	7~8	外面部 内面部	タテハケ。口縁部ヨコナデ。 ナナメハケ。一部が剥離。口縁部ヨ コナデ。	片岩・雲母・ チャート 褐色		
46	円筒埴輪	—	—	—	—	5	外面部 内面部	タテハケ。 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨ コナデ。	片岩・雲母・ チャート 褐色		
47	円筒埴輪	—	—	—	—	6~7	外面部 内面部	タテハケ。口縁部ヨコナデ。 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨ コナデ。	片岩・粗粒 チャート 褐色	外面部無刻。	
48	円筒埴輪	—	—	—	—	8~12	外面部 内面部	タテハケ。口縁部ヨコナデ。 タテ・ナナメハケ後に一部ナデ。口 縁部ヨコナデ。	片岩・チャー ト・白色粒 褐色		
49	円筒埴輪	—	—	—	—	12~13	外面部 内面部	タテハケ。口縁部ヨコナデ。 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨ コナデ。	片岩・チャー ト・白色粒 褐色	外面部無刻。	
50	円筒埴輪	—	—	—	不明	外面部 内面部	余数不明細かな粗度で浅いタテハケ。 ヨコナデ。口縁部ヨコナデ。	粗粒チャート。 凝灰岩 褐色			

第127表 琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(3)

番号	種類	計測値(cm)	尖部		透孔		ハゲ /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形狀	幅	高				
51	円筒埴輪		—	—	—	—	8~11	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・白色 にぶい褐色	内面に縦刻。外 面に赤色墨彩の 模様。
52	円筒埴輪		—	—	—	—	5	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・白色 にぶい褐色	
53	円筒埴輪	口径 (28.0)	—	—	—	—	6	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色	
54	円筒埴輪		—	—	—	—	10~12	外面 タテハケ。指頭圧痕。 内面 ヨコナデ。口縁部ヨコナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色	
55	円筒埴輪		—	—	—	—	5~10	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・露母・ 白色針状粒 褐色	外表面の一箇 所に指跡痕み。
56	(円筒基台)		—	—	—	—	5~6	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・露母・ 白色針状粒 褐色	肥厚する口縁 部、円筒基台か。
57	(円筒基台)		—	—	—	—	6	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後に一部ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・露母・ チャート にぶい赤褐色	肥厚する口縁 部、円筒基台か。
58	(円筒基台)		—	—	—	—	5	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後ナデ。口縁部ヨコナデ。	片岩・粗粒チャ ート 褐色	肥厚する口縁 部、円筒基台か。 明る褐色
59	(円筒基台)		—	—	—	—	5~7	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 ナナメ後ナデ。	片岩・露母・ チャート 褐色	肥厚する口縁 部、円筒基台か。
60	(円筒基台)		—	—	—	—	6	外面 タテハケ。口縁部ヨコナデ。 内面 滅滅するが、ナナメハケ後ナデ。	片岩・露母・ チャート 褐色	肥厚する口縁 部、円筒基台か。
61	(円筒基台)		—	—	—	—	—	外面 口縁部ヨコナデ。 内面 ナデ。	片岩・露母・ 白色針状粒 褐色	肥厚する口縁 部、円筒基台か。
62	(円筒基台)		—	—	—	—	—	外面 口縁部ヨコナデ。 内面 ナデ。	片岩・露母・ チャート 褐色	肥厚する口縁 部、円筒基台か。
63	円筒埴輪	2段 8.1 3段 11.6	M字 台形	円	(4.8)×5.6	13	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、第2段以下ナデ。突 帶剥離で指頭圧痕。	粗粒チャート・ 凝灰岩 浅灰色 褐色	4段構成。	
64	円筒埴輪	2段 9.2 3段 8.3	台形	円	5.2×5.2	6~7	外面 タテハケ。 内面 滅滅するが、ナナメハケ後、第2段 以下ナデ。	片岩・粗粒チャ ート 褐色	4段構成。	
65	円筒埴輪	2段 13.3	台形	円	5.6×5.3	12	外面 タテハケ。 内面 指ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色		
66	円筒埴輪		台形	—	—	13	外面 タテハケ。 内面 指ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色		
67	円筒埴輪		三角形	—	—	7~8	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後。下側ナデ。	チャート・赤 褐色 にぶい黄褐色	外面上位に赤色 墨彩の痕跡。	
68	円筒埴輪	底径 (15.0) 1段 12.5 2段 8.7	三角形 ～ 台形	円	(5.5)×6.2	10	外面 タテハケ。 内面 第1～2段ナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色	4段構成。底部 に焼きムラあ り。	
69	円筒埴輪	底径 (18.0) 1段 11.2 2段 9.7	三角形	円	5.5×(4.0)	5~7	外面 タテハケ。 内面 第1～3段ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色	4段構成。	
70	円筒埴輪	底径 17.2 1段 14.5 2段 8.5	M字 ～ 台形	円	(4.7)×5.6	12	外面 タテハケ。 内面 第1～2段ナデ。突帶剥離で指頭 圧痕。	チャート・凝 灰岩 浅灰色 褐色		
71	円筒埴輪	底径 (15.6) 1段 15.3 2段 9.7	M字 ～ 台形	円	(5.4)×5.2	11~14	外面 タテハケ。 内面 第1～3段タテナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色		
72	円筒埴輪	底径 (15.0) 1段 11.4 2段 10.3	M字 ～ 台形	—	—	7~10	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後。部分的にナデ。	チャート・凝 灰岩 明る褐色		
73	円筒埴輪	底径 15.5 1段 (11.7)	低台形	—	—	6	外面 タテハケ。 内面 ナデ。	片岩・露母・ チャート 褐色		
74	円筒埴輪	底径 12.8	—	—	—	7~8	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 明る褐色		
75	円筒埴輪	底径 16.3	—	—	—	11~14	外面 タテハケ。 内面 指ナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色		
76	円筒埴輪	底径 (16.0)	三角形	—	—	6~7	外面 タテハケ。 内面 指ナデ。	片岩・チャー ト 明赤褐色		

第128表 琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(4)

番号	種類	計測値(cm)	尖部		透孔 形狀 幅×高	ハゲ /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			断面形状	形狀					
77	円筒埴輪	1段	14.3	台形	(円)	—	12 外面 タテハケ。 内面 ナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色	
78	円筒埴輪	1段	12.9	低M字	—	—	12 外面 タテハケ。 内面 ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 褐色	
79	(円筒埴輪)			—	—	—	— 外面 ナデ。 内面 ナデ。	チャート・凝 灰岩 に赤い黄緑 色	口唇部に赤色塗 彩の痕跡、形象 埴輪の可能性あり。
80	(円筒埴輪)			低台形	—	—	— 外面 ナデ。 内面 ナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色	外面に赤色塗彩 の痕跡。
81	円筒埴輪			—	—	—	不明 外面 条数不明瞭な幅広で浅いタテハケ。 内面 浅いナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 褐色	
82	円筒埴輪			低台形	—	—	不明 外面 条数不明瞭な幅広で浅いタテハケ。 内面 ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 褐色	
83	円筒埴輪			—	—	—	不明 外面 条数不明瞭な幅広で浅いタテハケ。 内面 ナデ。	チャート・凝 灰岩 褐色	
84	円筒埴輪			—	—	20	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	外面に赤色塗彩 の痕跡。
85	円筒埴輪			低台形	—	—	10~14 外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ後、破片下位ナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 に赤い橙色	外面に赤色塗彩。
86	円筒埴輪			—	—	9	外面 タテハケ。 内面 ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い黄緑色	内面に縦刻。
87	円筒埴輪			—	—	8	外面 タテハケ。 内面 ヨコ・ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	内面に縦刻。
88	円筒埴輪			—	—	8~9	外面 タテハケ。 内面 ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	外面・内面に縦 刻。
89	円筒埴輪			—	—	7~9	外面 タテハケ。 内面 ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	内面に縦刻。
90	円筒埴輪			—	—	8~9	外面 タテハケ。 内面 ヨコ・ナナメハケ後に一部ナデ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	内面に縦刻。
91	円筒埴輪			—	—	8~10	外面 タテハケ。 内面 ヨコハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	内面に縦刻。
92	円筒埴輪			—	—	8~10	外面 タテハケ。 内面 ヨコハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	内面に縦刻。
93	円筒埴輪			—	—	8	外面 タテハケ。 内面 ヨコハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	内面に縦刻。
94	円筒埴輪			—	—	8~9	外面 タテハケ。 内面 ヨコハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	内面に縦刻。
95	円筒埴輪			—	—	8	外面 タテハケ。 内面 ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	内面に縦刻。
96	円筒埴輪			—	—	8~12	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	内面に縦刻。外 面に赤色塗彩の 痕跡。
97	円筒埴輪			—	—	8	外面 タテハケ。 内面 ヨコ・ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い橙色	内面に縦刻。
98	円筒埴輪			—	—	15	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 褐色	内面に縦刻。
99	円筒埴輪			—	—	12~18	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い黄緑色	内面に縦刻。外 面に赤色塗彩の 痕跡。
100	円筒埴輪			—	—	8	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。口縁部ナデ。	チャート・凝 灰岩 に赤い黄緑色	内面に縦刻。
101	円筒埴輪			—	—	8	外面 タテハケ。 内面 ナナメハケ。	チャート・凝 灰岩 に赤い黄緑色	内面に縦刻。

第129表 琴平山古墳出土円筒埴輪観察表(5)

番号	種類	計測値(cm)	尖部			透孔 断面形状	ハゲ 角状 幅×高 /2cm	成形・整形の特徴	胎土・色調	備考
			形狀	透孔	ハゲ					
102	円筒埴輪		—	—	—	7~8	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ。	粗粒チャート・ 赤褐色粒 橙色	内面部銀鉄。	
103	円筒埴輪		—	—	—	8~10	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 橙色	内面部銀鉄。	
104	円筒埴輪		—	—	—	7~8	外面部 タテハゲ。口縁部ヨコナデ。 内面部 ナナメハゲ。口縁部ヨコナデ。	片岩・雲母・ チャート 橙色	外面部銀鉄。	
105	円筒埴輪		—	—	—	6~8	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ。口縁部ヨコナデ。	雲母・チャー ト 橙色	外面部銀鉄。	
106	円筒埴輪		—	—	—	6~8	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ。口縁部ヨコナデ。	片岩・白色針 状粒 橙色	外面部銀鉄。	
107	円筒埴輪		—	—	—	4~6	外面部 タテハゲ。口縁部ヨコナデ。 内面部 ナナメハゲ。口縁部ヨコナデ。	片岩・白色針 状粒 橙色	外面部銀鉄。	
108	円筒埴輪		—	—	—	6~8	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ後に一部ナデ。	チャート・白 色粒 橙色	外面部銀鉄。	
109	円筒埴輪		—	—	—	6	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ後に一部ナデ。	片岩・雲母・ チャート 橙色	外面部銀鉄。	
110	円筒埴輪		三角形	( 円 )	—	5	外面部 タテハゲ。 内面部 ナデ。	片岩・雲母・ チャート 橙色	外面部銀鉄。	
111	円筒埴輪		—	—	—	6~7	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ後に一部ナデ。	片岩・チャー ト 橙色	外面部銀鉄。	
112	円筒埴輪		—	—	—	6	外面部 タテハゲ。 内面部 ナデ。	片岩・雲母・ チャート 橙色	外面部銀鉄。	
113	円筒埴輪		低M字	—	—	6~8	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ後に一部ナデ。	片岩・白色針 状粒 橙色	外面部銀鉄。	
114	円筒埴輪		低M字	—	—	5~8	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ。	片岩・チャー ト 橙色	外面部銀鉄。	
115	円筒埴輪		低M字	—	—	6~8	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ後に破片下位ナデ。	片岩・粗粒チ ャート 橙色	外面部銀鉄。	
116	円筒埴輪		—	—	—	10~12	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ後にナデ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 橙色	外面部銀鉄。	
117	円筒埴輪		—	—	—	6~10	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ後に一部ナデ。	片岩・雲母・ チャート 橙色	外面部銀鉄。	
118	円筒埴輪		—	—	—	13~15	外面部 タテハゲ。 内面部 ナナメハゲ。	粗粒チャート・ 凝灰岩 橙色	内面部銀鉄。	

第130表 琴平山古墳出土圓筒埴輪觀察表(6)

番号	種類	計測値(cm)	形態・成形・調整等の特徴			胎土・色調	備考
			男子人物の頭部。張り分け髪で、纏財で髪型を表現する。	片岩・チャート 橙色			
1	人物		顔面部分の破片。頭頂部に何か(路山蟹か)を載せる。粘土貼付によると一本釘と魚眼表現。内面部ともナデ。	片岩・チャート 橙色		頭と額に赤色塗影。	
2	人物		顔面部分の破片。粘土貼付による鼻表現。内面部ともナデ。	片岩・チャート 橙色			
3	人物		顔面部分の破片。粘土貼付によると鼻表現。内面部ともナデ。	片岩・チャート 橙色			
4	人物	残長 12.6	外向きに曲がる下げ美良民。棒状体の下側に粘土を貼付してつくる。	片岩・チャート 橙色		赤色塗影の痕跡。	
5	人物	残長 11.9	外向きに曲がる下げ美良民。棒状体の下側に粘土を貼付してつくる。	片岩・チャート 橙色		赤色塗影の痕跡。	
6	人物		左脚付近。粘土貼付によると酉玉表現。左脚部には欠損するが美良民が付けられていたようである。面部は剥離する。左腕の付け根部にも剥離現象。	片岩・チャート 橙色		酉付近に赤色塗影。	
7	人物		頭部・胸部・左側部をよく人物人物の上半身。肩部は一部欠損するが左肩に丸い丸を貼付する。腕部は中央突起でセッケット状に差し込む。左腕が五指が表現されていたようである。背中に垂垂表現在ある。	片岩・チャート 橙色		頭に赤色塗影の痕跡。	
8	人物		左脚部。首には大きめの丸玉を貼付し2個が残存。左胸に何らかの部品が貼付されていた痕跡。腰部には断面三角形の粘土紐を貼付する。	片岩・チャート 橙色		酉付近に赤色塗影の痕跡。	

第131表 琴平山古墳出土形埴輪觀察表(1)

番号	種類	計測値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
9	人物		ソケット状に差し込む中実つくりの腕部。	チャート・凝灰岩 黄褐色	差し込まれる部分に多 数の指紋。
10	人物		胸部の腋部。頭部には帶状の粘土を巻き2段の線刻。胸部・左腕付 け部には接合部。左腕は接合部から前下方側に向かうと思われる。	チャート・凝灰岩 黄褐色	
11	人物		円筒状の胸部から薄落した衣褶部。上側は表面艶著しい。下側は粗 なナダ。	片岩・チャート 橙色	
12	不明		粘土紐が貼付されている破片。外側ハケ後ナデ。内面ナデ。	チャート・凝灰岩 橙色	赤色塗彩の痕跡。
13	人物		人物埴輪から剥落した太段。上面に線刻を施す。粘土を積み上げて模 型につくり、本体に接着する。外側はハケ後ナデ。内面は粗なナ ダ。	片岩・チャート 橙色	上面に赤色塗彩痕。
14	馬		タテガミ先端の柱状跡。片側面に粘土紐が貼付されている。	片岩・チャート 橙色	
15	馬		輪(前輪)部の破片。前面に山伏のタテガミ測量痕。前側は横方向の ハケ。後側はナデ。	片岩・チャート 橙色	
16	馬	底径 (10,5)	脚部片。外側タチハケ、内面ナデ。	片岩・白色針状粒 明赤褐色	
17	盾		盾面下側。円筒部前面の側面に粘土板を取り付け盾面を表現する。 外区下辺に銘文があり、交互に刺突もしくは短沈継を加える。前面に 小孔が1箇所残る。	片岩・粗粒チャー ト 橙色	外区銘文に赤色塗彩 の痕跡。
18	盾持人		盾持人の盾部。円筒部前面の上側(高)側面に粘土板を取り付けて 盾面を表現する。盾面の外側に銘文。背面に銘文。前面に刺突。前面に 小孔が1箇所残る。	片岩・粗粒チャー ト 橙色	小孔内に鉄(鉄錆か)が 残る。
19	盾		円筒部から剥落した盾面。斜位の線刻。表面はハケ後ナデ。裏面は タチナデ。小孔あり。	片岩・チャート 橙色	小孔内に鉄(鉄錆か)が 残る。
20	盾		盾面の破片。区画線下に擬似の短沈継。	チャート・凝灰岩 橙色	
21	盾		盾面の破片。表面に銘文。裏面はタチハケ。	片岩・チャート 橙色	
22	石見	残高 56.9	ヒレ部は1か所残存するのみである。3段と想定される。円筒部 前面は下位は円形で上位は楕円形。円筒部前面は銘文が著しい。 筒部の両側に粘土板を貼り付けてヒレ部をつく。残存するヒレ部 は長さ16.9cmで、上幅は8cm、下幅約7cmほどである。各ヒレ部 間には「コ」の字状の隙間があり、ヒレ部下側及び上側に密着がよう うに実帶が施されるが後面には最下段を引き回らる。円筒部前面に は小孔が中央線上に2孔、後面には透孔が不規則に4孔認められる。 全体にハケを施し、接合部など一部をナデする。	片岩・粗粒チャー ト 明赤褐色	ヒレ部上側にも小孔が あり、鉄(鉄錆か)が 差し込まれていた痕跡 が認められる。
23	石見	残高 35.1	円筒部の両側に粘土板を取り付けてヒレ部をつくる。ヒレ部上側と 下側に密着がよううに実帶が施されるが後面にはない。円筒部後面に は透孔が不規則に2孔認められる。	片岩・粗粒チャー ト 明赤褐色	
24	石見	残高 38.2	円筒部の両側に粘土板を取り付けてヒレ部をつくる。ヒレ部上側と 下側に密着がよううに実帶が施されるが後面にはない。ヒレ部上側と 小孔1。円筒部後面に透孔が不規則に2孔認められる。円筒部後面 の上端はU字形に快らされている。	片岩・粗粒チャー ト 橙色	
25	石見		円筒部の両側に粘土板を取り付けてヒレ部をつくる。残存するヒレ 部の長さ17.7cmで上幅は約4cm、下幅は約7.5cmで下側が長い。 ヒレ部上側に小孔がある。	片岩・チャート 明赤褐色	
26	石見		円筒部前面の銘文。実帶が2条貼付されている。側面にヒレ部の剥 離痕あり。	片岩・チャート 明赤褐色	
27	石見		円筒部前面の銘文。実帶が2条貼付されている。側面にヒレ部の剥 離痕あり。	片岩・粗粒チャー ト 明赤褐色	
28	石見		円筒部前面の銘文。実帶が貼付されている。側面にヒレ部の剥離痕 あり。	片岩・チャート 明赤褐色	
29	石見		円筒部前面の銘文。実帶が貼付されている。側面にヒレ部の剥離痕 あり。	片岩・粗粒チャー ト 明赤褐色	
30	石見		ヒレ部最上段の破片。上端幅11.9cm。前面に補強粘土が貼付されて いる。前側面ともハケ後ナデ。	片岩・粗粒チャー ト 明赤褐色	
31	石見		ヒレ部最上段の破片。小孔が1か所認められる。後に補強粘土が 貼付されている。前側面ともナデ。	片岩・チャート	
32	石見		ヒレ部最上段の破片。後に補強粘土が貼付されている。前側面と もハケ後ナデ。	片岩・チャート 明赤褐色	
33	石見		ヒレ部の銘文。小孔が1か所認められる。	片岩・チャート 明赤褐色	小孔内に鉄(鉄錆か)が 残る。
34	石見		ヒレ部の銘文。前側面ともハケ後ナデで、後面はナデ弱い。	片岩・白色針状粒 に赤い褐色	31と同一地点から出土。
35	石見		ヒレ部の銘文。前側面ともハケ後に弱いナデ。	片岩・チャート 明赤褐色	
36	石見		ヒレ部の銘文。小孔が1か所認められる。	片岩・チャート 明赤褐色	
37	石見		円筒部から剥落したヒレ部。ヒレ部の長さは17.4cmで上幅は約 9cm、下幅は約8cm。ヒレ部上側に小孔がある。	片岩・チャート 明赤褐色	
38	石見		円筒部から剥落したヒレ部。ヒレ部の長さは17.5cmで幅は下側が 長いと想定される。ヒレ部上側に小孔がある。	片岩・チャート 橙色	小孔内に鉄(鉄錆か)片 が残る。

第132表 琴平山古墳出土形埴輪観察表(2)

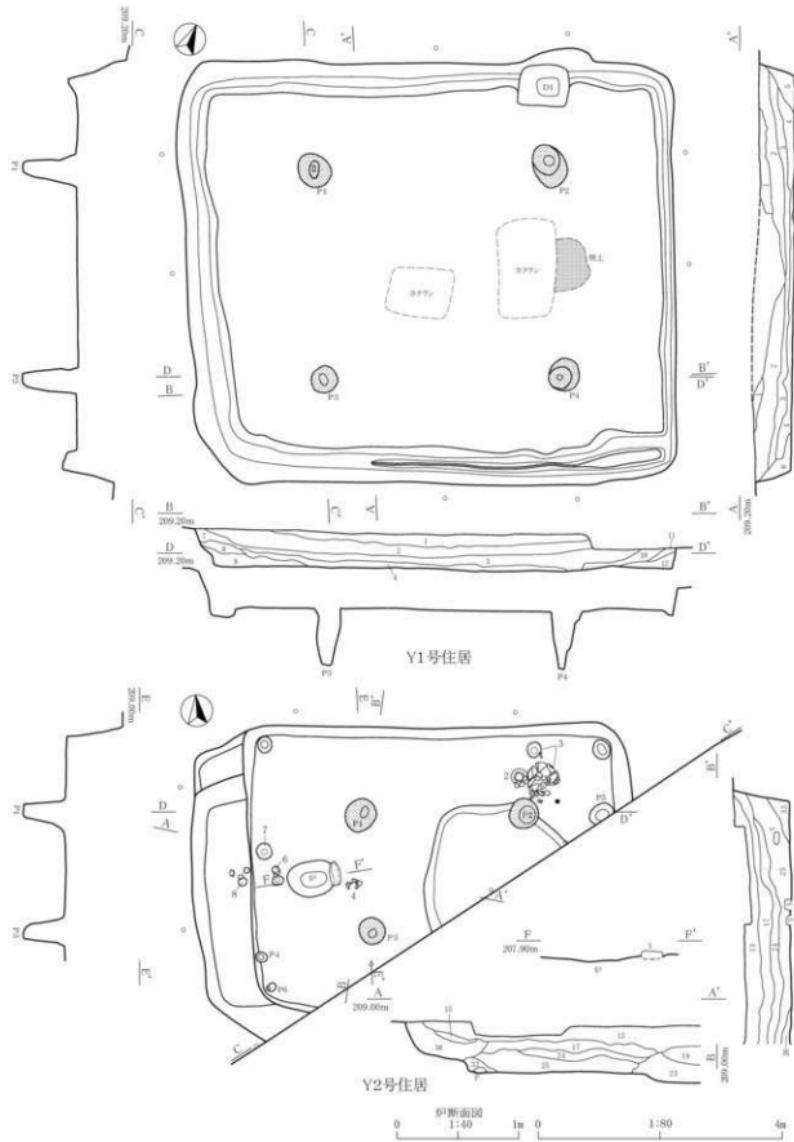
番号	種類	計測値(cm)	形態・成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
39	石見		ヒレ部の破片。幅は下側が長いと想定される。	片岩・チャート 橙色	
40	石見		ヒレ部の破片。前後面ともハケ後に弱いナデ。	片岩・チャート 橙色	
41	石見		ヒレ部の破片。長さ17.1cm。前面に突起が貼付されている。	片岩・チャート 橙色	
42	蓋		立ち寄りの破片。下側に突起が剥落か。全体をナデ。中位の幅5.3cm。	片岩・チャート 明赤褐色	
43	蓋		立ち寄りの破片。中位に突起あり。全体をナデ。下位の幅5.4cm。	片岩・チャート 明赤褐色	
44	蓋		立ち寄りの破片。中位に突起あり。全体をナデ。下位の幅5.0cm。	片岩・白色針状粒 明赤褐色	
45	蓋		立ち寄り基部の破片。全体をナデ。	片岩・チャート 明赤褐色	
46	蓋		立ち寄り基部の破片。全体をナデ。	片岩・チャート 明赤褐色	
47	蓋		笠部。笠下に突起が巡り、不明瞭だが透孔が開くようである。外面はハケ調整と思われるが、磨滅が著しい。内面はナデ。	片岩・粗粒チャート 明褐色	
48	(石見)	底径 残高 31.1 31.3	面財埴輪の基台部。円筒部に透孔。その上部には不規則に透孔が2箇所あり、透應底の状態から石見型埴輪の可能性がある。外面はタテハケ、内面は指ナデ。	片岩・粗粒チャート 明褐色	

第133表 琴平山古墳出土形態埴輪観察表(3)

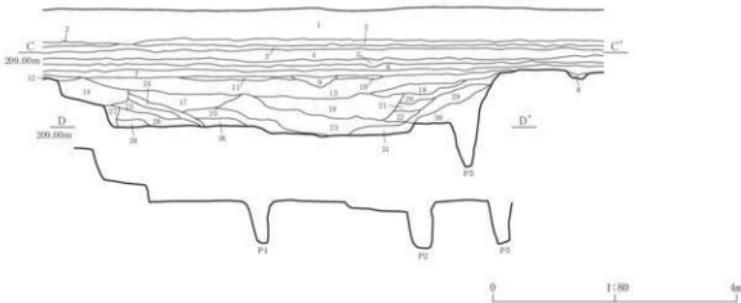
番号	種類	計測値(cm)	成形・調整等の特徴	胎土・色調	備考
1	須恵器 环	口径 底径 高さ 14.3 8.5 3.4	ロクロ整形。底部へう起きし。	黒色粒・白色粒 灰色	3/4残存。 古墳より新しい遺構。
2.	須恵器 环	口径 底径 高さ 14.0 10.3 3.5	ロクロ整形。底部へう起きし。	チャート・白色粒 黄灰色	4/5残存。 古墳より新しい遺構。
3	須恵器 環	口径 底径 高さ 21.2 16.1 37.1	底部は丸く盛り。口径部は下方に突出する。外面、口径～肩部はヨコナデ。剥離部は網格子目タキ。内面、口径部はヨコナデ。胴部に同心円文。底部ナデ。	黒色粒・白色粒 灰白色	古墳より新しい遺構。
4	須恵器 环	口径 底径 高さ 10.4 2.4 3.7	ロクロ整形。底部回転式切り無調整。	チャート・白色粒 浅黄褐色	1/3残存。 酸化鉛。 古墳より新しい遺構。

第134表 琴平山古墳出土土器観察表

(18年度調査分)



第272図 Y1号・Y2号住居址実測図



第273図 Y2号住居址実測図

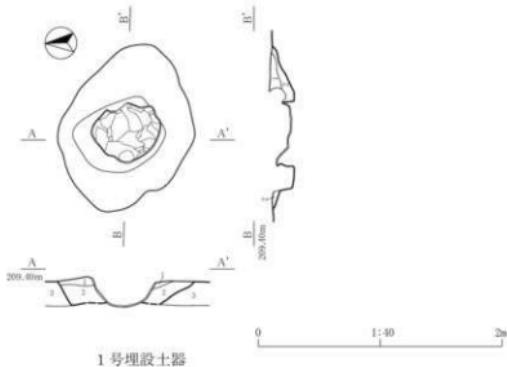
Y1号住

層番	層名	色調	しまり	粘性	組入物						備考
					RP	RB	YP	As-C	炭化物	他土	
1	10Y3S/1 黒褐色土層	○	△	※	△	※	△	※	※	※	
2	10Y2/1 黒色土層	○	△	※	△	※	△	※	※	※	2層より3層の方が、As-Cを若干多く含む
3	10Y3/2 黒褐色土層	3>6	△	△	※	△	△	※	※	※	
4	10Y4/2 沈黄褐色土層	4<7	△	△	△	△	※	○	※	※	As-Cを多く含む
5	10Y4/4 暗褐色土層	△	○	○	○	△	△	※	※	※	
6	10Y3/2 黒褐色土層	6<3	△	△	△	△	※	※	※	※	
7	10Y4/2 沈黄褐色土層	7>4	△	△	△	△	※	※	※	※	
8	10Y3S/3 にぶい沈褐色土層	△	○	○	△	※	※	※	※	※	
9	10Y3S/2 黒褐色土層	△	○	○	○	△	※	※	※	※	
10	10Y3S/2 沈黄褐色土層	※	※	※	※	※	※	○	※	※	
11	10Y3S/3 沈褐色土層	△	○	○	△	△	※	※	※	※	
12	10Y3C/4 暗褐色土層	△	○	△	△	△	※	※	※	※	

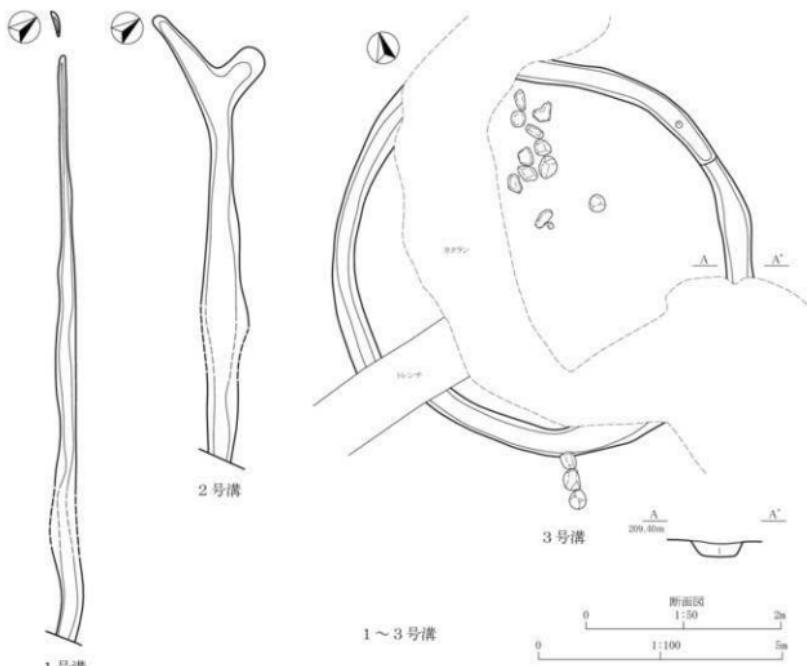
Y2号住

層番	層名	色調	しまり	粘性	組入物						備考
					RP	RB	YP	As-B	As-C	炭化物	
1	10Y3S/4 暗褐色土層	○	△	※	×	△	△	△	○	×	×
2	10Y3S/4 にぶい沈褐色土層	△	△	※	×	×	△	×	×	×	
3	10Y3S/2 沈黄褐色土層	△	△	※	×	△	△	○	○	○	
4	10Y3S/3 にぶい沈褐色土層	*	*	*	*	*	*	*	*	*	
5	10Y3S/6 沈黄褐色土層	*	*	*	*	*	*	○	×	*	
6	10Y3S/3 沈褐色土層	△	○	○	*	*	*	*	*	*	
7	10Y3/2 沈黄褐色土層	7>9>10>22	△	○	※	※	※	※	※	※	
8	10Y3A/1 沈褐色土層	△	○	○	*	*	*	*	*	*	1号溝覆土
9	10Y4/2 沈黄褐色土層	7>9>10>22	△	△	*	*	*	*	*	*	2号溝覆土、底部に砂質土のブロック有り
10	10Y4/2 沈黄褐色土層	7>9>10>22	△	△	*	*	*	*	*	*	
11	10Y3A/3 にぶい沈褐色土層	11>21	△	△	*	*	*	*	*	*	部分的に砂質土を含む
12	10Y3/2 黒褐色土層	31<12<30	△	△	*	*	△	△	△	*	
13	10Y2/1 黒色土層	△	△	※	△	—	○	※	※	※	
14	10Y4/4 黒褐色土層	14<29	△	○	○	△	△	*	○	○	
15	10Y3Z/3 沈褐色土層	△	△	△	△	※	—	△	○	○	Y2Hより新しい別造場の覆土?
16	10Y3Z/2 黒褐色土層	16<19	△	○	△	△	※	—	△	*	
17	10Y3C/1 黒褐色土層	△	△	△	△	※	—	△	※	※	
18	10Y3Z/1 黒褐色土層	△	△	※	+	+	○	+	+	+	
19	10Y3Z/2 黒褐色土層	19>16	△	△	△	△	※	—	△	※	
20	10Y3C/3 暗褐色土層	20>28	△	○	○	△	△	+	+	+	
21	10Y3A/3 にぶい沈褐色土層	21<11	△	△	※	△	+	+	+	+	
22	10Y3/2 沈黄褐色土層	7>9>10>22	△	△	※	△	+	+	+	+	
23	10Y3A/6 暗褐色土層	△	○	○	○	○	—	—	※	※	
24	10Y3C/3 沈褐色土層	△	○	○	△	+	—	—	※	※	
25	10Y4/2 沈黄褐色土層	△	○	△	○	△	—	—	△	△	
26	10Y3A/3 にぶい沈褐色土層	△	○	○	○	+	—	—	※	※	
27	10Y3E/8 沈黄褐色土層	△	○	○	○	○	+	+	+	+	
28	10Y3C/3 沈褐色土層	28>20	△	○	○	△	+	△	+	+	
29	10Y4/4 暗褐色土層	29>14	△	○	○	△	+	+	+	+	
30	10Y3/2 黒褐色土層	30>12>31	△	○	○	△	△	+	+	+	
31	10Y3/2 黒褐色土層	30>12>31	△	○	○	△	△	+	+	+	
32	10Y4/1 沈褐色土層	△	○	○	△	△	—	—	※	※	
33	10Y4/4 暗褐色土層	△	○	○	△	△	—	—	※	※	

第135表 Y1号・Y2号住居址土層注記



1号埋設土器



第274図 1号埋設土器、1～3号溝実測図

2号古墳

層番	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
					IP	RB	YP	As-C	炭化物	
1	10Y3/1 黒褐色土層	○	△	△	△	△	△	△	×	2号古墳埴土
2	10Y3/2 黒褐色土層	○	○	○	△	△	△	△	×	溝?
3	10Y3/2 黒褐色土層	○	△	●	●	●	●	●	●	
4	10Y3/2 黒褐色土層	○	△	△	●	●	●	●	●	
5	10Y3/2 黒褐色土層	○	△	○	●	●	●	●	●	
6	10Y4/3 にぶい黄褐色土層	○	○	○	○	△	●	●	●	

2号古墳 地図

層番	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
					IP	RB	YP	As-C	炭化物	
1	10Y3/2 黒褐色土層	○	△	●	●	●	●	●	●	黒色粒(ロームではない)を多く含む ○
2	10Y5/4 にぶい黄褐色土層	△	△	△	△	△	△	△	△	△
3	10Y5/2 水黄褐色土層	△	△	●	●	●	●	●	●	△
4	10Y4/3 にぶい黄褐色土層	○	△	●	●	●	●	●	●	△
5	10Y5/3 にぶい黄褐色土層	△	△	●	●	●	●	●	●	
6	10Y3/4 黒褐色土層	6 < 8	○	△	●	●	●	●	●	鉛質でしまりなし
7	10Y4/2 水黄褐色土層	●	●	●	●	●	●	●	●	
8	10Y3/4 黒褐色土層	8 > 6	△	△	●	●	●	●	●	
9	10Y3/2 黒褐色土層	○	○	○	△	△	△	△	△	
10	10Y3/3 黒褐色土層	○	○	○	●	●	●	●	●	

1号埋設土器

層番	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
					IP	RB	YP	As-C	炭化物	
1	10Y2/1 黒色土層	○	△	●	●	●	●	●	●	フク土
2	10Y3/1 黒褐色土層	○	△	△	●	●	●	●	●	フク土
3	10Y3/2 黒褐色土層	○	△	△	●	●	●	●	●	地山

3号溝

層番	層名	色調	しまり	粘性	混入物					備考
					IP	RB	YP	As-C	炭化物	
1	10Y3/1 黒褐色土層	○	○	○	△	●	●	●	●	2号塗より古い事は確実である

第136表 2号古墳、1号埋設土器、3号溝土層注記

K2

住居名	平面形態	層 構				傾漸	主柱方向	主柱穴 (約60mm)	副柱穴 (約60mm)	軸位標	野廻穴 距離cm	遺物	時期	グリッド	備考	
		共軸m	短軸m	対2段(m)	対2段(m)											
Y1 住	大型縦長方形	8.00	6.96	81	25	○	N-67° E	4	-	-	-	-	-	-	○	弥生 13V-63 他
Y2 住	大型縦長方形	6.32	4.72	92	85	+	N-87° W	3(4)	-	5	-	西側主柱穴 距離等々	-	-	○	弥生 13V-82 他 2号溝と重複

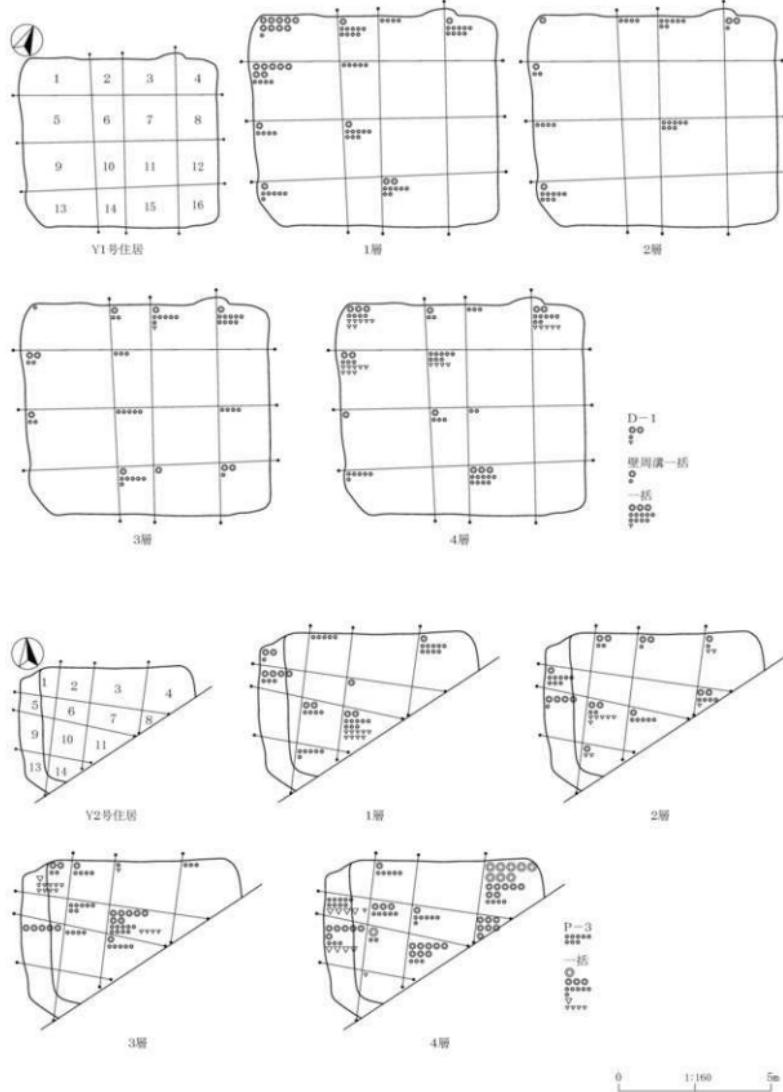
K2

溝名	層 構				遺物	時期	グリッド	備考
	上 横	下 横	深 底	底				
1号	16	48	4	24	-	-	-	
2号	32	92	20	60	-	-	-	
3号	44	64	20	44	12	24	△	13V-32 他

K2

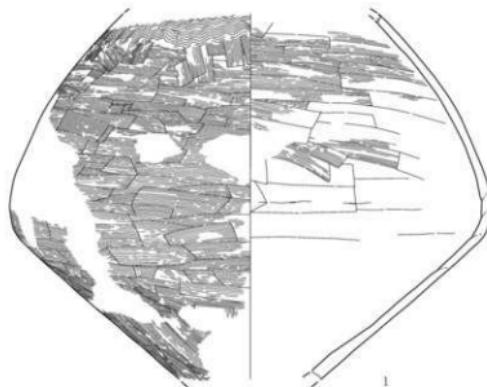
古墳名	形態	取扱			石室方向	周回取扱			遺物	時期	グリッド	備考
		長軸m	短軸m	底面高cm		底面高cm	底面高cm	底面高cm				
2号塗	円墳	(9.60)	(7.36)	80	N-19°-W	90	40	23	39	○	13V-42 他	* 0 ~ 1000° △ 1000 ~ 5000° □ 5000 ~ 10000° ◎ 10000 °以上

第137表 壱丁田II遺跡(18年度調査分)遺構観察表

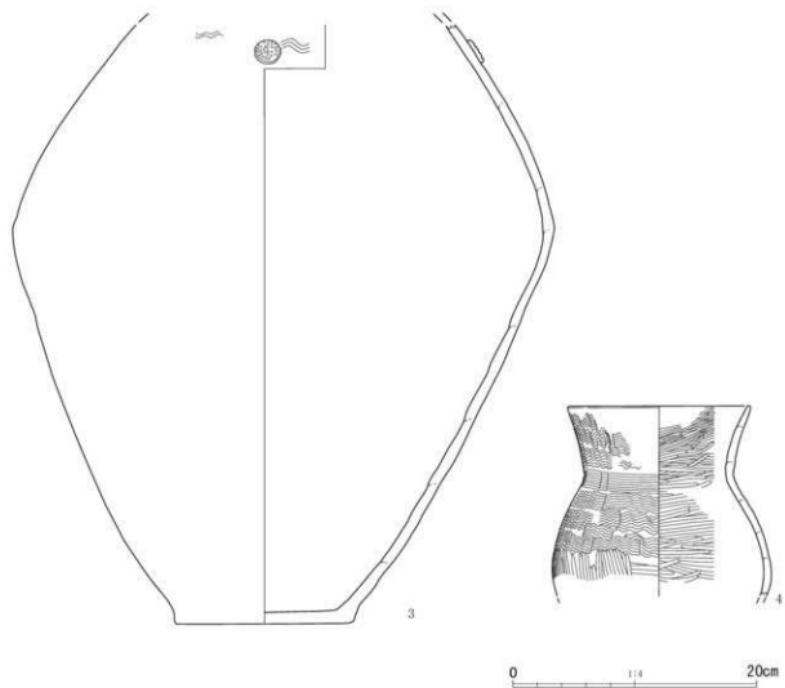


第275図 倉丁田II遺跡（18年度調査分）出土遺物重量分布図

Y-1号住

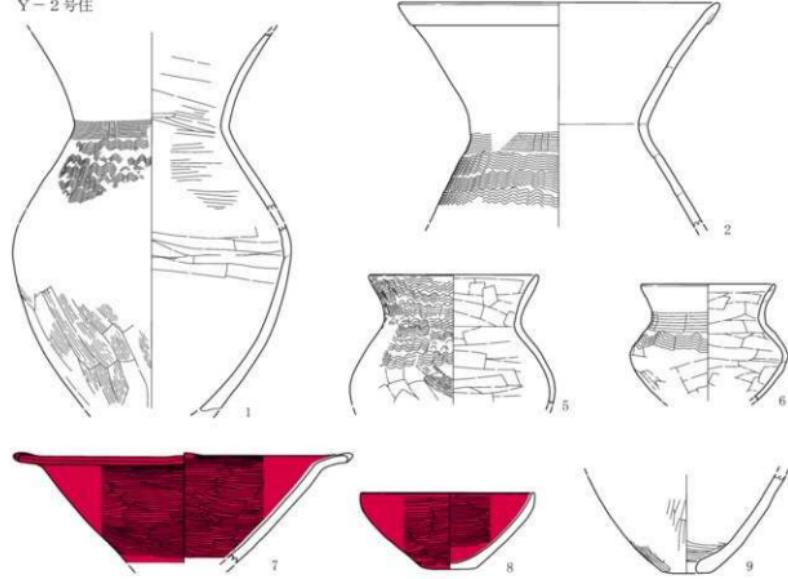


Y-2号住

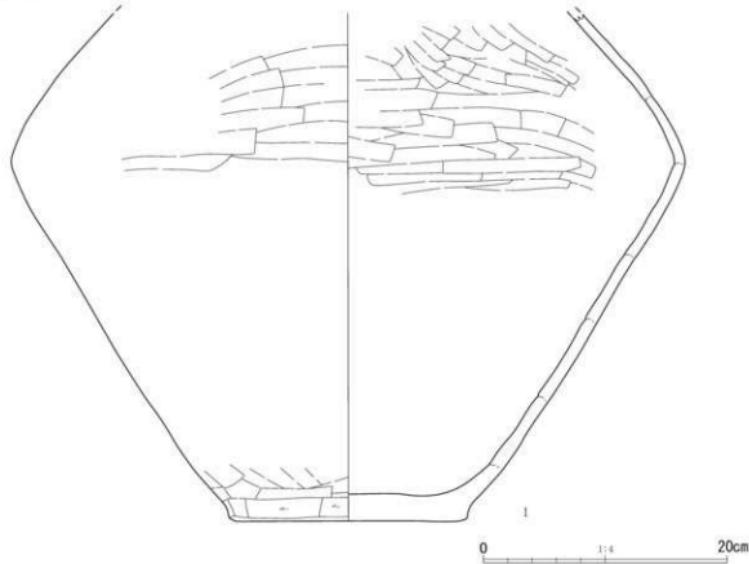


第276図 Y-1号・Y-2号住址出土土器実測図

Y-2号住



1号埋設



第277図 Y-2号住居址、1号埋設土器実測図

## Y-1号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	1区1層 5区1層	口径 - 底径 - 高さ -	①普通 ②褐色～鈍紅褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部上位～下位1/3	外面部下位波状文。中位～下位混跡で。 内面部上位～中位混跡で。下位調整不明瞭。

## Y-1号住居址

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	4区4層 6区4層 7区3層 8区2層 8区4層	口径 - 底径 - 高さ - 口径 26.0 底径 - 高さ -	①普通 ②褐色～鈍紅褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部上位～下位4/5	外面部下位波状文。中位～下位混跡で。 内面部上位波状文。中位～下位混跡で。
2	弥生土器 甕	7区4層 8区4層	口径 14.5	①普通 ②褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部上位～底部3/4	外面部下位波状文。内形浮文。新尖文で充填。調整は胎面が荒れ不規則。
3	弥生土器 甕	4区4層	口径 14.5	①普通 ②褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部上位～底部3/4	外面部下位波状文。内形浮文。新尖文で充填。調整は胎面が荒れ不規則。
4	弥生土器 甕	11区4層	口径 14.7	①普通 ②鈍紅褐色～褐色 ③白色粒・角閃石・石英 ④口縁部～胴部下位3/5	外面部下位波状文。新尖文で充填。調整は胎面が荒れ不規則。
5	弥生土器 小形甕	9区4層 11区4層	口径 13.7 底径 2.7	①普通 ②鈍紅褐色～褐色 ③白色粒・角閃石・石英 ④口縁部～胴部下位2/3	外面部下位波状文。中位混跡で。
6	弥生土器 小形台付 甕	1区3層	口径 10.8	①普通 ②鈍紅褐色～灰黃褐色 ③白色粒・褐色 ④口縁部～胴部下位3/4	外面部下位波状文。中位～下位混跡で。
7	弥生土器 高环	口径 12.2	口径 - 底径 - 高さ -	①普通 ②鈍紅褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縫部3/4	外面部下位波状文。中位混跡で。
8	弥生土器 鉢	口径 14.0	口径 - 底径 4.5 高さ 6.3	①普通 ②褐色 ③白色粒 ④口縫部1/2欠損	外面部下位波状文。中位混跡で。
9	弥生土器 甕	11区4層	口径 - 底径 4.0 高さ -	①普通 ②褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縫部下位混跡	外面部下位波状文。中位混跡で。

## 1号埋設土器

番号	器種	出土位置	法量(cm)	①焼成 ②色調 ③胎土 ④残存	成・整形技法の特徴
1	弥生土器 甕	1号埋設土器 13V-51c	口径 - 底径 19.6 高さ -	①普通 ②褐色 ③白色粒・黑色粒 ④口縁部上位～底部1/3	外面部下位混跡で。

第138表 Y 1号・Y 2号住居址、1号埋設土器観察表

## 小日向壱丁田II遺跡 小結

九十九川上位段丘の末端に位置する琴平山古墳では、縄文時代の土坑1基、古墳時代後期の前方後円墳1基、平安時代の溝1条、時期不明の配石1基が検出された。下位段丘に位置する小日向壱丁田II遺跡では、縄文時代中期末葉の弧状列石1基、弥生時代後期の竪穴住居跡26軒・土坑1基・溝1条・埋甕1基、古墳時代後期の円溝4基、平安時代の集石2基、中世の溝5条が検出された。各時代の概要是次の通りである。

### (1) 縄文時代

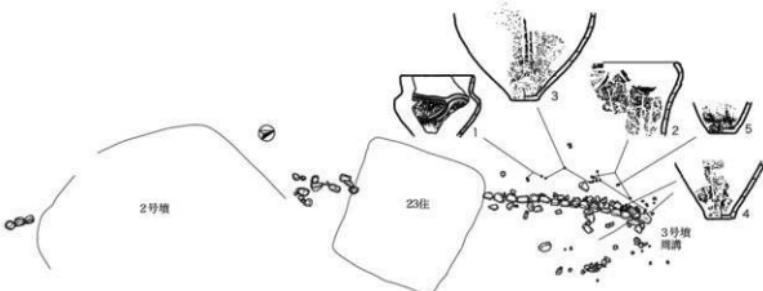
琴平山古墳の2号土坑は黒曜石の剥片を廃棄した土坑である。小日向壱丁田II遺跡の3号墳の墳丘下からは概ね南北に延びる弧状列石が検出され、2号墳南側まで約26mにわたって確認された。南端は途切れるが、北側は調査区外へ続く。列石は30cm大の扁平礫の広口面を長軸方向に配置したものである。北部では列石が最大3段に平積みされるほか、内側に小規模な配石が直交して取り付き、外側では加曾利E3式の深鉢が出土した。本遺跡西方の田中西遺跡で加曾利E3式期の敷石住居が検出されていることから、本遺跡の弧状列石は集落の東縁部に構築されたものと判断される。

### (2) 弥生時代

後期の竪穴住居跡26軒と埋甕1基が検出された。1住・14住は10.6m×7.8mの大型住居で、14住は6本の主柱穴を有する。5住・10住・11住などの小型住居を除き壁柱穴を有する住居が多い。平成18年度調査区Y1住は、方形に近いプラン、柱位置、壁周溝の存在が他の住居と異なっている。炉は枕石1石を置くものが大半だが、17住では土器敷炉、8住・10住・20住では石囲炉が検出された。平成18年度調査の3号溝は弧状列石より新しく、2号墳より古い円形周溝状遺構である。

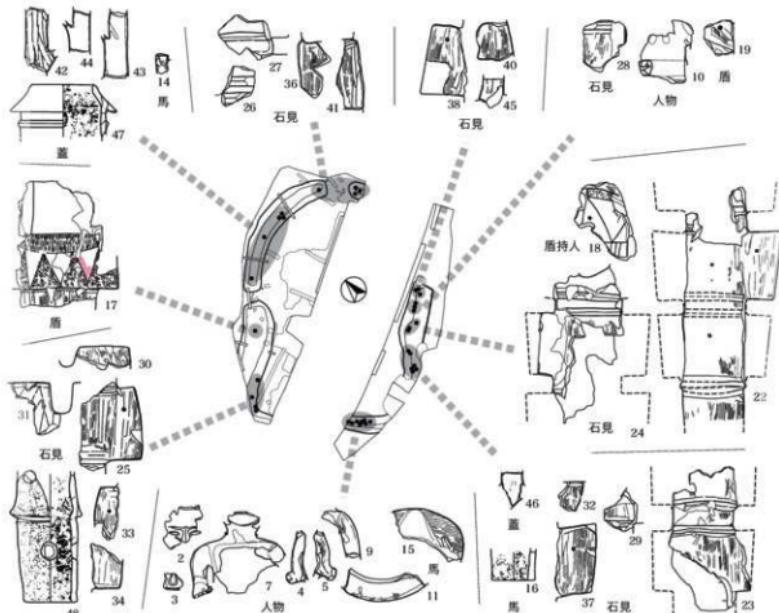
### (3) 古墳時代

琴平山古墳は周溝を含む全長51.5mの前方後円墳である。後円部径39.0m、前方部長21.5m、周溝幅2.8m～6.4m、周溝深さ50～90cmである。南に緩傾斜する旧地形のために周溝底面の標高は南側が約1m低い。主体部は削平されている。後円部の北西部と北東部には掘り残しによる陸橋が存在し、小



第278図 弧状列石（縮尺1/200、土器1/16）

ピットを1基ずつ伴う。平成17年度調査区では周溝底面まで葺石が確認された。後円部北側の周溝覆土中には破碎された須恵器甕がある。周溝底部から朝顔形円筒埴輪、円筒埴輪、形象埴輪（人物・盾持人・馬・盾・石見・蓋）が広い範囲で出土した。また、過去に心葉杏葉が出土したとされる。朝顔形円筒埴輪は円筒部の段数から、6段構成（9）と7段構成（10）の2タイプが存在するものと想定される。円筒埴輪も3段構成と4段構成の2タイプが存在する。外面調整は一次タテハケのみである。胎土には片岩や粗粒チャートが顕著に観察され、藤岡地域で生産されたものと考えられる。20は肥厚する口縁部を有するもので組合せ式器財埴輪の円筒基台部の可能性があり、口縁部片ではあるが、57～62も同様の埴輪と思われる。円筒基台部は群馬県東部の塙廻り古墳群（太田市）や古海松塙37号墳（大泉町）に類例がある。人物埴輪は、振り分け髪（1）、美豆良（4・5）、垂髪（7）の男子が認められる。2は島田盤が剥落した可能性もあるが、女子人物と確実に判断できるものではない。13は人物本体から剥落した太鼓で、正面側に線刻を施している。馬形埴輪はいずれも部分破片で詳細は不明である。盾形埴輪（17）は刺突もしくは短沈線を密に加えている。塙廻り4号墳など6世紀前半の古墳出土例に散見される意匠である。19も盾形埴輪と判断したもので、小孔内に棒状と推測される鉄製品片が残存していた。18は盾面上側の状態から盾持人と判断したもので、盾面の小孔内に19と同様の鉄製品片が残存していた。石見型埴輪（22～41）は4個体以上が存在するようである。ヒレ部は3段と想定され、



第279図 琴平山古墳形象埴輪出土位置図（縮尺1/1,000、埴輪1/12）

裏側の円筒部には複数の透孔がある。ヒレ部の上側には小孔があり、孔内に鉄製品片が残存するものがみられた（22・33・38）。小孔内に鉄製品が残る石見型埴輪は、他に市尾今田2号墳（奈良県）・堂山2号墳（大阪府）の例がある（註1）。群馬県内の石見型埴輪は、一ノ宮4号墳（富岡市）・前二子古墳（前橋市）からの出土が報告されている程度で、極めて稀少な資料といえる。時期的にも群馬県内の石見型埴輪は6世紀前半に限定されているようである。なお、関東地方では他に確実な出土例がない。蓋形埴輪は、立ち飾りの破片と笠部確認されている。形象埴輪の胎土は円筒埴輪と同様に片岩や粗粒チャートを顕著に含有するものがほとんどである。これらの埴輪の特徴から、琴平山古墳の築造時期は6世紀前半と考えられる。

小日向谷丁田II遺跡の4基の円墳は後期の群集墳である。出土した少量の須恵器から7世紀代の築造と判断される。円筒埴輪片は琴平山古墳からの紛れ込みである。最大規模の1号墳は周溝を含む径30mで、主体部は横穴式石室である。石室内は掻乱を受けていたが、石室の控え積みと埴丘の葺石が残存していた。東側周溝が4号墳を避けることから、4号墳が先行するとみられる。2号墳周溝内の2号土坑は周溝埋没後、As-B軽石以前の土坑墓である。

#### (4) 平安時代

琴平山古墳の1号溝はAs-B軽石直下で検出された踏み跡で、埴丘裾を巻く道跡である。小日向谷丁田II遺跡ではAs-B軽石下で2基の集石がある。1.2m×1.9mの長方形を呈する2号集石は、集石下で羽釜が出土し、3号墳の埴丘裾での何らかの儀礼行為を想定させるものである。

#### (5) 中世

小日向谷丁田II遺跡1・2号溝は、1号墳の埴丘裾を巻く中世の道路跡である。3号溝は上位段丘の崖下に位置し、3号墳の埴丘を削り、琴平山古墳を巻くように延びる戦国期の溝である。溝内には古墳の葺石の転用と思われる礫が充填され、上面が硬化することから、石敷の道路跡の可能性がある。琴平山古墳の周溝はAs-B軽石降下後に人為的な埋め戻しがあるが、これは戦国期に松井田城の出城として築かれた小日向城に関わるものと推測される。

（常深 尚）

註1 河内一浩氏の御教示による。

#### 参考文献

- 小板橋良平 1954『九十九史考』九十九村教育委員会  
石坂 広 2004『関東・中部地方の環状列石－中期から後期への変容と地域的様相を探る』  
『研究記要22－創立25周年記念論文集－』財団法人群馬県埋蔵文化財調査事業団  
江原昌俊他 2008『おくま山古墳（第1・2次）』東松山市教育委員会

## 小日向地区遺跡群

—県営農村振興総合整備事業（田園居住空間整備）小日向地区

に伴う埋蔵文化財発掘調査報告書一

《第1分冊 本文・図版編1》

平成22年3月15日 印刷

平成22年3月19日 発行

編集・発行／安中市教育委員会

〒379-0292 群馬県安中市松井田町新堀245

TEL 027-382-1111 (代表)

印 刷／朝日印刷工業株式会社